

## うちなーぐち活用辞典

著者	宮良 信詳
ページ	1-572
発行年	2021-03-26
URL	<a href="http://doi.org/10.15084/00003210">http://doi.org/10.15084/00003210</a>

# うちなーぐち活用辞典

宮良信詳



# はじめに

『うちなーぐち活用辞典』は、沖縄語による表現やその理解を支えている慣用的な用法に慣れ親しむことを目的とする手引書である。沖縄語は1千年以上にわたって琉球列島において先祖代々受け継がれてきた言語であるが、いったいどのような言語的位置づけが適切なのか、どのようなしくみをもつ言語なのかについては、本書とは姉妹書の『うちなーぐち しゅみと解説』（沖縄時事出版、2019年）において詳しく解説している。そのしくみと解説に基づき、普段の暮らし、行事、伝統的なものの見方考え方、遊び、伝説、時事問題とかを題材にし、文脈・場面を取り込んだ豊富な例文から語法が楽しく学びとれるように工夫されている。沖縄語の表記については、巻末の附録における解説を参照していただきたい。

「しまくとぅばの日」県条例（2006年）の施行以来、沖縄語の復興に県民は大きな関心を寄せている。2013年に県が実施した調査報告によると、県民の90.2%がしまくとぅばに親しみをもち、86.7%が子供たちに使えるようになるのを望んでいる。しかしながら、沖縄語の活性化には規範的かつ実用的な文法解説や語法を扱った本格的な書が必要とされるが、文法解説については上記の姉妹書が一応の役目は果たしていると考えている。さらに、そのしくみに基づいたうえで、ことばによる表現のしかたを理解し、活用する手助けとなる実用書があれば、沖縄語を幅広く順序立ててきちんと学ぶことができるようになる。

八重山石垣島四箇に生まれ育った執筆者にとって、沖縄語は母語ではないので、周りのたくさんの方々からのご協力をあおいでいる。なかでも、<sup>なふあ</sup>‘那覇んちゅ’の稲嶺千恵さんには言語資料提供者になっていただき、その献身的な手助けが実に数年にわたって続いた。こちらが望む内容以上にいつも豊かな発想力で生活感溢れる例文で対応していただき、充実した時間を過ごした。2014年秋からは、生粋の<sup>すい</sup>‘首里んちゅ’の玉那覇朝子さんに、文例の綿密な最終チェックを引き受けていただいた。いつも場面に適切な表現に細心の注意を払っていただき、例文の向上に多大な貢献をしている。沖縄語の普及に必要な書の制作に協力するという、お二方の深い理解と情熱無くしては到底完成することができなかったことは言うまでもない。以上のような経緯は別として、それでも内容に何らかの不備があるとすれば、当然ながら責任はすべて執筆・編集者にあることも明らかにしておきたい。

それから、沖縄語について何かを調べたり考えたりするうえで、随時参考にしてきたのが『沖縄語辞典』（国立国語研究所編、1963年）なのだが、この度も随分とその恩恵に浴している。また、沖縄言語研究センター編『那覇の方言Ⅰ』並びに『那覇の方言』（1994年）から多くの例を参考にさせていただいていることも特記しなければならない。

最後に、本辞典が沖縄語学習の手引書として、今後大いに活用されることを願ってやまない。

2021年 啓 <sup>むしうどうるく</sup> 蝨 執筆・編集者 宮良信詳



# 本辞典について

この手引書は、基本的に首里・那覇で話されている沖縄語に基づくが、首里のことばにおける「だ／でい／どう／で／ど」が那覇ではすべて「ら／り／る／れ／ろ」となるので、その両者を区別するという点では首里のことばの方に従っている。さらに、動詞の現在形に関して、首里ではどちらかと言えば「とうゆん」（取る）が好まれる傾向にあるが、「とういん（厳密には、とうゐん）」も遣われている。その丁寧表現は、首里や那覇では「とういびーん」「とうやびーん」のようになり、その語尾は「～ゆん」ではなく、「～いん」になっている。それで、簡素化のため、本書では原則として「～ゆん」よりも「～いん」が多用されているが、「～ゆん」も適時採用している。例えば、動詞語根「ういー」（酔）のように末尾が同一母音連続 ii の場合には、その現在形「～いん」では「ういーいん」のように同一母音の3連続になるので、それが普通の談話速度では3拍の「ういーん」になってしまい、語根と続く「～いん」の切れ目が明示的ではない。そのような時には、2拍の語根「ういー」に2拍の語尾「～ゆん」を加えた4拍の「ういーゆん」（酔う）の方を採用するようにしている。

また、尊敬表現になると、首里では「とうみしえーん」（お持ちになる）だが、那覇やその他の地域ではどちらかと言えば「とういみしえーん」の方が一般的である。さらに、首里における「あけじゅ」「はべる」「っゆん」は、那覇やその他の地域では「あーけーじゅー」（トンボ）、「はーべーるー」（蝶）、「いーん」（言う）の方が一般的に広く遣われているので、広域性のある方を採用するようにはしている。以上を考慮すると、純粋な那覇ことばにも純粋な首里のことばにはなっていない場合もある。地域独自の伝統的なことばが危機的な状況にあるなかで、明確な地域差が失われ始めているのも現在の姿である。このような地域差については、学習を重ねて自分のものとして身に付けていくなかで、読者の個々の判断でどちらかを選択することで自然に対処できるものだと考えている。また、首里・那覇からかなり離れた地域の沖縄語の場合には、その地域独特の表現形式に置き換えたりして活用することもできるはずである。

例文の内容や表現については、その数の多さからいくらかでも時間をかけることができるという状況でもないので、いろいろと至らない部分が出てくることは覚悟するところであるが、その点は斟酌していただきたい。本辞典を愛用していただけるのであれば、沖縄語のしくみやその語法だけでなく、沖縄語の精神世界や、沖縄の暮らしや文化の深い理解にもどこかでつながっていくものと信じている。

本辞典における見出し語表示については、できるかぎり最小の意味単位（形態素）で区切ることによって、同根から派生された語をひとまとめできるように配列している。しかしながら、例文の読みやすさを考慮して、その例文中ではそのような小さな区切りはやめて、仮名で語や句を単位として表記するようにしている。

---

# 注意事項

## 1 用例の見出しについて

大見出しの語は、ゴシック体にし、動詞/名詞、形容詞、副詞別に編成されている。動詞については、現在形（～いん、～ゆん、～ゆん、～ん）で表示する。その過去形（～たん、～だん、～ちゃん、～ぢゃん）、否定形（～らん、～ん）、並列形式（～てい、～でい、～ち、～ぢ）の表示は、次の通りである。

【活】 あがたん、あがらん、あがてい

ここでの並列形式とは、「食べて」における「て」に対応する形式のことである。名詞の場合も、直接関連する情報があれば、【活】で追加される。

動詞/名詞の場合、同一語根から派生される小見出しの語については、最初の字は引っ込めて、小さ目のゴシック体で表示する。大小の見出しは、可能であれば最小の意味単位（形態素）で分割する。一方、形容詞については、一律に現在形は（～さん）、過去形は（～さたん）、現在否定形は（～こーねーん）のようになるため、あえて意味単位ごとの表示はしない。副詞についても、意味単位ごとの表示はしない。

～A における A は接尾辞、A～における A は接頭辞である。例えば、～ぐわー〈指小辞〉における‘ぐわー’は接尾辞だが、あち～〈暑、熱、厚〉における‘あち’は接頭辞である。

## 2 用例について

文例は平叙文か、疑問文か、感嘆文なのかをそれぞれピリオド「。」、疑問符「?」、感嘆符「!」で区別し（附録の 3.5.14 節を参照）、語句の区切りは「、」で表示する。用例の和訳は、（ ）内で示されるが、（ ）の後にくるのがピリオド「。」か句点「、」なのかによって、原則として、文訳か否かが区別される。

【例】 ていーだぬ あがいん。（太陽が上がる）。

【例】 あかていーだ（夕日）、あかじなー（十円玉）...

さらに、(\*) は続く用例が容認されないことを表す。(=) は言い換え表現を表すが、その和訳はしない。

関連する事例を取り上げる際には、語句は (,) で、文は (:) で区切る。

【参】 ちまぐー（豚・牛・馬の下関節）、こーとう（鳥・犬・猫のつま先）

【参】 みーやー やくとう、あかあかーとう そーん（新築だから、とても輝いている）；ちらん ふいち やいかんとーん（顔も輝いている）





# 目次

はじめに .....	i
本辞典について .....	iii
注意事項 .....	v
1 用例の見出しについて .....	v
2 用例について .....	v

## 動詞・名詞編 3

あ .....	3
い .....	15
う .....	29
え .....	53
お .....	55
か、が .....	57
き、ぎ .....	81
く、ぐ .....	85
け、げ .....	109
こ、ご .....	113
くわ、ぐわ .....	115
つくわ、ぐわ .....	119
くい、ぐい .....	121
くえ、ぐえ .....	123
さ .....	125
し、じ .....	135
す .....	157
そ .....	165
た、だ .....	169
ち、ぢ .....	181
っち .....	193
てい、でい .....	195
とう .....	201
て、で .....	213
と .....	215

な	.217
に	.227
ぬ	.235
ね	.243
の	.245
は、ば	.247
ひ、び	.259
ふ、ぶ	.261
べ	.273
ほ、ぼ	.275
ふぁ	.277
ふぃ	.279
ふぇ	.295
ぱ、ぴ、ぷ、ぺ、ぽ	.299
ま	.301
み	.313
む	.321
め	.331
も	.333
や	.335
っや	.345
ゐ	.347
ゆ	.349
よ	.357
ら	.359
り	.361
る	.363
ろ	.365
わ	.367
うい	.375
をう	.377
を	.381
っわ	.383
っうい	.385
っうえ	.387
ん	.389
っん	.395
 形容詞編	 401
あ	.401

い	.403
う	.405
お	.407
か、が	.409
き、ぎ	.411
く、ぐ	.413
こ、ご	.417
さ	.419
し、じ	.421
す	.423
そ	.425
た、だ	.427
ち、ぢ	.429
っち	.431
てい、でい	.433
とう、どう	.435
ちゅ	.437
な	.439
に	.441
ぬ	.443
は	.445
ひ	.447
ふ、ぶ	.449
ふい	.451
ふえ	.453
ま	.455
み	.457
む	.459
や	.461
ゆ	.463
よ	.465
ら	.467
わ	.469
うい	.471
をう	.473
っうい	.475
ん	.477
っん	.479

<b>副詞編</b>	<b>483</b>
あ	.483
い	.485
う	.487
か、が	.489
き、ぎ	.491
く、ぐ	.493
け、げ	.495
くわ、ぐわ	.497
くい、ぐい	.499
くえ、ぐえ	.501
さ	.503
し	.505
す	.507
そ	.509
た、だ	.511
ち、ぢ	.513
て、で	.515
とう	.517
ちゃ	.519
ちゅ	.521
な	.523
に	.525
ぬ	.527
は、ば	.529
ひ、ぴ、び	.531
っぴ	.533
ぶ	.535
ふい	.537
ふえ	.539
ま	.541
み	.543
め	.545
も	.547
や	.549
ゆ	.551
よ	.553
わ	.555
うえ	.557
ん	.559
っん	.561

---

附録.....	.563
1 沖縄語の拍.....	.563
2 沖縄語の表記法（要約）.....	.563
3 沖縄語の表記法（解説）.....	.565
3.1 表記法の必要性について.....	.565
3.2 沖縄語の本表記法について.....	.566
3.3 「沖縄語」とは？.....	.566
3.4 本表記法の目的.....	.566
3.5 仮名表記法の解説.....	.567
参考文献.....	.573



## 動詞・名詞編





# あ

**あーいん** 〈合う〉【活】あーたん、あーらん、あーてい 【例】さんみのー あーとーみ？(計算は合っているか)。っやー ふいさとう あーいみ？(あなたの足と合うか)。あんだむんとう ふいじゆる みじえー あーらん。(油で炒めたものと冷たい水は合わない)。【参】新しくは「あたいん」も使う。

**あーけーじゅー** 〈トンボ、蜻蛉〉【参】たーまー (鬼やんま)。

**あーすん** 〈1合わす、2混ぜる〉【活】あーちゃん、あーさん、あーち 【例】すーじぐわーをうてい あったに っちゅぬ とうんぢていちゃーに ちぶる あーち たいぬ むのー がーな なんとーたん どー。(路地で急に人が跳び出してきて頭をぶつけて二人はたんこぶができていたよ)。じかん あーすん。(時間を合わせる)。ちら あーすん。(顔を合わせる)。っちゅとう あーすん。(人と対面させる)。うし あーすん。(牛と牛を戦わす)。ありとー ちらん あーさらん。(彼とは顔も合わせられない)。チャンネル あーすん。(チャンネルを合わせる)。あーし ぢん のーいん。(裏付きの着物を縫う)。くりっし あーしえー。(これで和えなさい)。ちん あーすん。(試着する)。

**あい、あいこー** 〈蟻〉【例】くわーし ほういねー、あいこーぬ あちまていちゃーに みみん くーらりーん どー。(お菓子を散らかすと、蟻が集まってきて耳もかまれるよ)。あいぬ むっちっんぢん ふいなゆん どー。

(蟻が持つて行くだけで減るんだよ、少しだからといって油断は禁物)。

**あか** 〈(頭髮、衣服、船底の) 汚れ〉【例】からじ／ちんぬ あかー (=ゆぐれー) うていとーみ？(髪／衣服の汚れは落ちているか)。あかーくむん。(船底の汚れを汲み出す)。【参】ふいんぐ (垢)、いりち (鱗、頭のふけ)。

**あか** 〈赤〉【例】あかていーだ (夕日)、あかじなー (十円玉)、あかぢらー (赤ら顔)、あかんぐわ (赤ん坊)、あかんーちゃ (赤土)、あかまーみー (あずき)、あかな (紫蘇)、あかがーら (赤瓦)、あかさび (赤錆び)、あかうし (茶色の牛)、あかぎー (赤毛)、あかばなー (ハイビスカス)、あかんみ (赤嶺)。

**あかむん** 〈赤くなる、果実が色づく〉【活】あかだん、あかまん、あかでい 【例】マンゴーぬ／くにぶぬ あかむん。(マンゴーが／ミカンが色づく)。さきっし ちらぬ あかむん。(酒で顔が赤くなる)。

**あがいん** 〈1上がる、2上達する、悪い方に優れる3終わる〉【活】あがたん、あがらん、あがてい 【例】1ていーだぬ あがいん。(太陽が上がる)。にーぬ あがいん。(値が上がる)。あれー あがやー なんとーん。(あの人は出世している)。2うでいぬ／じーぬ あがいん。(腕が／字が上達する)。うた あがらすん。(歌を上達させる)。ありやか なーふいん あがいん。(あれよりさらに悪い)。ぬすどうやか あがったむん。(泥棒よりもさらに悪い者)。あまぬ うやー っくわやか なーふいん あがったむ

ん やん どー。(あの親は子よりもなおさらひどいよ、＝なーふいん ちじどう やん どー)。3なー あみん あがとーん。(もう雨も上がっている)。なー っくわ なしあがていー？(もう子づくりは終わったの＝っくわ ちゅくいしえー なー うっさ なー?)。かちあがとーみ？(書き終わっているか)。いー、かちあがとーん どー。(はい、書き終わっているよ)。しくち あがたん。(仕事終わった)。ちゅーぬ まちえー あがとーん。(今日の市場は終わっている)。ちゅーや なー あちねー あがとーん。(今日はもう商売は終わっている)。ていんぷらーん とーふん あがとーん どー。(テンプラも豆腐も揚がっているよ)。

**あが い ていーだ**〈昇る太陽〉【例】あがいていーだ くまー(昇る太陽に組する者、日和見)、＝みーさ かばさー(新しいのを嗅ぐ者、日和見)。あがいていーだどう をうがむる、さがいていーだー をうがまんでー いらっとーしが あがいていーだ をうがまー なてー ならん どー。(昇る太陽こそ拝む、落日は拝まないとはいわれているが、勢いのある人ばかりをとりいる人になってはいけないよ)。

**あが やー**〈偉い人〉【例】うみはまていびんちよーしわどう あとーあとー あがやー なてい たかでいまーとうやー ないん どー。(一生懸命勉強して将来偉くなって高給取りになるんだよ)。

**あかがいん**〈明るくなる〉【活】あかがたん、あかがらん、あかがてい 【例】ゆーん あきてい あかがとーくとう、ふえーくなー うきれー。(夜も明けて明るくなっているの、早く起きなさい)。【参】みーやー やくとう、あかあかーとう そーん やー(新築だから、とても輝いているね)；ちらん ふいちゃいかんとうん(顔も輝いている)。

**あかがい**〈灯火、明るいところ〉【例】あかがい ちきれー。(灯りをつけなさい)。【参】くらしん(暗闇)、まっくらしん(真っ暗闇)。

**あかがらすん**〈明るくする〉【活】あかがら

ちゃん、あかがらさん、あかがらち 【例】あかがらしえー。(明るくしなさい、＝あかがい ちきれー)。

**あかすん**〈開ける、明かす〉【活】あかちゃん、あかさん、あかち 【例】むぬ あかしえー(謎解き)。うぬ はく／ふくる／段ボール あかしえー。(その箱／袋／段ボールを開けなさい)。たびぬ やどうをうてい やーじしーさーににんだらんたくとう、ゆー あかしかんていーさん。(旅の宿で慣れなくて眠れなかったの、夜明けを待つのにうんざりした)。【参】ゆーぬ あきーしぬ したたか にーさんねーすたん(夜が明けるのが遅いような気がしていた)；したたか にりとーたっさー(とても嫌になっていた)；ちむ あきれー(心を開きなさい)。

**あがた**〈あちら〉【例】まーんかい うちゅが？ あがたんかい うちよーけー。(どこに置くの。あちらに置いておけ)。

**あがち**〈ヤンバルクイナ〉【例】「やんばるくいな」んでいち しけーんかい ゆー しらっとうー とういぬ をうしが、うちなーぐちしえー 「あがち」んでいどう いちよーる。うちなーむのー むる うちなーなーんかい のーしびちー あらに？(「ヤンバルクイナ」という世界に知られた鳥がいるが、沖縄語では「アガチ」といっている。沖縄のものはすべて沖縄語名にすべきではないのか)。

**あがちゅん**〈1よく働く、2はかどる〉【活】あがちゃん、あがかん、あがち 【例】1あれー ゆー あがちゃー やっさー やー。(あいつは働き者だね)。2しくちえー／びんちよーやちゃーが？ あがちよーみ？(仕事は／勉強はどうだ。はかどっているか)。しくちえー むる あがかん さー。(仕事はまったくはかどらないよ)。しゅくだいん びんちよーん あがかん ねー やー。(宿題も勉強もしないとねえ)。ぬー しみていん ぬーんかいん あがかん。(何をさせてもどうにもはかどらない)。

**あかちち** 〈夜明け、暁〉【例】あかちちうき（夜明け起床）、ふえーうき（早起き）。【参】ゆーあきがた（ほのかに明るくなってくる頃）。

**あがとー** 〈あんな遠く〉【例】なちじんぐしこー あがとー やくとう ふえーくなー っんぢらんとー ならん てー。（今帰仁城はあんな遠いので早く出発しないといけない）。なちじんぐしこー うがとーんかい あてーさやー。にじかん かかとーっさ。（今帰仁城はそんな遠くにあったんだね。2時間かかっているよ）。あがとーから ちゃん なー？（あんなに遠くから来たの）。あがとーから ちゅーるばー る？（あんなに遠くから来るのか）。

**あがねーいん** 〈節約する〉【活】あがねーたん、あがねーらん、あがねーてい【例】あがねー じょーじ ないわどう やーむちゃー ないん どー。（倹約家になれば家計のやりくりもできるよ）。もーきーし やかー あがねーり／くめーきり よー。（儲けることよりは節約しなさいよ）。もーきらぢ やか あがねーり。（もうけようとするより節約しなさい）。もーきら、もーきら そーし やか あがねーり。（もうけようとするより節約しなさい）。【参】もーきらぢ＝もーきらんでい すし（もうけようすること）、もーきらぢ そーん（もうけようとしている）、くめーきーん（つつましくする）。

**あがみーん** 〈敬う〉【活】あがみたん、あがみらん、あがみてい【例】しんしーん どうしん むぬ っちゅんでい うむとーてい、っちゅあがみぬ ねーらん／たらーん。（先生も友人も同じ人と思っていて、人を敬うところがない／足りない）。

**あがらすん** 〈揚げる〉【活】あがらちゃん、あがらさん、あがらち【例】さーたーあんだぎーあがらすん。（サターアングギーを揚げる）。あがらさー（揚げ物）。

**あがらすん** 〈完成させる〉【活】あがらちゃん、あがらさん、あがらち【例】ていがめー／

ぐじょーや かちあがらちゃん どー。（手紙は書き終えたよ）。パン やちあがらちゃん どー。（パンを焼きあげたよ）。

**あぎ** 〈陸〉【例】あぎがーみー（陸亀）、うみがーみー（海亀）。るーぐーぬ えーむん、あぎぬ えーむん（龍宮からの品揃え【例、いゆ、くーぶ、けー】や陸からの品揃え）。とーほー あぎぬ しし やさ。ちゅふあーら かめー。（豆腐は陸の肉【蛋白質】だよ。たくさん食べなさい）。うみぬ ふりむんや いゆ やしが、あぎぬ ふりむんや ういきが どー。（海の愚か者は魚だが、陸の愚か者は男だよ）。

**あきーん** 〈開く〉【活】あきたん、あきらん、あきてい【例】しゅむち あきーん／くーいん。（本を開く／閉じる）。

**あぎまーすん** 〈せきたてる〉【活】あぎまーちゃん、あぎまーさん、あぎまーち【例】ふえーくなー ふえーくなーっし ちゃー あぎまーさってい むぬかんげーん ならん。（早く早くといつもせきたてられて考える余裕もない）。でいっか でいっか さーに あぎまーしえー。あちゃー ないん どー。（さあさあとせきたてなさい。明日になってしまうよ）。あぎまーすなけー。あわていーる なーか よーんなー やさ。（せきたてないで。急ぐなかでも心は落ち着けてだよ）。なーだなー なーだなーっし あぎまーさんけー。ゆくん につかないさ。（まだかまだかとせきたてないでよ。よけい遅くなるよ）。

**あきま どうし** 〈新年〉【例】くじゅんみーかんげーっし くいみそーち いっぺーにふえーでーびる。あきまどうしん ゆたさるぐとう うにげーさびーん。（昨年もお世話になりました、大変ありがとうございます。新年もよろしくお願い致します）。

**あこーくろー** 〈夕暮れ、薄暮〉【例】あこーくろー ないねー ちむ わさわさっし いすぢ やーんかい けーいぶしく ないん。（薄

暮になると心が落ち着かなくなって急いで家に帰りたくなる)。【参】ふいー（1日の区分名称）。

**あさ** 〈朝〉 【例】みーぐち やくとう、あさがりー ちちょーさ。（最初の商いなので、朝から縁起が良いよ）。あさやちや あみんでいらっーしが。（朝焼けは雨だと言われているが）。

**あさ** なー 〈朝寝坊〉 【例】ふにぬ っういーぬ あさなーや すーかじんかい あたてい みーくふあたん。（船の上の朝寝坊は潮風にあたって目が覚めた）。

**あさ** んなーら 〈朝っぱら〉 【例】そーぐわちねー ういなごー あさんなーらから っちゅぬ やーんかい いちゆる むのー あらん。（正月には女性は朝早くから他所の家に行くものではない）。あさんなーらから／あかちちなーらから／していみていなーらから あーはなしぬ あたん。（朝早くから／夜明けから／早朝から良い話があった）。あさんなーらから まやーぬ やなあび そーん。（朝っぱらから猫が嫌な鳴き声をしている）。っちゅぬ やーんかい あさんなーらから ちー？（他所の家に朝早くから来たの）。

**あさぐいん** 〈勝手にかき回す〉【活】あさぐたん、あさぐらん、あさぐてい 【例】たーがうり あさぐたが？（だれがそれを勝手にかき回したか）。っちゅぬ むん あさぐやー（他人のものを勝手にかき回す者）。あれー ていーぐしえー ねーんしが、っちゅぬ むん ぬーんくいん むんみじらさー なやーに どうーかっていーっし あさぐいくとう、ちー ちきり よー。あまんかい かじみとーけー（あの人は盗癖はないが、他人のものを何でももの珍しくして自分勝手にかき回すので気をつけなさいよ。あそこにしまっておきなさい）。あさぐやーや しかん さりーん／ちらーりーん／みっくわさ さりーん。（あら探する者は好かれない／嫌われる／憎まれる）。みーみーくーじー むる っちゅぬ むん あさぐら あさぐら そーる っちゅ（あれこれすべて他人

のものをかき回そうとする者）。ちむ あさぐやー（心を探り出そうとする者）。あれー また わん ちむ あさぐてい（あれはまた私の心を探って）。ちむ くじやー（他人の心をいじくり回す者）、＝っちゅ わじらさー（人を怒らせる者）。あれー ちむ くじやー どー。わた くじ むにー さってい よー。んーだん ふーなー そーけー。（あれは人の心をいじくり回す奴だよ。嫌な言葉を浴びせられてね。見ないふりをしておけ）。

**あし** 〈足〉 【例】あしどうみ（入構禁止、\*「ふいさどうみ」とは言わない）。あしふいさ いりらさん どー。（足一歩も入れさせないぞ）。いちゆる とうくる いちゆる とうくる むる うーやー からからーっし あし まちぶい そーっさー。（行くところ行くところすべて追いかけて来てじゃましてくるよ）。あしげーし（その場に残っている人の精気を本人に戻すこと、\*「ふいさげーし」とは言わない、＝くまんかい ぬくとーる しー ぬーしんかい むどうすん）。すーこーん うわてい っんまから いっちやいっんぢたい そーる うちやくぬ あしげーし。（＝まぶいげーし、まぶいわかし）さびーくとう、なー めーめーぬ ぬーしんかい けーしみていくいみそーり よー。（焼香も終わってそこから出たり入ったりするお客の精気戻しをしますので、各人のもとに戻させてくださいね）。ちゅーる かーじ っちゅぬ やーんぢ あびやーあびやーっし いりわいさーに やーん むる みんぐわち、あれー くらちくいみそーんな。あしどうみっし くいみそーり よー。（来るたびに他所の家で大声を出して口論して家をかき乱して、あの人は来させなさらないで出入り禁止にしてください）。ちまぐーんかいどう ぐすみちぬ うほーく いっちょーくとう ちまぐーぬ ましやさ。（豚足の下関節に軟骨が多く入っているので、下関節が良い）。【参】ちまぐー（豚・牛・馬の下関節）、こーとう（鳥・犬・猫のつま先）、ふいさ。

**あし ていびち** 〈足手疔（豚足の料理名）〉

【例】あしていびち ちゆくいくとう つわー  
びさ こーてい くーわ。（‘あしていびち’を  
つくるから豚足を買ってきなさい）。

**あし** 〈汗〉 【例】あし はやー（汗かき）。あ  
しみじ はらち はたらちゅん。（汗水を流し  
て働く）。じんてい いーしえー、あしはい  
みじはいっし もーきーる むんどう やる。  
（お金というのは汗水を流して稼ぐものだ）。う  
やぬ あしはい みじはいっし もーきたる  
じん やくとう、あたさっし じん ちかり  
よー。（親が汗水を流して稼いだお金なので、  
大切にお金を使いなさいよ）。

**あしがちゅん** 〈あせる〉【活】あしがちゃん、  
あしがかん、あしがち 【例】あしがちゃーとー  
まじゅーん たびん ならん。（せっかちと  
は一緒に旅もできない）。んな あしがちっし  
まっちょーくとうとう、あわていれー。（みん  
なやきもきして待っているの、急ぎなさい）。  
ちゃっさ あしがち さんてーまん ないるぐ  
とうどう ないる。あわていーるなーかぬ よ  
ーんなー やさ。（いくらあせったとしてもな  
るようにはかならない。急いでいても心は落ち  
着けてゆっくりすべきだよ）。

**あじけー** 〈シャコガイ〉 【例】うちなーを  
うてー やなむんばれー すんてい あじけー  
ふかんかい にかーち うじょーんかい さ  
ぎらったい、いしがちぬ っういーにん うか  
っとーん。（沖縄では魔除けとしてシャコガイ  
を外に向けて門に下げられたり、石垣の上にも  
置かれている）。

**あしぶん** 〈遊ぶ〉【活】あしだん、あしばん、  
あしでい 【例】やー かしほーらーっし／か  
ちほーてい あしでい あっちょーん。（家を  
放り捨てて遊んでばかりいる）。

**あしび** 〈遊び〉 【例】びんちょーん わじ  
ゃん あしびがなーどう ないる。（勉強も仕  
事も息抜きが必要だ）。っちょー あしびん

でいきらちどう むぬぐとー なてい いちゅ  
る。（人は遊びもしてこそ物事は成就する）。し  
ゅむち はんぶん あしび はんぶんっしどう  
むぬぐとー かないる。（勉強も遊びもして  
こそ物事は適う）。あしびぬ ちゅらさー に  
んじゅぬ すなわい やくとう、たーんかいん  
やていん くいー かきり よー。（歌踊り  
のにぎわいは人数がそろってのことなので、誰  
にでも声をかけけなさいよ）。

**あしぶ** 〈あせも〉 【例】んかしえー あしぶ  
っんぢーねー、ごーやーぬ ふあーとうか  
ふーちばー ゆーんかい ちきてい、うりさー  
に しーねー あしぼー かりたん。（昔はあ  
せもが出たら、ゴーヤーの葉とかヨモギを湯に  
つけて、それで擦るとあせもは萎んだ）。

**あじまー** 〈交差するところ、交差すること〉  
【例】あぬ あじまーから ふいぢやいんかい  
まがてい、あんしから 200 メートルびけー  
ちゃー まっしーぐー いちーねー、にぢり  
んかい まがてい ふいぢやいむていー など  
ーさ。やくとう、みー ぐるぐる さんていん  
しぐ わかいさ。（あの交差点から左に曲が  
ってそれから 200 メートルぐらいまっすぐ行っ  
たら右に曲がって左手になっているよ。だから、  
戸惑わずにすぐわかるよ）。あじまーから に  
ぢりんかい まがいーねー ふいぢやいぬ し  
ぐ いっちやかい（ぐわー） やさ（交差点か  
ら右に曲がったら、左手のすぐそこだよ）。あ  
じまーをうてー かかいむん ばれーぬ ない  
ん。（交差点では霊払いができる）。

**あじまー むすび** 〈十字結び〉 【例】ぐ  
しち みーちっし まぎく あじまーむすび  
しえーる げーんっし まぶやーぐみ すん。  
ぐしちぬ ふあー ていーちさーに くーく  
むしでーる さんぐわー ちゅくてい、くわっ  
ちーぬ っういーんかい うちきてい むんぬ  
き すん。（ススキ 3 本で大きく十字結びをし  
た「げーん」で「まぶやー込め」をする。ススキ  
の葉 1 つで小さく結んである「さん」を作って、  
御馳走の上に添えて魔除けにする）。【参】げー

ん（ススキを束ねて、葉の先を折り曲げて結んで作ったお祓い用のもの）、まぶやーぐみ＝まぶいぐみ（落とした魂を込めること）、さん（お供えの上に添える魔除け用のもの）。

**あたい** 〈くらい、程度〉【例】うぬ あたえー ちゃーん ねーびらん どー。（それ位はなんでもありませんよ、＝どういたしまして）。

**あたいん** 〈あたる〉【活】あたたん、あたらん、あたてい【例】あん いー かん いーっし ちびとう くちぬ あたらん。（あれを言ったりこれを言ったりしてつじつまが合わない）。あったー たいや ゆー あたとーさ。（あの二人は相性が良いね）。さんみのー あたとーみ？ さんみん ばっペーや ねーらに？ さんみん あーし すみ？（計算はあっているか。計算間違いがないか。計算合わせをするか）。ちゅー かでーしがどう あたがやー？（今日食べたのがあたってたのかね）。たからくじん うほーく。（なー）／うほーく（ねーん）／だてーん（なー） こーいねー、たーち みーちえー あたいが すが やー？（宝くじもたくさん買えば、2つ3つは当たるのかねえ）。どうーくる あん いやーに どうーあたい そーん どー。（自分でそう言って自省しているよ）。ちむ／うち／どうーあたい そーん どー。（自分のことだと思って自省しているよ）。ちゅー あたえー しえー をうらに？（ひとに強くあたってはいないか）。ちゅー ちゃっさ はなし しん わかいる むのー あらん。 どうーぬ っういーんかい あたていどう わかいる。（人はいくら話してもわかるものではない。自分の身の上にふりかかってこそわかる）。【参】あーいん。

**あち〜**〈暑、熱、厚〉【例】あちさん（暑い、熱い、厚い）からの接頭辞化。

**あち ぐに** 〈暑い地域〉【例】うちなーや あちぐに なてい あかー ちーるー おーるーぬ はなぬ さちかんてい あんし いるぬ ちゅらさる やー。（沖縄は暑い地方なの

で、赤色、黄色、青色の花が咲き誇って、なんと色がきれいなことよ）。【参】ふいーぐに（寒い地域）。

**あち ぶったらー** 〈厚着〉【例】あんすかなー あちぶったらー ちち、っんぢゅぢぐり こーねーらに？（あんなに厚着して、動きにくいのか）。

**あちかいん** 〈1あつかう、2こき使う〉【活】あちかたん、あちからん、あちかてい【例】くれー ちゃーっし あちかいが？（これはどのようにして扱うのか）。みーぐるま なてい あちかいよーぬ／あちけーぬ わからん。（新車なのであつかい方がわからない）。どうく まく とうなむん なてい っちゅんかい あちかりーっさ。（あまりにもお人好しなので、人にこき使われるんだよ）。なまー っちゅんかい あちかーっとーん。（今は人にこき使われている）。ぬーんくいん うーうーっし ちちゅくとう っちゅんかい あちかーりーっさ。（何でもはいはいと聞くので、人にこき使われるんだよ）。どうく ちりてい あちけーぐりさん／あちけーぐりー どー。（頭が良すぎて使いにくい）。

**あちまいん** 〈集まる〉【活】あちまたん、あちまらん、あちまてい【例】ちゅーや すりーぬ あくとう すりーじゅりー めんそーりよー。（今日は集まりがあるのでご一緒にいらっしやいね）。

**あちやー** 〈明日〉【例】あちやーん ふいーや あんでい うむてー ならん どー。（明日があると思っははいけないよ）。

**あちゅん** 〈明く、開く、空く〉【活】あちやん、あかん、あち【例】はしるぬ あちゅん。（戸が開く）。やーぬ あちゅん。（家が空く）。たーん をうらん。あちやー／からやー なとーん。（誰もいない。空き家になっているよ）。ふたぬ ふいぢやい まーし しん あかん むのー、っういーんかい ふいっばいねー あちゅさ。（蓋が左回りにしても開かないものは上に引っ張ると開くよ）。

**あちらすん** 〈食べ物で暖める〉【活】あちらちゃん、あちらさん、あちらち 【例】ちぬーぬカレー あちらち かむん。(昨日のカレーを暖めて食べる)。なちえー むのー あちらち うちきとーかんねー、しーてい かまらん ないん どー。(夏は食べ物は暖めておかないと、腐って食べられなくなるよ)。

**あちりーん** 〈熱くなる〉【活】あちりたん、あちりらん、あちりてい 【例】ちゅーしゃじょーぬ くるまんかい むどういねー、くるまぬ あちりてい ふあーふあーっし まーん さーらん、ぬいん ならん。(駐車場の車に戻ると、車が熱くなってぢりぢりしてどこも触れない、乗るのもできない)。

**あちれーゆん** 〈注文して仕立てる〉【活】あちれーたん、あちれーらん、あちれーてい 【例】あちれーむん(注文して仕立てたもの)。ばさーちん あちれーり。(芭蕉布の着物を注文して仕立てなさい)。びんがたぢのー あちれーていー?(紅型の着物は注文したか)。

**あつく すん** 〈(上から目線で)叱りつける、怒鳴る〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】しゃちょーんかい うすまさ あつくむっく さってい よー。(社長にさんざん怒鳴られてねえ)。じゅんさんかい／しーじゃかたんかい／しんしーんかい／いさんかい うすまさ あつくむっく さった さー。(警官に／目上の人に／先生に／医者にさんざん叱りつけられたよ)。いさんかい あびらってい あつく さったん。(医者に怒鳴られて叱りつけられた)。

**あった〜**〈急〉【例】っやーや っちゅぬ みみぬ すばんぢ あったあびーっし たましぬぎたさー。(おまえは人の耳の側で急に大声を出してびっくりしたよ)。なま やーんかい けーいんちどう そーたしが、あったぶ いっし かさん ねーらん、じゃーふえー そーっさー。(今家に帰ろうとしていたが、急に雨が降って傘もない、困っているよ)。あいえ

ーなー! ちゅーや あさから ていーだ くわらくわら そーたくとう うーどうから しんたくむんから ふかんかい ふちやしが／ふちえーしが、あったぶいっし なまから やーんかい むどうりわどう ないん。(しまった!)

今日は朝から太陽がカンカン照っていたので、布団も洗濯物も外に干したが／干してあるが、急に雨が降ってこれから家に戻らないといけない)。あったわれー(急な笑い)、あったなち(急に泣くこと)。

**あった ばじょー** 〈ちらっと見の良さ、見かけ〉【例】あれー あったばじょーどう やん どー。っんまー ぬていどう しらりーる、っちょー ふいらていどう しらりーる。(あいつは見かけだけだよ、馬は乗ってこそわかるし、人はつき合ってこそわかる)。あったばじょーや ちゅらさー あしが。(みかけはきれいなのだが)。くぬ ないむのー まーさぎさー やたしが[かーぎぬぐとう まーさが あがやーんでい うむたしが]、あったばじょーどう やっさー。(この果物はおいしそうだったが、見かけが良いだけだよ)。くぬ ないむのー ばじょーや ねーらんしが、かみーねー まーさん／かだくとう まーさたん どー。(この果物は見かけの良さは無いが、食べるとおいしい／食べたらいしかったよ)。

**あったみ** 〈精肉〉【例】ぶた あったみ(豚肉)、＝っわーぬ なまじし(豚の精肉)。ちぬ あったみ(牛肉)、＝うしぬ なまじし(牛の精肉)。やま あったみ(イノシシの肉)。【参】ふいーじゃーぬ なまじし(山羊の精肉)。

**あったる** 〈大事な、大切な〉【例】あいゑーなー、あったる んーす していてー ならん どー。(あれあれ、大切な味噌を捨ててはいけないよ)。あったる わらび をうらん なしみてい なー。(大事な子を失くしてしまってたね)。あったる とうじ ふいんがちやる ばー なー? じゃーふえー そーさ やー。(大事な妻を逃がしたのか。困ったことになったね)。あったる とうじ をうらん なしみて



い なー？(大事な妻を居なくしてしまったのか)。うんちえーぬ ふあーびけー とうやーに ぐちえー むる していてい、なまぬ わかむんぬちゃーや あったる かみむぬん むる していーん どー。(空心菜の葉だけ取って茎をみんな捨てて、今時の若者たちは大切な食べ物をみんな捨ててしまうよ)。あったる じん ねーん などーさ／うとうち ねーらん どー／うとうちえーさ やー。(大切なお金が無くなっているよ／を落としてしまっているよ／を落としてしまったんだね)。

### あっちゅん 〈動きまわる、動く、歩く〉【活】

あっちゃん、あっかん、あっち 【例】とうちーぬ やんでいてい あっかん などーん。(時計が壊れて動かなくなっている)。うみ あっちゃー(漁師)、はる あっちゃー(耕作人)。なまー まー あっちょーが？(今は仕事は何をしているの)。あっちんしえーみ？(お元気でいらっしゃいますか)。やー かしほーらーっし／かしほーてい あしでい あっちょーん。(家を放ったらかして遊びまわっている)。わーやなぐち いち あっちゅる ぐとーん。(私の悪口を言いふらしてるようだ)。あっからん あっちっし(嫌々ながら歩いて)。あっちゅみ？(元気か)。

### あっぺーる／うっぺーる／くっぺーる 〈あの／その／この大きさ〉【例】

やーや くっぺーる いし ちゃーっし むっちちゃが？(あなたはこの大きさの石をどのようにして持って来たか)。あっぺーる いゆ くわーち、いくたい しんかっし かだが？(あの大きさの魚を釣って、何人の仲間で食べたの)。

### あてい 〈思慮、目当て〉【例】あてい なし

むん なてい ぬーん わからん。(幼稚な者で何もわからない)。わんねー どうーちゅいむんどう やん どー。たーん をうらん。いちちよーてーまん ぬーぬ あていん ねーらん。(私は独り者だよ。誰もいない。生きていても何の当てもない)。しくちえー ぬーが

しーぶさら？ なーだ あていぬ ねーらん。(仕事はいったい何をしたいのかまだ定まっていない)。

### あていーん 〈当てる〉【活】あていたん、あ

ていらん、あていてい 【例】あれー くるまんかい あていらったん。ちゅーあたえー しえー をうらに？(あの人は車にぶつけられた。強い衝突をしていないね)。くるまんかい くわーさったん／とうばさったん。(車に轢かれた／ぶっ飛ばされた)。

### あていげーふー／あていんぷー／あ

びれー ちごー(ぬ っちゅ)〈あてずっぽう〉【例】あれー あていげーふー／あていんぷーどう やん どー。あびれー ちゃーがな ないんでい うむとーる はじ やさ。(あの人はあてずっぽうだよ。口に出せばどうにかなると思っているはずだよ)。

### あとう しーちゅん 〈後ずさりする〉

【活】～しーちゃん、～しーかん、～しーち 【例】みー やますくとう くさーんかい しーけー。(目を痛めるので後ろに寄りなさい)。

### あとう しーちゃー 〈後ずさり〉【活】あとう

しーちゃー すん〈後ずさりする〉【例】あんし ちかさをうてい テレビ んーぢーねー、みー やますくとう くさーんかい しーけー。(あんなに近くからテレビを観ると、目を痛めるので後ろに寄りなさい)。

### あとうない あとうない 〈後ろにひっ

こむこと〉【例】あとうないあとうない さー(引っ込みじあん)。あとうないあとうない びけーっし っちゅぬ くさー などーくとう たーん わからんてーさ やー。(引っ込んでばかりで人の後ろにひっこんでいるから誰もわからなかったんだね)。あれー めーないないさー やくとう、わんから わんから そーん。(あれは出たがりで、人前にばかりいる)。

### あとうまさい がふー 〈後の方の幸運

こそ勝る〉【参】「あとうふーぬ まーふー」(後に来る方がまことの幸運)。

**あばさー、あばし** 〈おてんば、針千本〉

【例】ありんかい ちかしーねー／ちかしえーから、むる はっぶがすん どー。(あの人に聞かせたら、すべて暴露してしまうよ) ありんかえー ぬーん ちかさらん どー (あの人には何も聞かせられないよ)、したたか あーばーさーばー／ゆんたかー／はっぶがさー／いちえーならぬっちゅ どー (大変なおしゃべりだよ)。あばさーや ふいりぐささー あしが、だしぬあてい あじくーたー どー やー。(針千本は生臭さはあるが、ダシが効いておいしいよね)。【参】ふいりむさー (芋虫)、ふいりほーいん (やたら尻をする)、さんさなー (おてんば)。

**あびーん** 〈大声をだす、声をかける、しゃべる、家畜が鳴く〉【活】あびたん、あびらん、あびてい 【例】うた あびーん。(歌を歌う)、うた さー (歌手)。ちゃー あびーるびけーやさんぐとう、たーんかいん わかいるぐとうはなさんだれー ならん どー。(怒鳴ってばかりではなくて、誰にでも解るように話さないといけないよ)。ちゃー うさがみそーりよーんち たんかーぬ っちゅ あびていっち【えーじっし】 とうらさん なー?(お茶をお召し上がりになりますかとお向かいの人に声をかけてきてくれないか)。いっとうちえー くーよーんち あびていっち とうらさん なー?(ちょっと来ないかと声をかけて来てくれないか)。っやーさーに いふいぐわー あびていっち とうらしえー。(あなたから少し言ってきてちょうだい)。ゆーあきどうーしー／ゆなかさなか まーぬ いんぐわーが やら わからんしが、ワウワウっし あびとーたん。(夜が明けるまで／真夜中どこの犬かは知らないが、遠吠えをしていた)。あふいらーぬ クワックワックワーっし あびとーたん。(あひるが鳴いていた)。っわーぬ ブギーブギーブギーっし やなあびー そーん。(豚が嫌な鳴き声をあげている)。っやーや むぬ かでー にんてー しーしー しーねー、っわーぬ ぐとうくえーいん どー。(お前は食べては寝たり

していると、豚のように太るよ)。あびーん いのー くーらん。(吠える犬は噛みつかない)。

【参】動物の鳴き声については、「なちゅん」もある。

**あびー くるすん** 〈大声を出して痛めつける〉【活】～くるちゃん、～くるさん、～くるち

【例】あんすかなー あびーくるしーねー ちむちますん どー。(そんなに大声を出して痛めつけると気持ちを萎縮させるよ)。

**あふあげーりーん** 〈気持ちを萎縮させる〉

【活】あふあげーりたん、あふあげーりらん、あふあげーりてい 【例】ありが はなしえー どうく ふりゆんたくぬ ちゅーさぬ あふあげーりーん。(あの人の話はあまりにもおしゃべりが度を超して嫌になる)。

**あふあなちゅん** 〈寝るの卑語〉【活】あふ

あなちゃん、あふあなかん、あふあなち 【例】しーじゃがたんかい 「っんまなかい あふあなちよーけー」んでい いーねー、ぐぶりーないん どー。(先輩方に「そこに寝転がっていなさい」と言っては失礼になる)。をうたとーんねー そーん どー。っやーや あまなかい いふえー あふあなちよーけー。(疲れているようだね。あなたはあそこに少し寝転がっていなさい)。

**あふいー** 〈兄さん(平民)〉 【例】いったー

あふいーや／やっちーや ちゃー そーが?(あなたのうちのお兄さんはどうしているか)。いったー あふいーや／やっちーや／しーじゃー やから やさ。(あなたの家の兄さんはりっぱだね)。

**あふいらー** 〈アヒル〉 【例】あぬ ういな

ぐぬ あっちよー よー、ちべー あふいらーぬ あっちゅんねー すさ。(あの女性の歩き方よ、お尻はアヒルの歩くようだ)。ちびまぎー あふいらーぬ ゆたゆた あっちよーん。(尻の大きなアヒルがよたよた歩いているよ)。

**あふえーいん** 〈(気が) 抜けて水っぽくな

る〉【活】あふえーたん、あふえーらん、あふえーてい 【例】うぬ さけー／すーや あふえーとーん。(この酒は水っぽくなっている)。あふあむん(味がうすいもの)、あふあさん(味がうすくなる)。くぬ しろー あふあさぬ、んーすぬ たらーんねー すん どー。(この汁は味がうすくて、味噌が足りないようだ)。

**あまいん** 〈余る〉【活】あまたん、あまらん、あまてい 【例】ゆー あまい しみそーちやるんでい いーしえー まーちょーんでいくとう やん。(天国に召されたというのは亡くなっているということです)。うやふあーふじえー ゆー あまい しみそーちやしが、うやふあーふじぬ めんしえーる ぐそーや かーまー あらん、あみだいぬ しちゃんていどう いらっとうーくとう ちむしからーさー すな よー やー。(先祖は天国に召されたが、先祖のいらっしやるあの世は縁台の下と言われているので、むなしい思いはしないでよ、「ぐそー」を参照)。ななじゅー あまてい くぬ あわり すん。(70歳を過ぎて、この辛さを味わう)。はたち あまれー どうーっし はたらき よー。(20歳を過ぎたら自分で働きなさいよ)。るくじゅー かさにてい、ひやく はたち。(還暦を迎えて、120歳の願をたてる)。くれー あまやー やしが、あとうまさいがふーんでいん あくとう、うり むっちいけー。(これは余り物なのだが、後のものに勝り果報ってこともあるので、これを持って行きなさい)。ぬくやー(残り物)。

**あますん** 〈元気が有り余っている〉【活】あまちゃん、あまさん、あまち 【例】わらべー ゆー あますくとう、うとうすえー ちゃーんならん。(子どもは元気があり過ぎて、お年寄りはどうにもならない)。あますな けー。(悪ふざけするな)。わらびんちゃーぬ どうくから あまちょーん。(子どもたちが度が過ぎた悪ふざけをしている)。わらび あましみらんけー。(子どもを悪ふざけさせないで)。どうくから あまちぢゅーさぬ。(あまりにも悪ふざけ

が過ぎて)。あまさー(落ち着きのない子)。ちーぬみんぐわー ていーぬ みーゆる くれーから あまち ふしがらん。(乳飲み子は手足の発育する頃合いから手に負えなくてどうしようもない)。

**あまみ／あまん ゆー** 〈大昔〉 【例】天帝から遣わされた女神の「あまみく／あまみきよ」と男神の「しにりく／しにりきよ」がおいでなさった大昔の時代のこと。

**あまぐわし** 〈ぜんざい〉 【例】あまぐわしんかえー だーぐぬ いっちょーん。(ぜんざいにはだんごが入っている)。

**あまじゃき** 〈酢〉 【例】ういぐわーぬ えーむんかえー あまじゃけー かかさらん。(キュウリの和え物には酢は欠かせない)。いーらーんかい ささりーねー、しぐ あまじゃきさーに あれーながすん。(クラゲに刺されたら、すぐ酢で洗い流す)。

**あや** 〈綾、模様〉 【例】あれー むしるぬ あやぬ ぐとーる っちゅどう やくとう、たーがん いふいぬ ふいーくしん かちみらん どー。(あの人はムシロの綾のような几帳面な人だから、誰も少しの欠点もつかめないよ)。

**あやー** 〈お母さん(士族)〉 【例】あやめー(士族のあ母さんを敬って言う時に使う)。【参】たーりー。

**あやめー くさめー** 〈まつわりついてじやますること〉 【例】うーやーからからーっし(人の後ろから付いて来て)。ちび うーやー(人の後ろからついて来る者)。うーていくえー(人の後ろから付いてきて食事まですること)。っちゅぬ めーんかい しりしりーっし あっちん ならん。(人の前にすり寄って来て、動きもできない)。

**あやかーいん** 〈あやかる〉【活】あやかーたん、あやかーらん、あやかーてい

**あやかーらすん** 〈あやからす〉【活】あやかーちゃん、あやかーさん、あやかーち  
【例】かじまー すーぢ あやかいん。(97 歳のお祝いをあやかる)。とーかち すーぢ あやかたん。(88 歳のお祝いをあやかった)。わったーにん あやからちくいみそーり。(私たちにもあやからしてください)。

**あやまいん** 〈あやまちをする〉【活】あやまたん、あやまらん、あやまてい 【例】あやまてい ていー やまちやしが、なーだ のーてーをうらん。(過って手をケガしたが、まだ治ってはいない)。

**あやまい** 〈(道徳的な) あやまち〉 【例】ちやーる あやまいぬ あてい っんぢやさったが やー。(どういうあやまちがあって、表沙汰にされたのかなあ)。

**あらがーいん** 〈口論する、議論する〉【活】あらがーたん、あらがーらん、あらがーてい  
【例】あん やん、かん やんっし あらがーてい ていーちん さだまらん。(ああだ、こうだと議論して一つも決まらない)。あらがーていはなしぬ さだまらん。(言い争って話が決まらない)。

**あらげーいん** 〈大きくなり過ぎる〉【活】あらげーたん、あらげーらん、あらげーてい 【例】むじゆくえー どうく あらげーとーしえー まーこーねーん どー。(農作物はあまりにも大きくなり過ぎているのはおいしくない)。あらげーい むのー まーこーねーん。(大きくなり過ぎるのはおいしくない)。

**あらむん** 〈粗末な食べ物〉 【例】あらむん じょーぐーや どうーがんぢゅーさん。(粗食する者は健康だ)。

**あり** 〈あれ、あの人〉 【例】ありが むぬん わーむん、わーむぬん ありが むん。(あの人の物も私の物、私の物もあの人の物)。

**あわていーん** 〈急ぐ〉【活】あわていたん、あわていらん、あわていてい 【例】あわてい

ーる なーか よーん なー。(急いでいても冷静に)。あわていーる なーか うていちち。(急いでいても落ち着きを保て)。

**あわていー はーていー** 〈急いでいるさま〉 【例】あわていーはーていー っんぢやしが、につか なとーさ。(急いで出たが、遅刻している)。

**あわり** 〈苦労〉 【例】いくさねー んな だんだんぬ あわりっし しぬぢちゃん。(戦争ではみんなさんざん苦労をしてしのいできた)。

**あん** 〈ある〉 【例】あいにどう くばめーゆる。(有るときにこそ節約する)。あれー あいぐえー、ねーんだれー ねーんくらし っやーや いちまでい すが？(有れば有るだけ食べ、無ければ無いままの暮らしをあなたはいつまでするのか)。

**あんしー かんしー すん** 〈あれこれ試行する〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】あんしー かんしー さしが、ならんたっさー。(あれこれ試したが、できなかったよ)。あんしー かんしー やくとう、なー わかてい くいみそーれー。(話した通りですから、解ってくださいね)。

**あんぢゅん** 〈焼く、あたためる〉【活】あんとん、あんだん、あんてい 【例】しちぐわちーや ぐそーぬ そーぐわち やくとう、ぶちだんぬ めーをうてい うちかび あんてい っくわっんまがぬちやーんかい あしぢや むたする とうくるん あたんでい。(盆はあの世の正月なので、仏壇の前で内紙を焼いて子や孫に下駄を持たせるところもあったって)。ふいーばーちさーに いちゃぐわー あんてい かま。(火鉢でスルメでも焼いて食べようか)。あみ しちやーに むち あんてい かま。(網を敷いて餅を焼いて食べようか)。ていー あんぢゅん。(炭などで手を温める)。

**あんだ** 〈油、脂〉

**あんだ がーき** 〈肉を長いこと食べていないこと〉 【例】ちかぐろー あんだがーき そーくとう、あしていびちんでー ちゅくていかまな。(近頃肉はごぶさたなので、‘あしていびち’でも作って食べよう)。

**あんだ ぐち** 〈お世辞〉 【例】みーぬ めーをうてい ふみらっていん うっさー ねーん。あんだぐちんかいどう ちかりーる。(目の前でほめられても嬉しくない。お世辞にしか聞こえない)。あんだぐちっし あんだもーきさん。(お世辞でボロ儲けした)。

**あんでいーん** 〈こぼれる〉【活】あんでいたん、あんでいらん、あんでいてい

**あんだすん** 〈こぼす〉【活】あんだちゃん、あ

んださん、あんだち 【例】とーりていん さけー くーてんぐわーどう あんでいーん。(倒れても酒は少しだけしかこぼれない)。コーヒーぬ あんでいらあんでいら そーん。(コーヒーがあふれそうになっている)。チャーや あんださんぐとう いりり。(お茶はこぼさずに入れなさい)。

**あんべー** 〈あんばい、気分〉 【例】なまー いっぺー めー あんべー そーん。(今はとても心地よい気分だ)。

**あんまー** 〈お母さん(平民)〉 【例】あやー／たーり (お母さん／お父さん(士族))。【参】すー／あんまー。

# い

～い 〈時、から(理由)〉 【例】わらび そー  
いに(子どものときに)。あちさいに／あちさ  
るうちに うさがみそーれー。(あったかいう  
ちにお召し上がりください。＝ふいじゅらん  
まーどう うさがみそーれー。(冷めないうち  
に召し上がってください))。っちゅびれーん  
さんとー ならん あい やー。(人付き合い  
もしないとならないからねえ)。ぶだいんかい  
っんぢーるむんぬ、ちらん ちゅくらんとー  
ならん あい やー。(舞台に立つのだから、  
顔も化粧しないとイケないからねえ)。

いーけーりーん 〈中味がすっかりこぼれ  
る〉【活】いーけーりたん、いーけーらん、い  
ーけーりてい 【例】くーてんぬ くとうしえー  
いーけーりらん とうっくいぐわー ちゅく  
たん。(ちょっとしたことでこぼれない徳利を  
作った)。さき／みじ いーけーらすん。(酒／  
水をこぼす)。なーんかい うちえーたる は  
ーちぬ うふかじさーに いーけーりてい ん  
ーちゃん さにん ねーん なーたん。(庭  
に置いてあった鉢が台風ですっかりこぼれて土  
も種もなくなっていた)。

いーけーらすん 〈中味をすっかりこぼす〉  
【活】いーけーらちゃん、いーけーさん、いーけ  
ーらち 【例】ちーさーに くでい いってー  
る いりむのー なー いふえー ふいるさる  
とうくまんかい うちきらんねー いーけー  
らすん どー。(つるべで汲んで入れてある容  
れ物はもう少し広いところに置かないとすっか  
りこぼしてしまうよ)。かたはらんかい なさ  
んねー きっちゃきっし むる いーけーらす

ん どー。(側に寄せないとつまずいてこぼし  
てしまうよ)。ちゅーかーや うちんかい な  
さんねー むる いーけーらすん どー。(や  
かんは内側に寄せないとみんなこぼしてしまう  
よ)。

いーち 〈息〉 【例】どうく いちゅなさぬ  
いーちん あくびん ならんさ。(とても忙  
しくて息もできない、＝いーち ふえーふえー  
そーさ＝いーち ふちよーさ)。ひこーきぬ  
っんぢたちんかい かきあーすんでいち う  
みちとう はーえーっし ちゃくとう、したた  
か いーち ふちよーっさ／ふえーふえー そ  
ーっさ。(飛行機の出発に間に合わすといって  
思いきり走って来たので、すごく息切れしてい  
る)。くえーとーる っちよー どうーぬ っ  
んぶさくとう、いふいぐわー あっちん いー  
ち ふちゅん。(太っている人は体が重いので  
少し歩いても息切れする)。

いーち げーい 〈息抜き、息つき〉 【例】  
まるけーていなーや いーちげーいん さんね  
ー どうー むたん どー。(時々息抜きもし  
ないと体がもたないよ)。っういーぢよーる  
とうちに ふいぢやいぬ ていーぬ めーんか  
い まっしぐ ぬびとーる ばすねー、どうー  
ぬ にぢり はんぶんや うちやがとーくとう  
いーちげーいぬ しーやしく ないん。にぢ  
りぬ ていーぬ ぬびとーる ばすん めぬ  
ぐとう ないん。(泳いでいるときに左の手が  
まっすぐ前に伸びている際には、体の右半分  
は浮き上がっているので息つきをしやすくなっ  
ている。右の手が伸びている際も同様である)。

**いーち ながー** 〈息が長い者〉 【例】くー  
さいに、びんだれーんかい みじ いりやーに  
ちら ちきてい たーがが いーちながー  
やら んでいる すーぶ すたん。(子どもの  
頃、洗面器に水を入れて顔を浸けて誰が息が長  
いかという勝負したものだ)。

**いーち までいー すん** 〈窒息する〉  
【例】エレベーターんかい ぬらりーる かぢ  
り っちゅぬ いっちちーねー いーばーしー  
ちゃーっし いーちまでいー すんねー やた  
ん。(エレベーターに乗れるだけ人が入って来  
たら窮屈で窒息しそうだった)。

**いーち みー** 〈空気孔〉 【例】うんたまぎ  
るーや ちくさじんかい っわーってい、すい  
ぬ りんぐむいぬ りんぬ ふあーぬ しちゃ  
んかい くわっくいてい、やんばるだき くち  
んかい くーてい いーちみーさーに いーち  
そーたんてい。(ウンタマギルーは巡査に追  
われて、首里の蓮小堀の蓮の葉の下に隠れて、  
山原竹を口に加えて、空気孔で息をしていたっ  
て)。

**いーちゅ** 〈絹〉 【例】いーちゅさーに ちゅ  
くらっとーる ちのー でーだかー やしが、  
ちちよーるぐとうん ねーん、いち なていん  
みーむんぬ ぐとう かわらん、でーぬ ぐ  
とう あっさ やー。(絹で作られた着物は高値  
だが、着ている感じがなくて、いつになっ  
ても新品のように変わらなくて、値段通りだね)。

**いーび** 〈指〉 【例】ていーふいさんかえー  
うふいーび、さしいーび、なかいーび、なーな  
しいーび／ならしいーび、いーびんぐわーぬ  
あん。(手足には、親指、人差し指、中指、薬  
指、小指がある)。あんすかー ゆぐりん さん  
いーび やくとう、ぬいぐすい とうてい  
きじんかい ならち ぬいるくとう、ならしい  
ーびんでい いーん。(そんなに汚れもしない  
指なので、塗り薬を取って傷にならして塗るの  
で、‘ならし’指と言う)。とうーぬ いーべー  
ゐん たけー ねーらん。(十の指は同じ丈で  
はない、十人十色)。うちなーんちょー いーび

ちかてい ふいーふいー ふち えーじ そ  
ーたん。(沖縄の人は指を使って指笛を吹いて  
合図をしていた)。ふいっちー いーび なら  
しーねー、ぶったらー ないん どー。(いつ  
も指を鳴らしてばかりいると、太く腫れてしま  
うよ)。いーびや まーんかい をうーりーが  
んでい いーねー、うちんかいどう まがいく  
とう、ちょーでーや たげーに かなさ しー  
よー やー。(指はどこに折れるのかというと、  
内(=家)に曲がるので、兄弟姉妹はお互いに  
仲良くしなさいよ)。

**いーび なぎー／いーびがにー** 〈指輪〉  
【例】にーびち しーねー、ふいぢやいぬ な  
ーなしいーびんかい いーびなぎー さすん。  
(結婚すると、左の薬指に指輪をはめる)。

**いーび ぬち** 〈指差し〉 【例】っちゅんか  
い いーびぬち さりーる くとー しー  
ならん どー。(人から指を差されることはし  
てはいけないよ)。

**いーび ばん** 〈拇印〉 【例】はんこ わし  
やーに いーびばん やていん ないんでいち  
どう うむたしが、とうーらんたくとう やー  
んかい けーらんとー ならん なたん。(印  
鑑を忘れて拇印でも何とかかなと思ったが、だ  
めだったので家に帰らないといけなくなった)。

**いーび ばんち** 〈つま弾き〉 【例】ギター  
や いーびばんち すしが、さんしのー いー  
びばんちえー さん。(ギターはつま弾きをす  
るが、三線はつま弾きはしない)。

**いーび をうーい すん** 〈指を数える〉  
【例】わったー やーにんじょー みーやーぬ  
とうじまい いーびをうーい そーてい まち  
かんていー そーん。(私の家族一同は新しい  
家の完成を指を数えて待ち遠しくしている)。

**いーび んぐわー** 〈小指〉 【例】ちかぐろ  
ー あんすかー 「ぶーさー」 さん なたー  
しが、いーびんぐわーや さしいーびねー ま  
きーしが、うふいーびねー かちゅん。(近頃  
はそれほど「ぶーさー」をしなくなっているが、  
小指は人指し指には負けるが、親指には勝つ)。  
【参】ぶーさー(沖縄式のじゃんけん。親指は人

差し指に勝ち、人差し指は小指に勝ち、小指は親指に勝つ)。

**いーふえー** 〈位牌〉 【例】いーふえー だ  
ちゃー／いーふえー むちすく／ぐわんす む  
ちゃー (位牌を受け継ぐ者)。ちゃくし、じなん  
ぬ いくさんかい さったくとう／とうらった  
くとう わったー いーふえーむちゃーや さ  
んなん やん。(長男、次男が戦争の犠牲にな  
ったので、私のうちの位牌を継ぐ者は三男だ)。  
いーふえーや うやふあーふじぬ なーふだ  
やてい、なーふだぬ くさーんかえー まーち  
やる とうしちちとう ふいーぬ かかっとう  
ん。(位牌は祖先の名札であり、その裏には亡く  
なった年月と日が書かれている)。

**いーふえー** なー 〈戒名〉 【例】いーふえ  
ーなーや うやから めーたる なー とう  
するくとうん あらー、ふとうちから うりて  
い ちょーる なー うぬまま ちかてい と  
うーする くとうん あん。(戒名は親からも  
らった名前を使うこともあれば、仏様からいた  
だいた名前をそのまま使うこともある)。

**いーらー** 〈くらげ、かつおのえぼし〉 【例】  
うちなーぬ なちぬ うめー いーらーぬ う  
ふさくとう、いーらーんかい ささったる ば  
す ねー、あまじゃき くんちゃきてい どう  
く あれーながすん。(沖縄の夏の海はくらげ  
が多いが、くらげに刺されたときには、酢をひ  
っかけて毒を洗い流す)。

**いーん** 〈言う〉【活】いちゃん、いらん、いち  
【例】いーしどう かかいるくとう、まじえー  
っやーがどう っしとうらし よー。(言い出  
した人にあたるべきなので、まずはあなたがし  
てくださいね)。

**いー あーすん** 〈相談する〉 【例】をうと  
うぬ けーていっち いーあーちから (ちゅー  
ごーっしから) やー。(夫が帰ってきて相談  
してからだね)。

**いー あーし** 〈相談〉 【例】をうとうぬ  
けーていっち いーあーしえーしから やー。

(夫が帰ってきて相談をしてからだね)。**【参】**ち  
ゅーごー。

**いー くじーん** 〈皮肉を言う〉 【例】み  
み くじたい、はな くじたい すしえー そ  
ーじどうやくとう しむしが、いーくじやーや  
ちゅぬ くくる やまち、しえー ならん。  
(耳をほじくったり、鼻をほじくったりするの  
では掃除なのでよいが、皮肉を言うのは人の心  
を傷つけてしまい、してはいけない)。あれー  
いっぺー いーくじやー やくとう、ちかんふ  
ーなーっし、どうーちゅいむにー しみとーけ  
ー。(あの人はよく皮肉を言うので、聞かんふ  
りして、言わせておけ)。**【参】**わたくじむにー  
(皮肉のこと)、どうーちゅいむにー (独り言)。

**いー けーしげーし すん** 〈何度もくり  
返して言う〉 【例】ぬぬ くとうびけー いー  
けーしげーしっし ちちぶしこー ねーらん。  
(同じことばかり何度もくり返して聞きたくも  
ない)。

**いー がーえー** 〈言い争い〉 【例】ちょー  
でーぐふわさ っし、ちら あーする かーじ  
いーがーえー そーん。(兄弟姉妹の仲が悪  
くて、顔を合わせるごとに口論している)。

**いー つくわ** 〈言い過ぎ〉 【例】いーっ  
くわ いーぶすこー ちちのーち くいみそー  
り。(言い過ぎ、言い足りないことは聞き直して  
ください)。

**いー しぢーん** 〈言い過ぎる〉 【例】あれ  
ー ちゃー むぬ いーぬ うふさぬ、いーし  
ぢとーん。「くとうば じんぢけー」んち あ  
くとう、いーしぢらんぐとう ちちしみらんと  
ーならん。(あの人はいつもことばが多くて、言  
い過ぎている。「くとうば じんぢけー」(こ  
とばはお金同様に大切に使いなさい) なので言い  
過ぎないように慎まないといけない)。**【参】**く  
ぐにーゆん (慎む)。

**いー たていーん** 〈大げさに言う〉 【例】  
にーん ふあーん ねーん むんぬ、ぬーん  
あらんくとう うっさ まぎく なち いーた  
ていーん。(根も葉もないことなのに、何でもな  
いことをそんなに大きく言いふらす)。**【参】**い



ー たていーん＝いー ふいるぎーん。

いー ちーん 〈ののしる〉 【例】 っちゅぬ  
めーをうてい どうしんかい いーちらって  
い わじとーん。(人前で友人にののしられて  
怒っている)。

いー ちきーん 〈命令する〉 【例】 っちゅ  
んかい いーちきらってい っんぢゅちゅしや  
か いーちきららんでいん どうーくる かん  
げーてい する むん やん。(人に命令され  
て動くよりも命令されなくても自分で考えてす  
るものだ)。

いー だてい 〈大げさ〉 【例】 いーだたー  
(大げさな人)、いーだたーさん(大げさである)。  
ありが はなしえー ちゃー うふむにーびけ  
ーっし いーだたーさん どー やー。(あの  
人の話はいつもほらを吹くばかりで大げさだよ  
ね)。

いー ながしながし すん 〈口ばかりで  
実行に移さない〉 【活】 ～さん、～さん、～っし  
【例】 あちゃー けーすさんでい いやーに い  
ーながしながし なんとーん。(明日返すよと言  
って口ばかりで実行に移さないでいる)。【参】  
なーなー なんとーん やー(延び延びになって  
いるよ)。

いー ならーすん 〈言って教える〉 【活】 ～  
ならーちゃん、～ならーさん、～ならーち 【例】  
わらべー ならーし むんどう やる。くーさ  
る ばすから いーならーち ふどうっわーし  
よー。(子どもは教えていくものだ。小さい頃  
から言って教えて育てなさいよ)。

いー ぬくすん 〈言い残す〉 【例】 いーぬ  
くし しーぬくしぬ あれー、あとうから た  
れーてい うさぎやびーさ。(言い残し、仕残し  
があれば、後で補足して差し上げますから)。

いひー あはー 〈談笑できるさま〉 【例】  
あったーや おーいる とうちん あがやー？  
いち んーちん いひーあはーっし っうい  
ーりきぎさ そーん やー。(あの人たちはけ  
んかするときもあるのかね。いつ見ても談笑し  
て楽しそうだね)。

いー ほーいん 〈言い放つ〉 【活】 ～ほーた

ん、～ほーらん、～ほーてい 【例】 なまぬ だい  
じんぬちゃーや いーぶさかっていー いーほ  
ーてい んなんかい ぬらーってい やみてい  
いちゅしん あとー たたん。(今時の大臣は  
勝手なことを言い放って皆からたたかれて辞め  
ていくのも後をたたない)。

いー ぶさ かっていー 〈言い放題〉

【例】 「ちなぬ あまえー ちかーりーしが、く  
とうばぬ あまえー ちかーらん」 でいぬ く  
がにくとうばんかいん あるぐとう、いーぶさ  
かっていー あびーねー、ちなやかん ちぢど  
う ないん どー。(「綱の余りは使えるが、こ  
とばの余りは使えない」という格言にもあるよ  
うに言いたい放題すると、綱よりも劣ってしま  
うよ)。

いー ぶん 〈言い分〉 【例】 っやー いー  
ぶのー うっさどう やる め？(あなたの言  
い分はそれだけなのか、～うっさ なー？／～  
うっぴ なー？)。

いー みんぐわすん 〈言いまぎらわす〉

【活】 ～みんぐわちゃん、～みんぐわさん、～みん  
ぐわち 【例】 あん いー、かん いーっし い  
ーみんぐわさってい／きじやーさってい、ちゃ  
ー なていいちゆる ばー がやー？(ああ言  
いこう言いして言い紛らわされて／かき回され  
てどうなっていくのかねえ)。

いー むどうすん 〈解消する〉 【活】 ～むど

うちゃん、～むどうさん、～むどうち 【例】 じえ  
ーさのー ゆじらっていん、ぐわんそー むた  
んでい いちやくとう、あとうちぢ いーむど  
うさったん。(財産は譲られても、仏壇は継承し  
ないと言ったら、跡継ぎは解消された)。にーび  
ち すが やーんでい うむいる っちゅぬ  
をうたしが、かんげーよーぬ あーらんとく  
とう いーむどうちゃん。(結婚しようかと思う  
人がいたが、考え方が合わなかったので破棄し  
た)。

いー やんぢゅん 〈言い損なう〉 【活】 ～や

んたん、～やんだん、～やんてい 【例】 いーやん  
たらー、ちちのーちとうらしえー。(言い損なっ  
たら、聞き直してとってくれ)。

いー よー 〈言い方〉 【例】いーよーぬ  
あれー ちちよーん あいどう すくとう、む  
ぬ いーよーや ちー ちきり よー。ありが  
わじとーしえー、っやーが むぬいー たな  
りぬ ねーん てーさ。(ものの言い方があれ  
ば聞き方もあるというから、ものの言い方には  
気をつけなさいよ。あの人が怒っているのはあ  
なたのものの言い様がまずかったんだね)。

い くとうば 〈言い伝え〉 【例】うふっ  
ちゅ なていから っちゅ びれー するくとう  
ないねー、ありくり ちむ まゆい する  
くとうん あくとう、んかしんちゅぬ いく  
うばぬ かなさ ちむに すみてい いちち  
いかな。(社会人になってから人付き合いする  
ことになる、あれこれ心が迷うこともあるの  
で、先祖の言い伝えの有り難さを心に留めて生  
きて行こう)。

いちゃい はんちゃい 〈ああ言ったり、こ  
う言ったり〉 【例】あん いーねー かん  
いーっし あれー いちゃいはんちゃいびけー  
っし、ぬーんでい いちが をうら むさっ  
とう わからん。(ああ言えばこう言ってあの  
人は言い返してばかりいて、何と言っているの  
かまったく分からない)。あれー いぢりぬ ね  
ーんくとう、ちゃー いちゃいはんちゃいびけ  
ー そーん。(あの人は意気地がないので、いつ  
も言い返してばかりいる)。

いちえー はんちえー 〈口答え〉 【例】  
あん いーねー、かん いーっし いちえーは  
んちえー すん。(ああ言えばこう言って口答  
えする)。

いーん 〈入る〉【活】いっちゃん、いらん、い  
っち 【例】っんまがぬちゃー、そー いり  
よー やー。(孫たちよ、良い子になるんだよ)。  
みーぬ いらー、くび をうーりり。(成熟すれ  
ば自然と我は引っ込むものだ、=実れば首を垂  
れる稲穂かな)。

いっちゃんい っんぢたい すん 〈出たり  
入ったりする〉 【例】わん じのー あんし  
いっちゃんい っんぢたいぬ うふさる。(私

のお金はなんと出たり入ったり[語順が逆にな  
る]するのが多いことか)。

いーん 〈要る〉【活】いっちゃん、いらん、い  
っち 【例】っやー いらー、ゐーれー／むっち  
いけー。(あなたが要るなら、もらいなさい／  
持って行きなさい)。いらんだらー、っんまんか  
い うちきとーけー。(要らないなら、そこに置  
いておきなさい)。【参】ゐーてる じん む  
る ちかてい ねーらん (もらったお金をすべ  
て使ってしまった)；っやー いりゅー やれ  
ー ゐーれー (あなたが必要だったら、もらい  
なさい)。

いく〜〈幾〉 【例】いくち (いくつ)、いくた  
い (幾人)、いくけーん (幾度、何回)、いっか  
(何日)。ちゅーや うちな一ぐゆみしえー い  
っか なとーが？(今日は陰暦では何日になっ  
ているのか)。っやー とうしえー いくち  
なとーが？(あなたの歳はいくつになっている  
の)。

いくさ 〈戦争〉 【例】ういなごー いくさぬ  
さちばいんでい いーしえー、なま でーじ  
な くとう ないっさ やーんでい りんとうち  
(=ぬちがかやー ない りんとうち)、ういなご  
ー ういきがやかん ふりぢからぬ っんぢー  
んでい くとう やん。(女は戦争の先走り  
というのは、今に大変なことになるといとき  
(=命がけになるとき)、女は男よりもバカ力  
が出るということだ)。

いくさぐわー しえー 〈戦ごっこ〉 【例】  
いくさ あとー ういきがわらびんちゃーぬ  
あしべー いくさぐわーしえーぬ ふえーとー  
たん。(戦後は男の子たちの遊びは戦争ごっこ  
が流行っていた)。

いぐますん 〈計画する〉【活】いぐまちゃ  
ん、いぐまさん、いぐまち 【例】くとうしえ  
ー ぬーがな いぐまちよーん くとうぬ あ  
み？(今年は何か企画していることがあるか)。  
ちゃーっし ぬー すんでい いぐまちよー

が？(どのようにして何をするかと計画しているか)。ぬー いぐまちょーが？(何を計画しているか)。うまちぬくとう いぐまちょーみ？(祭りのことを計画しているか)。

**いぐまし** 〈企画、事業〉 【例】うちなーぐち  
ふいるみーる いぐましぬ いちかー かな  
なじ はな さちゆる とうちぬ ちゅーん。  
(沖縄語を広める事業がいつかは必ず実るとき  
が来る)。

**いさとうー** 〈カマキリ〉 【例】あぬ うい  
なぐんかい ぬーんでいん いーねー、みーん  
とうじゃ なてい いさとうーぬぐとうっし  
んかてい ちゅーん。(あの女性に何かでも  
言うと、目も鉾のようにしてカマキリのように  
向かってくる)。

**いさみーん** 〈励ます〉【活】いさみたん、い  
さみらん、いさみてい 【例】うんな ばすねー  
ぬらんぐとう、いさみていどう とうらす  
る。(そんなときには叱らないで励ましてやる  
ものだ)。

**いし** 〈石〉

**いし かぶい** **じょー** 〈石積みの門〉  
【例】じょーぬ にぢり ふいぢやいんかい ま  
ぎいし ちでい うっちゃきてい ちゅくらっ  
とーる いしかぶいじょーぬ なまん なかぐ  
しくをうてー んーだりーん。(門の左右に大  
きな石を積んで置いて造られている石積みの門  
が現在でも中城では見られる)。

**いし がんとうー** 〈石敢當〉 【例】みちぬ  
ちちあたいる とうくまんかい いしがんと  
ー たていーやーに、やなむん ばれー すん。  
(道が突き当たるところに石敢當を立てて、邪気  
払いをする)。

**いし きじやい** 〈石段〉 【例】くぬ うて  
いらまでー ひゃーくはちだんぬ いしきじや  
い ぬぶらんとーならん。(このお寺までは1  
08段の石段を登らないといけない)。

**いし ぐー** 〈細かい砂利〉 【例】なーぢゅ  
くいんかい いしぐー ちかいねー、あみぬ

ふていん じゃかじゃかん さん、きーくさん  
みーぐりく なてい、んーちん ちゅらく  
ないん。(庭造りに砂利を使うと、雨が降っても  
じめじめしない、雑草も生えにくくなって、見  
た目にも美しくなる)。

**いし くびり** 〈石ころの小さな小道〉 【例】  
なまー いしくびりぬ ねーん なてい く  
ちりーん ならん なんとーん。(現在は石ころの  
小道がなくなって近道もできなくなっている)。  
むらぬ いしくびり んぞ ちりてい ぬぶい  
しが、なーふいん いしくびり あらわ。(村の  
石ころ小道をあの人を連れて登るが、もっと石  
ころ道があれば)。

**いし じょー** 〈石門〉 【例】うちなーぬ  
ぐしくんかえー ちびらーしく いしぢみ さ  
っとーる いしじょーぬ あん。(沖縄の城に  
は見事に石積みされた門がある)。

**いし ぢ** 〈礎石〉 【例】いくさをうてい  
ぬち うとうちやる っちゅぬちやーや いち  
まんぬ いしぢんかい まちらっとーん。(戦  
争で命を落とした人々は糸満の礎石に祀られて  
いる)。**【参】**いくさんかいどう ぬち とうら  
ったる。(戦争で命を奪われた)。

**いし なーぐー** 〈小石遊び〉 【例】んか  
しぬ ういなぐわらびぬ あしびんかい、たま  
ぐわー あたいぬ いし いちち ゆかんかい  
ふいるぎやーに はじめー ていーち っう  
いーんかい あぎてい、あがとーる っうえー  
だに ていーちなー ふいるてい、うていてい  
ちゅーる いしん すくてい する あしび  
やしが、くんどー たーちなー、また みーち、  
しめーねー ゆーちまでい すん。うりから、  
ていーぬ わたんかい いちち うちきやーに  
っういーんかい なぎてい ていーぬ なー  
んかい うきとうたる いし またん なぎて  
い ちゃっさ すくいーすたが、んでいる  
あしび やたん。(昔の女の子の遊びに、石玉を  
5つ床に拵げて初めは1つ上に上げて、上がっ  
ている間に1つずつ拾って、落ちてくる石も受  
け止める遊びだが、今度は2つ、次に3つ、終  
いには4つまでする。それから、手の中に5つ

置いて、上に投げて手の甲に乗せることができた石をまたも投げて、いくつ受け止めることができたか、という遊びだった。

**いし みち** 〈石畳道〉 【例】んかしぬ すいぬ みちえー いしみち やてい、にーやかたみてい くるまー とうーらんたん。(昔の首里の道は石畳道で、荷物は担いで車は通らなかった)。

**いしえー** 〈くわしいこと〉 【例】ぬーんち あん なたが、いしえーに はなち んーでー。(どうしてそうなったのか、くわしく話してみなさい)。いーぬ レントゲンあらたみぬ はなし いしえーに ちちゃん。(胃にレントゲン検査の説明をくわしく聞いた)。いしえーや うぬとうち なていから わかいさ。(仔細はそのときになってから分かるよ)。

**いそーさ すん** 〈嬉しがる〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】みーやー ちゆくたい、にーびち さい、つくわっんまが もーきたる ばすねー、っちょー ふしがらん あたい いそーさ すん。(新築したり、結婚したり、子や孫をもうけたときには人はこのうえなく嬉しがる)。【参】うっさくわったー すん(嬉しがる)、っういーりきさ すん(喜ぶ)。

**いた ぢり** 〈板切れ〉 【例】んかしぬ わらびんちゃーや まーくいーから いたぢり とうめーてい ちゃーに くるまぐわー ちゆくたい やーぐわー ちゆくたいっし あしだん。(昔の子どもたちはあちらこちらから板切れを探して来て車を作ったり家を作ったりして遊んだ)。

**いち** 〈1〉 【例】いちめー(1枚)、にんめー(2枚)、さんめー(3枚)、ゆんめー(4枚)、ぐんめー(5枚)、るくめー(6枚)、ななめー(7枚)、はちめー(8枚)、きゅーめー(9枚)、じゅーめー(10枚)。いっす(一升)、にす(二升)。

**いち でーじ** 〈大変困ったこと〉 【例】てーしちな むん やーんかい わしやーに ひ

こーき どうでいあとうから なー いちでーじ なたんでい どうまんぐいたん。(大切なものを家に忘れて飛行機が飛んだ後で大変なことになったとうろたえた)。

**いち ばん どうい** 〈一番鶏〉 【例】やーむちむんぬ ういなごー あかちちぬ いちばんどういぬ なちぐいーさーに うくさってい、うぬ なちぐいーぬ とうちーがーい なとーたん。(一家を支える働き者の女性は暁の一番鶏の鳴き声に起こされて、その鳴き声が時計代わりになっていた)。

**いち ぶん** 〈独力で〉 【例】わったー くわいしやー たー ていーん かからん、どうー いちぶんさーにどう っし ちょーん どー。(私たちの会社は誰の手にもかからず、独力でやって来ている)。わったー ちねーや どうー いちぶんさーにどう やーや むっちょー。(私の家庭は自分たちだけの力で家事をしている)。

**いち** 〈池〉 【例】なーんかい っちゆぬ ちゆくてーる むのー 「いち」んでい いち、あみぬ たまてい なんくる でいきとーる むのー 「くむい」んでい いちよーん。(庭に人が造ってあるものは「いち(池)」と言って、雨がたまって自然にできているものは「くむい(沼)」と言っている)。

**いち** 〈いつ〉 【例】いち すが?/いち ちゅーが?/いち いちゅが?(いつするか/いつ来るか/いつ行くか)。いちいちまでいん かなさっし くいみそーり よー。(いつまでもかわいがってくださいね)。いちまでいん あたらさ しー よー やー。(いつまでもそれを大切にしてくれ)。

**いぢ** 〈勇氣、根氣、怒り〉 【例】いぢやー/いぢ ちらー/いぢ ちりやー(勇氣がある者)。いぢぬ あん。(勇氣がある)。いぢ っんぢやしえー。(勇氣を出しなさい)。いぢ ちーん。(勇氣を出す)。あれー いぢ ちりとーん どー。(あの人は勇氣があるよ)。わかさる とう

ちえー どうーてーしん むちゆしが、はっく  
じゅー なてい からー いぢしどう どうー  
や むっちょーる。いち してーいねー、な  
ー たびんかい どー。(若いときには体でも持  
つが、8、90 年ってからは根気で体を持って  
いるものだ。根気を捨てたら、もうあの世への  
旅だよ)。いちぬ っんぢらー ていー ふい  
き、ていーぬ っんぢらー いぢ ふいき。(腹  
が立ったら手を引き、手が出たら怒りを静めな  
さい)。

**いちか** 〈いつか〉 【例】いちか まーがな  
をうてい またん いちやいぶさっさ やー。  
(いつかどこかで又会いたいね)。

**いちちゅん** 〈生きる〉【活】いちちゃん、い  
ちかん、いちち 【例】うやぬ いちちよーる  
っうえーだー うやぬ いーしえー ちちゆし  
どう うやぬ こー やる。(親が生きている  
間は親の言うことを聞くのが親孝行だ)。あり  
が しーや いちちよーる かぢり はれーう  
ーさんさ。(あの人の負債は生きている間には  
払えないよ)。

**いち ぢむ** 〈人間としての心〉 【例】っちゅ  
びれーや いちぢむぬ でーいち どー。(人  
付き合いは心が第一だよ)。いちぢむ むっ  
ちよーてい うんなくとうん ゆー ないる、ふ  
いるまさっさ やー。(人の心をもっていてそ  
んなことがよく出来るものだ、不思議だね)。

**いちからん いちち すん** 〈苦しい生き  
方をする〉 【例】とうじぬ をうらん なて  
いから めーがめーなち いちからん いちち  
そーっさー。(妻がいなくなってから来る日  
も来る日も苦しい生き方をしているよ)。

**いち はじ** 〈大恥〉 【例】とうしぢり ス  
ーパーから うほーく こーてい、レジをうて  
い じん はらいんでい さくとう、じんいり  
ー むっちえーねーんしぬ わかてい、いち  
は じ かちゃん。(年末スーパーからたくさん買  
って、レジでお金を払おうとしたら、財布を持  
ってないことが分かってとても大恥をかいだ)。  
いち は じ かちどう っやーや わかいさ。(大

恥かいてからお前はわかるよ)。【参】は じ か  
ちやー (恥をかいてばかりいる者)、ばち か  
んじやー (罰あたりの者)。

**いち まぶい** 〈生き霊〉 【例】さた しー  
ねー、いちまぶいぬ ゆてい ちゅーん どー。  
(噂をすると生き霊が寄ってくるよ)。

**いちみとう とうーみー** 〈一生涯〉 【例】  
ありが しえーる しーや みみたき くいー  
とーくとう、いちみとうとうーみーや けーし  
えーうーさん どー。(あの人が抱えている負債  
は耳丈を越えているので、一生涯返せないよ)。

**いち むし／いち むん** 〈動物〉 【例】  
いちむしえー っくわ なち ふどうっわーす  
しが、きーくさー ふどうっわーすしえー さ  
ん。(動物は子を産んで育てるが、植物は育てる  
ことはしない)。

**いちかすん** 〈生かす〉【活】いちかちゃん、  
いちかさん、いちかち 【例】どうしから め  
ーたる みじらさる らんぬはなー いっとう  
ちえー かりーがーたー なたしが、ゆー て  
いー いってい いちかちゃん。(友人からも  
らった珍しい蘭の花は一時は枯れそうになった  
が、よく手入れして生かした)。【参】いちきー  
ん (生かす) とも言う。

**いちまん** 〈糸満〉 【例】いちまん ういな  
ごー ゆー はたらちやー やてい ういきが  
まさいんでい いらっとうる。(糸満女性は  
働き者で男勝りと言われている)。

**いぢり** 〈意気地、気力〉 【例】いぢり むん  
(しっかりしている者)。あれー いぢりむち  
やくとう、ふえーりっしん する はじ。(あ  
の人は気力があるので、早く成功するだろう)。  
いぢり むたんとー、ぬーん ならん どー。  
(しっかりしないと何も出来ないよ)。いぢり  
むっちどう ぬーぐとうん ないん。(気力を  
もってこそ何事も成る)。なまぬ わらびんち  
やーや いぢりぬ たらーん。(今時の子ども  
たちは生きる力が足りない、＝ちむよーさん)。  
いぢりぬ ねーん やー。あれー しかまくと

うーどう やる。(意気地がないね。あいつは見栄っ張りだ)。

**いちん** 〈意見〉 【例】あれー あびらしえー からー いちんぬ ちゅーさぬ やー。(あの人はいったん言わせてしまうと意見をよく言うね)。

**いちゃーすん** 〈引き逢わす、帳尻を合わせる〉【活】いちゃーちゃん、いちゃーさん、いちゃーち 【例】ありが さた さくとう いちゃーさってーさ やー。(あの人の噂したら引き逢わされたんだね)。みーとうんだー めんぬ あていどう いちゃーさっとーる。(夫婦は縁があって引き逢わされている)。わかさる とうちえー ていまーん いきらさたくとう、いりめーとう っんぢりめー いちゃーすんでいち しーいっぺー そーたん。(若いときは手間賃も少なかったので、収入と支出を帳尻合わせするのに苦労していた)。

**いちゃいん** 〈出逢う〉【活】いちゃたん、いちゃらん、いちゃてい 【例】たー いちえーが ちゃが?(誰に逢いに来たのか)。いちゃりば ちょーでー、ぬー ふいだていぬ あが?(出逢えば兄弟姉妹、何の隔てがあるものか)。さーていー? わん ていーや いんちゃさぬ なーだ いちゃてー をうらん。(触ったか? 私の手は短くてまだ届いていない)。

**いちえー かんていー すん** 〈逢えないままにいる、長さが足りない〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】ありが やーんかい いくけーん っんぢん をうらん、ありんかい いくけーん でんわしん ありからー かかていくーんくとう、うぬまーまー なてい いちえーかんていー そーん。(あの人は家に何度行っても居ないので、いくら電話してもあの人からはかかって来ない、そのままになって逢えないままにいる)。でんきぬ コードぬ いんちゃさぬ、さしくみんかい いちえーかんていー そーん。(電気コードの短くて、差し込みに届かない)。くえーてい わた しみーる バンド

ぬ いちえーかんていー そーん。(太ってお腹をしめるバンドが届かなくなっている)。

**いちえー ぐりー／いちえー ぐらー** 〈逢にくい人〉 【例】あれー いちゅなさる っちゅ なてい いちえーぐりー どー。(あの人は忙しい人なので逢にくい人だよ)。

**いちえー はんすん** 〈逢いそびれる〉【活】～はんちゃん、～はんさん、～はんち 【例】あれー いちゅなさる っちゅ なてい、いちえーはんちゃん。(あの人は忙しい人なので、逢いそびれた)。

**いちゃさ すん** 〈惜しむ〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】っちゅぬ くとうんかい ちかいる じのー いちゃさ する むのー あらん。(人のことに使うお金は惜しむべきではない)。

**いちゃ がらすー** 〈イカの塩漬け〉 【例】いちゃがらすーや いちゃぬ まーすぢきー やしが、からすぐわーとう めぬむん とーふぬ っういーんかい ぬしてい かみーねー まーさん。(「いちゃがらすー」はイカの塩漬けだが、「からすぐわー(小魚の塩漬け)」と同じもので、豆腐の上にのせて食べるとおいしい)。

**いちゃんだ** 〈ただ、無料〉 【例】んーぢゅしえー いちゃんだ やさ。ふいないる むのーあらんくとう、 ちゃっさ やていん んーでー。(見るのはただだよ。減るものでもないの、いくらでも見なさい)。いちゃんだくわっちー あとうぬ あんまさ。(ただのごちそうは後が怖い)。

**いちゃんだ うい** 〈捨て売り〉 【例】どうく ないぢゅーさぬ、いちゃんだうい やていん さねー ならんくとう、じゃーふえー やさ。(あまりにもでき過ぎて、捨て売りでもしないとならないので、困ったことだね)。

**いちゃんだ がみ** 〈ただ食い〉 【例】ぐすーじぬ ある とうくま まーていあっちくわっちー いちゃんだがみ そーん。(お祝

いの場をまわり歩いてご馳走をただ食いしている)。

**いちゃんだ ぢけー** 〈ただで使うこと〉  
【例】どうーぬ むのー くめーきてい すしが、つつゆぬ くるま かとーてい いちゃんだぢけーっし くるまぬ あんだん いってーをうらんさ。(自分のものは儉約するのに、人の車を借りてもただ使いして車のガソリンも入れてない)。

**いちゃんだ むぬ** 〈ただの物〉 【例】いちゃんだむのー に一だかさんでい やまとうをうてー いらっとうしが、うちなーをうてーけーすしえー じぬん むぬん あらん、にふえーどーんではいる ちむどう やる。(ただの物は高くつくとも内地では言われているが、沖縄では返すのはお金でも物でもない、ありがたいという気持ちでしかない)。

**いちゆく** 〈従兄弟〉 【例】ありとう わんとうー いちゆく やしが、とうしん あぬむん。(あのひと私は従兄弟だが、歳も同じだ)。

**いちゆた** 〈ちょっとした間〉 【例】いさぬやーんかい いちゆる めーに いちゆたぬはんし そーきわどう やる。(病院に行く前に応急措置をやっておかないといけない)。  
【参】はんし (一時的な処置)。

**いちゆび** 〈イチゴ〉 【例】いちゆびぬ かんとうしえー とうらんぐとう くーりみじんかい ちきていから かみーねー まーく かまりーんでい いちよーしが。(イチゴのへたは取らないで氷水に浸けてから食べるとおいしく食べられると言っているが)。

**いちえー かじ** 〈出逢いの悪霊〉 【例】いちえーかじ あたてい、どうーざわい はだざわい そーん。(悪霊に出逢って、体が痛くてじんましんが出ている)。  
【参】っわーばぐとう さくとう、っやーまでい さーい うきとうしえー (余計なことをしたので、あなたに不都合を招いている)。

**いちゆん** 〈行く〉【活】っんぢゃん、いかん、っんぢ

**いち しちとーん** 〈行き過ぎる〉 【例】っやー むのー どうくから いちしちとーん どー。(あなたのすることはあまりにも行き過ぎているよ)。

**いち むどうい** 〈往復〉 【例】しくちんかい くんだてい まーにん いからん、めーなち しくちとう やーとう いちむどういびけー そーん。(仕事に縛られてどこにも行けなくて、毎日仕事と家の往復ばかりしている)。

**いちゆんてー いかんてー すん** 〈行くと言ってみたり行かないと言ってみたりする〉

【例】いちゆんてー いかんてー っし、あんいー かんいー すくとう、いみくじ わからん。(行くと言ってみたり行かないと言ってみたりあれこれ言うので、訳がわからない)。

【参】「いちゆんでい いちやい いかんでい いちやい すん」も同義。

**いちえー ちげー** 〈行き違い〉 【例】ありとうー ぬーが やら いちえーちげーぬ あてい ちゃーしん いちやーららん。(あのひととはどうしたものか行き違いがあつて、どうしても逢えない)。っやーとう わんとうー かんげーぬ いちえーちげー そーん やー。(あなたと私は考えが合わないね)。

**いっさん** 〈走って〉 【例】いっさん なてい/いっさんばーえーっし いけー (一目散に走って行きなさい)。

**いっそー** 〈普段〉 【例】いっそーや あねー いらんむんぬ、ぬーんち ちゅーや あん いちよーが? (普段はそんなこと言わないのに、どうして今日はそう言っているの)。

**いっそー ちやー** 〈普段着〉 【例】くぬ ハワイぬ ムームーや ふいるびるーとうっし いっペー ちーやっさくとう、いっそーちやー じょーとうー やん。(このハワイのムームーはゆったりして着やすいので、普段着に良い)。  
【参】やーからー ちやー (普段着)。

**いっそー なーでいー／ちび なーでいー** 〈残らず〉【例】なー けーいる じぶん やくとう、でいか いっそーなーでいー／ちびなーでいー しじみてい けーらな。(もう帰る時間だから、残らず片付けて帰ろうか)。

**いったー はらー** 〈あなたたちの側〉【例】わったーめーや あったに まっくーるー なやーに うふあみぬ うていとーたしが、いったーはらーや あめー ふとーていー？(私たちの前は急に真っ黒くなって大雨が降っていたが、あなたたちの側は雨は降っていたか)。わったーめーや あかがてー をうしが、いったーはらーや まっくーるー なてい かたぶえー しえー をうらん がやー？(私たちの前は明るくなっているが、あなたたちの側は真っ黒くなって片降りしてはいないか)。

**いっとうがよー** 〈おはじき〉【例】んかしういなぐわらびぬ あしびんかい いっとうがよー ちかてい、はんちゃー あしび、いくち あが んでいーる かじあてい あしび、ていーぬ わたから ていーぬ なーんかい うちけーてい っういーんかい あぎやーに すくいる あしびぬ あたん。(昔の女の子の遊びにおはじきを使って、はじく遊び、いくつあるかという数当て遊び、手のひらから手の甲へ置き換えて上にあげて驚掴みする遊びがあった)。

**いっとうち** 〈片時〉【例】ぐまわらばーからー いっとうちん みーはなさらん みーくーげーちょーん ならん どー。(幼児からは片時も目がはなせない、まばたきさえもできないよ)。

**いとういん** 〈嫌がる〉【活】いとうたん、いとうらん、いとうてい 【例】ういきがー たーやていん ちゅらかーぎー まし さーに、やなかーぎー いとうてい ーだんふーな

すんでい いーしが、んかしくとうばんかえー「かーげー かーどう やる」んでいん あん。(男性は誰でも美人を好んで、不美人を嫌がって見ないふりするというが、昔から言い古された言葉に「容貌は皮一枚」というものもある)。

**いなか んちゅ** 〈田舎(出身の)者〉【例】いなかんちょー たんかーまんかー むる どうーぬ やーにんじゅぬ ぐとう ふいれーすくとう、すい なーふあとー ちがてい っちゅびれー しーやっさん。(田舎出身の人は隣り近所と自分の家族のように付き合うので、首里那覇とは違って付き合いやすい)。

**いなむどうち** 〈猪料理〉【例】いなむどうちえー やまじし ちかていぬ くわっちーやたしが、なまー っわーじし ちかとーん。(「いなむどうち」は猪を使う料理だったが、現在は豚肉を使っている)。

**いばいん** 〈威張る〉【例】ぬーぬ いばいるくとうぬ あいが すら、あぬ いばやーやちゅーばーふーなー そーん。(いったい何の威張ることができるのか、あの威張っている者は虚勢を張っている)。

**いば〜**〈狭〉【例】いばさん(狭い)の接頭辞化(宮良 2019a:161-163 頁を参照)。

**いば どうくる** 〈密集している所〉【例】なーふあぬ まちぐわーや いち っんぢやんてーまん いばどうくる やさ やー。(那覇の市場はいつ行っても混雑しているね)。あつたーや うっさきーぬ うふやーにんじゅ なとーてい あんし いばどうくるんかい しまとーん やー。(あの人たちはあんなに大家族なのにあんなに窮屈にして住んでいるね)。  
【参】 っちゅぬ みっちやかーん そーる とうくる (人がいっぱいいる所)。

**いばいぬ みー** 〈狭苦しいところ〉【例】いくさ ゆーや がまぬ いばいぬみーんかい ふいーたいん っちゅぬちゃーん くわっく



いとーたん。(戦時中は洞窟の狭苦しいところに兵隊も民間人も隠れていた)。MRI っし やんめーしらび すんでいち いばいぬみーんかい いりらってい、どうーぬ っんぢゅからん なてい っんまから っんぢらりーがすらんでいち ちむ だくだく そーたん。(MRI で検査をするといつて狭苦しいところに入れられて、身動きできなくなってそこからいったい出られるのかと胸がどきどきしていた)。

**いま** 〈新鮮なもの、現世〉【例】いまいゆ(新鮮な魚)、いまむん(新鮮な動物性のもの)、いまゆー(現世)。いまでー ぐわんす(3世代までの元祖)。【参】なかぬ ゆー(4世代~20世代の世、=なかでー ぐわんす)、さち ゆー(20世代以上も前の世、=っういーでー ぐわんす)。

**いみ** 〈夢〉【例】みーくーていからー ちゅけーんちょーん いめー みしらん どー。ぬーがな いーぶさるくとー ねーやびらん がやー?(亡くなってから一度も夢は見させてくれないよ。何か言いたいことはないのかねえ)。

**いみ あき** 〈忌み明け〉【例】いみあけー さんにん かかいくとう、うぬ っうえーだー うゆうえー さい、やー ぢゅくい さい、やーうーちー さい しえー ならんでい。(忌み明けは3年かかるので、その間はお祝いしたり、家を築いたり、引っ越しをしたりしてはいけないうって)。

**いみーん** 〈催促する〉【活】いみたん、いみらん、いみてい【例】ふえーたいぬ アミリカーたーや うちなーから ふえーくなー っんぢてい いけーんでい いみらっとーん。(軍人のアメリカ人たちは沖縄から早く出て行けと催促されている)。ふえーくなー わん とうじっし とうらしよーんでい あーいる かーじ いみらっとーん。(早く私を妻にしてと出会うごとに催促されている)。かとーる じん ふえーくなー けーしえーんち どうしから

いみらっとーん。(借りているお金を早く返してと友人から催促されている)。

**いみ すん** 〈量が増す〉【活】~さん、~さん、~っし【例】くみんかい っんむ いったい、まーみんでー まんちきーねー くみぬ いみすん。(米に芋を入れたり、豆などを混ぜると米の量が増す)。くぬ スプレーや ちゅばちなかい うほーく っんぢていちゅーくとう いめーさん。(このスプレーや一度に多く出て来るので無駄が出る)。わらびぬ うふさる とうくろー あちびーぐわー ちゅくてい かましーねー くめー いみ すん。(子どもの多いところは粥をつくって食べさせると米の量が増す)。

**いめんしえーん** 〈いらっしやる〉【活】いめんそーちゃん、いめんそーらん、いめんそーち

**いめんしえーびーん** 〈いらっしやる〉【活】いめんしえーびたん、いめんしえーびらん、いめんしえーびてい【例】うんじょー やまとうんかい いち めんしえーびーが?(あなた様は本土にいついらっしやいますか)。をうとー やーんかい いめんしえーびーみ?(ご主人はいらっしやいますか)。いめんしえーびり。(いらっしやいませ)。【参】うけーいみしえーびーん なー?(お帰りになりますか)。

**いゆ** 〈魚〉【例】いちまのー をうとー いゆとうやー、とうじえー いゆうやー そーたん。(糸満の人は夫は魚捕り、妻は魚売りをしていた)。うちなーぬ いゆんでい いーねー、ぐるくん などーん。(沖縄の魚というとグルクンです)。いゆまちん やしえーまちん ちちやるくとー あしが、ししまちんでい いしえー ちちやる くとー ねーらん。(魚市場も野菜市場も聞いたことはあるが、肉市場というの聞いたことはない)。

**いゆぬ みー** 〈魚の目〉【例】ふいさぬ うらんかい いゆぬみーぬ っんぢやーに

あっちぐりさっさー。(足の裏に魚の目が出来て歩きにくい)。

**いらーすん** 〈一時立て替えて貸す〉【活】いらーちゃん、いらーさん、いらーち

**いらいん** 〈一時立て替えて借りる〉【活】いらたん、いららん、いらてい 【例】んかしえー たんかーまんかーとー ちゅい たしきだしき っし、んーす、まーす、そーゆー、くみ、あんだ いふえー わきていとうらする くとうんかい 「いらーすん」でい いちよーたん。(昔は隣近所と助け合って、味噌、塩、醤油、米、油を少量分けて与えることに「いらーすん」と言っていた)。

**いらな** 〈鎌〉 【例】うちなーぐゆみぬ しちぐわち しちにちねー、うやふあーふじんかい うんけーねー めんそーり よーんちぬ うんちけー かきーが、ほーちん いらなん むっち うふあかんかい そーじしーが いちゅん。(陰暦の7月7日には、ご先祖様にお盆の入りにはいらっしやってくださいねとのご案内をしに、ほうきも鎌も持ってお墓に掃除に行く)。

**いらぶん** 〈選ぶ〉【活】いらだん、いらばん、いらでい 【例】うちなーからー オリンピックんかい いくたい いらばっとーが?(沖縄からはオリンピックに何人選ばれているか)。  
**いらび ぬくし／いらび ぬくさー** 〈選び残し〉 【例】なま じぶのー いらびぬくさーぬどう あくとう、あちゃー こーいしえー まし やさ。(今時分は選び残しの物しかないので、明日買う方がいいよ)。

**いらび つんぢやすん** 〈選び出す〉 【例】ないむんとうか やしえー こーいねー、じよーとうーから いらびつんぢやすん。(果物や野菜を買うときは、よい物だけを選び出す)。

**いりーん** 〈入れる〉【活】いったん、いりらん、いってい 【例】つういーぬ っちゅぬちやーが どうーぬ いちやるくとう しえー とうらさんくとう、ふだ いりーが いちゆる

っちゅぬ たった いきらくない ちょーん。(代議士たちが自分の言ったことをしてくれないので、投票に行く人がだんだん少なくなってきている)。ちゃー いってーくとう、ゆく(い)みそーれー。(お茶を入れてあるので、休憩しなさい)。

**いり けーいん** 〈入れ替える〉【活】いりけーたん、いりけーらん、いりけーてい 【例】ぐまなーびんかい いっちよーるむん まぎなーびんかい いりけーれー。(小さい鍋に入っている物を大きい鍋に入れ替えなさい)。はな ぴーぴー そーるむんぬ、んだ! あちこーこーとう いりけーら。なまー ゆー あちりとーさ。(鼻づまりしているのに、どれ! 暖かいのと入れ替えよう。今はよく暖まっているよ)。

**いり けーらすん** 〈入れ替えさせる〉【活】いりけーちゃん、いりけーさん、いりけーち 【例】うほーく にらっとうーくとう、しえーしん っし(=いりけーらち) かみ よー。(たくさん煮てあるので、お代わりして食べてね)。

**いりち** 〈鱗、ふけ〉 【例】いゆぬ いりち(魚のうろこ)。ちぶる あらてい いりち とうしえー。(頭を洗ってふけを落とせ)。

**いりちゅん** 〈炒める〉【活】いりちゃん、いりかん、いりち 【例】やーさたら やー。しぐなま いりちゅくとう いふえー まっちょーき よー。(お腹すいたでしょう。今すぐ炒めるから待っていなさいよ)。そーみのー いりちー?(そうめん炒めたか)。そーみん いりちー／いりちゃー(そうめん炒め)。くーぶ いりちー／いりちゃー(昆布炒め)。まーみなーちゃんぶるー(もやし炒め)。

**いりめー** 〈収入〉 【例】とうしじりに ちーてー、いりめー 55まんゑん、つんぢふあ 50まんゑんでい らしめ あたん。(年度末収支決算については、収入55万円、支出50万円という報告があった)。

**いりゆー** 〈必要〉 【例】つやー いりゆー

やらー、むっち いけー。(あなたが必要なら、持って行きなさい)。

**いりむくー** 〈入り婿〉 【例】いりむくーや  
やまとうぬ なれー やてい、うちなーをう  
てー やしないんぐわー ちーかーから／まが  
らから とういん。(入り婿は本土の慣わしで、  
沖縄では養子は血族から／親類から取る)。

**いりわい** 〈口論〉 【例】いりわい すん(口  
論する)。

**いる** 〈色、血色〉 【例】めー いちゃたる  
とうちねー いるぬがー そーたしが、なまね  
ー いるん っんぢてい まし などーさ や  
ー。(前に出逢ったときには青白かったが、今で  
は血色も出て良くなっているね)。

**いらー** 〈好色者〉 【例】あれー ぬーんち  
(=ちゃー やくとう) いらーんでい いらっ  
とーが?(あの人はどういうわけで好色者と言  
われているのか)。【参】いる じち(色好き)。

**いる かし** 〈いろいろ〉 【例】いったー  
なーや はなぬ いるかし さちよーてい い  
っぺー あからくわーら そーくとう、なぬ  
きーくさん めんそーれーんち っういーり  
きさ そーんねー やん やー。(あなたの家  
の庭は花がいろいろ咲いていてとてもきれいな  
ので、庭の草木もいらっしやいといって喜んで  
いるようだね)。

**いる そー もーそー** 〈驚いて顔色が青く  
なるさま〉 【例】あつたに じてんしゃぬ  
とうんぢていちゃーに たまし ぬぎてい い  
るそーもーそー などーたん。(急に自転車が  
跳び出してきて驚いて顔色が青くなっていた)。

**いる ぶり** 〈好色(女性にのみ用いる)〉

【例】ういきがんでいーる いちむんや うい  
なぐびけー とうめーてい あっちょーしが、  
ういなごー いるぐとうんかい あっちえー  
ならん どーんでいーる ならーしぬ あん。  
あん やくとう、いるぶりや ういなぐびけー  
んかい ちかーりーるくとう などーがやー?  
(男という生き物は女だけを探し歩いているが、  
女は色事には走ってはならないという慣しがあ  
る。それで、「いるぶり」は女性にだけ使われる  
ことになっているのかねえ)。いるぶらー=う  
いきがぶらー(男好き)。

**いるみー わかすん** 〈選り分ける〉【活】

いるみーわかちゃん、いるみーわかさん、いる  
みーわかち 【例】あれー っちゅ いるみー  
わかち、たーとうん たーとうん どうしえー  
さん どー。(あの人は人を選り分けて、誰と  
でも友人になることはしないよ)。

**いれーいん** 〈答える〉 【例】ふいじふいん

とー する ばすねー、ちかーりーるくとう  
いれーり よー。(返事するときには、聞こえる  
ように答えなさいよ)。いれーはんちやい す  
ん。(返答する)。

**いん** 〈犬〉 【例】えーそーぬ あたらん っち

ゅぬちゃーんかい うちなーをうてー いんと  
う まやー んでいいち、ちら あーしねー  
かんなじ いりわいぬ うくりーん。(相性が  
合わない人たちを沖縄では犬と猫と言って、顔  
を合わすと必ず口論が起こる)。いん ちかな  
てい ていー くわーりーん。(犬を飼って手  
を噛まれる)。

# う

**うい** 〈ウリ〉 【例】ういぐわーや どうーぬ  
にち とういん。(キュウリは体の熱をとる)。  
ういぐわー かみーねー、どうーぬ にち さ  
ぎーん。(キュウリを食べると、体の熱を下げ  
る)。

**ういん** 〈売る〉【活】うたん、うらん、うてい  
【例】むぬ ういん。(物売る)。

**うらん** ぬー 〈見切り品〉 【例】うらら  
んぬー ういる じぶんに あーち、こーいが  
ちゅーる っちゅん をうん。(見切り品を  
売る頃に合わせて、買いにくる人もいる)。

**ういん** 〈織る〉【活】うたん、うらん、うてい  
【例】んかしぬ あんまーたーや どうーくる  
ぬぬ うてい どうーぬ ちのー ちゅくて  
い ちちよーたんでい。なまー うんなくとう  
ないる っちゅぬ いきらく なてい まぎ  
じん っんぢゃちどう うちなーぢぬん こー  
らりーる。(昔のお母さんたちは自分で布を織  
って自分の着物を作って着ていたんだって。現  
在はそんなことができる人が少なくなって大金  
を出してしか沖縄で織った着物も買えない)。

**うーいん** 〈追う、従う〉【活】うーたん、うー  
らん、うーてい 【例】「くとうば じんぢけー」  
やくとう、ちゃー やなぐちびけー しーねー、  
くとうば うーてい うぬ とうーい ないく  
とう、ゆー ちちしみ よー。(「ことばはお金  
のように大切に使うもの」だから、いつも悪い  
言葉を使うと、ことばを追ってその通りになる  
ので、よく慎みなさいよ)。うや うーてい な  
まー いさ などーん。(親に従って現在は医

者になっている)。「くち うーいん」でいる  
いくとうばぬ あくとう、ちゃー ゐーくとう  
かたり よー。(「言葉の通りになる」という  
言い伝えもあるので、いつも良いことを話しな  
さいよ)。じん に っわーっとうん。(借金に追  
われている)。ちゃー ちもー っわーっとう  
んねー すん。(いつも心は追われているよう  
な気がする、心は落ち着かない)。**【参】**っわー  
りーん(追われる)、っわーっとうん(追われて  
いる)の音変化に注意。

**うーえー** くーえー すん 〈追いつ追わ  
れつする〉 【例】マラソンぬ ゴールまんぐ  
らー ちーねー、たいぬ むんさーに うーえ  
ーくーえーっし んーちよーる っちゅぬちゃ  
ーん ちむわさわさーっし いっペー みーむ  
ん やたん。(マラソンのゴールあたりに来た  
ら、二人の者で追いつ追われつして観客もはら  
はらしてとても見応えがあった)。

**うーいん** 〈負う〉【活】うーたん、うーらん、  
うーてい 【例】っちゅんかい ちみ うーら  
さってい わーまでいん やっけーな くとう  
やさ。(人に罪を負わさせられて私までも厄介  
なことになっているよ)。

**うーく** 〈奥〉 【例】わたくさー どうーく  
る うーくんかい かじみやーに なまー ま  
ーが やら わからん などーっさ。(へそく  
りを自分で奥に大切にしまっておいて今は何処  
かわからなくなっている)。かーま うーくん  
かい いっちよーしから とうていくいれー。  
(ずうっと奥に入れてあるのから取ってくれ)。

うーく ばー〈奥歯〉【例】うーくばーや  
あとうあとう みーる はー やてい、みー  
ていちゅーる ばすねー ふしがらん あたい  
やむん。(奥歯は最後に生える歯なので、生え  
てくるときには我慢できないほど痛む)。

うーくい 〈お送り〉【例】しちぐわちぬ  
みっちゃみーに うやふあーふじ うーくい  
すん。(お盆の三日目に先祖様をお送りする)。

うーぐとう 〈ありがたいこと、うれしいこ  
と〉【例】しっちょーるーから ちー こー  
たくとう、でーん さぎていとうらち うーぐ  
とう やん。(知り合いから土地を買ったので、  
価格も下げてくれて嬉しいことだ)。

うーさり あーさり すん 〈ぺこぺ  
こする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】っ  
ういーぬ っちゅんかえー うーさりあーさり  
すしが、しちゃんかえー いばいほーとーん。  
(上司にはぺこぺこするするが、下には威張り散  
らかしている)。

うーし 〈臼〉【例】んかしえー むちぐみ  
ふいちやい とーふまーみ ふいちやい する  
くとうんかえー うーしえー ゆー ちかと  
ーたしが、なまー ちかーらん なてい、どう  
ーぬ ていー ちかいる くとうん たった  
いきらく なてい ぬーがな しからーしく  
なとーっさ。(昔は餅米を挽いたり、大豆を挽い  
たりすることに臼をよく使っていたが、今は使  
われなくなって、自分の手を使うことも少なく  
なって何となく寂しくなっている)。

うーしーん 〈負わせる、疑う〉【活】うーし  
たん、うーしらん、うーしてい 【例】ぬすどう  
さんでいち うーしらってい くさみちよー  
たん。(盗んだといって疑われて激怒していた)。  
っちょー うーしんな けー。(他人を疑うな)。  
っちゅ うーしやー (人を疑う者)。

うーすん 〈負わす〉【活】うーちゃん、うーさ  
ん、うーち 【例】っちゅ うーしえー さん

ぐとう ななけのー あまくま とうめーしや  
んでいーる んかしんちゅぬ ならーしぬ あ  
ん。(他人に負わせないで七回あちらこちらを  
探すことだよという昔の人の教えがある)。

うーちるがいん 〈すっかり浸透する、すっ  
かり連なる〉【活】うーちるがたん、うーちるが  
らん、うーちるがてい 【例】プキットゥんかい  
いっとーたる ペんぬ インクぬ うーちる  
がてい じゃーふえー なたん。(ポケットに  
入っていたペンのインクが浸透して困ってしま  
った)。

うーちりばんた 〈断崖絶壁〉【例】うー  
ちりばんたとうっし ゆー しらっとーしえー  
くんちゃんぬ かやうちばんたとう ふいど  
うみさちとう うんなぬ まんざもー やん。  
(断崖絶壁として知られているのに、国頭の茅打  
ちばんたと辺戸岬と恩納の万座毛である)。

うーとーとう すん 〈お祈りする〉【活】～  
さん、～さん、～っし 【例】めーあさ うちやと  
ー すんでいち ていー うさーち うーとー  
とうすん。(毎朝お茶を供えて手を合わせてお  
祈りする)。

うーばんばらー すん 〈がらんとして  
いる〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】あつた  
ー やーや うーばんばらーっし とうんどー  
やーぬ ぐとう やさ。(あの家はがらんとし  
ていて倉庫のようだ)。

うーび 〈帯〉【例】うーペー ういきがぬ  
しみーたしが、はたらちゃー ういなぐぬ う  
ーび とうっし みるさーうーびぬ あたん。  
(帯は男性が締めたが、女性労働者の帯としてミ  
ンサー帯があった)。

うーふあ 〈おんぶ〉【例】しーじゃぬちゃ  
ーんかい うーふあ さつてい っくわむやー  
さつたくとう、わんにん うっとうぬちゃー  
うーふあ しーぶさたん。(兄妹におんぶさ

れて子守りされたので、私も弟妹をおんぶしたかった)。

うーふぁ すん 〈おぶる〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】うや うーふぁさーに くるまんかい ぬしてい いさぬやーまでい そーてい いちゆる しがたー ちゅらさん。あっちゆる くとう ないるまでー うやぬ つくわ うーふぁ そーしが、うやぬ あっからんないねー つくわぬ うや うーふぁ すんでいーるくとう ないる ばー やさ やー。(親をおぶって車に乗せて病院で連れて行く姿は感慨深い。歩けるようになるまでは親が子をおぶるが、親が歩けなくなれば子が親をおぶることになるわけだねえ)。

うーふー 〈敬語〉 【例】あんどー やるんでいーる ばすねー しーじゃんかえー 「うー」んでいいち、ゆばりーねー 「ふー」んでいいち いれーする くとうから、「うーふー」やうやめーくとうば なんとーん。(肯定するときには目上には「うー」と言い、呼びかけられると「ふー」と返事することから、「うーふー」は敬い表現になっている)。

うーまくー、うーまく 〈腕白、しっかり者〉 【例】わらびぬ うーまくーんでい いーしえー いぢりむち やてい わらびらーさー あしが、ゆー むんならーし さねーならん。(子どもの腕白は元気者で子どもらしさはあるが、よくしつけないといけない)。あれー ちゃー むぬいー いきらさー あしが、うーまく やてい ぬーんくいーん ないん。(あの人は言葉数は少ないが、しっかり者で何でもできる)。【参】ちかんぬー (人の言うことを聞かない者)。

うかきぶしえー 〈お治めになること〉 【例】いしなぐぬ いしぬ うふしー なるまでいん うかきぶしえーみしよーり、わー うしゅがなし。(石取り遊びの石が大岩になるまでもお治めください、我が君よ)。うかきじま (領地)。

うかじやい かび 〈祭壇に供える紙〉

【例】しるー、ちーるー、あかーぬ うかじやいかび、たんとう くぶ、くにぶ、そーぐわちもち うさぎてい、どーうーがんにゅーさ をうがむん。(白、黄、赤色のお供え用の紙、炭と昆布、ミカン、正月のお餅を供えて、健康を祈る)。

うかぢ 〈おかげ〉 【例】やぐさみむん やくとう、うんじゅが とうんじやくっし とうらちやる うかぢに ぬち もーきやびたん。(独り者なので、あなたが看病してくれたおかげで、命拾いをしました)。

うかっとうー 〈うっかり者〉 【例】っちゅとうぬ やくすくぐとう ちゃー わしたん、わしたんっし えーていからぬ でんわぬ ちゃんでい いちやくとうどう わかたんでい。あれー はていうかっとうー どー。(人との約束事をいつも忘れた、忘れたとして相手からの電話が来たと言ったのでわかったって。あの人はひどいうっかり者だよ)。

うかみがなしー 〈神様〉 【例】ニライカナイぬ うかみがなしーや かーまかーま うみぬ はていから めんしえーん。(ニライカナイの神様は、はるか遠い海の果てからいらっしやる)。

うきーん 〈浮かべる〉【活】うかちゃん、うかさん、うかち 【例】きーぬ ふあーさーに ふに ちゅくてい、みじんかい うきてい あしだん。(木の葉で舟を作って、水に浮かべて遊んだ)。ながりゆる みじに さくらばな うきてい、いるぢゅらさ あていどう すくていんちやる。(琉歌：流れる水に桜花を浮かべ、あまりにも色美しくてすくってみた)。

うきーん 〈起きる〉【活】うきたん、うきらん、うきてい 【例】うきていん にんていん っやーくとうびけー かんげーとーん。(寝ても覚めてもあなたのことばかり考えている)。うきじやま にじやま 〈起きぬけ〉 【例】あつたに でんわぬ なてい、うきじやまにじ

やまぬ くとう やてい ぬー なんとーが す  
ら、ちゃーっし ふいんとー しえー しみが  
すら わからんたん。(突然電話が鳴って、起  
きぬけのことでいったいどうなっているのか、  
いったいどのようにして返答したらいいのか分  
からなかった)。

**うき にんぢ** 〈床についたまま起きること〉

【例】ゆながた うきにんぢ そーたくとう、  
ちゅーや どうー あんまさっし あー あん  
べー あらん。(一晩中床についたまま起きて  
いたので、今日は体調不良ですっきりしない)。

**うきーん** 〈受ける、引き受ける〉【活】うきた

ん、うきらん、うきてい 【例】とうじ なたい  
とうらし んでいーる くとうば うきてい、  
しくちん やみてい にーびちぬ しこーいむ  
こーい そーん。(妻になってくれとの言葉を  
受けて、仕事も辞めて結婚の準備をしている)。  
ありが しくちえー わんが うきてい さび  
ーさ／すさ。(あの人の仕事は私が引き受けて  
しますよ／するよ)。

**うき とういん** 〈取得した〉【活】うきとう  
たん、うきとうらん、うきとうてい 【例】だい  
がく っんぢてい しんしーぬ くわんさち  
うきとうたん。(大学を出て先生の資格を取得  
した)。

**うき とうみーん** 〈受け止める〉【活】うき  
とうみたん、うきとうみらん、うきとうみてい  
【例】きーぬ さちんかい なんとーる、んどーる  
ばんしるー とういるたみに、きー をうー  
てい うていていちゅーし うきとうみたん。  
(木の先になっている、熟れたグワバを採るため  
に、木を揺すって落ちてくるのを受け止めた)。

**うき どうい** 〈領収書〉【例】むぬ こ  
ーたい、じん はらたい さるばすねー、うき  
どうい あーてい かくぐそーかんねー あと  
うから じゃーふえー ないん どー。(物を  
買ったり、支払いした時には、領収書をもらっ  
て保管しておかないと後で困ることになるよ)。  
【参】かくぐすん(書類を大切に保管する)、た  
ぶいん(食べ物やお金を貯える)。

**うきにん** 〈保証人〉【例】っちゅぬ うき  
にん ないしやかん っんまぬ ちび くじー  
しえー まし。(保証人になるよりも馬のお尻  
をほじくる方がいい)。

**うき ふいんとー** 〈受け答え〉【例】っち  
ゅとう うきふいんとー そーていどう そー  
むのー みーていちゅーさ。(人とことばのか  
けひきをしてこそ本物は見えてくる)。うきふ  
いんとー するばすねー、ゆー かんげーてい  
いれーり よー。(受け応えする際には、よく  
考えて答えなさいよ)。

**うき むち** 〈受け持ち〉【例】くんどうぬ  
うきむちぬ しんしーぬ なーや ぬーんで  
い いーが?(今度の受け持ちの先生の名前は  
何て言うの)。

**うきんじゅ はいんじゅ** 〈受水走水〉  
【例】うちなーをうてー うきんじゅはいんじ  
ゅんぢ っんにぬ はじみてい ちゅくらった  
ん。(沖縄では受水走水で稲が初めて作られた)。

**うくいん** 〈送る〉【活】うくたん、うくらん、  
うくてい 【例】なまぬ ゆーや ていがみ、は  
がち うくいしやかー メールさーに とうい  
けー ないるぐとう なんとーん。(現代の世の  
中は手紙や葉書を送るよりはメールでやりとり  
できるようになっている)。【参】ぐじょー(手  
紙)とも言う。

**うぐしく** 〈首里城〉【例】うぐしくんかえ  
ー うむんだしーうどうん、くがにうどうん  
でーぬ あてい、ふかにん いくちん ちけーみ  
ちぬ ちがとーる うじょーぬ あしが、うむ  
むちぬ かないるぐとう ちゅくらっとーん。  
(首里城には御百浦添御殿、黄金御殿などがあ  
って、他にもいくつも使い道が違ふ御門がある  
が、目的に適うように建造されている)。

**うくすん** 〈起こす〉【活】うくちゃん、うくさ  
ん、うくち 【例】めーなち していみてー そ  
ーみなーぬ ちゅらさる たかぶきんかい う  
くさっとーん。(毎日早朝はメジロの美しい甲  
高いさえずに起こされている)。

**うくすん** 〈興す〉【活】うくちゃん、うくさん、  
うくち 【例】みーくに ういむん ちゅくてい  
むら うくすん。(新商品を作って村を興す)。

**うくりーん** 〈初めて起こる〉【活】うくりた  
ん、うくららん、うくりてい 【例】くぬ ゆー  
や ぬーぬが うくりーらー わからん。(この  
世の中はいったい何が起こるか判らない)。い  
ち やていん しけーぬ まーがなをうてい  
いくさぬ うくりとーん。(いつでも世界のど  
こかで戦争が起こっている)。

**うぐりーん** 〈再発する〉【活】うぐりたん、う  
ぐららん、うぐりてい 【例】あれー むちやん  
めーぬ またん うぐりとーんでい いーっさ  
ー。(あの人は持病がまたもぶり返したと言っ  
ているよ)。

**うくりーん** 〈遅れる〉【活】うくりたん、う  
くららん、うくりてい 【例】うくりてい(=に  
っか なてい) ぐぶりー さびたん。(遅れ  
てすみません)。

**うくでい** 〈神人〉 【例】なーむんちゅーむ  
んちゅーんかえー をうないうくでい、ういき  
ーうくでいぬ をうてい うまちーぬ ぢしち  
すん。(どの門中にも女性の神人、男性の神人  
がいて祭りの儀式をする)。

**うけー (めー)** 〈お粥〉 【例】どうーぬ  
あんまさ そーる ばすねー くちにーさくと  
う、うけー やれー かみやっさん。(体調がす  
ぐれないときには食欲もないので、お粥なら食  
べやすい)。

**うこー** 〈お線香〉 【例】うちなーや うやふ  
あーふじ あがみーる なれーぬ あてい、「う  
こーどう こーこー」んでいーる くとうばぬ  
あん。(沖縄は祖先を敬う習慣があって、「お  
線香をあげるのが孝行」という言葉がある)。

**うこーる** 〈香炉〉 【例】うちなーをうてー  
つくわっんまがぬ さけーいるたみに ぶち

だんぬ うこーろー まぎまぎーとう うちき  
しえー ましんでい いらっとーん。(沖縄で  
は子孫が繁栄させるために仏壇の香炉は大きく  
して置くと良いと言われている)。

**うぐわん** 〈祈願〉 【例】なーちねーぢねー  
やーにんじゅぬ ふしうぐわん する たみに  
すいぬ うていら みぐてい にんとうーぬ  
うぐわん すん。(各家庭で家族の無事息災  
を願うために首里のお寺をまわって年頭の祈願  
をする)。っちゅにんぢのー いちちよーる  
かぢれー うぐわんぐとうぬ うふく なてい  
ちゅーん。(人間は生きている限りは祈願する  
ことが増えてくる)。【参】うがん(拝所、うた  
き<御嶽>よりは小さい)、をうがむん(拝む)。  
**うぐわん ぐとう** 〈願い事〉 【例】やーに  
んじゅんかい ぬーがな さーいぬ あたる  
ばすねー、うぐわんぐとう する くとうん  
あん。(家族に何か障りがあったときには、願  
い事をすることもある)。

**うぐわん じゅ** 〈拝所〉 【例】いしぬ す  
ばんかい くばとうか まーにぬ っういーら  
っとーる とうくるんかい 「いび」んでい  
いち、「うたき」んでいん いーしが、うぐわん  
じょー むらぬっちゅぬちゃーが をうがむん  
とうくる やてい 「むらでー」んでいん  
いーん。(石の側にとか、クバとかクロツグが植  
えられているところに「いび」と言って、御嶽  
とも言うが、拝所は村人が拝むところで「むら  
でー」とも言う)。

**うぐわん ぶとうち** 〈結願のお礼参り〉  
【例】うちなーぐゆみぬ しわーしぬ にじゅー  
ゆっかー みふいーぬがなしーめーぬ うてい  
ぬんかい ぬぶ(い)みしえーる ふいー やく  
とう、うぐわんぶとうち などーてい くんと  
うしぬ っうえーだぬ しでいがふー すん。  
(旧暦の12月24日は火の神様が昇天なさる  
日なので、結願のお礼参りになっていて今年一  
年間の感謝をする)。【参】みふいーぬがなしー  
めー=ふいぬかんがなしーめー(火の神)。

**うさーいん** 〈合わさる〉【活】うさーたん、う



さーらん、うさーてい 【例】 しーとうぬちゃーぬ いきらく なていちゃくとう、たーちぬ がっこーぬ ていーちんかい うさーたん。  
(生徒たちが少なくなって来たので、2つの学校が合併した)。

**うさーすん** 〈合わす、抱かせる〉【活】 うさーちゃん、うさーさん、うさーち 【例】 っちょー じゃーふえー ないねー、 あきさみよー っし うかみんかい 「たしきていくいみそーりよー」 っし ていー うさーすん。(人は困ってしまうと、大変だといって神様に「助けてください」と手を合わす)。たーちとう みーち うさーち ちゃっさ(ない) が? (2と3を合わすといくつか)。かー うみーる ばすねー、ぬーさわいん ねーらんくとう にがてい、かがん たーち うさーち かーんかい いってい うみーんでい。(井戸を埋める際には、何の障りもないように、鏡を2つ合わせて井戸に入れて埋めるって)。

**うさーりーん** 〈襲われる〉【活】 うさーりたん、うさーりらん、うさーりてい 【例】 ゆすぐにをうてい いふーな っちゅんかい うさーりらってい じんかに むる けーとうらったんでい。(外国で悪い人に襲われて有り金をすっかり奪われたって)。

**うさがいん** 〈いただく〉【活】 うさがたん、うさがらん、うさがてい 【例】 あちさるうちに うさがみそーれー。(温かいうちに召し上がれ)。あちさるうちに うさがみしえーびり。(温かいうちにお召し上がり下さい)。

**うさきー(な一)** 〈そんなにたくさん〉【例】 うさきーなーぬ っちゅぬ まーから あちまていちゃが やー?(そんなにたくさんの人が何処から集まって来たのかねえ)。「うさきーぬ こーいむんっし たーがが かむら?」「いん まやーん をういびーしえー。」(「そんなにたくさんのお買い物をしていったい誰が食べるのか」「犬も猫もいますから」)。

**うさぢ** 〈ウサギ〉 【例】 うさぢえー かなさ っし ちかなえー すしが、かめー さん。(ウサギはペットとして飼うが、食用にはしない)。

**うさんでー** 〈供え物をさげたもの〉 【例】 「うさんでー さびら」んでい ぶちだんから さぎてい、んなっし かむん。(「お下げします」と言って仏壇からお下げして、みんなで食べる)。

**うし** 〈牛〉

**うし おーらしえー** 〈闘牛〉 【例】 ちなぬ うしおーらしえーや うしとう うしどう あーち くんちすーぶ すしが、ゆすぐにをうてー っちゅぬ うし まかち すーぶぬ ちちゅん。(沖縄の闘牛は牛と牛を対面させて力勝負をするが、外国では人が牛を負かして決着がつく)。

**うしぬ しし** 〈牛肉〉 【例】 んかしえー うしぬ ししんかい 「ちぬあったみ」んでい いちよーたん。(昔は牛の肉に「ちぬあったみ」と言っていた)。なまぬ っちょー うしぬ しし ゆー かどーん。(現代人は牛肉をよく食べている)。

**うしぬ ちー** 〈牛乳〉 【例】 うしぬ ちーぬみーねー、ふにぬ ちゅーく ないん。(牛乳を飲むと骨が強くなる)。

**うしーまーしー** 〈順々にまわしすこと〉

【例】 みじ ぶすくねー うしーまーしーっし バケツさーに みじ はくぶたん。(水不足にはバケツで順々に水をまわして運んだものだ)。

**うしーみー** 〈清明祭〉 【例】 うしーみーや うちなーぐゆみぬ さんぐわちに うはかぬめーに あちまてい、うさんみじゅーばく うさぎてい、やーにんじゅぬ からだがんじゅーさ にがいん。(清明祭には旧暦3月にお墓の前に集まって、重箱料理をお供えして、家族の健康を祈る)。

**うじーん** 〈恐れをなす、怖じる〉【活】 うじたん、うじらん、うじてい 【例】 ぬー すんでい

いちん はじみから うじーねー めーん  
ならん。(何をするにしても最初から恐れをな  
すと何もできない)。よぼーちゅーしゃ さん  
とー ならんしが、はい ささりーし うじ  
てい なーだ いかん。(予防接種をしないと  
いけないが、針を刺されるのを恐れてまだ行か  
ない)。

うじーちーん 〈すっかり怖じ気づく〉【活】  
うじーちたん、うじーちらん、うじーちてい  
【例】やま あっちょーる ばすに みーぬ め  
ーんかい あったに くまぬ っんぢていちゃ  
くとう、うじーちてい なー うちくわーって  
い しぬさやーんでい うむたん。(山中を歩  
いているときに目の前に急に熊サが出て来たの  
で、すっかり怖じ気づいてもう喰われて死ぬん  
だと思った)。

うしえーいん 〈ばかにする〉【活】うしえー  
たん、うしえーらん、うしえーてい 【例】なま  
ぬ じでーや めーやかにん なーすくぶんす  
くぶんさーに っちゅ うしえーいる くどー  
ねーらん などーん。(現代は以前よりも各  
自の職業で人をばかにすることはなくなってい  
る)。

うし〜〈押し〉

うし くるばーしえー すん 〈混雑で押  
し合いする〉【活】〜さん、〜さん、〜っし 【例】  
みーむん んーぢゅんち かんげーらん あ  
たいぬ っちゅぬ をうてい、うしくるばーし  
えーっし ふいさん くんぴらってい くつつ  
ぬぎてい ふしがらんたん。(見物するとい  
って考えられないほどの人がいて、混雑の押し  
合いで足も踏まれて靴も脱げて大変だった)。

うし くみーん 〈押さえつける〉【活】〜く  
みたん、〜くみらん、〜くみてい 【例】っちゅぬ  
ちじ うしくみーしん ならん、っちゅんか  
い ちじ うしくみらっていん ならん。(人  
の頭頂を押さえつけてもいけない、人に押さえ  
つけられてもいけない)。

うし けーすん 〈押し返す〉【活】〜けーち  
ゃん、〜けーさん、〜けーち 【例】むぬ うし

ちきてい こーれーこーれー する っちゅん  
かい こーらんでい いやーに うしけーちゃ  
ん。(物を押しつけて買いなさい買いなさいす  
る人に買わないといって押し返した)。

うし けーらすん 〈突き飛ばす〉【活】〜け  
ーらちゃん、〜けーらさん、〜けーらち 【例】あ  
わていてい じてんしゃ はらしーねー ばっ  
ペーてい っちゅ うしけーらする ばーん  
あくとう ちー ちぎり よー。(急いで自転  
車を走らせるとあやまって人を突き倒すことも  
あるので気をつけなさいよ)。

うし ちーん 〈ちょん切る、押しきる〉【活】〜  
ちっちゃん、〜ちらん、〜ちっち 【例】っやー  
からじ んーちやく うしちっち くーわ。  
(あなたの頭髪を短く切ってきてなさい)。たーが

ぬーんでい いらわん、どうーぬ するくと  
ー、うしちっち いちゅる っちゅ やん。(誰  
が何と言おうとも、自分のすることは押し切っ  
て行く人だ)。

うし ちきーん 〈押しつける〉【活】〜ちき  
たん、〜ちきらん、〜ちきてい 【例】どうーや  
ふいんぎまーい さーに っちゅんかい うし  
ちきーん。(自分は逃げ回って人に押しつける)。

うし ぬきーん 〈押しのける〉【活】〜ぬき  
たん、〜ぬきらん、〜ぬきてい 【例】っちゅぬ  
ゐーくちえー うきてい、ちむ ふがんくと  
う、やなくとー うしぬきてい ちむぢゅーく  
むちゅし やん。(人の誠実なことばは受け  
て、納得しないこと、不快なことばは押しのけ  
て気持ちを強くもつべきだ)。

うし まーすん 〈きりっと締める〉【活】〜  
まーちゃん、〜まーさん、〜まーち 【例】さーじ  
ん、うーびん うしまーち、ぶでーんかい っ  
んぢたん。(はちまきも、帯もきりっと締めて、  
舞台に上がった)。ちなふいちぬ なーや ち  
な うしまーち ちゅくいん。(綱引きの縄は  
縄をしっかり締めて作る)。

うし まぎーん 〈負かす〉【活】〜まぎた  
ん、〜まぎらん、〜まぎてい 【例】るーちゅーや  
やまとうーんかい うしまぎらってい、16  
11にん あまみ とうらったん。(琉球は大

和の人々に屈服させられて、1611年に奄美を手放した)。

うし ゆしーん 〈押し寄せる〉【活】～ゆしたん、～ゆしらん、～ゆしてい 【例】しがりなみぬ うしゆしてい やーん、くるまん、ある うっさ むる ながちゃん。(津波が押し寄せて家も車もあるものすべて流した)。

うし っんぢやすん 〈押し出す〉【活】～っんぢゃちゃん、～っんぢゃさん、～っんぢゃち 【例】はみがきぬ ぬくやー うしっんぢゃち ある うっさ しぶてい ちかたん。(歯磨きの残りを押し出して最後まで絞って使った)。

うし とーすん 〈押し通す〉【活】～とーちゃん、～とーさん、～とーち 【例】ちゃー どうーぬ いちんびけー うしとーしーねー、たーん ちかん ないん。(いつも自分の意見ばかり押し通すと、誰も聞かなくなる)。

うし んちゅん 〈押し込む〉【活】～んちゃん、～んかん、～んち 【例】まーみなー ふくるんかい いーる うっさ いりーんち じんぶん っんぢゃち うほーく うしんちよーる わかういなぐぬ をうたん。(もやしを袋に入るだけ入れようと知恵を出してたくさん押し込んでいた若い女性がいた)。

うしざし 〈かんざし的一种〉【例】んかしぬ ういきいがー じーふあーとう うしざしん でい いちよーし たーち ぐー なち さちゃん。(向かいの男性はかんざしと「うしざし」と言っているのを2つ対にして差した)。

うしでーく 〈臼太鼓〉【例】むらまちりを うてい ぬーるぬ うしでーく たたち、からだがんじゅーさ あんしから ゆがふー にがいん。(村祭りにおいて祝女が臼太鼓をたたいて、健康と世果報を祈る)。

うじみーん 〈埋める〉【活】うじみたん、うじみらん、うじみてい 【例】くぬ しーぬ しちゃんかい くがにぬ まがたまぬ うじみらっとーたんでい。(この岩の下に黄金の勾玉が埋められていたって)。

うしる 〈おつゆ〉 【例】「うんじょー うしるん うさがみしえーみ?」「わんねー しろー しむさ」「(あなたはおつゆもいただきますか)」「わたしはおつゆは要らないよ」。ちゃー いちゅなさぬ、うしるぢきーさーに しまちょーん。(いつも忙しくてご飯に汁をかけて済ましている)。

うしる くぶー 〈後頭頸部〉 【例】がっぱやー (後頭部の突起が大きい者)。わんねー うしるくぶーんかいん みーぬ あん どー。(私は後頭頸部にも目はあるよ)。ちーぬ たかさる たっくいー やてい うしるくぶーぬ くふあとーん。(高血圧の家系なので後頭頸部が凝っている)。  
【参】くし がっぱい (後頭部)。

うじゃさー 〈おじさん〉 【例】うじゃさー や いくたいや をうしが、うばまーや ちゅいどう をうくとう、をういみぬ ていがねー さーぬ いきらさぬ、じゃーふえー などーん。(おじさんは何人かはいるが、お婆さんは一人しかいないので、年中行事の手伝いする人が少なくて、困っている)。

うじゅますん 〈目を醒させる〉【活】うじゅまちゃん、うじゅまさん、うじゅまち 【例】わんが まぎく はな ふいやーに、にんとーる っちゅぬちゃー うじゅまち ねーらん。(私が大きなくしゃみをして、寝ている人たちを目を覚まさせてしまった)。ぬーぬ うじゅましん さんぐとう やー うちりよー さっとーん。(何の警告もなしに引っ越しを強制されている)。

うじゅむん 〈目を醒す〉【活】うじゅだん、うじゅまん、うじゅでい 【例】めー あさぬ じぶんに うじゅまーに しぐ コーヒーから ぬむん。(毎朝同じ時刻に目をさましてまずはコーヒーを飲む)。かんないぬ わりない さくとう、にんとーる わらびん うじゅでいねーらん。(雷が割れるように鳴るので、寝ている子も目を覚ましてしまった)。

うじゅみ 〈はずみ、きっかけ〉 【例】はじめー たいっし しんじんとう はなし そー  
たしが、むんどーふいんどー なてい、あとう  
ぬ うじゅめー ていーねーい ふいさねーい  
ぬ おーえー なたん。(はじめは二人で静かに話をしていたが、口論になって、最後には手出し足蹴りのけんかになった)。

うしんちー 〈着物の前の端を腰巻きの紐の内側に押し込むこと〉 【例】うーべー ちか  
ーんくとう、ちんぬ はっぱらんぐとう ちん  
ぬ めーぬ はた くしまちぬ をうーんかい  
うしんちゅる ちーかたんかい 「うしんち  
ー」んでい いーん。(帯は使わないので、着物が前に開かないように着物の前の端を腰巻きの紐に押し込む着付けを「うしんちー」と言う)。  
【参】をうー (結ぶための紐)、ういーるー (よって作ったヒモ)。

うすめー 〈おじいさん(平民)〉 【例】はー  
めー (平民のおばあさん)。

うすりーん 〈敬う〉【活】うすりたん、うすり  
らん、うすりてい 【例】しんしーや しーとう  
ぬちゃーんかい うすりらりーわどう やる。  
(先生は生徒たちに尊敬されないといけない)。  
うすり 〈敬いの気持ち、畏れ〉 【例】どうー  
くる じんもーき さんまどー、じんぬ うす  
れー わからん。(自分でお金儲けをするまではお金のありがたさはわからない)。うやんか  
いぬ うすりん っちゅんかいぬ うすりん  
たらーん。(親への尊敬も他人への尊ぶ気持ちも足りない)。

うすあかがい 〈薄明かり〉 【例】してい  
みてい るくじ やていん なまー うすあか  
がいどう そーる。(早朝6時でも今は薄明かりになっている)。

うすく 〈あこう〉 【例】「うすく」んでいー  
る きーや まぎきー なてい うぬ みーや  
かまりーんでい いーしが、かだるくとー  
ねーらん。「あこう」という木は大木になって

その実は食べられるというが、食べたことはない)。

うすでー 〈お祝儀〉 【例】うすでーや ち  
やぬ あたい いりれー しむがやー？(お祝儀はどれほど入れればよいのかね)。  
【参】こーでー ちゃっさ しえー しむがやー？(香典はいくらにしたらよいのかねえ)。

うすん 〈押す〉【活】うちゃん、うさん、うち  
【例】じんくわんぬブザー うち えーじすん。  
(玄関のブザーを押して合図する)。んかしぬ  
でんわー いーびさーに ばんごー まーちょ  
ーたしが、なまー いーびさーに よーんぐわ  
ー うすん。(昔の電話は指で番号を回していたが、現在は指で軽く押す)。んかしえー いん  
かん うするびけーどう やたしが、ちかぐろ  
ー いんかんがーいに なーぬしぬ かちん  
しむるくとうん あん。(昔は印鑑押すだけだったが、近頃は本人が署名してもよいこともある)。

うすいん 〈かぶせる、抱く〉【活】うすたん、  
うすらん、うすてい 【例】ふえーぬ いーく  
う なーびぬ ふた うすとーけー。(ハエが  
はいるので鍋のふたを被せておきなさい)。と  
ういぐわーや しでいーるまでい くーが う  
すいん。(小鳥はふ化するまで卵を抱く)。

うすばすん 〈伏せる〉【活】うすばちゃん、う  
すばさん、うすばち 【例】まかいどーぐ あ  
らたるあとー、ふーちんさーに すすやーに、う  
すばちょーけー。(食器を洗った後は、フキンで拭いて、伏せておきなさい)。まかいどーぐ あ  
らたるあとー、みじ ちーるたみに うすばす  
ん。(食器を洗った後は、水切りのために伏せておく)。

うた 〈歌〉 【例】うちなーぐちぬ うた ち  
ゆくてい わらびんちゃーかい うたーすん。  
(沖縄語の歌をつくって子どもたちに歌わせる)。  
うた さー 〈歌手〉 【例】あれー めー  
ぬーでいー むっちょーくとう、うたさー な

いしえー ましえー あらに？(あの人はいい  
声をしているので、歌手になればいいんじゃないか)。

うた さんしん 〈歌三線〉 【例】ふえーさ  
る うた やれー うたさんしんさーに ふい  
やみかさって、よーんなーぬ うた やれー  
ちむ なだやしく なさりーん。(速い歌で  
あれば歌三線で元気づけられて、ゆっくりとし  
た歌であれば心が穏やかにされる)。

うだーすん 〈おどす、どなりつける〉【活】う  
だーちゃん、うだーさん、うだーち 【例】っち  
ゅ うだーち じんかに とういる くとー  
たーがが ならーちゃら？(人をおどしてお金  
を取ることをいったい誰が教えたのか)。

うたき 〈御嶽〉 【例】うたきをうてい どう  
ーがんぢゅーさ にがいる うぐわんっし ち  
ょーん。(御嶽で健康を願う祈りをして来てい  
る)。うたきんかい いーるばすねー ちゃぬ  
よーな わきぬ あてい ちゃーびたんでいる  
えーさち すし やんでい。(御嶽に入ると  
ときにはどのような理由で来ましたという挨拶を  
すべきだって)。

うたとうくる 〈お二人様〉 【例】くまん  
かい めんしえーる うたとうくろー まーか  
ら やみしえーがやー？(ここにいらっしゃる  
お二人様はどこからいらしゃったのですか)。

うたびみしえーん 〈いただく〉【活】うた  
びみそーちゃん、うたびみそーらん、うたびみ  
そーち 【例】ひゃーくまでい ながぬち ん  
ーちゃんていち くとーじから ぐふーび うた  
びみそーちゃん。(百歳まで長生きしたという  
ことで官庁からごほうびをいただいた)。ちー  
ち やしち ちゅらさ かばさ しみらち う  
たびみしえーぶり。(土地、屋敷を清らかに香ば  
しくなさってください)。

うち〜〈すっかり、まるごと(強調)〉 【例】を  
うたと一たくとう、もーふ うちかんてい に  
んたん。(疲れていたなので、毛布をまるごと掛け

て寝た)。あちこーこー とーふ うちくわや  
ーに ぬーでいー やちゃん。(熱々の豆腐を  
まるごと口に入れて喉を焼いた)。しまん む  
らん っちゅん むる うちかわてい いちゅ  
しが、っちゅぬ くくるまでー かわてー な  
らん。(地域も村も人もみんなすっかり変わっ  
ていくが、人の心までは変わってはならない)。  
むる うちばちゃん。(全部すっかりさばい  
た、たいらげた)。わかういぬぐんかい うちふ  
りとーん。(若い娘にすっかり惚れでいる)。し  
くちん うちなすん。(仕事もすっかり終える)。

うち 〈内、家の中〉 【例】「ちゃーびら さい」  
「あい、ちー？(あい、ちえーさ やー) うち  
んかい いれー」(「ごめんください」「ああ、来  
たのか(ああ、来たんだね)。中にお入り)」。ど  
うーぬ ちねーうちぬ くとー っちゅんかい  
いーる くとー するむのー あらん。(自  
分の家庭のことを他人に言うものではない)。

うちーん 〈映る、移る〉【活】うちたん、うち  
らん、うちてい 【例】なーふあんかえー あま  
くまから うちていちよーる っちゅぬちやー  
ぬ うふさん。(那覇にはあちらこちらから移  
住してきている人たちが多い)。  
【参】うちゅ  
すん(映す、移す)。

うち かび 〈紙銭、あの世の紙幣〉 【例】  
うちかべー かみふとうきんかい うさぎーる  
ぐそーぬ じん やてい、うり あんてい  
うていぬんかい とうどうきーん。(うちかび  
は神仏に供えるあの世の紙幣で、それを燃やし  
て天上に届ける)。

うちきーん 〈置く〉【活】うちきたん、うち  
きらん、うちきてい 【例】ちかいねー むと  
うぬ とうくまんかい うちきとーき よー。  
(使ったら元の場所に置いておきなさいよ)。

うちくむん 〈雨が屋内に降り込む〉【活】う  
ちくだん、うちくまん、うちくでい 【例】まど  
う みちーっし わしてい あみぬ ちゅらー

さ うちくどーたん。(窓を閉めるのを忘れて雨がすっかり屋内に降り込んでいた)。

### うちけー さりやー 〈使いっ走り〉

【例】しくちばをうてー っういーぬむんぬ うちけーさりやー さっとーん。(職場では上司の使いっ走りされている)。

### うちちゅー(ぬ) めー／とーとー がなしーめー 〈お月様〉

【例】うちちゅーぬめーや たーが ぬー さがんでい いーる くとうまでい ぬーんくいーん みゆん かきみそーちょーん。(お月様は誰が何をしたかということまで何もかもご覧になっていらっしゃる)。

### うちなー ぐち 〈沖縄語〉

【例】うちなーぐち わしーねー、どうーぬ うやぬ ちらん わしーん。(沖縄語を忘れたら、自分の親の顔も忘れる)。

### うちなー ゆー 〈沖縄世〉

【例】ふえーばん なていから やまとう ゆー なたしが、いちかー かななじ わした うちなー ゆー とういむどうち みしらな。(廃藩置県になってから大和の世になったが、いつか必ず私たちの沖縄世を取り戻してみせよう)。うちなー ゆー とういむどうするたみねー、ぬーやかん うぐわんすゆじりぬ うちなーぬ くとうば とういむどうさんだれー ならん。(沖縄世を取り戻すためには、何よりも伝統的な沖縄のこことばを取り戻さないといけない)。

### うちながにー 〈肩ロース〉

【例】うちながにーや やふあてーんっし まーさくとう、まるけーていなーや かどーん。(ロースは柔らかくて美味しいので、時々食べている)。

### うちなすん 〈済ます〉

【活】うちなちゃん、うちなさん、うちなち 【例】めんきよしよー あらたみーしえー うちなちえーん。(免許証を更新するのはすっかり済んでいる)。しちぐわちむんぬ しこーいむこーい なー うちなち

やみ?(お盆の準備はもう済ませたか)。なー っやーや しくちえー うちなちー? でいっか けーら。(もうあなたは仕事はすませたか。それでは帰ろう)。**【参】**うちないん(済む)。

### うちやいん 〈似合う〉

【活】うちゃたん、うちゃらん、うちゃてい 【例】まっかーらー セーターや っやーんかい いっぺー うちゃとーん やー。(赤いセーターはあなたに似合っているね)。あぬ っちょー かーぎん じんぶぬん うちゃとーん。(あの人は容姿も賢明さもよく釣り合っている)。たきふどうぬ ゆー うちゃとーん。(容姿端麗である[男性にのみ用いる])。くぬ ちのー っやーんかい ゆー うちゃとーん。(この服はあなたによく似合っている)。

### うちゃたい かなたい すん 〈たがいによく似合う〉

【活】～さん、～さん、～っし 【例】かーぎしがたん じんぶぬん ちむん うちゃたいかなたい そーん。(容姿から賢明さ、心やさしさに至るまでも釣り合っている)。あぬ みーとうんだー うちゃたいかなたいっし やー。あん ぐとーるーや いきらさん どー。(あの夫婦はよくお似合いだ。ああいうのは少ないよ)。

### うちゃーすん 〈打ち合わす、協力する〉

【活】うちゃーちゃん、うちゃーさん、うちゃーち 【例】ちむ うちゃーちくいみっそーり。(御協力ください)。

### うちゃがいん 〈見違える〉

【活】うちゃがたん、うちゃがらん、うちゃがてい 【例】だんばち さくとう、まーぬ たー やがやーんでい うむたさ、あんし うちゃがとーしえー。(散髪をしたので、何処の誰なのかと思ったよ、とても見違えているよ)。

### うちゃぎーん 〈上に向く〉

【活】うちゃぎたん、うちゃぎらん、うちゃぎてい 【例】しゃしん ぬぢゆる ばすねー うとうげーや うちゃぎーんな よー。(写真をとる時には顎はひ

きなさいよ)。はーうちゃげーや うた じょーじ やんでい。(反り歯の者は歌が上手だとさ)。しきん うしえーてい たかうちゃぎ そーしが、みー いらー、くび をうーりりんちどう ある。(世間をバカにして偉ぶっているが、稲の穂は実をつける程に首を垂れるってものだ)。

**うちゃとー みんとー** 〈お茶とお水のお供え〉 【例】わったー あんまーや めーあさ うちゃとーみんとー すし わしーんでい くとー ねーらんたん。(母親は毎朝お茶とお水をお供えすることを忘れることはなかった)。

**うちゃ ふかしえー** 〈お茶会〉 【例】やんめーん まし なたくとう、どうしぬちやーゆばーに うちゃふかしえーっし いひーあはーさーに わらいかんでい いっぺー つういーりきさたん。(病気も快復したので、友人を呼んでお茶会をして談笑し笑い転げてとても楽しかった)。【参】ちゃー わかしえー (茶会)。

**うちゃく** 〈お客〉 【例】うちゃくぬ みちゆく めんそーちょーん どー。(お客が三人様いらっしゃっていますよ)。

**うちゆくいー** 〈ふろしき〉 【例】うちゆくいーや ちゃぬよーな むぬ やていん ちちまりーくとう、ちけーかっていぬ ゆたさん。(風呂敷はどのようなものでも包めるので、便利である)。うちゆくいーや いくけーん たくばりーくとう、くーく なち むちやっさん。(風呂敷は何回も折り畳めるので、小さくして持ち易い)。

**うちゆすん** 〈映す、移す〉【活】うちゆちゃん、うちゆさん、うちゆち 【例】くむいぬ みじんかい うちちゆーめーぬ うちとーん。(池の水にお月様が映っている)。はなしちえー っちゆんかい うちゆしーねー まし なた いちゆーんでい くとう やさ。(風邪は人に移すとよくなってくるんだってさ)。けーう

ちんかい いっちょーし なーびんかい うちゆち あられー。(皿に入れてあるのを鍋に移して洗いなさい)。

**うちゆん** 〈打つ〉【活】うちゃん、うたん、うち 【例】えいさーをうてー かに うっちゃい、てーく うっちゃいっし ふえーし たていーん。(エイサーでは鉦をたたいたり、太鼓をたたいたりして囃子をとる)。

**うちゆん** 〈浮く〉【活】うちゃん、うかん、うち 【例】まみじやかー うすみじえー ゆーうちゆしえー ぬーんでいちが やら わかいみ?(真水よりは潮水はよく浮くのはいったいどうしてなのか分かるか)。

**うちえー かねー すん** 〈兼ね備える〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】っやーやかーぎん じんぶぬん うちえーかねーっし いったー うやー ゆー なちえーさ。(あなたは器量も知恵も兼備してあなたの親はよく産んでくれたね)。

**うちえーいみしえーん** 〈おいで遊ばす〉【活】うちえーいみそーちゃん、うちえーいみそーらん、うちえーいみそーち 【例】んかしえー すいぐしくんかえー うしゆがなしーめーぬ うちえーいみそーちゃん。(昔は首里城に国王がおいで遊ばされた)。

**うちり びー** 〈おき火、赤く熱した炭火〉【例】んかしえー うちりびーさーに あいろん かきたい、ちゃー ふかちやい、むち やちやい そーたん。(昔はおき火でアイロンをかけた、お茶を沸かしたり、餅を焼いたりしていた)。

**うていーん** 〈落ちる〉【活】うていたん、うていらん、うていてい 【例】かーらんかい うていらんぐとう、ゆだ かけみてい あっちゃん。(川に落ちないように枝をつかんで歩いた)。ていんから うていていちゆーる ていんしーさーに ちゃー ふかしーねー あまってーん ぐわーっし まーさたんでい。(天から落ちて

くる天水でお茶を沸かすと甘みがあっておいしかったって)。

**うてい しじみ** 〈没落〉【例】にんちんぬ  
うていしじめー はかららん。(人の没落は予測できない)。

**うていらー くわー さがらー くわー すん** 〈物欲しそうにする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】あぬ いんぐわーや ぬーしぬ むぬ かどーる ばすに ちゃー すばんかい ちゃーに うていらーくわーさがらーくわー そーん。(あの犬は飼い主がものを食べているときにずうっと側に来て者欲しそうにしている)。

**うっか** 〈負債〉【例】うっか かんてい までー、みーぐるま こーたい、みーやー ちゅくたえー しーぶしこー ねーらん。(負債を抱え込んでまでは、新車を買ったり、新築をしたりはしたくはない)【参】しー (負債)。

**うっか ばれー** 〈負債払い〉【例】なげー  
むっちょーたる うっかばれー うわてい  
うみなーく なたん。(長いこと抱え込んでいた負債払い終わってほっとしている)。

**うっけーりーん** 〈転ぶ、反転する〉【活】う  
っけーりたん、うっけーりらん、うっけーりて  
い 【例】てつぽーっし ちゅふぁーら うっ  
けーりてい ちんし かかじたさ。(鉄棒で大きく反転して膝を擦りむいたよ)。うっけーり  
てい めーちんたー さん。(転んで顔面を打  
った)。

**うっけーらすん** 〈ひっくり返す〉【活】う  
っけーらちゃん、うっけーらさん、うっけーら  
ち 【例】みーがー うっけーらち んーだ  
やー。(まぶたをひっくり返して見ようね)。く  
くち むちゃーや あったに みー うっけー  
らすくとう うとうるさん。(てんかん持ちは  
急に目をひっくり返すので怖い)。

**うっくるぶん** 〈転倒する〉【活】うっくるだ  
ん、うっくるばん、うっくるでい 【例】うっさ

ぬ たかぐつ くでい うっくるぶん どー。  
(そんな高いヒールをはいて転倒するよ)。

**うっさ**～〈嬉しさ〉【例】うっさん (嬉しい)  
の名詞形。

**うっさ くわったー すん** 〈有頂天にな  
る〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】たちちに  
いちぶさ そーたる ハワイんかい いちゅ  
くとう、うっさくわったーそーん。(来月念願  
のハワイに行くので、嬉しくてしょうがない)。  
【参】いそーさ すん (楽しむ)、っういーりき  
さ すん (楽しむ)。

**うっさ ふくらさ すん** 〈非常に嬉しい〉  
【活】～さん、～さん、～っし 【例】うちなーぐ  
ち ふいるみらやーんでいーる っちゅぬちゃ  
ーぬ うふく なてい うっさふくらさ そー  
ん。(沖縄語を普及しようという人たちが多く  
なって嬉しい)。

**うったー** 〈その人たち〉【例】うったーや  
わじゃとう うくらちょーさ やー。(その  
人たちは故意に遅らせているね)。

**うっちゃかいん** 〈よりかかる、頼る〉【活】  
うっちゃかたん、うっちゃからん、うっちゃか  
てい 【例】うぬ まーちえー にーぐさり そ  
ーくとう、うっちゃかいねー うかーさん ど  
ー。(その松は根腐れしているので、よっかかか  
ると危ないよ)。なー いっとうちえー うぬ  
まま うっちゃかとーき よー。(もういつと  
きそのまま寄りかかっていなさいよ)。あんし  
うっちゃかいーねー なんぢ やくとう、い  
ふいぐわー はなりれー。(あんなに寄りかか  
っては難儀なので、少し離れなさい)。あれー  
むぬしりん やい ぬーん じょーじ やく  
とう、わんねー ありんかい うっちゃかとー  
ん。(あの人は物知りで何でも上手なので、私は  
あの人を頼っている)。

**うっちゃんぎーん** 〈放り出す、置き去り  
にする〉【活】うっちゃんぎたん、うっちゃんぎ  
らん、うっちゃんぎてい 【例】とうしぢりぬ



そーじ さくとう、なんにぬん ちかーんしぬ  
 っんぢていっち うむちっち むる うっち  
 ゃんぎたん。(年末の掃除をしたら、何年も使わ  
 ないのが出てきて思い切って全部捨てた)。っ  
 くわ うっちゃんぎてい やーさ しみてー  
 ならん。なまー うってーらってい ちみ な  
 いん。(子どもを放り出してひもじい思いをさ  
 せてはいけない。今では訴えられて罪になる)。  
 やーぬしくちん ぬーん さん、うっちゃんぎ  
 やーに あしでい あっちょーん。(家業も何も  
 しないで、放り捨てて遊び歩いている)。うれー  
 ゆーちらん ねーらんくとう、うっちゃんぎ  
 れー。(それは何の役にも立たないので、放り捨  
 てなさい)。うっチャギほーりー すん。(放り  
 出したままにする、ふいんじむん〈ならず者〉)。

**うっちえーいん** 〈裏返る〉【活】うっちえ  
 ーたん、うっちえーらん、うっちえーてい 【例】  
 ちんぬ くびぬ うっちえーとーくとう のー  
 しえー。(襟が裏返っているので直しなさい)。  
 あさに さーに どうまんぐいてい っんぢて  
 い ちよーくとう、ちぬん うっちえーてい  
 ちちよーたん。(朝寝してびっくりして出てき  
 ているので、服も裏返って着ていた)。

**うっちえーすん** 〈裏返す〉【活】うっちえ  
 ーちゃん、うっちえーさん、うっちえーち 【参】  
 「うらげーすん」とも言う。

**うっちえー ふいっちえー すん** 〈しき  
 りにひっくり返る〉【活】～さん、～さん、～っし  
 【例】ありが はなしえー うっちえーふいっ  
 ちえーっし ぬーんでい いちよーが むる  
 わからん。(あの人の話はしきりにひっくり返  
 って何と言っているのかまったく分からない)。  
 みーぐふあいっし にんだらんくとう うっち  
 えーふいっちえーびけー そーたん。(目が覚  
 めて眠れないので、しきりに寝返ってばかりい  
 た)。

**うっちん** 〈ウコン〉 【例】うっちのー ち  
 む まむいる くすい やてい、さき ぬだる  
 あとうとうか、くたんでいとーる ばすに ぬ

みーねー まし やんでい。(ウコンは肝臓を  
 護る薬で、酒を飲んだ後とか、疲れている時に  
 飲んだら、良いって)。

**うっちんきーん** 〈うつぶせる、伏せる〉【活】  
 うっちんきたん、うっちんきらん、うっちんき  
 てい 【例】まかえー うっちんきれー。(お椀は  
 伏せなさい)。うっちんちゅん 〈うつむく〉、う  
 っちんちゃん、うっちんかん、うっちんち。か  
 たうむい そーる っちゅぬめー やくとう、  
 むぬん いーうーさん なやーに うっちんち  
 ょーたん。(片思いしている人の前ではものも  
 言えなくてうつむいていた)。

**うっちんとうー** 〈うつぶせ〉【活】～さん、～  
 さん、～っし 【例】あれー はじかさー やて  
 い、っちゅぬ めーんぢえー むぬん いーう  
 ーさん、うっちんとうーびけー そーん。(あの  
 人は恥ずかしがりやで、人前ではものも言えな  
 くて、うつむいてばかりいる)。めーや あかん  
 ぐわー うっちんとうー なてい にんしーし  
 どう ましんでい いらっとーたしが、なまー  
 ましえー あらんでい いらっとーん。(以  
 前は赤ん坊うつぶせになって寝かすのがいいと  
 言われていたが、現在はよくないと言われている)。

**うってーいん** 〈訴える〉【活】うってーた  
 ん、うってーてい 【例】やなくとう しーねー  
 うってーらりーん どー。(悪いところをする  
 と訴えられるよ)。

**うっとう** 〈年下、弟妹〉 【例】わんにんか  
 えー ういなぐうっとうぬ たい、ういきがう  
 っとうぬ ちゅい をうん。(私には妹が二人、  
 弟が一人いる)。

**うっとう しーじゃ** 〈年下年上、兄弟姉妹〉  
 【例】なまー うっとうしーじゃぬ いきらく  
 なてい、っちゅいんぐわぬ うふく などー  
 ん。(現在は兄弟姉妹が少なくなって。一人っ子  
 が多くなっている)。

**うっとう まき** 〈おとみづわり〉【活】＝う  
 っとうみーよーがり、しーまき 【例】ちーぬ  
 みんぐわぬ をうるとうち っくわ むちーね

一、さちに っんまりたる くわー うっとう  
まき さーに むぬ かまん なたい、ふんで  
ーさい すん。(乳飲み子がいる時に子を宿す  
と、先に生まれた子は「おとみづわり」してご  
飯を食べなくなったり、甘えたりする)。【参】  
「うっとうみーよーがり」とも言う。

うっとう をうない <(兄から見た)妹>  
【活】うっとう ういきー <(兄から見た)弟>  
【例】うっとうをうなえー かなさしが、うっとう  
ういきーや しぐ おーえーていーえー す  
ん。(兄から見た)妹はかわいいが、(兄から見た)  
弟はすぐけんかになる)。

うっとう んぐわ <末っ子> 【例】まーぬ  
うっとうんぐわ やていん、ふんでーむん  
やん。(どこの末っ子も甘えん坊だ)。

うっとうばすん <吹き飛ばす> 【活】うっ  
とうばちゃん、うっとうばさん、うっとうばち  
【例】ちゅーや かじぬ ちゅーさくとう、しん  
たくむん ふしーねー うっとうばさりーん  
どー。(今日は風が強いので、洗濯物を干すと吹  
き飛ばされるよ)。

うっぴ <それだけの大きさ> 【例】あいこー  
や うっぴぐわーどう そーしが、「あいぬ  
むっちん ふいなゆん」でいぬ いくとうばぬ  
あん どー。(蟻はこんなに小さいが、「蟻が  
持っても減る」という教訓もある)。

うっぴぐわー <それっぽち> 【例】うっぴ  
ぐわーぬ くつ やしが、うふっちゆぬ むん  
やかー でーぬ たかさん。(それっぽちの  
靴だが、大人のものよりは値段が高い)。

うっぴなー <そんなに大きな> 【例】うっ  
ぴなー そーる ふいさまぎーぬ じんとー  
をういどう すた がやー?(そんなに大きな  
足をした人が本当に居たのかねえ)。

うっぺーる <そんなに大きな> 【例】うっ  
ぺーる そーる しーぬ しがりなみさーに  
ながさってい ちょーてーさ やー。(そんな  
に大きな岩が津波で流されてきているんだね)。

うていちち <落ち着き、沈着さ> 【例】と

うしえー わかさー あしが、うていちちょー  
くとう いっぺー ちむ ふちょーさ。(歳は  
若いけど、落ち着いているのでとても満足して  
いる)。【参】うていちちゅん(落ち着く)、あー  
ちちゅん(居つく)。

うでい まっくわ <腕枕> 【例】わらび  
ぬ くーさるばすねー わんうでい まっくわ  
しみてい んかしばなし ちかすたん。(子  
供の小さい頃は私の腕枕をさせて昔話を聞かせ  
た)。たげーに じょーぬ ある うちえー う  
でいまっくわ っしくいとーたしが、なまー  
どうーぬ ていーっし ていーまっくわ そー  
ん。(お互いに熱があるうちは腕枕をしてもら  
っていたが、今は自分の手で手枕をしている)。

うていら めー <拝所参り、お寺参り>  
【例】あきまどうし ないねー、やーにんじゆぬ  
からだがふー うにげーしーが うていらめ  
ー すん。(新年になると、家族の健康をお願い  
しに拝所参りをする)。

うとう <音、便り、評判> 【例】をうどうい  
そーる っちょー さんしんぬ うとうぬ  
ちかりーねー、もーいぶしく なてい ちむぬ  
わさわさー すんでい。(踊りをしている人  
は三線の音色が耳に入ってくると踊りたくなっ  
て心が騒ぐって)。あれー うとうさたん ね  
ーらんしが、ちゃー そー がやー?(あの人  
は便りもないが、どうしているのかねえ)。っ  
やー うとう ちち、いっぺー うっさ そー  
ん。(あなたの便りを聞いて喜んでいる)。い  
ったーや しまぬくとうば ふいるみーんでい  
ち たしままでい うとう たっちょーん ど  
ー。(あなた達は地域のことばを普及すること  
で他の村でも評判だよ)。あまぬ ういながん  
ぐわー かーぎぬ ちゅらさんでいち うとう  
だかさん どー。(あそこの家の女の子は美人  
だと有名だよ)。

うとういむち <接待、おもてなし> 【例】  
あれー どうーぬ しくち やかにん しゃち

よーぬ うとういむち すんち いちゆなさん。(あの人は自分の仕事よりも社長のお世話するのに忙しい)。

**うどうきーん** 〈商売で失敗する〉【活】うどうきたん、うどうきらん、うどうきてい 【例】なまー もーきぐりく なてい あちねーさーぬ うどうきてい まちやーぬ みちとーる とうくまぬ うふさん。(現在は儲けにくくなって商売人が失敗して店を閉めているところが多い)。

**うとうげー なんどうるー** 〈顎がツルツルしている者、髭のない者〉 【例】ふいぢもーんかい うとうげーなんどうるーんでいーん。(髭のない人に顎がツルツルしている者と言う)。

**うとうすん** 〈移す〉【活】うとうちゃん、うとうさん、うとうち 【例】なーびんかい いっちょーる むん けーうちんかい うとうしえー。(鍋に入っているものを皿に移しなさい)。

**うとうすん** 〈落とす〉【活】うとうちゃん、うとうさん、うとうち 【例】しるむぬんかい いるぬ ちちよーたくとう、かるきさーに うとうちゃん。(白い生地の色がついたので、漂白剤で落とした)。

**うとうし むん** 〈落とし物〉 【例】うとうしむん かめーいる くとうん あしが、どーなーん うとうしむん する くとうん あん。(落とし物をさがすこともあるが、自分も落とし物をすることもある)。

**うとうち あがち** 〈優劣、浮沈〉 【例】ちちよー ちむぬ うとうちあがちぬ あくとう、やなどうい しえー ならん どー。(人は心の浮き沈みがあるので、悪くってはいけない)。

**うどうるちゅん** 〈驚く〉【活】うどうるちゃん、うどうるかん、うどうるち 【例】ちちゅ うどうるかち わーがどう うどうるちやる。(人を驚かして驚いたのは私だった)。

**うどうるかすん** 〈驚かす〉【活】うどうるかちゃん、うどうるかさん、うどうるかち 【例】さっこーび そーいねー、あつたに 「わっ!」 んでい うどうるかしーねー とうまいんでい いらつとーん。(しゃっくりしていれば、急に「わっ!」と驚かすと止まると言われている)。

**うとうるさ むん** 〈恐ろしいもの〉 【例】うとうるさむんや みーぶさむん。(怖いものは見たがるもの)。んかしえー ねー、かんない、くわじ、たーりーや うとうるさむん やたん。(昔は地震、雷、火事、親父は怖いものだった)。

**う〜**〈中称の指示詞〉

**う なぎー** 〈それぐらいの長さ〉 【例】「ちやぬ あたいぬ はぶ やたが?」「うなぎーやたん どー。」「(どのぐらいのハブだったか)」「それ位の長さだったよ)。うなぎー ぬばちえーる からじ やてい ぢーんかい ちちゆる あたい やたん どー。(そのぐらいの長さ伸ばしている髪で地面に着くほどだったよ)。

**う なげー** 〈そんなに長く〉 【例】っやーや ごじぬ やくすく やる むんぬ、よんじ っぶん うくりてい うなげー っちゅ またすん なー?(あなたは5時の約束なのに、40分も遅れてそんなに長く人を待たすのか)。

**うぬ／くぬ／あぬ ひやー** 〈そいつ／こいつ／あいつ〉

**うぬ／くぬ／あぬ よー** 〈その／この／あのような〉

**うふいなー** 〈それだけの〉 【例】いっぺー まぎいゆんでい うむとーたしが、うふいなーぬ いゆ やていー?(とても大きな魚だと思っていたが、それぐらいの魚だったのか)。

**うふいなー なーぬ** 〈そんなに大きな〉 【例】はっさびよー!／あきさみよー!／あいえーなー! うふいなーなーぬ いゆ くわーち ちえーさ やー。(何と、そんなに大きな魚を釣ってきたんだね)。

**うんにー** 〈その時〉 【例】うんにーからんな うみたっちよーてい しまくとうば ふ

いるみーくとう なたんてい。(その時から、みんな奮い立ってしまくとうばを普及することになったって)。

**うはち** 〈お初〉 【例】 なーだ たーがん ていー ちきてー ねーらん うさぎむぬんかい うはちんてい いーん。(まだ誰も手を付けてはないお供え物をお初と言う)。

**うびーん** 〈憶える〉 【活】 うびたん、うびらん、うびてい 【例】 あちまい いちが やたら うびてーをうらん。(集まりは何日だったか憶えてはいない)。

**うびー** 〈記憶〉 【例】 あぬ っちょー まーがなをうてい んーちやる うびーぬ あしが、ななじゅーないねー むぬ うびーぬ わっさぬ、っちゅぬ なーぬ っんぢてい くーん。(あのひとはどこかで見た覚えがあるが、70歳になると記憶力がなくなって、人の名前が出て来ない)。ちゅけーん ちちーねー いちま でいん わしらん、むぬ うびーぬ ちゅーさる っちゅ やん どー。(一度聞いたらいっまでも忘れない、記憶力のある方だよ)。

**うび っんぢやすん** 〈思い出す〉 【例】 ちかぐろー っちゅぬ なーぬ しごー うびっんぢやさらん なんとーてい、ちゃーがなっし うびっんぢやする ぐとう そーん。(近頃は人の名が思い出せなくなっていて、どうにかして思い出すようにしている)。いーじまハンドーグワーぬ さとうんかい いちやいが いーじまんかい わたていっんぢやる ばすぬ かがんぢばな うびっんぢやちゃん。(伊江島ハンドーグワーが恋人に逢いに伊江島に渡っていた際の鏡地浜を思い出した)。

**うびーなでいー** 〈水撫で〉 【例】 そーぐ わちねー むらがーから みじ くでい どうーぢゅーく するたみに やーにんじょー うびーなでいー すたん。(正月には村井戸から水を汲んで体を強くするために家族は水撫でをしたものだ)。

**うびらじ ぐとう** 〈不意の出来事〉 【例】 うびらじぐとうぬ うきてい ちゃーしえー しむがやーんち じゃまどうとーん。(不意の出来事が起こってどうしたらいいのかうろたえている)。

**うぶく** 〈神仏に供えるご飯〉 【例】 ちーたち とう じゅーぐにちに ふいぬかぬんかい みーち、いーふえーだぬんかい たーち、うぶく うさぎてい からだがんじゅーさ しでいが ふー すん。(一日と十五日に火の神に3つ、お仏壇に2つ御仏供をそなえて健康を感謝する)。

**うふ〜** 〈多、大〉 【例】 うふさん(多い)からの接頭辞化。

**うふさに かたぢきるー** 〈多数決〉 【例】 うふさにかたぢきるーや、うーかたぬ っちゅぬ ちむふぢゆる しーよー やくとう、しかたー ねーらん。(多数決は、多方の人が納得できるやり方なので、仕方が無い)。うふさに かたぢきり。(多いものから除きなさい)。

**うふ そー むん** 〈そそっかしい者〉 【例】 さいふん むたんぐとう こーいむん しーが いちゆる うふそーむん やん。(財布も持たないで買い物をしに行くおっちょこちょいだ)。

**うふ あや** 〈大柄〉 【活】 うふ がら ぢん 〈大柄の着物〉 【例】 うふあやぢんてい いーねー、ハワイぬ ムームー うびんじゃち わんにん ちやーに ハワイもーい しーぶしくないん。(大柄の着物という、ハワイのムームーを思い出し、私も着てフラダンスをしてみたくなる)。

**うふ ぐいー** 〈大声〉 【例】 うふぐいー っんぢやちゃくとう、ぬーでいーぬ がらがらー そーん。(大声を出したので、喉がかすれている)。うふぐいー っんぢやちゃくとう、くいーかさー なんとーん。(大声を出したので、声がかすれている)。

**うふ ぐすーじ** 〈盛大な祝い〉 【例】 とーかち、かじまやー、ひやーくぬ とうしびーぬ うゆうえー、やーふちぬ うゆうえー、ま

ちかんでいー そーたる つくわぬ つんまり  
たる うゆうえーや うふぐすーじ ないん。  
(88歳の米寿、97歳、百歳の生年祝い、新築  
祝い、やっとできた子の誕生祝いは盛大なお祝  
いになる)。

うー ぐとう 〈大ごと〉 【例】っやーや  
わらてい ちちょーしが、うれー うーぐとう  
やん どー。(あなたは笑って聞いているが、  
これは大ごとだよ)。

うふ ぢむー 〈気前がいい者〉 【例】っ  
えーきんちよー っうえーき くまさんでい  
いらっとーしが、なかねー ねーん っちゅん  
かい じん からちやいっし たしきーる う  
ふぢむーん をうん。(お金持ちは儉約家と言  
われているが、なかにはお金がない人に貸した  
りして人助けする気前がいい人もいる)。

うふ じん 〈大金〉 【例】うふじん めー  
ねー、ぬー こーいぶさが?(大金をもらうと、  
何を買いたいか)。

うふ すー 〈ご主人〉 【例】うふすーや  
めんしえーがやー?(ご主人はいらっしゃいま  
すか)。【参】「うふぬーし」とも言う。

うふ ちねー 〈大家族〉 【例】うふちねー  
んかえー うふすーめー、はーめー、すー、あ  
んまー、つくわっんまがぬ をうてい、やーや  
ちゃー わらいふくいっし あかがとーん。  
(大家族には祖父、祖母、父親、母親、子と孫が  
居て、家はいつも笑いが絶えなく明るい)。【参】  
「うふやーにんじゅ」とも言う。

うふ ちぶらー 〈頭でっかち〉 【例】ちぶ  
るまぎーや ちぶるぬ まぎさる っちゅんか  
い いーしが、「うふちぶらー」や ちぶるま  
ぎーぬ やなぐち なんとーん。(頭でっかちは  
頭が大きい人に言うが、「うふちぶらー」は頭  
でっかちの卑称である)。

うふ にんじゅ 〈大人数〉 【例】なまぬ  
じでーや つくわなし いきらさー あしが、  
めーや まーぬ ちねー やていん うふやー  
にんじゅ やたん。(現代は少子化で、以前は  
どこの家庭でも大家族だった)。「あしびぬ ち  
ゅらさや にんじゅぬ すなわい」んでい い

ち、うふにんじゅぬ すりーねー はねーちゅ  
ん。「遊びの出来は人数の揃い」といって、大  
人数が集まるとにぎやかになる)。

うふ ぬすどう 〈大泥棒〉 【例】うふぬす  
どうん ぐまぬすどうん めぬ ぬすどうどう  
やる。(大泥棒もケチな泥棒も同じ泥棒だよ)。  
くわじえー むる むっちいちゅくとう、うふ  
ぬすどうとう めぬ むん。(火事はすべて持  
って行くので、大泥棒と同じだ)。

うふ まちや 〈大きな店〉 【例】うふまち  
やぬ あまくま たっち、ちむゆしどうくるぬ  
ぐままちやぬ むる とーさっていねーん  
なてい、しからーしく なんとーん。(大きな店が  
あちらこちらに立って、心を通わす場の小さな  
店がみんなつぶれて、寂しくなっている)。

うふ むにー 〈偉そうなことばを使うこと〉  
【例】ちゃー わーが すさ、わーが すさ  
んでい いやーに、さる たみしぬ ねーらん。  
っやーや うふむにーびけーっし ぬーん な  
らん。(いつも自分がする、自分がすると言っ  
て、した試しがない。お前は偉そうな言い方を  
して何もできない)。わらびぬ っんぢとーて  
い うふむにーっし うふっちゅふーなー そ  
ーっさ。(子どもでありながら生意気な言葉遣  
いをして大人ぶっているね)。

うふ むぬ いー 〈大言壮語〉 【例】うふ  
むぬいー そーしが、ふんとーや あれー ぬ  
ーん ならん、くちぶしどう やん どー。(ボ  
ラ吹きだが、本当はあの人は何もできない、口  
先だけだよ)。

うふ やー 〈本家〉 【例】うふやーんかえ  
ー ゆんでー、ぐでーさちぬ うやふあーふじ  
ぬ まちらっとーてい、むーとうやーんかえー  
うさちゅーぬ うやふあーふじぬ まちらっ  
とーん。(本家には4代、5代先の祖先が祀られ  
ていて、総本家にはそれ以前の祖先が祀られて  
いる)。

うふ やしー 〈おとなしい者〉 【例】うふ  
やしーや っちゅおーえーん さん、まくとう  
な むん やてい、いっぺー ふいらいやっさ  
ん。(おとなしい者は人ともけんかしない、正直

者で、とても付き合いやすい)。

うふ わた 〈大きいお腹〉【活】うふ わたー 〈妊婦、出腹の者〉 【例】くえーてい うふ わた しーしー そーくとう、かみむのー ふいならする かんげー そーん。(太ってお腹が出てきているので、食べ物を減らすことを考えている)。

うふ っんぶし 〈重荷〉 【例】やっとうか っとう うっか けーちゃくとう、うふっんぶし うるち うみなーく なたん。(やっとう借金を返済したので、重荷を下ろしてほっとした)。

うふ やっちー 〈長兄(士族)〉【活】うふ あふいー 〈長兄(平民)〉 【例】ちゃくしん かえー うふやっちーんでいん いーん。(嫡子には長兄とも言う)。

うふ ゆくー 〈強欲者〉 【例】どーぬ むのー あとーてい、っちゅぬ むん からからー する っちょー うふゆくー やさ。(自分の物はあるのに、他人の物を貸してとくる人は強欲者だ)。

うふ ゆくし むにー さー 〈大嘘つき〉 【例】ていーち ゆくしむにー しーねー、はなしぬ ちびくち あーすんち たーちん みーちん ゆくし かさびてい うふゆくしむにーさー なてい でーじ どー。(1つ嘘をつく、話のつじつまを合わせるのに2つも3つも嘘を重ねて大嘘つきになって大変だよ)。

うぶん にぢり 〈握り飯〉 【参】「にぢりめー」とも言う。

うぶちだん 〈お仏壇〉 【例】あれー ちゃくし やくとう うぶちだん むちゃー やん。(あの人は長男なのでお仏壇を受け継いでいる)。  
【参】とーとーめー (お月様、祖先の位牌)。

うまちー 〈農耕のお祭り〉 【例】うまちー や、にんぐわち、さんぐわちねー むぢぬ ゆかいるぐとう うにげーっし、ぐんぐわち、るくぐわちねー っんにぬ ゆかたるくとう うかみがなしーんかい かふーし さん。(農耕のお祭りは、3月、4月には麦が実るように願

って、5月、6月には稲が実ったことを神様に感謝する)。

うまんちゅ 〈多くの人〉 【例】しまくとうばー うちなー うまんちゅぬ たから やん。(しまくとうばは沖縄県民の宝だ)。

うみ〜〈様〉 【例】うみさとう(めー)、うみしーじゃ、うみたるーんでーんかい ちからっ とーる 「うみ」や、くとうばぬ めーんかい ちきらってい、うやめーとう かなさぬ くみらとーる くとうば やさ。(愛しいお方、お兄様、タルー様などに使われている「うみ」は単語の前に付けられて、敬愛を込めた言葉だ)。

うみ 〈海〉

うみ あっちゃー 〈漁師〉 【例】うみあ っちゃーや うみ あっちょーんでい いーしが、うみから あっちょーんでいーる くとーあらん、うみをうてい あっちょーんでいーるくとう やん。(漁師は海で働いていると言うが、海を歩いているということではなく、海で営みをしているということだ)。

うみ がーみー 〈海亀〉 【例】うみがーみーや あぎぬ かーみーとー ちがてい、まぎー やてい うみぬ ぬーし やんねー そーん。(海亀は陸の亀とは違って、大きくて海の主のような)。

うみ ばた 〈海岸〉 【例】うみばたぬ まんぐらんかい しまとーる っちゅぬちゃーん かえー うふかじとう しがりなみぬ うかーさん。(海岸近くに住んでいる人たちには台風と津波が危ない)。

うみ っんまぐわー 〈タツノオトシゴ〉 【例】うみっんまぐわーぬ かーかさっとーしえー かんぼーやくとうっし ちかいん。(タツノオトシゴの乾燥されているのは漢方薬として使う)。

うみかきーん 〈お目にかける、ご覧にいれる〉【活】うみかきたん、うみかきらん、うみかきてい 【例】なげーさ いちゃてー をうい

びらんくとう、まるけーていなーや うみかき  
らちくいみそーり よー。(長いことお会いし  
ていないので、たまにはお目にかけさせてくだ  
さい)。わんが うみはまてい かちえーる  
ゐー やいびーん。まじえー、うみかきていく  
いみそーり。(私が一生懸命描いた絵です。ま  
ずは、ご覧になってください)。しーみーぬ  
ばすねー うふあかをうてい ういなぐわらべ  
ー うた うたてい、ういきがわらべー てい  
ー ちかてい うぐわんすんかい うみかきた  
ん。(清明祭の際にお墓で女の子たちは歌を歌  
い、男の子たちは空手をして御先祖さまにご覧  
にいらした)。

**うむいん** 〈思う〉【活】うむたん、うむらん、  
うむてい 【例】っやーが うむいるまま し  
えー。(あなたが思うままにきなさい)。ありが  
しえーんちえー うまーらん あたいぬ む  
ん やたん。(あの人がしたとは思えないほど  
のものだった)。

**うむい** **ちみーん** 〈思いつめる〉【活】う  
むいちみたん、うむいちみらん、うむいちみて  
い 【例】っちゅにんぢのー うむいちみーね  
ー うむいんゆらんくとう する ばーん あ  
ん。(人間は思いつめると思いもよらないこと  
をする場合もある)。

**うむ** **かぢ** 〈面影〉 【例】うむかぢぬ た  
ちーねー、くーよー。(面影が立ったら、来なさ  
いよ)。

**うむ** **むち** 〈目的、わけ、顔つき〉 【例】  
ありが むぬ いーよーや ぬーがな うむむ  
ちぬ あっさ やー。(あの人のものの言い方  
は何かわけがあるね)。あれー ちゃー ぬー  
がな うむむちぬ あてい ちょーさ やー。  
(あの人はいつも何か目的があって来ているね)。

**うむ** **やー** 〈好きな人、思いやりのある人〉  
【例】くねーだ へいわどーり まじゅん あ  
っちよーたしえー わん うむやーぐわー や  
たさ。あれー いっぺー っちゅ うむやー  
どー。(この間平和通りを一緒に歩いていたの  
は私の好きな女性だったんだよ。その人はとて

も思いやりあるよ)。

**うみ** **やみー** **すん** 〈思い悩む〉 【例】し  
くちぬ たとうくま とうーたしが、まーぬ  
ましが やら うみーやみー そーん。(仕事  
が2カ所受かったが、いったいどこがいいのか  
思い悩んでいる)。【参】「うみ」は「うむい」の  
短縮形か。

**うみー** **くみー** 〈思いやり〉 【例】あれー  
うみーくみーぬ あてい いっぺー っちゅ  
うむやー どー。(あの人は思いやりがあって  
とても思いやりのある人だよ)。

**うみ** **たち** 〈思い立ち〉 【例】うみたちど  
う めーふいー。(思い立ったが吉日)。

**うみ** **ちーん** 〈思い切る〉 【例】すんでい  
うむれーからー うみちやーに しえー。(す  
ると思ったら思い切ってきなさい)。ういなご  
ー うり ちゅいびけーや あらんしえー、あ  
りが くとー なー うみちれー。(女性はそ  
の人だけではないでしょう、あの人のことはあ  
きらめなさい)。

**うみ** **ちり** 〈思い切り〉 【例】ゆーわたい  
や うみちり でーいちんちん あくとう、ゆ  
ー くくりり よー。(世渡りは思いっきりが  
大切ってこともあるので、よく心得ておきなさい)。

**うみん** **ゆらん** **くとう** 〈思いがけない  
こと〉 【例】なま どうーぬ そーるくとう  
ぬ あん ないんでー うみんゆらんくとう  
やたん。(いま自分がしていることがそうなる  
とは思いがけないことだった)。

**うみ** **ちーん** 〈あきらめる〉 【例】うりと  
う にーびち ないがやーんでい うむとーた  
しが、いかなしとうん にーびちぬ はなしぬ  
っんぢらんくとう、なー うみちたん。(そ  
の人と結婚できるかと思っていたが、いかにし  
ても結婚の話が出ないので、もうあきらめた)。  
【参】やすんじーん (あきらめる)。

**うみ** **はまいん** 〈努力する、一生懸命する〉  
【活】うみはまたん、うみはまらん、うみはまて  
い 【例】うみちっとう うみはまてい がく  
むん さーに っちゅぬ っういーんかい た

てい よー。(思い切り励んで学問して、人の上に立ちなさいよ)。

うみ ゆいん 〈思いおよぶ〉【例】うみゆたん、うみゆらん、うみゆてい 【例】うみゆてい っちくいてい にふえー どー。(思い出して来てくれてありがとう)。

うみ んぐわ 〈お子さん〉 【例】うみんぐわー なー いくち などーいびーが?(お子さんは何歳になつていますか)。うみんぐわー いくたい なちえーが?(お子さんは何人産んだのか)。

うむてい 〈表〉 【例】たーんかい やていん、ぬーんかい やていん、うむていとう うらぬ あん。(誰にでも、なににでも、表と裏がある)。

うむてい ぢら 〈作り顔〉 【例】ちもー あねーあらん そーてい われーぢら みしとーしが、あれー うむていぢらどう やん どー。(心はそうではないのに笑い顔を見せているが、あの人は作り顔をしているのだよ)。

うむる うそーし 〈おもろ御そうし〉  
【例】うむるうそーしえー うちなーをうてー うたぬ うさみらっとーる いちばん ふるさる しゅむち やん。(おもろ御そうしは沖縄では歌が収録されている最古の歌集である)。

うめーし、めーし 〈お箸、箸〉 【例】まいどーぐんかえー、うめーし、めーまかい、しるまかい、まぎー・なかていー・ぐまーぬ けーうち、さじ、みしげー、なびげー、うちやわん、うじんぬ あん。(食器には、お箸、ご飯茶碗、おつゆ茶碗、大・中・小の皿、さじ、しゃもじ、玉じゃくし、お茶碗、お膳がある)。

うや 〈親〉 【例】うや ゆし っくわ ゆし。(親と子が助け合い、譲り合う)。

うや がかい 〈親の庇護の下にあること〉  
【例】っういーぬ がっこーん うわたしが、うぬ どうし なていん なーだ うやがかい そーん。(大学も終わったのに、その年になつてもまだ親の世話を受けている)。

うや がなしー 〈親御〉 【例】うやがなしーぬ なさけー ぬーとうん くなびららん。(親御さんの情けは何とも比べられない)。

うや っくわ 〈親子〉 【例】なちやしみなたくとう、していみていなーらー たんかー まんかー あまくまをうてい うやっくわっしらじおたいそー そーん。(夏休みになつたので、早朝から隣近所あちこちで親子でラジオ体操をしている)。

うや なけーし むん／うや なけーしんぐわ 〈親不孝者〉 【例】うやなけーし むんどう やてーくとう、なま なてい くーくえー そーん。(親不孝者だったので、今になって後悔している)。

うや ぬちゃーく 〈両親〉 【例】いったー うやぬちゃーや わらびんちゃー めー むんならーし しえーさ やー。(あなたの両親は子どもたちをよく躾けをしているね)。

うや まदैー 〈親なし〉 【例】うやまでいー すん。(＝うや をうらん なすん。)(親がいなくなる)。  
【参】うや をうらんぬー (親のいない者)。

(うや) ふあーふじ 〈祖先〉 【例】うちなーをうてー うやふあーふじ あがみーる ならーしぬ あてい、まーぬ ちねー やていん うこー たていてい うやふあーふじ こーこー そーん。(沖縄では祖先を崇拝する習慣があつて、どの家庭でもお線香を立てて祖先孝行をしている)。

うや まさいんぐわ 〈親勝りの子〉 【例】うやぬ うていふんぬ あてーくとうどう うやまさいんぐわん っんぢていちゅーくとう、っくわー うやぬ かがん。(親のお手本があつてこそ親勝りの子も出てくるので、子は親を写す鏡だ)。

うやぎー 〈お祝いの金銭や物資の援助〉 【例】うゆうえー しこーいる たみぬ うやぎーぬ ならーしえー なまー ねーん なてい ちょーん。(お祝いを準備するための援助の習慣は今ではなくなつてきている)。



**うゆばん** 〈及ばない〉 【例】ちゃっさ さんてーまん ありんかえー じょーい うゆばん。(いくらやってもあの人にはとうてい及ばない)。

**うゆうえー／うーうえー** 〈お祝い〉 【例】うゆうえーんかえー ちゅらすがいっし いちゆくとう、ういなごー うすまさ じん かかいん。(お祝いには美しく装って行くので、女性は驚くほどお金がかかる)。

**うら** 〈裏〉 【参】うむてい。  
**うら じゃ** 〈裏座〉 【例】うらじゃー うむやーぐわーたーが いちゃたい はなしむんがたい さい、あんしから わかみーとうんだぬ ゆくたい にんたい する とうくま やたん。(裏座は恋人達が逢ったり話したり、それに若夫婦が休んだり寝たりするところだった)。  
**【参】**くちやぐわー (若夫婦の寝室用の部屋)。  
**うらごーさ** 〈嫉妬、ねたみ〉 【例】どうーやかにん まさとーる っちゅ うらごーさ すしえー、ちからぬ ねーん すーく やん。(自分よりも勝っている人を嫉妬するのは、力がない証拠だ)。

**うら むにー** 〈逆のことを言うこと〉 【例】あれー うらむにーどう そーくとう、ありが いーしえー がっていん しえー なんどー。(あの人は思っていることと反対のことを言っているの、あの人の言うのを納得してはいけないよ)。

**うらーきーん** 〈水に浸す〉 【活】うらきたん、うらきらん、うらきてい 【例】ぬーでいー うらーきーん。(喉をうるおす)。いるかじぬ はなぬ さちよーる なーをうてい しーるとう ちーるーぬ はーべーるーぬ たーち もーいあしどーし んーち、ちむうらーきらったん。(いろいろな花が咲いている庭で白と黄色の蝶が二匹舞い遊んでいるのを見て、心を洗い清められた)。そーぐわちぬ かじやい むちえー はだかむち やてい あとー くふあじりー すくとう、みじんかい いってい う

らーきーていからどう かまりーたる。(正月の飾り餅は裸餅で後は固くなるので、水に入れて浸してから食べれたものだ)。うるじん(＝うりじん)ぬ しち なれー なーぬ いるかじぬ はなぬ さち、ちむ うらーきーる ぐとう ないん やー。(旧暦の2～3月になると庭のいろいろな花が咲いて、心が癒されるようだよ)。

**うらんだー** 〈西洋人〉 【例】うらんだすが いっし、うらんだぐち はなしーねー、ちもー うらんだー なんとーしが、うらんだーねー なららん。(洋装して、西洋語をしゃべったら、気持ちは西洋人になっているが、西洋人にはなれない)。

**うり さい／たい** 〈ほら(目上に)〉 【例】うり さい／たい、いちゃびらな。(それでは、行きましょう)。でいー さい／たい、いちゃびらな。(それでは、行きましょう)。あんしえー、いちゃびらな。(それなら、行きましょう)。ゑーっ ひやー、でいっか いかな。(それでは、行こう)。ゑーっ ひやー、ふえーく かめー／しえー。(ほら、早く食べなさい／しなさい)。

**うりーっさ、うり ひやー** 〈それっ(目下に)〉 【例】うりん あらん、くりん あらんんでい じまま すくとう、あとー くさみちやーに 「うりーっさ」んでいち とうらちゃん。(これでもない、あれでもないとわがまま言うので、終いには怒って「それっ」といつて渡した)。

**うり／あり／くり** 〈それ／あれ／これ〉

**うりかー／ありかー／くりかー** 〈その辺り／あの辺り／この辺り〉

**っんまかー** 〈その辺り〉 【例】うぬくる うりかーんかい めーや えいがかんぬ あたん どー。(その頃その辺りに以前は映画館があったよ)。わったー やーや うりかー やさ。(私の家はその辺りだよ)。

うり からー 〈それから、それ以後は〉

【例】くままでー まじゅん すしが、うりからー どうーくる しー よー。(ここまでは一緒にするが、それ以後は自分でしなさいよ)。

うり くる 〈その人自身で〉 【例】うっぴぐわーどう やくとう うりくる ないさ。(それっぽだから自分でできるよ)。

うり よー あり よー 〈あたらずさわらず〉 【例】あれー ちゃー うりよーありよー さーに っちゅ うーしてい どうーなーや ふいんぎまーい そーん。(あの人はいつもあたらずさわらずして人に負わせて自分は逃げ回っている)。

うんぐとーるー 〈そんなもの〉 【例】なままでー うんぐとーるーや んーちえー／ちえー／かでー／ぬでー／しえー んーだん。(これまではそんなものは見ては／聞いては／食べては／飲んで／してはいない)。

うりーん 〈降りる〉【活】うりたん、うりらん、うりてい 【例】うかみがなしーぬ ていんから うりていめんそーち みるくゆがふー なしみそーちゃん。(神様が天からご降臨なされて弥勒世界報にいただいた)。

うりーん 〈売れる〉【活】うりたん、うりらん、うりてい 【例】なちえー ふいじゅるむん、ふよー あちこーこー そーしぬ ゆーうりーん。(夏は冷たいもの、冬は温かいものがよく売れる)。

うりー 〈潤い〉 【例】ゐー うりー なていさにまちどうち やん やー。(良い湿りになって種まき時だね)。

うりじん 〈旧暦2~3月、初春〉 【例】うりじんべーぬ ふちーねー、ゐーはだむち なてい ゐー あんべー やー。(初春の南風が吹くと、さわやかになってとても心地よい)。

うる 〈砂、砂利、珊瑚の骨軸〉 【例】くまぬうるねー ふしがたぬ しなぬ まんちょーくとう、とうめーてい まーに。(ここの砂には

星形の砂がまざっているので、探してごらん)。うるいしっし からじ さばちーねー、たっくわてい ちゃーくーいっし とうららん ないん。(軽石で髪を梳くと、くつついてはずれなくなってとれなくなる)。

うるすん 〈下ろす〉【活】うるちゃん、うるさん、うるち 【例】つくわぬちゃーが むる なーめーめー やー むっちょーくとう、なまーかたぬ にー うるちょーん。(子どもがみんな各自の家を持っているので、今は肩の荷が下ろしている)。

うるにー なまにー すん 〈半煮えにする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】はがまっし めー にーる ばすねー ふいーぬかぎんぬ むちかさくとう、うるにーなまにーする ばーん あたん。(羽釜でご飯を炊く時には火加減がむづかしいので、半煮えにするときもあった)。っんむんかい うめーし たていーねー、にーとーが すら、うるにーなまにーが やら わかいたん。(芋に箸を立てたら、煮えているのか、半煮えなのか判った)。

～うるみ 〈～頃〉 【例】うちなーぐゆみぬぐんぐわちうるみねー でいーぐぬ さちはじみーん。(旧暦の5月頃にはデイゴが咲き始める)。

うわいん 〈終わる〉【活】うわたん、うわらん、うわてい 【例】っやーが ていがねーっし とうらちやくとう、たでーま うわたん。(あなたが手伝ってくれたので、あっという間に終わった)。

うんけー すん 〈お迎えする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】うちなーぐゆみぬ しちぐわちじゅーさんにちに うんけーじゅーしー ちゅくてい うやふあーふじ うんけーすん。(旧暦の7月13日にお迎え雑炊を作って祖先をお迎えする)。

うんじゅ 〈あなた様、ご自身〉 【例】うぬくとうー うんじゅが すくぶん やいびーく

とう、うんじゅくる しみそーれー。(そのことはあなた様の仕事なので、ご自身でなさってください)。

うんじゅ なー〈あなた様(さらに丁寧に)〉

【例】うんじゅなーや やしみねー まーんかい めんしえーびーが?(あなた様は休みにはどこにいらっしゃいますか)。

うんち／ぬんち／みゅんち 〈お顔〉

【例】ぬーんくいーん みー などーる っちょー うんち くわんくわんっし っんぶらーさん。(何でも成就した人はお顔つきがふくよかで品がある)。【参】うんちゅー(ご機嫌)、うんちゅー をうがでい くいみそーり。(よろしく言ってください)。

うんちよーび／ぬんちよーび／みゅんちよーび 〈髪敬称〉 【例】から

ぢぬ うやめーくとうばー 「うんちよーび」 んでい いーん。(髪敬称は「うんちよーび」と言う)。

うんちえー すん 〈お借りする〉 【活】～

さん、～さん、～っし 【例】あちゃー けーさびーくとう、うんちえー さびら。(明日返しますので、お借りしてかまいませんか)。うれー うんちえーむんどう やくとう さーらんき よー。(それは拝借したものだから触らないでよ)。

うんちけー する 〈案内、お迎え、ご招

待する〉 【活】～さん、～さん、～っし 【例】やーぢゅくい／にーびち うゆうえーぬ うんちけー さん。(家造り／結婚式のお祝いの案内をした)。かじまやーぬ うゆうえーんかい うんちけー さびらな やーんでい うむとーいびーしが、じふい めんそーちくいみそーり。(98歳のお祝いにご招待したいと思っていますが、是非いらっしゃってください)。うちなーぐゆみぬ しちぐわち なぬかねー なーめーめーぬ はかんかい っんぢ、ほーちかち さーに うちやとーっし はなん いちてい うやふあーふじんかい しちぐわちぬ うんちけー すん。(旧暦の7月7日には各々の墓に行って、掃除をしてお茶湯をして花も活けて御先祖にお盆のお迎えをする)。にーびちぬ うゆうえーんかい うんちけー さっとーん。(結婚のお祝いにご招待されている)。

うんぬかゆん 〈お聞きになる〉 【活】うんぬ

かたん、うんぬからん、うんぬかてい 【例】あぬ うかたぬ うふあなし うんぬかたる くとうぬ あいびーみ?(あのお方のお話お聞きになったことがありますか)。

うんぬきーん 〈申し上げる〉 【活】うんぬき

たん、うんぬきらん、うんぬきてい 【例】ぬー うんぬきていん うんぬかみそーらんたん。(何を申し上げてもお聞きにならなかった)。

# え

**えーじ** 〈合図〉 【例】けーいる ばすねー、えーじえー しーよー。(帰るときには呼んでね)。っやーが っんぢーる ばすねー、えーじっしから くーよー。(あなたが家を出るときには、あらかじめ声をかけてから来なさいよ)。うゆうえー する ばすねー、えーじ かきてい くいり よー。(お祝いをする際には呼んでくれよ)。ひこーきぬ っんぢたちんかい かきあーさらん なてい、まいくから ふえーく なー ふえーく なーんでい えーじ かきらってい、いっぺー はじかさん。(飛行機の出発に間に合わすことができなくて、マイクから早くしてと急かされて、とても恥ずかしかった)。

**えーじゅー** 〈同僚、仲間〉 【例】あれー わったー えーじゅーしんか やいびーん どー。(あの人は会社の同僚です)。えーじゅーや ちゅいたしきだしきっし ふいらてい いちゅる むん。(同僚は助け合ってつき合っているもの)。ふか をうてー えーじゅーや や

ーにんじゅーとー めぬむん やくとう、っちゅいたれーだれーっし かなさ すしどう やる。(外では同僚は家族と同様なので、お互いに補い合って仲良くするものだ)。

**えーすん** 〈潰す〉【活】えーちゃん、えーさん、えーち 【例】ふいちっんぢむん えーさーに、かんばち なんとん。(吹き出物をつぶして傷跡になっている)。

**えーてい** 〈相手〉 【例】わらびんちゃーぬ えーてい すしえー をうたいくとう、たんきり よー。(子どもたちの相手をするのは疲れるので、手加減しなさいよ)。ありがー えーてい ならん。(あの人は相手にならない)。

**えー むん** 〈和え物〉 【例】んぢやなばーとう とーふぬ えーむんとう ういとう みみがーぬ えーむんとー じれー しちゅが？(苦菜と豆腐の和え物とキュウリとミミガーの和え物とはどれが好きか)。



# お

**おーいん** 〈頭をあわせてけんかする〉【活】おーたん、おーらん、おーてい 【例】いんとう まやーや いちゃいねー しぐ おーいん。(犬と猫は出逢うとすぐにけんかする)。おーいる なかー ゆー あーとーん。(けんかする仲は気心が合っている)。

**おえー** 〈けんか〉 【例】おえー むんどー (口げんか)、くちおえー (口げんか)。うやっくわ おえー (親子げんか)、ちょーでー おえー (兄弟げんか)。ぬーぐとうんちむ ふぢゆるぐとう ちゅーごー さんねー おえー ないん どー。(何事も納得がいくまで話し合いしないとけんかになるよ)。みーとうんだー わかさる うちえー どうーかんげーびけーっし りんち おえーていーえー ゆー すんでき。(夫婦は若いうちは自分勝手な考えばかりして嫉妬からくるけんかをよくするって)。

**おえー むしー** 〈けんか好き〉 【例】おーやーむしーんかえー おーいる むしぬ たっくわとーんでき。(けんか好きにはけんかする虫がついているって)。

**おーらすん** 〈頭をあわせてけんかさせる〉 【例】うちなーをうてー みーむんとうっし うしおーらしえー、とういおーらしえー、 ふいーじゃーおーらしえーぬ あん。(沖縄では娯楽として闘牛、闘鶏、闘山羊がある)。

**おーじゃー** 〈青〉 【例】っやー ちらーいるん おーじゃーっし やみっちゅんねー そーん。(おまえの顔色も青くて病人のようだ)。ちーぬみんっぐわぬ ちびんかい いっとうち

っんぢーる おーるー (乳飲み子が尻に一時的に出る蒙古斑)。くるでい いしぬ とうがいんかい ちゅーく ちび うっちゃくとう ちび おーるー そーん。(転んで石の尖ったのに強く打ったので、お尻が青くなっている)。うみぬ おーってーんぐわー そーる とうくろー ふかさん。(海がコバルトブルーになっている所は深い)。【参】いるぬがー (顔色の悪い人)。

**おーかじ** 〈静脈〉 【例】あれー おーかじ たていてい うふあびーっし うだーちょーたん。(あの人は青筋立てて大声を出して怒鳴っていた)。おーかじ みーあていてい ちゅーしゃきっし ちー ぬぢゅしえー わったーや なん わじゃ やん やー。(静脈を見つけて注射器で血を採るのは私たちにはできない技だね)。

**おー さび** 〈青錆び〉 【例】くぢぬ さびしーねー おーさび すん。(釘がさびると青錆びする)。

**おーじゃー にーしえーぐわー** 〈青二才〉 【例】あれー なーだ おーじゃーにーしえーぐわーどう やくとう、うぬ わじゃーありがー なまー じょーい なん どー。(あの人はまだ青二才なので、その仕事はあの人には今はとてもできないよ)。

**おー だむん** 〈まだ枯れていない薪〉 【例】おーだむのー めーらんくとう、からちからふにんかい まじまってい やんばるから ちゅーたん。(まだ枯れていない薪は燃えないので、枯らしてから船に積み上げられてヤンバル

から来たものだ)。【参】まじむん（積み上げる）。

**おー むーい** 〈青のり〉 【例】おーぬーえー  
ー うちなーをうてい ゆー ちかーっとーる  
あーさ やてい とーふ いってい しる  
ちゆくてい かみーねー まーさん。（青のり  
は沖縄でよく使われているアーサで豆腐を入れて  
おつゆにするとおいしい）。

**おーびちえー、おーびちやい** 〈青光り〉  
【例】くるまやーとう しるまやーぬ みーん  
おおびちえー そーてい なまにん おーえー  
しーぎさん。（黒猫は目も青光りして今にも  
けんかしそうだ）。

**おーふあ** 〈青野菜〉 【例】やーしえーやー  
んかい っんぢやーに おーふあ こーてい  
くーわ。（八百屋に行って青野菜を買ってきな  
さい）。おーふあんかえー ちきなー、しるな  
ー、ふーりんなー、かんだばー、うんちえーぬ  
あん。（青野菜にはからし菜、菜っ葉、ほうれ  
ん草、かずら、空心菜がある）。

**おー ベー** 〈青蠅〉 【例】ふえーんかえー、  
おーびちえー そーる まぎさる おーベ  
ー、まぎさしが ふいかてー をうらん しま  
べー、がじやんとう ばっペーる あたいぬ  
ぐまーぐわーぬ しーペーぬ をうん。（ハエ  
には青光りしている大きな青バエ、大きい光  
ってはいない島バエ、蚊と間違えるほどの小  
さいコバエがいる）。

**おー まーみー** 〈緑豆〉 【例】おーまーみ  
ーや とーふまーみー やかん ぐまー やて  
い おーるー そーしが、うりから まーみな  
ーや ないん。（緑豆は大豆よりも小さくて緑  
色をしているが、それからモヤシはできる）。

**おー むん** 〈熟していない果実〉 【例】う  
ぬ ばさなえー なーだ おーむん やてい  
かまらん。（そのバナナはまだ熟していなくて  
食べれない）。

**おーるー びー** 〈青火＝鬼火〉 【例】お  
ーるーびーぬ ゆったいくわったいっし とう

どーし んーちやる くとうぬ あが やー？  
（鬼火がゆらゆらと飛んでいるのをみたことが  
あるかね）。

**おーぐらしん** 〈真っ暗闇〉 【例】おーぐ  
らしんをうてい まやーぬ みーぬ ふいちゃ  
とーてい よーうすまさん。（真っ暗闇で猫  
の目が光っていて気味が悪かった）。

**おーだー** 〈もっこ〉 【例】おーだーや、っ  
んむ、ちんくわー、でーくに、やーしえー は  
くだい、まるけーていなー わらび ぬしたい  
すしんかい ちかとーたん。（もっこは芋、カ  
ボチャ、大根、野菜を運んだり、時には子ども  
を乗せたりするのに使っていた）。

**おーちび** 〈ビリ〉 【例】っやーや びんち  
ょーや いちばん やしが、はーえーすーぼー  
ちゃー おーちび どー やー。（あなたは  
勉強が一番だが、かけっこはいつもビリだよ）。

**おーぢゅん** 〈扇ぐ〉【活】おーぢゅん、おー  
がん、おーぢ 【例】んかしえー せんぷーき  
や ねーんたくとう、うやぬ くばおーぢさー  
に おーぢ しだまさーに にんしていくいた  
ん。（昔は扇風機はなかったので、親がクバの扇  
で扇いで涼しくして寝かしてくれたものだ）。

**おーとー** 〈ミカン的一种〉 【例】うちなー  
くにぶんかえー オートー、カーブチー、タ  
ンカン、シークワサーんでーぬ あん。（沖  
縄ミカンにはオートー、カーブチー、タンカン、  
シークワサーなどがある）。

**おーふいじゅる かんじゃー** 〈寒々  
とした靈気〉 【例】がまんかい いっちやく  
とう おーふいじゅるかんじゃーっし ふいち  
けーちゃん。（洞窟に入ったら寒々とした靈気  
を感じて引き返した）。

# か、が

**かー** 〈井戸〉 【例】かーや ちーさーに みじ くむしとう くるまぐわーぬ ある かーぬ あたしが、ふいーじゃーがーや にーぶさーに くむん。(井戸はつるべで汲みのと滑車のある井戸があったが、樋井戸はひしゃくで汲む)。

**かー** 〈皮〉 【例】かーぐつ(皮靴)、かーじゃんぱー(皮ジャンパー)。かーびすー(皮が薄いもの)、かーぶちー(表皮があつい蜜柑の種類)。  
**かー** **かんぢやー** 〈目がかすむこと〉 【例】るくじゅーまでいねー ぬーん ねーんたしが、ななじゅーん ないねー みーぬ かーかんぢやーっし かしましく ないくとう、かたみーなーどう(=ちゅうくるなーどう) しゅじゅつ すんでい どー。(60歳まではなんでもないが、70歳にもなると目がかすんでしまって不自由になるので、片方ずつ(=一箇所ずつ)手術するってよ)。

**かー** **はっぱいん** 〈強く張り伸ばす〉【活】〜はっばたん、〜はっばらん、〜はっばてい 【例】さんしんとうか てーくんでーや ちゅーく かーはっばてい、ぬー うとう っんぢやすん。(三線や太鼓などは強く皮を張り伸ばして、良い音を出す)。

**かー** **びしー** 〈皮のうすい者、もの〉 【例】やまとうんちゅぬ はだー かーびしー なてい みーゆしが、うちなーんちょー かーあちー なてい みーゆん。(本土の人の皮膚は皮うすになって見えるが、沖縄の人は皮厚に見える)。

**かつ** **ばやー すん** 〈(水分が抜けて)皮張

りの状態である〉 【例】みーら んでいいー しえー かつばやー そーん やー。(ミイラというのは皮膚が乾燥して皮張りの状態だね)。

**がー** 〈意地、自我〉 【例】がー はいん。(我を張る)。がー をうーりーん。(根負けする)。っやーがんちょーん がー をうーりーる あたい やくとう、あれー なー したたかぬ がーぢゅーやさ。(君でさえも根負けするほどなので、あれは相当我が強いんだね)。あれー がー はいる さこー いぢえー ねーらんどー。(あの人は我を張るほどには勇氣はない)。がーん ありわどう くとー とうじみうーする。(意地を張ってこそ物事は成し遂げられる)。

**がー** **えー** 〈威勢づけ〉 【例】なーふあぬ うふちなふいちをうてー、にーしえーたーが あがり いりんかい わかりてい てーく、かに うちならち がーえーすーぶ すん。(那覇大綱挽では若者たちが東西に分かれて太鼓、鉦を打ち鳴らして威勢を競い合う)。ゑーまをうてい しょーがっこー あっちょーたる ばすねー、たーからんちんねーん、みちなかんぢ とうぬすくしょーがっこーしーや いしやなぐ いらしよーがっこーしー んーぢーねー 「いしがんぱらー」 んでい うふあびーっし、いしやなぐいらしよーがっこーしーや とうぬすくしょーがっこーしーんかい 「とうんぬ ふしゅ」 んち、たげーに いーがーえー すたん。(八重山で小学校に通っている頃は、誰からともなく、道中で登野城小学校生は石垣小学校生を見かけたら「石の多い地」と叫び、石垣小学校生は登野城小学校生に「鳥の糞」と、お互いに



言いながら氣勢をあげたものだ)。

### かーがー 〈(水面、鏡、地面などに) 映る影〉

【例】くむいぬ みじかがぬんかい うちとー  
る すばひらーぬ ちしちぬ かーがー んー  
ぢーねー、ちむ あーんねー すん。(池の水面  
に映っている辺りの景色の影を見ると、心が落  
ち着くような気がする)。

やま かーがー 〈人見知り〉 【例】をうと  
ー したたかぬ やまかーがー やてい わん  
どうしぬ ちらん んーぢゅんちん さん。  
(夫は大変な人見知りで私の友人の顔もみよう  
ともしない)。

### かーぎ 〈容貌、姿、陰〉 【例】かーげー か

ーどう やる、ちむぐる でーいち。(容貌は  
表面、心遣いこそ大切)。なちぬ しだどうくろ  
ー かーぎ ならーる きーぬ しちゃ やん  
どー。(夏の涼しい場所は陰になっている木  
の下だよ)。

かーぎ ぶし 〈陰干し〉 【例】しんじむん  
ないる くわーぎぬ ふあー、かきぬ ふあ  
ー、ばんしるーぬ ふあーや かーぎぶし す  
ん。(煎じ物になる桑の木の葉、柿の葉、グワバ  
の葉は陰干しにする)。いるむんぬ ちのー  
かーぎぶし さんねー、いるぬ うていてい  
ふかからー ちちえー あっからん ないん  
どー。(色柄ものの着物は陰干ししないと、色が  
抜けて外出に着けられないよ)。

### かーかすん 〈干す、乾かす〉 【活】かーかち

やん、かーかさん、かーかち 【例】いちゃ あ  
んてい かーかすん。(イカを焙って干す)。「か  
らじえー かーかちから にんてい よー。と  
うし っういーていから しーら いーん ど  
ー」んてい あんまーんかい ゆー いらっ  
とーたん。(「髪は乾かしてから眠んなさいよ。年  
とってから病弱になるよ」とお母さんによく言  
われていた) 【参】「かーらかすん」とも言う。

### かーきー 〈指切りげんまん〉 【例】うふっ

ちゅ ないねー たいや にーびち さやーん

ち みーとうんだぐわーしえー さーに、かー  
きー さる うじらーさる ういなぐわらびぬ  
をうたしが、なまー まーをうてい ちゃー  
そーが やー？(大きくなったら二人は結婚  
しようねとままごと遊びをして、指切りしたか  
わいい女の子が居たが、今はどこでどうしてい  
るのかなあ)。

### かーきーん 〈乾く、渴く〉 【活】かーきたん、

かーきらん、かーきてい 【例】あらいむのー  
ていーだんかい ふしわどう かーきーしえー  
ふえーさる。(洗濯物は陽干しすれば乾くの  
は速い)。なちえー かわてい ぬーでいーぬ  
かーきーっさ やー。 あんすくとう、ぬみ  
むのー はなさらん。(夏は格別に喉が渴くね。  
それで、飲み物は離せない)。

かーき のーし 〈渴き直し〉 【例】でいー、  
かーきのーし さな。ゆくてい ちゃーぐわー  
ん ぬまな。(さあ、渴きを潤そう。休んでお茶  
でも飲もうよ)。

### かーさ 〈広い葉〉 【例】くばがーさぬ おー

ちえー がっさぬ、いっペー ちかいやっさし  
が、ふるーないしんでー しだかじぬ たった  
くーん ないん。(クバの葉の扇は軽くて、と  
ても使いやすいが、古くなるごとにどんどん涼  
風が来なくなる)。んかしから うちゆくいが  
わいっし をうーがーさ ちかたい、なまん  
けーうちがわいっし さんにんがーさん ちか  
たい そーん。(昔から風呂敷代わりに糸芭蕉  
の葉を使ったり、今も皿代わりに月桃の葉也使  
ったりしている) 【参】ないをうー (実がつく  
芭蕉、バナナの木)。

### かーじ／かじ 〈たびに〉 【例】やーんかい

いちゆるかーじ をうらんしが、あんすか  
いちゆなさどう ある め？(あなたの家に行  
くたびに居ないが、そんなに忙しいのか)。いち  
ゆる かーじ ぬーくいーん むたさりーん。  
(行くたびにあれこれ持たされる)。わんねー  
やしみぬ かーじ うみんかい しーみっし  
さんぐ しらびとーん。(私は休みのたびに潜

って珊瑚を調べている)。

**かーたー** 〈偏った、～のような〉【例】ちゅ  
かーたーがみ さんぐとう やしえーん かめ  
ー。(偏った食べ方はしないで、野菜も食べな  
さい)。っやー ちのー むる ゐぬ かーたー  
やさ やー。(あなたの服はみんな同じよう  
なデザインをしているね)。

**かーちー** 〈夏至〉【例】かーちーぬ くろ  
ー ふえーかじぬ ふち しだこー なていち  
ゅーしが、うりから あとー うすまさ あち  
さる なちぬ ちゅーん。(夏至の頃は南風が  
吹いて涼しくなってくるが、その後はすごく暑  
い夏が来る)。

**がーなー** 〈たんこぶ〉【例】がーなー い  
っちょーん／あちょーん。(たんこぶができて  
いる)。すーじぐわーをうてい あったに っ  
ちゅぬ とうんぢていちゃーに ちぶる あー  
ち たいや がーなー あちょーたさ。(路地  
で急に人が飛び出て来て、頭をぶつけて二人は  
たんこぶができていたよ)。

**かーぶちー** 〈ミカン的一种〉【例】かーぶ  
ちーや かーや おーってーんっし あちぶっ  
たらー そーしが、しろー あまさん。(カーブ  
チーは表皮は青くて厚いが、果汁は甘い)。

**かーぶやー** 〈コウモリ〉【例】ゆる な  
いねー かーぶやーぬ とうでいちゃーに な  
ーぬ ないむん あるうっさ かまーに、かし  
えー はちっんぢやさっとーん。(夜になると  
コウモリが飛んできて庭の果実をあるだけ食べ  
て、カスは吐き出されている)。

**かーみ** 〈甕〉【例】「みーとうんだー かーみ  
ぬ ちび ていーち」んち あるむんぬ、かー  
み ていーちんかい うさーすくとう、ぬーぬ  
しわん ねーらん。(「夫婦は甕の底一つ」と  
いうのだから、同じ骨壺に収まるので、何の心  
配もない)。

**かーみー** 〈亀〉

**かーみー** くー 〈亀の甲羅〉【例】かーみ  
ーくーやか とうしぬ くー。(人生経験の豊  
かさこそ尊いもの)。

**かーみな** くー 〈べっ甲〉【例】んかしえ  
ー かーみなくーさーに じーふあー、さばち  
んでー ちゅくとーたん。(昔はべっ甲でかん  
ざし、櫛などを作っていた)。うちなーをうてー  
かーみなくーうふあかぬ まんどーん。(沖  
縄では亀甲墓が多い)。

**かーらちゅん** 〈乾く〉【活】かーらちゃん、  
かーらかん、かーらち 【例】かーらちゅる し  
ちねー どうーぬ かーぬ かさかさー さん  
ぐとう、あんだむぬん とういしえー まし  
やん。(乾燥している季節には皮膚が乾燥しな  
いように脂肪を補給するのがいい)。

**かいん** 〈借りる〉【活】かたん、からん、かて  
い 【例】かいねー ふとうきぬ ちら、はら  
いねー うにぬ ちら。(金貸しは借りる時は  
仏のようだが、返す時は険しい顔をする)。し  
ゅむち かいが としょかぬんかい っんぢや  
ん。(本を借りに図書館に行った)。

**かいん** 〈苺〉【活】かたん、からん、かてい  
【例】がっこーから けーいねー、かばん うち  
きてい ふいーじゃーぬ くさ かいが いか  
んとーならんたん。(学校から帰ると、カバンを  
置いて山羊の草苺りに行かなくてはならなかつ  
た)。

**かかいん** 〈世話になる、かかる〉【活】かか  
たん、かからん、かかてい 【例】まーぬ いさ  
ぬやー かかとーが？／いさぬやーや まー  
かかとーが？(どこの病院に診てもらっている  
の)。だいがくいんをうてい しんしーや た  
ー かかとーが？(大学院では先生は誰に指導  
してもらっているの)。わんねー うた さん  
しん ならーとーしが、のむらりゅーぬ あら  
かちしんしーんかい かかとーん。(私は唄三  
線をならっているが、野村流の新垣先生から指  
導を受けている)。わらびんちゃー がくむん  
しみーるたみねー じのー ちゃっさ かか

ていん しむん。(子どもたちを教育させるためにはお金はいくらかかってよい)。

**かかい で一** 〈粘り強さ〉【例】なまぬ わらびんちゃーや かかいで一ぬ ねーんくとう、にじーるくとうん ならーさんだれー ならん。(今の子どもたちは粘り強さがないので、耐えることも教えないといけない)。

**かかいん** 〈詰め寄る、引っかかる〉【活】かかたん、かからん、かかてい【例】あー あんべー さき ぬどーるとうちに いふーな っちゅんかい かかいまちぶい さつてい どうまんぐいたん。(気持ちよく酒を飲んでいるときに変な人に詰め寄られて動揺した)。

**かかじーん** 〈かじる〉【活】かかじたん、かかじらん、かかじてい【例】あれー いくち なくとう、うやぬ むんびけー かかじてい あっちゅが?(あの人はいくつになるのに、親のすねかじりをしているのか)。

**かかわい** 〈かかわり〉【例】な一ふあとう ホノルルや みーじさんじゅーににんぐる いみんぬ はじまたる かかわいぬ あてい、なままでい ちょーで一びれー そーん。(那覇とホノルルは明治32年頃移民が始まった関係で、今まで姉妹都市として交流している)。っやーとー ぬーぬ かかわいん ねーんくとう、あびらんけー。(あなたと何のかかわりもないので、口を出すな)。

**かかん** 〈下裳〉【例】どうぢぬん かかぬん ちち をうどういーねー、はーべーるーぬ もーとーんねーっし かかんぬ ふいだぬ ゆらゆらっし いっぺー ふいかさりーん。(胴衣も下裳も着て踊ると、蝶が舞うように下裳の襷がゆらゆらゆれてとても惹かれる)。

**かきあーいん** 〈間に合う〉【活】かきあーたん、かきあーらん、かきあーてい

**かきあーすん** 〈間に合わす〉【活】かきあーちゃん、かきあーさん、かきあーち【例】に

ーびちに ちーる ちん やくとう、うりまで いねー かきあーち くいみそーらんがやー?(結婚式に着る着物なので、それまでには間に合わせて下さいませんか)。

**かきあーし むん** 〈間にあわせ用品〉【例】そーぐわちぬ かきあーしむん ふえーべーとう あちれーとーかんねー、あわていーはーていー すん どー。(正月の間にあわせ用品を早めに注文しておかないと、あわてるよ)。

**かきーん** 〈掛ける〉【活】かきたん、かきらん、かきてい【例】あれー やぐさみむん やくとう、ちむ かきてい まるけーてい でんわ すん。(あの人は独り者なので、心配して時々電話をする)。

**かき えー** 〈掛け合い〉【例】んかしえー うでいかきえー さい、ぎーたーさーに ふいさ かきえー さいっし あしだん。ふいさ かきえーや くるだる っちゅぬ まき やん。(昔は腕相撲をしたり、片足で足相撲をしたりして遊んだ。足相撲は転んだ人が負けだ)。

**かき むち** 〈掛け持ち〉【例】ありくり かきむちっし あわり そーん。(あれこれ掛け持ちして難儀している)。

**かき じゃー** 〈吊るし鉤〉【例】くーさる ばすねー、かみむん っうえんちゅんかい きじゃーさらんたみとう、かみむん すがち くさらさんたみに、ていんじょーんかい かきじゃーさーに みーじょーきー かきとーたん。(幼い頃は、食べ物をネズミに食べられないためと、食べ物を風に当てて腐らせないために、天井に吊るし鉤でカゴを下げていました)。

**かきーん** 〈賭ける〉【活】かきたん、かきらん、かきてい【例】「わんねー さき やみらなやーんでい うむとーっさー」んでい、どうしんかい いちやくとう、「ふんとー なー? とー、あんしえー かきーみ?」んでい いらったん。(「私は酒をやめようかと思っているよ」と言ったら、「本当か。じゃー賭けるか」と言われた)。

**かぎーん** 〈欠席する〉【活】かぎたん、かぎらん、かぎてい 【例】ちゅーや あんまさぬ、いさぬやーんかい っんぢちゃーびーくとう かぎやびら ふー。(今日は気分が悪くて、病院に行って来ますので欠席しますね)。

**かきむん** 〈欠けたもの〉 【例】かきまかえーぶかりー やくとう、うっちゃんぎれー。(欠けた碗は縁起が悪いから捨てなさい)。

**かく** 〈癌、難病〉 【例】あれー さき ぬみちゅーさぬ、さきがく なてい よーみ いっちょーん。(あの人は酒を飲み過ぎて、癌になって衰弱している)。あれー さきがく やんてい やー?(あの人は酒が原因の癌だってね)。

**がく ぶり** 〈学問以外は何も知らない人〉 【例】がくぶり やくとう、がくむんくーとーぬーん わからん。(「がくぶり」なので、学問以外は何も分からない)。

**かくい** 〈囲い、垣根〉 【例】あかばな一ぬきーさーに やしちがくいっし あまくまから あかーぐわーっし ちら ねーてい いっペー るー ふーじ やたん どー。(ハイビスカスの木で屋敷を囲ってあちらこちらから赤い花が顔を出してとてもいい感じだったよ)。はなりんかえー いしがちがくいとう だきがくいぬ うふく んーだりーん。(離島には石垣と竹垣が多く見られる)。

**かくぐ すん** 〈大切にしまい込む〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】くわじぬ うくりていん ぬー しん、っちゅんでい いーしえーぬちどう あたらさくとう、めーらんぬーぬいりむん こーてい うりんかい かくぐしーねー、ふいんぎーる くとう ないしえーやー。(火事が起こっても何でも、人というのは命が大事なので、燃えない容れ物(金庫)を買ってそれに大切にしまい込んだら、逃げることができるでしょう)。いんかん、つーちょー、すーむのー なー めーめーさーに かくぐ

しーよー やー。(印鑑、通帳、証文は各自で大切にしまい込みなさいよ)。

**かくじ** 〈下顎全体〉 【例】ちらぬ しちゃむていぬ ふいぢやい にぢりんかい ふにぬあしが、うりかーや 「かくじ」んでい いーん。(顔面の下の方に左右に骨があるが、そのあたりは「かくじ」と言う)。くちぬ しちゃぬ とうんがとーる とうくろー 「うとうげー」んでい いーん。(顔面の下に尖っている箇所は「うとうげー」と言う)。

**かくすん** 〈(他に知られないように) 隠す〉【活】かくちゃん、かくさん、かくち 【例】どうーぬ でーじ ないる くとー かくしーまーしーっし わかららんぐとう そーる くわんにんぬ にゅーすぬ ちかぐろー うふさん。(自分に不利になることを知られないように隠し通している公務員のニュースが近頃は多い)。ゆすんかい っくわ なちえーし かくちょーたしが、わからりやーに みーとうんだ わかり そーたんでい。(他所で子をつくったのを隠していたが、知られて離婚したって)。かじやいだなぬ ちぶぬ なーかんかい わたくさーぐわー かくちょーたしが、やっちーんかい みーあていらったん。はー、くんどー まーかい かくすがやー?(飾り棚の中にへそくりを隠していたが、兄に見つけられた。さて、今度はどこに隠そうかなあ)。【参】くわっくわすん((見えないように) 隠す)。

**かくびち** 〈とても好いもの、おいしいもの、いい仲〉 【例】あまぬ すばー かくびちまーさん どー やー。(あそこのそばはとてもおいしいよね)。ありとう わんとー かくびち やん どー。(あのひと私はとても仲がいいよ)。

**かくむん** 〈囲む〉 【例】うほーくぬ っちゅぬちゃーが ていー とうやーに ふていまきち かくだん。(多くの人たちが手を取って普天間基地を囲んだ)。

**かくり ぶし** 〈人前ではその気配を見せない達人〉 【参】 くちぶし (口先だけの達人)。

**かげーいん** 〈支配する〉【活】 かげーたん、かげーらん、かげーてい 【例】 んかしえー うしゅがなしーめーが るーちゅー かげーとーたん。(昔は国王が琉球を支配していた)。

**かさかさー** 〈乾燥したさま、ごわごわしたさま〉 【例】 ふゆねー ちらん ていーふいさん かさかさー ないやっさん。(冬には顔も手足も乾燥しやすい)。ぬい いってーる ちのー いっぺー めー あんべー やしが、かさかさー そーくとう なかねー ちらんぱー／しかん すしん をうん。(糊が入っている着物はとても良い具合だが、ごわごわしているのだから着たがらない／嫌いな者も居る)。  
【参】 がさがさ (忙しく動き回る様子、物の触れ合う音)。

**かさぎーん** 〈妊娠する〉【活】 かさぎたん、かさぎらん、かさぎてい

**かさぎらすん** 〈妊娠させる〉【活】 かさぎらちゃん、かさぎらさん、かさぎらち 【例】 くまぬ どーぶつえんをうてー っちゅぬ ていーがしーん あてい、ばんだ かさぎらちやしが、つくわぐわーぬ っんまりーし たぬしみ やん。(ここの動物園では人の手貸しもあって、パンダを妊娠させたので、赤ちゃんが生まれるのが楽しみだ)。

**かさばいん** 〈重なる〉【活】 かさばたん、かさばらん、かさばてい 【例】 たーち かさばいねー、みーち かさばていどう くとー うわいさ。(2つ重なると、3つ重なって事は収束するものだ)。

**かさびーん** 〈重ねる〉【活】 かさびたん、かさびらん、かさびてい 【例】 かがんむち たーち かさびてい みーちめーねー くがにー かさびてい そーぐわち かじゃい すん。(鏡餅は2つ重ねて3つ目にはクガニー蜜柑を重ね

て正月飾りをする)。めーくとー ななけーん やけーん かさびてい、やなくとー かーまんかい うしぬきーん。(善い事は7回8回も重ねて、悪いことは遠くに押しのける)。くみぬ いっちょーる かしがーぶくる みーち かさびーん。(米が入っている麻袋を3つ重ねる)。かーらやー ふちゅんでいち なーんかえー かーらぬ うほーく かさびらっとーん。(瓦葺きの家を造るといって庭に瓦がたくさん重ねられている)。  
【参】 かーらぬ まじまっとーん (瓦が積み上げられている)。

**かし** 〈粕〉 【例】 とーふぬかし いりちやーちゅくいる ばすねー ちでーくに、ふいじき、とーふまーみー いりーしが、あふあむん やくとう、だしじる いってい にーねー、まーくまーく かまりーん。(おから炒めをつくるときには、ニンジン、ひじき、大豆を入れるが、味のないものなので、だし汁を入れて煮ると、おいしく食べれる)。

**かじ** 〈風〉 【例】 じゅーぐわちぬ うふかじえー あみぬ いきさくとう、ちゅーあたい すんでい どー。(10月の台風は雨が少ないので、強く当たるってよ)。かじふちえー、けーしえー ねーに？(台風は返し風はないのか)。

**かじ かたか** 〈風除け〉 【例】 んかしぬ ふくぢがちえー かじかたかん ていーだかたかん なてい めー やんべー やたん。(昔のフクギ垣は風よけにも日よけにもなってよかった)。

**かじ ふち** 〈強風、暴風〉 【例】 あちやー、あさてい かじふちぬ ちゅーんでい どー。(明日、あさって強風が来るってよ)。

**かじ ふち あーけーじゅー** 〈暴風の前兆に群れ飛ぶトンボ〉 【例】 かじふちぬ めーしらしとうっし かわてい あーけーじゅーぬ うほーく あちまてい ちゅーるくとう、くれー 「かじふちあーけーじゅー」 んでい ゆばっとーん。(暴風の前触れとして特にトンボがたくさん集まってくるので、「かじふちあーけーじゅー」と呼ばれている)。

かじ まーい 〈旋風、突風〉 【例】にんぐわち かじまーいねー、さんかくなみぬ たちゆくとう、うめー ちーちきらんねー うかーさん どー。(陰暦の2月旋風には三角波が立つので、海は注意しないと危険だよ)。

かじ まやー 〈かざぐるま、97歳の生年祝い〉 【例】かじまやーぬ うゆうえーねー うぬ うとうすいや くるま ぬてい かじまやー むっち ななちぬ あじまー まーいん。(97歳の生年祝いにはそのお年寄りが車に乗って風車を持って7つの交差点を廻る)。

かじ まやー 〈交差点〉 【例】かじまやーでい いーしえー、みちとう みちとうぬ あじまー なとーる とうくま やん。(交差点は道と道とが交わっている箇所だ)。

かじ まやー ぎー 〈クチナシ〉 【例】かじまやーぎーぬ はなしっし かじまやー ちゆくてい あしぶん。(クチナシの花で風車を作って遊ぶ)。

かじ っわーら 〈風上〉 【例】かじっわーらぬ まー なとーがんでいーる くとうさーに、くちかじ、ふえーかじ、にしかじんでーぬ ふちゆるかじぬ あしが、くちかじぬ ふちーねー あみぬ ふいめー、ふえーかじえー しだかじ、にしかじえー ふいじゆるかじ なとーん。(風上がどこになっているかで、東風、南風、北風などの吹く風があるが、東風が吹くと雨の前兆、南風は涼風、北風は寒風になっている)。

かじ 〈筋、繊維〉 【例】かじぬ うふさる やしえー うほーく かむるくとう しーねー ちしらんでい。(繊維の多い野菜をたくさん食べることをしたら便秘しないって)。ししえー まるにー さんねー かじぬ ちまてい くふあーいん。(肉はまるごと煮ないと筋が縮んで固くなる)。くぬ ナーベラーや かじ なとーてい かまらん どー。(このへちまは繊維が固くなっていて食べられないよ)。たなげー ていんぷら するばすねー かじ ちっちから あんだんかい あぎてい かむし や

ん。(川エビのてんぷらをする際には背筋を切ってから油で揚げて食べるものだ)。

かじ ちり あびー 〈首筋が切れるほどの叫び〉 【例】せんきょんかい たちゆる ちゆぬちやーや あまくまをうてい かじちり あびーっし どうーぬ なー うってーとーたん。(選挙に立つ人たちはあちらこちらで首筋が切れるほど大声で自分の名前を訴えていた)。

かじ 〈数〉 【例】うちなーぐちさーに ていーちから とうーまでい かじ ゆむし わらびんちやーんかい ならーちゃん。(沖縄語で1から10まで数えるのを子どもたちに教えた)。うちなーけんぬ っちゆかじえー ちゃっぴやが わかいみ?(沖縄県の人口はどれだけのかわかるか)。

かじ かじぬ 〈たくさんの〉 【例】なー かじかじぬ さねーならんくとうぬ うふさぬ、ぬーからが ていー ちきてい しむらわからん さー。(もうたくさんしなければならぬことが多いと、何から手を付ければよいのかわからないよ)。

かじ ならん 〈取るに足らない〉 【例】かじならん わん あたいぬ むんが うんなまぎちとうみ ないびーがやー?(不肖私ごとき者がこんな大役できますかねえ)。

かじ 〈舵〉 【例】はーりーすーぶんぢえー かじとういや かなみ ないん。(ハーリー競争では舵取りは大事になる)。

かしー 〈応援、援助〉 【例】かしーんかえー ちむ がしー、くち がしー、ちから がしーぬ あしが、ちむがしーや ちむ やどーるばすに ちむのーしっし とうらするくとう やてい、くちがしーや むぬ いーぬ いきらさる っちゆんかい かしーするくとう やてい、ちからがしーや じんがしーや ならん っちゆが ないん ていがねー やん。(援助には心の援助、口の援助、力の援助があるが、心の援助は心が病んでいる際に直してあげることで、口の援助は口数の少ない人を応援するこ

とで、力の援助はお金での援助ができない人がする手伝いだ)。

**かしがー** 〈麻布〉 【例】んかしえー めりけんぶくるんかえー むーぢなくー、かしがーぶくるんかえー くみ いっとーたしが、どうーぬ ちかいる どーぐ、かみむぬんでー ぬーくいーん かしがーぶくるんかい いっとーたる おじさんぬ ちゅけーとうないんかいをうたん。(昔はメリケン袋には小麦粉、麻袋には米を入れていたが、自分の道具、食べ物等あれこれ入れていたおじさんが隣近所にいた)。

**かしかき** 〈かせ掛け〉 【例】かしかきんでいる うちなー をうどういぬ あん。(かせ掛けという沖縄踊りがある)。

**かしちー** 〈おこわ〉 【例】かしちーや かりーな むん やてい、うゆうえーぬ ばすねー むちぐみ、あかまーみ ぐー なち っんぶちえーる むんぬ っういーんかい くるぐまぬ ほーらっとうん。(おこわはめでたいもので、お祝いのときには餅米、小豆と一緒に蒸したものの上に黒ごまが振りかけられている)。

**かしていら** 〈かまぼこの一種〉 【例】かしていら かまぶこー うちなーをうてー しちぐわち、そーぐわち、すーじぐとうんかえー かかさらんむん やん。あかかまぶくとう かしていらーや くわっちーぬ はながた やたん。(かすてらかまぼこは沖縄では盆、正月、祝い事には欠かせないものだ。赤かまぼこかすてらはごちそうの花形だった)。

**がじまる** 〈がじゅまる〉 【例】くぬ がじまるぬ にーや まーまでいん ふいるがてい いしん だち、ゆだん ふいるがとーくとう、ていーだかたか なてい くり かーぬ っちゅぬちやーぬ しだみどうくる などーん。(このガジュマルの根はどこまでも広がって石も抱いて枝も広がっている、陽を遮ってこの辺りの人たちの涼み所になっている)。

**かじみーん** 〈大事にしまう〉【活】かじみたん、かじみらん、かじみてい 【例】てーしちな むん やくとう どうく うーくんかい かじみやーに、あとうぬ うじゅみねー どうーくるん わからん などーん。(大切なものなので奥深くしまい込んで、あげくの果ては自分でもわからなくなっている)。

**かじみ むん** 〈秘蔵品〉 【例】くぬ けーうちえー うやふあーふじからぬ かじみむん やくとう、いふいぐわー やていん きじちきてー ならん どー。(この皿は先祖からの秘蔵品なので、少しでも欠損させてはいけないよ)。

**かじゃ** 〈臭い〉 【例】きぶしぬ かじゃ すん。(煙の臭いがする)。なー いっペー はなぬ かばかじゃ そーん やー。(庭一面花が芳い香りがしているね)。【参】かばさん(香りがいい)、かばかじゃ(芳香)。

**かじゃい** 〈飾り〉 【例】そーぐわちぬ かじゃいむん しーねー、ちもー そーぐわち などーんねーっし、くるる うかさりーん。(正月の飾り物をする、心は正月になっているような気がして、浮き浮きしている)。

**かじゃい たていーん** 〈飾りたてる〉【活】～たていたん、～たていらん、～たていてい 【例】ちゅーや アミリカそーぐわち やくとう、やーぬ なーかん なーん かじゃいたていとーん。(今日はクリスマスなので、家の中も庭も飾り立てている)。

**がじゃん** 〈蚊〉 【例】がじゃんくえー (蚊に刺された痕)。がじゃぬんかい くわーってい よー。(蚊に刺されてしまっただね)。がじゃぬんかい くーらりーん どー。(蚊に刺されるよ)。

**かじゅーいん** 〈数える〉【活】かじゅーたん、かじゅーらん、かじゅーてい 【例】うちなーぬ あまくまから かじゅーらん あたいぬ っちゅぬちやーぬ なーふあんかい あちまて

いちゅーくとう、っちゅかじえー たった う  
ほーく などーん。(沖縄のあちこちから数え  
られないほどの人々が集まってくるので、人口  
はだんだん増えている)。

**かしら** 〈長、頭〉 【例】やーぬ かしらー  
をうとうどう やる。(家の大黒柱は夫だ)。し  
んしーたー なーかをうてー あぬ っちゅが  
どう かしら やみしえーん どー。(先生た  
ちの中ではあの人こそが一番上でいらっしやい  
ますよ)。なまぬ うちなーをうていぬ かし  
らー けんちじ やん どー。(現在の沖縄の  
リーダーは県知事だよ)。くとうしん あぬ  
っちゅが PTA ぬ かしら そーん [=ちとう  
みとーん/などーん]。(今年もあの人が PTA の  
会長をしている [務めている/なっている])。

**かた** 〈肩〉 【例】あちゃーまでいねー しー  
なさんとーならんくとう、ちゅー とうじみて  
い かたぬ にー うるちょーん。(明日まで  
にはやり終えなければならぬので、今日仕上  
げて肩の荷が下りている)。ていーぬ さちか  
ら なー ちゅとうくるぬ かたまでー てー  
げー いちメーターびけーん あん。(手の先  
からもう一方の肩先まではおよそ 1m 程ある)。

**かた** 〈形、型〉 【例】わらびぬ くろー め  
ーぬ ういんかい ふいっさる かび うちき  
てい かた とうてい めー かちゃん。(子  
供の頃は絵の上に薄い紙をおいて形を取って絵  
を描いた)。

**かた** 〈方向、方角〉 【例】すいぐしくから  
んーち、あがりかたんかえー しえーふあーう  
たき、ふえーぬ かたんかえー しちなうどう  
ん、いりぬかたんかえー なんみんぐー、にし  
かたんかえー じゃちみぐしくぬ あん。(首  
里城から見て、東の方角に斎場御嶽、南方には  
識名御殿、西方には波の上宮、北方には座喜味  
城がある)。**【参】** 親しみを込めて、うぐしく(首  
里城)とも言う。

**かた** 〈片〉

**かた あがい** 〈半煮え〉 【例】くぬ むし  
ぐわーしえー かたあがい そーしが、ぬーん  
ち あん なたがやー?(この蒸し菓子は半煮  
え状態だが、どうしてそうなったのかなあ)。

**かた うでい** 〈協力者〉 【例】っちょー  
かたうでいん をうりわどう ぬーぐとうん  
なさりーる。(人は協力者も居てこそ何ごと  
も成就される)。

**かた うむい** 〈片思い〉 【例】いーじまは  
んどーぐわーや とうじぬ をうる っちゅ  
んかい まんぶりーっし うむいん とうぢら  
らん かたうむいどう やてーさ やー。(伊江  
島ハンドゥグワや妻の居る人に一目惚れし  
て思いも遂げられない、片思いだったのだね)。

**かた うや** 〈片親〉 【例】いくさをうてい  
をうとう とうらってい かたうやっしどう  
つくわぬちゃー ふどうっわーちゃる。(戦  
争で夫を失い片親で子どもたちを育てた)。

**かた かき** 〈不公平〉 【例】ていーだん  
うちちゅーめーん かたかき ねーらんぐと  
う、あかがらち とうらしみしえーん。(太陽も  
お月様も公平さを欠かないように、照らしてく  
ださる)。

**かた かきーん** 〈兼業する〉**【活】**～かきた  
ん、～かきらん、～かきてい **【例】**ありんくりん  
かたかきとーくとう ちゃー いちゅなさ  
そーん。(あれもこれも兼業しているので、いつ  
も忙しくしている)。

**かた かしら** 〈片髪、成人男子の髪型〉  
**【例】**んかしわらべー ゆかっちょー じゅー  
ぐ、ひやくしょーや とうー ないねー、かた  
かしら ゆーとーたん。(昔の子どもは土族は  
15 歳、平民は 10 歳になれば、片髪を結ってい  
た)。

**かた ぐー** 〈片方〉 **【例】**しーさーぬ か  
たぐーや くち ふいらち、なーかたぐーや  
くち くーとーん。ちゅとうくろー みーむな  
ー、なーちゅとうくろー をうーむなー やん。  
(シーサーの片方は口をあけて、もう片方は口  
を閉じている。一方は雌で、もう一方は雄だ)。  
**【参】** ちゅとうくる(片方)、ちゅとうくるぬ



うや（片方の親）。

**かた ぐー まんちゃー** 〈片チンバ〉

【例】あれー もーいっうえーかたぬ ねーびっし あしぢやとう さば かたぐーまんちゃーくでい あっちょーたん。（あの人はモーイ親方のまねをして下駄と草履をちぐはぐに履いて歩いていた）。

**かた くくる** 〈ひとまずの安心〉 【例】く

るま はっちゃかたんでいぬ しらしぬ あたしが、まーん やまちえー ねーらんでいくとうぬ わかてい なまぬ とうくろー かたくくる ゆるちょーん。（交通事故の知らせがあったが、どこもケガしていないということが分かって今のところひとまず安心している）。

**かた くち われー** 〈微笑み〉 【例】あ

ぬ っちょー ちゃー かたくちわれーっし いっぺー っうえんだーさん。（あの人はいつも微笑んでいてとても感じがいい）。みーぬ めーをうてい ふみらってい はじかさが あたら、かたくちわれー そーたん。（目の前でほめられて恥ずかしかったのか、微笑んでいた）。

**かた げーな** 〈片腕〉 【例】ぐじゅーかた

が やら、かたげーなぬ あがらん などーん。（五十肩なのか、片腕が上がらなくなっている）。

**かた じー** 〈一方に片寄ること〉 【例】う

やー わらびんちゃー ふどうっわーする ばすねー かたじーや さんぐとう、ぬぬ かたならびてい んーぢゅし やん。（親は子どもたちを育てるときにはえこひいきすることなく、公平にならべて見守るものだ）。

**かた しみ** 〈片隅〉 【例】わったー まや

ーや ぬらーってい かたしみんかい ふいんぎくどーん。（私の家の猫は怒鳴られて片隅に逃げ込んでいる）。

**かた ちみ がにぐわー** 〈潮まねき〉

【例】はさんぬ ていーちびけー まぎく などーん 「かたちみがにぐわー」や やまとうなーしえー 「しおまねき」んでい いちょーん。（鍬が一つだけ大きくなっている「かたちみがにぐわー」は和名では「潮まねき」と言っている）。

**かた ちんし** 〈片ひざ〉 【例】んかしから

ふいさまんちぬどう りーぢぬ ある めーよー やたしが、くみをうどういをうてー かたちんしさーに たちゆる とうんたちめーそーん。（昔から正座が礼儀作法になかった坐り方だったが、組踊では片膝で立つ「とうんたちめー」をしている）。

**かたでいー** 〈片手〉【活】かた ふいさ〈片

足〉【例】うぬ っちゅぬ かたでいーや／かたふいさー いくさんかいどう とうらったがやー？（その人の片手は／片足は戦争でなくしたのかねえ）。かたていーさーねー うとーっんぢらん。（片手では拍手の音は出せないように、一人では何もできない）。かたふいさぬ ていがねーん ならん。（半人前である）。

**かた どうー** 〈半身〉 【例】っちゅぬ

どうーや みーとうか ていーぬ ながさんでー、ふいぢやい、にぢりぬ かたどうーや まったち めぬ むのー あらん。（人の体は目とか手の長さなど、左、右の半身はまったく同じではない）。

**かた ばい** 〈肩の盛りあがり〉 【例】てい

ー ちかいる っちゅぬちゃーぬ どうーぢゅくえー あちあちーとう まぎさる かたばい などーん。（空手をしている人たちの体造りは厚く大きな肩が盛りあがっている）。

**かた びーち** 〈片ひいき〉 【例】っくわ

ぬちゃー ふどうっわーする たみねー かたびーち さんぐとう めぬ かなさ すし やん。（子どもたちを育てるためには片ひいきしないで同じようにかわいがるものだ）。

**かた ぶい** 〈片降り（通り雨や片時雨とも異なる）〉 【例】うちなぬ なちえー あまく

まをうてい かたぶいぬ うふさぬ、うぬ かーじ ふいるまさ そーん。（沖縄の夏はあちらこちらで片降りが多くて、そのたびに不思議な感じがする）。

**かた みち** 〈片道〉 【例】みち のーちょ

ーる ばすねー かたみちぬ ちぢらっとーくとう っちゅん くるまん うむいぬ ぐとうとうーらん。（道を補修しているときには

片道が閉鎖されているので、人も車も思うように通れない)。

**かた わき** 〈不公平な配分〉【例】ゆくぬちゅーさる っちょー ぬー やていん かたわき すん。(強欲な人は何でも不公平な配分をする)。

**かたいん** 〈語る〉【活】かたたん、かたらん、かたてい 【例】んかしむぬがたい しまくとうばっし かたてい んーだな。(昔の話をしまくとうばで語ってみようか)。

**かたか** 〈避け、除け〉【例】わったー やーぬ あがりばんたんかい まぎアパートぬ たっち、ていーだかたか さってい やしえーやむる すだたん。(私の家の東端に大きなアパートが建って、陽が遮られて野菜はまったく育たない)。

**かたか すん** 〈さえぎる〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】かたかー すなけー。(さえぎることはするな)。わん やーぬ あがりむていーや とうないぬ アパートぬ かたかそーくとう、あがいていーだ をうがまらん。(私の家の東側は隣のアパートが日除けになっていて、日照がのぞめない)。

**かたか みち** 〈人目につかない道〉【例】やんばろー きーぬ まぎさくとう かたかみちぬ うふさん。(ヤンバルは木が大きいので隠れた道が多い)。

**がたがたー すん** 〈震える〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】ふいーさぬ／うとうるさぬ がたがたー そーん。(寒くて／怖くて震えている)。

**かたじー すん** 〈傾く〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】うやぬ じゃーさん わきーるばすねー、かたじーしえー ならんくとう、ゐぬ かた ならびてい くらいんとうならん。(親の財産を分けるときには、片一方に傾くといけけないので、同じように並べてくれないういけけない)。**【参】** いちゃをうどうえーんかい

ぬいるとうちねー、かたにーっんぶー しえー ならんくとう、がっさる とうくまんかい っちゅ ぬしーん。(シーソー乗るときには、一方を重くしてはいけけないので、軽いところに人を乗せる)。

**かたじきーん** 〈片付ける〉【活】かたじきたん、かたじきらん、かたじきてい 【例】うていちからんくとう、っんぢやちえーる しゅむちえー かたじきれー。(落ち着かないので、取り出した本は片付けなさい)。やーぬ かたじきん ならん わかむんぬちやーぬ うふく なんとーしが、やっけー やさ。(家の片付けもできない若者が多くなっているが、困ったものだ)。

**かたち** 〈敵〉【例】どーがっていーとうか くちはごーさる っちょー かたち ちゅくいん どー。(身勝手とか口の悪い人は敵をつくるよ)。

**かたち** 〈姿〉【例】をうどういぬ しんしーたーや ちんぬ ゆー うちやてい かたちぬ ちゅらさん。(踊りの先生たちはよく着物が似合って姿が美しい)。

**かたちき** 〈型染め〉【例】びんがたー かたちきさーに ちゅくらっとうーし やてい、みーふりゆる あたい ちゅらむん やん。(紅型は型染めで作られているもので、見ほれるほどの美しいものだ)。

**かたはら** 〈傍ら、そば〉【例】くぬ いよー かたはら にーてー をうらん どー。(この魚は傍らが煮えていない)。っちゅぬ あっちゅる みち やくとう、かたはらんかい しーけー。(人の歩く道だから、そばに退きなさい)。

**かたはら っんぶー** 〈てんぷらの一種〉

**【例】** ちなーをうてー さきむいんかえー さーたーあんだーぎーとう かたはらっんぶー まぎく むてい さしが、うぬ たーちえーかりーな むん やてい、さーたーあんだーぎーや ういきが、かたはらっんぶーや ういな

ぐ やんでい。(沖縄では結納には「さーたー あんだーぎー」と「かたはらっんぶー」を大きく盛ってしたが、この2つは縁起物で、前者は男子、後者は女子だって)。

**かたばる** 〈干潟〉【例】あーしぬ かたばる んかえー ちんぼーらー、あさり、がに、とんとんみーんでーぬ いちむんぬ をうくとう、うみたてーいーる くとう すしえー あらん。(泡瀬の干潟にはチンボラ、アサリ、蟹、トントミーなどの生き物がいるので、埋め立てることをすべきではない)。

**かたふいら むん／かたふあー** 〈肢体不自由者〉

**かたまいん** 〈つまる、ふさがる〉【活】かたまたん、かたまらん、かたまてい 【例】はなぬ かたまてい いーちぬ どうーぐりさぬ、くち あきとーさ。(鼻がつまって呼吸がしづらいので口を開けているよ)。はな かたまやー(鼻づまりの者)。ちびぬ かたまとーん。(便秘している)、ちび かたまやー(便秘の者)。  
【参】ちしゆん(便秘する)、ちしとーん(便秘している)。

**かたみ** 〈契り〉【例】にーびち いーびなぎーや みーとうぬ かたみ やん。(結婚指輪は夫婦の契りだ)。

**かたみ** 〈形見〉【例】くぬ しむちえー うやぬ かたみ やくとう、っちゆんかい からちやい、ゆぐちやい、ねーん なちやい しえー くいーんな。(この本は親の形見だから、人に貸したり、汚したり、無くしたりしてはくれるな)。

**かたみーん** 〈担ぐ、背負う〉【活】かたみたん、かたみらん、かたみてい 【例】んかしえー くるまん ねーんくとう、うやぬ あんまさる ばすねー うや かたみてい からふいさーっし いさぬやーんかい そーてい いちゆたん どー。(昔は車もなかったなので、親が具

合が悪い時には親を担いで裸足で病院に連れて行ったものだよ)。やーうちー する ばすん やーぬ どーぐん むる かたみてい むっち っんぢょーたん。(引っ越しするときも家財道具を一切担いで持って行っていた)。っちょー いちん にー かたみてい あっちょーる むん やん。(人はいつも荷を背負って生きているようなものである)。をうーじ みたばい ちゆけーんなかいに かたみうーすみ?(砂糖きびを3束一度で担げるか)。

**かたみ あちねー** 〈行商人〉【例】かたんかい ていーさーじ うちきてい うぬ っういーんかい そー ぬして 「そーや こーらに?」んち かたみあちねー そーたる ういきがぬ をうたん。(肩に手ぬぐいをおいてその上に棹を乗せて「棹は買わないか?」といって行商している男の人がいた)。

**かたみーん** 〈濃くする〉【活】かたみたん、かたみらん、かたみてい 【例】くぬ ちゃーやふいっさくとう、なー いふえー かたみていくいり。(このお茶は薄いので、もう少し濃くしてくれ)。

**かたいん** 〈語る〉【活】かたたん、かたらん、かたてい 【例】なまから あとうぬ くとう やーにんじゅ すりてい かたらな。(今後のことを家族そろって話そう)。がらさー よー! がらさー! やななちえー すな よー。やなくとー っやー っういー どー。ゐーくとう かたれー。(カラスよ!カラス! 不吉な鳴き声はするなよ。悪い事はおまえにだよ。縁起のいい事を語りなさいよ)。

**かたらいん** 〈仲間に入れる〉【活】かたらたん、かたららん、かたらいん 【例】うちなーぐち ふいるみーる くとうんかい ちむ あーしぬ ないる っちょー たー やていん かたらいん どー。(沖縄語を普及することに協力できる人は誰でも仲間に入れるよ)。

**かたれー／い かたれー** 〈仲間になること〉【例】「まじゅーん なら やー」んでい

いかたれー さん。(「一緒になろうね」と結婚の約束をした)。

**かたんきーん** 〈傾ける〉【活】かたんきたん、かたんきらん、かたんきてい 【例】なーいふいぐわー にぢりんかい かたんきりよーんち のーさってい めーしゃしんぬ ぬがったん。(もう少し右に傾けてねと直されて好い写真がとれた)。とうちーぬ っんぢゆかん などーたしが、いふえー ふいぢやいんかい かたんきたくとう あっちゆるぐとう なたん。(時計が動かなくなっていたが、すこし左に傾けたので動くようになった)。ビール ちぢゆくとう、びんぬ くちぬ めーんかい なーいふえー かたんきれー。(ビールを注ぐので、瓶の口の前にもう少し傾けなさい)。

**かたんちゅん** 〈傾く〉【活】かたんちゃん、かたんかん、かたんかち 【例】ていーだぬ いりんかい かたんちよーくとう なーやーやーんかい けーいる じぶん やさ やー。(陽が西に傾いているので、それぞれ自分の家に帰る時分だね)。なまー さんしぬん ならとーしが、をうどういん すがやーんち ちむぬ かたんちよーん。(今は三線も習っているが、踊りもしようかと気持ちが傾いている)。バスぬ なーかをうてい にんぢふりてい かたんちやーに とうないぬ っちゆぬ かたんかい うっちゃかってい めーあんべーぎさ にんとーん。(バスの中で眠りこけて傾いて隣りの人の肩に寄りかかって気持ち良さそうに眠っている)。

**かたんち ばい** 〈恥ずかしくて顔をそむけて逃げ出すこと〉 【例】んかしえー なまぬぐとう ういきが ういなぐぬ まじゅーん っんでいーる なれーや あらんたくとう、ういきが いちゃたい ういなぐ いちゃたい しーねー かたんちばい すたん。(昔は現在のように男女一緒に外出する習慣はなかったので、男子に出会ったり女子に出会ったりすると顔をそむけて足早にその場を去った)。

**かち** 〈働き、反復〉 【例】ゆーじゆかち し

ーが っんままでい っんぢくー めー？(用事を済ませにそこまで行ってくるね)。ゆーじゆかちぬ うふさぬ、 なー をうたたっさー。(用足しが多くて、もう疲れたよ)。んかし わらびんちゃーや ほーちかち さい、すすいかち さい うやぬ ていがねー ゆー そーたん。(昔の子どもたちは掃き掃除したり、ぞうきがけしたりして親の手伝いをよくしていた)。

**かち**〜〈掻き〜〉

**かち くじーん** 〈ほじくり回す〉【活】〜くじたん、〜くじらん、〜くじてい 【例】あれー っちゆぬ ちむ かちくじーる やなぐしぬ あん どー。(あの人は人の心をほじくり回す悪い癖があるよ)。

**かち しがいん** 〈すがりつく〉【活】〜しがたん、〜しがらん、〜しがてい 【例】あっち はじみーぬ わらびぬ だちとうらしよーっし かちしがいん。(歩きはじめの子が抱いてちょうだいとすがりつく)。

**かち ほーいん** 〈散らかす〉【活】〜ほーたん、〜ほーらん、〜ほーてい 【例】なまぬ ゆーや ぬーやーくいーやー まんでい、ぬーんくいーん むる こーていちゃーに あとうぬ うじゆみねー しじみーるくとうん ならん、やーや かちほーらっとーん。(今の世の中はあれこれと物が多くて、何でもみんな買って来て、あげくの果ては片付けることもできなくて、家の中は散らかっている)。つくわむちぬ やーや わらびぬ ていー みーゆる まーでー かちほーらっとーん。(子持ちの家は子どもが大きくなるまでは散らかっている)。

**かち みんぐわすん** 〈かき乱す〉【活】〜みんぐわちゃん、〜みんぐわさん、〜みんぐわち 【例】あんちゆが ふえーりんちーねー、わったーが いぐまちよーる くとうん むる かちみんぐわさりーん／きじゃーさりーん どー。(あの人が入ってくると私たちが計画していることもすべてかき乱されるよ)。

**かちやーすん** 〈かき混ぜる〉【活】かちやーちゃん、かちやーさん、かちやーち 【例】コン

クリートやー ちゅくいる とうちえー いし  
ぐわー、しな、しみんぐー、みじ かちやーち  
すらぶ うちゅん。(コンクリート建てを造  
るときは小石、砂、セメント、水をかき混ぜて  
基礎造りをする)。【参】かやぶちやー(茅葺き  
の家)、かーらやー(瓦葺きの家)、とうーたん  
やー(トタン葺きの家)、きーやー(木造りの  
家)。

**かちやーしー** 〈テンポの速い三線の曲、乱  
舞〉 【例】「かちやーしー」や さんしんぬ  
ぐるうた やてい、とーしんどーい、たこーや  
ま、めーかた、あっちゃめーぐわーんでーぬ  
あん。いちからが 「あっちゃめー」ぬ 「かち  
やーしー」んち なたら やー? (「かちやーし  
ー」は三線の急テンポの曲で、唐船どーい、多  
幸山、舞方、即興的な踊りなどがある。いった  
いつから「あっちゃめー」が「かちやーしー」  
となったのかなあ)。

**かちやむん** 〈ひっかく〉【活】かちやだん、か  
ちやまん、かちやでい 【例】ゆーすーぐわー  
たーや たげーに ちら かちやみがなー な  
ちよーてい おーえー そーん。(幼い子はお  
互いに顔をひっかきながら泣いてけんかしてい  
る)。

**かちやんくわーすん** 〈盛んにひっかく〉【活】  
かちやんくわーちゃん、かちやんくわーさん、  
かちやんくわーち 【例】かじょーらーぬ ど  
うー いっぺー ふちっんぢてい うみちとう  
かちやんくわーちよーる わらび んーち  
ちむぐりさたん。(じん麻疹が体中に噴き出し  
てかきむしっている子どもを見てかわいそうだ  
った)。

**かちみーん** 〈捕まえる〉【活】かちみたん、か  
ちみらん、かちみてい

**かちみ んそーれー** 〈鬼ごっこ〉 【例】か  
ちみんそーれーや、「んなっし ぶーさー さ  
ーに かちゆしんでー ちゅいなー かちみら  
らんぐとう まーまでいん ふいんぎてい い  
ちゅん。まきてい あとうに ぬくたる わら  
びぬ うに なてい とうっかちみーが うー

てい いちゅん。あんし、かちみらったる っ  
ちゅが けーるー さーに うに ないん」で  
いる んかしぬ わらびんちやーぬ あしび  
やん どー。(鬼ごっこは、「みんなでじゃんけ  
んして勝ちしだい一人ずつつかまえられるよ  
うにどこまでも逃げていく。負けた後に残った  
人が鬼になって捕まえに追っていく。そして、  
捕まえられた人が替わって鬼になる」という昔  
の子どもたちの遊びだよ)。

**かちゅん** 〈書く〉【活】かちやん、かかん、か  
ち 【例】たーが かちえーる しゅむちぬ  
うむっさが? (誰が書いた本がおもしろいの)。  
ちゅー ふいっちーぬ くとう かちとうみて  
いから なー じゅーにん なたーん。(今日  
一日のことを書き留めてからもう 10 年になっ  
ている)。

**かち いりーん** 〈書き入れる〉【活】〜いっ  
たん、〜いりらん、〜いってい 【例】たらーん  
とうくまー っやーさーに かちいっとーけ  
ー。(足りないところはあなたで書き入れてお  
きなさい)。

**かち ちき** 〈文書〉 【例】あぬ かちちけ  
ー なま たーが むっちょーが? (あの文書  
は今誰が持っているの)。

**かちゅん** 〈かく〉【活】かちやん、かかん、か  
ち 【例】みちから ちら むっちえー あっ  
からん あたいぬ いちはじ かちやん。(人  
に顔を向けては歩けないほどの大恥をかいた)。

**かちゅん** 〈増築する〉【活】かちやん、かか  
ん、かち 【例】わんが しゅむち ゆだい む  
ぬ かちやい ゆくたい すんちどう はじえ  
ー かちやん どー。(私が本を読んだり、もの  
を書いたり、休んだりするんだといって個室を  
増築したんだよ)。

**かちゅん** 〈勝つ、すぐれる〉【活】かちや  
ん、かたん、かっち 【例】あれー ちぶるん  
かっち、むぬ いーよーまでいん かちちよー  
ん やー。(あの人は頭もよくて、ものの言い方  
までもすぐれている)。

**かっちかむん** 〈ひつつかむ〉【活】かっちかだん、かっちかまん、かっちかでい 【例】くまー さか などーくとう、じてんしゃ けーりんくるびんっし ながりてい いちーねー でーじ ないくとう、かっちかどーけー。(ここは坂になっているので、自転車が転がって滑っていくと大変なことになるので、ひつつかまえておけ)。【参】とうっかちみーん(とつつかまえる)、じゃーふえー(困る事)、でーじ(大変な事)。

**かぢやでいふー** 〈かぎやで風〉 【例】うちなーをうてー かぢやでいふーや うゆうえーぬ かりー ちきーる をうどうい やん。(沖縄ではかぎやで風はお祝いの嘉例をつける踊りだ)。

**かちゅー** 〈かつお〉 【例】かちゅーゆーちゆくいる ばそー、まじえー かちゅー ふいぢやーに、とういぬ くーが わてい んーすん しるまかいんかい いってい、ふちよーる ゆー(=あち ゆー) うすいる あたいいりやーに いっとうちえー けーうちっしうすとーけー。(「かちゅ ゆー」をつくる際にはまず鰹節を削って、鶏の卵を割って味噌も汁碗に入れて、沸騰した湯(=熱湯)を覆う程入れてしばらく皿をかぶせて置きなさい)。

**かぢり** 〈限り、限定、期限〉 【例】じのーちゃっさ もーきていん かぢりぬ ねーらん。(お金はいくらもうけても限りがない)。あかばな一から ちゆくらっとーる かばーぐわーや うちな一 かぢりぬ/びけーぬ むんやん。(ハイビスカスから作られている香水は沖縄限定のものだ)。とうしゅかんぬ しゅむち かいねー、かぢれー にしゅーかんどーやる。(図書館の本を借りればその期限は2週間だ)。

**かっていー** 〈勝手〉 【例】あまぬ とうじえー まーんぢん しーぶさ かっていー、いーぶさ かっていーっし なまに でーじ/や

っけー ないん どー。(あそこの奥さんはどこでもしたい放題、言いたい放題して今に大変なことになるよ)。

**がっていん すん** 〈賛成する、納得する、承知する〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】くぬ いぐましえー がっていん ないん/ならん。(この企画は賛成できる/できない)。

**がっぱい** 〈一部がとび出している頭〉 【例】ふいちえーがっぱい(おでこの頭)、くしがっぱい(後頭部がとび出した頭)、がっぱやー(頭の一部がとび出している者)。

**かていーん** 〈一緒にする、おかずにする〉【活】かていたん、かていらん、かていてい 【例】にぢりめーや っんみぶしとう かていてい かむしえー まーさん。(握り飯は梅干しと一緒に食べるのがおいしい)。ぬーでいーんかいちまてい ちーちーかーかーっし うとうしぐるさくとう、しるとう めーとー かていていどう かむし やる。(喉に詰まった状態になり飲み込みにくいので、おつゆとご飯は一緒に食べるものだ)。コーヒーびけーん ぬまんぐとう、くわーしん かていてい かめー。(コーヒーだけ飲まないで、お菓子も一緒に食べなさい)。

**かてい むん** 〈おかず〉 【例】っんみぶしえー にぢりめーぬ かていむん やん。(梅干しは握り飯の友だ)。かていむん こーいがまちぐわーんかい いちゅん。(おかずを買いに店に行く)。ちゅーぬ ゆーばんぬ かていむのー ぬー すがやー?(今日の夕飯のおかずは何にしようかな)。

**かてーむん** 〈困ったこと/者〉 【例】うんぐとう しーねー ちゃー ないんでいゝくとうん わからん、っやーや かてーむん やさ。(そんなことをすればどうなるかってことも分からない、おまえはやっかい者だ)。

**かなーすん** 〈囃む〉【活】かなーちゃん、かなーさん、かなーち 【例】むのー ゆー かな

ーちどう かむん どー。(食べ物によく噛んで食べるんだよ)。

**かないん** 〈叶う、達者である〉【活】かなたん、かならん、かなてい 【例】にげーぐとうぬ かなてい ゆるっとう なんとーん。(願い事がかなって安堵している)。あぬ うかたー くんじゅーん あまてい わかってーんぐわーっしなーだ かなとーみしえーさ やー。(あの方は90歳も過ぎて若々しくてまだ達者でいらっしやるね)。あれー くちびけーん かなてい ぬーん わからん どー。(あの人は口だけが達者で何もわからないよ)。

**かなぎーん** 〈まくしあげる〉【活】かなぎたん、かなぎらん、かなぎてい 【例】ちび かなぎーん。(裾をまくしあげる)。

**～がなしー** 〈最高の尊称〉 【例】うていんがなしーめー(天上様)、うかみがなしーめー(神様)、うすがなしーめー(国王様)、うやがなしー(親御様)、をうとうがなしー(旦那様)、とうじがなしー(奥様)、うていーだがなしー(お天道さま)、とーとーがなしーめー(お月さま)。【参】うちちゅーめー(お月さま)。

**かなみ** 〈要〉 【例】なーちゃー ちぶる やみーっし うきえーうーさん ないしやか くまんぢ にじくわい くとぅわいしん かなみ どう やる。うぬくとー 「ぶりーどう かなみ」んでい いーん。(翌日に頭痛で起きれなくなるよりはここで二次会を断るのも肝心だ。このことは「無礼も肝要」と言う)。

**かなみ** 〈挨拶(交際上の要)〉 【例】ちゃー やっけー なんとーる っちゅぬ やーぬ めーまでい いちゅくとう、ぬばがてい かなめー かきてい ちゃーびーさ。(いつもお世話になっている人の家の前まで行くので、顔を出してあいさつして来ますね)。

**かに** 〈規範、常識〉 【例】とうし とういねー なんくる かにぬ はんでいーしが、うれ

ー たー やていん とうーいる みちどう やる。(歳をとると自然にもうろくするが、それは誰だって通る道である)。あぬ わかむのー ゆかいねー かに はんでいとーん。(あの若者はよほど常識をはずれている)。かにぬ はんでいーらー、そーらーしく はんでいーれー しむるむんぬ、わったー ぐわんくー たーりーや たらーがどう はちゃんてい がーはとーん。(もうろくするなら、それらしくもうろくすればよいものを、私の家の頑固親父はタラーが逝ったと我を張っている)。

**かにーん** 〈遮る〉【活】かにたん、かにらん、かにてい 【例】たーぶっくわぬ みじ たぶいるたみに かーらぬ みじ かにーん。(田んぼの水を溜めるために川の水を遮る)。うふあみさーに みちんかい くるまん ぬんくむる あたいぬ あなぬ あち、うかーさくとう ちなさーに かにてーたん／かにらっとうたん。(大雨で道に車も飲み込むほどの穴が空き、危険なのでロープで立ち入り禁止にした／されていた)。さわがしぐとうぬ あてい、じゅんさぬちゃーぬ ちなさーに かにてい なかんかい いららんぐとう しえーたん。(事件があって、警官が綱で遮って中に入れないようにしていたのを目にした)。

**かにてい** 〈以前〉 【例】かにていからぬ うむいぐとう にげーぐとうぬ かないん。(以前の願い事がかなう)。

**かぬち ぼー** 〈雄綱と雌綱を抜き通す棒〉 【例】ちなふいちぬ かぬちぼーや をうーんなとう みーんな ぬちゆる ぼー やん。(綱引きの頭貫棒は雄綱と雌綱を抜き通す棒だ)。

**かねーらすん** 〈かなえるように仕向ける〉 【活】かねーらちゃん、かねーらさん、かねーらち 【例】どーでいん わん うむいるぐとう にげーぐとう ちちくいみそーち かねーらち くいみそーり。(どうか私の思うように願いごとを聞き入れて、かなえさせてください)。

**かば かじゃ** 〈芳香〉 【例】 あんし かばかじゃ そーる かばーぐわーや ぬーんでいーる むん やが? (あんなにいい香りのする香水は何というものですか)。

**がふあさー** 〈強情者〉

**がふあ みかすん** 〈ごつんと打つ〉 【活】〜みかちゃん、〜みかさん、〜みかち 【例】 こーさー がふあみかすん。(げんこつの先でごつんと打つ)。【参】 那覇では「こーさー くわーすん」とも言う。

**かま** 〈かまど〉 【例】 にかしえー まぎいし みーち うちきてい かま ちゆくてい たむん めーさーに むぬ にちよーたん。うぬ みーちぬ いしから しむぬ うかみがなしーんかい 「うみちむん」でいーる なー ちちやしが、なまー 「ふいぬかん」でい いちよーん。(昔は大きな石を3つ置いてかまを造って薪を燃やしてものを煮ていた。その3つの石から台所の神様に「うみちむん」という名が付いたが、今は「火之神」と呼んでいる)。

**がま** 〈洞窟〉 【例】 うちなぬ がまぬ なーかんかえー なまん にんとーる っちゆぬ ふにぬ あいびーん。(沖縄の洞窟のなかには今も眠っている人骨があります)。いくさぬ ばんじねー むる がまぬ なーかんかい くわっきとーたん。(戦争の最中にはみんな洞窟のなかに隠れていた)。

**がまく** 〈腰〉 【例】 はちゃー がまく (蜂のような大きな腰)。

**かまじー** 〈麻袋〉 【例】 はる さーぬ すーや ぬーんくいーん かまじーんかい いってい あっちよーたん。うふあみぬ ふたんてーまん、みじん たまらん、かーらちゆしん ふえーさん、うれー がっさくとう いっぺー めーむん やんでい。(農夫のおじさんは何でもかんでも麻袋に入れていた。大雨が降ったとしても、水も溜まらない、乾くのもはやい、それは軽いので、それはとてもすぐれものって)。

**かまじし** 〈無愛想〉 【例】 あんし かまじし くーてい われー ぢらん ねーらん、たーがが ありが とうじ ないら? (あんなに無愛想にして笑い顔もない、いったい誰があの人の妻になるのか)。あまぬ すーや かまじし くーやー なてい、っんまんぢえー こーいぶしこー ねーらのー あしが、ちかさくとうどう こーいる。(あちらのお父さんは無愛想なので、そこでは買いたくはないが、近いので買うのだ)。

**かまじえー** 〈こおろぎ〉 【例】 あち ない ねー、まーんかい をういが すら わからんしが、かまじえーぬ やしちぬ あまくまをうてい なちよーしが、つくわむやー うた ちちよーるぐとうどう あっさー。(秋になると、どこにいいのかわからないが、こおろぎが屋敷のあちらこちらに鳴いているけど、子守唄を聞いているようだね)。

**かまち** 〈頭の卑語、(釘・鎌の柄・鍬の柄の)頭〉 【例】 かまち／ちらかまち／かくじ (頭／顔面／顎)。やなぐとう そーる っちよーまーがな ちらかまちぬ わっさん。(悪いことをしている人はどこか面構えが悪い)。

**かまらさー** 〈気難しい者〉 【例】 あれー どうく かまらさー なてい ふいれー ぐるさん。(あの人はあまりにも気難しくて付き合にくい)。

**かまんだ** 〈大釜の蓋〉 【例】 しんめー なーびぬ ふたんかい 「かまんだ」んでい いーしが、うぬ なーべー っんむ にちやい、むーちー っんぶちやい、うゆうえーぬ うしーむん にちやい すし やん。(大釜の蓋を「かまんだ」と言うが、その釜は芋を煮たり、餅を蒸したり、お祝いのお吸い物を煮たりするものだ)。

**かみ** 〈神〉 【例】 かみうすりー しえー、むんなれーぬ むとう。(神を敬うことは礼儀作法を身につけるための第一歩)。かみふとうき やていん にげーや ちちゆん。(神仏でも



願いは聞いてくださるのに、人間のあなたが聞いてくれるのは当然だ)。

**かみ あしやぎ** 〈村の神を祭ってある建物〉

【例】むらぬ うかみがなしーぬ めんしえー  
る かみあしやぎぬ めーんかい かみんちゆ  
ぬ むる すりてい むらうくしぬ まちり  
すん。(村の神様がいらっしゃる建物の前で神  
人がみんな集まって村興しの祭りをする)。

**かみ だーり／かみ がかい** 〈神がかり〉

【例】さーだか っんまれー ちぢぬ みち  
あきーるまでー うかみがなしーからぬ しら  
しぐとうぬ あてい かみだーり／かみがかい  
すん。(霊高生まれの人は神の道を明け開く  
までは神様からの知らせごとがあって、神がかり  
を経験する)。

**かみ にげー** 〈神頼み〉 【例】っちゅにん

ぢんでい いーしえー、どうーぬ っういーに  
あたていから かみにげー する むのー  
あらん、まるふいーじーからぬ かみにげーぬ  
どう かなみ やる。(人間というのは、自分の  
身の上に降り掛ってから神頼みするものではない、  
平生からの神頼みが肝心だ)。

**かみーん** 〈頭に乘せて運ぶ、おしいたぐ、

角で突き上げる〉【活】かみたん、かみらん、か  
みてい 【例】むぬ かむる ばすねー うめー  
し かみていから かでい、ちゃーや ちゃー  
ぢゃわん かみていから ぬむし やん。(も  
のを食べるときにはお箸を頭上におしいたぐい  
てから食べ、お茶は湯のみ茶碗をおしいたぐい  
てから飲むものだ)。かみやー うし (よく人  
を角で突き上げる牛)。

**かみ あちねー さー** 〈商品を頭に乘せて

売り歩く者〉 【例】んかしえー くるまぬ ね  
ーらんたくとう、たーれーんかい いゆ、もー  
もーぐわー、がにんでー いってい うてい  
あっちゆる かみあちねーさーぬ をうたん。  
(昔は車もなかったの、頭上のたらいに魚、貝、  
蟹などを入れて売って歩く行商人がいた)。

**かみ さし** 〈男性用のかんざし〉 【例】う

いきがー かたかしらんかい かみさし さ

ち、ういなごー からじんかい じーふあー  
さちゃん。(男性は髪結いにかんざしを差し、女  
性は結髪にかんざしを差した)。

**かみらりーん** 〈胃けいれんで苦しむ〉【活】

かみらりたん、かみらりらん、かみらりてい

【例】かみらりやー (胃けいれん)。いー かみ  
らってい ゆながた／ゆーあきどうーしー に  
んだらんたん。(胃がけいれんして夜／夜通し  
眠れなかった)。

**かむいん** 〈かまう、干渉する、世話する〉【活】

かむたん、かむらん、かむてい 【例】どうー  
くる かんげーてい ないる うっさー すく  
とう、かむてー くいーんな よー。(自分で  
考えてできるだけはするので、干渉しないでく  
れよ)。うとうすえー、ながぬち みしーるた  
み、どうーぬ くとー どうーくる しみそー  
らち、どうく かむらんしぬ まし。(お年寄り  
は、長生きするには、自分のことは自分でなさ  
るようにして、あまりかまわないのが良い)。あ  
まぬ やーや をうとうぬどう じのー かむ  
とーん どー。あまー ういきが じゅーてー  
やさ やー。(あの家は夫が金銭のやりくり  
をしているよ、やりくり男性ってところだね)。  
じのー たーが かむとーが? ういなぐぬ  
わんがどう かむとーん どー。(金銭のやり  
くりは誰がしているの? 女の私がやりくりし  
ているよ)。ありとー かむてー ならん ど  
ー。(あの人とはかかわってはいけないよ)。

**かむん** 〈食べる〉【活】かだん、かまん、かでい

【例】そーぬぎ がみ (がつがつ食べること)。  
やーさ がみ さくとう ちーちーかーかー  
そーん。(お腹をすかせて食べたので、のどにつ  
かえている)。あった がみ さーに いーや  
いふーなー そーっさー。(急に食べて胃が  
おかしくなっている)。どうく かみぢゅーさ  
ぬ、いーぬ うどうるちょーん。(食べ過ぎて、  
胃が驚いている)。しえーしんっし かみ よ  
ー。(おかわりして食べてね)。かむる うっさ  
ー みー ないん。(食べる分だけ健康になる)。

むぬ かむんでいどう あさふえーくから はたらちょーん。(食べるために朝早くから働いている)。ぬーが まーこーねーらんどー ある め？ っやーや かまらん かみー そーしが。(どうしたおいしくないのか。あなたは嫌々ながら食べているが)。わたどう みっちょーる め？ うれー しかんどー ある め？ っやーや かまらん かみーっし。(もうお腹いっぱいなのか。嫌いなのか。あなたはしぶしぶ食べているが)。

**かみ はんすん**〈食べ損なう〉【活】～はんちゃん、～はんさん、～はんち 【例】くわっちーじぶんに くーららん なてい、まーさむん かみはんちゃん。(ごちそうの出るあたりに来れなくなって、おいしいものを食べ損なった)。  
**かみ ぶらーり**〈栄養失調〉【例】いくさばんじえー っくわ うーふあっし ふいんぎまーい すしどう ぬちかぢり やたる、わらびんちゃーや かみぶらーりっし やんめーかかいしん まんどーたんでい。(戦時中は子をおぶって逃げまわるのがやっとだった、子どもたちは栄養失調になって病気になるのも多かった)。

**かめーいん**〈拾う、捜し求める〉【活】かめーたん、かめーらん、かめーてい 【例】たーがくぬ じんぶくる かめーたが？(誰がこの財布を拾ったの)。「なー とうじ かめーていー？／＊とうめーていー？」「なーだ かめーやびらん どー」「(もう妻を迎えたか)」「まだですよ)」。かめーい むん／とうめーい むん(拾い物)。はさのー まーんかい なちゃが かめーてい／とうめーてい むっちくーわ。(鉢はどこにおいたか、探して持って来なさい)。ちゃーしん ねーらんとー ならんくとう、あまくまぬ まちや みぐてい かめーてい／とうめーてい んーでい よー。(どうしてもないといけないので、あちこちの店をまわって探してみてね)。【参】とうめーいん。

**かや ぶち やー**〈茅葺きの家〉【例】なまー かやぶちやー んーだらん なとー

ん。(今は茅葺きの家は見えなくなっている)。

**かやーすん**〈持ち運ぶ〉【活】かやーちゃん、かやーさん、かやーち 【例】くるまぬ いきらさる じでーや やーうーちー する ばすねー うっさぬ どーぐ やーにんじゅさーにいくけーぬん いちむどういっし かやーちょーたん。(車の少ない時代は引っ越しするときにはそんなにたくさんの家財道具を家族で何度も行ったり来たりして持ち運んでいた)。

**から～**〈からっぽ、中味のない〉

**から ぢャー**〈茶請けなしの茶〉【例】いすぢょーくとう、からぢャーびけーっし ゆたさいびーさ。(急いでいるので、お茶だけでかまいませんよ)。っやーや ちゅーらー ちゅーんどーんち いれー しむる むんぬ、あったに ちゅーくとう からぢャーびけーんどーあさ。(あなたは来るなら来ると言えばいいのに、突然来るのでお茶だけしかないよ)。

**から ふいさ**〈裸足〉【例】なまー からふいさっし あっちゆる っちょー をうらん などーしが、しょーわ じゅーぐにんねーからふいさー はっとう する さだみぬ っんぢていん、たむらぬ っちょー からふいさーっし あっちちち、なーふあんかい いーねー あしぢャ／さば くだんでい。(今は裸足で歩く人は居なくなっているが、昭和15年に裸足取締規則が発令されても、他の村の人は裸足で歩いて来て、那覇に入ると下駄／草履を履いたって)。んかしえー まーまでいん からふいさーっし あっちょーたくとう、ふいさぬ わたー ぞーぬ かーぬ ぐとう やてい、かんからーん ふいさっし たっぴらかちょーたんでい。(昔はどこまでも裸足で歩いていたので、足の裏は象の皮膚のようで、空き缶も足でペシャンコにしたんだって)。

**から ふに**〈骸骨〉【例】いくさから ななじゅーにん たっちん、なま ちきてい ぢーぬ なーかんかえー みたまぬ からふにぬうほーく ぬくとーん。(戦争から70年経っ

ても、現在でも地中に御霊の遺骨が数多く残っている)。

**から ゆか** 〈板の床〉 【例】んかしえー  
むしるん しかん、たたぬん ねーらんくとう  
からゆかんかい にんとーたんでい。(昔は  
ムシロも敷かない、畳もないので、板の床に寝  
ていたって)。

**がら** 〈殻、空〉 【例】な一ぬ あまくまんかえ  
ー さんさな一ぬ がらぬ まんどーん。(庭の  
あちらこちらには蟬の抜け殻がたくさんある)。  
まーみな一 ばーきんかい いってい をうー  
やーに まーみぐる／がら うとうすん。(も  
やしをかごに入れて振って殻を落とす)。とう  
いぐわ一ぬ しーぬ がら なんとーん。(小鳥  
の巣が空っぽになっている)。をうーじがら (キ  
ビの絞りかす)、ふあーがら (下葉)。

**から**〜〈干、乾〉

**から がーき** 〈干上がること〉 【例】あま  
くま みち ちゆくたい、ホテル ちゆくたい、  
ゴルフじょー ちゆくたい さる たみに、み  
じぬ ながりぬ ちぢらってい かーらぬ か  
らがーき そーん。(あちらこちら道を造った  
り、ホテルを造ったり、ゴルフ場を造ったりし  
たために、水の流れが遮られて川が干し上がっ  
ている)。

**から じゅすい** 〈乾拭き〉 【例】しゅむち  
えー しまったいむんさーに すすんな よー、  
からじゅすいどう すん どー。(本は濡れた  
ものでは拭くなよ、乾拭きをするんだよ)。

**からいん** 〈飼う〉 【例】しかいん からて  
い たちなちゆ しみてい わったー ユタて  
いまや いったー はらり。(臆病犬を飼って  
遠吠えまでさせて、私たちユタの謝礼はあなた  
がたが払いなさい)。【参】返歌は、さわぢゆん  
(あわてる)。

**からからー** 〈酒の容器〉 【例】とーりてい  
ん いーけーりぐりさるぐとう、ちゅくらっ  
とーる さき いりやーんかい からからーんで

い いーん。(倒れてもこぼれにくいように作  
られている酒の容器を「からからー」と言う)。  
あていん からからー ねーんていん からか  
らー。(あっても「からからー」無くても「から  
からー」、借ら [借りてもいいか] とかけた言葉  
遊び)。

**がらさー、がらし** 〈カラス〉 【例】が  
らさーや いるから しがたかたちから さー  
はごーさー あしが、いちむしぬ なーかをう  
てー じょーむち やんでい いらっとうん。  
(カラスは色も姿も不気味であるが、動物のなか  
では情が厚いと言われている)。がらさーや  
やなくとう しらし する とういんでい い  
らっとうん。(カラスは悪い知らせをする鳥だ  
と言われている)。タカぬ もーれー ガラシ  
ん もーゆん。(鷹が舞うとカラスも舞う、人ま  
ねをするの意)。

**からじ** 〈髪〉 【例】【活】からじぎー (髪  
の毛) ちかぐるぬ わかむんぬちゃーや どう  
ーぬ まし やる いるんかい からじ すみと  
ーしが うふさん。(近頃の若者たちは自分の  
好きな色に髪を染めている人が多い)。

**からじ くえー** 〈カミキリムシ〉 【例】か  
らじくえーや くにぶぬ きーんかい ゆてい  
ちゃーに にーぐい うちくわてい からす  
ん。(カミキリムシはミカンの木に寄って来て  
根を食いちぎって枯らす)。

**からじ ぶちかー** 〈髪の毛の散らかっている  
様〉 【例】からじぶちかー ほーちゅくと  
う、なま どうきとーちみそーり。(髪の毛の散  
らかっているのを掃くので、今そばに寄ってい  
てください)。

**からすー** 〈塩辛〉 【例】くぬ からすーや  
あんし すーぢゅーさる やー。(この塩辛  
はなんと塩辛いことか)。

**からすん** 〈貸す〉【活】からちゃん、からさ  
ん、からち 【例】「うり かーんかえー から  
し やーや ねーやびらんがやー?」「あったー

や からしやー いくちん むっちょーん どー  
 「この辺には貸家はありませんかねえ」「あちらさんは貸しアパートをいくつも持っているよ」。っやー ちから からちとうらしえー。  
 (あなたの力を貸してくれ)。

**からすん** 〈枯らす〉【活】からちゃん、からさん、からち 【例】らのー めーなち みじ かきーねー からすん どー。(蘭は毎日水をかけると枯らすよ)。

**からみちゅん** 〈からみつく〉【活】からみちゃん、からみかん、からみち 【例】くぬ そーじきや いーちゅーぬ からみちどう っんぢゅかん などーさ。(この掃除機は糸がからみついて動かなくなっているね)。

**から むん** 〈辛いもの〉 【例】どうく からむん かみーねー ゆながたから みじ ぬむん どー。(あまり辛いものをたべると夜になって水を飲むことになるよ)。

**からういーばち すん** 〈吐き気を催しながら吐けないでいる〉 【例】ふにんかい よーさくとう、ふねーぬ ちゅーさぬ、あとーからういーばちっし いーじる むどうちよーたん。(船に弱いので、船酔いがきつく、終いには吐き気を催しながら吐けないで胃液まで出てしまった)。

**かりー** 〈嘉例、縁起が良いこと〉 【例】たからくじ あたとーくとう いちまんゑん くいーっさ。っやーんかい かりー ちきていとうらさ やー。(宝くじがあたっているので、一万円あげるよ。おまえに縁起をつけてあげよう)。うぬ うかたが めんしえーる かーじちびなーりー うちやくぬ めんそーち みっちやかー ないぐとう かりーな っちゅやみしえーん どー。(その方がいらっしゃるたびにお客が続киいっぱいになるので縁起の良い方でいらっしゃるよ)。ちかぐろー うゆうえーをうてー さき ちじに かみてい 「かりー」んでい いちよーん。(近頃はお祝いの

席では酒を頭上に上げて「嘉例(乾杯)」と言っている)。あかー しるーぬ かるかんまんじゅーや ひゃーく ないる っちゅぬ うゆうえーからぬ ちとう やくとう かりーな むん やさ。っやーん かめー。(紅白かるかん饅頭は百歳になる人のお祝いからの引き出物なので縁起物だよ。あなたも食べなさい)。

**かり いちゃ** 〈スルメ〉 【例】かりいやとう かつてい さきぐわー ぬむしが、かりいちゃー かなーすしんでー あじくーたーなてい やみららん。(スルメを肴にして酒を飲むが、スルメは噛めば噛むほど旨味が出てやめられない)。

**かりゆし** 〈めでたいこと〉 【例】かりー ゆしーん。(福を寄せつける)、かりゆし(招福)。かりー ゆしらち くいみしえーびり。(福を招いてください[祈りの言葉])。ぐわんたんから かりゆしぬ ちぢち うーぐとう やさ やー。(元旦からめでたいことが続き、最高だね)。

**がる むん** 〈軽い物〉 【参】がっさん(軽い)。

**かる わじゃ** 〈軽い仕事〉 【例】くぬ しくちえー ちー ちかーんていん しむるくとう、かるわじゃ やん どー。(この仕事は気をつかわなくてもすむので、軽い仕事だよ)。

**かわいん** 〈変わる〉【活】かわたん、かわらん、かわてい 【例】やーのー うーどうしからたちどうしんかい かわいん。(来年は卯年から辰年に変わる)。ちむんかい ぬくとーる っんまりじまぬ むる かわてい、うりとう まじゅーん あながちさるくとうん まーがなんかい とうでいっんぢやんねーっし いっぺー ちむしからーさん。(心に残っている故郷がみんな変わって、それとと共になつかしいこともどこかに飛んで行ったようでとても心寂しい)。

**かわい** 〈変わり、代わり〉 【例】やーんからー ありが かわいに くりが すん。(来年

からはあの人の代わりにこの人がする)。

**かわい ぐとう** 〈めったにあり得ないこと〉

【例】やまとうぬ にしをうてい はなちやる  
はーペーるーぬ にしんキロぬ たびっし  
うちなーぬ いりぬ はたぬ ゆなぐにまでい  
とうでいちよーたんでいいる くとー いっペー  
ー くくるうちゆる くとう やしが、かわい  
ぐとうん あらん。(日本の北で放した蝶が二  
千キロの旅をして沖縄の西端の与那国島まで飛  
んできたということはとても感動的だが、めっ  
たにあり得ないことでもない)。

**かわい むん** 〈変人〉 【例】エジソン や  
ていん ガリレオ やていん うぬとうちえー  
かわいむんでいち わらーっと一たしが、う  
ぬっちゅぬちゃーがどう しけー ししみてい  
ちよーる。(エジソンでもガリレオでも当時は  
変わり者だと笑われていたが、そういう人たち  
こそが世界を進歩させている)。

**かん** 〈勘〉 【例】うぬ くとうば ていーち  
さーに かん とういる はじ やしが、あれ  
ー かぬん とうえーうーさんさ やー。(そ  
の言葉一つで解るはずだが、あの人は空気読め  
ないんだね)。っやー ちらぐわー んーぢぶ  
さんでい うむと一たさ。わん ちむぬ かん  
ぬ っやーんかい とうーと一てーさ やー。  
(あなたの顔を見たいと思っていたよ。私の気持  
があなたに通じたんだね)。

**かん ちげー** 〈勘違い〉 【例】っやーが  
かんちげー そーくとう まっと一ば はなさ  
な やー。(あなたが勘違いをしているので、正  
直に話すね)。なまぬ っちゅぬちゃーや っち  
ゅびれーぬ いきらく なてい、えーていぬ  
ちむぐくる ちなぢえーうーさんくとう、かん  
ちげー しーんーちゃい、かんちげー さった  
い するくとうぬ うふさんねー すん。(今  
時の人たちは人付き合いが少なくなって、相手  
の心をつなげることができないので、勘違いし  
たり、勘違いされたりすることが多いようだ)。

**かん** 〈こう〉 【例】あぎじゃびよー。かん  
なたる ばー め?(あれっ、こうなったのか)。

かん などーいびーさ。(こうなっていますよ)。

かん なたる っういーや しかたー ねーら  
んさ。うみちれー。(こうなった以上は仕方ない  
な。あきらめなさい)。

**かんげーいん** 〈考える、世話する〉【活】か  
んげーたん、かんげーらん、かんげーてい 【例】  
なー かんげー かんげーっし あんし ちび  
らーしく なーぢゅくいぬ ないる。(それぞ  
れの考えであんなに見事に庭造りができるんだ  
ね)。ぬーがな するめーねー ゆー かんげ  
ーていから しー よー やー。(何かする前  
にはよく考えてからしなさいよ)。っやーさー  
に かんげていくいり よー。(あなたでもっ  
て考えてくれよ)。いふえー かんげーていく  
いらに?／かんげーていくいらん なー?(少  
しは考えてくれないか／考えてね)。わん ど  
うーぬ かなーん ないねー、とうんじゃこー  
っやーさーに みーかんげーっし くいり  
よー。(私の体がかなわなくなったら、看病はあな  
たでもって世話してくれよ)。みーかんげーっ  
し くいみそーり よー。(ご指導をお願いします  
ます)。

**がんしなー** 〈(頭にのせて運ぶために物の下  
に敷く)クッション〉 【例】ちぶるんかい む  
ぬ かみーる ばすねー 「がんしなー」 う  
ちきーん。(頭に物を乗せて運ぶ際には「がん  
しなー」を置く)。しーくわーうい ぶちだん  
かい うさぎーるばすねー けーりんくるびん  
さんぐとう がんしなー ちかてい うちき  
ーん。(スイカを仏壇にお供えする際には転ば  
ないように「がんしなー」を使って置く)。**【参】**  
しーくわーうい、くわんとーうい(スイカ)。

**かんじゃー やー** 〈鍛冶屋〉 【例】ん  
かしえー みじ いりやー、くみ いりやーん  
でー かんじゃーやーんかい あちれーてい  
ちゅくらちよーたしが、かーん かーん かー  
ぬん ちかららん なてい ちかぐろー かん  
じゃーやーや んーちえー んーだん やー。  
(昔は水入れ、米入れとか鍛冶屋に注文して作ら

せていたが、カーンカーンカーンという音も聞かれなくなって近頃は鍛冶屋は見なくなっているね)。

**がんじゅー** 〈頑丈〉 【例】がんじゅーむんぬどう くふあどーり する。(丈夫な者ほど急な病で倒れる)。くぬ やーや あんし がんじゅーぎさ ちゅくてーる。し、ぐじゅーにん びけーや ちゃーん ねーんさ。(この家はなんと強固そうに造られていることか。4、50年ほどは何でもないね)。

**かんすい** 〈カミソリ〉 【例】わったーが わらびぬくろー かんすいさーに ゑんびつん とうぢゆたしが、なまぬ わらびんちゃーや ならん やー。(私たちが子どもの頃はカミソリで鉛筆を研いだが、今の子どもたちはできないね)。ありが くちえー かんすいぬ ぐ とうどう あん どー。(あの人は口達者で歯切れがよいね)。どうく くちがんすい ない ねー、まるく をうさまいしん をうさまらん ないん。(あまりおしゃべり過ぎると、まるく 収まるのも収まらなくなる)。

**かん すん** 〈こうする〉 【活】～さん、～さん、～っし 【例】じんぶん あいぎさー やしが じんぶんぬ ねーらん、ふいぢゃいんかい みぐらち ならんらー、つういーんかい ふ いっぱいどう すさ。くれー かんどう すさ。(物わかっていそうだが知恵がないね、左にまわしてだめなら、上に引っ張ることさ。これはこうするんだよ)。

**かんぢゅん** 〈被る〉 【活】かんたん、かんだん、かんてい

**かんしーん** 〈被せる〉 【活】かんしたん、かんしらん、かんしてい 【例】ぼーし(ちぶる かんぢむん) かんてい いけー。(帽子(あたまに被るもの)をかぶって行きなさい)。なー ふいーく なんとくとう、にんぢゅる ばす ねー ふとん(かんぢむん) かんてい にん でー。(もう寒くなっているの、ふとんをかけ

て寝なさい)。っちゅぬ やなぐち うんじょー くちかんとーいびーん どー。(人から悪口をあなたは浴びせられていますよ)。うっか かんとーん。(借金がある)、うっか かんぢやー(借金持ち)。ふかー ていーだぬ くわ らくわらっし あちさくとう、ぼーし かんしれー。(外は太陽がかんかんして暑いので、帽子を被せなさい)。

**がんどういん** 〈元気がなくなっている〉 【活】がんどうたん、がんどうらん、がんどうてい 【例】くじゅまでー がんじゅーぎさたる むんぬ、あれー ちゅーちゃんないに(＝たでーま) がんどうとーんねー すん やー。(去年までは健康そうだったのに、あの人はあつという間に元気がなくなっているようだね)。

**かんとう** 〈髪 of 卑語〉 【例】どうく かじぬ ちゅーさぬ、かんとうばーばー そーっさ。(あまりに風が強くて髪が乱れているよ)。  
**かんとう むしーん** 〈髪をむしる〉 【活】～むしたん、～むしらん、～むしてい 【例】うい ながぬ おーえーや かんとう むしえー すん。(女子のけんかは髪をむしりあいをする)。

**かんない** 〈雷〉 【例】かんないぬ ないねー、 てんぶす とうらってー ならんでいち、 ちちよーる ちんさーに わた うすいたん。(雷が鳴ると、ヘソを取られてはならないと、着ている着物でお腹を隠したものだ)。

**かんぬー** 〈肝要〉 【例】うやふあーふじからぬ ゆじり うきちぢゅる たみねー、しまくとうば ふいるみーる くとー いっぺー かんぬー やん。(祖先からの伝統を受け継ぐためには、しまくとうばを普及することがとても大切だ)。

**かんぬ むし** 〈痢の虫〉 【例】ゆーる なちぶさーんかえー、 かんぬ ちゅーさる わらび やくとう、かんぬ むしぬ をうんでい むしぐすい ぬますたん。(夜泣きする子

には癪が強い子だから、癪の虫がいるといって虫薬を飲ませたものだ)。

**がんまり** 〈いたずら、いじくりまわし〉【例】  
っちゅぬ からじ ひっぱたい、っちゅぬ むぬ いーよー ねーびさい、ゆくし むにー  
いちゃいっし がんまり すな けー。(人の髪をひっぱったり、人のものの言い方を真似たり、嘘を言ったりしていたずらするな)。とうす

い やくとうんち わちゃくんな けー／がんまりすな けー。(年寄りだからといってふざけるな)。みーぬ がんまれー しん、ていーぬ がんまれー すな。(見るだけはいくら見ても、手でいじってはいけない)。てーしちな んーぢむのー ていーぬ がんまり しえー ならん。(大切な展示ものは手を触れてはならない)。

# き、ぎ

きー 〈木〉 【例】 いったー やーぬ なーや  
きーん みーとーみ？ (あなたの家の庭は木も  
生えているか)。あれー はるん なーぬ く  
さん もー なち あしどーん。(あの人は畑  
も庭の草も伸び放題にして遊んでいる)。うち  
なーや うほーくぬ まぎきーぬ いくさんか  
い さってい、なまからー あまくま まぎき  
ーぬ ふいるまいし まちかんていー やん。  
(沖縄は多くの大木が戦争でやられて、これか  
らはあちこちで大木が広まるのが待ち遠しい)。  
きーぬ しちやー しだどうくる なてい あ  
ちまてい はなしむんがたいんっし、あとー  
にーぶいまでい そーん どー。(木の下は涼  
しいところで集まって話をし、しまいには眠  
くなるよ)。きーぬ たまゑー さき かきれ  
ー のーいん。(木のたわみは酒をかけると直  
る)。きーぬ まがゑー ちかーりーしが、っち  
ゆぬ まがゑー ちかーらん。(木の曲がりには  
使い道もあるが、人の心の曲がりには使えない)。

きー うーし 〈木臼〉 【例】 きーうーしと  
う きーぢちやーや ぐー やてい、むるさー  
なとーし にーてい むち ちゆくいんしん  
かい ちかいん。(木臼と木槌はセットで、固  
まりになっているのを練って餅をつくるのに使  
う)。

きー かし 〈木屑、おがくず〉 【例】 あみ  
ぬ ふいねー みちえー どうるぶっちゃー  
なたくとう、しんでいらんぐとう ぐえったい  
んかい きーかし ほーいねー あっちやっさ  
たん。(雨が降ると道は泥んこになったので、滑  
らないように泥におがくずを撒くと歩きやすか

った)。

きー くさ 〈木草、植物〉 【例】 なーや き  
ーくさぬ うふさしえー ましえー やしが、  
ほーちかちんでーぬ わじゃぬ うふさぬ や  
っけー やん。(庭は木草が多いのはいいが、ほ  
うき掃きなどの仕事が多くて大変だ)。

きー じーふあー 〈木製かんざし〉 【例】  
るーちゅーをーくくぬ じでーねー はるさー  
や きーじーふあーとう かーみなくーじーふ  
あー やたん。(琉球王国時代には百姓は木製  
かんざしとべっ甲かんざしだった)。

きー じえーくー 〈大工〉 【例】 なまー  
コンクリートやー ちゆくいる っちゆぬ う  
ふく なてい、 きーじえーくーん かーらじ  
えーくーん しくちぬ いきらく なてー を  
うらんがやー？ (現在はコンクリート建てを造  
る人が多くなって、大工も瓦職人も仕事が少な  
くなっていないのかなあ)。

きー じょー 〈木の門〉 【例】 やーぬ じ  
ょーんかえー いしじょー、きーじょー、やー  
じょー、あかばなーぬじょーぬ あん。(家の門  
には石門、木製の門、屋根付き門、ハイビスカ  
スの門がある)。

きー ぢり 〈木切れ〉 【例】 やちっんむ  
すくとう めーする きーぢり あちみてい  
くーわ。(焼き芋をするので燃やす木切れを集  
めておいで)。

きーぬ しん 〈木の芯〉 【例】 くぬ まー  
ちえー きーぬ しんぬ むしんかい くわー  
ってい あかー なてい かりとーん。(この  
松は木の芯が虫に食われて赤くなって枯れてい



る)。

きーぬ また 〈木の股〉 【例】うちなーを  
うてー うや すそーん する っちゅんかえ  
ー きーぬ またから っんまりたんでい い  
ーん。(沖縄では親不幸をする人には木の股か  
ら生まれたと言う)。

きー びさー 〈竹馬〉 【例】わらび そー  
いに どうーくる きーびさー ちゅくてい  
かたふいさ けんけんし あしだん。(子ども  
のころに自分で竹馬を作って片足跳びして遊  
んだ)。

きー まっくわ 〈木枕〉 【例】んかしえー  
やーちゅくい さる あとうぬ ぬくとーる  
きーさーに きーまっくわ ちゅくとーたし  
が、ちゅくてい ちゃーきやか なげー ちか  
とーていどう かどうぬ とうりてい ちぶる  
からぬ ちーあんだぐわーぬ たっくわてい  
そーまっくわ ないる。(昔は家造りした後の  
残っている木で木枕を作っていたが、作ってば  
かりより長く使っていてこそ角が取れて頭から  
の地肌油が付いてりっぱな枕になる)。「きーふ  
ーぞー」や きーっし ちゅくらとーる たば  
くいりー やしが、ふたぬ っういーや くぶ  
まち きーまっくわ ないん。(「きーふーぞー」  
は木製のタバコ入れだけど、蓋の上はへこまし  
て木枕になる)。

きー むっくー 〈つぼみ〉 【例】きーむっ  
くーぬ まぎく なとーくとう、あちやー あ  
さていねー はな さちゆる はじ。(つぼみ  
が大きくなっている、明日あさってには花  
が咲くだろう)。

きーうい/ういぐわー 〈きゅうり〉 【例】  
なーふあをうてー とうんじーじゅーしー う  
さぎーる ばすねー、かたじー しえー なら  
んくとう、ういぐわーぬ えーむんとう みー  
とうぐーとうー なち うぐわんすんかい う  
さぎーん。(那覇では冬至雑炊を供える際には、  
片方だけにしてはならないので、きゅうりの和  
え物と対にしてご先祖に供える)。

ぎーたー 〈片足〉 【参】かたふいさ。

きー ぶり だちゃー すん 〈鳥肌  
が立つ〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】はる  
ぬ くさ とういに にんとーる はぶ やが  
てい さーゆたくとう、きーぶりだちゃー さ  
ん。(畑の草取りに眠っているハブをやがて触  
るところだったので、鳥肌が立った)。ちゅと  
う まっち うきたる だいがくしけん とう  
ーたる とうちねー、どうく うっさぬ きー  
ぶりだちゃー さん。(一浪して大学入試に受  
かったときにはあまりにも嬉しくて鳥肌が立っ  
た)。おーぐらしんみーんかい まやーぬ み  
ーびかー ふいかてい めちよーたくとう き  
ーぶりだちゃー さん。(真っ暗闇の中に猫が  
目だけが光って座っていたので身の毛がよだつ  
思いだった)。**【参】**きーぶりだち(毛の群れ立  
ち)、ぶりにんじゅ(群衆)、ていんぬ ぶりぶ  
し(天の群星)、ぶりっんま(群れをなす馬)。

きー まー 〈毛深い者〉 【例】きーまーと  
う きーもー/きーびすぬ をうしが、きー  
まーや どうーがんにゅーんでい ちちやるく  
とうぬ あん。(毛深い者と毛が無い者/毛が  
薄い者がいるが、毛深い者は健康だと聞いたこ  
とがある)。

きーん 〈蹴る〉【活】きっちゃん、きらん、き  
っち 【例】がっこーから けーやがちー め  
ーくる いしぐわー きっち あっちゅたん。  
(学校からの帰りによく小石を蹴って歩いたも  
のだ)。どうーちゅいっしん サッカーボール  
きっち めーにち れんしゅー そーたくと  
う、あれー いるんな きーわじゃ むっちょ  
ーん。(自分ひとりでもサッカーボールを蹴っ  
て毎日練習していたので、あの人はいろんな蹴  
り技をもっている)。みちぬ かんからーや  
うかーさくとう ふいささーに きっち どう  
きなしえー。(道の空き缶は危ないので、足で蹴  
ってかたづけなさい)。

きじむなー 〈木の精〉 【例】きじむなぬ  
しちゅしえー いゆ、くとうに いゆぬ み  
んたま、しかんしえー たく、っちゅぬ ふい

一、とういぬ なちぐいー やんでい いらつとーん。(キジムナーが好きなのは魚、そのなかでも魚の目玉、嫌いなのは蛸、人間の屁、鳥の鳴き声だと言われている)。きじむなーや きーぬ しー やてい、きじむなーんかい うさーりーねー っんぢゅからん、くいーん っんぢらん なてい どうーにー すん。うさーたっさーんでい うむたる とうちに うみちとう ちから いりーねー ちゅばちに うぬさーいから はんでいーんでい。(キジムナーや木の精で、キジムナーに押さえつけられると動けない、声も出なくなってしまう。押さえつけられたと思ったときに思い切り力を入れると一気にその障りから外れるって)。

**ぎぢゃー** 〈意地の悪い女〉 【例】ぎぢゃー ないねー やなかーぎー ないくとう、ちゃー わらりんてい いらつとーたん。(意地悪になったらブスになるので、いつも笑顔でいなかさいと言われている)。

**きぢゃーすん** 〈かき混ぜる、かき回す〉【活】きぢゃーちゃん、きぢゃーさん、きぢゃーち

**きぢゅん** 〈混ぜる、攪拌する、中傷する〉【活】きぢゃん、きがん、きぢ 【例】いゆ にしみとーる とうちに きぢゃーしーねー みーぬくまきー ないん。(魚を煮染めているときにかき混ぜると身がくずれる)。

**きっちやき** 〈つまずき〉 【例】「ぬーが ふいちえーや あんし がーな めちよーる」「しちや んーだんぐとう あっちやーに いしんかい きっちやきっし やまちゃん」「どうして額はこぶになっているの」「下を見ないで歩いて石につまずいて痛めた」。

**きぶいん** 〈煙る〉【活】きぶたん、きぶらん、きぶてい 【例】わったー やーぬ だてーん きぶとーしが、たんかーや なーをうていぬー めーちよーがやー？(私の家のかなり煙っているが、隣りは庭で何を燃やしているのかなあ)。

**きぶし かじゃ** 〈煙臭さ〉 【例】がじゃん くるすんでいち あまくまんかい かとりせんこー うちきたくとう やー いっペー きぶしかじゃっし、あとー っちゅぬどう っういーほーらつとーっさ。(蚊を殺すといってあちらこちらに蚊取り線香を置いたので家中煙臭さが充満して、しまいには人間が追い払われているよ)。

**きらま** 〈慶良間〉 【例】っちゅぬ くとーゆー みーゆしが、どうーぬ っういーや わからんぬーんかい 「きらまー みーゆしが、まちげー みーらん」んでい いーん。(他人のことはよく見えるが、自分のことはわからない人に「慶良間は見えるが、まつげは見えない」と言う)。さちぢちぬ くとうびけー かんげーてい、なまー ちゃー なとーが ゆめーうーさんぬーんかい 「きらまー みーゆしが、まちげー みーらん」でいん いーん。(先々のことばかり考えて、今はどうなっているのかを読めない人に「慶良間は見えるが、まつげは見えない」とも言う)。

**きり** 〈蹴り〉

**きり くわーすん** 〈蹴りあげる〉【活】〜くわーちゃん、〜くわーさん、〜くわーち 【例】すぐたい、きりくわーちゃい すくとう、レスリングぬ すーぼー んーぢぶしこー ねーらん。(殴ったり、蹴り上げたりするので、レスリングの試合は見たくない)。

**きり けーらすん** 〈蹴り返す〉【活】〜けーらちゃん、〜けーらさん、〜けーらち 【例】しまとうやーが どうーやか まぎさる っちゅきりけーらするわじゃん むっちょーくとう、しまー んーぢゅしえー ぬーぬ まーさむん かむしやか まし やん。(相撲取りが自分よりも大きい人を蹴り返す技も持っている、相撲を観るのはどんなおいしいものを食べるよりもいい)。

**きり とうばすん** 〈蹴り飛ばす〉【活】〜とうばちゃん、〜とうばさん、〜とうばち 【例】さかから ながりてい ちゅーる ボール きり

とうばちやしが、っちゅぬ やーぬ がらす  
わていねーらん。(坂から流れてくるボールを  
蹴飛ばしたのだが、人の家のガラスを割ってし  
まった)。

きりりん ばんばん 〈取っ組み合いのけ

んか〉 【例】くわーくわー そーしが、なま  
にん／いふいぐわーしーねー きりりんばんば  
んぬ はじまいん どー。(言い争いをしてい  
るが、今にも／少しすると取っ組み合いのけん  
かが始まるよ)。

## く、ぐ

く いけーし 〈繰り返し〉 【例】っやーや  
ちゃー めぬ くいけーしびけー すくとう、  
めーねー あがかんさ。(あなたはいつも同じ  
ことの繰り返しばかりするので、前には進まな  
いよ)。

く いじ 〈恋路〉 【例】っちゅぬ くいじんか  
い ふえーりんちゅる むのー あらん。(人  
の恋路に入り込むものではない)。

く いまーすん 〈やりくりする〉 【例】あ  
ぬ っちょー っちゅぬ やーぬ ていがねー  
さい、うやぬ ていがねー さいっし じん  
ゐーてい、ちゃーがな くいまーちょーん。(あ  
の人は人の手伝いをしたり親の手伝いをしたり  
して、お金をもらって、どうにかやりくりして  
いる)。

く ー 〈穴〉 【例】わらび そーいに「なーびな  
くー」んでい いち まーていあっちゅる  
っちゅぬ をうてい、っんまをうてい どーぐ  
ちかてい たでーま のーすたん。(子どもの  
頃「なーびな くー!」といって廻って歩く  
人がいて、その場で道具を使ってすぐさま(鍋  
を)補修したものだ)。

く ー すん 〈繕う〉【活】くーちゃん、くー  
さん、くーち 【例】っやー ちのー やりと  
ーくとう くーしえー。(あなたの服は破れて  
いるので繕いなさい)。【参】やりいん(やぶれ  
る)、やんぢゅん(壊す)、やんでいーん(こわ  
れる、破損する、破談になる)。

く ー 〈粉〉 【例】ていんぷらー すくとう  
むーじなくーんかい くーがぐわー いって

あーち まーに。(天ぶらするので、小麦粉に  
卵入れて混ぜてごらん)。

く ー ぐすい 〈粉薬〉 【例】くーぐすえー  
ぬみぐりさくとう なまー ちぶぐすい な  
とーん。(粉薬は飲みにくいので、現在は粒薬に  
なっている)。

く ー 〈籠〉 【例】なまー しえーならんしが、  
あまくまぬ やーんかい そーみなー くーぬ  
あてい、そーみなー ちかなとーたん。(今は  
してはいけないことだが、あちらこちらの家で  
メジロ籠があって、メジロを飼っていた)。

く ー 〈甲〉 【例】かーみぬ くーやか とう  
しぬ くー。(経験・歳の功は学問に勝る)。

く ー 〈コツ〉 【例】がに とうったい、たく  
とうったい すしんかえー くーぬ あん。  
(カニを捕ったり、たこを捕ったりするにはコツ  
がある)。

ぐ ー 〈連れ、仲間〉【活】ゆいぬ むん(同類)  
を参照 【例】くりとう でーくにしりーしり  
ーとー ぐー やっさ やー。(これと大根お  
ろしは合うんだね) 。ういぐわーとう すだ  
こー ぐー やくとう、えーむん しーねー  
まーさん どー。(キュウリと酢ダコは合うの  
で、和え物にするとおいしいよ)。あつたーや  
ぐー などーん。(あの二人は仲間／相棒だ  
よ)。ちゅい、たい しえー ならんくとう や  
ていん、ぐー なてい っんぢゅちーねー っ  
んぢゅかんしん っんぢゅかする くとう な  
いん。(一人、二人でできないことでも、団体

で活動すると動かないことも動かすことができる)。

くー～〈小〉 【参】くーさん(小さい)からの派生。

くー あちさ 〈小暑〉 【例】くー あちさー、なー いふいぐわー しーねー あちく ないる じぶん などーんでいる しらし やん。うちーなーぐゆみぬ ぐんぐわち じゅー はちにち、やまとうぐゆみぬ しちぐわち しちにち などーん。(小暑は、もう少しすると暑くなる時分になっている知らせだ。旧暦の5月18日、新暦の7月7日になっている)。

くー いゆ 〈鯉〉 【例】くーいよー んーぢゆる いゆ やてい かむる むのー あらん。(鯉は観賞用で食べるものではない)。

くーさ い 〈幼いころ〉【活】＝くーさるばす 【例】わんねー くーさいに どうーやふあらー やてい、うやんかい じこー しわしみたん。(私は幼い頃体が弱くて、親にさんざん心配させた)。くーさいにどう やてい、どうーぬ ういきがぬ うやぬ ちらん むるうびてー をうらん。(幼い頃なので、自分の父親の顔もまったく覚えていない)。

くー てーん 〈少し〉 【例】ちむ いふい なー なたしが、くるじゃーたー くーてーん くくたくとう、ましなたん。(気分が変になったが、黒砂糖を少し口に含んだので、よくなった)。くぬ しろー いふえー あふあさんねーそーくとう くーてーん まーす いっていまーに。(このおつゆは少し味が薄いようなので少し塩を入れてごらん)。

くー にー すん 〈小さく切って煮る〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】ぶんぬ うさんみうじゅーぬ かていむん なーちゃ くーにー しーねー、いっぺー まーさん。(盆の重箱のおかずを翌日小さく切って煮ると、とてもおいしい)。

くー もーい すん 〈小躍りする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】たんかーぬ わらべー だいがくんかい かかてい くーもーい

そーたん。(向かいの子どもは大学に受かって小躍りしていた)。

くー われー 〈クスッと笑うこと〉 【例】うちあたっし くーわれー すたん。(思い当たることがあってクスッと笑った)。くーわれーや ういなぐぬどう する。(クスッと笑うのは女性の所作だ)。

くーいん 〈噛みつく〉【活】くーたん、くーらん、くーてい 【例】まやーぬ っうえんちゅくーいん。(猫がねずみがをかみつく)。いぬんかい くーらってい(犬に噛みつかれて)。ふいじゆる むのー はー くーいっさー。(冷たいものは歯にしみるね)。

くー やー 〈噛みつく者〉 【例】みみだい いんにどう っちゅくーやーや をうん どー。(おとなしそうな犬にこそ人に噛みつくのがいる)。

くーいん 〈請う〉【活】くーたん、くーらん、くーてい 【例】ゆみ くーらってい にーびち さん。(嫁に請われて結婚した)。

くー やー 〈嫁のもらい手〉 【例】っやーや うぬ とうし なてい なーだ にーびち ん さんしが、くーやーや をうらんどーあ る？(あなたはこの歳になってまだ結婚もしないが、貰い手はいないのか)。どうく うーまく ないねー、っやー くーやーや をうらん どー。(あまりおてんばすると、おまへの貰い手はいないよ)。くーやーぬ まんどーる っうえーだーどう ばんじ やる。うり はんでいーねー ちゃー ないが すら やー？(嫁の貰い手がたくさんいる間こそ適齢期だ。それをはずすと一体どうなるのかなあ)。っちゅぬ やーをうてー むぬ ふさ しえー ならんくとう、あしどーていん むんぬ じぶん ないねー、やーんかい けーてい くーよー。(人様の家でもの欲しそうにしていけないから、遊んでいても食事時間になれば、帰っておいでよ)。【参】むぬくーやー(乞食)。

くーいん 〈閉じる〉【活】くーたん、くーら

ん、くーてい 【例】ありが いちやい さい  
 するくとうんかえー みーん くちん くー  
 とーけー、あん しーねー なたやしく ない  
 さ。(あの人が言ったりしたりすることには眼  
 も口も閉じておきなさい、そうすればうまくい  
 くもんだ)。っちゅぬ うふさる とうくるを  
 うてー っちゅぬ みー くじてーならんくとう、  
 かさー くーとーけー (人の多いところで  
 は人の目を突いてはいけけないので、傘は閉じて  
 おけ)。うちなーをうてー るくぐわちにじゅ  
 ーさんにちえー いくさゆーをうてい ぬち  
 うとうちやる っちゅぬちやー なぐさみーる  
 たみに まふいるま いっぶんぬ っうえー  
 だ みー くーいん。(沖縄では6月23日は  
 戦時に命を落とした人たちを慰めるために正午  
 一分間黙祷する)。

くーが 〈卵〉 【例】ほーとー くーが たー  
 ちどう なすんでい。あんすくとう、っちゅぬ  
 たーちゅー なしーねー ほーとうんぐわぬ  
 ぐとうどう なちえーる むんなーんでいん  
 いーたんでい。(鳩は卵を2個産むって。それ  
 で、人が双子を産んだなら鳩の子のように産ん  
 でいるんだねとも言ってたって)。

くーが ふあーふあー 〈卵焼き〉 【例】  
 くーがふあーふあー ちゅくいるとうちに み  
 じか うしぬ ちーちー まんきてい やちー  
 ねー くがりらん。(卵焼きを作るときに水か  
 ミルクを混ぜて焼くと焦げない)。

くーが ぐる 〈卵の殻〉 【例】はーちっ  
 ういぬ きーくさぬ にーぬ まーいんかい  
 くーがぐる いらい。

くーぎー 〈陰毛〉 【例】ういきがぬちやーや  
 わちぎー すいる っちょー をうがやー?  
 をうらん はじ やー。(男の人たちは脇毛  
 を剃る人は居るのか。 居ないだろうね)。

くーしー むん 〈貧乏者〉 【例】いった  
 ーや くーしーむんでいち わん うしえーと  
 ーる はじ やしが、ちもー うふっうえーき  
 んちゅどう やる。(お前たちは貧乏だと僕を

バカにしているのだろうが、気持ちだけは大金  
 持ちなんだよ)。(【参】ふいんすー むん(貧乏  
 者)。

くーしえー 〈手落ち〉 【例】あれー ぬー  
 しみていん くーしえー ねーんくとう、ぬ  
 ーぬ しわん ねーん。(あの人は何をさせて  
 もちゃんとするので、何の心配もない)。

くーくえー すん 〈後悔する〉【活】～さ  
 ん、～さん、～っし 【例】ぬーがな する ばす  
 ねー あとうあとう くーくえー さんぐとう  
 ゆー かんげーていから すし やん。(何  
 かする時には後々後悔しないようによく考えて  
 からするものだ)。

くーす 〈古酒〉 【例】くーそー ちゃっさ  
 ぬでいん なーちゃ やなういー さんくとう  
 どう くーす やる。(古酒はいくら飲んでも  
 翌日は二日酔いしないからこそ古酒だ)。

くーすん 〈壊す〉【活】くーちゃん、くーさ  
 ん、くーち 【例】ふるやー くーち、みーやー  
 ちゅくたん。(古い家を壊して、新しい家を造  
 った)。っちゅぬ くるま くーち、じゃーふえ  
 ー なとーさ。(人の車を壊して大変なことにな  
 っている)。

くーぢー 〈公儀、公事〉

くーぢー ぐとう 〈訴訟沙汰、公務〉 【例】  
 くーぢーぐとう ないくとう かかわいる むの  
 ー あらん。(警察沙汰になるので係わるもの  
 ではない)。

くーぢー むち 〈公費持ち〉 【例】あれー  
 すぐりむん やくとう、くーぢーむちっしどう  
 ゆすぐにんかい をうん どー。(あの人は優  
 秀なので、公費で外国にいるよ)。

くーとうー 〈～以外〉 【例】やなむん ん  
 ーぢゅるくとう はんするたみに、ぼーじゃー  
 ぬ ふいちえーんかい なーびぬ ふいんぐ  
 なかいーびさーに なでいがなー 「あんまー  
 くーとうー たーん んーだん、あんまーどう

んーぢゅん どー」んでいる まじねーぬ  
あたん。(悪霊を見るのを外すために、赤児の額  
に鍋の煤を中指で撫でながら「母ちゃん以外は  
誰も見ない、母ちゃんだけを見る」という[夜  
道を歩くときの]まじないがあった)。

くーとー 〈公平〉 【例】ありが するくと  
ー たーんかいん ちゃー くーとー やくと  
う、んなから あがみらっとーん。(あの人がす  
ることは誰にもいつも公平なので、みんなから  
尊敬されている)。

ぐーに 〈びっこ〉 【例】ぐーに／ねーぐ っ  
し あっちょーしが ぬー さが?(びっこを  
引いて歩いているがどうしたのか)。かたぐー  
や さば くでい なー かたぐーや あしぢ  
ゃ くでい ぐーにっし あっちょーん。(片  
一方は草履はき、もう一方は下駄をはいてびっ  
こして歩いている)。

くーばー 〈クモ〉 【例】っちゅぬ いっぢや  
い っんぢたいぬ ねーん とうくるんかい、  
くーばーや やんだらんぐとう しー ちゅく  
いん。(人が出たり入ったりがないところに、ク  
モは破られないように巣をつくる)。しーんか  
い アミリカぐぢぬ じーぬ ぐとう かちゅ  
る くーばーぬ をうしが、 ぬーんでい か  
ちえーる むん やがやーんち ふいるまさっ  
し んーちょーる わらびぬ をうたん。(巣  
に米語の字のように書くクモがいるが、なんと  
書いたのかと不思議に思っている子どもが  
いた)。くーばーが しーや かむる むん  
とういる しかき やん。たーがん ならーさ  
んしが、どうーくる ちびらーしく ちゅくい  
る くとうぬどう ふいるまさる。(クモの巣  
は食べ物を捕る仕掛けだ。誰も教えないが、自  
分でりっぱに作ることが実に不思議だ)。

くーび 〈ぐみ〉 【例】くーび かみーが ち  
ゅーる とうい にんがきてい はぶぬ しが  
とーくとう、くーび とういる ばすねー ち  
ー ちきり よー。(ぐみを食べに来る鳥をめ

がけてハブが待ち構えているので、ぐみを採る  
ときには気をつけなさいよ)。

くーぶ 〈昆布〉 【例】うさんみうじゅーんか  
い いりーる むしびくーぼー かりーなむん  
やてい、うやふあーふじとうぬ むしび、い  
ちみとうぬ むしび、かりーぐとうぬ むしび  
んでいる わきぬ あん。(重箱に入れる結び  
昆布は縁起のいいもので、祖先との結び、親戚  
との結び、縁結びという意味がある)。

くーりーん 〈崩れる〉【活】くーりたん、く  
ーりらん、くーりてい 【例】うふあみぬ ふい  
ねー、やまぬ んーちゃ いしがぢぬ くーり  
てい うかーさん。(大雨が降ると、山の土砂、  
石垣がくずれて危険だ)。

くーり じえーうえー 〈災い転じて福とな  
ること、崩れ幸い〉 【例】しーやんていぬ  
くとうどう やたしが、けーてい くーりじえ  
ーうえーどう などーる。(仕損じたことでは  
あったが、かえって幸いになっている)。

くーるー まーしえー 〈コマ回しの遊  
び〉 【例】わらび そーいに ういきがん、う  
いなぐん やーぬ めーをうてい たー くー  
るーぬ なげー みぐいがやーんでいる すー  
ぶっし あしだん。(子どもの頃に男も女も家  
の前で誰のコマが長く回るのかという勝負をし  
て遊んだ)。

くがた 〈こちら側〉 【例】っやーや ふどう  
まぎー やくとう くさーぬ っちょー みー  
らん、あがた なれー、っやーや くがたんか  
い くーわ。(お前は体が大きいので後ろの人  
は見えない、あっちになんなさい、お前はこっ  
ちに来なさい)。

くがとー 〈こんな遠方〉【活】うがとー〈そん  
な遠方〉、あがとー〈あんな遠方〉 【例】「く  
まー まー などーが?」「うく やん どー」  
「あん やみ? いーな くがとーんかい ち  
ょーん なー?」「(ここはどこか)「奥だよ」「そ  
うか。こんなに早くこんな遠くに来ているんだ

ね」。あがとーから うがとーまでい なんぢ  
そーてい ちょーたる ばー なー？(あんな  
な遠方からこんなところまで難儀して来ている  
わけだね)。あがとーから めんそーちゃん  
なー？(あんな遠方からいらっしゃたんだね)。

**くがに いーびなぎー** 〈金の指輪〉【活】  
なんじゃ いーびなぎー 〈銀の指輪〉、あかが  
に いーびなぎー 〈銅の指輪〉

**くがに じーふあー** 〈金のかんざし〉  
【活】なんじゃ じーふあー 〈銀のかんざし〉

**くがに じえーく** 〈金細工職人〉【活】か  
んじえーく 〈鍛冶職人〉

**くがにー** 〈ミカンの一種〉 【例】くがに一ぬ  
しるさーに ばさー あらいねー、かたくー  
りん いるうていん さん、はだむちぢゅらく  
ないん。(クガニーの汁で芭蕉布を洗うと、型  
くずれも色落ちもしない、肌触りがよくなる)。

**くがらすん** 〈焦がす〉【活】くがらちゃん、く  
がらさん、くがりち

**くがりーん** 〈焦がれる〉【活】くがりたん、く  
がりらん、くがりてい 【例】ごはん にーるば  
すねー なまとー ちがてい にかしえー は  
がま ちかとーたしが、ふいーぬ まぎく な  
たい ぐまく なたい さくとう、みー はな  
しーねー なんちち くがらすたん。(ご飯を  
炊くときには現在とは違って昔は羽釜使っていたが、火が大きくなったり小さくなったりしたので、目を離すと焦がしたものだ) 【参】「くが  
らちゃん」は過去(＝発話以前)に起こった出来事について事実だと言い切っているが、「く  
がらすたん」では、発話の時点から過去に起こ  
った動作を回想している。

**くくいん** 〈結ぶ、まとめる〉【活】くくたん、  
くくらん、くくてい 【例】うーび くくいしえ  
ー、しーよーぬ あてい ちゅーさていん、よ  
ーさていん ならん。(帯の結び方には、こつが

あつて強くて弱くてもだめだ)。うふかじぬ  
ちゅーくとう ふかぬ にーや ちゅーく  
くくとーけー。(台風が来るので外の荷物は強  
く結んでおきなさい)。りえん さる むとう  
みーとうぬ くちえー かーみ ていーちんか  
い くくいん。(離縁した元夫婦の遺骨は甕一  
つにまとめる) 【参】くんぢゅん(括る)、くん  
たばいん(束ねる)。

**くくち** 〈心地、気分〉 【例】わさわさーっし  
ちむぬ めらん。くくちぬ わっさくとう、  
けーら めー？(心が落ち着かない。居心地が  
わるいので、帰るね)。

**くくぬ たい** 〈九人〉 【例】ちゅい、たい、  
みっちやい、ゆったい、ぐにん、るくにん、しち  
にん をうん どー。 はちにんめーや うい  
なぐどう やしが、くくぬたいぬ ちょーでー。  
(一人、二人、三人、四人、五人、六人、七人い  
るよ。八人目は女の子だが、九人の兄弟) 【参】  
くくぬけーん(9回)、くくぬふあに(9羽)。

**くくぬ とう ぐんじゅー** 〈49〉  
【例】かじぬ ゆみかたー、ていー、たー、みー、  
ゆー、いち、むー、なな、やー、くくぬ、とう  
ーまでい ちーねー、くりけーちていー、たー、  
みー、...、やー、くくぬ、にんじゅー、めぬ  
ぐとう ゆでい、...、さんじゅー、...、よんじゅ  
ーなてい、うりから ていー、たー、みー、...、  
やー、くくぬとうぐんじゅー、ぐんじゅー な  
とーん。(数の数え方は、1、2、3、4、5、  
6、7、8、9、10まで来ると、くり返して  
1、2、3、...、8、9、20、同じように数  
えて、...、30、...、40になって、それから1、  
2、3、...、8、49、50になっている)。

**くくむいん** 〈つぼみを持っている〉【活】く  
くぬたん、くくむらん、くくむてい 【例】わっ  
たー なーをうてい くくむとーる ちょーす  
ん(＝ばら)ぬ いちが さちゅが やら ま  
ちかていー そーん。(私のうちの庭でつぼ  
みを持っているバラがいったいつ咲くのか待  
遠しい思いでいる)。



**くくむい** 〈つぼみ〉【例】わんねー あて  
いなしむん やてい なーだ くくむいどう  
やいびーる。(私は未熟者でまだ蕾です)。

**くくむん** 〈口の中に含む〉【活】くくだん、く  
くまん、くくでい

**くくますん** 〈口の中に含ませる〉【活】くく  
まちゃん、くくまさん、くくむち【例】くすい  
ぬむるとちえー さちに みじ くくでいか  
ら ぬめー。(薬を飲むときは先に水を含んで  
から飲みなさい)。くれー ていーちどう あ  
てい、ふかぬ っちゅぬ むのー ねーらんく  
とう、ふえーくなー くちんかい くくどーけ  
ー。(これは1つしかないので、他の人のはない  
ので、早く口に入れておきなさい)。なちやま  
ん わらべー ちー くくましーねー とうま  
いさ。(泣き止まない子はお乳を口に含ませる  
と止まるよ)。はーやみーっし はししぬ は  
りとーくとう、あみぐわー くくどーるぐとー  
ん。(歯痛で歯茎が腫れているので、あめ玉を口  
に含んでいるみたい)。

**くくらき** 〈胸やけ〉【例】どうく やーさぬ、  
そー ぬぎてい うほーく かまーに くくら  
きっし くちさたる くとうぬ あん。(あまり  
にお腹がすいて、我を忘れてたくさん食べて苦  
しかったことがある)。わらび そーいに く  
くらき する あたい っんむ かだしが、な  
まー っんむん たかく なてい、やーさがみ  
そーたる あぬくるぬ あながちさん。(子  
どものときに胸やけするほど芋を食べたが、今  
は芋も高くなって、お腹をすかせて食べていた  
あの頃がなつかしい)。

**くくりーん** 〈注意する〉【活】くくりたん、く  
くりらん、くくりてい【例】はなしちん かか  
らんぐとう、まーん やまさんぐとう、ゆー  
くくりり よー。(風邪もひかないで、どこもケ  
ガしないで、よく用心しなさいよ)。ぬーぐとう  
ん うていちち くくりぬ ある っちゅ な  
り よー。(何事も落ち着いて注意深い人にな  
りなさいよ)。

**くくる** 〈心〉【例】なさきぬ ねーん っち  
ょー っちゅにんぢんぬ くくろー まーんか  
い むっちょーがやー？(情のない人は人とし  
ての心はどこに持っているのかね)。あれー  
くくるむちぬ ゆたさん やー。(あの人は気  
心が良いね)。あれー ちむなさき／ちむぐぐ  
るぬ ねーん。(あの人は情け／心がない)。

**くくる がきーん** 〈心がける〉【活】～がき  
たん、～がきらん、～がきてい【例】うふっちゅ  
ないねー ぬー すし やていん くくるが  
きてい さんねー ならん どー。がくむぬん  
わじゃん あん やん どー。(大人になる  
と何をするのも心がけてしなければならない。  
学問も技術もそうだよ)。

**くげー** 〈交流、交際〉【例】なーふあとう  
ホノルルや ちょーでーぬ あん むしでい  
くげー そーん。(那覇とホノルルは姉妹都市  
の関係を結んで交流している)。むらくげーや  
あたいめーぬ ふいれーとー ちがてい、か  
かさんぐとう っんぢとーん。(地域での交流  
は普通の付き合いとは違って、欠かさずに参加  
している)。

**くげー じん** 〈交際費〉【例】そーぐわち  
から しんぐわちまでー くげーじんぬ／っん  
じりみーぬ うふさぬ、ふしがらん。(正月から  
4月までは交際費／出費が多くて大変だ)。

**くげー ぢん** 〈訪問着〉【例】あきまどう  
し なてい とうしびー うゆうえーぬ あま  
くまをうてい あてい くげーぢん ちちよー  
る っちゅぬちやーぬ ゆー んーだりーん。  
(新年になって生年祝いがあちこちであると訪  
問着を着ている人たちをよく見かける)。

**くさ** 〈雑草〉【例】わーが おーふあ っう  
いーていん ゆからん むんぬ、かまらんぬー  
ぬ くさー ぬーん さんていん あんし ゆ  
かとーる。(私が葉野菜植えても茂らないのに、  
食べられない雑草は何もしなくてもあんなに茂  
っている)。

**くさー** 〈後ろ〉【例】ふーろー、んかしえー

やーぬ くさいんかい あたくとう、なま  
やていん うとうすえー 「まーんかいが」ん  
でい とうーいねー、「やーぬくさいんかい  
っんぢちゅーさ」んでい いーん。なまー あ  
たいぐわーぬどう やーぬ くさいんかい あ  
る。(トイレは昔は屋敷の裏にあったので、今で  
もお年寄り「どこに」と聞くと、「家の裏に行  
ってくる」と言う。現在は菜園が屋敷の裏にあ  
る)。くび／はーや くさい なち めちょー  
ん。(壁／柱に背もたれて座っている)。

**くさいん** 〈まとめる〉【活】くさたん、くさら  
ん、くさてい【例】むら／やー くさいん。(村/家  
をまとめる)。

**くさい** 〈まとめ〉【例】やーぐさえー をう  
とうぬ ちとうみ、むらぐさえー むらがしら  
ぬ ちとうみ、くにぐさえー くにがしらぬ  
ちとうみ。(家のまとめは夫の役目、村のまとめ  
は村長、国のまとめは首相)。みーとうんだ ち  
ゅくさい(夫婦一組み)。

**くさてい** 〈つかい棒、頼り、夫〉【例】「っ  
やー くさてー まーぬ っちゅ やが?」「わ  
ん をうとー なーふあ やいびーん どー」  
('あなたの夫はどこ出身か」「私の夫は那覇です  
よ)。くさていんでい いーしえー っやー  
をうとう やさ。('くさてい」とはあなたの夫  
のことさ)。ういなごー やーぬ かがん、うい  
きがー やーぬ なかばーや やくとう、っや  
ー をうとー やーぬ くさてい などーん  
どー。(女性は家を写す鏡、男性は家の大黒柱な  
ので、あなたの夫は家の「つかい棒」になっ  
ているよ)。

**くさくさー すん** 〈憤慨する〉【活】～さ  
ん、～さん、～っし【例】あわていーる ばー  
に みちぬ くでい くるまむちゃーや めー  
にん いからん、くさいにん っんぢゅからん  
くとう、ぷーぶー くさくさ そーん。(急い  
でいるときに道が渋滞して運転手は前にも行け  
ない、後ろにも動けないので、憤慨している)。  
【参】わじわじー そーん。

**くさ ぶっくいーん** 〈ませる〉【活】～ぶ  
っくいたん、～ぶっくいらん、～くさぶっくい  
い【例】わらびぬ っんぢとーてい どうく  
くさぶっくいーねー、はなぶっくわ ちちゃ  
ーに たっぴらかち とうらすん どー。(子  
どものくせにあまりにませたことを言うと、鼻  
頭を突いてつぶしてやるぞ)。

**くさ ぶっくわー** 〈ませた子〉【例】くさ  
ぶっくわーや わらびらーしくん ねーん、し  
からん さー。(ませた子は子どもらしくもな  
くて、好きになれないね)。

**くさ むにー** 〈ませたもの言い〉【例】む  
ぬぐとうん くくるん なーだ みっちえー  
をうらんむんぬん、くさむにーや すなけー。  
(物事も心もまだ未熟なのに、ませた言い方はす  
るな)。ふちゃー(ほら吹き)、うふむにー(ほら  
吹きくこと)、うふむにーさー(ほら吹き)、う  
らぬ ちむにー(皮肉、あてこすり)、くじーむ  
にー(人を怒らせるもの言い)。ありが むぬ  
いーよーや ちゅーばー ふーなーっし(あい  
つのものの言い方は強がって)。むぬ いーよ  
ーぬ かっちょーん。(ものの言い方がすごい)。  
【参】「むにー」は「むぬ いい」からの派生か。

**くさぢゅん** 〈包丁の刃を直角に当てて皮を  
削り取る〉【活】くさぢゃん、くさがん、くさぢ  
【例】ぐんぼーや かー んちゅしえー あら  
ん、くさぢゅし やん。(ゴボウは皮をむくので  
はなくて、そぐものだ)。ちでーくに／ぐんぼ  
ー くさぎ。(にんじん／ごぼうの皮をそぎな  
さい)。いゆぬ いりち くさぢゅん。(魚のう  
ろこを剥ぐ)。【参】かー んーちゃー(ピーラ  
ー)、くにぶぬ かー んーちゅん(みかんの  
皮をむく)、しぶい／でーくにぬ かー んー  
ちゅん(冬瓜／大根の皮をむく)、しーん／し  
ゅん(擦る)、しやー(擦り器)。

**くさぶっくいーん** 〈ませる〉【活】くさぶ  
っくいん、くさぶっくいらん、くさぶっくい  
い【例】ありが するくとー くさぶっくい  
ーとーん。(あの人ができることは常識を超えて  
いる)。くさぶっくわー(ませた者)。

**くさみちゅん** 〈腹を立てる〉【活】くさみちゃん、くさみかん、くさみち 【例】あれーいふいぐわーぬ くとうしん くさみちゅん どー。(あの人は少しのことでも腹を立てるよ)。うっぴぐわーぬ くとうしえー くさみちゅな けー。(これっぽちのことで腹を立てるな)。あらん くとう いらってい くさみちゅーん。(そうでもないことを言われて腹を立てている)。【参】わじーん。

**くさみち あびー** 〈つっけんどんな声〉【例】くさみちあびー そーたしが、ぬーん あいどう すたが やー？(つっけんどんな声を出していたが、何かあったのかね)。

**くさりーん** 〈(生ものが) 腐れる〉【活】くさりたん、くさりらん、くさりてい 【例】なまむのー くさりやっさくとう、ふえーべーとう かむし やん。(生ものは腐れやすいので、早めに食べることだ)。やしえーぬ／いゆぬ／ししぬ くさりとーん。(野菜が／魚が／肉が腐れている)。くさりかじゃ (腐れた臭い)。

**くさらー** 〈腐れたもの〉 【例】いちゅび こーたる ばすに なーかんかい くさらーぬ いっちょーしぬ ゆー あん。(イチゴを買ったときに中に腐ったものがはいっていることがよくある)。ふいらーらん っちゅんかい 「んじゃりむん」、「ちむ くさらー」んでい いちゅーん。(つき合いができない人に「へそまがり」、「心が腐っているやつ」と言っている)。

**くし** 〈腰〉 【例】っやーん いふえー くし ゆくわーちゅーけー。(お前もすこし横になっておけ)。くし ゆくわーすん。(腰を休める)。はる さがな一、なかゆくいに ちゃーぐわーぬだい くわーしぐわー かだい するくとうんかい 「くしゅっくいー」んでい いーん。(畑仕事をしながら、休憩にお茶を飲んだり、お菓子を食べたりすることに「腰休み」と言う)。うとうすえーや わかさる とうちに うみちとう なんぢ さーに くしぬ まがとーん どー。(お年寄りとは若いときに大変な苦勞をして腰がまがっているんだよ)。

**くし** 〈欠点〉 【例】くしぬ ねーらん っちょー をうらんでい うむとーたしが、あれー じゅんに ぬーぬ くしん ねーん。(欠点がない人はいないと思っていたが、あの人は本当に何の欠点もない)。ていーぬ ながさる やなぐし むっちょーん。(人のものに手を出す悪癖をもっている)。

**くじ** 〈籤、クジ〉 【例】っちゅんかえー くじやふあらーとう くじぐふあーぬ じゅんに をうん。(人にはくじ運の強い人と弱い人が本当にいる)。

**くしーん** 〈着せる〉【活】くしたん、くしらん、くしてい 【例】ういなぐ しーじゃぬ うっとうぬ ちん くしたん。(姉が妹の着物を着せた)。

**くじーん** 〈ほじくる〉【活】くじたん、くじらん、くじてい 【例】っちゅぬ めーをうていはー くじたい、 はな くじたい、 みみ くじたい すしえー あらん。(人前で歯をほじくったり、鼻をほじくったり、耳をほじくったりするものではない)。わた くじたい、ちむ くじたい する っちゅくじやーや んなから ちらーってい すん すん。(人の腹や心をほじくる人はみんなから嫌われて損をする)。

**くしがき** 〈頼りにすること、鼻にかけること〉 【例】っやーどう くしがき そーくとう、かんげーてい とうらし どー。(あなたを頼みにしているので、よろしく願いしますね)。な一 わらべー あらん むんぬ いちまでいん うや くしがきしえー ならん どー。(もう子どもではないんだから親を頼りにしてはいけないよ)。

**くじすん** 〈ごちそうに箸をつける、崩す〉【活】くじちゃん、くじさん、くじち 【例】うじゅーぬ うはちえー やーぬ ぬーしから やくとう、わらびんちゃーや くじすな よー。(重箱

のお初は家のご主人からだから、子どもたちは箸をつけないよ)。

**くしち** 〈戸籍〉 【例】つくわ なしーねー、にしゅーかんまでいねー くしち いりらんとー ならん。(出産したら、2週間以内に戸籍にいけないといけない)。

**ぐしち** 〈すすき〉 【例】じゅーぐやーねー ばらんぬ ちちよーる ぐしち かざてい ちちながみ すん。(十五夜にはすすきの穂が付いているススキを飾って月見をする)。ぐしちさーに ちゆくたる あじまー むしペー むんぬきむん／ふーふだがーい などーん。(ススキでつくった十字結びは魔除けになっている)。

**くし でー** 〈腰力〉 【例】とうし とういねー くしでーぬ よーてい どうーてーぬ かなーん ないん。(歳をとると腰が弱くなって体が思うようにならない)。

**くし ながに** 〈背中〉 【例】くしながに ちゅーらするたみねー、めーんかい まぎたい、くしんかい ぬばちやい、いるんな うんどーすしゅー まし。(背中を強くするためには、前に曲げたり、後ろに伸ばしたり、いろんな運動すると良い)。ていーさーじっし くしながに しやーに ふいんぐ うとうちゃん。(タオル＝垢擦りで背中をこすって垢を落とした)。

**くじりーん** 〈崩れる〉【活】くじりたん、くじりらん、くじりてい 【例】あれー くーさいに たかにち っんぢやさーに みみぬ くじりてい ちからん などーん。(あの人は幼い頃に高熱を出して耳がこわれて聞こえなくなっている)。うすまさる うふかじっし いしがちぬ くじりとーん。(ものすごい台風で石垣が崩れている)。

**くしれーいん** 〈解体する、屠殺する〉【活】くしれーたん、くしれーらん、くしれーてい 【例】んかしゅー どうーぬ やしちをうてい っわーから、ふいーじゃーから、とういまでい

ちかなてい そーぐわちねー どうーくる くしれーてい しんめーなーびんかい にちやーにんじゅ するてい くわっちー さん。(昔は自分の屋敷内で豚、ヤギ、鶏などを飼って正月には自分で解体して大きな鉄鍋で煮て家族揃ってごちそうを食べた)。

**くす** 〈糞〉 【例】「くす くえー」や やなむんぬき する まじねー くとうば やてい、はな ふいちゃる とうちに ちかいん。(「くすくえー」は悪霊拔きのまじない言葉で、くしやみをしたときに使う)。

**くじゅ** 〈去年〉 【例】くじゅぬ うふしがり なみから いーな ちゅとう などーしが、ちぬー ちゅーぬ ぐとうどう ある。(去年の大津波からはや1年になっているが、昨日今日のことのようだ)。

**ぐすぐす** 〈半煮えの状態〉 【例】くぬ っんむ／ぐんぼー／とーぬちん／でーくにぬ すばふいらー にーてー をうしが、しんぬ くふあさぬ、ぐすぐす そーん やー。(この芋／ゴボー／とうもろこし／大根の周囲は煮えているが、芯が固くて、半煮えだね)。ふいみちやーなてい ぐすぐす そーん。(喘息持ちになってぜいぜいしている)。

**くすい** 〈薬〉 【例】をうたとーらー にんぢゅしん くすい ないさ。(疲れているなら寝るのも薬になる)。ちぶるぬ やみーねー、くすい ぬみわどう まし ないる。(頭が痛いなら、薬飲むと良くなる)。

**くすい でー** 〈薬代〉 【例】くすいやーんかい くすい こーいが っんぢやしが、くすいでーぬ たらーんたん。うぬばすねー、くすいやーや びん あきてい うっさぬ ぶんわきてい うてい とうらすたん。あんすくとう、んかしゅー っちゅ たしきだしき やたんでい。(薬局に薬を買いに行ったが、薬代が足りなかった。その際には薬局は瓶を開けてそ

の分を分けて売ってくれたものだ。それで、昔の人は助け合っていたって)。

**ぐすーよー** 〈皆様〉 【例】ぐすーよー がんじゅー やみしえーみ？(皆様、ご機嫌いかがですか)。ぐすーよー かなてい あっちみしえーみ？(皆様、ご機嫌いかがですか)。

**くす ぐえー** 〈下肥え〉 【例】なまー すいせんトイレ なてい、くすぐえーくまーん みーらん。(現在は水洗トイレになって、下肥え汲む人も見えない)。

**くす ちり ばい** 〈一目散に走る〉 【例】そー ぬぎてい いっさんばーえー そーしんかい くすちりばい そーんでい いーん。(我を忘れて懸命に走っているのに「くすちりばい」していると言う)。**【参】**ぬちちりばい(死に物狂いで走る)、ぬちちりばたらち(死に物狂いで働く)。

**くす ふいりー** 〈下痢〉 【例】なまどう やるんでい くわっちー そーぬぎがみ さくとう、わたぶっくいーっし なーちゃー くすふいりー そーたんでい。(今だとごちそうをがつつ食ったので、お腹が張って翌日は下痢したんだって)。**【参】**くだすん。

**ぐそー** 〈あの世〉 【例】うやふあーふじぬ めんしえーる ぐそーんでい いーしえー かーまー あらん、あみだいぬしちゃんてい いーらっとーくとう、ちむしからーさー すな よー。(祖先のいらっしゃるあの世というのは遠いところではなくて、軒下といわれているので、寂しい思いはしないでよ)。ぐそーぬ ちかく なんとん。(あの世が近くなっている)。

**くだーき** 〈この高さ〉 【例】「いったー なーしべー うだーき なー？」「わったー むのー くだーき あん どー」(「あなたのうちの茄子はそのくらいの丈ね」「私のうちのはこれぐらいだよ」)。

**くたすん** 〈朽ちさせる〉【活】くたちゃん、くたさん、くたち 【例】ういなぐぬ わたー くるちなん くたすん。(女性の腹は黒綱も朽ちさせる、女性の辛抱強いことを表わしている)。**【参】**くるちな(シュロで編んだ黒い綱)。

**くだすん** 〈下痢する〉 【例】わったー やーぬめーぬ かーや んーじゅとう ちかさたくとう、みじぬ わっさぬ、ゆー わた やんてい くだちよーたん。(私の家の前の井戸は溝と近かったので、水質が悪くて、よくお腹をこわして下痢をしていた)。

**くたちち** 〈先月〉 【例】わったー みーやーや くたちちに ちゆくいはじみてい、たちち とうじまてい、たちちぬ なーちちねーやーうーちー すん。(私の家の新築は先月造り始めて、来月完成して、再来月には引っ越しする)。

**くだみーん** 〈踏みにじる〉【活】くだみたん、くだみらん、くだみてい 【例】まぐる くだみらってい くちさん。(真心を踏みにじられて苦しい)。

**くたんでいーん** 〈疲れる〉【活】くたんでいたん、くたんでいらん、くたんでいてい 【例】いっぺー いちゆなさ っんぢゅちよーいびーたしが、うんじょー うくたんでー ねーみそーらに？(とても忙しく動きまわっていましたが、お疲れございませんか)。っやーや むぬん うまーらん あたい どうく しーぢゅーさくとうどう、うっさ くたんでいぬ ちよーさ。(あなたは我を忘れる程にやり過ぎたので、そんなに疲れが来ているんだよ)。

**くたんでい のーし** 〈疲れ直し〉 【例】にんたいほーたい しーわどう くたんでいのーしえー ないる。(寝たり寝そべったりしてこそ疲れはとれる)。

**くち** 〈語、ことば、口〉 【例】やまとうぐち(日本語)、とーぬ くち(中国語)、フランスぐち(フランス語)、ドイツぐち(ドイツ語)、ロ

シアぐち（ロシア語）、こーれーぐち（韓国語）。  
 みーぐち（商いのし始め）、くち のーし（口直し）。くちげーし（相手の言葉をそのまま返すこと）。くち けーしえー。（相手の言葉をそのまま返しなさい）。くち うーいん。（口に出すと本当にそうになってしまう）。くちぬ わっさん。（口が悪い）。くち がっさん／っんぶさん／にーさん／かないん。（口が軽い／重い／食欲がない／達者である・口答える）。くち さびっさん。（何か口にした）。ぬー ちちん ぬーん いらん。くち くーとーさ。（何を聞いても何も言わない、口を閉ざしている）。あれー まーさむん じょーぐー なてい、したたか くち くえーとーん。（あの人は美食家で、とても味覚が肥えている）。ぬーん かんげーらんぐとう あびーほーいねー、くち やますん どー。（何も考えないで言いたい放題すると、口で災いを招くよ）。くとうばー じんぢけー やくとう、ぶかりーな くとうびけー いーねー くちんかい くわーりーん どー。（言葉はお金と同様に大切に使わないといけないので、良くない事ばかり言うとその言葉に喰われてしまうよ）。くちぬ あまれー、ていーぬ っんぢーん。（言い過ぎると、口論から殴り合いになる）。

**くち かじ** 〈口数〉 【例】ういなごー ある うっさ はなしわどう ちもー ふぢゆくとう くちかじぬ うふさ ないしが、ういきがー くとうばー ていーち たーちっし しますくとう、ちもー っんぶこーねーらんがやー？（女性は全部話しすれば満足するので、口数は多くなるが、男性は言葉は1つ2つで済みますので、ストレスにならないのかねえ）。くち かじぬ うふさしが、っやーや かくじえー やまに？ かくじ はんでいーん どー。（女性は口数が多いが、あなたの顎は痛くないのか。顎がはずれるよ）。

**くち からじ** 〈口も頭も疲れること〉 【例】わらび ふどうっわーする たみねー、むぬならーし すんち くちからじぬ やむさ。（子を育てるためには、ものを教えるといって口も

頭も疲れてつらい）。

**くち がんすい** 〈口達者〉 【例】くちがんすえー ういきがんかえー をうらん、うれー ういなぐぬ かんとーる ななばちぬ ていーち やん。ななばちんでい いーしえー、みーとうんだ わかりっし なちゅしん ういなぐ、わたやみ しみらさってい っくわ なすしん ういなぐ、っくわ なちやる あとうふどうっわーすしん ういなぐ、やーぬ わじやん むる ういなぐ、ぬーがな あいねーうれー むる ういなぐぬどう わっさんでい なんとーくとう、ういなごー ななばち かんとーん。（口達者は男性にはいない。それは女性の負っている七罰の一つだ。七罰というのは、離婚して泣くのも女性、お腹を痛めさせられて子を産むのも女性、子を産んだ後育てるのも女性、家事もすべて女性、何かあるとそれはすべて悪いのは女性となっているので、女性は七罰を負っている）。

**くち ぐし** 〈口癖〉 【例】わんねー いちん うちなーぐちっし はなし すんち うむいしが、くちぐし なてい あとー やまとうぐち なんとーん。（私はいつも沖縄語で話しをすると思っているが、口癖になって後は日本語になっている）。くちぐし、ていーぐし、さきぐしんでいぬ くとうばー うくねーぬ わっさるくとうんかい ちかいん。くちぬ わっさたい、っちゅぬ むん とうたい、さき ぬでい ありたい する くとう やん。（口癖、手癖、酒癖などのことばは行いが悪いことに遣う。口が悪かったり、人の物を取ったり、酒を飲んで荒れたりすることだ）。【参】くちぬ をうー（口癖、口の緒の意）。

**くち ぐとう** 〈言い争い〉 【例】っちゅぬ うふさ あちまいる とうくるをうてー くちぐとうん っんぢーん。（人が多く集まる場所では言い争いも生じる）。

**くち ぐふあー** 〈毒舌家〉 【例】あれー くちぐふあー なてい、はちゆる くとうばー むる っちゅぬ ちむ やましぐとうびけーっし くとうば じんぢけーんでいーる く

とうん わからんさ やー。(あの人は毒舌家で、吐く言葉はすべて人の心を痛めることばかりで、ことばは金使い同様大切にということもわからないんだね)。

くち ざんしん 〈口で三線をまねること〉

【例】あぬ っちょー さんしんじち なてい  
まーをうていん くちざんしんっし うたぬ  
ちーく そーん。(あの人は三線好きでどこでも口三線にのせて歌の稽古をしている)。

くち しば 〈悪いうわさ〉【活】くちなん

くちぐとう 〈悪いうわさ〉 【例】っやーや し  
きんぬ くちしばんかい かかとーん どー。  
くちなん くちぐとうやか うとうるさる む  
のー ねーん どー。(あなたは世間の悪い噂  
が立っているよ。噂ほど怖いものはないよ)。く  
ちなん くちぐとうぬ かかいねー、ちむ あ  
んまさ しみらさったい、 どうー あんまさ  
しみらさったい、ないるくとうぬ ならん  
なたいする さーいぬ あんでいらくとう や  
ん。(悪い噂が立つと、意気消沈させられたり、  
体調不良にされたり、できることもできなくな  
ったりする障りがあるということだよ)。

くち しる 〈口の中の唾液〉 【例】みーぬ

めーぬ じーじーっし うとう たていてい  
やちえーる うしぬ しし んーち くちし  
るぬ じーじー そーん。(目の前のジージー  
と音を立てて焼いてある牛肉をみて、口の中の  
唾が出ている)。

くち ぢゅくい 〈口に物を入れること〉

【例】ふかんかい っんちーる ばすねー、ぬー  
がな くちぢゅくいっしから っんちらんねー  
こーいんぐえーぬ うふく ないん。(外出  
するときには、何かを口に入れてから出ないと  
買い食いが多くなる)。

くち どうみ 〈口止め〉 【例】っちゅにん

ぢのー ぬーんくいーん むる んにんかい  
うさみうーさんくとう、くちどうみ さりーる  
はなしえー しぐ なま っんまをうてい  
していり よー。あんしえー ちむっんぶさ  
さんていん しむん。(人間は何でもかんでも  
胸に収められないので、口止めされる話はすぐ

今ここで捨てなさい。そうすれば、気にしなく  
ても済む)。

くちぬ めー 〈一人食べていくだけの稼ぎ〉

【例】「あちねーや ちゃー やが? もーき  
らりーみ?」「ならん さー。どうーぬ くちぬ  
めーぬ うっぴんちょーん もーきかていー  
そーん」「(商売はどうですか。もうけていま  
すか)」「だめだね。自分ひとり食べていくだけ稼  
ぐのにもやっただよ)」。

くちぬ っわーび 〈口先〉 【例】ありが

いーるくとー くちぬ っわーびどう やん  
どー。ちむねー とうみんな よー。(あの人が  
いうことは口先だよ。気にはとめるなよ)。

くち のーし 〈口直し〉 【例】んぢゃむん

ぬだる あとー くるぎーたー くくでい  
くちのーし すん。(苦いものを飲んだ後は黒  
砂糖を含んで口直しをする)。

くち ふいんとー 〈口答え〉 【例】っちゅ

ぬ あん いーねー あん いー かん いー  
っし、 あれー くち ふいんとーぬ うふさ  
ん。(人がああ言うとかあれこれ言って、あの人は  
口答えが多い)。

くち ぶーち 〈ほら吹き〉【活】くち ぶー

ちゃー 〈ほら吹きの人〉 【例】とうじぬ くち  
ぶーちゃー なやーに をうとうぬ ぶぬん  
むる うりが うちくわとーん。(妻の方がほ  
ら吹きなので夫の名分もすべて彼女が喰い尽く  
している)。あれー ちゃー うふむにー す  
しが、がっていん する むのーあらん。した  
たかぬ くちぶーち やん。(あの人はいつも  
おおげさなこと言うが、信じ込んではいけません  
よ。大変なほら吹きだよ)。

くち 〈遺骨〉

くち うーちー 〈遺骨の移転〉 【例】くち

うーちーや うふあかぬ うーちーとう めぬ  
むん やん。(遺骨の移転はお墓の移転と同じ  
物だ)。

くち うんちけー／みくち うんちけ

ー 〈遺骨のお招き〉 【例】みーばか ちゅく  
たる とうちねー、ふるばかから／ていらから

みーばかんかい みくちうんちけー すん。  
(新しい墓を造ったときは、古い墓から／お寺から新しい墓にお骨のお招きをする)。

**くち (かじ)** 〈東風〉 【例】 なちえー  
ふえーかじ、ふよー にしかじ、はろー くち  
かじぬ ふちゆしが、あちえー いりからどう  
ふちゆがやー? (夏は南風、冬は北風、春は東  
風が吹くが、秋は西から吹くのかねえ)。

**くちゅぐいん** 〈くすぐる〉 【例】 ぐなわ  
らべー くちゅぐいねー／くちゅくちゅしーね  
ー けてけてっし わらいん。(小さい子はく  
すぐるとケラケラと笑う)。

**くちゅび** 〈イボ〉 【例】 くちゅべー やーち  
ゅーさーに やちとういねー っんぢらん な  
いん。(イボはお灸で焼き取れば出なくなる)。

**くっくるーうー** 〈雄鶏の鳴き声〉 【例】  
うちなーをうてー とういぬ をうーむなーや  
クックルーウーんち たかなち すん。(沖  
縄では雄鶏はクックルーウーと高い声で鳴く)。

**くっぴ／くっさ** 〈これっぽち〉 【活】 =く  
っぺー／くっぺーるー 【例】 くっぴぐわー  
ぬ／くっさぬ くとうっし ちむ やまちよー  
てーる ばー やさ やー。(これっぽちのこ  
とで心を痛めていたわけだね)。

**くてーいん** 〈堪える〉 【活】 くてーたん、く  
てーらん、くてーてい 【例】 くぬめーぬ をう  
ーじとーしぬ とうち あみんかい んでいて  
い、さくとう なーちやー にち っんぢやち  
ゆかいねー くてーたっさー (この前のキビ  
倒しのとき雨に濡れて、それで翌日は発熱して  
よほどこたえたよ)。ふいさぬ よーさる っ  
ちゅんかえー うぬ ふいら ぬぶいしえー  
でーじな くてーいん。(足の弱い人にはその  
坂を上るのはとてもこたえる)。まふっくわね  
ー むぬん うまーらん あたい やてい、ふ  
しがらん くてーいん。(猛暑には気が動転す  
るほどなので、どうにもならないほど堪える)。

**くとう** 〈こと、物事〉 【例】 ちかぐろー ぬ  
ーぬ くとうが やら、むる いふーなくとう  
ぬ うくりとーん やー。(近頃はこういうこ  
となのか、いつもおかしいことが起こっている  
ね)。あんし っういーりきさぎさ そーしが、  
ぬーぬ めーくとうぬ あたが? (あんなに  
楽しそうにしているが、何のいいことがあった  
の)。

**くとう kachun** 〈足りずに不自由する〉

【例】 なまちきてい ゆすぐにんかい かむしん  
ねーらん、やーさじに そーる っちゅぬち  
やーぬ をうん。(現在でさえも外国に食べる  
のもない、飢え死にしている人々もいる)。

**くとう さび** 〈災い〉 【例】 やくどうし  
ぬ あとうさちぬ みとうぬ っうえーだー  
ぬーぬ くとうさびん ねーらんぐとう かみ  
にげー すん。(厄年の前後の3年の間は何の  
災いもないように祈願する)。とうびとういぬ  
やーぬ うちんかい ふえーりんち ちーね  
ー、くとうさびぬ いっちょーる しらし や  
んでい。(鳥が家の中に入り込んでくると、災い  
が入って来た知らせだという)。

**くとうー** 〈琴〉 【例】 くとうー ならいぶさ  
しが、いちゆる まどうぬ ねーらん。(琴を習  
いたいが、行く時間がない)。

**くとうし** 〈今年〉 【例】 くとうしえー ダ  
ムぬ みじん みっちやかー そーんでい い  
らっとうーくとう、なまー みじぶすくぬ しわ  
ー ねーらん。(今年はダムの水も満杯してい  
ると言われているので、今は水不足の心配はな  
い)。

**くとうば** 〈ことば、地域語〉 【例】 なーふ  
あくとうば (那覇ことば)、やんばるくとうば  
(国頭のことば)。しまくとうば (伝統的な地域  
語／沖縄、宮古、八重山、与那国などの継承言  
語／琉球諸語)。くとうばー じん ぢけー (=  
くとうばん じんぬ ぐとう、あたらさっし  
ちかり よー)。(言葉はお金のように大切に遣  
いなさいよ)。ちゃぬ よーな っちゅんかい



やていん、くとうばー ゆー かんげーてい  
ちかり よー。(どのような人にでも、ことば  
はよく考えてつかいなさいよ)。

くとうば かじ 〈ことば数〉 【例】あかん  
ぐわー たんかーめーねー くとうばかじぬ  
うほーく ないん。(赤ん坊は一歳前には言葉  
の数も多くなる)。

くとうばぬ うー 〈ことばの綾〉 【例】あ  
れー あん やさんでい いちえーをうしが、  
くとうばぬ うーどう やてーさに？(あの人  
はそうだよと言っはいたが、ことばの綾だっ  
たんだね)。

くとうぶち 〈寿〉 【例】うゆえーをうてい  
くとうぶちんでい かかっとーる うちゆく  
いー めーたしが、かりーな むん やくとう、  
あたらさ しー よー やー。(お祝いで寿と  
書かれている風呂敷をもらったが、縁起のいい  
ものなので、大切にしなさいよ)。

くとうゆしーん 〈口実をもうける〉 【活】  
くとうゆしたん、くとうゆしらん、くとうゆし  
てい 【例】ちゃー いちゆなさに くとうゆ  
してい くとうわたん。(いつも忙しいと口実  
をもうけて断った)。

くとうわいん 〈断る〉 【活】くとうわたん、  
くとうわらん、くとうわてい 【例】なー とう  
し なたい あまくま かなーん なたい／よー  
てい ありんくりん むる くとうわとーん。  
(もう歳をとってあちこち不自由になって／弱  
ってあれもこれもみんな断っている)。

くとうわき 〈訳を言って断ること〉  
くとうわき すん 〈陳謝する〉 【活】～さ  
ん、～さん、～っし 【例】むしるぬ あやぬ ぐ  
とう しかっとう くとうわき さんねー ば  
っぺーらりーん どー。(むしろの綾のように  
ちゃんと陳謝しないと勘違いされるよ)。

ぐとーん 〈ようだ〉 【例】はなぬ ぐとう  
かばさん。(花のように香りが良い)。んかし  
えー ぴーぴーどう そーたしが、なまー っ

うえーきさる ぐとーん。(昔は貧しかったけ  
ど、今は裕福になったようだ)。ちゅくいむじゅ  
くい しえーしえー くんぴてー ならんぐと  
う、っういーてーる とうくろー とうーらん  
ぐとう、すばなーりーどう あっち いき よ  
ー。(農作しているのは踏みつけてはいけない  
ので、物を植えてあるところは通らないで、そ  
の周りから歩いて行ってね)。

くなーすん 〈踏みつける〉 【活】くなーちゃ  
ん、くなーさん、くなーち 【例】っちゅ／ふと  
ん くなーすな けー。(人／ふとん踏みつけ  
るな)。ちのー／しゅむち くなーち あっか  
んけー。(着物／本を踏みつけて歩くな)。

くなすん 〈消化する、耕す〉 【活】くなちゃん、  
くなさん、くなち 【例】むぬ かだる あと  
ー、しごー っんぢゅかんぐとう いー ゆく  
らち ゆー くなちから っんぢくーわ。(食  
事した後は、すぐには動かないで胃を休めてよ  
く消化してから行っておいで)。さに まちゅ  
る めーねー んちゃ ゆー くなちからどう  
すし やん。(種を撒く前には土をよく耕し  
てからするものだ)。

くなびーん 〈比べる〉 【活】くなびたん、く  
なびらん、くなびてい 【例】むのー くなびて  
い んーでいわどう わかいる。(ものは比べ  
てみてこそ分かる)。っちょー くなびーる  
むのー あらん。(人は比べるものではない)。

く に 〈村、町、国〉 【例】ゑーまー うちな  
ーぬ なーかをうてー じーぬーぬ はねーち  
よーる とうくる やん。(八重山は沖縄の中  
は芸能の盛んなところだ)。んかしえー さく  
らじゃかー はなまちとうっし うた、さんし  
ん、しばいんでー みーむんぬ あてい いっ  
ぺー はねーち っういーりきどうくる やた  
んでい。(昔は桜坂は繁華街として歌三線、芝居  
などのショーがあつて、とても華やかで歓楽街  
だったって)。うちなーぐち しまじゅーに  
ふいるみてい、うちなーぬ ていーかた く に

じゅーんかい ふいるみてい、うちなーぬ ちむぐくる しけーじゅーに ふいるみてい いかな。(沖縄語島全体に広めて、沖縄の文化国全体に広げて、沖縄の心世界中に広めて行こう)。  
【参】やー ふみかすん(家をにぎやかにする)。

**く に ち ょ ー で ー** 〈血縁関係のない似ている人〉 【例】どうーとう にちよーるーぬ く にちよーでーや みっちゃいや をうんでい。(自分と似ている人は3人はいるんだって)。

**く に ぶ** 〈ミカン〉 【例】うちなーぬ くにぶんかえー たんかん、かーぶちー、おーとー、くがに、しーくわーさーんでーぬ あん。(沖縄のミカンにはタンカン、カーブチー、オートー、クガニ、シークワサーなどがある)。

**く に んだ** 〈久米村〉 【例】くにんだんかえー とーぬ っちゅぬちゃーが をうてい、かくむん ふいるみたい、とーとうぬ あちねー とういむちゃいっし、るーちゅーぬ くさてい などーん。(久米村には中国人が居て、学問を広めたり、中国との交易の仲立ちをしたりして、琉球の主軸になっていた)。

**く ぬ む ん** 〈考案する〉【活】くぬだん、くぬまん、くぬでい 【例】くぬ びんがたちのーいるあやぬ ゆー くぬでい ちゅくらっとうん。(この紅型の着物は色模様がよく考案して作られている)。

**く ぬ ゆ ち や** 〈この歳〉 【例】わんがくぬゆちゃ なていん、あんちゅが ぐとうなとーがやー？(私がこの歳になっても、あの人のようにできているのかな)。

**く ぬ ぐ る ん し** 〈この頃〉 【例】やーぬ なーぬ いしぬ っういーんかい あたびちぬ をうたしが、くぬぐるんしえー んーちえーんーだんしが、をうがやー？(家の庭の石の上にカエルがいたが、この頃は見ていないが、いるかねえ)。

**く ね ー い ん** 〈こらえる、許す〉【活】くねーたん、くねーらん、くねーてい 【例】いーっくわ、いーぶすくぬ あたらー／あれー、くねーていとうらし よー。(言い過ぎ、言い不足があったなら、許してくださいよ)。

**く ね ー だ ん し** 〈近頃、最近〉 【例】くねーだんしえー でんわぬ むる くーん なとーしが、ぬーが やー？(近頃は電話がちっとも来なくなっているが、どうしたのかなあ)。

**く ば** 〈クバ〉 【例】くばぬ ふあーさーに くばがさ ちゅくたい、くばおーぢ ちゅくたい、みじ すくいる にーぶ ちゅくたい、くばさば ちゅくたい、かさがーい さい、うちゅくいー さい すたん。(クバの葉でクバ笠を作ったり、クバの扇を作ったり、水をすくうひしやくを作ったり、クバの草履を作ったり、傘代わりにしたり、ふろしき代わりにしたりしたもの)。  
くばぬ ふあー ゆー(クバの葉を着物にした時代)。

**く ば め ー す ん** 〈節約する〉【活】くばめーちゃん、くばめーさん、くばめーち 【例】まんどーくとうんでい いやーに すそーんがみやすな よー。あいにどう くばめーすん どー。(たくさんあるからといってあるだけ食いはするなよ。あるときにこそ節約はするものだ)。

**く び** 〈首、襟〉 【例】ちんぬ くび のーしえー。(着物の襟を直しなさい)。っんにぬ ぐとうっし みーぬ ちかわ くび をうーりり。(稲のように実が付けば頭を垂れなさい)。

**く び が ー** 〈うなじ〉 【例】あぬ っちよー くびがーぬ ながさくとう、ちのー ゆー うちやとーてい うみないびぬ にんぢよー(っちゅがたー；ふとうきー)ぬ ぐとーん。(あの人はうなじが長いので、着物がよく似合っていて王妃の人形のようなだ)。ういなごー ちん ちち すがいる ばすん あくとう、くびがーや ていーだんかい やきらんぐとう そーん。やきーねー ちんとー うちやらんくと

う あん すん。(女性は着物を着て装うときもあるので、うなじは日に焼けないようにしている。焼けると着物とは似合わないのそうする)。

**くび** 〈壁〉 【例】あまくまぬ やーぬ くび  
 とうか、でんしんばーやんかい はらっとーる  
 ‘ちらぬ かーたー そーる かび’や はげ  
 ー しむる むんぬ。なー ふだいらん うわ  
 ていどう をうくとう、みーぶしくん ねーん  
 さー やー。(あちらこちらの建物の壁とか、電  
 柱に張られているポスターは剥ぎとればいいの  
 に。もう投票も終わっているの、見たくもな  
 いのにねえ)。あかいんかえー みーぬ あて  
 い くびんかえー みみぬ あくとう、いち  
 やていん まーんぢ やていん まくとう そ  
 ーけー ちゃーん ねーらん。(障子に目があ  
 って、壁に耳があるので、いつでもどこでも誠  
 実にしていればどうもない)。

**くふあいん** 〈固くなる、仲が悪くなる〉【活】  
 くふあたん、くふあらん、くふあてい 【例】う  
 り！ みーくふあやー かでい みーくふあれ  
 ー。(ほれ！ お目ざを食べて目を覚ましなさい)。  
 ゼリーや くふあらちからどう まーさ  
 る。(ゼリーは固くなってからがおいしい)。く  
 ちむんどー さる あとうから たいぬ なか  
 ー くふあとーっさー。(口論の後から二人の  
 仲は悪くなっている)。あったー みーとうん  
 だー なま くふあとーん どー。(あちらの  
 夫婦は今仲が悪くなっているよ)。

**くふあ** ーでーさー 〈クファーデーサー〉

【例】クファーデーサーや うふあかんかい ゆ  
 ー っういーらっとーる きー やしが、ふあ  
 ーん まぎさい ゆくんかい ふいるがいくと  
 う、かーぎ ちゆくてい しーみーぬ ばすね  
 ー るー ふーぢ やん。(クファーデーサー  
 はお墓によく植えられている木だが、葉も大き  
 く横に広がるので、陰をつくって清明祭の時に  
 は風情がある)。

**くふあ** ばっちらー 〈固まるさま〉 【例】  
 はがまっし にちえーる めーや ふいじゅい

ねー くふあばっちらー ないくとう、びら、  
 っわーじし、かまぶく、くーが いってい、た  
 しやーめーっし かみーねー まーさたん。(羽  
 釜で炊いた米は冷めると固くなるので、ネギ、  
 豚肉、かまぼこ、卵を入れて、チャーハンにし  
 て食べるとおいしかった)。

**くふあ** ばにー すん 〈きっぱり拒絶す  
 る〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】しっ  
 ぱーんかえー ちゅーく くふあばにー しえ  
 ー。なーだ いーよーぬ よーさん どー。(強  
 引な人にはきっぱり断りなさい。まだ物の言い  
 方が弱いよ)。

**くふいな** 〈この大きさの、こんなに大きな〉

【例】いったーや うや っくわ みっちゃ  
 いどう やる むんぬ、くふいな やーんかい  
 しまとーてーさー やー。(あなた方は親子三  
 人なのに、こんなに大きな家に住んでいたんだ  
 ね)。っやーや なままでー うっぴぐわーぬ  
 ぐまいゆどう とうていちゅーたしが、ちゅ  
 ーや くふいな いゆ とうていちゃーさー や  
 ー。(あなたは今まではそれぐらいの小魚を捕  
 ってきてたが、今日はこんなに大きな魚を捕っ  
 て来たんだね)。

**くぶしみ** 〈イカの種類〉 【例】くぶしめー

さしみっし まーさくとう わんが しっち  
 ょーる っちょー むる しち やん。(コブ  
 シメは刺身にするとおいしいので私が知っている  
 人はみんな好きだ)。

**くぶん** 〈窪地〉 【例】わったーやーや くぶ

ぬんかい あくとう、ちゃー じゃかじゃか  
 そーん。(私の家は窪地にあるので、いつもじめ  
 じめしている)。っんぢやる いくさねー し  
 たたか ばくだん うとうさったくとう、あま  
 くま くぶんぬ まんどーたん。(去る戦争に  
 はものすごく爆弾を落とされたので、あちこち  
 窪地が多かった)。

**くまいん** 〈家にこもる〉【活】くまたん、くま

らん、くまてい 【例】やしみねー まーにん  
 いかん、まるふいっちー やーに くまとー

ん。(休みにはどこにも行かない、一日中家にこもっている)。

**くま～**〈細かな〉【参】くまさん(つつましい)からの派生。

**くま きー**〈細かい切れっ端〉【例】わらび そーいに くわーしぬ くまきー こーいが くわーしやーんかい ゆー いちゅたん。(子どもの頃お菓子の細かい切れっ端を買いにお菓子屋によく行ったものだ)。

**くま ぐまーぬ くと**〈詳細な事柄〉【例】ちゃぬ よーな くと すんでいーる くとー なま うんぬきやびーしが、くまぐまーぬ くとー あとうから うんぬきやびーん。(どういうことをするということは今申し上げますが、詳細は後から申し上げます)。

**ぐま～**〈小さな〉【参】ぐまさん(小さい)からの派生。

**ぐま ぢけーぐわー**〈小銭〉【例】まぎ じんとう ぐまぢけーぐわーや わかち いってーん。(大きいお金と小銭は別にして入れてある)。

**くま むてい**〈この側〉【例】くまむていや ていーだん ていてい あかがとーしが、あまむていや ていーだかたか さってい くらさん。(こちらの側は太陽も照って明るいが、あちらの側は陽が遮られていて暗い)。わったー やしちぬ くまむていんかい かーぬ あてい あがりむていどう などーる。(私のうちのこちら側に井戸があって東側になっている)。

**くみ**〈米〉【例】くみぬ ちりとーくとう こーてい くーわ。(米がないので、買っておいで)。めーまかいんかえー ちゅちぶん ぬくさんぐとう かみ よー。(ご飯茶碗には一粒も残さないように食べなさいよ)。

**くみーん**〈押し込める〉【活】くみたん、くみらん、くみてい 【例】うやぬ いーし ちかん たくとう、まっくらしんぬ おしいれんかい くみらってい いっぺー うとうるさたん。(親

の言うのを聞かなかったので、暗い押し入れに押し込められてとても恐かった)。なまぬ いちむしえー ぬーしぬ ほけんじょんかい とどうきっんぢらんとー ならん。(現在の動物は飼い主が保健所に届け出ないといけない)。

**くみ んちゅん**〈汲み入れる〉【活】～んちゃん、～んかん、～んち 【例】みじがーみんかい みじ くみんちよーちゅしぬ めーなちぬ わじゃ やたん。(水甕に水を汲んでおくのが日課だった)。

**くむい**〈池〉【例】りゅーたんぬ くむいん かえー あふいらーぬ をうてい、つつぬ ちーねー かーまから じゅー ふやーに ゆるくでい ゆていちゅーん。(龍潭の池にはアヒルがいて、人が来ると遠くから尾を振って喜んで寄ってくる)。くむいんかえー てればあ、いびしえーぐわーんでーぬ をうしが、くまんかい ちーねー、つういーりきさぬ ちむ ふぢ やーんかい けーらりーん。(池にはテレビア、ザリガニなどがいるが、そこに来ると楽しくて満足して家に帰れる)。

**くむいん**〈曇る〉【例】がらすぬ くむとーくとう、すすいさーに すすれー。(ガラスが曇っているので、ぞうきんで拭きなさい)。

**くむぢやー**〈あばたの者〉【例】にくんぬ ちら いっぺー ふいचार あとー くむぢやー ないしん をうたん。(ニキビが顔中吹き出た後はあばたが残る者もいた)。

**くむん**〈切り開く〉【活】くだん、くまん、くでい 【例】どうーぬ みち くむん／くめー／くどーん。(自分の道を切り開く／切り開け／切り開いている)。どうーぬ みちぬ なーだ くまってー をうらん。(自分の道がまだ切り開かれてはいない)。どうーぬ みち くでーさ やー。(自分の道を切り開いているね)。

**くむん**〈組む、履く、編む〉【活】くだん、くまん、くでい 【例】くんどー っやーとう

わんとう ぐー くま やー。(今度は君と僕と一緒に組もうね)。くつ あらぐみ すなけー。(靴を荒っぽく履くな)。んかしえー ぼーしくまーっし むぬ かどーたる っちゅぬちゃーが まんどーたん。(昔は帽子編みをして生計を立てていた人がたくさんいた)。ばさーちん ちち、あしぢや くでい あっちょーしが、をうどういさーどう やが やー?(芭蕉布の着物を着て、下駄を履いて歩いているが、舞踊家なのかな)。

**くみ** 〈組み〉 【例】じゅーばくぬ ちゅくみんかえー むちとう うさんみ うじゅーぬ きゅーしな(しし、かまぶく、と一ふ、ていんぶら、ぐんぼー、くーぶ、こんにやく、でーくに、たーっんむ)ぬ いっちょーん。(重箱の一揃えには餅と食べ物の九品(肉、かまぼこ、豆腐、てんぷら、ゴボウ、昆布、こんにやく、大根、田芋)が入っている)。

**くみ** をうどうい 〈組踊り〉 【例】くみをうどうえー しけーぬ たからとうっし ちわみらっとーん。(組踊は世界の宝として定められている)。

**くみ** んちゅん 〈踏み入れる〉 【活】～んちゃん、～んかん、～んち 【例】さば くでい ぐえったいんかい ふいさ くみんちゃーに さばぬ ぬがらん なてい、ていー たっくでい さば とうたん。(草履を履いて泥んこに足を踏み入れて草履が脱げなくなって、手を突っ込んで草履を取った)。

**くめーきーん** 〈儉約する、丁寧にする、くわしくする〉 【活】くめーきたん、くめーきらん、くめーきてい 【例】くめーきやー(儉約家) 参考：いびらー(けちんぼ)。くめーきり よー やー。(儉約しなさいよ)。じん くめーきてい ちかいん。(お金をつつましく使う)。っちゅびれー じょーじえー ぬーぐとうにん くめーきとーん。(人付き合いの上手な人は何事も丁寧にする)。えーさちん いっぺー くめーきてい かき よー。(挨拶もとても丁寧に書きなさいよ)。あくとうんでいち

あいぢけー しえー ならんでいる くとう やてい、うんな とうちにどう くめーきーし やん。(あるからといってあるだけ使ってはいけないということなので、そんなときにこそ儉約するものだ)。っやーが するくとーちゃー くめーきていとうらち にふえー どー。(あなたがすることはいつも丁寧にしてもらってありがたい)。やまとうから なーじむぬん こーてい ちゃん なー?あんし っやーや くめーきとーる。(本土からのおみやげも買って来たの。ほんとにあなたは礼儀正しいね)。ぬーぬ あたが? わかいるぐとう くめーきてい ちかしえー。(何があったのか、わかるようにくわしく聞かせてくれ)。【参】なーじむん(おみやげ)、ちとう(おすそ分け)。

**くらー** 〈雀〉 【例】くらーや うふやーにん じゅっし かたまでい くらちょーん。(雀は大家族で群がって暮らしている)。くらー とういんでいち ぐむかんさーに かんかんあていえー そーたん。(雀を捕るといってゴム鉄砲で缶に当てる練習をしていた)。

**くらし がた** 〈暮らし方、生計〉 【例】ふいーさぐねー ゆちさーに やーん みちん うさーってい、やーぬ なかをうとーてい ちゃーしが くらしがた そーら やー?(寒い地方は雪で家も道も覆い被さって、家の中でいったいどのように生活しているのかねえ)。

**くらじょーりーん** 〈薄暗くなる〉 【活】くらじょーりたん、くらじょーりらん、くらじょーりてい 【例】なまー まっびるまどう やしが、くぬ やまー うくんかい いちゅしんでー くらじょーりとーん やー。(今は真昼間だが、この森は奥に行くほど薄暗くなっているね)。

**くらしん** 〈真っ暗〉 【例】くらしんみー あっちゅる ばすねー ぬーぬが とうんっんぢてい ちゅーら わからんぐとう ちー ちきり よー。(真っ暗な所を歩くときにはいっ

たい何が飛び出してくるのかわからないので気を付けなさいよ)。いったー やーや おーぐらしん そーたくとう、なーだ たーん けーていちえー をうらん どー。(あなたの家は真っ暗していたので、まだ誰も帰って来てはいないよ)。

**くらすん** 〈暮らす〉【活】くらちゃん、くらさん、くらち 【例】ちとうみ うわてい あとー しーぶさるくとう っし くらすん。(定年後はしたいことをして暮す)。んかしえー ふあーふじん まじゅーん くらちよーたくとう、いるんな てーしちな くとう ならーりたん。(昔は祖父母も一緒に暮らしていたので、いろんな大切なことが学べた)。

**ぐり** 〈沈殿物、粕〉 【例】ちゃーぬ／んーす じるぬ ぐりまでー ぬまん どー。(茶の／味噌汁の沈殿物までは飲むなよ)。

**くりー まやー** 〈さかりのついた猫〉 【例】くりーまやーぬ やななち しーねー、やがまさくとう 「しーしー」 っし ういーほーいん。(発情期の猫が気持ち悪い声で鳴くと、うるさいので「しーしー」と追い払う)。

**ぐりー** 〈お辞儀〉 【例】っちゅぬ めーから とうーいる ばすねー、ぐりーっしから いけー。(人の前から通るときには、お辞儀してから行きなさい)。

**くり かー** 〈この辺り〉 【例】くりかーん かい ふいぢやさんでーいーる っちゅぬ めん しえーびーがやー？(この辺りに比嘉さんという人がいらっしやいますか)。

**〜くる** 〈自身で〉 【例】わんくる(私自身で)、どうーくる(自分自身で)、たかしーくる(隆自身で)。わらびんちゃー どうーくる しみれー。(子どもたち自身でさせなさい)。っやー どうーくる しえー。(お前独りでしろ)。あんちゅ どうーくる しみそーらしえー。(あの人ご自身でおさせになってください)。うんじ

ゅ どうーくる しみそーり よー。(あなた様御自身でなさってくださいね)。

**くるー** 〈黒、黒いもの、反対派〉 【例】くぬ くるーや いちゃぬ くり やん でー やー。(この黒色はイカ墨だよ)。がっていん そーる っちよー しるー、あねー あらん っちよー くるー やさ。(賛成している人は賛成の者、そうではない人は反対の者だよ)。

**ぐるくん** 〈たかきご〉 【例】ぐるくの一 ふいーちゅーく さーに あんだんかい あぎていどう まーさん どー。ちぶるから ふにから じゅーまでい してーいしえー ねーらん。むる かまりーん。(グルクンは火を強くして油に揚げればおいしいよ。頭から骨から尾まで捨てるところはない。全部食べられる)。

**くるすん** 〈懲らしめる、(動物を)殺す〉【活】くるちゃん、くるさん、くるち 【例】「くるすん」や えーてい しちきてい わからするくとう やてい、っちゅぬ ぬち とういんでいる くとー あらん。(「くるすん」は相手をしつけて解らせることであって、人の命を取ることはない)。

**くるち** 〈黒木〉 【例】くるちえー さんしんぬ そー ないる くふあぎー やん。(黒木は三線の棹になる堅い木だ)。

**くるばすん** 〈転ばす〉【活】くるばちゃん、くるなさん、くるばち 【例】うとうすいとう わかむの一 ゐぬふいさ あらんくとう、ふえーくなく ふえーくなく っし あわていらかしーねー くるばすん どー。(お年寄りと若者の足は同じではないので、速く速くと急かすと転倒させてしまうよ)。

**くるばしえー** 〈遊びの一種〉 【例】かたふいさっし とうんぢやい はにたい さがな一、えーてい くるばしーねー、くるばちやる っちゅぬ まかちよーん。(片足で飛んだり跳ねたりして相手を転ばすと、転ばした人が勝っている)。

**くるぶん** 〈転ぶ〉【活】くるだん、くるばん、くるでい 【例】ぬーん する めーねー どうーかんげーびけー さんぐとう、つつちゅうとう ちゅーごーん さんねー あとー くるぶん どー。(何でもする前には自分独りだけで考えないで、人と協議もしないと後になって転倒するよ)。

**くるべー** 〈黒カビ〉 【例】ぬいちぎ しえーる ちん あみんかい うたしーねー、くるべー ないん。(糊付けしている着物を雨に濡らすと、黒カビになる)。

**くるむん** 〈黒ずむ〉【活】くるだん、くるむん、くるでい 【例】っやー ていーや くるどーしが、ぬー さが？(あなたの手は黒ずんでいるが、何をしたの)。

**くるん げーい** 〈衣替え〉 【例】うちなーぐゆみぬ しんぐわちとう じゅーぐわちねー くるんげーい すたん。(旧暦の4月と10月には衣替えをしたものだ)。

**くんぐとーるー** 〈これと似たもの〉 【例】ちゃー わーが ちかいしえー くり やくとう、くんぐとーるー こーていっち くいれー。(いつも私が使っているものはこれだから、これと似たもの買って来てくれ)。

**くんぐわち ちくじゃき** 〈9月9日の菊酒〉 【例】くんぐわち ちくじゃけー くんぐわちくにちに どうーがんぢゅー にげーする ういみー やん。(「くんぐわち ちくじゃき」は9月9日に健康願いをする行事だ)。

**くん**〜〈強く、勢いよく〉

**くん しばいん** 〈強く縛る〉【活】〜しばたん、〜しばらん、〜しばてい 【例】ふるしんぶのー はんでいらんぐとう くんしばれー。(古新聞は外れないように強く縛りなさい)。

**くん しみーん** 〈強く締める〉【活】〜しみたん、〜しみらん、〜しみてい 【例】むぬうちぬはしろー いんまやーぬ いらんぐとう く

んしみとーき よー。(物置の戸は犬猫が入らないように強く締めておきなさい)。

**くん たばいん** 〈強く縛る〉【活】〜たばたん、〜たばらん、〜たばてい 【例】かーまんかい とうどうきーし やくとう はんでいらんぐとう くんたばり よー。(遠くに届けるものなので外れないように強く縛りなさいよ)。

**くん ちかいん** 〈こき使う〉【活】〜ちかたん、〜ちからん、〜ちかてい 【例】ないん、ならんでいーる くとうぬ いえーうーさん っちょー んなんかい くんちかーりーん。(できる、できないということを言えない人はみんなにこき使われる)。わんねー くわいしやをうてー やーんかい けーいるまでい くんちかーとーん。(私は会社では帰宅するまでこき使われている)。していみていから ゆさんでいまでい くんちかーってー をうしが、ぬーしぬ いーし ゆー ちちくいてい、はたらちやーうしんかえー いっぺー たしきらとーん。(朝早くから夕暮れまでこき使われてはいるが、主人の言うことをよく聞いてくれて、働き者の牛にはとても助けられている)。

**くん ちきーん** 〈踏みつける〉【活】〜ちきたん、〜ちきらん、〜ちきてい 【例】みちばたぬくさー くんちきらっていん しぐ またみーっんぢーん。(道端の草は踏みつけられてもすぐまた生え出る)。

**くん ちゃーすん** 〈かき消す〉【活】〜ちゃーちゃん、〜ちゃーさん、〜ちゃーち 【例】ちゃー めぬ くとうびけー いーけーさーっし ちゃーん ならんくとう、ちむから くんちゃーしえー。(いつも同じことだけを言ってどうしようもないから、心からかき消しなさい)。

**くん ちゃきーん** 〈(水、湯を) ひっかける〉【活】〜ちゃきたん、〜ちゃきらん、〜ちゃきてい 【例】バケツぬ みー みじ くんちゃきてい ふいー くんちゃーしえー。(バケツいっぱいの水をひっかけて火を消しなさい)。たまとー かー んちゆるばすねー、ふちゅーく くんちゃきーねー、かーや んちやしく ないん。(トマトは皮を剥くときには、沸騰した湯

をひっかけると皮は剥きやすくなる)。ふいーんかい みじ くんちゃきとーけー。(火に水をひっかけておきなさい)。なーぬ きーくさんかい みじ かきとーる ちむえーどう やたしが、ばっペーてい みち あっちょーる っちゅんかい みじ くんちゃきてい ねーらんたっさー。(庭の本草に水をかけているつもりだったが、間違えて道を歩いている人に水をひっかけてしまったよ)。

**くん ちゅーい ん** 〈強くなる、立って歩けるようになる〉【活】～ちゅーたん、～ちゅーらん、～ちゅーてい 【例】いったー っんまがーていーふいさ みーてい くんちゅーとーん やー。(あなたの家のお孫さんは立って歩けるようになってるね)。

**くん とーす ん** 〈踏み倒す〉【活】～とーちゃん、～とーさん、～とーち 【例】なさき かきてい うほーくぬ じん からचार ちむえーどう やたしが、からचार じのー ちゅらーく くとーさったん。(情けをかけて大金を貸したつもりだったが、貸したお金は見事に踏み倒された)。

**くん とうい ん** 〈横取りする〉【活】～とうたん、～とうらん、～とうてい 【例】うれーわーが かんげーてい わーが いらなやーん でい うむとーたしが、ありんかい いちやくとう、くんとーうらったん。(それは私が考えて私が言おうと思っていたが、あの人に言ったので、横取りされた)。

**くん ぬぢゅ ん** 〈追い越す〉【活】～ぬぢやん、～にがん、～ぬぢ 【例】はーえーすーぶをうてい おーちびどう やたしが、うみちとう はーえー ごんごんっし くんぬぢやーに いちばん なたんでい ゐみ んーちゃん。(駆けっこでビリだったが、死にもの狂いで走って追い越して一番になったという夢を見た)。うさぢとう かーみーぬ はなしぬ ぐとう、どうく どうーあがみ しーねー っちゅんかい くんぬがりーん どー。(ウサギと亀のように、あまりにも自惚れると人に追い越されるよ)。

**くん のーす ん** 〈持ち直す〉【活】～のーちゃん、～のーさん、～のーち 【例】したたかぬ ふいんすーから くのーち、なまねー っう えーき そーん。(ひどい貧乏から持ち直して、今では裕福になっている)。なー むちえーう ーさんでい しわ そーたしが、くのーち ゆるっとう かとーん。(もう持ちこたえることはないと心配していたが、持ち直して安堵している)。

**くん のーい ん** 〈立ち直す〉【活】～のーたん、～のーらん、～のーてい 【例】まぎやんめーから くのーたるあとー ぬー やていん ぬちかぢり やたん。(大病から立ち直った後は何でも命がけだった)。

**くん ぱい ん** 〈踏ん張る〉【活】～ぱたん、～ぱらん、～ぱてい 【例】やーうーちーぬ ていがねさーたーや っんぶむぬん くんぱてい／しーいっペーさがなー はくでいとうらすん。(引越しの手伝いする人たちは重い物も踏ん張って／精いっぱい運んでくれる)。わかさる ばすに ぬーくーい ん くんぱてい そーき わどう、あとー わらてい くらさりーっさ。(若いうちに何でも踏ん張ってしておけば、後は笑って暮らせる)。

**くん はんす ん** 〈踏み外す〉【活】～はんちゃん、～はんさん、～はんち 【例】さーるーん きーから くんはんするくとうぬ あくとう、とうびわじゃぬ っちゅぬちやーん ばっペーてい うていていん ふいっかかいるぐとう かとーる あんぜんべると するくとう かとーん。(猿も木から踏み外すことがあるので、鳥職の人たちでも誤って落ちててもひっかかるように安全ベルトをすることになっている)。

**くんじょー** 〈悪い根性〉 【例】ありんかい ぬーぬ はなし さんてーまん しぐ くんじょー っんぢやすくとう、はなん ふいららん、むぬん いららん。(あの人に何の話をしてもすぐ腹を立てるので、くしゃみもできずものも言えない)。くんじょーむん(根性の悪い者＝しむちわるー)。



**くんだ** 〈こむら〉 【例】ゆなか くんだあが  
やーっし やでい ふしがらんたっさー。(夜  
中こむら返りして痛くて大変だった)。「くんだ  
あがやーどう やが やー? がらしまがいど  
う そーが やー?」んでいち、からふいさー  
なさーに むでいとうらすたん。(「こむら返  
りなのか、指のけいれんなのか」と言って、靴  
を脱がして揉んでくれた)。

**くんち** 〈元気、体力〉 【例】うちなーぬ な  
ちえー ゴーヤー、っわーじし かまんとー  
くんちぬ ねーん ないん。(沖縄の夏はゴー  
ヤー、豚肉を食べないと元気がなくなる)。わん  
ねー ちかぐろー をうたいぢゅーさぬ、くん  
ちぶすくっし どうーぬ どうーん むちかん  
ていー そーっさー。(私は近頃は疲れ過ぎて、  
元気がなくなって自分で自分の体調も維持でき  
なくなっているよ)。まらそのー くんちすー  
ぶどう やくとう、くんちぬ ねーん っちゅ  
がー ならん。(マラソンは根気勝負なので、根  
気がない人にはできない)。

**くんぢ** 〈紺地〉 【例】くがにーぬ しるっし  
あさぢくんぢぬ ばさーぢん あらいねー、  
いるん かわらん、かたん くーりらん、ちー  
やしく ないん。(クガニーの汁で浅地紺地の  
芭蕉布の着物を洗うと、色も変わらない、型も  
くずれない、着やすくなる)。

**くんちーん** 〈横切って近道をする〉【活】く  
んちたん、くんちらん、くんちてい 【例】くん  
ちりみち さな。(近道しましょう)。くんちり  
みーちーっし いか やー。(近道をして行こ  
うか)。

**くんち うじにー** 〈栄養食〉 【例】んー  
す かたがたーくっし にちえーる ししじろ  
ー、たでーまぬ くんちうじにー ないさ。(味  
噌を濃くして煮た肉汁は、即効性のある栄養食  
になる)。

**くんちゃー** 〈乞食〉 【例】くんちゃーぬ  
けーまーいまいー そーん。(乞食がまわり歩

いている)。

**くんぢゃん** 〈国頭〉 【例】くんぢゃんぬ  
ひがしむらをうてー めーにん さんぐわちね  
ー ちちじまちーぬ あてい、んーぢゅる と  
うくる んーぢゅる とうくる まー んーち  
ん、あかー、しるー、ふじいる、むむいる、だ  
いだいいるんでーぬ いるかじぬ はなぬ さ  
ちかんとーん。(国頭の東村では毎年3月には  
ツツジ祭りがあって、見渡す限りどこを見ても、  
赤、白、紫、ピンク、オレンジ色などの色々な  
花が咲き乱れている)。

**くんぢゅん** 〈くびる、縛る、拘束する〉【活】  
くんぢゃん、くんだん、くんぢ 【例】わったー  
いのー まぎさぬ っちゅぬ うとうるさす  
くとう やしちぬ うち やていん くんぢゅ  
ん。(私の家の犬は大きくて人が怖がるので、屋  
敷内でもくびる)。んなとうぬ ふねー ちな  
さーに くんだっとうたん。(港の船はロープ  
で縛られていた)。ていーふいさ くんだって  
い っやーんかえー ちゅらーさ ふいまだー  
り しみらさったん。(手足を奪われてあなた  
にはすっかり時間をつぶされた)。つくわ な  
ちやる あとー うやー っくわんかい てい  
ーふいさ くんだってい、まーにん いからん、  
どうーぬ くとー むる ならん。(子を産ん  
だ後は親は子どもに手足を奪われて、どこにも  
行けない、自分のことは何もできない)。やみき  
とうてい いさぬ やーんかい くんだりー  
ねー、どうーぬ うむいるぐとー っんぢゅか  
らんくとう、いさぬやーん るーやん めぬむ  
ん やさ。(病気になって入院すると、自分の思  
い通りに動けないので、病院も刑務所も同じよ  
うなものさ)。

**くんぺん** 〈焼き菓子的一种〉 【例】くんぺ  
のー うゆうえーぐとう、すーこーぐとうんか  
えー ねーんとーならん むん やん。(クン  
ペンは祝儀、法事には欠かせないものだ)。

**くんぴーん** 〈踏みつづす〉【活】くんぴたん、  
くんぴらん、くんぴてい 【例】しりしりー す

なけー、ふいさ くんぴらりーん どー。(くつつくな、足を踏まれるよ)。くつぬ あどー くんぴーんな けー。(靴のかかとをつぶすな)。かんかなー ふいさっし くんぴてい たっぴらかすん。(缶を足で踏みつぶしてペシャンコにする)。

**くんぴらかすん** 〈踏みつける〉【活】くんぴらかちゃん、くんぴらかさん、くんぴらかち  
【例】ちゆぬ めーから しりーしりーびかーっし、くんぴらかさりーん どー。(人の前にくっついてばかりいると、足を踏みつけられる

よ)。ういなぐぬ たかぐつさーに んじゃんじゃーとう くんぴらさってい みーくらがんそーたん。(女性のハイヒールで思いっきり踏みつけられて目眩がしていた)。いふーなういきがんかい とうっかちみらったる とうちねー たかぐつさーに くんぴらかすし やん。(変な男性に捕まえられた際にはハイヒールで踏みつけることだ)。

**ぐんぼー** 〈ゴボウ〉 【例】ぐんぼー びさ(細長い足)、じゅり ぐんぼー(女郎買いをする者)。



# け、げ

けー 〈貝〉 【例】ぶらげーや けーぬ ていー  
ち やしが、うふむにーさーんかいん 「ぶら  
げー」んでい いーる とうくるん あん。(ホ  
ラ貝は貝の一種だが、ほら吹きにも「ぶらげー」  
というところもある)。

けー／うけー 〈粥〉 【例】んかしえー  
にち っんぢたい どうー あんまさる ばす  
ねー、うけーめーとう かちゅーゆーとう ち  
ゅくていくいたん。あんしーねー、たでーま  
まし なたん。(昔は熱が出たり体がすぐれな  
いときには、お粥とかつお節湯を作ってくれた。  
そうしたら、すぐによくなった)。

げー 〈反抗、口答え〉 【例】うや／しーじゃ  
／うふっちゅ／とうすい／しんしーんかい げ  
ー する むのー あらん。(親／先輩／大人  
／年寄り／先生に反抗するものではない)。げ  
ー さー (よく口答えする者)、げー さー  
わらばー (口答えをする子)。あん いーねー、  
かん いーっし ふいっちー げーびけー さ  
んけー。(ああ言えば、こう言っただけで口答  
えばかりするな)。げーびかーっし っちゅぬ  
いーる くとー むる ちかん。(口答えだ  
けで人の言うことはまったく聞かない)。あれ  
ー ぬー いちゃんてーまん げー すん ど  
ー。(あの人は何を言っても口答えするよ)。わ  
んにんかい げー め?(私に口答えか)。

けー〜〈さっと(する)、いつの間に(状態変  
化している)〉 【例】けーにんとーん (いつの  
間に寝ている)、けーかわとーん (いつの間に  
変わっている)、けーうわとーん (いつの間に

終わっている)、けーこーいん (さっと買う)、  
けーちゅくいん (ぱっとつくる)、けーやみー  
ん (さっとやめる)、けーもーいん (さっと踊  
る)、けーほーちゅん (さっと掃く)、けーなで  
いーん (さっとなでる)。けーぬめー (さっと  
飲め)、けーかけー (さっと書け)、けーゆめー  
(さっと読め)。んーぢーねー めー でーくに  
やたくとう けーこーたる むのー、ちっち  
やくとう なーか むし くーやー やたん。  
(見たらいい大根だったのでさっと買ったのに、  
切ったら中は虫食い状態だった)。あっちぐり  
さくとう、なーぬ きーぬ ふあーや かたは  
らんかい けーほーちょーけー。(歩きにくい  
ので、庭の木の葉はそばにさっと掃いておけ)。  
くわーしぬ くー けーうとうすん。(お菓子の  
くずをさっと払い落とす)。っやーや たか  
ぐつ くみーねー、 みちなかをうてい けー  
くるぶん どー。(あなたは高い靴をはくと、道  
中でいきなり転ぶよ)。あっさ かなとーたる  
むんぬん、いーな けーまーちゃる ばー な  
ー?(あんなに達者だったのに、こんなにも早  
くいきなり亡くなったんだね)。しらん ふー  
なー さーに けーはちくーわ。(知らんふり  
してさっと行って来なさい)。あいこーぬ ぬ  
むるぐとうしえー ぬまんぐとう、んぢやむの  
ー くすい やくとう けーぬめー。(蟻が飲  
むようには飲まないで、苦いものは薬なのでさ  
っと飲みなさい)。なちゅくとう、わらばーんか  
い んーだらんぐとう けーいき／けーはり  
よー。(泣くので、子どもには見られないように  
さっと行きなさいよ)。わんが かまなやーん

でい うむと一たる ぱん ういきがしーじゃんかい けーとうらったん。(私が食べようと思っていたパンを兄にいきなり奪われた)。

**けー しぢゅん** 〈すでに死んでしまう〉  
【活】～しちゃん、～しなん、～しぢ 【例】わらび くるまんかい うっちゃんぎてい うやぬ ぱちんこ そーる っうえーだに けーしぢょーたんでいーる はなしぬ ゆー ちかりーん。(子どもを車内に放っておいて親がパチンコしている間にすでに死んでしまったという話はよく耳に入ってくる)。

**けー とういん** 〈ひったくる、横取りする〉  
【活】～とうたん、～とうらん、～とうてい 【例】みちなかをうてい じてんしゃ ぬとーる っちゅんかい くさーから かばん けーとうらったん。(路上で自転車に乗っている人に背後からカバンをひったくられた)。でーくに じょーとうーから とうてい うちきてーし っちゅぬ けーとういんち そーたん。(大根良いのから取って置いてあったのを他人が横取りしようとしていた)。あぬ ういなごー っちゅぬ をうとう けーとうらんちびけーっし やー。あんし やなたくまー やる。(あの女性は他人の夫を横取りしようとばかりしてね。なんとずる賢い女だ)。

**けー まーい まーい すん** 〈廻って来る〉 【例】まるけーていなーや けーまーい まーいっし くいり よー。(時々は廻って来てね)。

**けーいん** 〈返る／帰る〉【活】けーたん、けーらん、けーてい 【例】わらびんちゃーや っういーりきさる ばすねー けーりんくるびんっし／とうんぢャーもーやーっし うっさくわったー すん。(子どもたちは楽しいときにはでんぐり返りをして／跳ねたり小躍りして大喜びする)。

**けーいん** 〈換える〉【活】けーたん、けーらん、けーてい 【例】まーがなをうてい じん けーていくーわ。(どこかでお金を換えておい

で)。くぬ いちまんゑん けーらりーみ？(この一万円両替できるか)。

**けー るー** 〈交換、交代〉 【例】あかーとう／おーるーとう けーるー しん しむがやー？／ゆたさいびーがやー？(赤いのと／青いのと交換してもいいか／かまいませんか)。いったーや みーやー ちゅくてーさ やー。ちゃー みーさしえー まし やくとう、わったー ふるーとう けーるー すみ？(あなたたちは新しい家造ったんだね。いつだって新しいのがあるので、古いのと交換するか)。

**けーうち** 〈小皿〉 【例】うぬ あたい そーる けーうち とうていくいれー。(これくらいの小皿を取ってくれ)。

**けーすん** 〈返す、帰す、耕す〉【活】けーちゃん、けーさん、けーち 【例】かとーる しゅむち あちゃーまでいなかい とうしゅかぬんかい けーさんねー ならん。(借りている本明日までには図書館に返さないといけな)。あちねー するたみに うふじん ちかえー さしが、に、さんにんびけーっし むとう とういけーちゃん。(商売するために大金を使いでしたが、2、3年ほどで元金を取り返した)。はる けーちから さねー まちゅん。(畑を耕してから種は播く)。

**けーさー** 〈(何度も)くり返すこと〉 【例】くーぶいりちゃー、いなむどうち、なかみじろー、ちゅくてい ちゃーき かむしやか あちらしけーさーっし なーちゃどう なーふいん まーく ないる。(昆布炒め、肉汁、中味汁は作ってすぐ食べるより暖め直したりして翌日がさらにおいしくなる)。あれー ふるぐるまー あたらさっし、のーしけーさーっし ちかとーん。(あの人は中古車を大事にして、何度も修理して使っている)。うちなーをうてー むっちけーさー するくとー えーていんかい したたかぬ ぐぶりー ないんでいぬ んかしん ちゅからぬ いーならーしぬ あん。(沖縄では即座にお返しすることは相手にはなはだ失礼だとの昔の人からの言い伝えがある)。

けーし まー〈裏返し〉【例】っやーや  
けーしまーっし ちちょーん どー。(あなたは裏返しを着ているよ)。っやー セーターや  
けーしまー などーくとう、はぢやーに の  
ーしえー。しにっちゅぬどう けーしまー ち  
ーん どー。(あなたのセーターは裏返しにな  
っているの、脱いで直しなさい。死んだ人が  
裏返しを着るんだよ)。

けーし むどうし〈おつり〉【例】なー  
だ けーしむどうしえー めーてー をうらん  
どー。(まだおつりはもらってはいないよ)。  
けーしむどうしえー あていー? ちゃっさ  
あたが?(おつりはあったか。いくらあったか)。  
けーしむどうしえー っやー めーれー。(おつ  
りはあなたがもらいなさい)。けーしむどうし  
えー っやー わたくしぐわー しえー。(お  
つりはあなたのお小遣いにしなさい)。

けーな〈腕〉【例】っんぶむん むちぢゅー  
さぬ、けーなぬ やでい、なーちゃー あがら  
ん などーたん。(重いものを持ち過ぎて、腕が  
痛くて、翌日は上がらなくなっていた)。

けーらすん〈ひっくり返す〉【活】けーらち  
やん、けーらさん、けーらち 【例】うちなーぬ  
しーし けーらしーや うーまーい、ふいさ  
たたち、けーらちやいっし、ふんとー しーし  
ぬ もーとーんねーっし っんぢゅち いっぺ  
ー みぐとうな むん やん。(沖縄の獅子舞  
いは大回り、足たたき、ひっくり返ったりして、  
本当に獅子が舞っているように動いてとても見  
事なものだ)。

けーらし くるばし すん〈ひっくり返  
したりして粗末に扱う〉【活】～さん、～さん、っ  
し 【例】がっこーから けーてい ちーねー、  
かばのー なぎほーたい けーらしくるばし

さんくとう かきやーんかい かきれー。(学  
校から帰ってくると、カバンは投げ出したりひ  
っくり返したりしないで掛けるものに掛けなさい)。

けーりーん〈ひっくり返る〉【活】けーった  
ん、けーりらん、けーってい

けーりん くるびん すん〈転げ回る〉

【例】わらびぬ っういーりきさ する とく  
るんかい そーていちゃくとう くさぬ っう  
いーんかい にんてい けーりんくるびんっし  
うっさーくわったー そーたん。(子どもの  
喜ぶところに連れて来たので、草の上に寝転び  
回って喜んでいた)。

けーん〈～回、度〉【例】ちゅけーん(1回)、  
たけーん(2回)、みけーん(3回)、ゆけーん  
(4回)、いちけーん(5回)、むけーん(6回)、  
ななけーん(7回)、やけーん(8回)、くくぬ  
けーん(9回)、とうけーん(10回)。

げーん〈魔除け〉【例】ぐしち みーち た  
ばてい ふあーぬ さち むしでい「げーん」  
ちゅくいん。ぐまーや「さん」んでい いーん。  
(三本のススキを束ねて、葉の先を結んで「げー  
ん」を作る。小さいのは「さん」という)。っち  
ゅぬ やーんかい かみむん むっちいちゆる  
ばすねー、げーん／さんぐわー いっとーけ  
ー／うちきとーけー。(人の家に食べ物を持っ  
て行くときには、邪気払いを入れておけ／置い  
ておけ)。

けんらー〈威張る者〉【例】けんらーや  
なー はいばいっし すりーずりー する く  
とー ねーらん。(驕る者は単独で行動して、寄  
り添って行動することはない)【参】いばやー  
(威張る者)。



## こ、ご

**こーいむん** 〈買い物〉 【例】うさきーぬ  
こーいむんっし ちゃーっし かむが？ かむ  
るばすねー わんにん あびていとうらし ど  
ー。まじゅんさーに ふいならちとうらすさ。  
(そんなに買い物をしてどうして食べるのか。食  
べるときには私も呼んでくれ。一緒に減らして  
あげるから)。

**こーい むん さー** 〈買い物をする人、買  
い物客〉 【例】わんが こーいむんさー や  
くとう、わんが かんげーてい すさ。(私が買  
い物をする役目なので、私が考えてするよ)。

**こーいん ぐえー** 〈買い食い〉 【例】なま  
ぬ わらびんちゃーや こーいんぐえーっし  
あっちゃがなー むぬ かどーし あまくまを  
うてい みーらっちょーん。(今の子どもたち  
は買い食いして、歩きながら食べているのがあ  
ちらこちらで目につく)。

**こーがーきー** 〈頬かむり〉 【例】あまを  
うてい むぬくーやーぬ ていーさーじさーに  
こーがーきーっし むぬ ふさ そーたん。  
(あちらで乞食が手ぬぐいで頬かむりをして物  
乞いしていた)。ういきがをうどういぬ ばす  
に ういなごー こーがーきーっし ちら く  
わっくわち をうどういん。(男踊りをすると  
きに女性は頬かむりをして顔を隠して踊る)。

**こーぐ** 〈腰〉 【例】こーぐ ぬばち めら  
んねー ちんまがてい こーぐー ないん ど  
ー。(腰を伸ばして座らないと縮んでしまって  
腰が曲がってしまうよ)。

**こーこーな むん** 〈孝行者〉 【例】う

みはまてい びんちょー さーに うやんかい  
しわー しみらんぐとう、うやー てーしち  
に する こーこーな むん なり よー や  
ー。(一生懸命勉強して親に心配はかけないで、  
親を大切にする孝行者になんなさいよ)。

**こーさー** 〈軽いげんこつ〉 【例】しんदै  
ごーさー 〈擦り込みげんこつ〉、めーごーさー  
〈前頭部のげんこつ〉。っやーや しぐ こーさ  
ー くわーさりーん どー。(お前はごつんと  
げんこつをやるぞ)。こーぐわーさー／こーげ  
ーさー がふあみかすん／ばんみかすん。(げ  
んこつを一発お見舞いする／くらわす)。んか  
しえー がっこーをうていん やーをうていん  
いーし ちかんねー めーごーさー くわー  
さってい ふどうっういーていどう ちょーし  
が、なまぬ じでーや わらびんかえー てい  
ー っんぢやちえー ならんくとう などー  
ん。(昔は学校でも家でも言うのを聞かないと  
げんこつをもらって成長してきているが、今の  
時代は子どもには手を出してはいけなくなっ  
ている)。

**こーじ** 〈カビ〉 【例】なちぬ あちさるばす  
に すでいながー ちち あっちーねー、こー  
じ ふちゅん どー。(夏の暑いときに長袖を  
着て歩いたら、カビがはえるよ)。

**こーじん すん** 〈告げ口をする〉【活】～さ  
ん、～さん、～っし 【例】あれー ちちやる は  
なしえー むる まーやーくいーやーをうてい  
こーじん すくとう、ありんかえー ぬーん  
いらんしえー まし。(あの人は聞いた話は



すべてどこでも話してしまうので、あの人には何も言わない方がいい)。

**こーとう** 〈爪先、手の卑語〉 【例】うちなーをうてー あしていびちぬ あてい つわーぬ ちまぐーまでいん かむしが、とーをうてー とういぬ こーとうまでい かむん。(沖縄ではあしていびちがあって豚の足先も食べるが、中国では鳥のつま先まで食べる)。

**こーる** 〈香炉〉 【例】うちなーぐゆみぬ ちーたち、じゅーぐにちねー うこーるんかい うこー じゅーぐふん たていてい、 うぶくん うさぎてい うぐわんすんかい まるふいーじーぬ しでいがふーとう からだがふーにがてい ていー うさーすん。(陰暦の一日、十五日には香炉に線香を15本立てて、ご飯もお供えしてご先祖様に常日頃の感謝と健康を願って手を合わす)。

**こーるー** 〈駒〉 【例】んかしぬ ういきがわらびんちゃーや どうしぬ ぐとう こーるー

むっちあっち どうーちゅい やていん こーるー まーち、ちな わたい しみたい、ていーぬ わたんかい ぬしたいっし あしどーたん。(昔の男の子たちは友のように駒を持って歩いて、一人でも駒を回して、綱渡りをさせたり、手のひらに乗せたりして遊んでいた)。

**こーれー ぐす** 〈唐辛子〉 【例】むぬ かむるばすに こーれーぐす いりーねー、どうーぬ ふあーふあーっし ぬくたまいん。(食事をするときに唐辛子を入れると、体がほてって暖まる)。こーれーぐす しち やくとうすば かむる ばすに ばっペーてい いりぢゅーさたん。やくとう、くちぬ なーかん、はなん ふいーふいーっし、みーなだん っんぢてい ふしがらん あたい ふいーたったーそーたん。(唐辛子好きなのでそばを食べるときに間違えて入れすぎてしまった。それで、口の中も鼻もヒリヒリして、目も涙も出てがまんできないほどヒリヒリしていた)。

## くわ、ぐわ

**くわー、つくわ** 〈過ぎ〉【例】ちゃぬよーな くとう やていん いーつくわしーねー たげーぬ たみ ならん。(どのようなことでも言過ぎるとお互いのためにならない)。いーつくわ いーぶすこー くねーてい くみそーり。(言い過ぎ言い足りないことは大目に見てください)。

**〜ぐわー** 〈指小辞〉【例】あみぐわーぬ うていてい ちゅーくとう、ふえーくなー けーりわどう ないる。(雨が落ちてくるので、早く帰らないといけない)。うふるめんたー そーてい しんしーぐわーしー／ぬーしぐわーしー そーん。(ままごとをやって先生のふり／主人のふりをしている)。

**くわーぎ** 〈桑の木〉【例】くわーぎぬ みーんかい「なんでんしー」んでいいち、まっくーるー なてい んでいからどう まーさる。(桑の木の実に「なんでんしー」と言って、真っ黒くなって熟してからがおいしい)。

**くわじ** 〈火事〉【例】んかしえー きーやー やたくとう くわじやか うとうるさる くーとー ねーんたしが、なま やていん うかつとう しーねー うくりーん。(昔は木造建てだったので火事よりも恐ろしいものはなかったが、現在でもうっかりしたら起こる)。くわじちやーさー (消防夫)。

**〜ぐわー しえー** 〈〜ごっこ〉【例】いーさぐわーしえー (戦争ごっこ)、みーとうんだぐわーしえー (夫婦ごっこ)。

**くわーすん** 〈(口紅などを)塗り込む、(香水などを)つける〉【活】くわーちゃん、くわーさん、くわーち 【例】なーから どうぐわい とうていちゃーに ほーちゃーさーに んぢ とうてい あかち やまちえーる とくまんかい くわーちょーけー。みじぶつくわーや さんさ。(庭からアロエをとって来て包丁で刺をとって割いてケガをしたところに塗っておきなさい。水ぶくれはしないから)。まちなかをうてい とうんけーいる あたいぬ ちゅうういなぐ やたしが、いっペー かばさる かばーぐわー くわーちょーたん。(街で振返るほどの美人だったが、とてもいい香りの香水をつけていた)。ちゃっさー っんままでい やたんてーまん、むーぢなくーや なしらんていん しむしが、くちべねー くわーち いき よーやー。(たとえそこまででも、ファンデーションは塗らなくても、口紅は塗って行きなさいね)。ういなごー なちえー ていーだんかい やきらんぐとう、ちらとう ていーんかい くりーむ くわーちょーん。(女性は夏は陽に焼けないように、顔と手にクリームを塗っている)。

**くわーすん** 〈食わせる〉【活】くわーちゃん、くわーさん、くわーち 【例】やながんまりっしー ういきがぬ うやから ゆー こーぐわーさー くわーさったん。(いたずらして父親からよくげんこつを食わされた)。くるま とくみてー ならん とくまんかい とくみやーに くーじぐとう なてい ばっちん(=くわしん) くわーさったん。(駐車してはいけないところに駐車して違反の罰金を払わされた)。

**くわーすん** 〈挟み込む〉【活】くわーちゃん、くわーさん、くわーち 【例】くぬ かペー かじんかい とうばさんぐとう むぬ くわーちょーけー／うしちきとーけー。(この紙は風に飛ばされないようにものを挟んでおきなさい／押し付けておきなさい)。じてんしゃぬ くるまとう くるまんかい くわーさつとーしんーちゃしが、じてんしゃぬ ぬーしえー ちゃー なたが やー?(自転車か車と車に挟み込まれているのを見たが、自転車に乗っていた人はどうなったのかねえ)。

**くわーりーん** 〈食われる〉【活】くわーったん、くわーりらん、くわーってい 【例】くねーだー かきぐとうんかい ちゃっさ くわーったが?(この間は賭け事にいくら負けたか)。

**くわいん** 〈喰らう〉【活】くわたん、くわーん、くわてい 【例】あれー したたかな やなぐちゃー やてい っちゅ くわいん どー。(あいつは汚い言葉を吐いて人を参らせる)。

**〜ぐわち** 〈〜月(が)つ〉 【例】そーぐわち(正月)、にんぐわち(2月)、さんぐわち(3月)、しんぐわち(4月)、ぐんぐわち(5月)、るくぐわち(6月)、しちぐわち(7月)、はちぐわち(8月)、くんぐわち(9月)、じゅーぐわち(10月)、しむちち(11月)、しわーし(師走)。

**くわっくわすん** 〈(見えないように)隠す〉【活】くわっくわちゃん、くわっくわさん、くわっくわち 【例】いーのー むぬ くいーねー ていーちびけー うちきやーに あとうぬ むのー あな ふてい うみやーに くわっくわすん。(犬は物を食べると1つだけを置いて残りは穴を掘って埋めて隠す)。さしん ぬぢゅしが、めーぬ まぎっちゅが くしぬ っちゅ くわっくわち みーらん、なー うふえー にぢりんかい ゆみそーれー。(写真を撮るけど、前列の大きい人が後ろの人を隠して見えない、もう少し右に寄ってください)。

**くわっくいーん** 〈隠れる〉【活】くわっくいたん、くわっくいらん、くわっくいてい 【例】あれー じん かやーに しらんふーなーっし くわっくいまーい そーっさー。(あの人はお金を借りて知らんふりして逃げ回っているよ)。いふーな っちゅんかい ちゃー っわーとーる っちゅ くわっくいらする たみに なーむらむらをうてい ちむあーし さんねーならん。(ストーカーに追われている人をかくまうために各地域で協力しないといけない)。  
**くわっくい** ぐとう 〈隠し事〉 【例】わんにんかえー ぬーぬ くわっくいぐとうん しえー くいーんな。(私には何の隠し事もしてくれるな)。

**くわっくいん とーれー** 〈かくれんぼ〉【例】んかしぬ わらびんちゃーぬ あしび やしが、ちゅいや うに なやーに みー うすてい とうーまでい ゆどーる っうえーだに ふかぬ っちゅぬちゃーや なーめーめー くわっくいーん。うにぬ 「とー る?(なーしむみ?)」んでい いーねー、ふかぬ わらびんちゃーや「とー やさ(なー しむん どー)」んでい ふいんとー すん。あんしから、まーんかい くわっくいとーがやーんち うにぬ ちゅいなー ちゅいなー とうめーてい あっちゅん。(昔の子どもたちの遊びだが、一人が鬼になって目をふせて10まで数えている間に他の子どもたちは各自隠れる。鬼が「もういいかい」と言うと、他の子たちは「もういいよ」と答える。それから、どこに隠れているのかなあと鬼は一人一人探し歩く)。

**くわっちー** 〈ごちそう〉 【例】くわっちー かむる めーねー「くわっちー さびら」、かだる あとー「くわっちー さびたん」んでい る くとうばー ちかいなりらな。(ごちそうを食べる前には「いただきます」、食べた後では「ごちそうさま」という言葉は使いなれようね)。

**くわびー すん** 〈贅沢する〉【活】〜さん、〜さん、〜っし 【例】っうえーきんちょー むぬ していーるくとー さん、ちかーりーるまで

い ちかてい、かまりーるむのー むる かむ  
ん。あんすくとう、どうく くわびー／すそー  
ん しーねー あとー ふいんすーむん ない  
ん。(お金持ちはものを捨てることはしない、使  
えるまで使って、食べられるものはすべて食べ  
る。だから、あまり贅沢を／ものを粗末にする  
と貧乏になるよ)。

**くわふー** 〈果報、幸運〉 【例】 どうーくる  
っんぢゆかんぐとう くわふー かちみーる  
くとー ならん。(自分自身が動くこともし  
ないで幸運をつかむことはできない)。っやー  
や うれーまさる あたい どうーぬ うむい  
る くとうぬ かなてい くわふーなむん や  
さ。(あなたは羨ましいほど自分の思っている  
ことがかなって幸せ者だ)。

**くわふーし／かふーし** 〈(目上から目下  
に) よくやってくれてありがとう〉 【例】 う  
っとうんかえー、「くわふーし どー」や「にふ  
えー どー」やかん ちむ いっちょーる く  
とうば などーん。(年下には、「くわふーしど  
ー」は「にふえーどー」よりも気持ちの入って  
いる言葉になっている)。くわふーし やたさ。  
(よくやってくれて、ありがとう)。まーていっ  
ちくいてい くわふーし やたん どー。(廻  
って来てくれてありがとうよ)。にふえー で

ーびる。(ありがとうございます)。しでいがふー  
でーびる。(ありがとうございます、頂戴物を  
して)。

**くわんさち** 〈鑑札、免許〉 【例】 しんしー  
ぬ／いさぬ／あちねーさーぬ くわんさち む  
っちょーみ？(先生の／医者／商売人の免許  
を持っているか)。

**ぐわんす** 〈元祖〉 【例】 ぐわんすむちゃーや  
／ぐわんすむちすこー たー やが？(元祖の  
継承者は誰か)。うやふあーふじえー めんそー  
らんていん うぶちだぬんかい ていー うさ  
ーち えーさちえー しーびちー やん。(御  
先祖さまはいらっしゃらなくても御仏壇に手を  
合わせて挨拶をすべきだ)。うぶちだぬんかい  
うさぎれー／うさぎていとうらしえー。(御  
仏壇にお供えなさい／お供えください)。【参】  
うぶちだん(御仏壇)、いふえーだん(位牌段)、  
うやふあーふじ(ご先祖)。

**くわんそー** 〈萱草〉 【例】 みーぐふあいつ  
し にんだらん ばすねー くわんそーとう  
かちゆーぶし たぢらち しんじむん ちゆく  
てい ぬみーねー にんぢやしく ないん。(目  
が覚めて眠れないときには萱草と鯉節を煮て煎  
じものを作って飲むと眠りやすくなる)。



## つくわ、ぐわ

**つくわ** 〈子〉 【例】つくわぬちゃー（子どもたち）、ちゅいんぐわ（一人っ子）。ういきがんだ／をうーんぐわ（男の子）。ういなぐんぐわ／みーんぐわ（女の子）。あかんぐわ（赤ん坊）、うみんぐわ（お子様）。うやぬ くくる しらん ゆむんぐわ（親心をわからないバカな子）。ういなぐぬ うやが つくわ うむいる ちもー うみやかん ふかさんでい。（母親の子を思う心は海よりも深いんだって）。つくわ っんまがー さけーていどう ふあーふじえー ながぬちん んーぢゆる。（子孫が栄えてこそ祖父母は長生きできる）。つくわ なしんーちどう うやぬ をうのー わかいる。（子を産んでみてはじめて親の恩はよくわかる）。

**つくわ** うむやー 〈子煩悩の者〉 【例】すーさー、そーみなーや いっぺー つくわうむやー やてい、わったー なーぬ くるちんかい しー ちゅくてい くーが しでいていから はにぬ みーるまでいん、っちゅにんぢのー ゆしちきらんたん。んーぢゅんでい さーに うやどういんかい ちちかりーぎさー そーたん。（ヒヨドリ、メジロはとても子煩悩で、私の家の庭の黒木に巣を作って卵がかえって羽が生えてくるまでも、人を寄せつけなかった。覗こうとして親鳥に突つかれそうになった）。

**つくわ** ぐわー 〈動物の赤ちゃん〉 【例】ぱんだぬ つくわぐわーや あんし くーさる、うふいーびぬ あたいどう ある。（パンダの赤ちゃんはなんと小さいことか、親指くらいしかない）。

**つくわ** なさー 〈お産の軽い人〉 【例】つくわなしぬ かっさる っちゅんかい「つくわ

なさー」んでい いーん。（お産の軽い人に「つくわなさー」と言う）。

**つくわ** なし みち 〈子の産み方〉 【例】つくわ なしみちえー しっち、つくわ ふど うっわーする みちえー しらん。（子の産み方は知って、子を育て方は知らない）。

**つくわ** なしみ やー 〈助産婦〉 【例】んかしえー いさぬやー やかん、つくわなし みやーんかい かかてい つくわ なちょーたん。（昔は病院よりも助産婦にかかって子を産んでいた）。

**つくわ** びーちゃー 〈子びいきの者〉 【例】つくわびーちゃーぬ うやぬ つくわぬどうりっぱに ふどううういーんでい。（自分の子をひいきする親の子がりっぱに育つて）。あまぬ わらべー ぬららんしえー まし、うやー はていぬ つくわびーちゃー どー。（あそこの子は叱らないほうがいい、親はたいへんな子びいきだよ）。

**つくわ** むちゃー 〈子持ち〉 【例】どうーぬ つくわ やていん ぬーぬ あたが わからんくとう、つくわむちゃーや っちゅぬ つくわ ぬらいるむのー あらん。（自分の子でも何があったか分からないので、子を持つ親は他人の子を叱るものではない）。

**つくわ** むやー 〈子守り〉 【例】んかしえー ちゅいさーに うっとうぬちゃー みっちゃい つくわむやー さん。ちゅえー うーふあ、ちゅえー だち、ちゅえー ていーふいち そーたん。（昔は一人で弟妹を三人子守りした。一人はおんぶして、一人は抱いて、一人は手を引いていた）。



## く い、ぐ い

**く いー** 〈声、消息〉【例】く いー ちちゅん。  
(どうしているか聞く)。なげー く いーん ち  
からんたしが、ちゃー そーたが？(長いこと  
音沙汰もなかったが、どうしていたか)。たーり  
ーんかい うんちゅー をうがでい く いり  
よー。(お父さんによろしく言ってね)。【参】う  
んちゅー(ご機嫌)、うんちけー(ご招待)、う  
んちえー(拝借)、うんでー(お叱り)。

**く いー がーい** 〈声変わり〉【例】く いー  
がーい する めーぬ ういきがわらびんちゃ  
ーぬ がっしょーだん やん。(声変わりする  
前の男の子たちの合唱団だ)。

**く いー がらー** 〈声がかれた者〉【例】な  
げー ゆんたくふいんたく さーに ちゅらー  
く く いーがらー などーたん。(長い間おし  
ゃべりしてすっかり声がかれてしまっていた)。

**く いー ぢゅくり** 〈咳払い〉

**く いーじきーん** 〈背負い込む〉【活】く い  
ーじきたん、く いーじきらん、く いーじきてい  
【例】っちゅぬ しわぐとう く いーぢきてい  
わーまでい ちむぬ っんぶく などーん。  
(人の心配事を背負い込んで私まで心が重くな  
っている)。

**く いー** ～〈喰い～〉

**く いー く いむん** 〈喰い込む〉【活】く い  
ーくだん、く いーくまん、く いーくでい 【例】  
いすぢょーる とうちに ちゃっくぬ く いー  
くでい あっかん なてい じゃーふえー さ  
ん。(急いでいるときにチャックが喰い込んで  
動かなくなって困った)。

**く いー ちゃーすん** 〈喰いしばる〉【活】～  
ちゃーちゃん、～ちゃーさん、～ちゃーち 【例】  
なーふあぬ うふちなふいちねー はー く い  
ーちゃーち うすまさ ちばたしが、ちゃー  
すんかりー さったん。(那覇の大綱挽には歯  
を喰いしばって一生懸命がんばったが、ずうっ  
と引きずられた)。

**く いー ちちゅん** 〈噛み切る〉【活】～ちち  
ゃん、～ちかん、～ちっち 【例】ふしいちゃー  
くふあさくとう く いーちっち かむしが、  
あじくーたー やてい いっペー まーさん。  
(干しイカは固いので噛み切って食べるのだが、  
味があってとてもおいしい)。

**く いー わいん** 〈噛んで割る〉【活】～わた  
ん、～わらん、～わてい 【例】くぬ くるぎー  
たーや くふあさぬ、いりばーどう やくとう  
じょーい く いーわららん。(この黒砂糖は  
固くて、入れ歯なのでなかなか噛んでも割れな  
い)。

**く いーみちーん** 〈閉め切る〉【活】く いーみ  
ちたん、く いーみちらん、く いーみちてい 【例】  
あまぬ やーや はしるん むる く いーみち  
らっとーしが、まーがなんかい っんぢどう  
をうが やー？(あちらの家は戸も全部閉め切  
られているが、どこかに行っているのかねえ)。

**く いーん、く いーゆん** 〈越える〉【活】  
く いーたん、く いーらん、く いーてい 【例】う  
ふみち く いーてい ふいぢやいんかい まが  
いーねー わったー やーぬ あさ。(大通り  
を越えて左に曲がると私の家がある)。あぬ



むい くいーねー、んぞが っんまりじま や  
さ やー。(あの山を越えると、恋人の里だね)。  
くぬ ゆーをうてい うり くいーていぬ ま  
ーさるむのー ねーらん。(この世でこれ以上  
のおいしいものはない)。わらびぬ ふどうっ  
ういーしえー ふえーさぬ、なー わんたき  
くいーていねーらん。(子どもの成長は早くて、  
もう私の背丈を越えてしまった)。

くいーん、くいゆん 〈くれる〉【活】く

いたん、くいらん、くいてい 【例】むぬ くい  
ーしどう わー うすー。(食べていけるのを  
保証する人こそ我が主)。わんにんかえー ぬ  
ーぬ くわっくいぐとうん しえー くいんな  
よー。(私には何の隠しごととしてはくれる  
なよ)。ふいーさ そーいねー ちん くしり、  
やーさ そーいねー むぬ くいり。(寒がっ  
ている人には服を着せなさい、ひもじい思いを  
している人には食べ物あげなさい)。

## く え、ぐ え

く えー 〈肥料〉 【例】いったー ごーやーや  
あんし ゆかとーる！ あたいぐわーぬ く  
えーや ぬー いっとーが？(あなたの家のゴ  
ーやーはなんとよく実っていることか！ 菜園  
の肥料は何を入れているのか)。うとーし ち  
かていどう ちゅくとーん どー。(売ってい  
るのをを使って作っているよ)。

く えーいん 〈太る〉 【活】く えーたん、く え  
ーらん、く えーてい 【例】っやーや まーさむ  
ん かみぢゅーさぬ、く えーどーりっし いさ  
がかいすん どー。(あなたは食べ過ぎて、食い  
倒れて通院するよ)。

く えー ぶたー／く えー たー／く え  
ー やー 〈デブ〉 【例】く えーぶたーんか  
い かがんじでーくにんてい いーしが、っや  
ーや かがんじでーくにぬ ぐとーんでい い  
らっとーし わかいみ？(デブに鏡水大根と言  
うが、あなたは鏡水大根のようだと言われているのをわかっているか)。

く えー 〈喰らい〉 【参】「くわ＋い」からの  
変化。

く えー くち 〈食費〉 【例】ていまー い  
きらさぬ、むのー たかさぬ、く えーくちえー  
ゆー くめきてい さんねー ならん。(給  
料は少なく、物価は高く、食費は儉約しな  
いといけない)。

く えー ぢらー 〈食ってばかりで仕事をし  
ない者〉 【例】あぬ やーぬ ういきがんで  
わー しくちん さん、く えーぢらー なてい  
とうじなやーや をうらん。(あの家の男の  
子は仕事もしないで、穀つぶしで嫁のなり手は  
いない)。

く えー ぶー 〈食い運〉 【例】なま くわ  
っちー かむんち そーる とうくるんかい  
ふえーりんち ちゅーる っちゅんかい く え  
ーぶーぬ あんでい いーん。(今はごちそう  
を食べようとしているところにタイミングよく  
入って来る人に食い運があるという)。

く えーち 〈全快〉 【例】ながわじゃれーっし  
いさぬやーんかい くんだっとーたしが、く  
えーちっし ゆるっとう なたん。(長患いを  
して入院していたが、全快してほっとした)。

ぐ えったい 〈泥んこ〉 【例】あまー ぐえ  
ったい そーてい なんどうるく なんとーくし  
う、ちー ちきり よー。(あそこは泥んこにな  
って、すべりやすくなっているので、気をつけ  
なさいよ)。うふあみぬ ふいねー、うみちとう  
みじぬ あんでいてい あとー みちえー  
どうるぐえったい なてい からびさっしどう  
あっかりーたる。(大雨が降ったら、水がどっ  
と溢れて後は道は泥んこになって素足でしか歩  
けなかった)。



さー 〈霊力〉

さー だか っんまり 〈霊力のある者〉

【例】さーだかっんまれー ていーに とうららん くとぅん ちちやい んーちやい する くとぅぬ ないん。(神通力のある人は手に取れないことも聞いたり見たりすることができる)。

さー まき 〈霊力負け〉 【例】かかいむん どうーくる はんしえーうーさん たみに さーまき そーてい どうー やんとーん。(憑依を自分ではずせないために霊力に負けて体が弱っている)。

さー 〈差〉 【例】っやーとう わんとー いくちぬ さー やが?(あなたと私はいくつの年齢差があるか)。ちゅまーる さーぬ あん どー。(12歳の差だよ)。っやーとー めぬ さー やさ やー。(あなたとは同じ年齢だね)。

さー 〈すこしばかり〉

さー ふーふー 〈ほろ酔い加減〉 【例】さけー さーふーふーまでい めでいどう ちむん っういーりきさる。(酒はほろ酔い加減まで飲んでこそ心も浮き浮きするものだ)。わかう いなぐぬ さーふーふー そーしえー あったに ちゅらばなぬ さちゃんねーっし っちゅぬ みー ふいちゅん やー。(若い娘がほろ酔うさまはぱっと花が咲いたように人の目を引くものだね)。っちゅびれーん さんとー ならん ばすん あしが、さき めぬーねー さーふーふーぬ あたいどう まし どー。(付き合いもしないといけないこともあるが、酒を飲んだらほろ酔い加減が良いね)。あまから

ぶーらーさっさいっし ちゅーしえー とうないぬ カマデーどう やん てー、ちゅーん さーふーふー そーっさ やー。(あそこから千鳥足で来るのは確か隣りのカマデーだよ、今日もほろ酔い機嫌だね)。

さー ぐさみち 〈少しばかり怒ること〉

【例】ぬーが やら わからんしが、あれー さーぐさみち そーたん どー。(どういうことか分からないが、あの人は不機嫌だったよ)。

さー ゆー 〈白湯〉 【例】くすえー さーゆーっしどう めむん どー。ぬーがんでい いーねー、どうーんかい いしぬ たまてい やんめー ちゅくいる くとぅぬ ねーん ないくとう。(薬は白湯で飲むんだよ。なぜかと言うと、体に石灰が溜まって病気になってしまうことがなくなるから)。

さーい 〈つわり、跳ね返り〉 【例】っくわ

むっちょーくとう、むぬ はかーはかーっし さーい そーん。(妊娠しているので、ものを吐きそうにしてツワリしている)。っわーばぐとう さくとう、っやーまでい さーい うきとーしえー。(余計なことをしたので、あなたにまで跳ね返って来ているんだね)。ぬーんくいーん しーぢゅーさぬ、あとー さーい さーに にんぢ くだーん。(何もかもやり過ぎて、終いには病気になって寝込んでいます)。

さーい まき 〈つわり負け〉 【例】さーいまき しーねー めぬん かまらん なたい、にんだらん なたい、ふかんかい っんぢぶしこーねーん なたい っし めーん ならん ないん。(つわりで体が弱ると食べ物も食べられ

なくなったり、眠れなくなったり、外出したくなくなったりして何もできなくなる)。

**さーいん** 〈触る〉【活】さーたん、さーらん、さーてい 【例】ないむのー んーん んーん さーららん。(果物は何でもかんでも触れない)。

**さーし** 〈錠〉 【例】さーしえー さーしぬっくわっし あきーん。(錠は鍵で開ける)。さーし いっちょーが すら んーちくーわ。(錠をかけているか見ておいで)。さーし いっちょーが をうら んーちくーわ。(錠をかけてあるか見ておいで)。

**さーじ** 〈鉢巻き〉 【例】はじみていぬ あかんぐわぬ つんまりてい、うぬ つくわぬ からじぬ きーぬ さーじまきっし はぎーねー、 あとう つんまりーしえー ういきがぼーじゃー やんでい いらっとーたん。(初めての赤ちゃんが産まれて、その子の髪の毛が鉢巻きのようにして抜けると、次に産まれるのは男の子だと言われていた)。

**さーじゃー** 〈サギ〉 【例】まんこぬ さーじゃーや まーからが どうでいちょーら やー? (曼湖のサギはいったい何処から飛んで来たのかなあ)。

**さーたー** 〈砂糖〉 【例】うちなーをうてーくわーしん むちん んみむぬん くるざーたー ちかてい ちゆくいん。(沖縄ではお菓子も餅も飲み物も黒砂糖を使って作る)。んかしえー くるざーたー ちゆくいるたみに うしんまんかい ふいかさーに みぐやーみぐやー しみてい をうーじぬ しる しぶとーたん。(昔は砂糖を作るために牛馬に引き廻らせて砂糖キビの汁を絞っていた)。さーたーぬ あまさとう こーれーぐすぬ からさ とうれー んー すが? (砂糖の甘さと唐辛子の辛さを取ってどうする、本来の個性失って価値がなくなる)。

**さーたー あんだぎー** 〈砂糖てんぷら〉 【例】さーたーあんだぎーや いるかじ あて

い、ハワイをうていん なんべいをうていん なーある うちなーぐわーし などーん。(砂糖てんぷらは種類が多くて、ハワイでも南米でも有名な沖縄菓子になっている)。**【参】**あがらさー (揚げ物)。

**さーらー／さーなー** 〈逆立ち〉 【例】まかんざかぬ さかだちゆーりーや ていーぬ ふいさ なてい、さーらー なてい あっちょーたんでい。(真嘉比坂の逆立ち幽霊は手を足にして、逆さになって歩いていたって)。

**さーるー** 〈猿／人真似をする者〉 【例】さーろー むる ねーび すくとう、っちゅぬ ねーびさーや 「さーるー」んでい いーん。(猿はなんでも真似るので、人の真似する者は「さーるー」と言う)。

**さーれー さんぐわん** 〈危うきに近寄らず、触ると三貫〉 【例】ぬーんでい いーねー なちどう すくとう、あれー さーれーさんぐわん どー。(何か言うと泣くので、あの人は近寄れない人だよ)。あれー たんちゃーなてい、ありんかえー むぬん いららん、はなん ふいららん、さーれーさんぐわんどう やん どー。(あいつは短気で、あいつにはものも言えない、くしゃみもできない、まさに危うきに近寄らずだ)。

**さいた っちゅ／むん** 〈変な人／もの〉 【例】わったー しゅちばんかい さいたっちゅぬ いっち ちょーっさー。じゃーふえー などーさ やー。(私たちの職場に変な人が入って来ているよ。困ったことだよ)。

**さか** 〈逆〉 【例】やないみ んーちん、いめー さかいみ やくとう しわする むのーあらん。(嫌な夢を見ても、夢は逆夢だから心配するものではない)。やーんかい けーいんちんかていどう をうたしが、まゆてい さかんかい んかてい あっちょーたん。(家に帰ろうと向かっていたが、迷って逆方向に向かって歩いていた)。

さか どうい すん 〈素直にとらない〉

【例】さかどうい すくとう、ありんかえーむのー いらんしえー まし どー。ゆーちらー ねーん。(素直にとらないので、あの人にはものは言わないほうがいいよ。言ってもしょうがない)。

さか むにー 〈不合理なことを言うこと〉

【例】あれー おーやー どー。ぬーんでい いーねー、さかむにー すくとう、あれー たんきり よー。(あの人はけんかを売る人だよ。どうしてかと言うと、理屈に合わないことを言うので、あの人は手加減しなさいね)。

さか まちげー 〈逆まつげ〉 【例】さかまちげー みんなまんかい さーたいっし やむる ばーん あん。(逆まつげは眼の玉に触れて痛くなるときもある)。

さか みじ 〈逆流する水〉 【例】なーんかい みじ まちょーいに どうく はらしちゅーさぬ、ホースぬ くちから さかみじぬ ふちっんちとーたさ。(庭に水をまいているときにあまりにも水の勢が強過ぎて、ホースの口から水が逆流して吹き出していた)。

さか んけー 〈旅の帰りを迎えること〉

【例】ちちよーで一ぬ うみ わたてい けーていちゅーる ふいー やくとう、ちゅーや やーにんじゅっし さかんけー しーが いちゅん。(身内が海を渡って帰って来る日なので、今日は家族で迎えに行く)。

さがい 〈低地〉 【例】わったー やーや さ

がい なてい くらさが、いったー やーや あがいんかい あくとう あかがてい したこーねーらに？(私たちの家は低地なので暗いが、あなたたちの家は高いところにあるので明るくて涼しくはないの)。

さがいん 〈下がる〉 【活】さがたん、さがらん、さがてい 【例】ちぬーやか ちゅーや

で一ぬ しんゐんびけー さがとーたん。(昨日より今日は値段が千円ばかり下がっている)。  
【参】沖縄語では、千円は「しんゐん」、「しえんゑん」のいずれも使われている。

さがい ていーだ 〈夕日〉 【例】さがいて

いーだぬ くがにーいるんかい ていん すみてい うみまでいん あかがとーん。(夕日が黄金色に天空を染めて海までも色づいている)。あがいていーだどう をうがむる、さがいていーだー をうがまん。あがいんかえー ちゅーふいっちーぬ にげーぐとう さーに、いりんかえー しでいがふー すん。(朝日を拝むのであって、夕日は拝まない。東方には今日一日の願いごとをして、西方には感謝する)。

さがい いゆ 〈新鮮ではない魚〉 【例】さ

がいいゆ やくとう なまむのー かまんぐとう、にちから かむしえー まし やさ。(新鮮ではない魚なので刺身にしないで、煮て食べたほうがいいよ)。  
【参】さがとーる いゆ (新鮮ではない魚)。

さがい ごーい 〈掛けで買うこと〉 【例】

んかしえー まーぬ ちねー やていん まちやーぐわーから さがいごーいっしどう わらびんちゃー ふどうっわーちゃんてい。(昔はどこの家庭でも掛けで買って子どもたちを育てたんだって)。

さかな やー 〈料亭〉 【例】さかなやーや

ちーじんかい あちまとーていういきがぬ ゐんどうくる やたんでい。(料亭は辻町に集まっていて男性の寄り集まる場所だったってよ)。

さき 〈酒〉 【例】さきんかいどう ぬまっと

ーる ゐん？ っやーがどう さけー ぬむる。(酒に飲まれているのか。酒を飲むのはあなたじゃない)。さき ぬましわどう っちゅぬ そーぶのー わかいる。(酒を飲ませば人の性格が分かる)。

さき がく 〈酒飲み過ぎでおこる病気〉

【例】あまぬ ういきがぬ うやー さきがくさーに けーまーちよーっさ。(あそこの男親は酒飲み過ぎで亡くなったよ)。

さき がち 〈二日酔い〉 【例】さきがち

さーに しくちんかい いからんたん。(二日酔いして仕事に行けなかった)。

さき くえー 〈酒飲み〉【活】さき ぬまー  
〈酒飲み〉 【例】わかさる ばすぬ をうとー  
さきくえー やてい ちゃー さき さがら  
しみらさっとーたん。(若いときの夫は酒飲み  
でいつも酒を掛けて買わさせられていた)。

さき じょーぐ 〈酒好き〉【活】さき じょ  
ーぐー 〈酒好きの者〉 【例】っやーや さきじ  
ょーぐー やらー、ぬみじょーじ なりわどう  
やる。(あなたは酒好きなら、飲み上手じゃな  
いといけない)。

さき やー 〈酒屋〉 【例】さきやーや さ  
き ういる あちねー やてい、さき ちゆく  
いる とうくろー あらん。(酒屋は酒を売る  
商売で、酒を造るところではない)。

さき ういー 〈酒酔い〉 【例】さきういー  
そーんねーっし っちゅういー する ばー  
ん あん。(酒酔いしているように人酔いする  
ときもある)。

さきーん 〈裂ける、割ける〉【活】さきたん、  
さきらん、さきてい 【例】せんざいまき さー  
に いーびぬ さち さきやーに くちぬ あ  
ちょーん。(洗剤負けして指の先が割れて裂け口  
が開いている)。ちみぬ にーぐいぬ さかん  
かい さきーる っちょー うやむどういんぐ  
わ やんでい ちちやるくとうぬ あしが、じ  
んとー やが やー？(爪の根元から逆に切れ  
目がはいる人は親不孝ということがあがるが、本  
当なのかねえ)。

さぎーん 〈吊るす、下げる〉【活】さぎたん、  
さぎらん、さぎてい 【例】んかしえー さぎじ  
ょーきーんかい かみむん いってい しださ  
る とうくまんかい すがち さぎとーたん。  
(昔は竹製の吊るしカゴに食べ物を入れて涼し  
いところに風を通して吊るしていた)。いちや  
じる ぬみーねー どうーぬ どうこー むる  
さぎーんでい。(イカ汁を飲むと体を解毒す  
るんだって)。

さきむい 〈結納〉 【例】さきむいねー、く  
わっちー しこーてい ゆみどうい する や

ーんかい すりてい っんぢやーに、たとうく  
まぬ えーさちぬ あてい さきむいぬ ぢし  
ち すん。(結納には、ごちそうを準備して嫁取  
りする家にそろって訪れて、両家の挨拶があっ  
て結納の儀式をする)。

さく 〈量、程度、ほど〉 【例】ぬーぐとうに  
ん さくぬ あん。(何事にも適量がある)。う  
っとうぬ ちゃっさ ばくばく さわん、しー  
じゃ さこー ぬーん ならん。(弟がいくら  
口ばかり出しても、兄ほどには何もできない)。  
さくん ねーん ぬみよーっし ういーふりと  
ーん。(限度のない飲み方をして酔いしれてい  
る)。さけー ちゃぬ あたいぬ めーさく や  
がやー？(酒はどれくらいが適量なのかなあ)。  
さんばー する さこー しえーくいーんな  
けー。(したくないんだったらしないでね)。か  
まらん かみ する さこー かまん けー。  
(無理して食べようとするんだったら食べない  
でね)。

さくいん 〈引っ掻く〉【活】さくたん、さくら  
ん、さくてい 【例】ちんくわー さくてい ち  
らぬ かーたー ちゆくやーに なーぬ きー  
んかい さぎとーちゅん。(カボチャを引っ掻  
いて仮面を作って庭の木に下げておく)。

さく ふいら 〈急な上り坂〉 【例】んかし  
みちんかえー さくふいらぬ ぬくとーん。(旧  
道には急な上り坂が残っている)。

さぐいん 〈探る〉【活】さぐたん、さぐらん、  
さぐてい 【例】がっこーから けーていちー  
ねー、あま さぐい くま さぐい っし あ  
りくり かでい くちのーし そーてい、あん  
まーが むぬ しこーいし まっちょーたん。  
(学校から帰ってくると、あちらこちら探ってあ  
れこれ食べて腹ごしらえして、お母さんが食事  
をこしらえるのを待っていた)。

さく ぐみ 〈うるち米〉 【例】まるふいー  
じー かどーる くみんかい 「さくぐみ」ん  
でい いーん。(いつも食べている米を「さく  
ぐみ」と言う)。

**さく むち** 〈癩癩持ち〉【例】どうく さくむち ないねー、 たーとうん ふいらーらん どー。(あまりに癩癩持ちだと、誰ともつき合えないよ)。

**さくら** 〈寒緋桜〉【例】さくらー ちゅらさー あしが、ふぁーぬ どうでい みーん うていてい みち ゆぐしむん なてい、うれーちゅらむんぬ やなむん やん やー。(桜は美しくはあるが、葉が飛び散り実も落ちて道を汚すものなので、それは美しいがやっかいものだね)。

**さくら いる** 〈桜色〉【例】おんせんから っんちていちゃーきぬ ういなぐぬちゃーぬ ふーや さくらいるんかい すまてい いっぺー ういなぐかば すん。(温泉から上がって来たばかりの女性の頬は桜色に染まってとても女性的な艶かしさがある)。

**さけー みー** 〈境界、境目〉【例】くまが たんかーぬ ぢーとう わったー ぢーとうぬ さけーみー やん。(ここが向かいの土地と私の家の土地との境界だ)。

**さけーいん** 〈栄える〉【例】あぬ っちゅたーや んかしえー ぐままちやぐわーどう やたしが、なまねー いっぺー さけーてい まぎまちや なんとん。(あの人の家は昔は小さな店だったが、今ではとても繁盛して大きな店になっている)。

**さげーすん** 〈探す〉【活】さげーちゃん、さげーさん、さげーち 【例】かばんかえー さいふ いっちえー をうらんくとう、ふかんかい っんちてい さげーちゃくとう、くるまぬ なーかをうてい とうめーたん。(カバンには財布入っていないので、外に出て探したら、車の中で見つけた)。とうめーとーしえー ぬーやが? とうめーぐりさる むんどう やん なー? かばぬん つくえん さげーち んーちゃしが、とうめーららん。(探し求めているのは何なのか。探しにくいものなのか。カバンも

机も探してみたが、見つけれられない)。【参】とうめーいん、かめーいん。

**さじらすん** 〈細くする〉【活】さじらちゃん、さじらさん、さじらち 【例】だき ふいぢーに さじらち どうーくるさーに そーみなーくー ちゅくたん。(竹を削って細くして自分一人でメジロカゴを作った)。

**さじゃかいん** 〈授かる〉【活】さじゃかたん、さじゃからん、さじゃかてい 【例】にーびちっしから なげー っくわ むたんたしが、なまなてい さじゃかてい やーにんじょー いっぺー っういーりきさ そーん。(結婚してから長いこと妊娠しなかったが、今になって授かって家族はとても喜んでいる)。あぬ うかたー くんしょー さじゃかてい うーぐとう そーっさ やー。(あの方は勲章を授かってよかったね)。

**さすん** 〈刺す、挿す、差す〉【活】さちゃん、ささん、さち 【例】はちゃんかい ささりーん。(蜂に刺される)。まるけーていなー からじ ゆーてい、じーふぁー さち、いーびなぎー さち、うちなーすがい すん。(時々髪を結って、かんざしを挿し、指輪をして、琉装する)。ちゃーぬ どうく かたさくとう、ゆーさち とうらしえー [=っんべーてい とうらしえー] (お茶があまりに濃いので、お湯を差してくれ)。

**さし いーび** 〈人差し指〉【例】うちなーをうてー っちゅんかいや いーび ぬちえー さんくとう、っちゅさしいーびんでー いらん。さしいーびんでい いーん。うふいーびやうや、をうとう、てーそーやさ んでい いーるばすに ちかいしが、いーびんぐわや ういなぐ、とうじ、うむやーぐわーんかい ちかいん。(沖縄では人に指差しはしないので、人差し指とは言わない、挿し指と言う。親指は親、夫、上司だよという時に使うが、小指は女性、妻、かわいい恋人に使う)。

**さし ぐすい** 〈目薬〉【例】みーぬ あか



どーくとう、さしぐすい いりれー。(目が充血しているので、目薬をさしなさい)。

さし んちゅん 〈差し込む〉【活】～んちゃん、～んかん、～んち 【例】ちちぶさる ばんぐみぬ あくとう、らじお さしんーちょーけー。(聴きたい番組があるので、ラジオを差し込んでおきなさい)。

さた 〈評判、音信〉 【例】ちぬざ ある っちょー ゆぬなかぬ ていふん、あさゆー ちとうみてい さた ぬくすん。(知恵ある者は世の中の手本、朝夕努めて評判を残す)。さたぬ ねーらん。(音信がない)。

さち 〈先端〉 【例】はーいぬ さちっし ちちやがなー はぢち すん。(針の先で突つきながら入れ墨をする)。【参】すーら (梢)。

さち 〈先、将来〉 【例】っちょー あとうさちぬ わかていどう むぬぐとー すん どー。(人は先のことを分かってこそ物事はするんだよ)。さち っんぢ あとう いり。(先に行つて後で言いなさい、回りの意見をよく聞いてから自分の意見を言いなさい)。

さち ぐち 〈手始め〉 【例】ちゅーぬ しゅちえー さちぐちえー ぬー なんとーが?(今日の仕事は先にするのは何か)。

さち だち すん 〈先導する〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】たーがなぬ さちだち(=めーだち) さんねー てーげーぬ っちょー っんぢゆかん／うーてーくーん。(誰かが先導しないと一般大衆は動かない／追って来ない)。

さち でいー っんぢやすん 〈先手を打つ〉【活】～んぢやちゃん、～んぢやさん、～んぢやてい 【例】ぬーぐとう やていん さちでいー っんぢやすしぬ かんぬー。(何事も先手を打つのが肝心)。

さち どうめーい／さち どうみ 〈先妻〉【活】あとう どうめーい／あとう どうみ 〈後妻〉 【例】ういきがー あとうどうめーいや わかーぐわーどう／とうしわらびどう

かちみーる。(男性は再婚相手は若い娘／年下を探す)。

さち ない し が むぬー 〈早い者勝ち〉【活】さち ない しんでー〈先着順〉 【例】さちないしがむぬー やくとう、ふえーみれー。あん やらー、ふえーみらな。(先着順だから、早めにしなさい。そうなら早めよう)。

さち ばい 〈先駆け〉 【例】ういなごー いくさぬ さちばいんでい いーしが、ぬーん あいねー、ういなごー わんからわんから ていがねー しーがどうまんぐいてい いちゅん。(女性は戦の先駆けと言うが、何かあれば、女性は自ずから手伝いをしに馳せ参じる)。【参】条件節における〈何か〉については「ぬーがな」ではなく、「ぬーん」を使って表す。

さち まーい 〈抜け駆け〉 【例】っうえん ちょー うしぬ ちぬんかい ぬてい 「なーどー！」んでい いちやる とうちに とうびんっぢやさーに さちまーい さくとう、じゅーにしぬ いちばん なんとーん。(ネズミは牛の角に乗って「今だ」という時に飛びだして出し抜いたので、十二支の一番目になっている)。

さち 〈札〉 【例】しんゐんさちえー ちゃっさ あが?(千円札はいくつあるか)。

さちゅん 〈裂く〉【活】さちゃん、さかん、さち 【例】いちゃー さちやーに かむん。くふ あさしが、かなーちょーちーねー あじぬ っんぢーん。(イカは裂いて食べる。固いが、噛み続けていたら味が出てくる、かなーししんでー〈噛めば噛むほど〉)。たいが なーか さちゅん くとー たーがん ならん。(二人の仲を裂くことは誰もできない)。

さちゅん 〈咲く〉【活】さちゃん、さかん、さち 【例】あぬ ちるみーぬ あちまいぬ あてい、ちゅいなー ちゅいなーぬ んかし あたるくとうぬ はなしぬ っんぢてい、はなしぬ はなぬ さちよーたん。(同級生の集まりがあり、一人一人の昔あったことの話が出て、話が盛り上がった)。

さち ちりーん 〈咲き誇っている〉【活】～  
ちりたん、～ちりらん、～ちりてい 【例】「なぐ  
ぬ さくらー さちちりとーみ?」「なーだ さ  
ちちってーをうらん どー」(「名護の桜は満開  
ですか」「まだ満開ではないよ」)。

さっこーび 〈しゃっくり〉 【例】さっこー  
び そーいに みじ ぬまーに さかいり し  
みーねー とうまいん。(しゃっくりをしている  
ときに、水を飲んで逆流させたら止まる)。

さっくいー 〈咳〉 【例】さっくいー しー  
ねー、くるざーたーぬ いっちょーる そー  
がーゆー ちゅくてい ぬまさったん。(咳を  
すると、黒砂糖が入っているショウガ湯を作っ  
て飲まされた)。っちゅぬ ちらぬ めーをう  
てー さっくいーや すな。くちえー ていー  
さーに うすてい しえー。(人の顔の前では  
咳はするな。口は手で押さえてしなさい)。

さっていむ 〈さても〉 【例】ふいるまさど  
う あるばすねー 「ゑー、やふんぬ、さって  
いむ、さっていむ」んでい あやーたーが い  
ちよーたん。(不思議に思ったときには「へー、  
そうなの、さても、さても」とお母さんたちが  
言っていた)。

さてい 〈さて〉 【例】さてい、ぬーから は  
じみーしえー まし やが?(さて、何から始  
めればいいのか)。さてい、ゐーくる けーら  
な。(さて、そろそろ帰ろう)。さてい、こーい  
むんから っし くー。(さて、買い物からして  
こよう)。

さとう 〈(芝居や歌劇の中での) 彼氏〉 【例】  
っやー さとー しくちえー ぬー そーが?  
(あなたの彼氏は仕事は何をしているか)。さと  
うぬ まーぬ しちゅが?(彼氏のどこが好き  
なのか)。さとうとー まーをうてい しっち  
ゃが?(彼氏とはどこで知り合ったか)。【参】う  
むやーぐわー (恋人)。

さとういん 〈さとり〉【活】さとうたん、さと  
うらん、さとうてい 【例】うっさ いーちかち

とうらちん さとうえーうーさん。(そんな  
に言い聞かせてあげても悟ることができない)。

さに 〈種〉 【例】なーんかい しちしちぬ  
さに まち、はなぬ さちゅし っういーりき  
さ そーん。(庭に季節の種をまいて、花が咲く  
のを楽しみにしている)。

さば 〈ぞうり〉 【例】んかしえー あしぢゃ  
ー あたしが、でーぬ たかさぬ、どうーくる  
あだんばーさば ちゅくてい くどーたん。  
(昔は下駄はあったが、値段が高いので、自分で  
アダン葉草履を作って履いていた)。

さばきーん 〈片付ける〉【活】さばきたん、さ  
ばきらん、さばきてい 【例】ちゅぬくとー ち  
ゅーをうてい さばき よー。あちやーや ね  
ーん どー。(今日のことは今日で片付けな  
さいよ。明日はないよ)。

さばちゅん 〈さばく、髪をすく、薪を割る〉  
【活】さばちゃん、さばかん、さばち 【例】っ  
やーや いゆ さばちうーすみ?(あなたは髪  
をさばけるか)。うきーねー からじえー か  
んたーもーやー そーくとう、さばちーねー  
んーだりーん どー。なま やいねー んーだ  
りーしえー。(起きると髪は乱舞しているので、  
髪をすくと格好がつく。(鏡を見て) 今だっ  
たら見られるんじゃない)。やまから きー と  
うっていちやーに たむん さばちから めー  
さー そーたん。(森から木を取って来て薪を  
割ってから燃料にしていた)。

さばち 〈櫛、くし〉 【例】はたらちやー う  
しぬ ちぬさーに さばち ちゅくいねー い  
ちいちまでいん ちかーりーん。(水牛の角で  
櫛を作ったらいつまでも使える)。

さばに 〈サバニ〉 【例】いちまぬん、ゆなぬ  
ん、うみんちよー さばにさーに いゆ とう  
とーたん。(糸満も、与那国も、漁師はサバニで  
魚を捕っていた)。

さび 〈災い〉 【例】くとうばー ていーちから  
ん さびぬ っんぢーくとう、むぬ いーよー

や ちー ちきり よー。っんぢやちからー  
うしくまらん どー。(言葉1つからでも災い  
になるので、言葉遣いは気をつけなさいよ。出  
してからは押し込めないよ)。

**さび** 〈錆〉 【例】うみぬ はんたーや すー  
かじん ふち、ゆさんでー さがいていーだぬ  
んーだってい、ちむん ふいるくないんねー  
すしが、やー ちゅくいーねー さび すし  
ぬ ふえーさくとう、ゐー くとうん あしが、  
やなくとうん あん。(海の近くは潮風も吹き、  
夕方は夕日が見られて、気持ちも広くなる気が  
するが、家を造ると錆びるのが早いので、よい  
こともあるが、悪いこともある)。さびん とう  
がん ねーらん。(錆も罪咎も何一つ無い、潔白  
である)。

**さびさびーとう そーん** 〈人っ気がな  
い〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】あったー  
やーや ぬーが あんし さびさびーとう  
そーる! っちゅぬ をうるぐとうん ねーん  
さ。(あの人の家は本当に人っ気がないね。人の  
居る気配もない)。

**さび じる** 〈貧弱なおつゆ〉 【例】ぢっちゅ  
ーめー なてい さびじるぬどう あたいさ。  
(月給前になって貧弱なおつゆがふさわしいよ)。  
【参】「さびさびーとう そーる する」の意。

**さふー** 〈作法〉 【例】うやぬ むんならー  
しぬ なてーをうらんくとう、なまぬ ゆーや  
りーぢさふー しらん っちゅぬ まんどー  
ん。(親のしつけがなっていないので、今の世の  
中は礼儀作法を知らない人が多い)。

**さぼーりーん** 〈荒れ果てる〉【活】さぼーり  
たん、さぼーりらん、さぼーりてい 【例】ちか  
ぐろー じん みぐいぬ わっさぬ、ちゃぬよ  
ーな あちねーん うむいる ぐとー ならん  
くとう、さぼーりとーる まちやん うふく  
なてい ちょーん。(近頃は不景気で、どのよう  
な商売も思うようにいかなくて、倒産しそうな  
店も増えてきている)。

**さまいん** 〈冷める〉【活】さまたん、さまら  
ん、さまてい 【例】すばぬ するん ねーん  
なてい ぷつとうるー ないくとう、さまらん  
ばーに ふえーく かめー。(そばの汁もな  
くなって伸びてしまうので、冷めないうちに早  
く食べなさい)。

**さますん** 〈冷ます〉【活】さまちゃん、さまさ  
ん、さまち 【例】うけーめーや っわーびがー  
や さまとーていん なかー にちぬ くまと  
ーくとう、ゆー さまちから かまんねー ぬ  
ーでいー やちゅん どー。(お粥はうわべは  
冷めていても中は熱がこもっているので、冷ま  
してから食べないと喉を焼くよ)。

**さまたげー** 〈妨げ〉 【例】っちゅぬ さま  
たげー すなけー。(人のじゃまはするな)。

**さみーん** 〈覚める〉【活】さみたん、さみら  
ん、さみてい

**さますん** 〈醒す〉【活】さまちゃん、さまさ  
ん、さまち 【例】まぎうとうさーに ちゅばち  
に みーぬ さみてい にんだらん なとーた  
ん。(大きな音で一気に目が覚めて眠れなくな  
っていた)。

**さら** 〈皿〉 【例】うちなーぐちしえー、さら  
ぬ まぎーや 「はーち」、なかていーや 「す  
ーりー」、ぐまーや 「けーうち」んでい い  
ーん。(沖縄語では、大皿は「はーち」、中皿は  
「すーりー」、小皿は「けーうち」と言う)。

**さら〜**〈まったくの〉 【例】さらみーむん (ま  
ったくの新品)。さらふりむん (どうしようもな  
い馬鹿)。さらわかむん (まったくの若者)。さ  
らいちでーじ (たいへんな一大事)。さらわしー  
(ど忘れ)。【参】日本語の「まっさら」(真新)、  
「まっしろ」(真っ白)の「まっ」は〈まったく  
の〉を意味し、「さら」(新)を強めているが、沖  
縄語では「さら」の方が強意の接頭辞である。  
**さら ばんじ** 〈最盛期、絶頂期〉 【例】る  
くじゅーや さらばんじゃー。(60歳は最盛

期にある者だ)。っやーや さらばんじどう  
やるむんぬ、とうすい むにーや すな。(あな  
たは最盛期なのに、年寄りのような物言いはす  
るな)。あれー なま さらばんじどう やる。  
(あの人は今絶頂期だ)。

**さら みー むん** 〈真新しいもの〉【例】  
なまぬ わらびんちゃーぬ すがいよーや さ  
らみーむん ちーしやかにん あまくま ちり  
さきとーる むん ちち あっちょーん。(今  
の若者たちのファッションは真新しいものより  
もあちこち切り裂かれたものを着ている)。

**さら まくとう** 〈馬鹿正直、お人好し〉【活】  
さら まくとうー〈馬鹿正直の者〉【例】さら  
まくとうぬちょー すんじぐとう ないる く  
とうん うふさ しが、さらまくとうーんかえ  
ー ゆみぬ いやー たたんでい いらっとー  
くとう、さらまくとうーや たから どー。(馬  
鹿正直の者は損をすることも多いが、お人好し  
の者には弓矢は立たないと言われているので、  
お人好しは宝だよ)。

**さわい** 〈障り、病気=やんめー〉【例】たん  
ぬ さわい(肺病、結核)。しんぬ さわい(精  
神異常)、=ちむぬ やんめー。たんぬ さわい  
かかてい ゆくとーん。(結核で療養してい  
る)。ぬーぬ さわいっし いさぬやー かか  
とーが?(何の病気で通院しているか)。にちぬ  
ある ばすに ゆーふる いーねー、さわい  
ぬ ちゅーく ないん。(熱があるときに風呂  
に入ると、悪化する)。やーぢゅくい、やーう  
ーちー、にーびち、うゆうえー、たび、はかぢ  
ゅくいぬ ふいー とういるばすねー、ぬーさ  
わいん ねーらん ふいー いらでい すん。  
(家造り、引っ越し、結婚、お祝い、旅行、墓造  
りの日取りをする際には、何の抵触もない日  
を選んでする)。**【参】**さーい(つわり)。

**さらすん** 〈色が抜ける〉【活】さらちゃん、さ  
らさん、さらち 【例】がーぎぶし さんねー、  
いるがらぬ むる さらさりーん どー。(陰  
干ししないと、色柄がすべて抜けてしまうよ)。

**されーいん** 〈浚う〉【活】されーたん、され  
ーらん、されーてい 【例】うみぬ はんたーん  
かい ある むらぬ しがりなみんかい むる  
されーらってい ねーらん。(海に近くにあ  
る村が津波にすべて浚われてしまった)。

**さわいん** 〈体に障る〉【活】さわたん、さわ  
らん、さわてい 【例】はなしち そーる ば  
すねー ゆくらんとー どうーんかい さわい  
ん。(風邪をひいているときに休まないと体に  
支障を来す)。

**さわぢゅん** 〈騒ぐ〉【活】さわちゃん、さわ  
がん、さわぢ 【例】わったー しかいぬぬ あ  
びたくとう ぬーやが? いったー しかとう  
じぬ さわぢどう まぎさる。(私の家の臆病  
犬が吠えたからって何なのか。あなたのところ  
の臆病妻の騒ぎこそ過ぎている)。

**さん** 〈お産〉【例】さんぬ っんぶさる っち  
よー ちゅい なすしんちょーん でーじ や  
しが、さんぬ かっさる っちよー っくわな  
さー やてい ちゃっさ やていん なすん。  
(お産が重い人は一人産むのさえも大変だが、お  
産が軽い人は多産でどれだけでも産む)。

**さん** 〈魔除け〉【例】ぐしちぬ ふあー と  
うてい あじまーむしび しーねー さん な  
いん。(すすきの葉を取って十字結びをすると  
魔除けになる)。

**さんぐわち あしび** 〈三月遊び(旧暦の  
3月3日)〉【例】さんぐわちあしびねー や  
ーにんじゅ すりてい はまうりっし ういな  
ぐわらびんちゃーんかい からふいさーっし  
しな くだみらしみーん。(三月遊びには家族  
揃って浜に降りて女の子たちには裸足で砂を踏  
みつけさせる)。**【参】**「さんぐわちやー」とも言  
う、くんぴらかすん(踏みつぶす)、くだみーん  
(踏みつける)。

**さんさなー** 〈クマゼミ〉【例】「さんさなー  
や」 なちぐいーから ちきらっとーる なー

やてい まぎー やしが、あまはい くまはい そーてい うていちちぬ ねーん ういながんかいん 「さんさなー」んでいん いーん。(「さんさなー」は鳴き声から付けられている名称で大型だが、あっち行ったりこっち行ったりして落ち着きがない女性にも「さんさなー」と言う)。

**さんしん** 〈三線〉 【例】さんぐわちゆっかー さんしんぬ ふいー やん。なまー うちなーびけー あらん、ゆすぐにをうていん さんしん ふいちゃーに しまうた うたていすじょー する っちゆぬちゃーぬ うふく なんとーん。(3月4日は三線の日である。現在は沖縄だけではなく、外国でも三線引いて島唄を歌って楽しむ人たちが多くなっている)。むかしえー はぶがー はてい ちゆくらっとーる さんしんどう やたしが、はぶぬ いきらく なんとーくとう、はぶがー さんしの一 でー

ぬ あがてい ちょーん。(昔はハブ皮を張って作られている三線だったが、ハブが少なくなっているので、ハブ皮三線は値段が上がって来ている)。

**さんじんそー** 〈占い師〉 【例】さんじんそーや だきぬ うめーしぬ ぐとーる むんちかてい さんみん すん。(占い師は竹の箸のような物を使って占いをする)。

**さんにん** 〈月桃〉 【例】さんにんがーさっし にぢりめー ちちでい がっこーんかいむたさったん。(月桃の葉でおにぎりを包んで学校に持たされた)。

**さんみん** 〈計算、判断〉 【例】くれー さんみん ばっペー やたさ やー。(これは判断ミスだったね)。さんみぬんかい ばっペーぬ あてーいぎさん。(計算に間違いがあったようだ)。

# し、じ

しー 〈元気、精〉 【例】しー ぬぎとーる  
っちゆぬ ぐとうっし いるぬ わっさぬ、む  
ぬ かでい ぬーん さんぐとう にんたいほ  
ーたい そーきわどう むとうんかい むどう  
いん どー。(精気が抜けている人のように顔  
色が悪いので、食事して何もしないで寝転んで  
いれば回復するよ)。しー ぬぎとーるぐとう  
うふとうるばいっし ぬーん あいどう す  
たがやー？(気が抜けたようにぼんやりして何  
があったのかねえ)。

しー 〈背丈、身丈〉 【例】わかどうえー しし  
ぬ やふあらさぬ、あじぬ あてい まーさし  
が、ぐまいよー みーぬ いきらさぬ、んちぶ  
ったー やてい かみん ならんくとう、まぎ  
いゆ こーいしどう いみ すん。うぬよーな  
わきぬ あてい「とうい こーらー かじ  
こーり、いゆ こーらー しー こーり」んで  
いる いーちてーぬ あん。(若鶏は肉がやわ  
らくて、味もあっておいしいが、小さい魚は身  
が少なくて、尖った骨だらけで食べられないの  
で、大きな魚を買うのが増えてお得である。そ  
のような理由で「鶏を買うなら数を買ひ、魚を  
買うなら身丈を買ひなさい」という言い伝えが  
ある)。

しー 〈巢〉 【例】ほーとうぬ しーや くー  
りらんぐとう ゆだ ちかてい あまーに ち  
ゆくらっとーしが、そーみなぬ しーや や  
ふあらさる くさとう わらっし あでい ち  
ゆくらっとーん。(鳩の巢は壊れないように枝  
で編んで作られているが、メジロの巢は柔らか

い草とわらで編んで作られている)。

しー 〈岩〉 【例】なーんかい まぎしー う  
ちきてい、いちん ちゆくてい、でーだかー  
きー っういーてい、じん かきてい ちゆく  
てーたん。(庭に大きな岩を置いて、池も作り、  
値の張る木も植えて、お金をかけて造ってあっ  
た)。

しー 〈負債〉 【例】しーとう やんめーや  
かくするむのー あらん。(借金と病いは隠す  
べきではない)。しーぬ ふいなん。(負債が  
減る)。

しー いみやー 〈借金取り〉 【例】しわー  
し ないねー、しーいみやーや ぬちちりばい  
じん あちみーが あっちゆん。(師走にな  
ると、借金取りが懸命に集金に出歩く)。

しー ばれー 〈負債払い〉 【例】やーぬ  
しーばれーん うわてい なまー うみなーく  
なとーん。(家の借金返済も終わって今はほ  
っとしている)。

しー 〈「すん」という動詞語幹の名詞化、す(ん)  
+い〉 【例】「語は少なくとも2拍を保持しな  
ければならない」という原則により「しー」又  
は「っし」になる。。

しー くたんでい 〈過労〉 【例】ぬーにん  
かぎん でいーる むんぬ あくとう、しー  
くたんでい とういるまでい すしえー あら  
ん。(何事にも加減というがあるので、過労に  
なるまでするものではない)。

しー うわいん 〈やり終える〉【活】～うわ  
たん、～うわらん、～うわてい 【例】うり しー

うわいしえー いち ないが？(それをやり終えるのはいつになるか)。

しー かきーん 〈やり始める〉【活】～かきたん、～かきらん、～かきてい 【例】さんねーならん くとー ふえーみてい しーかきとーしえー まし。(しなければならぬことは早めにやり始めるのがいい)。

しー がねー 〈意地っ張りになること〉【例】たーんかい やていん むぬぐしぬ あくとう、しかんむぬんかえー しーがねー する くとん あしが、ちむぬ あん なくとう しかたー ねーらん。(誰にでも好き嫌いはあるので、嫌いなものには意地っ張りになることもあるが、心がそうになってしまうのでしょうがない)。

しー けーすん 〈やり返す〉【活】～けーちゃん、～けーさん、～けーち 【例】かんくーらったくとうんでいち、ぬぬぐとう っちゅ かんくーてい しーけーし する むのー あらん。(噛みつかれたからといって、同じように人に噛みついてやり返すものではない)。

しーしー はーはー すん 〈ふうふう言う〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】たんかーぬ おばさのー たーちぬ ていーや みっちゃかー にー むちゃーに、しーしーはーはーっし ふいら ぬぶとーたん。(向かいのおばさんは両手いっぱい荷物を持って、ふうふう言いながら坂を登っていた)。

しー どーり 〈過労で倒れること〉 【例】「すいんちよー ちーどーり、なーふあんちよー くえーどーり、とうまいんちよー しーどーり」んでい いらっとーたしが、ゆぬなかーゆちく なてい、ちーるむぬん かむるむぬん ていーんかい いりーしえー どうーやしく なくとう、うぬ くとうばー ちかぐろー ちちえーんーだん。(「首里の人は着倒れ、那覇の人は食い倒れ、泊の人は過労倒れ」と言われていたが、世の中は豊かになって、着るものも食べるものも手に入れ易くなっている

ので、その言葉は近頃は聞いたことがない)。  
しー なし 〈仕上げ〉 【例】さびむん や

ていん しーなしどう やるんでい いらっとーしが、でーだかーむのー ていー ちきらん ていん まーさん。(粗末な材料でも料理次第と言われているが、高級食材は料理しなくてもおいしい)。

しー のーすん 〈やり直す〉【活】～のーちゃん、～のーさん、～のーち 【例】ちむ ふがん しーよー しえーくとう しーのーし しわどう やる。(気に喰わない仕方をしているので、やり直ししないといけない)。

しー なりーん 〈し慣れる〉【活】～なりたん、～なりらん、～なりてい 【例】たーが ぬーしん しーなりーねー、あとー っちゅならーさー ないん。(誰が何をしても、後々は人に教えるほどの人になる)。

しー はな 〈できたて〉 【例】むぬん ちやーん ぬだいかだい すしえー、しーはなぬ まーさん。(食べ物もお茶も食べたり飲んだりするのは、できたてがおいしい)。

しー やんぢゅん 〈しくじる〉【活】～やんたん、～やんだん、～やんてい 【例】ぬー やていん あとうさちん かんげーていから さんねー、しーやんぢゅん どー。(何でも後先も考えてからしないと、しくじるよ)。

しー やんぢ (ぐとう) 〈やりそこない(事)〉 【例】しーやんぢぐとう あたていどう あとー なてい いちゆる。(失敗してこそ後に事がうまく運ぶ)。

しー わじゃ 〈行為、行い〉 【例】「あれー わーが くまとーるくとう ちゅーごーしん かんげーていくいらんさー。ぬーんち やがやー?」「っやーや まるふいーじーぬ しーわじゃぬ わっさくとう、あん なくとうさ」(「あの人は私が困っていることを相談しても考えてくれない。どうしてなのかねえ」「あなたはいつもの行いが悪いので、そうになっているんだよ」)。

じー 〈字〉 【例】くれー たー じー やが? じーぬ ちゅらさっさー。(これは誰の字なのか。字がきれいだね)。あれー じーや ふい

た どー。(あの人は字は下手だよ)。

**しーん、しゅん** 〈知る〉【活】しっちゃん、  
しらん、しっち 【例】うかみがなしーや ぬー  
やていん しっちよーみしえーん。(神様は  
何でもご存知でいらっしゃる)。

**しーん、しゅん** 〈こする、さする〉【活】し  
たん、しらん、してい 【例】なちぬ にんだら  
ん とうちねー、っんめーが はじちぬ てい  
ーっし くしながに していくいーたん。(夏  
の眠れないときには、おばあさんが入れ墨の手  
で背中をさすってくれたものだ)。

**しーいん／しーゆん** 〈(いったん煮たも  
のが) 腐ってすっぱくなる〉【活】しーたん、し  
ーらん、しーてい 【例】ゆさんでい かだる  
しる たぢらさんぐとう うちきてーたくと  
う、していみていまでいねー ちゅらーさ し  
ーとーたん。(夕方に食べたおつゆを暖めない  
で置いてあったので、朝には完全に腐ってすっ  
ぱくなっていった)。うぬ めーぬ／かていむん  
や しーとーくとう うっちゃんぎれー。(そ  
のご飯が／おかずは腐っているので、捨てなさい)。  
っんむぬ しーねー、いーちゅー ふいち  
かまらん ないん。(芋が腐ると糸を引いて  
食べれなくなる)。

**しー らすん** 〈腐らす〉【活】しーらちゃん、  
しーらさん、しーらち

**しー かじゃ** 〈腐れた匂い〉 【例】うぬ  
っんもー しーかじゃ そーくとう、 かまん  
しえー まし どー。(その芋は腐れた匂いを  
しているので、食べないほうがいいよ)。

**しーいん／しーゆん** 〈おまけとして添え  
る〉【活】しーたん、しーらん、しーてい 【例】  
くみ こーいが いちねー、「ていーぬ みー  
や しーとーかやー」んでい しーぶん すた  
ん。(米を買いに行くと、「手いっぱいはおまけ  
するね」といっておまけをしてくれたものだ)。  
ししとう いよー こーいっうえーかから こ  
ーとーしが、こーいる かーじ しーていくい

ーくとう、ちむまでいん ゆちく ないん。(肉  
と魚はなじみの店から買っているが、買うごと  
におまけを添えてあげるので、心までも豊かにな  
る)。

**しー ぶん** 〈おまけ〉 【例】ちゃー あま  
ぬ まちやをうていどう こーとーしが、なま  
までー ちゅけーぬん しーぶん さんぐと  
う、なー あまをうてー こーいぶしこー ね  
ーん。(いつもあそこの店でかっているが、今ま  
で一度もおまけしないので、もうあそこでは買  
いたくない)。

**しーきーん** 〈押しやる〉【活】しーきたん、し  
ーきらん、しーきてい 【例】っちゅぬ あっち  
ゆる とうくる やくとう、っやー かぼのー  
あまんかい しーきれー (人があるところ  
なので、あなたのカバンはあそこに押しやんな  
さい)。【参】しーちゅん。

**しーぐ** 〈小刀、ナイフ〉 【例】しーぐん し  
るむぬん むっちえー ひこーきんかえー ぬ  
ららん。(ナイフも液体も持っては飛行機には  
乗れない)。

**しーくい めーくい すん** 〈ふらふ  
らする、生活にあえぐ〉【活】～さん、～さん、～  
っし 【例】さき ぬみぢゅーさぬ、ふいさん  
たたん なてい しーくいめーくいっし あっ  
ちよーん。(酒を飲み過ぎて、足も立たなくな  
ってふらふらと歩いている)。あっちはじみー  
ぬ わらべー しーくいめーくいっし あっち  
ゆくとう みー はなさらん。(歩き始めの子  
はふらふらして歩いているので目が離せない)。  
しー かたみてい しーくいめーくい そー  
ん。(借金をして生活にあえいでいる)。

**しーくむん** 〈炊き置きする〉【活】しーくだ  
ん、しーくまん、しーくでい 【例】とうじぬ  
2、3にち たびんかい やくとう、しーくみ  
しえーん。(妻が2、3日旅行なので、炊き置  
きしている)。なーだ とうじん とうめーら  
らん どうーちゅいむんどう やくとう、ちゃ



ー しーくみ そーん。(まだ妻も見つけられない独り者なので、いつも炊き置きしている)。

**じーぐい** 〈不平〉 【例】あれー じーぐふ あー どー。(あの人は気むずかしいよ)。

**じーぐい すん** 〈不平不満をいう〉 【活】～さん、～さん、～っし 【例】あれー くみぬ まーこーねーんとうか、あふあさぬ かまらんとうか、あんだぢゅーさぬ かまらんとうか、ぬー やん くいー やんでいち むんぬ じーぐい すん。(あの人は米がおいしくないとか、味が薄くて食べれないとか、脂っこくて食べれないとか、ああだこうだといって食べ物の不平不満を言う)。

**じーぐい ひゃーぐい** 〈不平不満〉 【例】あれー じーぐいひゃーぐいぬ うふさん。(あの人は不平不満が多い)。

**しーくわ** 〈スイカ〉 【例】うちなーをうてーくーりじまぬ しーくわ、ちきんぬ あかちでーくにーや いっペー まーさんでい いらっとーん。(沖縄では古字利島のスイカ、津堅の赤ニンジンとはとてもおいしいと言われている)。なちじのー しーくわういぬ まーさどうくる やてい、なち ないねー まーんぢ やていん こーらりーん。(今帰仁はスイカの産地で、夏になるとどこでも買える)。

**しー くわーさー** 〈シークワサー〉 【例】しーくわーさーっし ばさーだん あらいねー いるふいちゃい すしが、なまー ぬみむん ちゅくたい、くわーし ちゅくいるばすに いったい、さしみんかい かきたいっし いるかじぬ くとぅんかい ちかーっとーん。(シークワサーで芭蕉布を洗うと光沢が出るが、現在は飲み物を作ったり、お菓子を作ると時に入れたり、刺身にかけたりしていろいろなことに使われている)。【参】しーさん(すっぱい)。

**しーし** 〈獅子〉 【例】まちりねー かりーちきーる たみに しーしけーらしぬ／しーし

もーらしぬ あん。(祭りには嘉例をつけるために獅子舞がある)。

**しーし** 〈煤〉 【例】っちゅぬ しまん やーや しーし くーてい たでーま よーいん。(人が住まない家は煤けてすぐに弱る)。たむんめーする ばそー ふいーふちゃー ちかてい ふいー うくちよーたくとう、ちらー しーし かんてい ふいんがーまーう ないたん。(薪を燃やす際は火吹きを使って火を起こしていたが、顔は煤だらけで汚れ猫のようになった)。

**じーし がーみ** 〈厨子甕〉 【例】くれーぬ まぎさる っちゅぬ じーしがーみんかい いりらったん。(位の高い人が厨子甕に入れた)。

**しーじゃ しんでー** 〈年長順〉 【例】うゆうえーぬ くわっちーや しーじゃしんでーうさぎーん。(お祝いのご馳走は年長順にお出する)。

**しーちゅん** 〈つめて寄る〉 【活】しーちゃん、しーかん、しーち 【例】なー ちゅい ちゅーくとう、しーちゃーに あきとーけー。(もう一人来るので、詰め寄って空けておいて)。あんどーう いーばーしーちゃー そーる とうくるんかえー たーん めららんくとう、あまんかい しーけー。(そんな狭苦しいところには誰も座れないので、あちらに詰めて寄ってくれ)。わーが しーちゅくとう、くまんかい めみそーれー。(私が退くので、ここにお座りください)。

**しーちゃー くわーしえー** 〈押し合い〉 【例】しーがくしーぬ くる、ぎーたー さーに しーちゃーくわーしえー あしび ゆーすたん。(小学生の頃、片足跳びして押し合いする遊びをよくしたものだ)。

**じーなー** 〈蛸〉 【例】じーなーや ちゅらみじぬ ある とうくるんかい しどーしが、んーちゃい とうたい する ばすねー、じー

なーびーや はぶぬ みーぬ ふいちゃいしと  
う まったち にちょーくとう、みーうち す  
しとう さんし さーに みーわきり よー。  
(蛍は清水があるところに棲息しているが、観た  
り捕ったりする際には、蛍火はハブの目が光っ  
ているのとまったく似ているので、まばたきす  
るのとしないので見分けなさいよ)。

じーぬー 〈芸能〉 【例】 じーぬー むちゃ  
ーや いちちょーし すじょー ないん。(芸  
持ちは生きているのを楽しめる)。

しーっういー 〈手豆〉 【例】 わらび そー  
いに めーなち てつぼー さーに、ていーぬ  
わたー しーっういーぶったー そーたん。  
(子どもの頃に毎日鉄棒をして、手の内側は手豆  
だらけだった)。

しーばい 〈小便〉 【例】 ふいーく ないね  
ー しーばい すしぬ うふく ないん。(寒  
くなると小便するのが多くなる)。

しーばい ぶくる 〈膀胱〉 【例】 しー  
ばいぶくろー ういなぐん ういきがん あし  
が、つくわぶくろー ういなぐびけーんどう  
ある。(膀胱は男も女もあるが、子宮は女しかな  
い)。

じーふあー 〈かんざし〉 【例】 まるけーて  
ー じーふあー さち、いーびなぎーん はち、  
たーび くまーに、うちなーすがいっし をう  
どうい ならいが いちゅん。(時にはかんざ  
しを挿して、指輪もして、足袋をはいて、琉装  
して踊りを習いに行く)。

しー いっぺー すん 〈精一杯する〉  
【例】 なまー わじゃん ねーん なてい、いち  
ちゅしん しーいっぺー そーん。(今は仕事  
もなくなって、生きるのも精一杯している)。

しーみー 〈清明祭〉 【例】 うちなーぐゆみ  
ぬ さんぐわちぐるに やーにんじゅ するて  
い うふあかんかい っんぢやーに、うさんみ

うじゅー うさぎてい うやふあーふじぬ ぐ  
くよー すん。(旧暦の3月頃に家族揃ってお  
墓に行って、重箱をお供えして御先祖のご供養  
をする)。

しーむん 〈吸い物〉 【例】 ふいーじーぬ  
うしるとー ちがてい、しーむのー わた み  
ちゆる あたいぬ みーや いっちょー をう  
らん。(普段のおつゆとは違い、吸い物はお腹が  
いっぱいになるほどの具は入れてはいない)。

しーよー 〈仕方〉 【例】 っやー しーよー  
や ぬーんでいーる しーよー やが?(あな  
たの仕方はなんという仕方なのか)。

しーら 〈病み気、苦しみ〉 【例】 っくわ な  
ちやる あとう ちゅちちえー、しーら いー  
くとう みじしくちえー ふいけーりよーんで  
い いらっとーん。(産後の一カ月は、病み気が  
入るので水仕事は控えなさいと言われている)。  
しわぐとうぬ どうく ちゅーさぬ、しーら  
いっちょーん。(心配事があまりにも多くて、苦  
しんでいる)。

しーん、しゅん 〈知る〉【活】 しっちゃん、  
しらん、しっち 【例】 ありが くとう ちゃぬ  
あたい しっちょーが?(あの人の事をどれ  
ほど知っているか)。っんまー ぬてい しり、  
っちょー ふいらてい しり。(馬は乗って知  
れ、人はつき合って知れ)。しっちょーるっちゅ  
からどう もーきらりーる。(商売は商売なの  
で、物事は割り切って、顔見知りからも利益を  
得る)。

しーん、しゅん 〈擦る〉【活】 したん、し  
らん、してい 【例】 ペンキぬ ゆぐれー さ  
ふんさーに いかな していん うていらんた  
ん。(ペンキの汚れは石けんでいくら擦っても  
落ちなかった)。くしながに していくいれー。  
(背中を流してくれ)。でーくに しれー／しり。  
(大根をすりつぶしなさい)。でーくに しりし  
りー (大根おろし器)。

**しえー** 〈バツタ〉 【例】しえーぬ うすまさ  
わちゆる ばすん あん。(バツタは大量発  
生するときもある)。

**しえーべー** 〈おせっかい〉 【例】しえーべ  
ーや どうーかっていー する くとうどう  
やくとう、するめーねー えーていぬ くとう  
かんげーていから すし やん。(おせっか  
いは自分勝手にすることなので、する前には相  
手のことを考えてからすべきだ)。【参】「っわ  
ーばぐとう」とも言う。

**しえーく** 〈大工〉 【例】いしじえーこー て  
ーげー とうしかた やてい わかむぬんかえ  
ー いきらく なんとん。(石大工はだいたい  
年齢がいていて若者には少なくなっている)。  
しえーこー どうーぐ まさい。(大工の仕事  
は道具次第)。

**しえーうえー** 〈幸せ〉 【例】しえーうえー  
や なんくる ちゅーる むのー あらん、ど  
うーくる 勝ちみーし やん。(幸せは勝手に  
やって来るものではない、自分でつかまえるも  
のだ)。

**しえーじゅく** 〈催促〉 【例】からちえーる  
じんぬ しえーじゅく しーが なまから  
いちゆる とうくる やん。(貸したお金を催  
促しに今から行くところだ。【参】「しえーじ  
ゅく しーが」よりも「いみーが」をよく遣う。

**しえーち** 〈才知〉 【例】しえーちえー い  
ちでー、まくとー まんでー。(知恵で得たもの  
は一代限り、真の心はいつまでも変わらない)。

**しえんするー** 〈糸とんぼ〉 【例】しえん  
するーや、あーけーじゅーとー かわてい、ま  
ぎこー ねーんしが、おーるー、あかー、ち  
ーるー そーしぬ をうん。(糸とんぼは、トンボ  
とは違って、大きくはないが、青色、赤色、黄  
色をしているのがいる)。

**しかー (ぐわー)、しかぼー** 〈臆病者〉  
【例】にち っんぢてい あんまさ そーる

ばすに、ふしこー ねーんていん かまんねー  
くんちぐわー ねーん なてい、うぬまま  
ないねー でーじんち、しかしかそーてい か  
むるくとうんかい 「しかがみ」すんでい い  
ーん。(熱が出て気分が悪いときに、欲しくなく  
ても食べないと元気がなくなって、そのままでは  
大変だとおどおどしながら食べることに「し  
かがみ」すると言う)。

**しがいん** 〈すぎる〉【活】しがたん、しがら  
ん、しがてい 【例】うやぬ じんびけー しが  
てい はたらちゅんちん さんねー あとー  
ぬーん ならんぬー ないん。(親のお金だけ  
にすがって働こうともしないと終いには何も出  
来ない人になってしまう)。かなしーぐわーん  
かい しがらってい うまーりーしえー っう  
いーりきさー あしが、うまーりぢゅーさいね  
ー いーちまでいー すん。(恋人にすがられ  
て慕われるのは嬉しくはあるが、度が過ぎると  
息苦しくなる)。

**しかきーん** 〈仕掛ける〉【活】しかきたん、し  
かきらん、しかきてい 【例】そーみなー とう  
いんでいち しかきとーたしが、まるふいつち  
ー かかていん ていーちぐわーんちよーん  
とうららんたん。(メジロを捕ろうと仕掛けて  
いたが、まる一日かけても一匹さえも捕れなか  
った)。

**しかすん** 〈なだめる、だます〉【活】しかち  
やん、しかさん、しかち 【例】なちよーる わ  
らび うーふあっし しかすん。(泣いている  
子をおんぶしてあやす)。んかしえー ういな  
ぐしかさーぬどう うふさたしが、なまー う  
いきがしかさーん うふさん。(昔は女性をだ  
ます男が多かったが、今は男をだます女性也多  
い)。

**しかしー まーしー すん** 〈なだめすか  
す〉 【例】うれー うふえー むちかしー  
っちゅ やくとう、しかしーまーしーっしどう  
ふいらーりーん どー。(その人は少しむつ  
かしい人なので、なだめすかしてからがつき合

えるよ)。

**しかしかー すん** 〈びくびくする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】あぬ っちゅどうやくとう、しかしかーさんぐとう いぢり むっち しー よー やー (同じ人間だから、びくびくしないで勇気を出してしなさいね)。

**しかた** 〈仕様〉 【例】っやーが まちえーるさにどう やくとう、あん いらったんてーまん しかたー ねーらん くとう やさ。(あなたが撒いた種だから、あんなに言われてもどうしようもないことだ)。

**しかむん** 〈怖じけずく〉【活】しかだん、しかまん、しかでい 【例】じゅんさんかい ゆびとうみらっていん、ぬーぬ やなくとうん しえー ねーん むん やらー しかむる くとー ねーらん。(警官に呼び止められても、何の悪い事もしてはいないのなら怖じけずくことはない)。にんとーる ぼーじゃーぬ めーをうてー あったに あびーねー しかでい なちゅん どー。(寝ている赤ちゃんの前で急に大声を出すと思われて泣いてしまうよ)。

**しかみー ぐるぐる すん** 〈びくびくする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】っやーやしかみーぐるぐる そーくとう いぬんかい くーらりーさ。(お前はびくびくするから犬に噛みつかれるさ)。

**しかますん** 〈脅かす〉【活】しかまちゃん、しかまさん、しかまち 【例】っちゅ しかまちゃん ばすに、「しかまち、かんぱち、さかえまち」んでい いーん。(人を脅かしたときに、「しかまち、かんぱち (頭の傷跡)、さかえまち (栄町、その昔のあぶない所)」と言う)。

**しか むどうち** 〈鹿もどき〉 【例】しかむどうちん、いなむどうちん、なまー っわー じしんかい くんやく、ちぬく、かしていらかまぶく いってい しるんーすさーに ちゅくてーん。(鹿もどきも、猪もどきも、今は豚肉にこんにゃく、キノコ、かすてらかまぼこを入れて白味噌で作っている)。

**しがりーん** 〈お金を工面する〉【活】しがったん、しがりらん、しがってい 【例】どうーぬ やー ちゅくたしが、ぎんこーんかい けーする じん あまくまんぢ しがってい しこーいんち あわり そーん。(自分の家を建てたが、銀行に返すお金をあちこちで工面して準備するのに苦労している)。

**しがり なみ** 〈津波〉 【例】ねーん うとうるさしが、うぬ あとうぬ しがりなみん うとうるさん。(地震も恐いが、その後の津波も怖い)。

**しかん すん** 〈嫌う〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】うんぐとう むぬいーよー しー ねー、っちゅんかい しかん さりーん どー。(そのようにものの言い方をすると、人に嫌われるよ)。

**じかん** 〈時間〉 【例】ぬち かぎり はたらち じんぬ ある ばすねー じかんぬ ねーらん やてい、じかんぬ ある ばすねー じのー ねーらん。(一生懸命働いてお金があるときには時間がなくて、時間があるときにはお金はない)。

**しきん** 〈世間〉 【例】みっちゃい すりれー しきん。(三人寄れば世間)。でんさーぶしんかい しきんぬ いましみ うたーらっとーん。(デンサー節に世間の戒めが唄われている)。  
しきん うまんちゅんかい うちなーぬ ゑいさーぬ しらっていちょーん。(世間の人々に沖縄のエイサーが知られてきている)。

**しきーん** 〈食べ物を煮る用意をする、米をといで準備する〉【活】しきらん、しきとーん、しきたん 【例】くめー あらてい しきてーみ? (米はといで準備してあるか)。くみ しきてい うちきとーけー。(米を炊く準備をして置いておきなさい)。くみ しきてい めしれー。(米を炊く準備をしてかまどに用意しなさい)。しきてーくとう ふいー ちきれー、うっぴ しーねー なー なー やさ。(炊く準備

をしてあるので、火をつけなさい。それだけしたら、もう終わりだ)。うぶん うさがみそーれー。(ご飯お召し上がり下さい)。むぬ にれー。(食べ物煮熟なさい)。がんしな しきていばーき かみてい むむうやー そーたん どー。(運搬用クッションを置いてカゴを頭に乗せて、桃売りをしたんだよ)。【参】「くみ たちゅん」(米を炊く)とは言わない。めーまかい(ご飯茶碗)、しるまかい(おつゆ茶碗)、うぶん(ご飯一式)。

**しぎーん** 〈すげる、差し込む〉【活】しぎたん、しぎらん、しぎてい 【例】しょーがくしーぬ くろー、 なふだ しぎらんねー、ばちとうっし ろーかんかい たたさりーたん。(小学生の頃は、名札をつけないと、罰として廊下に立たされたものだ)。なち ないねー、うちなーんかい たび しーが ちょーる ういなぐぬちゃーが からじんかい あかばなー しぎてい しだすがいぐわーっし しまさば くでい なーふあぬ まち つういーりきさっし あっちょーん。(夏になると、沖縄に観光に来ている女性たちが髪にハイビスカスをすげて涼しい格好をしてゴムゾウリを履いて那覇の街を楽しそうに歩いている)。

**しき むん** 〈敷物〉【例】ふいーく なたくとう、ぬくさる しきむん ふしどーん。(寒くなったので、暖かい敷物が欲しくなっている)。

**しきん** 〈世間〉【例】みっちゃいから しきん、くちえー ちちしみ よー。(三人から世間なので、口は慎みなさいよ)。しきんや みーやくとう、やなくとー さん どー。(世間は何でもお見通しなので、悪い事はしないよ)。

**しくち** 〈仕事〉【例】しくちん さんぐとうやーをうてい かだいにんたい そーる なまたりむんぬ わかむんぬちゃーが ちかぐるうふく などーん。(仕事をしないで家で食べたり寝たりしている怠け者の若者たちが近頃増えている)。しくちえー しくちぬどう ならーする。(仕事は仕事が教えてくれる)。

**しくむん** 〈仕込む〉【活】しくだん、しくまん、しくでい 【例】うちなーぐゆみぬ しわーしぬ はちにちえー うにむーちーぬ ふいーやてい、めーぬ ふいーから むちぐー しくでい、やーにんじゅさーに むちぐー あーち かーさーんかい ちちでい かーさーむーちー ちゅくてい かむん。(陰暦の12月8日は鬼餅の日で、前日から餅粉を仕込んで、家族で餅粉を練って月桃の葉で包んでカーサームーチーを作って食べる)。

**しこーいん** 〈準備する〉【活】しこーたん、しこーらん、しこーてい 【例】なまからどう ゆーばのー しこーいくとう、なー けーらんねー ならん。(これから夕ご飯の支度をするので、もう帰らないといけない)。

**しこーい むこーい** 〈準備〉【例】うゆうえーぬ しこーいむこーえー さねー ならんしが、なーだ ぬーん しえーをうらん。(お祝いの準備をしないと行けませんが、まだ何にもしていない)。ゆーばんぬ しこーいむこーえー なんとーみ?(夕飯の準備はできているか)。やまとうんかい いちゆる しこーいむこーえー なんとーみ?(本土に行く準備はできているか)。【参】単純作業に対して「しこーい」、手のかかる準備には「しこーい むこーい」を遣う。

**しし** 〈肉〉【例】ししえー なまじさーどうこーいん どー。(肉は冷凍していない／新鮮な生肉を買うんだよ)。とうしぬゆーーやくとう、ちゅーや まるちゃじしん かめー。(大晦日なので、今日は‘まな板で切ったばかりの茹でたて豚肉のスライス’も食べなさい)。ししえー ちっちん ゆちゃーいん。(肉は切っても寄り合うように、血縁は切っても切れるものではない)。っわーぬ なまじし(新鮮な豚肉)、うしぬ なまじし(新鮮な牛肉)、ふいーじゃーぬ なまじし(新鮮な山羊肉)。

**しじ** 〈筋〉【例】っやーが いーる くとーしじぬ とうてーをうらん。(あなたが言うことは筋が通っていない)。

**しじ** 〈神霊〉 【例】「しじ、うしじ、うしじめー、うしじがなしめー」のように遣う。。うしじめーや まちらっとーる とうくまんかい めんしえーん。(ご神霊は祀られているところにいらっしゃる)。

**しじか** 〈静か〉 【例】ぐまわらびんちゃーぬ をうらん やーや いっぺー しじか やてい、むぬかんげーや ないしが、ふみかしぬ ねーらん。(小さい子どもたちが居ない家はとても静かで、考え事もできるが、活気がない)。

**ししだま** 〈じゅずだま〉 【例】ししだまぎーや かーらぬ はたぬ んーちゃぬ むいあがとーる とうくまんかい ゆー みーゆん。いーちゅーっし ししだま ぬちゃーに くびか じゃい ちゆくいん。また、しんじむんっし ぬみーねー、けっとーぬ さがいん。(じゅずだまの木は川の端の土が盛り上がっているところによく生える。糸でじゅずだまを通して首飾りを作る。また、煎じて飲むと、血糖が下がる)。

**じしち** 〈時節〉 【例】しだく なてい、ゐー じしち なていちよーん。(涼しくなって良い時節になってきている)。

**ししぢゅん** 〈すすぐ〉【活】ししぢゃん、ししがん、ししぢ 【例】くち ししぢから あじっし まーに。(口をすすいでから味してごらん)。

**ししみーん** 〈進める、勧める〉【活】ししみたん、ししみらん、ししみてい 【例】じかんぬ ねーらんくとう ふえーくなー ししみらな。(時間がないので速く進めましょう)。あとー っやーさーに ししみていくいり よー。(後はあなたで進めてくれよ)。

**しじみーん** 〈片付ける、整頓する〉【活】しじमितん、しじみらん、しじみてい 【例】わんめーや どうーくる すくとう、っやーめーや っやーくる しじみり よー。(私の周りでは自分でするので、あなたの周りでは自分で片付けなさいよ)。

**しじみ かし** 〈整頓〉 【例】しじみかちぬ じょーじな っちょー むぬ かんげーん などーん。(整頓が上手な人はものの考え方もできている)。

**しじむん** 〈沈む〉【活】しじだん、しじまん、しじでい 【例】とうじぬ なしみーんかい けーとーくとう、ちむぬ しじどーん。(妻が実家に帰っているの、心が沈んでいる)。

**しじやま** 〈態度〉 【例】あれー しじやまぬ わっさぬ、うやぬ ならーしぬ たらーんくとう、ちむぬ ふどうっういーてー をうらん。(あの人は態度が悪くて、親の教育が足りない、精神が成長していない)。

**したい** 〈したり〉 【例】ゆー でいかちえーさ やー。したいひやー。(よくやったね。よかったね)。

**しだすん** 〈ふ化させる〉 【例】とういぬ くーが しだすしえー さんしゅーかんびけーかかいん。(鶏の卵をふ化させるのには3週間ほどかかる)。(参) しでいーん (孵化する)。

**しだすん** 〈化粧する〉 【例】いちいちまでいん わかげーてい ちゃー ちゅらく をういぶさくとう、ういなごー しだすん。(いつまでも若返っていつも美しくありたいので、女性は化粧する)。

**しだむん** 〈涼む〉【活】しだだん、しだまん、しだでい 【例】んかしえー せんぷーきん クーラーん ねーんたくとう、うとうすいから っくわっんまがまでい きーぬ しちゃ とうめーてい しだどーたん。(昔は扇風機もクーラーもなかった、お年寄りから子ども孫まで木の下を探して涼んでいた)。

**しだ かし** 〈涼風〉 【例】しむちち ない めーねー しだかじぬ ふち、ゐー あんべー やたしが、ちかぐろー ふいじゅるく などーんねー すん。(11月になる前には涼風が吹いて、快適だったが、この頃は冷たくなっている)。

**しち** 〈好き〉【例】たーんかい やていん しちな っちょー をうる むんどう やしが、ぬーんち っやーんかえー をうらんが？(誰にでも好きな人がいるものだが、どうしてあなたにはいないの)。

**しぢーん** 〈過ぎる、やつれる〉【活】しぢたん、しぢらん、しぢてい 【例】いったー わらべー いーぶさかっていー しーぶさかっていーっし しぢとーん。(あなたの家の子は言いたい放題したい放題して度が過ぎている)。ぬー やていん しぢーるくとー ましえー あらん、あんでいーる むのー いたぢらに ないん。(何でも過ぎることはよくない、溢れるものは無駄になる)。くぬ うしぬ ちーちーや ふいーぬ しぢとーくとう、ぬまんしえー まし。(このミルクは期限が過ぎているので、飲まない方がいい)。

**しちきーん** 〈やっつける、しつける〉【活】しちきたん、しちきらん、しちきてい 【例】んかしえー しーじゃぬちゃーんかい ゆばってい、むぬ ならーしんでいち しちきらりーるくとうん あたん。(昔は先輩たちに呼ばれて、しつけるといってやっつけられることもあった)。んかしとう なまとー しちきよーぬかわてい、ていーふいさ っんぢやちやい こーぐわーさー くわーちやい しーねー ならんくとう、わらびんちゃーんかい むぬならーしぬ しーぐりく などーん。やくとう、めーあがいっし うやん うや なさん、しーじゃん しーじゃ なさん。(昔は今とは躰け方が違って、手足を出したりげんこつを喰らわせてはいけなかったので、子どもたちに道理を教えにくくなっている。それで、生意気になって親も親とは思わない、先輩も先輩とは思わない)。

**しちき** 〈しつけ〉【例】なまぬ うやぬちゃーぬ しちきがたー なてーをうらん。(今の親たちのしつけはなっていない)。  
【参】くらしがた(暮らし方)、ちーくがた(稽古の仕方)、しこーいがた(準備の仕方)。

**しちきーん** 〈備え付ける〉【活】しちきたん、しちきらん、しちきてい 【例】なーぬ きーんかい そーみなぬー くー しちきたくとう、そーみなぬー いっちやい っんぢたい そーん。(庭の木にメジロの巣箱を備え付けたので、メジロが出たり入ったりしている)。

**しちぐわち そーぐわち** 〈盆と正月〉  
【例】やまとうんかい をうる っくわー しちぐわちそーぐわちにどう けーていちゅーる。(本土に居る子は盆と正月に帰省する)。しちぐわちそーぐわち しらんねー みーちらりーん どー。(盆と正月を知らないと見捨てられるよ)。

**しちゅん** 〈敷く〉【活】しちゃん、しかん、しち 【例】たたんから じゅーたん しちえーる じゃしちぬ うふく なてい、くらしよーぬ たった うらんだふーじー などーん。(畳からじゅうたんを敷いた部屋が多くなって、暮らし方がだんだん洋式になっている)。

**じち** 〈本当〉【例】じちえー よー。(実はねえ)。じちぬ くとう いれー。(本当のことを言いなさい)。  
【参】ちむんかい むっちょーし いれー(内に秘めていることを言いなさい)。

**しちや** 〈下〉【例】うっちんとうーっし しちやびけー んーぢーねー、っういーぬ みーらんくとう かんばぬんかい ちぶる あーする ばーん あん。(うつむいて下ばかり見ていたら、上が見えないので看板に頭をぶつけることもある)。

**しちや しば** 〈下唇〉【活】っわー しば〈上唇〉 【例】ふいーさいねー くちぬ かーらちゅしが、くちえー しちやしばとう っわーしばから などーくとう、しばさーに んだすん。(寒いと口が乾くが、口は下唇と上唇から成っているの、舌で濡らす)。

**しちや だくまー** 〈こっそりたくらむ者〉  
【例】しちやだくまー たんきり よー。(こっそりたくらむ者に深入りしないでね)。

しちゃ でいー 〈贈収賄〉 【例】うてい  
んぬ しちゃをうてー あくゆく しえー な  
らんどー あしが、ゆくぬ ちゅーさぬ、いち  
ぬ ゆー やていん しちゃでいー ちかいる  
くとうぬ ねーん ないん くとー ねーん。  
(お天道様の下では悪欲をしてはならないが、欲  
が強く、いつの世でも贈収賄が無くなること  
はない)。

しちゃ ぬい 〈下塗り〉 【例】やー ふち  
やーに しちゃぬえー さしが、じんぬ たら  
ーん なてい っわーぬいまでー なーだ し  
えー ねーん。(家を建てて下塗りはしたが、お  
金が足りなくなって上塗りまではまだしてい  
ない)。

しちゃ ばー 〈下歯〉 【例】わらびぬ は  
ーや しちゃばーから みーていちゅーん。(子  
どもの歯は下歯から生えてくる)。

しちゃ ばー 〈下葉〉 【例】をうーじぬ  
しちゃばー かやーに すがち いーち しみ  
ーん。(砂糖キビの下葉を刈って風を通して息  
をさせる)。

しちゃ ばい 〈下方にだらだらと後をひい  
て流れること〉 【例】びちぬ いりむぬんか  
い わきーる ばすに さきぬ しちゃばいっ  
し むとーたん。(別の入れ物に分けるときの  
酒が下にだらだらと後をひいて漏れていた)。

しちゃ ふいち 〈あごひげ〉 【例】あぬ  
っちょー ふいーぢやーぬ ふいちんねーっ  
し しちゃふいじ たていとーしが、っやー  
っわーふいちえー がちまやーぎさこー ねー  
らに？ ふーじえー ねーらん、すてい くー  
わ。(あの人はヤギのヒゲのようにあごひげを  
生やしているが、お前の口ひげは食いしん坊  
みたいではないか。みっともない、剃って来い)。  
【参】がちまやーぎさー あらに？(食いしん坊  
みたいではないか)；がちまやーふーぢーや  
あらに？(食いしん坊みたいではないか)。

しったいん 〈濡れる〉【活】しったたん、し  
ったらん、しったてい 【例】っやー からじ  
えー んでいてい しったとーくとう すすれ

ー。(あなたの髪は濡れているので拭きなさい)。  
しったい ないん 〈濡れる〉【活】～なた  
ん、～ならん、～なてい 【例】んていばたばたっ  
し いーねー しったい ないくとう、すすて  
いから うちんかい いり よー。(ずぶぬれ  
のままに入ると濡れてしまうので、拭きとつ  
てから家に入んなさいよ)。

しったい かーたい ないん 〈びしょぬ  
れになる〉【活】～なたん、～ならん、～なてい  
【例】あつたに あみ ふやーに ちゅらーさ  
しったいかーたい なたん。(急に雨が降って  
すっかりずぶぬれになった)。

しったい でいー 〈濡れた手〉 【例】しっ  
たいていーしえー ぬーん さーらんぐとう、  
ていーや すすていから しえー。(濡れた手  
では何も触らないで、手は拭きとってからしな  
さい)。

しったい ぢん 〈濡れ着〉 【例】なまぬ  
わかむのー あみんかい んでいてい しっ  
たいぢん ちちん ぬーん うまーんどう あ  
が？ どうしとう ゆんたく さがなー あっ  
ちよーん。(今時の若者は雨に濡れて濡れ着を  
着たままでも何とも思わないのか、友人とおし  
やべりしながら歩いている)。

しっぷいん 〈吸い出す〉【活】しっぶたん、し  
っぶらん、しっぶてい 【例】ハブんかい うた  
りーねー うぬ どうく っんぢやさんねー  
ならんくとう、くちさーに しっぶれー。(ハブ  
に咬まれると、その毒を出さないとならないの  
で、口で吸い出しなさい)。

しっぴー ないん 〈ぺっしゃんこになる〉  
【活】～なたん、～ならん、～なてい 【例】あーさ  
ってい しっぴー なたーる くるまぬ みち  
ぬ かたはらんかい うっちゃんぎらとーたん。  
(事故にあってぺっしゃんこになっている  
車が道端に放置されていた)。

しっぴりーん 〈ぺしゃんこになる〉【活】し  
っぴりたん、しっぴりらん、しっぴりてい 【例】  
っちゅんかい ぬらーりやーに ちゅらーさ  
しっぴりとーん。(人に叱られてすっかり小さ



くなっている)。まぎまちやぬ たっち、うりん  
かい こーやー とうらってい ぐままちやぐ  
わーや なまー しっぴりとーん。(大店舗が  
建って、それに買い物客を取られて小さな店は  
今は活気を失っている)。

**しっぴらー** 〈ペしゃんこのもの〉 【例】く  
ぬ いんぐわーや はな しっぴらー やし  
が、じんぶぬん あてい いっぺー うじらー  
さん。(この犬は鼻ペしゃんこだが、かしこくて  
とてもかわいい)。

**しっぴらかすん** 〈潰す〉【活】しっぴらかち  
ゃん、しっぴらかさん、しっぴらかち 【例】わ  
ーが いーしえー ちかんねー しっぴらかす  
ん どー。(言うのを聞かないとつぶしてやる  
ぞ)。かんからー あちみてい しっぴらかさ  
ーに／たっぴらかさーに うとーる っちゅん  
をうん。(空き缶を集めてペしゃんこにして  
売っている人もいる)。ビール ぬだる あと  
ー かなんじ ていーさーに かんからー し  
っぴらかする っちゅぬ をうん。(ビールを  
飲んだ後はかならず手で缶をつぶす人が居る)。

**していーん** 〈捨てる〉【活】していたん、し  
ていらん、していてい 【例】つくわ なさーに  
うっちゃんぎーる うやー つくわんかいん  
していらりーん。(子を産んで面倒見ない親  
は子にも捨てられる)。

**してい ほーりーん** 〈粗末にする〉【活】～  
ほーりたん、～ほーりらん、～ほーりてい 【例】  
むん していほーりーしーねー、 むんぬ ば  
ち かんぢゅん どー。やーさっし むぬん  
かまらん ないん どー。(ものを粗末にする  
と、ものの罰を受けるよ。ひもじい思いをして  
ものも食べれなくなるよ)。

**しでいーん** 〈ふ化する〉【活】しでいたん、し  
でいらん、しでいてい 【例】とういぐわーぬ  
しでいーん。(ヒナがかえる)。とういぬ く  
がぬ しでいとーん。(鶏の卵がふ化している)。  
**しでい がふー** 〈感謝、おめでた〉 【例】  
あきまどうし ないねー、ちゃー みーかんげ

ーっし とうらちよーみしえーる うかたがた  
んかい しでいがふー うんぬきーん。(新年  
にはいつもお世話をいただいている方々に感謝  
を申し上げる)。うしでいがふー しえーびー  
さ やー。なしじちえー いち やいびーが?  
(おめでたですね。予定日はいつですか)。

**しでい がら** 〈抜け殻〉 【例】なちえー  
なーびかちかちーぬ しでいがらぬ あまくま  
ぬ きーくさんかい たっくわとーん。(夏は  
アブラゼミの抜け殻があちこちの木草にくっ付  
いている)。

**しでー よーい** 〈衰弱すること〉 【例】  
くねーだまでー ちゃーん ねーんたる むん  
ぬ、たでーま しでーよーいっし やー。(この  
間までどうってこともなかったのに、急に衰弱  
してるねえ)。

**しとう** 〈姑〉 【例】にーびち しーねー、う  
いなぐしとう、ういきがしとう、をうないしと  
うぬちゃーとう ふいらてい いちゆるくとう  
ないん。うぬ よーな くとうんかい しと  
うびれーんでい いーん。(結婚すると、しゅう  
とめ、しゅうと、小姑とつき合っていくことにな  
る。そのようなことに姑づきあいと言う)。

**しな むん** 〈品物〉 【例】ぐままちやー  
しなむんぬ いきらさくとう、はじみから ま  
ぎまちやんかい いちーねー ちゅけーんなか  
い むる こーらりーん。(小さい店は品物が  
少ないので、最初から大きい店に行けば一度で  
全部買うことができる)。

**しなさき** 〈なさけ、情愛、思いやり〉 【例】  
うちなーしばいをうてー しなさきん ねーら  
ん ういきがびけー やしが、じんとー ンか  
しぬ ういきがー あん やたがやー?(沖縄  
芝居では思いやりのない男性ばかりだが、本当  
に昔の男性はそうだったのかなあ)。

**しに** 〈すね〉 【例】しに をうーらりーん  
どー。(すねを折られるぞ)。

**しぬん** 〈(事故で)死ぬ、(動物が)死ぬ〉【例】

わったー いんぐわーや しぢねーん。(僕んちの犬は死んでしまった)。【参】まーすん。

**しに** **つつゆ** 〈死人〉【例】いくさをうてい かんげーららん あたいぬ しにつつゆぬ つんぢと一たしが、いちみん ちゃーっし いちち いけー しむが すら、くらしんぬ ゆーぬぐとう さちん みーらん など一たん。(戦争で考えられないほどの死人が出ていたが、生きている人もいったいどのようにして生きて行けばいいのか、闇世のように先も見えなくなっていた)。

**しに** **どくる** 〈死に場所〉【例】あんぬ あていどう みーとう など一くとう、をうとうぬ やーぬどう しにどくる やる。(縁があってこそ夫婦になっているので、夫の家が死に場所だ)。

**しに** **やんぢやー** 〈死に損ない〉【例】いくさんかい ていーふいさん とうらってい しにやんぢやー すし やかにん しぬしえー まし やっさーんでい うむいるとうちん あたん。(戦争に手足もやられて死に損ないになるよりも死んだ方がいいと思う時もあった)。

**しに** ～ 〈すぐく (うちなーやまとうぐちの接頭辞)〉 しにがーたー (死にそう)、しにやんぢやー (死に損ない) のような用法から生まれた、でーじな、したたか、うすまさ、いっぺーを意味する新造語か?【例】わらび そーいねー しに (正しくは、でーじな) しかんたしが、ぬーぬ くとうが やら、なまー わん をうとう などーん。(子どもの頃には大嫌いだったが、いったいどういうことなのか、今は私の夫になっている)。しに (正しくは、したたか) や なかーぎーぬ いゆ やしが、かーぎとー ちがてい しに (正しくは、いっぺー) まーさん。(見た目はひどい魚だが、見かけとは違ってとてもおいしい)。

**しぬぢゅん** 〈しのぐ〉【活】しぬぢゃん、しにがん、しむぢ 【例】ゆぬなかんかえー うふっうえーきんちゅん をうれー、ちゅー か

みーねー あちゃーや ぬー かむが んちぬち しぬぢ くらちよーる つちゅん をうん。(世の中には大金持ちもいれば、今日食べるとう明日は何を食べるのかと命を削って暮らしている人もいる)。

**しぬぶん** 〈忍ぶ〉【活】しぬだん、しぬばん、しぬでい 【例】しぬばらん しぬび すしどう しぬび やさ。(忍ぶことができないほどの忍びをしてこそ真の忍びだよ)。

**しば** 〈舌〉【例】なまー しばぬ はぎと一くとう、ぬー かでいん まーこー ねーん。(今は舌が炎症を起こしているので、何を食べてもおいしくない)。つつゆぬ なかんかえー いるねー みしらんしが、くさー とうんけー てい しば ねーとーる ばーん あん。つつゆんかい うしえーらっていどう をうが? あねー あらんどー あが?んでい いーしえー、ゆー わからんと一ならん。(人の中には表情には見せないが、後ろを振り返ってバカにしている場合もある。人にバカにされているのか、そうではないのかというのはよくわからないといけない)。

**しば** **いる** 〈唇の色〉【例】しばいるぬぬぎとーしが、ぬーが っやーや くーやーい んぐわーんかいどう っわーりていー? (唇の色が真っ青になっているが、あなたは人に噛み付く犬にでも追われたのか)。

**しば** **かんちらかんちら** **すん** 〈舌がうまく回らない〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】つつゆぬ めーをうてい うちなーぐちさーに えーさち する ばすねー、ぬぶしてい しばかんちらかんちら すん。(人前で沖縄語で挨拶するときには、あがって舌がうまく回らない)。

**しばい** 〈芝居〉【例】こくりつげきじょーぬぐとーる まぎしばいやーや あゑー すしが、なーふいん わかさる しばいしー すだていらんとー ならん。(国立劇場のような大

劇場はありはするが、もっと若い役者を育成しないといけない)。

**しぴたいん** 〈しょんぼりする〉【活】しぴたたん、しぴたらん、しぴたてい 【例】あれー なげーさ ちかなとーる いんぐわーぬ ふいんぎてい とうめーららん なてい なまーしぴたとーん。(あの人は長いこと飼っている愛犬が逃げて探せなくなって今はしょんぼりしている)。

**しぴたー** 〈弱虫〉 【例】わらび そーいねー いっぺー しぴたー やたしが、なまーうちかわてい いぢちりむん などーん。(子どもの頃はとても弱虫だったが、今はだいぶ変わって根性のある者になっている)。

**じふい、じっぴ** 〈真偽〉 【例】むぬぐとうぬ じふい わかする くとー むちかさん。(物事の真偽を判断することはむづかしい)。

**しぶいん** 〈絞る〉【活】しぶたん、しぶらん、しぶてい 【例】ていーさーじ ちゅーぢゅーく しぶてい むっち くーわ。(タオルを絞りきって持っておいで)。

**しぶいん** 〈しゃぶる〉【活】しぶたん、しぶらん、しぶてい 【例】んかしぬ わらびんちゃーや あたらさがみっし あみぐわーん とうきーるまでい かなーさんぐとう しぶとーたん。(昔の子どもたちは大事に食べて飴も溶けるまで噛み砕かないでしゃぶっていた)。

**しぴたいん** 〈湿る、だらしが無い〉【活】しぴたたん、しぴたらん、しぴたてい 【例】あみんかい んでいてい ちのー しぶたとーくとう ふえーく けーれー。(雨に濡れて着物は湿っているので着替えなさい)。あれー しぴたとーてい ぬーんでい いちん はー たたん。(あの人は優柔不断で何を言っても返ってこない)。

**しぶしぶ そーん** 〈じめじめしている、よれよれしている〉 【例】すーまんぼーすーぬ しちえー やーぬ なーかー しぶしぶ そー

ーてい ちむん はりらん。(小満芒種の季節には家の中はじめじめして気持ちも晴れない)。みーみーふーがーっし しぶしぶ そーる ずぼのー わかむぬんかえー ふえーとーしが、うとうすえー じんぬ たらーんくとう こーえーうーさんでいどう うむとーる。(穴が空いてよれよれのズボンは若者にはファッションだが、お年寄りにはお金が足りないので買えないのだと思っている)。あれー ぬーが あんし うちかわてい しぶたいかーたい そーる？(あの人はどうしてあんなに落ちぶれてしまっているの)。【参】「しぶたい かーたい そーん」とも言う。

**しぶ〜**〈粘り強い〉 【参】「しぶさん」からの派生。

**しぶー**〈粘り強い者〉 【例】しぶーや しーなするまでい ちもー ゆるみらん。(粘り強い者は成就するまで気をゆるめない)。

**しぶー だき** 〈弾力性のある竹〉 【例】ちんぶこー んかしえー しぶーだき ちかとーたしが、なまー ちからん などーん。(釣り竿は昔は弾力性のある竹を使っていたが、今は使わなくなっている)。

**しぶい** 〈冬瓜〉 【例】そーきじろー しぶい とう ぐー なち にーねー まーさん。(そーき汁は冬瓜と一緒に煮るとおいしい)。

**じぶん** 〈時間〉 【例】じぶのー ちゃーなとーが？(何時になっているか)。んかしえー ていーだっし じぶのー はかいたん。(昔は太陽で時間を計っていた)。なー むぬ かむる じぶん あらに？(もう食事する時間ではないか)。なまー にんぢゆる／けーていちゅーる／うわいる／うきーる じぶん やさ。(今は寝る／帰ってくる／終わる／起きる時間だよ)。

**しま** 〈地域〉 【例】うちなーぬ なーむらむらなーしまじまんかえー むちめーぬ しまくとうばぬ あくとう、うり ちかてい うちなーぐちぬ はな さかさな。(沖縄の村ごとに

地域ごとに独特の伝統的な地域語があるので、それを遣って沖縄語の花を咲かそう)。

**しまー** 〈島内産、島育ち〉【例】しまーや かなさる むん。(島内産は愛用品)。かみむのー しまーぬ まし やさ。(食べ物島内産がいい)。やまとうふーぢー やしが、うれー しまーぐわー どー。(本土産のようだが、それは島内産だよ)。

**しま** 〈相撲〉【例】うちなーぬ しまー はじみから うーび とぅっかちみらち はじまいん。えーていぬ くしながに ぢーんかい ちきーねー かっちょーん。(沖縄の相撲は最初から帯を強く掴んで始まる。相手の背中を地面につけると勝ち)。どうしとう しまとうえーっし まかすんちどう うむたしが、だーちゅらーさ さったるむん。(友人と相撲取りをして負かそうと思ったが、まんまとやられてしまった)。

**しますん** 〈済ます〉【活】しまちゃん、しまさん、しまち 【例】していみていむのー ちゃーしるびけーっし しますん。(朝食はいつもおつゆだけで済ます)。

**しまり** 〈戸締まり〉【例】しまれー ー？(戸締まりはしたか)。ゆー しまり ー よー。(戸締まりはちゃんとしなさいよ)。

**しみ** 〈学問〉【例】しめー しっち むのー しらん。(学問は積んでもものの道理は知らない)。

**しみーん** 〈締める〉【活】しみたん、しみらん、しみてい 【例】うんな くとう ーねー、どうーっし どうーぬ くび しみーるくとう ないん どー。(そんなことをすると、自分で自分の首を締めることになるよ)。

**しみーん** 〈責める〉【活】しみたん、しみらん、しみてい 【例】っちゅんかえー、どうーじみー する っちゅとう えーてい しみーる っちゅぬ をうしが、っやーや ぢる や

が？(人には自分を責める人と相手を責める人が居るが、あなたはどっちなのか)。

**しみーん** 〈させる〉【活】しみたん、しみらん、しみてい 【例】わらびんちゃーや ていーぬ みーれーからー、ほーちかち さい、まかいどーぐ あらたい、くみ しきたい、かーんちゃい、むぬ にちゃい、ぬーくいーん やーぬ ていがねー しみーし やん。(子どもたちは手が自由になってからは、庭掃除をしたり、茶碗を洗ったり、米を研いだり、皮を剥いたり、料理をしたり、何もかも家の手伝いをさせるべきだ)。

**しみけーいん** 〈湿気る〉【活】しみけーたん、しみけーらん、しみけーてい 【例】くぬ しんびーや しみけーてい まーこーねーんしが、そーがーぬ いっちょーる うちなーしんびーびけーや しみけーらち かむしどう まーさる。(この煎餅はしけておいしくないが、ショウガが入っている沖縄煎餅だけは湿らせて食べるのがおいしい)。

**しむ** 〈台所〉【例】むぬ くだらー しもーしぐ かたじきれー。(ものを食べたら台所はすぐかたづけなさい)。むぬ かみーねー まかいどーぐ むる あらてい しじみれー。(食事したらお椀とかを全部洗ってしまいなさい)。【参】まかいどーぐ(＝なーび、まかい、みしげー、なびげー、うめーし)。

**しむ** 〈冷雨〉【例】うちなーぬ さくらー しむぬ ふていあとう ぬくばーていちーねー、はなぬ さちちゅーん。(沖縄の桜は冷雨が降った後暖かくなってくると、花が咲きだしてくる)。

**しむ ちち** 〈霜月、11月〉【例】しむちち なれー、みーにしぬ ふちゅん。(旧暦の11月になると、新北風が吹く)。

**しむち** 〈根性〉【例】しむち わるー(根性悪)、はごー むん(心が汚れている者)。しむちぬ わっさん。(根性が悪い)。

**しむん** 〈済む〉【活】しだん、しまん、しでい  
 【例】にんぢけー さんていん しむん どー。  
 (お気遣いなさらくてもよろしいですよ)。ちー  
 ちかーんていん しむん どー。(気を遣わ  
 なくてもいいよ)。しむさ。(どうってことない  
 よ)。ゆたさ ていー？／ゆたさみ？(よしとし  
 たか／いいのか)。しむん どー。(いいよ)。あ  
 んし ゆたさいびーたがやー？(それでよろし  
 かったでしょうか)。

**じゃまどういん** 〈うろたえる〉【活】じゃ  
 まどうたん、じゃまどうらん、じゃまどうてい  
 【例】ゆくしむにーっし くわっくわちよーたる  
 くとう いーあていらりやーに いっペー  
 じゃまどうとーたん。(嘘をついて隠していた  
 ことを言い当てられてとてもうろたえていた)。

**しよー しじゃま** 〈やり方〉【例】あれ  
 ー ていふん ないる っちゅ やくとう、あ  
 りが しよーしじゃま ねーびしえー。(あの  
 人は手本になる人なので、あの人のやり方を真  
 似なさい)。

**じゃー** 〈蛇〉【例】ういなぐぬ はていれー  
 じゃー なてい、まーから っんぢていちゅ  
 ーが すら わからん ちから むっちょーく  
 とう、とうじ する むん やらー、ゆー ふ  
 いらり よー。(女性は果ては蛇になって、ど  
 こから出てくるのか分からない力をもっている  
 ので、妻にするつもりなら、よくつき合うんだ  
 よ)。

**じゃー** 〈座〉【例】じゃー はねーきやーぬ  
 ちーねー、っちゅばちに じゃーぬ あかが  
 てい はなぬ さちよーんねー すさ。(座を  
 にぎやかにする人が来ると、たちまち座が明る  
 くなって花が咲いているようになる)。

**じゃーがる** 〈粘土質の黒土〉【例】「じゃ  
 ーがる」ぢーや くちや、「まーぢ」や あかん  
 ちゃー やん。「じゃーがる」という土は粘度  
 質、「まーぢ」は赤土である)。

**じゃーふえー** 〈始末におえないこと〉【例】  
 あちゃーんでいーる ふいーや ねーんくど  
 う、ちゅー しーびちーくとー ちゅーをうて  
 い さんねー、じゃーふえー ないん どー。  
 (明日という日はないので、今日すべきことは今  
 日でしないと始末におえなくなるよ)。

**じゃーふえー ていーふえー** 〈悪さをさ  
 れる様〉【例】いーじまんかい わたていか  
 ら むらぬ にーしえーたーんかい じゃーふ  
 えーていーふえー さったんでいる ハンドー  
 グワー やしが、なま んーぢゆる かぢり  
 さちかんとーる いーじまぬ ゆいぬどう ハ  
 ンドーグワーぬ ちむ とうめーらちよーんね  
 ー すん。(伊江島に渡ってから村の若者たち  
 に悪さをされたというハンドーグワーだが、今  
 あたり一面に咲き乱れているユリがハンドーグ  
 ワーの心を慰め落ち着かせているような気がす  
 る)。

**じゃーま** 〈迷うこと〉【例】やんばるぬ  
 やまぬ うーくんかい いっち みちじゃーま  
 っし、ゆながた しかんかーさがなー きっち  
 やきくるびっし あっちょーたん。(ヤンバル  
 の山の奥に入り込んで道に迷って、一晚中びく  
 びくしつまずきながら歩いていた)。

**じゃしち** 〈部屋、寝床〉【例】いったー や  
 ーや じゃしちえー いくちえー あが？(あ  
 なたの家は部屋はいくつあるか)。うきーしと  
 う まじゅん じゃしち とうれー。(起きる  
 とすぐに床をとりなさい)。

**じゃっとうー、うじゃっとうー** 〈飾  
 り気がない人、さっぱりした人〉【例】うい  
 なぐぬ っんぢとーてい すがいみちーん わ  
 からん、ふーじえー ねーらん、うじゃっとう  
 ー やー。(女性のくせして着飾ることもわか  
 らない、みっともない、飾り気がないね)。

**じゃま** 〈様〉【例】あれー っくわ なち  
 うや などーしが、えーさちん わからん、じ  
 やまー ねーらん。(あの人は子どもできて親に

なっているが、挨拶もわからなくて、みっともない)。

**じゃんぬ いゆ** 〈ジュゴン〉【例】やんばるぬ うみをうてい じゃんぬいゆぬ しどーん。(ヤンバルの海でジュゴンが棲息している)。

**じゅー** 〈尾、しっぽ〉【例】ぬーぐとうん じゅーちらー しえー なん どー。(何事も途中で投げ出してはいけないよ)。あれー わーが わかてーをうらんち うむとーる はじ やしが、ありが じゅー とうっかちみとーん どー。(あの人は私がわかってはいないと思っているはずだが、あの人の弱みをとっつかまえているからね)。ちぶるぬ っんぢゆきわどう じゅーん っんぢゆちゆる。(リーダーが動いてこそ部下も動く)。

**じゅー むっかー、じゅー むっこー** 〈しっぽがない姿〉【例】やーるーや どうーまむいる たみに じゅー ちっち ふいんぎーくとう、じゅーむっかー などーん。(ヤモリは自分を護るためにしっぽを切って逃げるので、しっぽがない姿になっている)。

**じゅー ふい** 〈しっぽ振り〉【例】いんぬ うっさっし じゅーふい するぐとう、じゅーふやーぬ っちゆん をうん。(犬が喜んで尾をふるように、しっぽを振る人間もいる)。

**じゅーぐやー** 〈十五夜〉【例】ちゅーや じゅーぐやー やくとう、うちちゅーめーん かい ふちゃぎ うさぎてい かむん。(今日は十五夜なので、お月様にふちゃぎ餅をお供えして食べる)。

**じゅーしー** 〈炊き込みご飯〉【例】じゅーしーんかえー くふあじゅーしーとう やふあらじゅーしーぬ あてい、とうんじーじゅーしーとう しちぐわちぬ うんけーじゅーしーや くふあじゅーしー やしが、やふあらじゅーしーや っんむ、かんだばー いってい やふあってーん にち かむん。(炊き込みご飯には固めの炊き込みご飯と雑炊があって、冬至や旧

盆のお迎えは固めの炊き込みご飯だが、雑炊は芋、芋の葉を入れてやわらかく煮て食べる)。

**じゅーてー** 〈金銭のやりくり〉【例】ういきが じゅーてー=じん かむとーる ういきが(お金のやりくりをする男性、「ういなぐ じゅーてー」とは言わない)。あまぬ やーやをうとうぬどう じん かむとーん どー。あまー ういきがじゅーてー やさ やー。(あの家は夫が財布を握っているよ。あそこはやりくり男だね)。あらじゅーてー(=じんぢけーぬ あらさる むん、浪費家)。あまー ういきがじゅーてー やくとう、じのー からさん どー。(あの家は男が金銭のやりくりをしているので、お金は貸さないよ)。

**じゅーるくにち** 〈旧暦の1月16日〉【例】じゅーるくにちえー ぐそーぬ そーぐわち やくとう、はかめーっし うぐわんすんかい うさぎーん。(十六日はあの世の正月なので、墓参りをして御先祖にお供えする)。

**じゅーばく** 〈重箱〉【例】しーみーねー じゅーばくんかい うさんみ むてい うふあかをうてい うやふあーふじとう まじゅーん かむん。(清明祭には重箱にごちそうを盛ってお墓で御先祖さまと一緒に食べる)。

**〜じゅく** 〈〜にかかりっきり〉【例】もーきじゅくん あしびじゅくん うりびけー しえー なん、むぬぐとうんかえー かぢりぬ あん。(金儲け一点張りも遊びだけでもそれだけしてはだめだ、何事には限度がある)。

**じゅん** 〈正常〉【例】あまぬ をうとー めーや じゅのー あらんたしが、なまー じゅん なてい、なまねー とうじっくわ んーぢうーすさ。(あちらの夫は以前は普通ではなかったが、今は正常になって、今なら妻子を養えるよ)。あぬ っちょー じゅんに にーびちさがやー?(あの人は本当に結婚したのか)。

**しえーしん** 〈お代わり〉【例】うほーく しこーてーくとう、うしえーしん しみそーり

よー。(たくさん準備してあるので、お代わりしてくださいよ)。

**しえーべー** 〈余計〉 【例】しえーべー ぐとう さん けー。(余計なことはするな)。

**しよー むよー** 〈いろいろな手段を講じること〉 【例】ぬーぬ しよーむよー さんていん んーぢゆる うっぴ しん をうかしくないしえー ちゃーる ばー がやー?(何の手を打たなくても、見るだけでおかしくなるのはどういうわけかねえ)。

**じよー** 〈門〉 【例】っういーぬ あやじょー(守礼門)、しむぬ あやじょー(中山門)。しばいぬ じょーや っちゅぬ いっちやい っんぢたいぬ うふさる とうくる やたん。(芝居場所の門は人の出入りの多いところだった)。うちなーをうてー いしじょーぬ ふいぢやいにぢりんかい しーさーぬ あしらっとーん。(沖縄では石門の左右にシーサーが備えつけられている)。やなむん ばれー するたみに うちなーぬ じょーや にぢりふいぢやいんかい くち ふいらちよーる しーさーとうくち くーとーる しーさーぬ うちきらっとーん。(邪気を払うために沖縄の門は左右に口を開いているシーサーと口を閉じているシーサーが置かれている)。じょーや さーし いってーい?(門扉は錠をかけたか)。【参】集落や屋敷の東、西、上、下、前などの位置関係によって、それぞれ「あがりじょー」「いりじょー」「っういーじょー」「しむじょー」「めーじょー」と呼ばれ、家名、地名でもある。

**じよー、ぐじょー** 〈手紙〉 【例】ゆーがわいっし ていーがちぬ ぐじょーぬ いきらく なてい むぬたらーんねー すん。(世の中が代わって手書きの手紙が少なくなって物足りない気がする)。

**じょーぐー** 〈好き者〉 【例】さきじょーぐーや からむんじょーぐー やしが、あれーあんむちじょーぐーん やん。(酒好きは辛い

もの好きだが、あの人はあん餅好きでもある)。さきじょーぐーたっくいーや あらんくとう、うほこー ぬみうーさん。(酒好きの血統ではないので、たくさんは飲めない)。ししぬ じょーぐー やてい、あさから かむんでい どー。(肉が好きで、朝から食べるってよ)。ししとういゆ ぬーぬ じょーぐー やが?(肉と魚、何が好きか)。【参】ぢく(下戸)。

**じょーふい** 〈吉日〉 【例】じょーふいねーやーうーちー さい、うゆうえー さい、をうぐわん さい すん。(吉日には引っ越ししたり、祝い事をしたり、拝みをしたりする)。

**じょーふ** 〈上布〉 【例】じょーふや じょーとうーな あさぢ やてい、なーこー くんぢに すみてい、ゑーまー しるぢ やん。(上布は高級な麻布で、宮古は紺地に染めて、八重山は白地である)。

**じょーま** 〈一人前、標準〉 【例】じょーまぬ ういなぐとう ういきがー にーびち っし、つくわ なさわどう やる んでい いらっとーたしが、なまー あねー あらん などーん。(一人前の女性と男性は結婚して、子どもをつくらないといけなと言われていたが、今はそうでもなくなっている)。

**じょーさ** 〈費用〉 【例】やー ふちゆる じょーさー ちゃっさ かかいがやー?(新築する費用はどれくらいかかるのかねえ)。【参】っんぢりめー、っんぢりふあー。

**じょーじ** 〈上手〉 【例】ぬー ちゅくらちん じょーじ、ふいたぬ あん。(何を作らせても上手、下手がある)。むぬぐとうぬ じょーじ、ふいたー っんまりぢちぬ むぬとう、どーうあがち さーに ないる っちゅぬ をうん。(物事の上手、下手は生まれつきのものと、努力で成す人がいる)。

**じょーのー、かねー** 〈税金〉 【例】はたち ないねー じょーのー(=かねー) うさみーん。(20歳になると税金を納める)。

# しらっくわ 〈生後6ヶ月ぐらいの赤ん坊〉

【例】あかんぐわーや ふどういしんでー ちらん どうーてーん しらっくわ なていちゅーん。(赤ん坊は育つにつれて、顔も体も白くなってくる)。

しる 〈汁〉 【例】みーや ねーらん、しるびけーどう やたる。んなしるーん ばーけーっしどう かむたる。(具はなくて、汁だけであった。具無し汁も奪い合って食べたものだ)。

しる ぢきー 〈汁かけご飯〉 【例】むぬぐとうん っちゅぐとうん ふいっちやかみっちやか しみてー ならん ぐとう、していみてい っんぢーる めーねー しるぢきーっしむぬ かむる むのー あらん。(物事も人間関係もごっちゃにさせてはいけないように、朝早く出る前には汁かけご飯にして食べるものではない)。

しるー 〈白、白いもの、賛成派、与党〉 【例】まっさーら そーる くむ／しるじゃーたー(真っ白な雲／白糖)。うちなーぬ おーるーやうみとう ていん、しるーんでい いーねーしな やん。(沖縄の青は海と空、白と言えば砂だ)。  
【参】くるー(反対派、野党)、まっさーら(真っ白)、しらがー(白髪の人)、まっさーら すん／そーん(真っ白くなる／なっている)；しらぎん かみとーみしえーしが、からじえー まっさーらっし ちゅらさいびーんやー(白髪もだいぶ目立っていらっしやいます、髪は真っ白できれいですね)。

しるし 〈兆候〉 【例】でいーぐぬ はなぬさちかんぢゅる とうしねー まぎかじぬ ちゅーる しるし やんでい。(デイゴの花が咲き乱れる年には大型台風がくる前兆だって)。

しわ 〈心配〉 【例】しわぐとうぬ ねーん っちよー まー とうめーていん をうらん。(心配事のない人は何処を探してもいない)。

しわ さー 〈心配性の者〉 【例】かんげーらんていん しむるくとう あんやん かんや

んんち かんげーぢゅーさる っちゅんかい しわさーんでい いーん。(考えなくてもすむことにああだ、こうだと考え過ぎる人に心配性と言う)。

しわーし 〈師走〉 【例】しわーし ないねー、あちねーさーや もーきんでいち いちゅなさぬ、こーやーや しわーしぢけーむん こーいんち いちゅなさぬ、しわーしぬ まちえー っちゅぬ まんでい わっさいわっさいそーん。(師走になると、商売人は金儲けで忙しくて、買い物客は師走の買い物をするとって忙しくて、師走の市場は人ばかりでひしめきあっている)。

しらー くさー 〈前後左右、周囲〉 【例】っちゅぬ めーんかい たっち、しらーくさーんーだん っちゅぬ をうん。(人の前に立って、周囲を見ない人がいる)。

しらい 〈シロアリ〉 【例】しらいぬ わさわさそーる ばすねー、たーれーんかい みじいってい あかがいぬ しちゃんかい うちきとーちーねー、たーれーぬ みじんかい うていていちゅーん。(シロアリが大発生している時には、たらいに水を入れて電灯の下に置いておくと、たらいの水に落ちてくる)。

しらすん 〈知らせる〉【活】しらちゃん、しらさん、しらち 【例】なー ないねー、わんにんかいん しらちとうらし よー。(決まったら、私にも知らせてね)。

しらびーん 〈調べる、検査する〉【活】しらびたん、しらびらん、しらびてい 【例】はなしち かかてい いさぬやーんかい っんぢやし、はなしちぐわーどう やが？ ふーちやんめーどう やが？ なま しらびとーん。(風邪をひいて病院に行ったが、ただの風邪なのか、インフルエンザなのか、今検査している)。

しらむん 〈白む〉【活】しらだん、しらまん、しらぢ 【例】あがりぬ しらでいちょーくと



う まーんくいーん あきれー。(東の空が白  
んできているのですべて開けなさい)。

**しらんちゅ すん** 〈人見知りする〉【活】～  
さん、～さん、～っし 【例】っちゅぬ めーんか  
い っんぢーねー、しらんちゅ すくとう、い  
ぢりん ちきらんとー ならん。(人前に出る  
と、人見知りするので、意地をつけないといけ  
ない)。わらべーや たんかーまでい しらん  
ちゅさーに、っちゅぬ だちーねー んーぱっ  
し うふなち すん。(子どもは満一歳まで人  
見知りをして、人が抱くと嫌といって大泣きす  
る)。

**しらんふーなー すん** 〈知らんふりす  
る〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】しっ  
ちよーるーんかい しらんふーなー さったん。  
(知人に知らんふりされた)。どうしぬ ちー  
ちかいくとう しらんふーなーっし たびだち  
ゅん。(友人が気をつかうので、知らせないで旅  
立つ)。

**しりちやーすん** 〈もみ消す〉【活】しりち  
やーちゃん、しりちやーさん、しりちやーち  
【例】たばくぬ ふいー しりちやーするばすね  
ー、ぬくさんぐとう ちやーし よー。(煙草の  
火をもみ消す際には残さず消しなさいよ)。

**しりぬがーいん** 〈人になすりつけて逃れ  
る〉【活】しりぬがーたん、しりぬがーらん、し  
りぬがーてい 【例】うちなーぐち ちかいねー  
くびんかい ふだ さぎらりーくとう、やな  
がんまりっし 「あがー！」んでいーる うち  
なーぐち はかち しりぬがーさったん。(沖  
縄語を遣うと首に札を下げられるので、いたず  
らして「あがー！」という言葉をつかして逃れ  
ることができた)。

**しりはぢゅん** 〈擦りむく〉【活】しりはぢ  
ゃん、しりはがん、しいりはぢ 【例】んかし  
えー ちやー はーえーごんごんっし うてい  
ちち あっちゅる わらべー をうらんたくと  
う、ふいじん ちんしん しりはぢやーに む

る あかちんき くわーさっとーたん。(昔は  
いつも走り回ってじっとしている子は居なかつ  
たので、肘も膝も擦りむいてみんな赤チンキが  
塗られていた)。

**じる** 〈どれ〉 【例】にちよーるー などーく  
とう、わー むのー じるが じるが やら  
わからん。(似ているがあるので、私のはいつ  
たいどれなのかわからない)。っやーが まし  
やし じる やていん とうれー。(あなた  
が良いのどれでも取りなさい)。

**しん** 〈芯、本心〉 【例】うれー しんから  
やみ？(それは本心からか)。ありとー しんか  
ら ちりとーん。(あの人はまったく無関係  
である)。ありが はなしえー しんから う  
じてい ちちぶしくん ねーらん。(あの人の  
話は本当に嫌気がさして聞いてたくもない)。

**しん** 〈味気〉 【例】さきびんぬ ふた みち  
れー。あん さんねー、しん ぬきてい ぬま  
らん ないん どー。(酒瓶の蓋を閉めなさい。  
そうしないと、気が抜けて飲めなくなるよ)。

**じん** 〈お金〉 【例】うっぴぐわーぬ じんぐ  
わー (はした金)。じん ぢりー そーくとう、  
ちやー なてい いちゅがやーんでいち しわ  
そーん。たーがな じん からさーや をう  
らんがやー？(お金が切れているので、どうな  
るのかと心配している。誰か金貸しはいないか  
ね)。じのー ぐそーんかいや むっちえーい  
からん。(お金はあの世には持って行けない)。  
じのー なんどうるむん やくとう、もーきす  
ーぶや あらん、たみすーぶ。(お金は手につか  
ないので、儲けることよりも貯めるのが大切)。  
じんしどう じのー もーきーる。(資本がな  
くても金儲けはできない)。じんとー わらー  
らん、つくわとうどう わらーりーる。(お金と  
は笑えない、子であれば笑い合える)。

**じん いりやー** 〈財布〉 【例】じんいりや  
ーんかえー かびじん いりーる とうくると  
う くじん いりーる とうくるとう なー

めーめー わきらっとーん。(財布には紙幣を入れる箇所と小銭を入れる箇所がそれぞれ分かれている)。

**じん かじゃ すん** 〈お金の臭いがする〉  
【活】～さん、～さん、～っし 【例】かみむんぬ  
でーびけー いらりーねー、じんかじゃっし  
っやー むのー かまらん。(食べ物の値段ばかり言うとお金、お金の臭いがしてあなたのものは食べられない)。っちゅぬ むちむん かいる  
ばすに でー いらりーねー、じんかじゃっ  
し かいぐりく ないん。(人の物を借りるときに値段を言われると、お金の臭いがして借りにくくなる)。【参】「ふいちたちゅん」にも「じんかじゃ」の例有り。

**じん かに** 〈お金〉【活】じんがに 〈欲張り〉  
【例】じんかねー みじ ちかいんねーっし  
ちかいる むのー あらん。(お金は水を使うように使うものではない)。

**じん してい ぐとう** 〈お金を捨てるようなこと〉 【例】やしむん こーいねー、じん  
していぐとう ないん。(安い物を買えば、お金を捨てるようなことになる)。

**じん てーし ぐとう** 〈お金を浪費するようなこと〉 【例】むのー いりゆー やくとう  
どう こーいる むん やしが、ふさくとうん  
ち ぬーくいーん こーいとうばしーねー、じん  
てーしぐとう ないん。(物は必要だからこそ買うものだが、欲しいからといって何もかも買いまくると、お金を浪費することになる)。

**じん ぢけー** 〈金使い〉 【例】じんむちゃーや  
じんぬ たから ゆー しっちょーくとう、  
じんぢけーや くまさしが、あねー あらん  
っちゅぬちゃーがどう じんぢけーや あらさん。  
(お金持ちはお金の大事さを知っている、金使いは細かいが、そうではない人たちが金使いはあらい)。くとうば じんぢけー。  
(お金を使うようにことばも大切に遣うものだ)。

**じん ぢまい** 〈金詰まり〉 【例】じんぢま  
えー っちゅぬ ちむまでいん ちまらすん。  
(金詰まりは人の心までも詰まらせる)。

**じん もーきじゅく** 〈金儲け〉 【例】じん  
もーきじゅくびけー かんげーとーる あ  
ちねーさーや じんぐとうっし ふるばさりー  
る くとうん、いさぬやーんかい いちゅしん  
ならんくとう どうー やんぢゆるくとうん  
あん。(金儲けばかり考えている商売人はお金のことで踏み倒されることも、病院に行くこともできなくて体をこわすこともある)。

**しんか** 〈仲間、グループ〉 【例】あれー む  
る わったー しんかぬちゃー どー。(あの  
人たちはみんなわれわれ仲間だよ)。あったー  
や しんかぬちゃーどう やん どー。(あの  
人たちは仲間だよ)。【参】ぐー。

**しんぐいーん** 〈曇る〉【活】しんぐいたん、  
しんぐいらん、しんぐいてい 【例】なちえー  
あちさくとう、がんちょーぬ しんぐいてい  
とうたいはきたいぬ うふさくとう ていーわ  
ちゃれー すん。(夏は暑いので、眼鏡が曇って  
取ったりかけたりが多いので面倒だ)。

**しんくち** 〈洗骨〉 【例】んかしえー けー  
まーしーねー、やかんぐとう しるふいらっし  
から しんくちっし かーみんかい いったん  
でい。(昔は亡くなったら、火葬することなく乾燥させてから洗骨して甕に入れたって)。

**しんしー めーさー** 〈先生におべっか使う人〉 【例】でいきらんぬーぬどう しんしー  
めーさー。(勉強ができない子が先生におべっか使う)。

**しんじーん** 〈煎じる〉【活】しんじたん、し  
んじらん、しんじてい 【例】みーぐふあいつし  
にんだらん なたる ばすねー、くわんそー  
しんじてい ぬみーねー、にんだりーるぐ  
とう ないたんてい。(目が冴えて眠れないときには萱草を煎じて飲むと眠れるようになったって)。

**しんじ むん** 〈煎じ汁〉【活】しんじ ぐす  
い 〈煎じ薬〉 【例】んかしえー いさぬ いき  
らさくとう、いらぶー、かちゅー、ぐーやー、

ちむぐわーぬ しんじむん ちゆくてい どう  
ーまむい そーたん。(昔は医者が少ないだったので、イラブ、カツオ、豚の尻の骨、肝の煎じ  
汁を作って自分の身を守った)。

**しんだかすん** 〈滑らす〉【例】やーぬ っ  
ういーぬ ゆち うとうすんでい しーねー、  
ふいさ しんだかち うていてい まーちやる  
っちゅん をうん。(屋根の上の雪を落とそ  
うとしたら、足を滑らして落ちて亡くなった人  
もいる)。

**しんたく すん** 〈洗濯する〉【活】～さん、～  
さん、～っし 【例】ちのー しんたくっし ふ  
し よー。(服は洗濯して干しなさいよ)。

**しんちりーん** 〈澄み切る〉【活】しんちりた  
ん、しんちりらん、しんちりてい 【例】みじぬ  
しんちりとーる かーらんかいん みんぐい  
とーる とうくるんかいん いちむしえー を  
うん。(水が澄んでいる川にも濁っているところ  
にも生き物はいる)。

**しんでいーん** 〈滑る〉【活】しんでいたん、  
しんでいらん、しんでいてい 【例】ばさない  
ぬ かーや くんぴーねー、しんでいてい ち  
ぶる わいん どー。(バナナの皮は踏んだら、  
滑って頭を打ち付けるよ)。

**じんとー** 〈本当〉【例】ありが いちょー  
たる くとー むる じんとー (な くとう)  
やみ?(あの人が言っていたことはすべて本当  
(のこと)なのか)。

**しんにん** 〈仙人〉【例】しるふいち たて  
いてい、からじえー しらぎ かみとーる た  
んめーや しんにんぬ ぐとーさ。(白髭を生  
やして、髪の毛は白髪のおじいさんは仙人のよ  
うだ)。

**しん ふいちゃぎ** 〈神経衰弱〉【例】あ  
れー なまー たーにん たーにん いららん  
しわぐとう かたみとーくとう、しんから  
ちむ をうたい そーてい、しんふいちゃぎ

なとーん。(あの人は今は心配事を抱えている  
ので、すっかり心労を患って、神経が衰弱して  
いる)。

**じんぶん** 〈知恵〉【例】ぬー やていん  
しえーや あらん、っちょー ちろーじんぶぬ  
ん ありわどう やる。(何であってもすれば  
いいというものでもない、人は器量・才能もな  
いといけない)。あちねーさーや ふかぬ っ  
ちゅとー かわてい もーきじんぶんでい い  
ーしぬ あんでい。(商売人は他の人とは違っ  
て金儲けの才覚というのがあるって)。

**じんぶん くさらー** 〈知恵なし、バカ〉  
【例】めーが めーなち ふり あしびびけーっ  
し じんぶんくさらー ないん どー。(毎日  
あそんでばかりしてバカになるよ)。

**じんぶん むちゃー** 〈知恵のある者〉【活】  
じんぶん たからー〈神童〉【例】くーさる  
ばすねー じんぶんむちゃー、じんぶんたから  
ーんでい いらっとーてーまん ぬーんくいー  
ん ないんふーなー しーねー、あとうあとー  
てーげーぬ っちゅ ないん。(幼少の頃には  
知恵があるとか、神童とか呼ばれていたとし  
ても、何でもできるかのようにしていると、終  
いには凡人になる)。

**しんま** 〈霊媒となって予言をすること〉【例】  
りーぬ ぬてい くち あきらさりーる くと  
うんかい 「しんま」んでい いーん。(霊が  
乗り移って口を開けさせられることに「しんま」  
という)。

**しんめー なーび** 〈大きな鍋〉【例】し  
んめーなーび ちかてい、まるふいーじーや  
っんむ にちやいっし かどーたしが、すーじ  
んかえー なかみじる、いなむどうち、くーぶ  
いりちゃー、かしちー ちゆくたい、かーさー  
むーちー ちゆくたい そーたん。(シンメー  
鍋を使って、通常は芋を煮たりして食べていた  
が、祝事には中味汁、豚肉と白味噌の料理、昆  
布炒め、おこわを作ったり、カーサームーチー  
を作ったりしていた)。

# す

**すい** 〈首里〉 【例】うすがなしーめーぬ い  
めんしーびたる うぐしくぬ ぬくとーる  
すいや、なまー っういーりきどくくる やん。  
(王様がいらっしゃった首里城が残っている首  
里は、今は観光地である)。

**すいんちゅ** 〈首里の人〉 【例】すいんちよ  
ー ちむだかさん。(首里の人は気位が高い)。

**すいん** 〈剃る〉 【例】なげーさる やしみぬ  
っうえーだー ふいち すらんたくとう、ふ  
いち ばーばーっし ふーぢえー ねーらん  
なとーたん。(長い休みの間は髭を剃らなかつ  
たので、髭ぼうぼうしてみっともなくなってい  
た)。

**すいん** 〈添う〉【活】すたん、すらん、すてい  
【例】ういなぐぬどう ういきがんかい すい  
るむんでい うむとーたしが、なまー ういな  
ぐんかい すいる ういきがん をうんねー  
すん。(女性の方が男性に添うものだと思って  
いたが、今では女性に添う男性も居るようだ)。

**すー／あんまー** 〈お父さん／お母さん〉  
【参】首里の士族以外は、通常「すー」「あんま  
ー」「うすめー」「はーめー」はそれぞれお父さ  
ん、お母さん、おじいさん、おばあさんを指す。

**すー** 〈潮、海水〉 【例】すーや くるすー  
なたい、あかすー なたい、みちすー なたい、  
ふいち すー なたい すん。(潮は黒潮にな  
ったり、赤潮になったり、満ち潮になったり、  
引き潮になったりする)。

**すー ちかー** 〈豚肉の塩漬け〉 【例】「す  
ーちかー」や しし すーちきー しえーし

やん。(「すーちかー」は豚肉を塩漬けしたの  
だ)。すーぢき そーる むぬんかい 「すーち  
かー」んでい いーん。んかしえー かーみん  
かい みっちゃかー 「すーちかー」 たぶと  
ーたん。(塩漬けしているものに「すーちかー」  
と言う。昔は甕にいっぱい「すーちかー」を貯  
えていた)。【参】すーぢき／まーすぢき(塩漬  
け)、すーにー／まーすにー(塩煮)；まーすに  
ー しえー(塩煮にきなさい)。

**すー みじ** 〈塩水、海水〉 【例】すーみじ  
くでい、うりっし ちゅくらっとうー とー  
ほー、うすみじぬ じよーぶんぬ いっちょー  
てい まーさん。(海水を汲んで、それで作られ  
ている豆腐は塩水の滋養分が入っていておいし  
い)。

**すーぬ はな** 〈清めの塩〉 【例】だびか  
ら けーていちーねー、やーぬ うちんかい  
いらん まーどう すーぬはなっし ちゅみー  
る。(葬式から帰ってくると、家の中に入らない  
うちに清めの塩で清める)。

**すー わたい** 〈浅瀬渡り〉 【例】すーぬ  
ふいちーねー、すーわたいっし まぎしーぬ  
っういーをうてい いゆ ちっちょーたん。(潮  
が引くと、浅瀬を渡って大岩の上で魚を釣って  
いた)。

**すーいん** 〈吸う〉【活】すーたん、すらん、す  
ーてい 【例】ぬみやっさくとう ストローさ  
ーに すーれー。(飲みやすいので、ストローで  
吸いなさい)。

**すーこー** 〈焼香〉 【例】すーこーや いちに  
んち、さんにんち、しちにんち、じゅーさんに

んち、にじゅーぐにんち、さんじゅーさんにんちぬ むけーん すん。じゅーさんにんちまでー わかすーこー、うぬ あとー うふすーこー、さんじゅーさんにんちや うわいすーこーんでい いーん。ににん たちーねー、さんにんちとうっし ゆむるぐとう なんとーん。(焼香は1年忌、3年忌、7年忌、13年忌、25年忌、33年忌の6回する。13年忌までは若焼香、その後は大焼香、33年忌は終わり焼香という。2年経つと、3年忌として数えるようになっていいる)。

**すーじ** 〈路地〉 【例】わらび そーいに、がっこーんかい っんぢやい、こーいむん しーが っんぢやい する ばすねー、すーじぐわーから くんちりみっちりっし っんぢよーたしが、なまー うふみち なてい んかしぬ しがたぬ ねーん なんとーしが、どうーぬ なかんかえー ぬくとーん。(子どもの頃、学校に行ったり買い物に行ったりする際には、入り込んだ路地を通して近道して行っったが、現在は大きな道になって昔の姿はなくなっているが、自分の脳裏には残っている)。

**すーじ** 〈祝い事〉 【例】うちなーんかえー たんかーすーじ、とうしびーすーじ、にーびちすーじ、やーふちすーじんでーぬ あてい、っうえーかぬちゃー、どうしぬちゃー、たんかーまんかーぬ っちゆぬちゃー うんちけー すん。(沖縄には満一才のお祝い、生年祝い、結婚祝い、新築祝いなどがあって、親戚の人たち、友人たち、隣近所の人たちを招待する)。んかしえー ぬーぬ すーじ やていん なーめーめーぬ やーをうてい そーたしが、なまー すーじじゃー かていどう する。(昔はどんな祝い事でも各自の家でしていたが、現在は祝宴の座を借りてする)。

**すーじ** じゃー 〈祝宴の座〉 【例】んかしぬ うちなーぬ やーぢゆくえー ふちま はんしーねー すーじじゃー ないん。(昔の沖縄の家造りはふすまを外すと祝いの座になる)。

**すーていーち** 〈ソテツ〉 【例】あぐねー すーていーちんーす、まーじん、まーすさーになーある とうくる やん。(粟国はソテツ味噌、粟、塩で有名なところだ)。

**すーてー** 〈所帯持ち〉 【例】ういなごー やー むてーから うみちとう すーてー くましく しわどう やる。(女性は所帯をもってから思い切りやりくりしないとイケない)。あまぬ やーや すーてーぬ くまさくとう、じん たみやーに まぎやー ちゆくてい さけーとーん。(あの家は家計をやりくりしているので、お金を貯めて大きな家を造って栄えている)。あまぬ ゆめー くめーきやーや あらん どー。すーてーぬ あらさぬ、をうとうぬどう じのー にちとーる。(あそこの嫁は儉約家ではないよ。やりくりがおおざっぱで、夫がお金は握っているよ)。あれー あいぐらし、ねーんだれー ねーん くらし すし やかん、すーてーくまさしどう くらすん どー。(あれば派手に暮らし、無ければ無いでその日暮らしをするよりも、家計をやりくりして暮らすのだよ)。

**すーてー** わかやー 〈所帯分かれ〉 【例】あまぬ うやぬちゃーや しちゃんかい、ちゃくし みーとうんだーや にーけーんかい、じなんたーや さんけーんかい しまとーてい、すーてーわかやー そーん。(あの家の親たちは一階に、長男夫婦は二階に、次男たちは三階に住んでいて、所帯持ちを別にしている)。**【参】**やー わかやー、やー たちゃー (分家)。

**すーねー** 〈酔味噌あえ〉 【例】んーすぬ いっちよーる 「すーねー」 やかん、いってーをうらん 「うさち(ぐわー)」や ゆー かだん。いーかみらりやー する ばす やていん、かみーねー めー あんべー なたん。(味噌が入っている「酔味噌あえ」より、味噌が入っていない「酔のもの」はよく食べた。胃痛するときでも、酔のものを食べるとよくなった)。

**すーぶ** 〈勝負〉 【例】んかしえー かーらを

うてー っういーぢすーぶ さーに あしどー  
たん。(昔は川で泳ぎ勝負をして遊んでいた)。

## すーまん ぼーすー 〈梅雨、小満芒種〉

【例】すーまんぼーすーぬ あめー やーん  
ちぬん こーじ ふかしみーん。うぬ しちえ  
ー めーなち かさ むっち あっかんとーな  
らん。(小満芒種の雨は家も衣類もカビをつけ  
てしまう。その季節は毎日傘を持って出ないと  
いけなくなる)。

すーみ 〈興味〉 【例】ふるむぬんかい すー  
みぬ あん。(骨董に興味がある)。

すーみ 〈のぞき見〉 【例】すーみ そーん。  
(のぞき見をしている)。【参】アクセントが高低  
型〈興味〉か、平板型〈のぞき見〉かの違い。

すーむん 〈熱中している〉【活】すーだん、す  
ーまん、すーでい 【例】うちなーぬ をうどう  
いんかい なま すーどーん／むちくわーりと  
ーん。(沖縄の踊りに今熱中している)。【参】む  
ちくわいん(熱中させる)、むちくわーりてい  
(熱中して)。

すーよー 〈みんな〉 【例】なーだ すーよ  
ーや あちまてー をうらに？(まだみんなは  
集まってはいないのか)。うぬ くとー すー  
よーや がっていん やみ？(そのことは皆ん  
なは賛成なのか)。ぐすーよーぬ かんげーや  
チャー ないびたが？(皆様のお考えはどう  
なりましたか)。

すーら 〈梢〉 【例】かじょーら のーする  
まじねーとうっし、「すーら ちっち にー  
からすん、にー ちっち すーら からすん  
どー」んでい いーん。(蕁麻疹を直すまじな  
いとして、「梢を切って根を枯らす。根を切って  
梢を枯らすぞ」と言う)。すーら いれー に  
ーや がっていん。(梢を言えば根は分かっ  
ている、すべてを言わなくても分かり合える)。

すがいん 〈支度する、装う〉【活】すがたん、  
すがらん、すがてい 【例】むのー すがてい

ー？(ご飯は支度したか、≡むのー しこーて  
いー?)。

すがい 〈服装〉【活】すがい さー〈身なりを  
整える者〉 【例】すがいさーねー っちゅぬ  
ゆたさわっさー いららん。(服装からは人  
のよしあしは言えない)。うちなー すがえー  
うーべー さんぐとう、うしんちー そーん。  
(琉装は帯をしないで、内に押し込んでいる)。

すがすん 〈風にあてる〉【活】すがちゃん、す  
がさん、すがち 【例】くすいぢャー ちゅく  
てい ぬむる くわーぎぬ ふあーん、ばんし  
るーぬ ふあーん かーぎんかい うちきてい  
すがちょーちゅん。(体に良い茶を作って飲  
む桑の葉もグワバの葉も陰干しのために物陰に  
置いて風をあてておく)。あし はてい んで  
いとーる ちのー うらげーし なさーに す  
がちょーけー。あん しーねー、なんくる か  
ーらちゅさ。(汗をかいて濡れている服は裏返  
して風にあてなさい。そうすれば、自然に乾く  
よ)。

すがりーん 〈風にあたる〉【活】すがったん、  
すがりらん、すがってい 【例】ゆーふる いっ  
ち ちゃーきとう むぬ かだる あとー、な  
ーんかい っんぢてい すがりーねー、ぬー  
あんべー やん。あっさびよー、ちむすがり  
ないさ。(風呂に入ってすぐ後とか食事の後に、  
庭に出て涼風にあたると、心地よいものだ。ほ  
んとに気持ちが晴れる)。

すぎーん 〈削げる〉【活】すぎたん、すぎらん、  
すぎてい 【例】「っやーや いふいぐわー  
すぎてー をうらに？ ぬーが？ にんていど  
う をうていー？」「あんまさ さーに にんと  
ーたん」「おまえは少しやつれていないか。ど  
うした、臥していたのか」「気分が悪くて寝て  
いた」。っやーや いふえー すぎとーしが、ま  
ーん やみどう する る？ まーん やまん  
どー。(あなたは少し痩せているが、どこか痛  
いのか。どこも痛くないよ)。【参】条件節だけ  
でなく、疑問文においても、〈どこか〉の意味で

は「まーがな」でなく、「まーん」が遣われる。

**すく** 〈底〉 【例】ういなぐうやぬ つくわ  
うむいる ちむぐくろー うみぬ すくやか  
ふかさん。(母親が子を思う心は海の底よりも  
深い)。

**すく** 〈きびなご〉 【例】すこー スクぬ ち  
り、たまのー タマンぬ ちり。(きびなごはき  
びなごの連れ、タマンはタマンの連れ；類は友  
を呼ぶ)。

**すく がらす** 〈きびなごの塩辛〉 【例】す  
くがらそー とーふんかい ぬしてい かむし  
が、たーちえー みーとうぐーとうー やさ。  
(スク塩辛は豆腐に載せて食べるが、2つは夫婦  
のようだよ)。

**すくいん** 〈救う〉 【例】くねーだ いさぬ  
やーんぢ やんめーぬ みーあていらってい  
ぬち すくらったん。(この間病院で病気が見  
つかって命拾いをした)。

**すくいん** 〈掬う〉 【活】すくたん、すくらん、  
すくてい 【例】やまぬ かーらぐわーぬ み  
じ すくてい ぬみーねー ふいじゅってーん  
ぐわーっし ぬちぐすい ないんねー すん。  
(山の小川の水をすくって飲むと、程よく冷たく  
て長生きできるような気分になる)。

**すぐいん** 〈殴る、たたく〉 【活】すぐたん、す  
ぐらん、すぐてい 【例】んかしぬ わらべー  
わっさいねー、うやぬちゃーから すぐらっ  
ていどう ふどうっわーさっとうーしが、なまー  
すぐてー ならんくとう なんとーん。(昔の子  
どもは悪いことをすると、両親からたたかれて  
養育されたが、今はたたいてはいけなくなっ  
ている)。

**すぐい** けーらすん 〈ひっぱたたく〉 【活】  
けーらちゃん、~けーらさん、~けーらち 【例】  
あったんちゃーや くさみけーからー みー  
ん みーらん なてい すぐいけーらちやい  
すしが、うんな くとうー しえー ならん。(短  
気者は怒ってしまうと目の前も見えなくなっ

てひっぱたたくが、そんなことはしてはいけな  
い)。

**すくちな むん** 〈ひょうきん者〉 【例】  
あれー ちゃー っちゅ わらーち すくちな  
むん やさ やー。(あの人はいつも人を笑わ  
せてひょうきん者だね)。

**すくぶん** 〈職分〉 【例】っちゅんかえー  
なー すくぶん すくぶんぬ あいどう すく  
とう わかやーふーなーっし あびやーあびや  
ー しえー ならん どー。(人にはそれぞれの  
職分があるので、解っているふりして出しや  
ばってはいけないよ)。

**すくむん** 〈すくむ、縮こまる〉 【活】すくだ  
ん、すくまん、すくでい 【例】ういきがしーじ  
やー うやんかい ちゅーぢゅーく ぬらっ  
てい すくどーたん。(兄は親にひどく怒られ  
て縮こまっていた)。

**すくんかー すん** 〈縮み上がる〉 【活】~さ  
ん、~さん、~っし 【例】とうないぬ まやーや  
いぬんかい っわーったくとう ゆかさぬ  
みーんかい ふえーりんちゃーに すくんかー  
そーたん。(隣の猫は犬に追われたので床下  
に入り込んで縮み上がっていた)。

**すぐりーん** 〈優れる〉 【活】すぐりたん、す  
ぐりらん、すぐりてい

**すぐり んぐわ** 〈すぐれた子〉 【例】あま  
ぬ うやぬちゃーや がくむぬん ぬーん し  
えーをうらんしが、すぐりんぐわ なちえーさ  
やー。のーが やさ。(あそこの親は学問も何  
もしていないが、すぐれた子を産んだね。名誉  
なことだね)。

**すぐらー/すぐり むん/すぐりんち  
ゅ** 〈優れ者〉 【例】あまぬ つくわぬちゃー  
や ちゅいん ぬくさん むる すぐりむん  
やんでい。(あそこの子どもたちは一人残らず  
みんな優秀だって)。あぬ っちよー ちゃー  
ぬーん いらんしが、じんとー すぐりんち  
ゅ どー。(あの人はいつも何も言わないが、ほ  
んとうは優れ者だよ)。

**すじょー** 〈楽しみ〉【例】じこー すじょー しえーる むん なー？(すごい楽しみをしたんだねえ)。

**すじょー すん** 〈楽しむ〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】ちちじ まちりんかい っんぢ いっぺー すじょーっし ちゃん。(ツツジ祭りに行ってとても楽しんできた)。

**すす** 〈裾〉【例】ちん のーさーんかい ちんぬ すす のーしーが っんぢちゃん。(洋服店に着物の裾を直しに行ってきた)。

**すすいん** 〈拭いてきれいにする〉【活】すすたん、すすらん、すすてい 【例】ふくい ぶーぶー そーくとう、すすいかちんでー しえー。(埃だらけだから、拭き掃除でもしなさい)。みじぬ たとーくとう、すすい むっちちゃーに すすれー。(水が垂れているので、雑巾を持って来て拭きなさい)。がっこーから けーていちーねー、かーらから みじ くでい めーなち すすいかち さい、ほーちかち さい するくとうん なまー ねーんなとーさ やー。(学校から帰ってくると、井戸から水を汲んで毎日ぞうきんがけしたりほうきで掃いたりすることも現在はなくなっているね)。

**すそーん すん** 〈粗末にする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】どうーぬ ぬち していーる っちゅぬ うふさしが、あつたる ぬち すそーん しえー ならん。(自分の命を捨てる人／自殺者が多いが、大事な命を粗末にしてはいけない)。うや すそーん する っちょー ゆーや わたてー いからん。(親を粗末にする人は世の中は渡って行けない)。うやんかい すそーんどう さっとーたしが、あんし うやこーこーぬ っくわ やる。(親にぞんざいに扱われていたが、なんと親孝行の子なのか)。

**すだちゅん** 〈育つ〉【活】すだっちゃん、すだたん、すだっち

**すだち** 〈育ち〉【例】あまぬ ういなぐんぐわー すだちぬ ゆたさん やー。(あの家の女の子は育ちがいいね)。

**すだていーん** 〈育てる、養育する〉【活】すだていたん、すだていらん、すだていてい 【例】くぬ ちぶる あんし まぎー なてい、ゆーふどうっわーちえーる／すだていてーる むん なー。(このひょうたんはあんなに大きくなって、よく育てたものだねえ)。【参】「ふどうっわーすん」は物理的な成長を意味する。

**すだてい みち** 〈育て方〉【例】っくわなする みちえー わかいしが、すだていみちえー わからん ういなぐぬうやぬ をうん。(子を産む方法はわかるが、育て方はわからない母親がいる)。

**すだていぬ うや** 〈育ての親〉【例】なし うややかー すだていぬ うや。(産みの親よりは育ての親)。

**すっくいー** 〈米を練って作った糊〉【例】ぬくやーめー ふいーちんっし ちちまーに むまーむまーっし ぬい っんぢやさーに、うぬ ぬい (=すっくいー) ちぬんかい いっていから くしーたん。(残り物の米をフキンで包んで揉んで糊を出して、その糊 (=すっくいー) を着物に糊付けしてから着せたものだ)。

**すでい** 〈袖〉【例】なち やていん やきらんぐとう ながすでい ちーん。(夏でも日焼けしないように長袖を着る)。

**すでい ばか** 〈仮りの墓〉【例】っんまりてい ちゃーき をうらん なたる わらべー、うちなーをうてー 「ゆーすーぐわー」んでいいち、すでいばか ちゅくてい うさみーん。(産まれてすぐに亡くなった子は沖縄では「ゆーすーぐわー」といって、仮りの墓に収める)。

**すとうみてい／すていみてい／していみてい／ひていみてい** 〈早朝〉【例】すとうみていぬ ほーちかちとう すす



いかちえー わらびぬ めーなち しーびちー  
くとう やたん。(朝早くのほうき掃除と雑  
巾掛けは子どもが毎日すべきことだった)。し  
ていみていむのー なんじぐる かむが?(早  
朝食は何時頃食べるか)。ぶかりー なすくと  
う、していみてい なーらー っちゆぬ やー  
んかい じん あちみーが いちゆるむのー  
あらん。(縁起が悪いので、朝早くから人の家に  
集金しに行くものではない)。

**すなわいん** 〈充分にそろう〉【活】すなわた  
ん、すなわらん、すなわてい 【例】しくちにん  
じょー(=しくちえーじゅーや) すなわとー  
み?(仕事をする人たちの人数は充分そろって  
いるか)。

**すぬい** 〈もずく〉 【例】すぬえー あふあむ  
んどー やくとう、あまじゃき、そーゆー、み  
りん あーち、かきじる ちきてい かむん。  
(もずくは味がないので、酢、醤油、ミリンを混  
ぜて、タレに浸けて食べる)。すぬい かみーね  
ー ちしらんでい。(もずくを食べると便秘は  
しないって)。

**すば** 〈そば〉 【例】うちなーんちゆんかい  
すば かまんぬーや をうらん。(沖縄の人に  
そばを食べない人は居ない)。

**すば** 〈側、傍ら〉 【例】くらーぐわーよー、っ  
んまぬ ちゅーくとう すば なり よー。(雀  
よ、馬が来るので側に寄んなさいよ)。

**すば** ふいらー 〈周辺〉 【例】ふていま  
ひこーじょーぬ すばふいらーや あさ ふ  
えーくから ゆろー につかまでい ひこーき  
ぬ いちむどうやーっし ちむん とうやーさ  
らん。ふえーぬ みみぬ すばをうてい ぶん  
ぶん そーんねーっし やがまさぬ。(普天間  
飛行場の周辺は朝早くから夜遅くまで飛行機が  
行き交い心もおだやかになれない。ハエが耳の  
側でぶんぶんしているようでうるさい)。【参】  
「やがまん」は騒音(蟬や発情した猫の鳴き声  
など)に対して遣うが、子どもやセールスマン

にまわりつかれたときには「かしまさん」を  
遣う、それで「かしまさぬ、きつとうばしえー」  
(うるさい、蹴とばしてやる)としか言わない。

**すびちゅん** 〈退かす〉【活】すびちゃん、す  
びかん、すびち 【例】いふいぐわー ゐー く  
さーんかい すびちとうらしえー/すんちとう  
らしえー。(少しばかり椅子を後ろに引いてく  
れ)。【参】うり さまたぎ なんとくとう す  
んちとうらしえー(それ邪魔なので退かしてく  
れ); くさーんかい しーちとうらしえー(後  
ろに退いてくれ); しがりなみっし しぐ し  
がらってい うっさぬ なみさーに むる す  
んかったん(津波で一瞬に捉えられ押し寄せる  
波ですべて持ち去られた)。

**すみーん** 〈染める〉【活】すみたん、すみら  
ん、すみてい

**すむん** 〈染まる〉【活】すだん、すまん、す  
でい 【例】っやー しーんかい あかーぬ  
すどーん どー。くりからー いるむぬんかえ  
ー たっくわーすな よー。(あなたの白い服  
に赤が染まっているよ。これからは色物にはく  
っ付けないでよ)。

**すみ むん** 〈染め物〉 【例】すみむのー  
ちん よーらさん あらやーっし ていーあれ  
ー さーに、かってーんぐわー しーろー はら  
ち、たくでい かーぎんかい ふすん。(染め物  
は着物を弱らせない洗剤で手洗いし、軽く水気  
はとって、畳んで陰干しする)。

**すみ やー** 〈染め物屋〉【活】すーやー 〈塩  
炊き屋〉 【例】すみむんやーや 「すみやー」  
んでいん いーん。(染め物屋は「すみやー」と  
も言う)。

**すむち、しゅむち** 〈書物、本〉 【例】く  
ぬ すむちえー たーが かちえーが?(この  
本は誰が書いたのか)。

**すらーすん** 〈揃える〉 【例】がっこーを  
うてい ちかいるむのー むる すらーちえー  
み?(学校で使う物はみんな揃えてあるのか)。

**すりーん** 〈集まる〉【例】ちゅーや すりーぬ あくとう すりてい めんそーり よー。(今日は集まりがあるのでそろっていらっしやいね)。すいんちょー すりーじゅりーっし いちゅしが、なーふあんちょー なーはいばいっし、とうまいんちょー とうめーいどうめーいっし、くにんだんっちょー くんくるばーしえーっし いちゅたんでい。(首里の人は揃って行くが、那覇の人は各自ばらばらで、泊の人は探し合いながら、久米村の人は押し合いへし合いして行ったとき)。

**すりー** 〈集まり〉【例】すりー にんじゅ(出席者)。にちよーから どよーぬ っうえーだねー すりーや いくけーん むっちょーが?(日曜から土曜の間には集まりは何回あるか)。

**すりー** **じゃー** 〈集会所〉【例】うとうすいから、うふっちゅ、わらび、たんかーまんかーぬ っちゅぬちゃーぬ すりてい、むらうくしぬ ちゅーごー する すりーじゃーぬ ありわどう やる。(お年寄りから、大人、子ども、隣近所の人たちが集まって、村おこしの相談をする集会所があるべきだ)。

**すん** 〈損〉【例】うさきーぬ じん はらてーくとう、かむる むのー ふえーくなー とうらんねー ねーん なてい すんじぐとう ないんどーんち、めーないめーない する むのー あらん。(それだけのお金を払ったので、食べるものは早く取らないとなくなって損するからといって、急ぐものではない)。

**すん** **かぶい** **すん** 〈商売で損をする〉【例】うふあみ なやーに ある うっさぬ しなむん みじんかい ちかてい うららん なてい すんかぶい さん。(大雨になってあったけの商品が水に浸かって売れなくなってしまい損をした)。

**すん** 〈しみ〉【例】ちぬんかい ちーぬ すん ちち うとうしぐりさん。(服に血の染みがついて落としにくい)。

**すん** **くわいん** 〈沁みる、凍みる、滲みる〉【活】～くわたん、～くわらん、～くわてい 【例】

きぶしぬ きぶさぬ、 みーぬ すんくわてい やむん。(煙たくて、目が沁みて痛い)。あちむん、ふいじゆるむん ぬみーねー はーぬ すんくわてい やどーくとう、はーやーんかい っんぢちゃん。(熱いものや冷たいものを飲んだら歯に沁みて痛いの、歯医者に行ってきた)。ふいばりとーる とうくるぬ すんくわてい やむん。(あかぎれしているところが滲みて痛い)。しばぬ はぎとーくとう、しーむんぬ すんくわてい やむん。(口内炎なので、酢の物が滲みて痛い)。

**すんじーん** 〈破れて痛む、損じる〉【活】すんじたん、すんじらん、すんじてい 【例】いーびぬ さちぬ あかりてい すんじーん。(指の先の皮が破れて痛い)。いーちゅさーに ちゅくてーる ちん せんたくきんかい いってーい あらたくとう、ちゅらーさ ちぢまてい ちららん なてい すんじたん。(絹織りの着物を洗濯機に入れて洗ったので、すっかり縮んで着れなくなってダメにした)。

**すんちゅん** 〈引きずる〉【活】すんちゃん、すんかん、すんち 【例】ほーやーほーやー そーる わらべー うーふあする うーびっし わたくんだってーい うかーさる ばすねー うーび すんちゃーに ゆしーたん。(這い這いしている子はおんぶする帯でお腹をくくって危ないときに帯をひっぱって寄せた)。ういなぐわらびぬ そーぐわちぢんぬ うーびぬ はんでいーい すんちよーたくとう、のーちとうらちゃん。(女の子の正月の着物の帯がはずれてひきずっていたので、直してあげた)。あれーに一むちゃー やくとう いりわい すな よー。あとう すんちゅん どー。(あの人は恨みをもつので、口論はするなよ。後々まで引きずるよ)。あまんかい いちぶさたくとう、いんぐわーや あっかんぱー そーたしが、くべーぬーしんかい すんかっとうたん。(行きたいのはあっちなので、犬は歩こうとはしなかったが、首は飼い主に引っぱれていた)。やなくとーうんでー しーねー じゅんさんかい ていー

くんだってい すんかりーん どー。(悪い  
ことでもすると警察に手錠をかけられて連れて  
行かれるよ)。どうしえー めーどうし かめ  
ーり よー。あれー やなどうし かめーやー  
に どうしんかい すんかっていどう をうん

どー。(友は良い友を探しなさいよ。あれは  
悪い友をもってその人に引きずられているよ)。  
っやーや なーだ ちび すんちどう をうる

ゐ?(あなたはまだ引きずっているのか)。あ  
ぬ しくちえー なーだ (ちび) すんちよー  
くとう、びちぬ わじゃん ならん。(あの仕  
事はまだ 引きずっているの、他の事もでき  
ない)。っやーや いちまでい うり すんち  
ゃーからからー/うーやーからからー すが?  
(あなたはいつまでそれを引きずるのか、≡すん  
ちあっち すが?)。【参】すびちゅん。

**すんち けーらすん** 〈引きずり倒す〉【活】～  
けーらちゃん、～けーらさん、～けーらち 【例】  
しま、じゅーどーや すんちけーらする わじ  
ゃ ちかいん。(相撲、柔道は引きずり倒す技を  
使う)。

**～すん** 〈～する〉【活】～さん、～さん、～っし  
【例】ゆんたく すん (おしゃべりする)、にー

ぶい すん (居眠りする)、さた すん (うわさ  
する)、あわり すん (苦労する)、いみ すん  
(増量する)、くー すん (穴を修理する)、しー  
み すん (潜る)、めーかば すん (香ばしさ  
がある)、やなかじゃ すん (悪臭がする)。う  
っちんとうーっし にんとーん。(うつぶせで  
寝ている)。うっちんとうー そーけー。(うつ  
ぶせにしている)。まーふあなちゃー そーん。  
(仰向けでいる)。【参】まーふあなちゃー な  
(い) みそーれー (仰向けになってください)。

**～すん** 〈～てしまう〉【活】～さん、～さん、～  
っし 【例】あん いーねー、つくわ/とうじ  
なけー すんどー。(そう言ったら、子ども/妻  
を泣かせてしまうよ)。ちゃー あしび すん  
どー。(ずうっと遊んでしまうよ)。ちゃー に  
んぢ すんどー。(ずうっと眠ってしまうよ)。

**～すん** 〈～がる〉【活】～さん、～さん、～っし  
【例】あちさ すん (暑がる)、ふさ すん (欲  
しがる)、ふいーさ すん (寒がる)、はじかさ  
すん (恥ずかしがる)、うとうるさ すん (怖  
がる)、やーさ すん (ひもじがる)、なちかさ  
すん (悲しがる)。

# そ

**そー** 〈竿〉 【例】んかしえー だきさーに ち  
ゆくらっとーる そー かたみてい うてい  
あっちゆる っちゆぬ をうたん。(昔は竹で  
作られている竿を担いで売って歩く人が居た)。

**そー** 〈性根、思慮〉 【例】そー いっち め  
ー わらび やー。(しっかりしている良い子  
だね)。そー いらん ぬー(しっかりしてい  
ない者)。うふそー、うふそー むん(まぬけ)。  
そーぬぎ がみ(我を忘れてがつつ食べるこ  
と)。ぬー しみていん そーん たたん。ぬー  
んちが やら?(何をさせてもどうしようもな  
い。いったいどうなっているなのか)。

**そー** いらー／そー いり むん 〈しっ  
かり者、利口者〉 【例】あれー わらび そー  
いにかーら そーいらー／そーいりむん やたん  
どー。(あの人は子どものころからしっか  
り者だったよ)。うんじゆな一たーぬ わらびん  
ちゃーや あんし そーいりむん やる。(お  
宅の子どもたちは何と賢いことか)。

**そー** たまし 〈精魂〉 【例】そーたましぬ  
いっちえーをうらんくとう、なまぬ なま  
ま でい うむいるくとー なてーをうらんさ。(精  
魂が入っていないので、今になっても思っ  
ていることは成就していないんだよ)。

**そー** どうくる 〈急所〉 【例】そーどうく  
る きらりやーに いーちん ならん、ぱった  
りげーやー さん。(急所を蹴られて息も出  
来ない、七転八倒した)。

**そー** ぬがー 〈おっちょこちょい、うっか  
り者〉 【例】ふいさぶに をうーたい、てい  
ー をうーたい、ちぶる わたいっし、どうー

びけー やまち あっちよーる っちよー そ  
ーぬがーどう やる。(足の骨を折ったり、手を  
折ったり、頭をケガしたりして、体ばかりケガ  
している人はうっかり者でしかない)。

**そー** ぬぎーん 〈うろたえる〉 【活】～ぬぎ  
たん、～ぬぎらん、～ぬぎてい 【例】あつたに  
うふしんしーぬ めんそーちゃくとう いっペ  
ー そーぬぎたん。(急に大先生がいらっしや  
ったのでとてもうろたえた)。

**そー** いん 〈連れる〉 【活】そーたん、そーら  
ん、そーてい 【例】まるふいーじーぬ すりー  
んかえー とうじ そーてい いちゆるくとー  
ねーらんたしが、をうとうぬ りっしん さ  
る うゆえーんかえー とうじん まじゅん  
そーてい っんちゃん。(通常の集まりには妻  
を連れて行くことはなかったが、夫が出世した  
お祝いには妻も連れて行った)。

**そー** ～〈実の、本物の〉

**そー** うや 〈実の親〉 【例】そーうや や  
かにん やしないうやぬどう うや やんねー  
すん。(実親よりも養い親が親らしい)。

**そー** なー 〈実名〉 【例】んかしえー そ  
ーなーや あらん、わらびなーっしどう あび  
とーたん。(昔は実名ではなく、童名で呼んで  
いた)。

**そー** ふりむん 〈まったくのバカ〉 【例】  
あれー しぢん のーらん そーふりむん や  
てい ちゃーん ならん。(あいつは死んでも  
直らないまったくのバカでどうしようもない)。

**そー** むん 〈本物〉 【例】くぬ いーびな  
ぎーぬ たまー そーむん め? ちゆくいむ

ん め？(この指輪の宝石は本物か、偽物か)。  
【参】「そーむん め？」は「そーむんどう やる  
め」の縮約形式か。

そー わらび 〈まったくの子ども〉 【例】  
くりから めーんくいん ならーち ふどうわ  
ーさんとー ならん わらび(これから何もか  
も教えて育て上げないといけない子)。うふっ  
ちゅ なていん、うっさぬ むぬぐとうん わ  
からん そーわらび なてい、ちゃーん なら  
んさ やー。(大人になっても、そんなこともわ  
からないまったくの子どものままで、どうしよ  
うもないね)。

そー んぐわ 〈実子〉 【例】そーんぐわぬ  
をうらんたくとう めーんぐわ とうたん。  
(実子がいなかったので、養子をもらった)。っ  
くわー そーんぐわーや あらん、めーんぐわ  
どう やいびーん どー。(子は実子ではなく  
て、養子ですよ)。

そーがー しりー 〈ショウガのすりおろ  
し〉 【例】わたぐわーぬ しるんかえー そ  
ーがーしりー いっていどう まーさる。かじ  
ゃん ねーん なてい、どうーん ぬくたま  
いん。(中味汁にはおろしショウガを入れてこ  
そおいしい。臭みもなくなって、体も暖まる)。

そーかん 〈熱病〉 【例】んかしえー みじめ  
はごーさぬ、くらしがたん ぶちりー やた  
くとう、がじゃぬんかい くわーってい、ちぶ  
るそーかん、しぶいわた(ちーぐすまやー) ん  
でーぬ ふーちやんめーぬ うふさたん。(昔  
は水が汚くて、暮らし方も不潔だったので、蚊  
に刺されて、脳膜炎、渋り腹(赤痢)などの風  
土病が多かった)。【参】ハブんかい うたっ  
てい(ハブに咬まれて)、いぬんかい くーらっ  
てい(犬に咬まれて)。

そーき 〈かご〉 【例】だきさーに あまっ  
とーる いりむんぬ くとう やてい、みーじょ  
ーきーとう さぎじょーきーぬ あん。(竹で  
編まれている容れ物のことで、「(底の浅い) み  
ーじょーきー」と「(つり下げタイプの) さぎじ

ょーきー」がある)。【参】ばーき(深底の竹製  
の容れ物)。

そーき ぶに 〈肋骨〉 【例】んにぬ ふ  
にとぅ ちるぬ たげーちげー なてい、だき  
さーに あまっとーる そーきとう にちょー  
るくとうから そーき ぶにんてい いらっ  
とーがやー？(胸の骨と筋肉が互い違いになって、  
竹で編まれているカゴと似ていることから「そ  
ーき骨」と言われているのかなあ)。

そーぐ 〈鉦〉 【例】なーふあぬ うふちなふ  
いちぬ ばすねー ケンケンケーンでいーる  
そーぐぬ ちかりーん。(那覇の大綱挽きの際  
にはケンケンケーンという鉦の音が聞こえる)。

そーぐわち 〈正月〉 【例】ちゅらぢん ち  
ち、うやとう まじゅん っうえーかぬ やー  
みぐてい、にんとうーぬ えーさち すしぬ  
たぬしみ やたしが、なまー そーぐわちら  
ーしくん ねーらん なてい、うや っうえー  
かぬちゃーとうぬ ちなぢぬ よーく などー  
ん。(晴れ着を着て、親と一緒に親戚の家を廻  
って、年頭のあいさつをするのが楽しみだった  
が、現在は正月らしさがなくなって、親親戚の  
人たちとの絆が弱くなっている)。

そーぐわち っわー 〈正月用の豚〉 【例】  
そーぐわち ないねー、っうえーかぬちゃーぬ  
あちまてい っわー とーさーに しんめー  
なーびんかい にち んなっし うり かむる  
くとうぬどう っういーりきぐとう やたんで  
い。(正月になると、親戚の者が集まって豚をつ  
ぶしてシンメー鍋に煮てみんなでそれを食べる  
のが楽しみだったって)。

そーぐわち われー 〈正月笑い〉 【例】そ  
ーぐわちぬ ぐとう っういーりきぎさ わら  
とーる っちゅんかい そーぐわちわれー そ  
ーんでい いーん。(お正月のように楽しそう  
に笑っている人を正月笑いしていると言う)。

そーしち 〈性質、性格〉 【例】あぬ っち  
ょー めー そーしち やん やー。(あの  
人はいいい性格だね)。あぬ っちょー むちかさ

る そーしち やん やー。(あの人は難しい性格だね)。そーしちぬ わっさくとう、どうしなやーや をうらん。(性質が悪いので、友人になってくれる人はいない)。そーしちぬ あたらんくとう、ありとー ちら あーさん しえー まし。(性格が合わないので、あの人とは顔を合わさない方がいい)。

**そーべー** 〈粗製品〉 【例】「やまとう そーべー、とー あちれー」んでき かーま んかしえー いらっとーたしが、あねー あらんなとーん。(「日本ものは粗末で、中国ものはあつらえもののように上等」とずっと昔は言われていたが、そうではなくなっている)。

**そーみー** 〈斜視〉 【例】いりがさー やん でいさーに そーみー ないる っちゅん をうたんでい。(麻疹をこじらして斜視になる人も居たって)。そーまーや まー ーんーちょーが わからん。(斜視の者はどこを見ているのか分からない)。

**そーみなー** 〈メジロ〉 【例】んかしえー

なーやーやーぬ そーみなーくーんかい そーみなー ちかなとーたしが、なまー とうてーならんくとう なんとーん。(昔は各家々の鳥かごでメジロを飼っていたが、現在は捕獲してはいけなくなっている)。そーみなーぬ むぬくわいんねー、そーみなーぬ みじ ぬみんねー、そーみなーぬ みじ あみーんねー しえー ならん どー。(メジロのようにちよっぴりしか食べない飲まない、メジロのように素早い水浴びをしてはだめだよ)。

**そーみん** **ぷっとうるー** 〈素麺炒め〉

【例】そーみんぷっとうるーや うちなーんちゅぬ ゆー かどーる むん やん。(素麺炒めは沖縄の人がよく食べているものだ)。

**そーゆー** 〈醤油〉 【例】そーゆーいりやー

や んかしえー とうっくい やたしが、なまー いるかじぬ むんさーに ちゅくらっとーん。(醤油指しは昔はとっくりだったが、今はいろいろなもので作られている)。



# た、だ

## た〜〈2〉

た くとう 〈二言〉 【例】たくとー ねー  
んくとう ちゅーなかいに いちよーちゅん  
どー。(二言は言わないから今日のうちに言っ  
ておくよ)。あれー たくとう みくとう な  
ー ゆびわどう いれーゆる。(あの人は二、三  
回名前を呼ばれてやっと返事をする)。

た けーん 〈二度〉 【例】たけーん ある  
くとー みけーん あん。(二度有る事は三  
度ある)。

た ちち 〈来月〉 【例】たちちえー ぐん  
ぐわち やん。(来月は5月だ)。たちちえー  
まぎやしめぬ あくとう、ゆすぐにんかい あ  
しびーが いちゅん。なー たちちえー すー  
まんぼーすーんかい いーん。(来月は大きな  
休みがあるので、外国に遊びに行く。再来月は  
梅雨に入る)。

た ちち 〈2ヶ月〉 【例】あたらさる っち  
ゅぬ はちから くんちちさーに たちち な  
いん。(大切な人が往ってしまってから今月で  
2ヶ月になる)。

た とう 〈2歳、2年〉 【例】ういきがし  
ーじゃとう わんとー たとう はなりとーっ  
さ。(兄と私とは2歳離れている)。

た とうーい 〈二通り〉 【例】むぬぐとう  
んかえー っういーぬ あれー しちゃん あ  
てい、ふいぢゃいぬ あれー にぢりん あて  
い、ちゃー たとうーい あん。(物事には上が  
あれば下もあって、左があれば右もあって常に  
二通りある)。

た とう ぐしー 〈2年おき〉 【例】たと

うぐしーぬ せんきよぬ あくとう っちゅん  
まちん わさわさ そーん。(2年越しの選  
挙があるので、人も市もざわめいている)。

た なか 〈間、中間〉 【例】っうえーきんち  
ゅぬ やーぬ たなかんかい ふいんすーむん  
ぬ やーぬ あてい、ちゃー まーさむん か  
じゃっし うりっし わた みたちやんでい。  
(お金持ちの家の間に貧乏者の家があって、いつ  
もおいしい匂いがしてそれでお腹を満たしたっ  
て)。

た また がき 〈二股かけること〉 【例】  
いかな ふどうだき うちやてい めーかーぎ  
やていん、たまたがき する ういきがなか  
えー ちむ ゆるちえー ならんでいーる く  
とー ゆー わかてーをうていん、ぬーが や  
ら していらってい なちゆる ういなごー  
まんどーん。(いかに背が高くてハンサムでも、  
二股かける男には心を許してはいけないという  
ことはよく分かってはいても、何故か捨てられ  
て泣く女性は多い)。

たー 〈誰〉 【例】たー やらわん しむくとう  
わんしくち かしーっし くらんがやー?  
(誰でもいいから私の仕事を手伝ってくれない  
かなあ)。

たー がな 〈誰か〉 【例】たーがな くり  
っしとうらする っちよー をうらんがやー?  
(誰かこれをしてくれる人はいないかなあ)。

## たー 〈田〉

たー いゆ 〈鮒、フナ〉 【例】たーいゆぬ  
かしらー ならわん くーいゆぬ じゅーね



ー なんな。(鮎の頭になっても鯉の尾にはなるな、鶏頭牛尾)。

たー ぐしれー 〈田植えの準備〉 【例】っんに っういーるめーねー たーぶっくわ たげーちから たーぐしれー すん。(稲を植える前には田んぼを耕してから田植えの準備をする)。

たー ぶっくわ 〈田んぼ〉 【例】うーやまとう ちんやんばるぬ たーぶっくわんち ちゅくらっとうー たーっんもー まーさん。(大山と金武ヤンバルの田んぼで作られている田芋はおいしい)。【参】やまとう(薩摩)、うふやまとう(日本本土全体)。

たー むぢ 〈田芋のずいき〉 【例】んかしから うちなーをうてー っくわー なしーねー、「っんばぎー」んでいち たーむぢぬ しる ちゅくてい たんかーまんかーぬ っちゅんかい はぢ んなっし かむん。(昔から沖縄では出産すると、「っんばぎー」(出産祝い)といって田芋のずいきの汁を作って隣近所の人たちに配ってみんなで食べる)。

たー っんむ 〈田芋〉 【例】なままでー あかまーみーぬ あん ちかとーたしが、ちかぐるからー たーっんむぬ あんぬ いっちょーる いるかじぬ かみむぬん っんぢとーん。(今までは小豆のあんを使っていたが、近頃からは田芋のあんが入っているいろいろな食べ物が出ている)。

だー／はー なー 〈おい、ねえ〉 【例】だー／はーなー ちゃーすが?(おい、どうするか)。

たーぐ 〈水桶〉 【例】んかしえー、あぐにをうてー なーちねーぢねー たーぐ むっちよーてい、ちゃー みじがーみ みたすしえー わらびぬ しゅち やたん。(昔は、粟国島では各家庭が水桶を持っていて、いつでも水がめを満たすのは子どもの仕事だった)。たーぐ かたみーん。(水桶をかつぐ)。

だーぐ 〈だんご〉 【例】くるじゃーたー だ

ーぐ(黒糖だんご)。さーたーん ぬーん いりんな よー。あふあだーぐ ちゅくてい とうらしえー。(砂糖もなにも入れないでよ。味つけなしのだんごを作ってちょうだい)。あまぐわしとう だーぐとー ぐー やさ。(ぜんざいとだんごとは相性抜群)。

たーくとう 〈うわごと〉 【例】どうく にちぬ ちゅーさいねー、くちさっし たーくとう ゆむん。(あまりにも熱が高いと、苦しくてうわごとを言う)。

たーち 〈2つ〉

たーち すん 〈兼ねる〉 【活】～さん、～さん、～っし 【例】やくばぬ ゆーじゅとう ぎんこーぬ じんうるしぬ たーちえー わーが そーちゅん。(役所の用事と銀行の引き出しの2件は私がやっておく)。

たーち まちやー 〈つむじが2つある者〉

【例】たーちまちやーや うーまくー やんでい。ういきがわらび やいねー、いぢりむん ないんでい。(つむじが2つある者はわんぱくだって。男の子であれば、勇敢な人になるって)。

たーち みしー 〈2歳違いの子を産むこと〉

【例】っくわぬちゃー みっちやい をうしが、むる たーち みしー やん どー。(子どもは3人いるが、みんな2つ違いの子を産んでいるよ)。ていーちみしーや たーちゅー なちえーしとう めぬ あわり すん どー。(1つ違いの子を産むのは双子を産んだのと同じ苦労をするよ)。

たーち わい 〈二分〉 【例】かーらから

ながりていちゃる まぎむむ たーちわいさーに ちっちんーぢーねー、なーかから たまんぐわぬ っんぢていちゃん。(川から流れて来た大きな桃を2つ割にしてみると、なかから元気な男の子が出てきた)。

たーまー 〈鬼やんま〉 【例】うふかじぬ ち

ーがたーぬ しらしとうっし、まぎちぶる、まぎはに、まぎじゅーそーる あーけーじゅーぬ たーまーぬ まーがなから とうでい ちゅ

一ん。(台風が来そうな兆候として、大きな頭、大きな羽、大きな尾をしているとんぼの鬼やんまが何処からともなく飛んで来る)。

**たーび** 〈足袋〉【例】んかしえー ゆかっちょー まるふいーじーや さば くでい、あみふえー あしぢや やたん。たーび くむしえー、くーじぐとうぬ ぢしちんかい つんぢーる つちゅ、また じゅりぬちやーん ゆるさっとーたん。(昔は土族は常日頃はぞうりを履き、雨降りは下駄だった。足袋を履くのは、公の儀式に出席する人、または遊女たちも許されていた)。

**たーりー** 〈お父さん〉【例】ゆかっちょー 「あやー たーりー」んでい ういなぐぬ ういきがやか めー ないしが、ふかー 「すー あんまー」 やてい ういきがぬ めー なとーん。ぬーんでいーる くとう やがやー？(首里の土族は「あやー たーりー」(お母さん お父さん)と女性が男性より前になって、他は「すー あんまー」(お父さん お母さん)で男性が前になっている。どういうことかねえ)。

**たーりーん、たーり すん** 〈費やす〉【例】ふいっちー ぬーん さんぐとう かでー にんたい ほーたい する くとうんかい 「ふいまだーりすん」、みみたき くいーとーる しー(＝うっか) かんてい ちゃーん ならん くらし そーる くとうんかい 「じんだーりすん」、あさん ふいるん ゆるん めーが めーなち しくちん さんぐとう さきびけー ぬどーる くとうんかい 「さきだーりすん」でい いーん。(一日中何もしないで食べたり寝たり寝そべったりすることに「暇つぶしをする」、身の丈を超える負債を抱え込んでどうしようもならない暮らしをしていることを「金づまりをする」、朝も昼も夜も毎日仕事もしないで酒ばかり飲んでいることを「酒びたる」と言う)。

**たい** 〈2人〉【例】ちゅい(1人)、たい(2人)、みっちゃい(3人)、ゆったい(4人) や

しが、うぬ あとー なまー ぐにん(5人)、るくにん(6人)、しちにん(7人)、はちにん(8人)、くにん(9人)、じゅーにん(10人) んでい いちよーん。んかしから じゅーにふんうこー(12本お香)、じゅーぐふんうこー(15本お香)、じゅーさんうゆうえー(13お祝い、生年祝いの1つ) んでー あん。(…、だが、そのあとは今は…、と言っている。昔から…、などはある)。

**～たい** 〈～人〉【例】やーにんじょー いくたい をうが？(家族は何人居るかい)。ふいらとーる つちよー いくたい をうが？(つき合っている人は何人居るかい)。

**たいん** 〈垂れる〉【活】たたん、たらん、たてい 【例】かさから みじぬ たとーくとう、ふかんかい たていとーけー。(傘から水が垂れているので、外に立てておきなさい)。

**だいいん** 〈体がだるくなる、力がなくなる〉【活】だたん、だらん、だてい 【例】だいむん＝どうー つんぶー(役立たず、元気のない者)、だいむい(元気がないこと)。どうく ちゅーわじや なたい、すしぬ まんでい、にんぢゆるみーん にんぢゆる くとうん ならん。だいむん なんとーさ。(あまりに負担過剰で、することが多くて、眠るにも眠れない。体がだるくなっている)。ちちる うっぴっし だいいんねーすさ。(聞くだけで疲れる)。

**だりーん** 〈体がだるくなる〉【活】だりたん、だりらん、だりてい 【例】ていーだんかい ふしくわーってい はるしくち さるむのー ちゅらーさ だりとーん。(太陽に照らされて畑仕事をしたからすっかり疲れている)。くぬ わじやー だりーっさー。(この仕事はやる気が出ないね)。わんねー だりとーっさー。(僕は疲れているよ)。

**たりゆん** 〈足りる〉【活】たりたん、たらーん、たりてい 【例】つやーんかい たらーんくとうぬ あていどう あん なんとーさ。(あな

たに至らないことがあってああなっているんだよ)。ちかいる じのー たりとーみ？(使っているお金は足りているか)。うゆうえーぬ かみむのー あまいしえー しむしが、たらーん なてー ならん どー。(お祝いの食べ物は余るのはいいが、足りなくなっはだめだよ)。くめー にんごーっし たりーみ？(米は2合で足りるか)。むぬいーぬ たらーん。(ことが言い足りない)。

**たうちー** 〈闘鶏〉 【例】あれー たうちーぬ ぐとうどう あん どー。ありとー おーえーていーえーや すな よー。(あの人は闘鶏のように喧嘩早いよ。あの人とはけんかはするなよ)。たうちーおーらしえーや うふいくさめーや ゆー あたるぐとーしが、ちかぐろー みーららん なとーん。んかし タイ(シヤム)とう くげー そーたくとう、たうちーぬ シヤモや シヤムていーかたぬ むーとう なとーん ぐとーん。(闘鶏は大戦前はよくあったようだが、近頃は見られなくなっている。昔タイ国と貿易していたので、闘鶏のシヤモはシヤム文化が語源になっているようだ)。

**たか** 〈鷹〉 【例】たかぬ もーれー がらしん もーいん。(鷹が舞うとカラスもまねをする、身の程知らず)。

**たか**〜〈高〉

**たか うっちゃき** 〈高値をふっかけること〉 【例】あんし たかうっちゃき しーねー、たーがん こーらんさ。(あんなに高値をふっかけることをしたら、誰も買わないよ)。

**たか うちやぎ すん** 〈偉そうにする〉 【活】〜さん、〜さん、〜っし 【例】ちゃっさぬ うふっうえーきんちゆが やら、をうとうぬ ちゃっさ まぎっちゆが やら わからんしが、あんし たかうちやぎっし あっちょーる。(いかほどの大金持ちなのか、夫がいかに大物なのか分からないが、あんなに偉そうにしている)。【参】たかうちやがー(偉そうにしている者)。

**たか ごーい** 〈高く買ってしまうこと〉

【例】なーふあぬ まちぐわーや めぬ でーやあらん。めぬ しなどう やしが、たかごーい する くとうぬ ゆー あん。(那覇の市場は同じ値段ではない。同じ品物なんだが、高く買ってしまうこともよくある)。

**たか そー** 〈背の高い人〉 【例】でーじな たかそーとう はなし さる あとー、ちぶる むちゃぎとーたくとう くびぬ やむたん。(とても背の高い人と話をした後は、頭を持ち上げていたので首が痛かった)。

**たか でいー とうやー** 〈高利貸し〉

【例】たしきていとうらすんち からちやてーまん、たかでいーとうやー ないねー、あとうあとー でいーぬ たかさんでいち みっくわささりーん。(助けてあげようと貸したとて、高利貸しになってしまっは、後は利息が高いといっは恨まれる)。

**たか でー** 〈高価〉 【例】たかでー はらてい ぢー こーたしが、やー ふちゆる じんぬ なまー たらーんくとう、じん とうてい くるま とうみらちょーん。(高いお金を払って土地を買ったが、家を造るお金が今は足りないので、有料で駐車させている)。

**たか ばしる** 〈高窓〉 【活】とうばしる 〈雨戸口〉 【例】んかしやーや とうばしるから っちょー いっちやい っんぢたいっし、すばぬ くびんかえー たかばしるぬ あたん。(昔の家は雨戸口から人は出たり入ったりして、側の壁には高窓があった)。

**たか ぶいん** 〈偉そうに振る舞う〉 【活】〜ぶたん、〜ぶらん、〜ぶてい 【例】どうーふみーっし わかいんふーなー する っちゆんかい たかぶやーんでい いちょーん。(自賛して分かった振りをする人に偉ぶっている人と言っている)。

**たか われー** 〈高笑い〉 【例】あれー まるけーていなー たかわれー すしが、っちゅうしえーむんが やら、くしが やら、ちゃーる ばーが やら？(あの人は時々高笑いするが、人をバカにするタイプなのか、癖なのか、

いったいどうなのかなあ)。

**たかまーみ** 〈めだか〉 【例】たかまーめー  
あちまてい っういーちよーしが、あみなー  
や どうーちゆい あしび そーん。(めだか  
は集まって泳いでいるが、おたまじゃくしは独  
りで遊んでいる)。

**たからんぐわ** 〈子宝〉 【例】にーびちっ  
しから にじゅーにんみーに たからんぐわ  
もーきたん。(結婚してから20年目に子宝に  
恵まれた)。【参】なしむぬ っくわ。

**たかりーん** 〈たかる〉【活】たかりたん、た  
かりらん、たかりてい 【例】なーぬ っんどー  
る ばんしるーんかい ふえーぬ たかりとー  
ん。(庭の熟しているグアバにハエがたかつて  
いる)。

**たき** 〈岳、山〉 【例】うちなーぐゆみぬ し  
んぐわちから ぐんぐわちまでー きーくさぬ  
みーる しち やてい くんぴてー ならん  
くとう、やまどうみんでいち やまんかい  
いっち きーくさ ちっちえー ならん。(旧  
暦の4月から5月までは植物の芽を出す季節で  
踏みつけてはいけないので、山止めといって山  
に入って草木を切ってはいけない)。

**たき むい** 〈山、岳〉 【例】やんばろー  
まー んーちん たきむい どー。(やんばる  
は何処を見ても山だよ)。

**たき** 〈背丈〉 【例】なまぬ ういなぐわらび  
んちゃーん いっぺー たきふどうぬ まぎー  
く なてい ちよーっさ やー。(現在の女の  
子たちもとても体格がおおきくなって来ている  
ね)。あぬ にーしえーや かーぎん あてい、  
ちぶるん ちち、たきふどうん うちやてい、  
とうじ ないぶさ する ういなぐぬ うふさ  
る はじ やー。(あの青年は顔立ちもよくて、  
頭もよくて、体格もよくて、妻になりたがる女  
性が多いはずね)。

**たき ぶん** 〈身分〉 【例】あぬ うかたー  
っんまりたきぶんぬ まぎさる っちゅう  
やみしえーん どー。(あのお方は身分の高  
い方でいらっしゃいますよ)。

**だき** 〈竹〉 【例】んかしえー やんばるだき  
さーに やーがくい さい、「ふいんぶん」 ち  
ゆくたい、ちんぶく ちゆくたい すたん。(昔  
はヤンバル竹で屋敷囲いしたり、「ふいんぶん」  
塀を造ったり、釣り竿を作ったりしていた)。

**たきな むん** 〈程度の知れた者〉 【例】あ  
れー ちゃー うふむにー そーたしが、たき  
なむんどう やてーる。(あの人はいつもほら  
を吹いて偉そうにしていたが、程度の知れたや  
つだったんだね)。

**たくぶん** 〈たたむ〉【活】たくだん、たくば  
ん、たくでい 【例】ちん あらてーし たくぶ  
ん。(着物を洗ったのをたたむ)。

**たくま** 〈利口さ〉 【例】たくまぬ ちゅーさ  
る むぬんかい たくまーんでい いーん。(考  
えの深い者に利口者と言う)。じんぶなー、はが  
なー、たくまーや あぬむん。(知恵者、頭がよ  
く切れる者、利口者は同じものだ)。

**たくむん** 〈たくらむ〉【活】たくだん、たくま  
ん、たくでい 【例】しくちばから あり っう  
いーほーいんち ありくり たくむん。(仕事  
場からあの人を追い払おうとしてあれこれたく  
らむ)。

**たげー** 〈お互い〉 【例】なげー あっちよー  
くとう たげーに ゐち ゆくらな。(長いこ  
と歩いているのでお互い座って休もう)。

**たげー ちげー すん** 〈くい違う〉【活】～  
さん、～さん、～っし 【例】あったーや いちよ  
ーる くとー たげーちげーっし はなしに  
ならんくとう、うっちゃんぎとーけー。(あの人  
たちは言っていることがくい違って話にならな  
いので、放っておきなさい)。

たげーに うーふー／いーひー すん  
 人〈互いに敬語を使って／使わずに会話する〉  
 【活】～さん、～さん、～っし 【例】ちむ ゆるする  
 っちゅぬちゃーとー たげーに いーひー  
 っし はなしむぬがたい ないしが、なーだ  
 ふいらいぬ あささる っちゅとうか、しーじ  
 やがたんかえー うーふー すん。(心を許す  
 人たちは互いに敬語を使わずに話できるが、  
 まだ付き合いが浅い人とか、年上には敬語を使  
 って会話する)。

たげーすん 〈耕す〉【活】たげーちゃん、た  
 げーさん、たげーち 【例】はろー たげーちか  
 ら ふあーやしえーぬ さに っういーゆん。  
 (畑は耕してから野菜の種を植える)。【参】けー  
 すん。

たち 〈辰〉 【例】たちえー ふえーむていあ  
 がりぬ ぬふあ やん。(辰は南寄りの東の方  
 角だ)。

たちー まじくい 〈他血統の者〉 【例】  
 たちーまじくい そーる っちゅんかえー う  
 ぐわんそー ちがする むのー あらん。(他  
 血統の人には先祖の位牌は継がせるものではな  
 い)。ゆすぬ っちゅぬ ちーぬ まんちよー  
 る っちゅんかい たちーまじくいんでい い  
 ーん。(他所の系統の血が混じっている人に「た  
 ちーまじくい」という)。

たぢーん 〈たぎる〉【活】たぢたん、たぢら  
 ん、たぢてい 【例】たぢーねー、ふいー ちゃ  
 ーし／とうみり よー。(たぎったら火を消し  
 なさい／止めなさいよ)。

たぢらすん 〈たぎらせる〉【活】たぢらちゃ  
 ん、たぢらさん、たぢらち 【例】たぢらしーね  
 ー／あちらしーねー、しーらんくとう なーち  
 ちゃん かまりーん。(たぎらせると／暖めると、  
 腐れないので翌日も食べられる)。んかしえー  
 れいぞーこぬ ねーらんとくとう、ぬくとー  
 る むのー たぢらち うちきとーたん。(昔

は冷蔵庫がなかったので、残り物はたぎらせて  
 置いた)。

たぢらし けーさー 〈何度も煮返したも  
 の〉 【例】なー うわたる くとうどう や  
 くとう、たぢらしけーさーや さん けー。(も  
 う終わったことだから、何度もぶり返すことは  
 するな)。

たちゅん 〈立つ、経つ、断つ、発つ、嫁ぐ〉

【活】たっちゃん、たたん、たっち 【例】は  
 ーぬ たちゅる むんから こーていくーわ。  
 (刃が鋭いのから買ってこい)。くぬ ほーちゃ  
 ーや ーぬ たっちよーくとう ちかいる  
 ばすねー ちー ちきりよー。(この包丁は刃  
 が鋭いので使うときは気をつけなさいよ)。は  
 ー たたん かとーっさー。(刃がなまってし  
 まっているよ)。うりんかえー ぬー いちん  
 ーはん たたん。(この人には何を言っても  
 役に立たない)。たっちよーしえー うやん  
 ちかり。(忙しいときは、手があいていれば親で  
 あっても使ってもかまわない)。はー たたんぬ  
 ー(何を言ってもどうしようもない者)。きー  
 たっちよーるー(てきぱきしている者)。うむ  
 かじぬ たちゅん。(面影が浮かぶ)。ぐにちび  
 けー たっちよーん。(5日ばかり経っている)。  
 とーきよーんかい いち たちゅが?(東京へ  
 いつ発つの)。っんぢたち(出で立ち、出発)。た  
 っちん むちん をうららん。(立っても座っ  
 ても居れない＝居ても立ってもおれない)。じ  
 かんぬ たちゅしぬ あんし ふえーさる や  
 ー。(時間がたつのがなんと速いことか)。やー  
 たっちー?(家庭を持って自立しているか)。  
 やー たっちよーみ?(結婚しているか)。うい  
 なぐんぐわー やー たっちー?(お嬢さんは  
 嫁がせたか)。やー たちやー(嫁いだ者)。

たち ぐりさ すん 〈暮らしで苦労する〉  
 【活】～さん、～さん、～っし 【例】あれー あま  
 んかい ゆみ なてい っんぢやしが、うやち  
 よーでーぬちゃーとう あたらん なてい た  
 ちぐりさ そーん。(あの人は嫁になって行っ  
 たが、姑、小姑と合わなくて苦労している)。

**たち かんていー すん** 〈生活苦にあえぐ〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】あつたーや しー かたみてい たちかんていー そーる ふーじ どー。(あの家は負債を抱え込んで生活苦にあえいでいるよ)。

**たち くんばい すん** 〈立ちっぱなしである〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】わかさる とうちから たちくんばい する わじや やたくとう、とうし とうたくとう よーみ いっちょーっさ。(若い時から立ちっぱなしでする仕事だったので、歳をとったので弱くなっている)。

**たち ぢゆく** 〈生活〉【例】なまー たち じゆくん しーぐりく などーん。(今は生活もしにくくなっている)。

**たち なち すん** 〈遠吠えする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】いのー やなむん んーちよーる とうちねー たちなち すんでい。(犬は悪霊を見ているときには遠吠えするって)。

**たち ぬち すん** 〈立ち退きする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】あまくま たちぬち さつてい まぎみちん ちゆくらつてい にかしぬ しがたー ねーん などーん。(あちらこちら立ち退きされて大きな道路も造られて昔の面影はなくなっている)。

**たち むい すん** 〈立って子守りする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】たっち っくわむい するくとうんかい たちむいすんでい ーん。(立って子守りをするに「立ち子守りする」という)。

**たち むどうい すん** 〈出戻る〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】うちなーぬ ういなごー ゆー はたらちやー やくとう、たる がきらつてい、ういきがー ういなぐんかい しーまきーっし、はたらかん ないん。あん やくとう、みーとうんだわかりっし たちむどういする ういなぐぬ うふさんねー すん。(沖縄の女性はとても働き者で、頼られて、男性は女性に勢い負けして、働かなくなる。それで、離婚して出戻る女性が多いような気がする)。

**だちびん** 〈酒瓶〉【例】だちびんでい ーしえー、さき いつてい むっちあつかりー るぐとう などーる やちむん やてい、かた はらーや がまくんかい をうさまいるぐとう くぶどーん。(「だちびん」というのは、携帯用の酒入れの陶器で、片側が腰にはまるようにくぼんでいる)。

**たちふあ** 〈立場〉【例】ありが あねー いらんけー しむたるむんぬ、わん たちふあ ねーん などーん。(あの人があんなことを言わなければよかったのに、私の立場はなくなっている)。

**だちゆん** 〈抱く〉【例】っくわ／っんまが だちゆん。(子／孫を抱く)。うやぬ ぐをうん いちいちまでいん ちむに だちゆん。(親の御恩をいつまでも心に抱く)。ちゆいんぐわ やくとう、うっさぬ じえーさん ありがどう だちよーる。(一人っ子なので、それだけの財産をあの人だけで抱えている)。うやからぬ うふじん だちくどーしが、たーんかいん じのー からさんぬー やてい、いっペー っうえーきくまさん。(親からの大金を抱きかかえているが、誰にもお金を貸さなくて、大変ケチな金持ちだ)。いーふえー だちゆん。(位牌を守っている)。っちゅ んーでー やーんでい うむいねー じん だかしーねー／だかちどう わかいさ。(人を見ようと思うなら、お金を持たせば分かるよ)。

**たていーん** 〈立てる、記入する〉【活】たて いたん、たていらん、たていてい 【例】っちゅんかい じん からちやる とうちねー ちよーめぬんかい たていとーき よー。(他人に金銭を貸したときには記帳しておきなさいよ)。

**たていけー いりけー すん** 〈何度も注ぎ足す〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】うちやー たていけーいりけーっし しるちや などーさ。みーくに いりけーれー。(お茶を何度も注ぎ足したら薄くなっている。新しく入れ替えて)。

**たっ〜**〈動詞に付く強意の接頭辞〉【例】たっくるさりーん どー。(ぶんなぐられるよ)。たっくわーすん。(くつつける)。たっとーさりーん どー。(ぶったおされるよ)。たっちらりーん。(たたっ斬られる)。たっちれー。(たたっ斬れー)。たっちきれー。(くつつける)。

**たっくわーすん**〈くつつける〉【活】たっくわーちゃん、たっくわーらん、たっくわーてい【例】ふくるぬ くちえー ぬい ちきてい たっくわーしえー。(袋の口は糊をつけてくつつけなさい)。

**たっくわいん**〈くつつく、癒着する〉【活】たっくわたん、たっくわらん、たっくわてい【例】きじぐちぬ ガーゼー けーいるとうち ちゅーく たっくわてい はちゅんち でーじ やたん。(傷口のガーゼを替えるとき、張り付いて剥ぎとるのに苦労した)。

**たっくわいむっくわい すん**〈くっ付き合う〉【例】あまぬ わかみーとうんだー いちん たっくわいむっくわい そーん やー。(あそこの若夫婦はいつもべたべたしているね)。

**たっぴらかすん**〈ぺしゃんこになる〉【活】たっぴらかちゃん、たっぴらかさん、たっぴらかち【例】ダンボール たっぴらかすん。(段ボールをぺしゃんこにする)。ぬーん わからん っちゅぬ わかやーふーなー しーねー、たっぴらかさりーん どー。(何も知らない奴が解っているふりをしたら、やっつけてやるぞ)。

**たっくいー**〈血統〉【例】あまー でいきやー(=すぐりむん)たっくいー/すーみーたっくいー やくとう、うやぬちゃーん むる しんしー やさ。(あの家は秀才/聡明の血統だから、両親もみんな先生だよ)。あまや ちょーみーたっくいー/ぐわんくーたっくいー/あーかーぎーたっくいー やさ。(あの家は長命/頑固者/美人の血統だよ)。

**たとうい**〈事例〉【例】なままでい うんな たとうえー ねーらんくとう、ちちいりーる くとー ならん。(今までにそんな事例はないので、聞き入れることはできない)。

**たとうい**〈例え〉【例】たとうい あんやらわん、ほーぬ しちゃをうてー ういなぐん ういきがん、うっとうん しーじゃん むる めぬ むんどう やる。(例えそうでも、法の下では女も男も、年下も年上もみんな同等である)。

**たとうれー**〈例え〉【例】たとうれー、っやーが わん やれー、ちゃー すが?/かん すみ?(例え、あなたが私であれば、どうするのか/こうするのか)。

**たな**〈棚〉【例】すむち ならびーんち なまー たな かちょーん。(本を並べるといって今棚を組み立てている)。ごーやー ほーらすんでいち やんばるだき ちかてい たなちゅくたしが、うふかじっし ふちとうばさったん。(ゴーヤーを這わせるといってヤンバル竹を使って棚を作ったが、台風で吹き飛ばされてしまった)。

**たながーいん**〈変種が生まれる〉【活】たながーたん、たながーらん、たながーてい【例】うぬ うやぬ っくわんちん うまーらん あたいぬ たながーいむんぬ っんまりとーさやー。(その親の子とも思われないほどの変わり者が生まれているね)。まるけーてー うやまさいむんぬ たながーいる くとうん あん。(時には親勝りの変わり種が生まれることもある)。

**たながーい むん**〈変わり種〉【例】うり ちゅえー たーんかいが にちょーら、たながーいむんどう やる、びんちょーん さんぐとう あさから うたさんしんびけー そーん。(その子一人はいったい誰に似たのか、変わり者で、勉強もしないで朝から歌三線だけしている)。たながーいん(親と似ない)、たながーとーん(親と似ていない)。

**たなげー**〈エビ〉【例】やんばるぬ かーらぬ たなげーや ゆー んーちゃる くとーあしが、とうてい かだる うびーや ねーらん。(北部の川のエビをよく見たことはあるが、

取って食べたお覚えはない)。たなげー むんだに さくとう、たまんぬ くーとーたん。(川エビを餌にしたら、たまんが食いついていた)。

**たぬしみ** 〈楽しみ〉 【例】うむいるぐとう  
ゆだ たみてい はなぎ ちゆくいしぬ ぬ  
ーやかん たぬしみ やん。(好きなように枝を曲げて盆栽を作るのが何よりも楽しみだ)。

**たに** 〈男の性器〉 【例】たねー じんくゑー  
むん、ほーや っちゅ くゑーむん。(女性にほれると男性は出費がかさむものなので、性欲におぼれることなく慎みなさい)。

**たばいん** 〈縛る〉【活】たばたん、たばらん、  
たばてい 【例】をうーじ とーちやい、くさぢ  
やい、ていーちなー ていーちなー たばたい  
する しくちゑー たーがん たーがん な  
いる わじゃー あらん。(砂糖きびを倒したり、葉を削ぎ落したり、ひとつひとつ縛ったりする仕事は誰でもできる仕事ではない)。

**たばい** 〈～束(野菜、サトウキビ、等)〉 【例】  
ちゅたばい(1束)、たたばい(2束)、みたば  
い(3束)、ゆたばい(4束)、いちたばい(5  
束)、むたばい(6束)、ななたばい(7束)、や  
たばい(8束)、くくぬたばい(9束)、とうた  
ばい(10束)。びら ちゅたばい くいみそー  
れー。(ネギー束ください)。【参】やしゑー  
うていくいみそーれー(野菜売ってください)；  
やしゑーや ちゃっさ こーいが?(野菜はど  
れだけ買うの)。

**たばく** 〈煙草〉 【例】なままでー たばこー  
まーんぢん まーんぢん ふちゆるくとう  
ないたしが、なまー っちゅぬ あちまいどう  
くるをうてー はっとう などーん。(これまで  
は煙草は何処でも吸うことができたが、現在は  
大衆の面前では禁じられている)。

**たび** 〈旅〉 【例】たびんかい いちゅんどー  
しーねー、いちまのー さんていんもーから、  
なーふあー みーぐしくから ていーさーじ  
ふやーに うくたん。(旅に出るよというとき

には、糸満は三巔毛から、那覇は三重城から手  
ぬぐいを振って見送った)。

**たび すがい** 〈旅支度、旅の装い〉 【例】  
たびぬ いりゆーな むん むる くるまんか  
い いりやーに どうーくろー むたんていん  
しむくとう、みちをうてい たびすがいぬ  
っちよー なまー あんまでい んーだらん  
などーん。(旅の必要品をすべて車に入れて自  
分では持たなくてもすむので、道で旅装の人は  
現在あまり見えなくなっている)。

**たび にんじゅ** 〈旅の集団〉 【例】ちかぐ  
ろー とーからぬ たびにんじゅぬ うほーく  
なてい、なーふあぬ まちん っういーりき  
どうくるん とーぬっちゅぬちやーさーに は  
ねーちょーん。(最近是中国からの観光団体が  
多くなって、那覇の市場も観光名所も中国人で  
にぎわっている)。

**たびぬ っちゅ** 〈よそ者〉 【例】ぐまし  
まをうてー たびぬ っちよー しぐ わかい  
さ。(小さな島ではよそ者はすぐ分かるよ)。

**だび** 〈葬式〉 【例】たんかーぬ だべー あ  
ちやー やんでい どー。(向かいの葬式は明  
日ってよ)。だびぬ あやーに、あちまいんかえ  
ー くららんたん。(葬式があつて集まりには  
来れなかった)。

**たぶいん** 〈蓄える〉【活】たぶたん、たぶらん、  
たぶてい 【例】たぶとーる じんぬ ありわ  
どう ぬーがな ある ばすねー ちむ いっ  
ち じんぶぬん わちゅん／っんぢーん。(貯  
めてあるお金があればこそ何かある際には落ち  
着いて知恵も沸く／出る)。ぬー やていん  
あいにとー くばめーてい ちかてい、たぶり  
わどう やる。(何であってもあるときこそ節  
約して使って、蓄えておくのだよ)。ししゑー  
まーすぢきっし たぶてい、っんむ、むぢ、ま  
ーぢん、あかまーみーんでーぬ くくや きー  
ばくんかい いってい たぶとーたん。(肉は  
塩漬けにして保存し、芋、麦、粟、小豆などの  
穀物は木箱に入れて保存していた)。ぐてーび  
けー／どうーびけー たぶてい しくちん さ



ん。(体力だけを蓄えて／怠けてばかりで仕事もしない)。ぬちえー たぶいんちどう ある。すそーん しえー ならん どー。(命は大事にするものだ。粗末にはいけないよ)。

**たばーいん** 〈くださる〉【活】たばーたん、たばーらん、たばーてい 【例】あみ ふらち たばーり。(雨をお降らしになってください)。なままでい あていなし やてい ぬーん わかいびらんたん。どーでいん ゆるち たばーり。(今まで分別がなく何とも分かりませんでした。どうかお許してください)。なままでい わからんどう あいびてーくとう、わcateい たばーり。(今までは分からないままでいましたので、ご理解ください)。

**たま** 〈玉、宝玉〉 【例】ありが どうじえー たま はち、たかぐつ くでい、ちゅらすがいっし ちゅらちゅらーとう みちから あっちょーたん。(あの人の妻は首飾りをして、ハイヒールを履いて、着飾ってさっそうと通りを歩いていた)。

**たまいん** 〈溜まる〉 【例】じのー ちかい る むん やてい、たみーる むのー あらん。(お金は使うもので、溜めるものではない)。ちかいしびけーん しえー じのー たまらん。(使うだけではお金は貯まらない)。

**たまい みじ** 〈溜まり水〉 【例】たまいみじえー くさりーん。(走水の如く、いつでも頭を働かせ、技術も磨かないと衰える)。いちむしえー たまいみじ とうめーいる くとうぬ ないしが、チャーっし みじぬ ある とうくるぬ わかいがやー?(生き物は溜まり水を探ることができるが、どのようにして水があるところが分かるのかねえ)。たまいみじんかい みかぢちぬ うちてい どうく ちゅらさぬ、ふいちくまりーんねー すん。(溜まり水に三日月が映ってあまりに美しく、引き込まれるようだ)。

**だまいん** 〈黙る〉【活】だまたん、だまらん、だまてい 【例】やーんかい けーていっちか

ら たーとうん むぬん いらん、だまいちっちょーん。(家に帰ってきてから誰ともものも言わない、黙り込んでいる)。いのー むのー いらんしが、むぬ うむてい ぬらーりーねー だまてい くーく ないん。(犬はものは言わないが、心の働きはあって叱られると黙り込んで小さくなる)。

**たまうどうん** 〈霊御殿〉 【例】たまうどうのー すいんかい あてい、うしゅがなしーめー でーでーぬ うふあか やん。(霊御殿は首里にあって、代々の琉球国王のお墓である)。

**たまがい** 〈人の死の前兆、火玉〉 【例】たまがえー ちゅー、あちゃー まーする っちゅぬ まぶい やんでい。あれー たまがいぬ あがとーくとう なげーむたん どー。(火玉は今日、明日亡くなる人の魂だって。あの人は火玉があがっているので、長くはもたないよ)。

**たまし** 〈注意、思慮〉 【例】っちゅんかい ぬらーりーる くとうびけー そーたしが、いふえー たましえー あいどう する。(人に叱られることばかりしていたが、少しは思慮があるんだね)。くるまー たまし かなぎていどう むちゅんどー。(車は気をつけて持つんだよ)。ありが するくとー たまし いっちょーくとう、ばっペーふいっペーん ねーんぐとう ないさ。(あの人がすることは注意が行き届いているので、間違いなくできるよ)。

**たまし くえー かーぎ／ちら だまし** 〈賢そうな顔つき〉 【例】あぬ わらベー たましくえーかーぎ そーん。(あの子は賢そうな顔つきをしている)。あぬ わらベー ちらだましぬ あくとう、やなっちゅねー ふいっかからんさ。(あの子は賢そうな顔つきなので、悪い人には引っかからないよ)。

**たまし くえー むん** 〈思慮深い者〉 【例】ちゃー ふらーふーぢー そーしが、あれー したたかぬ たましくえーむんどー やん どー。(いつもバカを装っているが、あの人は実はとても思慮深い人なのだよ)。

**たまし ぬぎーん** 〈びっくりする〉【活】～ぬぎたん、～ぬぎらん、～ぬぎてい 【例】みーぬめーんかい くるまぬ ちゃくとう すばんかい ふいんぎたしが、たまし ぬぎてい ぬーが などーがすら うびてーをうらん。(目の前に車が来たので側に逃げたが、びっくりして何が起こったか覚えてはいない)。

**たまし** 〈めいめいの分け前〉 【例】うれーっやー たまし やくとう、っやー かめー。(それはあなたの分け前なので、あなたが食べなさい)。うれー わん たまし、うっさー っやー たまし やさ。(それは私の分け前、それだけあなたの分け前だよ)。

**たみ** 〈ため〉 【例】うぐわんそー いちみぬ ちゃくし すばなちえー やーぬ たみねーならん。(先祖の位牌は存命の長男をさしおいては家のためにはよくない)。

**たみーん** 〈曲げる〉【活】たみたん、たみらん、たみてい 【例】まーちん、まっこーん ぬーしぬ うむいるぐとう ゆだ たみてい ちゅくらりーくとうどう うむっさる。(松もマッコーも持ち主が思うように枝を曲げて作られるからこそおもしろい)。

**たみーん** 〈貯める、溜める〉【活】たみたん、たみらん、たみてい 【例】ぐそーんかえーじのー むっちえー いからんくとう、じのー たみーる むのー あらん、ちかいし やん。じのー ちかいわどう いちちちゅーる。(あの世にはお金は持って行けないので、お金は貯めるものではなくて、使うものだ。お金は使ってこそ生きてくる)。たび すくとう じん たみとーけー。(旅をするのでお金を貯めておけ)。

**だみーん** 〈彩る、上化粧する〉【活】だみたん、だみらん、だみてい 【例】くぬ やちむのー あんし ちびらーしく だみらっとうーやー。(この焼き物はなんと素晴らしく上塗りされていることか)。

**たみし** 〈試し〉 【例】じんとー ゆーりーぬ っんぢーがやーんでいち ちむだみし しーが いちゆる っちょー まんどーん。(本当に幽霊が出るのかと肝試しをしに行く人は多い)。  
**たみし すん** 〈試す〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】くぬ ちのー っやーんかい うちやいが すら たみしっし んーでー。(この着物はあなたに似合うのか試着してみなさい)。

**たむちゅん** 〈長持ちする〉【活】たむちゃん、たむかん、たむち 【例】でーあがやー こーいねー、まぎじのー っんぢーや すしが、なげー たむちゅくとう でーぬぐとー あっさーやー。(高価な物を買うと、金が出るが、長持ちするので払うだけの価値があるね)。【参】「でーぬぐとー あっさ／あん やー」はさすが上等だと満足している場合だが、「でーぬ ぐとうどう あっさやー」は安物を買って、やはりそれだけのものでしかないと認めている場合である。

**たむん** 〈薪〉 【例】んかしえー たむん めーち むぬ にちやい ゆー ふかちやい そーたん。やてい、たむん うやーん みちから あっちょーたん。(昔は薪を燃やして食べ物煮熟たりお湯を沸かししたりしていた。それで、薪売りも行商していた)。

**たゆい** 〈便り〉 【例】いったー っくわぬちやーや うやむとう はなりてい あがとーんかい をうしが、っくわぬちやーから さたあみ?(あなたの子ども達は親元を離れて遠くに居るが、子ども達から便りはあるか)。

**たりーん** 〈醸造する〉【活】たりたん、たりらん、たりてい 【例】さき／んーす たりーん。(酒／味噌を醸造する)。

**たりーん** 〈足す、補う〉【活】たりたん、たりらん、たりてい 【例】わー ふすこー っやーさーに たりていとうらち、っやー ふすこーわんが たりーっさ めー?(私の不足はあなたが補ってもらって、あなたの不足は私で補

うからね)。たらーん むのー っやーさーに  
たりとーていとうらし よー。(足りないも  
のはあなたで補っておいてね)。

**たれーいん** 〈足す、補う〉【活】たれーたん、  
たれーらん、たれーてい 【例】ありが まーす  
たりたしえー／たれーたしえー。(あの人が  
塩を加えたのを見た)。わんが まーす たり  
てーさ／たれーてーさ。(私が塩を加えてある)。  
んーそー ふいっさんねーすくとう、たれーれ  
ー／たりれー。(味噌は薄いようなので足しな  
さい)。いかな むぬしり やていん しりふ  
かちよーる っちよー をうらんくとう、っち  
ゆぬ いちちよーる っうえーだー ちゆい  
たれーだれーっし ふいらいし やん。(いく  
ら物知りでも熟知している人はいないので、人  
が活着ている間は各自補い合って人付き合いす  
るものだ)。

**たんかー** 〈真向かい〉【例】たんかー げ  
ーい(等価の物品交換)、たんかー まんかー。  
ゐー(向かい合って坐ること)、たんかー わ  
ーきー(山分け、対等に分けること)。じゅー

どー、けんどー、ていー、しまぬ すーぼー  
たんかーだちっし はじまいん。(柔道、剣道、  
空手、相撲の試合は対面立ちして始まる)。

**たんかー まんかー** 〈差し向かい、隣り近  
所〉【例】とうーさる っうえーかやか た  
んかーまんかー [=ちゆけーとうない](遠い  
親戚よりも隣近所の人)。

**たんきーん** 〈用心する〉【活】たんきたん、た  
んきらん、たんきてい 【例】たんきみそーり  
よー。([入院している人に対して]お大事に)。

**だんだん** 〈さまざま、たいそうな、たくさん〉  
【例】とうーぬ いーべー ゐぬ たけー ね  
ーらんでいち、っちゆにんぢのー だんだんぬ  
っちゆぬちやーぬ をうん どー やー。(1  
0本の指は同じ長さではないといって、人間に  
は様々な人がいるよ)。くまぬ やーや だん  
だんぬ っちゆぬちやー やさ やー。(ここ  
の家はたいそうな人たちだねえ)。だんだんぬ  
すがいっし ふーぢえー ねーらん。(あれ  
これ重ね着をしてみっともない)。

# ち、ぢ

～ち 〈～つ、～歳〉 【例】ていがねー ていーちん ねーらん。(1つの手助けもない)。ういきがぐわぬ たーち まちやーや がんじゅーむん ないん どー。(男の子のつむじが2つある者は健康になるよ)。みーちぬ ていーちえー わん むん やさ。(3分の1は私のだよ)。うっとー ゆーち みしー やさ。(弟／妹は4歳違いの子)。いーべー いちち あん。(指は5つある)。たーちとう ゆーち あーしねー むーち ないん。(2つと4つを合わせると6つになる)。ななち ぶし(北斗七星)。っちゅぬ みちえー やーちぬ はし わたいん。(人生は8つの橋を渡る)。くくぬちえーとうーんかい ていーち たらーん。(9つは10に1つ足らない)。とうーぬ いーべー あぬ たけー ねーらん。(十本の指は同じ長さではない、十人十色)。っやー とうしえー いくち なとーが／なたが?(あなたの歳はいくつなっているの／なったの)。

ちー 〈血〉 【例】はなぢーぬ はとーん。(鼻血が流れている)。ちー はらすん。(血を出す)。くぬ はなし ちちやーに たまし ぬぎてい、わんまでい ちーん さーらみかちさがいんねー すたさ。(この話を聞いて度肝を抜かれて、私まで血がさーっと引くような気がしたよ)。

ちー 〈乳、乳房〉 【例】うしぬ ちーや カルシウムぬ うふさくとう、わらび とうすいんな ぬむしが まし。(牛乳はカルシウムが多いので、子ども年寄りみんな飲むといい)。ちー はなりかんていー そーる わらびぬ う

やー ちーぬ くびんかい こーれーぐす ぬいたん。(離乳のできない子の親は乳首に唐辛子を塗ったものだ)。っやーや ちーぬ はていちーねー むどうてい くーわ、ぼーじゃーんかい ちー ぬまする じぶん やさ。(あなたは乳が張ってきたら戻ってきなさい、赤ん坊に乳を飲ませる時間だから)。ちー えーすん。(乳を出す)。

ちー／ち 〈気〉 【例】ちー ちちゅん。(気が利く)。ちー ちかん ぬー(気がきかない者)。あれー ちーべーさん やー。(あの人は気が早いね／せっかちだね)。まーんかい いかわん ちやー まじゅん あっちょーん やー。あれー いっぺー ちにいっちょーん やー。(どこに行ってもいつも一緒にしているね。大層お気に入りだね)。ちに すん。(気にする)。ちに さー(気にする人)。ちに そーたさ。(気にしていた)。っやーや ちに ならんどう あみ?(あなたは気にならないのか)。あれー ちにさんぬー やさ、ちやーん ねーんさ。(あの人は気にしないから、どうもないよ)。ちに しえーくいみそーんな よー。(気になさらないでくださいよ)。ちに かきとーたん どー。(気にかけていたよ)。いっぺー ちに かきやー どー。(たいへん気にする人だよ)。

ちー かさかさー 〈気ぜわしいさま〉 【例】あれー ちーかさかさーっし うていちちぬ ねーらん。(あの人はせっかちで落ち着きがない)。っやーや あさんちん ねーん、ふいるんちん ねーん、ゆるんちん ねーん ふいっちー ばたばたーっし、あんし ちーかさかさー

やる。(お前は朝も昼も夜も一日中忙しくて、なんとも気ぜわしいことだね)。

**ちー しまったいん** 〈気力がなくなる〉【活】～しまったん、～しったらん、～しったてい 【例】しけぬんかい まちげーねーらん とうーとーんち うむとーたしが、うていてい ちーしったとーん。(試験に間違いなく受かっていると思っていたが、落ちて元気をなくしている)。

**ちー ちちゅん** 〈気がつく〉【活】～ちちゃん、～ちかん、～ちち 【例】っやーが くまんかい をうしえー なまどう ちーちちやる。(あなたがここに居るのは今はじめて気づいた)。

**ちー ちちゅん** 〈気が利く〉【活】～ちちゃん、～ちかん、～ちち 【例】ちーちかんぬー (気が利かない者)。

**ちー**～〈すっかり～してしまう〉

**ちー けーらすん** 〈容れ物を倒してすっかりこぼしてしまう〉【活】～けーらちゃん、～けーらさん、～けーらち 【例】いっすびんぬ さき ちーけーらちゃん。(一升瓶の酒をすっかりこぼしてしまった)。

**ちー ふいらきーん** 〈座り込んでしまう〉【活】～ふいらきたん、～ふいらきらん、～ふいらきてい 【例】いっぺー をうたとーたくとう ちーふいらきとーん。(とても疲れていたの、座り込んだ)。

**ちー わしーん** 〈すっかり忘れる〉【活】～わしたん、～わしらん、～わしてい 【例】あい、ぬーんでい いーんち やたが、ちーわしてーねーんさ。(あれ、なんと言うのだったか、すっかり忘れてしまったよ)。

**ちー** 〈つるべ〉【例】ちーや かーぬ みじくむしんかい ちかいる どーぐ やさ。(つるべは井戸の水を汲むのに使う道具だよ)。うちなーんかい 「うていてい ぽん、あがてい ぽん」でいーる むぬあかしえーぬ あしが、うれー 「ちー」ぬ くとうやさ。(沖縄には「落ちて ポン、上がって ポン」という謎なぞがあるが、それは「つるべ」のことだよ)。

**ぢー** 〈土地〉【例】っやーや どうーぬ ぢー むっちょーみ?(あなたは自分の土地を持っているか)。

**ぢーぬ ぬーし** 〈地主〉【例】うふぢーぬ ぬーし やれー、ぬーぬ しわん ねーらん しがやー。(大地主であれば、何の心配もないんだがねえ)。

**ぢー ぶねーい** 〈地揺れ〉【例】ふにからうりていどう をうしが、ぢーぶねーい そーんねー すさ。(船から降りているのだが、地揺れがしているような気がするよ)。

**ぢー まーみー** 〈落花生〉【例】ぢーまーみーや ぬーんでいち たーちゅー やが やー?(落花生はどうして双つで対なのかな)。

**ちーぐー** 〈口がきけない〉【例】あれー ちーぐー なていどう むのー いーうーさん どー。(あの人はことばに障害があって、口がきけなくなっているんだよ)。ありんかい くいー かきたしが、ぬーぬ ふいじん ねーらん たっさー、あれー ちーぐー なていどう あん そーっさ。(あの人に声をかけたが、何の返事もなかった、あの人は口がきけなくなってそうしているんだよ)。(参考) むのー いーうーさん ぬー (ものを言えない者)、ちぐむん (黙る)。

**ちーちーくーめー すん** 〈窮屈な思いをする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】っやーや ちーちーくーめーっし ちちよーさ やー。(あなたは窮屈そうな着方をしているね)。いくさ ゆーや がまんかい うほーくぬ ちゅぬちゃーぬ うしくみらってい ちーちーくーめー そーたんでい。(戦時中は壕に大勢に人々が押し込められて窮屈な思いをしていた) 【参】「いーばーしーちゃー すん」とも言う。

**ちげー** 〈関節〉【例】ちげーぬ はんでいーん／ぬぎとーん／やむん。(関節がはずれる／抜けている／痛い)。をうとう／とうじぬ けーまーち、 しからーさぬ、なー ちげーぬ

ぬぎと一っさ。(夫／妻が急死し、寂しくて、関節の力が抜けているよ)。

**ちーちー かーかー** 〈喉や食道にものが詰まるさま〉【例】やーさがみ さーに ちーちーかーかー そーくとう、うふえー うとうさわどう ないる。ちゃーぐわー いっていつうらし。(お腹をすかせて食べて胸につかえているので、それを落とさないといけない。お茶を入れてくれ)。ちーちーかーかーっし いーちまでいー さーに いーちぬ しーぐりさたん。(喉につかえて息が詰まって息がしにくかった)。

**ちーるー** 〈黄色〉【例】ありぬ みーめーん かい っんぢやくとう どうーや ちーるー なんとーたん どー。(あの人の見舞いに行ったが体は黄色くしていたよ)。ちーるー そーし ながーぐわー くいり。(黄色くしているもの、長いのをくれ)。うちなーぬ むとうむとうぬ ちでーくにや ちーるーっし なぎん ながさん。(沖縄元来のニンジンが黄色で細長い)。

**ちーん、ちゅん** 〈釣る〉【活】ちっちゃん、ちらん、ちっち 【例】いゆ ちっちゃん。(魚を釣った)。「いゆ くわーすん」とも言う。

**ちーん、ちゅん** 〈着る〉【活】ちちゃん、ちらん、ちち 【例】ちん ちちゃん。(服を着た)。

**ちーん、ちゅん** 〈切る〉【活】ちっちゃん、ちらん、ちっち 【例】からじ ちっちゃん。(髪を切った)。ほーちやーさーに ていー ちっちゃん。(包丁で手を切った)。ありとー めん ちっちゃん。(あの人は縁を切った)。いぢ ちらー (意地を出し切っている人、勇敢な人、=いぢ ちり むん)、はじ ちらー (恥知らずの者)、いぢ ちらんぬー (意気地なし、=いぢえー ねーぬー)。「参」ぼーちりーん (乱暴になる)、ぼーちりとーん (乱暴している) の語根から派生した、ぼーちらー (乱暴者、無鉄砲、=ぼーちりむん) や、はていー (やっかい者)、

はてい ちゅーばー (やっかい者)、ふいんぢやー／ふいんぢむん (ならず者、不良) がある。

**ちかいん** 〈使う〉【活】ちかたん、ちからん、ちかてい 【例】じん ちかてい くまんかい ちゃん。(お金を使ってここに来た)。

**ちかい とうばすん** 〈使い果たす〉【活】〜とうばちゃん、〜とうばさん、〜とうばち 【例】ゆすぐにをうてい むっちよーる じん むる ちかいとうばち やーんかい けーらんとー ならん なんとーたん。(外国で所持金をみんな使い果たして帰国しないといけなくなっていた)。

**ちけーふあ** 〈小遣い〉【例】ちゅーどう あやーから ちけーふあ とうてい じんいり やーんかい いってーしが、うり むる むっち いけー。(今日お母さんから小遣いもらって財布に入れてあるので、それを全部持って行きなさい)。

**ちかいん** 〈点灯する〉【活】ちかたん、ちからん、ちかてい 【例】わったー やーぬ あがりむていーぬ ぐわいとーや じぶん ないねー なんくる でんきぬ ちかいん。(私の家の東側の街灯はその時間になると自然に点灯する)。

**ちがきーん** 〈心に留める〉【活】ちがきたん、ちがきらん、ちがきてい 【例】うゆうえーぬ しこーいむこーい なんとーみ? なー みーぬめー どー。ちがきり よー。(お祝いの準備はできているか。もう目前だよ。心に留めておきなさいよ)。

**ちかないん** 〈飼う〉【例】わったーや とういん ふいーじゃーん ちかなとーたん。(私の家は鶏もヤギも飼っていた)。

**ちぎーん** 〈告げる〉【活】ちぎたん、ちぎらん、ちぎてい 【例】にわとういや あかちちうきっし とうち ちぎーん。(鶏は早起きして時を告げる)。んかしえー かに うっち くわじ、すりーぬ じくく、あさゆさぬ じくく ちぎーたん。(昔は鉦を打って火事、集会の時

間、朝夕の時間を告げたものだ)。さんさな一ぬ あちさんどー、あちさんどーっし どうまんぐいてい なち ちぎとーん。(蟬が暑いよ、暑いよと騒ぎ立てて夏を告げている)。

**ちぐむん** 〈口をつぐむ〉【活】ちぐだん、ちぐまん、ちぐでい 【例】どうく いちゆなさくとう、ちゃー くち ちぐとーん。(あまりにも忙しくてずうっと口をつぐんでいる)。ひこーき うとうるーや ちちゆるまでい むぬん いらん、ちゃー ちぐどーん。(飛行機恐怖症は着くまで一言もしゃべらないでずうっと口を閉ざしている)。

**ちしーん** 〈便秘する〉【活】ちしたん、ちしらん、ちしてい 【例】に、さんにちびけー ちしてい わた はとーくとう、いさぬやーんかい いきわどう ないっさ。(2、3日ほど便秘してお腹が張っているの、病院に行かないといけないな)。

**ちじーん** 〈妨げる、禁止する〉【活】ちじたん、ちじらん、ちじてい 【例】くんちりみーちーっし いかりーたるむん、ぢーぬ ぬーしんかい ちじらってい くんまーさんとー ならん なんとーさ。(近道をして行かれたのに、地主に妨害されて回り道しないといけなくなっている)。

**ぢしち** 〈儀式〉 【例】にーびちねー さかじき とういかーする ぢしちぬ あん。(婚礼には杯を取り交わす儀式がある)。

**ちち** 〈月〉 【例】がっこーや くんちちからはじまたん。(学校は今月から始まった)。くたちちぬ ちゅーや まーんかい をうたが?(先月の今日は何処にいたの)。たちちっし くとうしん うわいん。(来月で今年も終わる)。ちちぬ／にんぬ まーい／みぐい (月／年の周期)。とうし とういねー にんぬ／ちちぬ みぐいぬ ふえーさん。(歳をとると年の／月の巡りが速いねえ)。ちちぬ はいや っんまぬ はいぬ ぐとう、ちちぬ まーいや ふえーさん やー。(月日の経つのは馬が駆けるが

ごとく、月の巡りは速いものだね)。ちち あかがい そーる とうちに (月が明かるいうちに)。【参】じゅーぐやー (満月、八月十五夜の月)。

**ちぢまがいん** 〈縮みあがる〉【活】ちぢまがたん、ちぢまがらん、ちぢまがてい 【例】どうく ふいーさぬ／うとうるさぬ ちぢまがとーん。(あまりに寒くて／恐ろしくて縮みあがっている)。

**ちちやい** くてーたい すん 〈質疑応答をする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】くぬ はなしぬ あとー わからんくとう ちちやいくてーたい する じかんぬ あくとう、うぬ とうちに ちちくいみそーれー。(この話の後にはわからないことを質疑応答をする時間があるので、その時に聴いてください)。【参】くてーいん (授業や会議などで質疑に答える)、いれーいん (呼びかけ、話しかけに答える)。

**ちちやがいん** 〈つけあがる〉【活】ちやがたん、ちちやがらん、ちちやがてい 【例】ういきがぬ うやぬ まぎー やくとう、あまからー／あったーや むぬん いらん。ちちやがてい どう をうん でー やー。(父親が大物なので、あっちからはものも言わない。つけあがっているんだね)。あまぬ やーにんじょー ちちやがてい、ちらん うちやぎてい えーさちん ねーらん。(あの家族はつけあがって、顔も上しか向かないし挨拶もない)。

**ちちやぎーん** 〈支える〉【活】ちちやぎたん、ちちやぎらん、ちちやぎてい 【例】ちぶるんかい かみーくとう うり ちちやぎてい とうらしえー。(頭に乗せるからそれを支えてちょうだい)。

**ちちゅん** 〈聞く〉【活】ちちゃん、ちかん、ちち 【例】ちちふりーん。(聞き惚れる)。そーみなぬ ゆー ふきとーん やー。ちちぶりすさ。(メジロが高鳴きをしているね。聞き惚れるね)。ありが ちゅらぐいーんかい ちち

ふりと一っさ／ちちぶり そーさ。(あの人の美声に聞き惚れている)。っやー さたー ゆー ちかりん どー。(あなたの事はよく耳にしているよ)。うぬ しらし ちちょーてい うっさそーしが。(その知らせを聞いて喜んでるんだが)。ちかー ちちょーる とうくるんかい していり。(悪口を耳にするなら聞いているところで捨てなさい)。ちかんだれー ちかんでいん しむん。(聴かないなら聴かなくてもいい)。ちかん みんなくじらー ふーぬ あん。(余計なことは聞かない方が幸せ)。ちちょーてい どうーくる いれーいみ? あん いーぶさる くとうぬ あれー ぬーが わんにんかい ちちゅる?(聞いていながら自分で返事するのか。言いたいことがあるのなら、どうして私に聞くのか)。しーじゃがたから みーなりちちなり(=みーないちちない) さーに とうく ちでい どうーぬ みち ふいらち いき よー やー。(先輩たちをお手本にして徳を積んで人生を切り開いて行きなさいよ)。どうー ふみーびけーっし ありが はなしえー ちちん ちからん。(自慢ばかりであの人の話は聞く気にもならない)。【参】 みんなくじらー=みみぬ くじりとーる ちちゅ(耳が遠い者)。

**ちちゅん** 〈効く、収まる〉【活】ちちゃん、ちかん、ちち 【例】くぬ くすえー ゆー ちちゅん。(この薬はよく効く)。かじ ちかん ぬー(融通のきかない者)。いちえーはんちえーっし かじん とうららん ばすねー うぬ ちちゅぬ ちゅくとうばさーに かじん ちちゅさ。(言い争って舵取りができないときにはその人の一言で収まる)。

**ちちゅん** 〈付く、着く〉【活】ちちゃん、ちかん、ちち 【例】ふいーぬ／どうるぬ ちちゅん。(火が／泥がつく)。なーふあんかい いちちちゅが?(那覇にいつ着くか)。あみふいぬ ばすに どうるぬ ちちーねー しみ なてい あらていん うていらん どー。(雨降りのときに泥がつくとシミになって洗っても落ち

ないよ)。ありが はなしんかえー ちちゅぬ ちちゅん。(あの人の話しには人気が集まる)。ちちぢむどう かなさぢむ。(慕ってくる人こそかわいい)。ちちぢむ(くつついてくる人の心)、かなさぢむ(可愛らしいと思う心)。

**ちてーいん** 〈伝える〉【活】ちてーたん、ちてーらん、ちてーてい 【例】っやーさーに ちてーとーき よー。(お前から伝えておけよ)。うんぐとうっし ちてーとーたん。(そのように伝えられていた)。

**ちに いーん** 〈気に入る〉【活】～いっちゃん、～いらん、～いっち 【例】ちに いっちょーん。(気に入っている)。ちに いらん。(気に入らない)。あれー いっぺー わん ちにーいり やさ。(あの人はとても私のお気に入りだよ)。

**ちねー** 〈家庭〉 【例】なーちねーぢねーぬ しーよーぬ あくとう、わかてい ふいらいし やん。(家庭それぞれのしきたりがあるので、分かってつき合うべきだ)。

**ちとう** 〈引き出物、近辺からの手みやげ〉 【例】まるけーてい どうしぬ やーんかい っんぢやくとう、ちとうまでい むたさったん。(久しぶりに友人宅に行ったら、おみやげまでもらった)。ちかぐろー にーびち、っんまり どうしぬ すーじえー ホテルをうてい すしが、ちとうん かむしから ちねーどーぐんかい かわとーん。(近頃は結婚式、生年祝いはホテルで行なうが、引き出物も食べ物から日用品に変わっている)。【参】なーぎむん(旅先、遠方からの土産物)。

**ちぬく** 〈きのこ〉 【例】なかみじる、いなむ どうちんかい ちぬく いりーねー かばさぬ まーさん。(中味汁、イナムドゥチにきのこを入れると香りが良くておいしい)。

**ぢのーん** 〈宜野湾〉 【例】ふていま ひこーじょー ういーほーいる くとうぬ ないる



までー じのーんちゅねー てーふいーぬ ゆーやー くーんしが。(普天間飛行場を撤去することができるまでは宜野湾市民には平和な世は来ないんだが)。

**ちび** 〈尻〉 【例】ちび くくい(締めくくり、決着)、ちび／あとう ねーらん ぬー(後始末をしない者)、ちび ぬぐやー(後始末をする者)、ちび／じゅー ちらー(途中で投げ出す者)、ちび がるー(浮気者の女性、男性には、ういなぐ しかさー／かちみやー)、みーぬ ちび(目尻)。ちびとう くちぬ あたらん。(つじつまが合わない)。あれー あんいー、かんいーっし ちびくちぬ あーらんぬー どー。(あの人はああ言ったりこう言ったりして、つじつまが合わない人だよ)。むぬ たぬみさんてーまん 「いー！」んてい いやーに しぐ りっぱんぐわー しー なち とうらする むのー ちびがっさんてい いーん。(ものを頼むとすぐにはいと言ってすぐになりっぱにやり遂げてくれる者は機敏だと言う)。ちびん ちりらん。(はっきりしない、煮え切らない)。はーえーすーぶ そーる ばすに、くさー とうんけーていん たーん をうらん っちょー 「ちびくす／おーちび」んてい いーん。(かけっこしている時に後ろを振り向いても誰もいない人は「びり」と言う)。うーびぬ はんでい ちびすんちゃー そーん どー。(帯がはずれて引きずっているよ)。みちぬ いばさくとう／あっちぐりさくとう いふえー っやー ちび しーけー／あとうんかい しーきれー。(道が狭いので／歩きにくいので少しは後ずさりしてくれ)。わったー じんいりやーや じのー ぬーん たまらん、ちびぬ ふぎとーんねーっし さーらない むる ぬきーる。(私の家の金銭箱はお金はいっこうに貯まらない、底が抜けているのかそのままみんな抜け落ちる)。くりが くとー みーぬ ちびしん ーだん けー。(この人のことは無視しなさい、≡んーだん ふーなー しえー)。ちび たてー！(心を奮い起こしなさい)。っやーや め

ーちびん ちかん。(あなたは座りもしない／お尻で座席を暖めもしない)。【参】最終例を言い換えると、「ちゃーびらさい」んてい ちゃーに たっちょーてい ゆーじゅ しまち、めーん さん(ごめんくださいと来て、立ったままで用事を済ませて、座りもしない)；っやーや ゆくいん さん ぐとう、けーいる ばー なー？(あなたは休みもしないで帰るのか)；ちゃー ぬみーねー はなしぐわーん なてい、ちむん あきてい っちゅ ふいらいる くとうん ないん、っやーや ふいらちとうらさん ばー め？(お茶でも飲めば世間話もでき、心も開いて人とつきあうこともできる、あなたはつきあいもしないのか)；そーそー ばーばー けーいん。(早々と帰る)。

**ちび たっちゅー** 〈お尻のとがっている者〉 【例】あれー ちび たっちゅー どー。(あの人はお尻がとがっているよ)。

**ちび とうがやー／とうがるー** 〈お尻を横にすること〉 【例】ちび とうがやーっし／とうがるーっし にんとーん。(くの字に横になって寝ている)。

**ちぶる** 〈頭〉 【例】ちぶる っんぶー(頭がのぼせていること)、ちぶる ちりやー(頭がきれる者)。ありが ちぶろー かんすいぬ ぐとうどう あん どー。(あの人の頭の回転はカミソリのようなだよ)。むぬ かんげー しーぢゅーさぬ、ちぶるん っんぶく などーさ。(ものを考え過ぎて頭が重くなっている)。ちぶる かじっし われー／ちぶるわい しえー。(頭数で割りなさい)。んなさーに ちゅー とうていちえーる／くわーちちえーる いよー ちぶるわい しえー。(みんなで捕ってきた魚は頭数で割りなさい)。いったーや むる ぬーやていん ないん っちゅぬちゃー やくとう、うんぐとう しーねー ちぶるあーし するくとう ないん。(あなた達はみんな何でもできる人たちなので、そのままだとお互いに意見の衝突することになる)。いったーや しむ

んかい むる たっち ちぶるあーしえー し  
えー ならんくとう、ちゅいたいっし しーと  
うらさん なー。(あなた達みんなが台所に立  
ってお互いにぶつかってはいけないから、一人  
二人でしてね)。あれー ぬーん かんげーら  
んぐとう くとう うくち、ぬー ていーちん  
ちよーん みー なしえーうーさん、ちぶるぬ  
どうく かっさぬ。(あの人は何も考えない  
ですので、何一つ成し遂げられていない、も  
の考えがあまりにも浅い)。ちぶるぬ っんぢ  
ゆきわどう じゅーん っんぢゆちゆる。(リ  
ーダー [=頭] が模範を示せば、みんな [=尾] も  
そのように動く)。

**ちまいん** 〈詰まる、縮まる〉 【例】やしむ  
のー あらいーねー ちまいん。(安物は洗う  
と縮む)。

**ちみ** 〈爪〉 【例】にぢりぬ うふいーびんか  
い ちみまーやーぬ っんぢたん。(右の親指  
の爪が黒ずんでしまった)。

**ちみーん** 〈詰める、短くする〉【活】ちみた  
ん、ちみらん、ちみてい 【例】じゅーばくんか  
い くわっちー／うさんみ ちみーん。(重箱  
にごちそう／御三味を詰める)。ちみ／からじ  
ちみーん。(爪／髪を短くする)。タイムカプ  
セルなかい どうーぬ さちじゃちぬ にげー  
ちみーん。(タイムカプセルに自分の将来の  
願いを詰める)。はなりがなさんでいいち、っん  
まりじまをうてい くらちよーる とうじっく  
わぬ くとう うむいちみとーん。(別離の募  
る思いとて、故郷で暮らしている妻子のことを  
思い詰めている)。

**ちむ** 〈こころ〉 【例】いっとうちえー ふかん  
かい っんぢてい ちむ とうめーてい ちゅ  
ーさ。(しばらく外に出て心を落ち着かせて来  
るよ)。ちむぬ ねーん しーよーや すな  
けー。(心ない仕方はしないでくれ)。「いー」や  
ちゅけーんなーっし しむさ。ちゃーちぢき  
ー 「いー、いー、いー」っし ちむぬ ねー

ん いれーよーや すな けー。(「はい」は一  
度でいいから。続けて「はい、はい、はい」と  
やる気もない返事はしないでくれ)。あつたる  
うやぬ けーまーち いっぺー ちむん ぢ  
ーぢーとう ないる ぐとーん。(大切な親が  
急死して心痛で胸が締め付けられている)。し  
ゅじゅつぬ うんなげー かかてい ちゃんぐ  
とう ないがやーんでい ちむん ちむなら  
ん。(手術がそんなに長くかかって、どうなるの  
かと気が気でない)。どうーぬ どうーん む  
ちかんでいーっし ちむん とうやーさらん  
ばすに いちえーならん くとうん あびてい  
ねーらん、なまー いっぺー ちむ やどー  
さ。(自分自身のこともやりきれなくて心も整  
理できないときに言ってはならないことを言っ  
てしまって、今は心を痛めているよ)。あまぬ  
ういきがぬうやー どうくから くふあちぶる  
やてい やーにんじょー ちむ たげーっし  
ちむとうやーしん ならん。(あそこの男親  
はあまりにも頑固で家族は心が通じなくて和が  
取れない)。うたんでー ちちゃーに ちむ  
うらーきら。(歌でも聞いて心をなぐさめよう  
か)。ちむ ふぢゆるぐとう しーとうらさん  
なー。(満足するようにしてくれないか)。い  
っぺー ちむ ふぢよーる うゆうえー／とう  
しびー なてい ぬーぬ ふすくん ねーん  
どー。(とても満足なお祝い／トウシビーがで  
きて何の不足もないよ)。なーぬ くさー あ  
ま ぬぢ、くま ぬぢっし ちむん ふがん  
しーよー そーん。(庭の草はあっちこっち抜  
いて心ない仕方をしている)。ありんかい／あ  
りがくとう やらー ちむ くいていん しむ  
ん。(あの人に／あの人のことなら同情できる)。  
ちむ わさわさーっし ゐちん たっちん を  
うららん。(落ち着かなくて居ても(＝座って  
も)立ってもいられない)。ちむ わさわさーっ  
し ちむん とうやーさらん。(不安で本来の  
自分を取り戻せない)。どうく しわ なてい、  
ちむ わさわさー そーっさー。(とても心配  
になって、不安になっている)。うほーくぬ っ  
ちゅぬ めーをうてい はなし すしえー か

んげーる うっぴ しん ちむ どんどん す  
 っさー。(たくさんの人の前でするのは考える  
 だけで胸がどきどきする)。あびやーいんぐわ  
 ーんかい うーらってい くーらりーや さん  
 がやーんち ちむ どんどん そーたん。(吠  
 える犬に追われて咬まれないかときどき  
 した)。しちゆる っちゅぬ めーをうてー  
 ちむどうまんぐいてい むぬん いーかんてい  
 ーっし ちむ どんどん すさ。(好きな人前  
 では気が動転してもものちゃんと言えずにどき  
 どきする)。ちむむちぬ わっさぬ、ちらんか  
 い っんちとーしえー。(心の持ち様が悪くて、  
 顔に出ているでしょう)。っやー くとー ち  
 ゃー ちむに とうみとーん どー。(あなた  
 のことはいつも心にとめていますよ)。しえー  
 やー んでいる ちむぬ いっちえーをうら  
 んくとう、ちむねー すまらん。(しようという  
 気持ちが入っていないので、心にとどまらない  
 のだ)。したたか くさみち ちむ くーてい  
 むぬん いらんたん。(激怒して心を閉ざし  
 て一言も言わなかった)。みーとうんだ おー  
 えーっし やーんかい をうららんくとう ち  
 む とうめーいが っんちちゅーさ。(夫婦げ  
 んかをして家には居れないので、心を静めに外  
 出してくるね)。ちむや あらな そーてい  
 くちや はな さかち。(心のなかではそう思  
 っていないのに口ではきれいごとを言う)。ち  
 むさーに かーぎ こーいん。(心の豊かさが  
 顔に出て美しく見える)。ちむ うっけーいん。  
 (発狂する)。ちむ うらーきーん。(心を洗い清  
 める)。ちむ さわぢゅん。(胸騒ぎがする)。ち  
 む とうきーん。(疑いや迷いがとける)。ちむ  
 とうきらん。(疑いや迷いがとけない)。ちむ  
 ぬ とうくるん ねーん。(心配で心が落ち着  
 かない)。ちむ のーいん。(機嫌が直る)。ちむ  
 ぬ めーん。(落ち着く)。ちむぬ めらん さ  
 ー。(落ち着かないよ)。ちむ めしれー。(落  
 ち着きなさい)。ちむ わいん。(心を開く)。ちむ  
 んてーん あらん。(悲しみでどうしようもな  
 い)。ちむ あんまさん。(心を悩ます)。ちむ  
 いちやさん。(心を痛める)。ちむ ぐりさん。

(心を痛める)。ちむ いちゅなさん。(気ぜわし  
 い)。ちむ がなさん。(愛しい)。ちむ ぐまさ  
 ン。(小心者である)。ちむ しからーさん。(心  
 の底からさびしい)。ちむ しぷさん。(強情で  
 ある)。ちむ ぢゅーさん。(心強い)。ちむ ぢ  
 ゆらさん。(心優しい)。ちむ ながさん。(気が  
 長い)。ちむ っういーりきさん どー。(心が  
 やすまるよ)。ちむ っういーりき どうくる  
 (心がやすまるところ)、ちむ あしがち (心の  
 いらだち)、ちむ がかい (気がかり)、ちむ  
 がしー (励まし)、ちむ ずりー (協力)、ちむ  
 だーり (ノイローゼ気味)、ちむ ふくい (歓  
 喜)、ちむ まゆい (心の迷い)、ちむ やなー  
 (心のまがった人)、ちむぬ あまい (心のゆと  
 り)、ちむぬ うみー (気のせい)、ちむぬ か  
 ん (靈感)。ちむいりぬ にんぬ くわー。(心  
 を込めてしたことがかえってあだになる、親切  
 が過ぎてあだになる)。【参】山内(2008, 第3  
 章)では、琉歌の中から「ちむ」で始まる553  
 の語句を列挙し、‘肝ぐる文化’の一端を紹介  
 している。

ちむ だくだくー すん <胸をときめか  
 す>【活】～さん、～さん、～っし 【例】むとうび  
 れーとう あちやー いちやらりーくとう ち  
 む だくだくーっし にんだらんたん。(元カ  
 ノと明日会えるので胸をときめかして眠れなか  
 った)。はーえーすーぶに スタートラインか  
 い たちーねー いちん ちむ だくだくー  
 すたん。(かけっこでスタートラインに立つと  
 いつも胸が高鳴った)。【参】「んに だくみか  
 すん」とも言う。

ちむ どんどん すん <ドキドキする>  
 【活】～さん、～さん、～っし 【例】たー やてい  
 ん っちゅぬ めーんかい っんちてい はな  
 し する ばすねー ちむ どんどん すん  
 やー。(誰でも人の前に出て話をするときには  
 ドキドキするよね)。

ちむ ぐち <みぞおち> 【例】なーだ む  
 ぬ かでーねーらんくとう、ちむぐち くーら  
 ってい やどーっさ。(まだものを食べていな  
 いので、みぞおちを締め付けられて痛い)。ちむ

ぐち きらってい いーちまでいー っし し  
なしなー そーたん。(みぞおちを蹴られて息  
ができなくて死にそうだった)。

**ちむ ぐる** 〈心〉 【例】 ゆすぐにをうて  
ー いっぺー くまとーる ばすに ちむぐく  
るぬ ちゅらさるっちゅ いちゃたる うかぢ  
に ぬちもーきたん。(外国でとても困っている  
ときに心の優しい人に出会って命拾いをした)。  
**ちむ むち** 〈心がけ〉 【例】 っちょー ち  
むむち しでー やさ。(人は心がけしだいだ)。  
ちむむちぬ ゆたさん。(心がけが好い)。ちむ  
むち むん (心温かい人)。

**ちむえー** 〈意味、わけ〉 【例】 ちむえーん  
ねーらんたん。(わけがわからなくてつまら  
なかった)。

**ちゃー** 〈茶〉 【例】 ちゃーぬ しんぬ たっ  
ちよーくとう、ちゅーや みーくとうぬ あん  
どー。(茶柱が立っているの、今日は良いこ  
とがあるよ)。はちちゃーや うやふあーふじ  
んかい うさぎていどう いちめー ぬむん。  
(お初茶は祖先にお供えしてから人は飲む)。  
ちゅちゃわのー ぬむな よー、たちやわん  
ぬまーに いけー。(一杯は飲むなよ、二杯飲ん  
でから行きなさい)。うちやとー する ばす  
ねー、はちちゃー ちぢ うさぎーん。(霊前  
にお茶を供える際には、お初茶を注いで差し  
上げる)。ちゃーぐわー いっちょーくとう く  
ーわんでい ゆばってい っんぢやしが、くわ  
っちーまでいん しこーらっとーたん。(お茶  
を入れてあるのでおいでと呼ばれて行ったが、  
ごちそうまでも準備されていた)。

**ちゃーいん** 〈消える〉 【活】 ちゃーたん、ち  
やーらん、ちゃーてい

**ちゃーすん** 〈消す〉 【活】 ちゃーちゃん、ち  
やーさん、ちゃーち 【例】 ふいーぬ ちゃーい  
ん。(火が消える)。ふいー ちゃーすん。(火を  
消す)。でんきぬ ちゃーたん／ちかたん。(電  
灯が消えた／点いた)。でんきぬ ちゃーたい

ちちやい そーん。(電灯が消えたり点いた  
りしている)。ぬーじぬ／ひこーきぬ ちゃー  
いたん。(虹が／飛行機が(目の前から次第に)  
消えていった、ちゃーいたん≡みーらん なた  
ん)。なま っんまなかい あたしえー ちゃ  
ーとーっさ。(今そこにあったのが消えている)。  
っやー うむかじぬ たちゆたしが、うれー  
いちゅなさしどう くーらんがやー、あんま  
さっし にんていどう をうがやーんでい う  
むたしが、いっとうちぐわー さくとう っや  
ー うむかじえー ちゃーいたん。(あなたの  
面影が立って、忙しくて来られないのか、具合  
が悪くて寝ているのかと思ったのだが、少しす  
るとあなたの面影が(目の前から)消えていっ  
た)。うりが くとー なー みーから ちゃ  
ーしえー／ちむから はんしえー。(その人の  
ことはもう忘れなさい(目から消しなさい／心  
か取り除きなさい)、≡うみちり よー)。みー  
ぬ ちかちかつし にんだらんくとう でんき  
ちゃーしえー。(まぶしくて眠れないので、電  
灯を消して)。かちぼっぺー そーる とうく  
まー ちゃーすん。(書き間違いしているところ  
を消す)。くさ めーちやる ふいーや な  
ー ちゃーとーが んーち くーわ。(草を燃  
やした火がもう消えているか見ておいで)。ち  
やーたい ちちやい そーたん。(消えたり点  
いたりしていた)。ちゃーちやい ちかちやい  
そーたん。(消したり点けたりしていた)。

**ちゃんなぎーん** 〈捨ててしまう〉 【活】 ち  
やんなぎたん、ちゃんなぎらん、ちゃんなぎて  
い 【例】 がんちょー ちゃんなぎーん。(めが  
ねを捨ててしまう)。

〜**ちゅ** 〈1〉 【例】 ちゅくとうば(一言)、ち  
ゅけーん(一回)、ちゅふいさ(一足)、ちゅと  
うし(同年)、ちゅとう(一年)、ちゅやー(一  
軒)、ちゅくいー(一声)、ちゅかき(一かけら)、  
ちゅくに(一国)、ちゅまーい(一回り)、ちゅ  
ゆる(一夜)、ちゅかたみ(一担ぎ)、ちゅかた  
(一方)、ちゅくとう(一件)、ちゅくち(一口)、  
ちゅまーらしぬ しーじゃ(12歳年上)。

**ちゅ い** 〈一人〉 【例】ちゅいんぐわ（一人っ子）、ちゅいういきがんぐわ（一人息子）、ちゅいういなぐんぐわ（ひとりむすめ）。ちゅいんぐわ なてい なー いっぺー あたらさすん。（一人っ子なのでとても大事にする）。ありが しーよーや ちゃー ぬー やていん どうーや さんぐとう っちゅびけーんかい うしちきーん。（あの人の仕方はいつも何であっても自分はしないで人に押し付ける）。いちゅなさる ばすねー ちゅいたれーだれーっしていがねーすん。（忙しいときには互いに助け合いながら手伝いをする）。めんせつぬ ばすねー ちゅいなーかーるー うきーん。（面接の際には一人ずつ受ける）。ちゅいなー ちゅいなー あびれー／いみそーれー。（一人ずつ言いなさい／おっしゃってください）。

**ちゅ かき** 〈一切れ〉 【例】あわていー はーていーさーに ちゅかきぐわーんちよーん かまんぐとう っんぢよーさ。（あわてて一つまみさえも食べないで出ているよ）。っちゅぬ かみーよーんでい くいーしえー ちゅかき やていん ていーちきーる むん やん。（人が食べなさいとくれるのは一切れでも手をつけるものだよ）。

**ちゅ ちち ぐし** 〈一月おき〉 【例】くぬ ゆみむのー ちゅちちぐしに っんぢやさりーん。（この読み物は一月おきに出される）。

**ちゅ ちねー** 〈一世帯〉 【例】っちゅちねーや ちゃっさ いきらさていん くるまー たーちえー むっちょーくとう しゃこから あんでいてい みちんかいどう とうみとーさ。（1世帯は少なくとも車2台は持っているのので車庫からはみ出して道に停めている）。

**ちゅ とうし** 〈同じ年〉 【例】ありとう わんとー ちゅとうし やん。（あの人と私は同じ年だ）。あまぬ みーとうんだーや ちゅとうし やん。（あそこの夫婦は同じ年だ）。【参】「ゐぬ とうし」とも言う。

**ちゅ ふいさ** 〈一足〉 【例】ちゅふいさ さち なら やー。（一足先になろうね）。

**ちゅ ばち** 〈一発、一撃〉 【例】うとうう

っちよーる だいがくんかい ちゅばちに とーうたん。（有名大学に一発で合格した）。ありが ゆみぬ いやー ちゅばちなかい まとういーん。（あの人の弓矢は一張りでの的を射る）。

**ちゅ まーい／ちゅまーる** 〈ひとまわり〉

【例】わんねー うっとうとー っちゅまーい ちがいにー どー。（私は弟／妹とはひとまわり違うよ）。

**ちゅ みー** 〈一睡〉 【例】ちゃーが ないらんでい みー くふあてい ちゅみーんちよー にんてー をうらん。（いったいどうなるのかと目が冴えて一睡もしていない）。

**ちゅ うえー ぐとう** 〈一大事〉 【例】くるまぬ くわんさちとうか ほけんしょーぬ いっちょーる かばん ぬすまってい ちゅうえーぐとう なんとーん。（車の免許証や保険証の入っているカバンを盗まれて一大事になっている）。【参】「うふ ぐとう」とも言う。

**ちゅー** 〈今日〉 【例】ちぬー（昨日）、をうっていー（おととい）、あちゃー（明日）、あさてい（あさって）、あさていぬ なーちゃ（しあさって）。

**ちゅーいん** 〈成育する〉【活】ちゅーたん、ちゅーらん、ちゅーてい 【例】うぬ わらべー ちゅーいべーさっさ／ちゅーいにーさっさ やー。（その子は発育が早い／発育が遅いね）。あまぬ ういなぐんぐわや なーだ じゅーしち、はちぬ わらびどう やしが、にーびちさーに きっさ っくわ なちえーさ やー。ちゅーとーっさ やー。（あそこの娘はまだ17、8の娘なのに、結婚してすでに子を生んでいる。早熟だね）。

**ちゅーごー すん** 〈しめし合わす〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】あったーや ちゅーごー そーてーさ やー。（あの人たちはしめし合わせていたのだね）。じんとう ちゅーごーしどう ちかーりーん どー、じのー ゆーくめーきり よー やー。（お金と相談して

から使うことが出来るんだよ、お金は儉約して使いなさいよ)。

**ちゅくいん** 〈つくる〉【活】ちゅくたん、ちゅくらん、ちゅくてい 【例】ちゅくいしがたんちどう ある、っんまりしがたんちえー ねーらん。(人は生まれたままの容姿でいることはできない、化粧や着物や教養によって美しくなることができる)。うた／やー／しゅむち／みち／やしえー／ないむん／くみ ちゅくいん。(歌／家／本／道／野菜／果物／米をつくる)。ちゅくい やんぢ(作り損ない)、ちゅくいむん(作りもの)、ちゅくい わーきー(作物の利益を山分けすること)。

**ちゅくい むぢゅくい** 〈農作物〉 【例】くぬ ばさない ゆー ないくとう くわぐわー めーていっち っういーたくとう、いっぺー ゆかとーん。ちゅくいむぢゅくえー んーちゃ いらぶん どー。(このバナナはよく実が成るので株をもらって来て植えたら、よく茂っている。作物は土を選ぶよね)。

**ちゅくりーん** 〈繕う〉【活】ちゅくりたん、ちゅくりらん、ちゅくりてい 【例】やしえー／まーみなー ちゅくりれー。(野菜／もやしをつくろいなさい)。うみんちょー いじやいならん ばすねー、いゆ とういる あみちゅくりとーん。(漁師は漁できないときには、魚捕りの網を繕っている)。

**ちゅーみーん** 〈強める〉【活】ちゅーみたん、ちゅーみらん、ちゅーみてい 【例】なーいふいぐわー ちる ちゅーみーしえー ましあらに？(もう少し弦を強くすれば良いじゃないの)。

**〜ぢゅらさ** 〈かしこくも〜、尊くも〜〉 【例】っんぢやる ぐそーをうてい まゆいん しえーくいみそーらんぐとう っんまをうとーてい めーちぢぢゅらさっし うたびみしえーびりんでい ぬぢふあぬ うぐわん すん。(いらっしやったあの世でお迷いすることはなさらないで、その場でかしこくもお居着きなさってくださいと拔霊の拝みをする)。

いで、その場でかしこくもお居着きなさってくださいと拔霊の拝みをする)。

**ちら** 〈顔〉 【例】ちら むっち あっからん。(どの面さげて歩けるか)。ちゅらかーぎ(美貌)、ちゅらかーぎー(美人)、ちらまぎー(顔面の大きい人)、ちら たーちー(=ありんかい たっくわてー くりんかい たっくわてーしーしー する っちゅ=またばしごーやく、八方美人)。ちらぐわーぬ くーさん やー。(顔が小さいね)。ちら ほーちゅん。(ピンタする)。ちらかまちぬ わっさん、んーぢーねー わかいさ。(顔つきが悪い、見ればわかるよ)。ちらかーぎやか ちむぐくる。(顔だちよりも心の美しさ)。あれー ちら んけーよーぬ わっさぬ、かまじし くーてい やー。(あの人は表情が悪くて、愛想がなくてね)。ちらんかい ちむぬ っんぢとーん。(顔に心が出ている)。いふーな どうし かめーいねー、っやー ちらまदै ゆぐさりーん どー。(悪い友を探すと自分の顔まで汚すことになるよ)。

**ちら ふっくわー** 〈ふくれっ面の者〉 【例】あぬ ういなごー あんし ちらふっくわー やてーる やー。(あの女性はあるにふくれっ面するんだね)。

**ちりーん** 〈(極限状態に達して) 切れる〉【活】ちりたん、ちりらん、ちりてい 【例】やま ちりーん。(混乱の極限状況になっている)。あれー いぢ／はじ／ちぶる ちりとーん。(あの人は勇気がある／恥知らずである／頭がいい)。

**ちるがいん** 〈浸かる〉【活】ちるがたん、ちるがらん、ちるがてい 【例】うーあみぬ かーじ やーぬ なーかまでい みじぬ ちるがてい ーじ ないん。(大雨のたびに家の中まで水が浸かって大変なことになる)。ふよーゆーふる いーねー、くびまでい ゆーんかい ちるがらんとー ぬくたまらん。(冬は入浴したら首までお湯につからないと温まらない)。

**ちる だい** 〈だるいさま、元気をなくしている様〉 【例】ていまー めーてい うっさう

っさーっし やーんかい けーてい いすぢ  
かばん あきてい んーちゃしが、ちゃっさ  
とうめーていん ねーらんとくとう、ちるだい  
さん。(給与をもらって喜び勇んで家に帰っ  
てカバンをあけてみたら、いくら探してもなか  
ったので、がっかりした)。しけぬんかい うて  
いてい ちるだい そーん。(試験に落ちてが  
っかりしている)。ちる ぬぎとーん。(元気を  
なくしている)。【参】 だいん。

**ちるむん** 〈交接する〉【活】ちるだん、ちるま  
ん、ちるでい 【例】あーけーじゅーぬ ちるま  
がなー とうどーし んーちゃるくとうぬ あ  
み？(トンボが交尾しながら飛んでいるのを見  
たことがあるか)。

**ちろー** 〈器量〉【例】ちろー じんぶん う  
ちゃとーん。(顔立ちも分別もりっぱに一致し  
ている)。

**ちわみーん** 〈決める〉【活】ちわみたん、ち  
わみらん、ちわみてい 【例】ちわみてい と  
うらし よー。(決めておいてね)。あとうぬ  
ぢんみまでいねー ちゃーっし すん、かん  
し すんでいーる くとー たーが ちわみー  
が？(次の協議までにはどうするかということ  
は誰が決めるか)。あとうあとー がっこーを  
うてい しーとうぬちやーんかい うちなーぐ  
ち ならーする くとう ちわみらんとー な  
らん。(将来学校で生徒たちに沖縄語を教える  
ことを決めないといけない)。うぬ とういち  
わみ やれー、ぬー やていん ないさ。(その  
決心なら、何でもできる)。

**ちわまいん** 〈決まる〉【活】ちわまたん、ち  
わまらん、ちわまてい

**ちん／ちんちるかー** 〈服、衣類〉【例】  
うちなーぬ きーくささーに ちゅくらっとー  
る うちなーぢぬん、きかいさーに うふうふ  
ーとう ちゅくらっとーる ちぬん むる ち  
んでい いちよーん。(沖縄の植物で作られて  
いる沖縄の着物も、機械で大量に作られている  
衣服もすべて「ちん」と言っている)。じんぬ

あれー ちんちるかーどう こーてい あっち  
ゆさ。(お金があればすぐにでも服を買ってる  
よ)。うさきーぬ ちんちるかー あちみてい  
ぬー すが？(そんなにたくさんの着物集め  
てどうするの)。

**ちんちきーん** 〈つねる〉【活】ちんちきた  
ん、ちんちきらん、ちんちきてい 【例】んかし  
ぬ ういなぐぬ うやー いーし ちかん ば  
すねー、わじやーに っくわぬ うちむむ ち  
んちきたん。(一昔の母親は言うのを聞かない  
ときには、怒って子の内腿をつねった)。

**ちんペー** 〈唾〉【例】ちんペー とうーみ  
かすん。(唾をぺっとはく)。くるでい どうー  
やまちやる ばすねー、うやぬ くすいがわ  
いっし みけーん ちんペー なでいー すた  
ん。(転んで体を痛めたときには、親が薬(消  
毒)代わりに三回唾撫でをしたものだ)。

**ちんぼーらー** 〈小さな巻貝の一種〉【例】  
しーんかい たっくわとーる ちんぼーらーや  
とういんち いふいぐわー やていん さー  
いーねー、しぐ うていてい ちんぶるげーい  
すん どー。(岩にくっ付いている巻貝は穫  
ろうと少しでも触ったら、すぐに落ちてでんぐ  
り返しをする)。

**ちんまがいん** 〈ひん曲がる〉【活】ちんま  
がたん、ちんまがらん、ちんまがてい 【例】く  
ぬ あなあきやーぬ さちえー ちんまがとー  
くとう、のーちからどう ちかーりーん どー。  
(この 錐の先はひん曲がっているの、直して  
からしか使えないよ)。うぬ わらばーや ち  
むぬ ちんまがてい ならーしぐりさぬ なら  
ん。(この子は心が素直ではないので教えにく  
くてならない)。

**ぢんみ すん** 〈協議する〉【活】～さん、～さ  
ん、～っし 【例】やー ふちゅんち まーぬ  
ぢーぬ ましやがんち やーにんじゅっし ぢ  
んみ そーん。(家を新築するといっぺどどの場  
所がいいのか家族で協議している)。

# っち

**っちゅ** 〈人〉 【例】あぬ っちょー がくむのー ねーんしが、っちゅだしきさー やくとう っちゅに めーらっとーん。(あの人は学問は納めてないが、人助けをするので人に信頼されている)。っちゅ くるさー、あな たーちふり。(他人を落とし入れるなら、自分の穴も用意すべし)。っちゅぬ くちんかい はしろー たていららん。(人の口には戸は立てられない)。っちゅぬ たきや うまんちゅぬどうはかいる。(人の値打ちは世の中の人に委ねられている)。

**っちゅ あし** 〈人の往来〉 【例】みーさかばさる うちえー っちゅに あたらさ さりーしが、ふいーぬ たちしんでー っちゅあしぬ とうーぬちゅしが っちゅぬ なれーやん。(初めのうちは人に大切にされるが、日が経つにつれ人の足が遠のくのが人の常だ)。

**っちゅ あとう** 〈人に後れること〉 【例】なーめーめーぬ しーよーぬ あくとう、っちゅぬ あとう ないしえー しわする むのーあらん。(人それぞれ仕方があるので、人に後れることを悩むことはない)。

**っちゅ うじ** 〈人見知り〉 【例】わらべー っちゅうじ さんぐとう っちゅぬ あちまい どうくるんかい そーてい あっきわどう っちゅなりん すん。(子どもは人見知りしないように人の集まるところに連れて行けば人慣れもする)。

**っちゅ うしえー むにー** 〈人をあなどるもの言い〉 【例】っちゅうしえーむにーする っちょー っちゅ なてー をうらんく

とう、どうーぬ ふすく みしーしとう あぬ むんどう やる。(人をあなどるものの言い方をする人は一人前になってはいないので、自分の未熟さをみせるのと変わらない)。

**っちゅ うやめー** 〈人を敬うこと〉 【例】うやー うや なち、しーじゃー しーじゃなしわどう やしが、なまー っちゅうやめーする ちむぬ ねーん なてい ちょーん。(親は親として、年上は年上としてしなくてはいけないのに、今は人を敬う心がなくなっている)。っちゅうやめーや どうーうやめー。(人を敬愛することが自分を大切にすることにつながる)。

**っちゅ かじ** 〈会う人ごとに〉 【例】あぬ どうしえー なまー ちゃー そーがやーんち っちゅかじ とうーたしが、わからんたん。(あの友は今はどうしているのかと会う人ごとに聞いたが、わからなかった)。

**っちゅ かしまさー** 〈人間嫌い〉 【例】わかさる とうちえー あねー あらんたしが、なまー ぬーが やら っちゅかしまさーなてい やっけー やっさー。(若いときはそうでもなかったが、今はどうしたことか人間嫌いになって困ったな)。

**っちゅ がわいー むん** 〈変わり者〉 【例】っちょー やなーや あらんしが、いふえー っちゅがわいむん やー。(人は悪くないが、ちょっと変わり者だね)。

**っちゅ ぐとう** 〈人との交際〉 【例】どうーぬ めーびかー あらん、っちゅぐとうん あくとう、じんぬ ふしがらん。(自分のこと



ばかりではなくて、交際もあるので、出費が大変)。

**っちゅ だき** 〈人の丈〉 【例】やしみに  
きらまをうてい っちゅだき そーる いゆ  
ちっちちゃん。(休みに慶良間で人の丈ほどの  
魚を釣って来た)。

**っちゅ だまさー** 〈人をだます者、詐欺師〉  
【例】っちゅんかい だまさりーる っちゅん  
をうくとう っちゅだまさーん っんぢてい  
ちゅーしが、「ゆくしえー ぬすどうぬ はじ  
まい」やくとう っちゅだまさーん ぬすどう  
とう めぬむんどう やる。(だまされる人も  
いるので詐欺師も出て来るが、「嘘つきは泥棒  
の始まり」なので、詐欺師も泥棒も同類だ)。

**っちゅ にんぢん** 〈人間〉 【例】ちぬー、  
をうっていーどう いちやてい はなしん そ  
ーるむんぬ、あつたに かんてい なー？  
っちゅにんぢんぬ ぬちえー いらりーるむの  
ー あらんさ やー。(ほんの昨日一昨日に会  
って話もしているのに、急にそうになってねえ。  
人間の命は言えるものではないね)。

**っちゅぬ かーたー** 〈最低な人間〉 【例】  
「あれー っちゅぬかーたーどう やん どー」  
んでい いらりれーからー、なー しまい や  
さ。(「あれは最低の人間だ」と言われたら、も  
うおしまいだよ)。

**っちゅ はだ** 〈人肌〉 【例】さけー っち  
ゅはだ あたいぬ ぬくさる さきぬどう ま  
ーさる。(酒は人肌ぐらいの温さの酒がおいし  
い)。

**っちゅ ばっぺー** 〈人違い〉 【例】どう  
ーぬ どうしんち うむてい なー ゆだし  
が、とうんけーたくとう っちゅばっぺー や

たん。(自分の友人だと思って名前を呼んだが、  
振り向いたら人違いだった)。

**っちゅ ふるばさー** 〈借金を踏み倒す者〉  
【例】っちゅふるばさーんかい しー とーさ  
ってい ふいんぎらったん。(「っちゅふるばさ  
ー」に借金を踏み倒されて逃げられた)。**【参】**  
「しー とーさー」とも言う。

**っちゅ びれー** 〈人付き合い〉 【例】むぬ  
くーいー じょーじえー、っちゅびれー じょ  
ーじ。(物をくれるのが上手な人は人付き合い  
も上手)。っちゅびれー やか むちかさる  
むのー あらん。(人付き合いより難しいもの  
はない)。

**っちゅ まさい** 〈人に勝ること〉 【例】た  
ーんかい やていん っちゅまさい そーる  
とうくまぬ かんなじ あん。(誰にでも人に  
勝っているところは必ずある)。

**っちゅ まま** 〈人の言いなり〉 【例】わら  
びぬ うちえー あねー あらんしが、うふっ  
ちゅ ないねー っちゅままに なてー なら  
ん。(子どものときはそうではないが、大人にな  
ったら人の言いなりになってはならない)。

**っちゅ めー** 〈人前〉 【例】っちゅめー  
なてい あっちゅる っちよー どうーぬ く  
とうびけーや あらん、んなが くとうん か  
んげーてい する っちゅ あらんねー なら  
ん。(人の前に立って行動する人は自分のこと  
だけではなくて、皆のことも考えてする人でな  
ければならない)。

**っちゅ ういー** 〈人酔い〉 【例】っちゅぬ  
まんどーる とうくろー っちゅういー さ  
ーに ちむ いふなー ないん。(人の大勢い  
るところは人酔いして気分が変になる)。

## てい、でい

ていー 〈手〉 【例】あまむん しかんぬーん  
をうしが、あまむんじょーぐーや あみぐわ  
ー ゐーる ばすん ていーぬ みっちゃかー  
とういん。(甘いのが好きではない人もいる  
が、甘党はキャンディーをもらうときも手いっ  
ぱい取る)。

ていー あんだ 〈料理に込めた愛情〉 【例】  
うふっちゅ なてい あまくま まーさむん  
かでーをうしが、あんまー ていーあんだぬ  
いっちょーる かみむんやか まーさる むの  
ー ねーらんたん。(大人になってあちらこちら  
でおいしいものを食べてはいるが、母親の愛情  
を込めた食べ物よりおいしいものはなかった)。

ていー うさーすん 〈合掌する、手をあわ  
せる〉 【例】うぐわんすんかい ていー う  
さーする ならーしぬ あくとう うちなーん  
ちゅぬ くらしえー うやふあーふじとう ち  
ながとーん。(仏前に合掌する慣しがあるので、  
沖縄の人の生活は先祖とつながっている)。う  
さんでー さびら んでいいち、ていー うさ  
ーちからどう くわっちー かむん。(お下げ  
しますといって、手をあわしてからごちそうを  
食べる)。すーまん なてい あみぬ ちぢち  
ょーたしが、ちゅーから ていーだぬ あがと  
ーくとう、つういーりきく なてい うびらじ  
に ていー うさーちゃん。(梅雨になって雨  
が降り続いていたが、今日から太陽が出たので、  
楽しくなって思わず合掌した)。

ていーおー さおー すん 〈右往左  
往する〉 【活】～さん、～さん、～っし 【例】ちむ  
に くわっくわちょーたる くとうぬ うむて

いんかい つんぢやさってい、あれー いっペ  
ー ていーおーさおー そーたん。(心に秘め  
ていたことが表に出てしまって、あの人は右往  
左往していた)。

ていー がんまり すん 〈手を触れる〉  
【活】～さん、～さん、～っし 【例】くまをうてい  
みしとーる やちむのー わりむん やくと  
う、ていーがんまりしえー ならん どー。(こ  
こで展示している焼き物は割れ物なので、手を  
触れてはいけないよ)。

ていー さーじ 〈手ぬぐい〉 【例】しえー  
くぬちゃーや ちぶるんかい さーじ まち、  
くしんかい ていーさーじ さぎてい わじ  
ゃ そーん。(職人は頭にはちまきをして、腰に  
手ぬぐいをぶら下げて、仕事をしている)。

ていー さぐい 〈手探り〉 【例】あった  
に でんきぬ ちゃーりてい、どうまんぐいて  
い ていーさぐいっし でんとー とうめーた  
ん。(急に停電して、慌てて手探りで懐中電灯を  
探した)。

ていー じくん 〈握りこぶし〉 【例】んか  
しえー ていーじくんさーに こーぐわーさー  
くわーさっていどう ふどうつういーていち  
ょーしが、なまー うんなくとう しえー な  
らんでい。(昔は握りこぶしでげんこつをもら  
って大きくなってきているが、現在はそんなこ  
とはしてはいけないって)。

ていー じょーきー 〈取手付きのかご〉  
【例】あぎむのー ていーじょーきーんかい い  
ってい、かじんかい すがち、くさらんぐとう  
すん。(揚げ物は取手付きのかごに入れて、風

を通して、腐らないようにする)。

ていー ぢかーん すん 〈手づかみする〉

【活】～さん、～さん、～っし 【例】てい ぢかーん しえー かむなんでい うやんかい ならーさっとーたしが、ゆすぐにをうてー うん ぐとうーっし かどーる とうくるん あん。(手づかみして食べるなど親に教えられていたが、外国ではそのようにして食べているところもある)。

ていー ちかいん 〈空手をつかう〉【活】～

ちかたん、～ちからん、～ちかてい 【例】むちかさる しけぬんかい とうーてい、ていー ちかてい うっさくわったー そーたん。(難しい試験に受かって、空手の動作で喜びを表現した)。

ていー ぢゆくい 〈手作り〉【例】ていー

ぢゆくい むのー あたらさ すくとう、なげー むちゅん。(手作りのものは大切にすることで、長持ちする)。

ていー とうら とうらー すん 〈一緒に

組んでしたがる〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】あれー っやーとう ていーとうらとうらー そーしが、っやーや ちゃー うむいが？(あの人はあなたと一緒に組んでしたがっているが、あなたはどう思うのか)。【参】ていーく みぶさー すん (手を組みたがる)。

ていー とー だーちー すん 〈拱手傍

観する〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】おーえーていーえー っし うぬまま やいねー くるさりーどう すしが、すばんかい をうたる っちゅぬちゃーや ていーとーだーちー さーに みーちきていどう をうたる。(口論してそのままだと殴られてしまうのだが、野次馬たちは拱手傍観して見ただけだった)。

ていーぬ くび／な－／はた／わた 〈手

の首／甲／端／ひら〉【例】んにん、かたん、ふいじけーん、ていーぬくびん、くしん、ちんしん、ふいさぬくびん むる ゆるみやーに、ちーぬ ながり みぐらち たいきよくけん すん。(胸も、肩も、肘も、手首も、腰も、膝も、足首もみんな緩めて、血流を巡らせて太極

拳をする)。ていーぬ なー (手の甲)、ていーぬ わた (手のひら)。【参】ていっこー (手の卑語)；あれー しーじゃがたんかい ていっこー ねーいん (あれは先輩方に手を出す)。

ていー ねーい ふいさ ねーい す

ん 〈けんかを挑む〉【活】～さん、～さん、～っし

【例】うやに なさってい うやんかい ていーねーいふいさねーい する ばー め？(親に産んでもらって親に手出しをするつもりか)。

ていー はごーさ すん 〈嫌がる〉【活】～

さん、～さん、～っし 【例】あーあー そーる っちゅからー ふいんぎてい、さけーとーる っちゅんかえー やーやー っし、たつくわいる っちゅんかい「あがいていーだ をうがまー」んでい いーしが、かんする っちゅぬちゃーや はごーさ さりーん。(困窮している人からは逃げて、成功している人には物欲しそうにくっ付く人を「日和見な人」というが、こういう人たちは嫌がられる)。

ていー ふいさ まちぶい 〈足手まとい〉

【例】わらびぬ どうく ていーふいさまちぶ いっし ぬーんならん。(子どもがあまりにも足手まといになって何もできない)。ていー っんぢやちやい くち っんぢやちやいっし っわーばぐとう すな けー、ていーふいさまちぶい そーさ。(手を出したり、口をだしたりして余計なことはするな、じゃまだよ)。

ていー まーまー すん 〈うろたえる〉

【活】～さん、～さん、～っし 【例】あったに うちやくが めんそーち、ぬーん しこーてー をうらんくとう ていーまーまーさん。(急にお客がいらっしやって、何も準備してはいないのでうろたえた)。

ていー まーみ 〈手豆〉【例】てつぼー

しーぢゅーさぬ、ていーぬ わたんかい ていーまーみぬ っんぢてい やむん。(鉄棒し過ぎて、手の中に豆ができて痛い)。

ていー まっくわ 〈自分の手で枕すること〉

【例】ていーまっくわっし にんとーたくとう、ていーん ふいらくどーっさ。(手枕して寝ていたので、手もしびれているよ)。

ていー もー 〈手がない者〉 【例】いくさ  
あとー ていーもーん ふいさもーん をう  
てい んーぢゆるかーぢ ちむ やむたん。(戦  
後は手足がない人がいて見かける度に心が痛ん  
だ)。

ていーよー ふいさよー すん 〈手振り  
足振りです〉 【活】～さん、～さん、～っし 【例】  
あれー ちゃー ていーよーふいさよー さー  
に はなし すくとう、ちちよーる っちゅん  
ゐぬ ちむ なてい いっぺー わかいやつ  
さん。(あの人はいつも身振り手振りで話をす  
るので、聞いている人もその気になって分かり  
やすい)。

ていー わじゃ 〈手仕事〉 【例】んかしぬ  
ういなぐぬうやー ちん のーたい、ぼーし  
くだいっし ていーわじゃ さーに じん  
もーきてい つくわぬちゃー ふどうっわーち  
ゃん。(昔の母親は着物を縫ったり、帽子を編  
んだりしてお金を稼いで子どもたちを育てた)。  
きかいぬ する わじゃー むる ていーわじ  
ゃ さーに そーたくとう、んかしえー てい  
ぐまーぬ うふさたん。(機械がすることはす  
べて手仕事だったので、昔は手先の器用な人が  
多かった)。

ていー わたし すん 〈手渡しする〉 【活】～  
さん、～さん、～っし 【例】くれー てーしちな  
むん やくとう、っちゅんかえー たぬまん  
ぐとう っやーさーに ていーわたしっし く  
いり よー。(これは大切な物なので、人には頼  
まないであなたから手渡ししてくれよ)。

ていー わちゃれー ないん 〈手をわず  
らわすこと〉 【活】～なたん、～ならん、～なて  
い 【例】「あん やみ？」んでいいち 「ない  
さ」んでいいち さる むのー、ていーち、た  
ーち、みーちっし ちびなーりー くとうぬ  
っんぢていちゃーに、ていーわちゃれー そー  
ん。(安請け合いしたものは、1つ、2つ、3つ  
と続いて、事が発生してきて面倒なことになっ  
ている)。

ていー っんぢやーり 〈やっかいなこと  
にかかわること〉 【例】いららん みーんかい

いっち ていーん ふいさん ぬがらん なて  
い、わんまでい ていーっんぢやーりっし じ  
やーふえー などーっさ。(入ってはいけな  
いところに入ってしまったて出られなくなって、私  
までも厄介なことになって困っている)。

でいーぐ 〈でいご〉 【例】でいーごー あ  
ちぐにぬ ていーだ うきてい、はなぬ いる  
ぬ っんぢてい ちむうらーきらりーん。(デ  
イゴは常夏の太陽を受けて、花の色が出て心が  
洗われる)。

ていーだ 〈太陽〉 【例】なちぬ ていーだ  
ー あちさぬ ふしがらん。(夏の太陽は熱く  
てたまらない)。

ていーだ あみ 〈にわか雨〉 【例】くぬ  
ぐろー ていーだあみぬ うふさくとう、ふ  
かんかい っんぢーる ばすねー ふしむのー  
やーぬ うちんかい いりーるぐとう そー  
ん。(この頃はにわか雨が多いので、外に出る際  
には洗濯物は家の中に入れるようにしている)。

ていーだ ぶい 〈日照雨〉 【例】ていーだ  
ぶえー しぐ あがいん。(日照雨はすぐやむ)。

ていーだ ぶーい 〈ひなたぼっこ〉 【例】  
ていーだ くわらくわらっし ぬくぼとーんね  
ーそーくとう、ふかんぢ ていーだぶーいんで  
ー さに？(日がカンカン照って暖かそうなの  
で、外でひなたぼっこでもしないか)。

ていーち 〈1つ〉

ていーち みしー 〈年子〉 【例】あれー  
つくわ ぐにん なちえーしが、むる ていー  
ちみしー やんでい。(あの人は5人産んでい  
るが、みんな年子だって)。

ていーち むん 〈同じもの〉 【例】てい  
ーちぬ たまぐぬ つくわ なてい いちゆる  
とうち、つくわが たーち ちゅくらって  
い まったち にちよーるーぬ っんまりーる く  
とうん あん。いーねー、たーちゅー やん。  
たーちぬ いーやーからぬ たーちゅん あし  
が。(1個の受精卵が胎児になっていくとき、胎  
児が2つ形成されて瓜二つが生まれることもあ

る。つまり、一卵性双生児だ。2個の胎盤からの双生児もあるが)。【参】たまぐ(受精卵)とは違い、くーが(人間以外の動物の卵)の場合は、そーみなーぬ くーが(メジロの卵)、かーみーぬ くーが(亀の卵)のようになる。

**ていーる** 〈手かご〉【例】ふいーらーとうか、つうえんちゆんかい さららんたみに、ていーるんかい いってい つういーんかい さぎとーたん。(アブラムシとか、ネズミに食べられないために、手かごに入れて上につるしていた)。

**ていーん** 〈照る〉【活】ていたん、ていらん、ていてい 【例】あがりむていーんかい まぎやーぬ たっち、ていーだぬ あたらん なてい なーん やーん くらしん などーんねーすん。(東側に大きな家が建って、日が差さなくなつて、庭も家も薄暗くなっている)。

**でいかすん** 〈よくやる〉【活】でいかちゃん、でいかさん、でいachi 【例】しけぬんかい ちゅばちなかい とうてい でいachiょーさやー。(試験に一発で受かってよくやったね)。

**でいきーん** 〈できる〉【活】でいきたん、でいきらん、でいきてい 【例】あつたーや でいきやーたつくいー／ちょーみーたつくいー／すぐりたつくいー どー。(あちらは秀才／長寿／優れ者の血筋だよ)。ちむぬ でいきとーん。(心ができている／親切だ)。

**ていがねー** 〈手伝い〉【例】わらび そーいに うやぬ ていがねーびけーっし、いちびんちょー さが うびてーをうらん。(子供の頃は親の手伝いだけして、いつ勉強したのか憶えていない)。

**ていがら** 〈功労〉【例】つくわぬ むんならーしえー ういなぐぬ うやぬ ていがらどー やん。(子のしつけは母親の手柄だ)。

**ていぐまー** 〈手先が器用な者〉【例】あれー ていぐまー やてい、ありが ちちょーる

ちのー むる どうーくる のーてーし やん。(あの人は背先が器用で、あの人が着ている着物はすべて自分で裁縫したものである)。

**ていしめ がくむん** 〈学問〉【例】ていしめがくむのー いちちゆるたみぬ じえーさんどう やる。(学問は生きるための財産である)。

**ていびち** 〈手足、豚足の煮込み料理〉【例】ていびちえー、つわーぬ ふいさ なげー にくでい、うりんかい とーふ、くーぶ、でーくに いってい かむん。(てびちは、豚足をながく煮込んで、それに豆腐、昆布、大根を入れて食べる)。

**ていふん** 〈手本〉【例】しんしーぬ ていふんどう うやぬ ていふのー ふいっちょーや ならんさ。(先生の手本と親の手本は比較はできないよ)。

**ていま とうやー** 〈日雇い労働者〉【例】ていまとうやーや しゅちぬ ある とうちとう ねーん とうちぬ あくとう、くらしぐりさん。(日雇い労働者は仕事のある場合と無い場合があるので、生活は安定しない)。

**ていみじ** 〈手ですくった水〉【例】やんばるぬ やまから ながりとーる みじ ていみじっし ぬだくとう、ふいじゅってーんぐわーっし いっぺー まーさたん。(ヤンバルの山から流れている水を手ですくって飲んだら、冷たくてとてもおいしかった)。やまから ながりていちょーる ぬちぐすいぬ みじえー なま しにがたー そーる っちゅん いちげーらさりーっさ。(山から流れてきている命の水は今死にかけている人も生きがえらせるよ)。

**ていら** 〈寺、拝所〉【例】すいんかえー くわんぬんどー、あんくくじ、だるまうていら、せいこーじ、ばんしょーいんぬ いちちぬ うていらぬ あてい、ばんしょーいんぬ ふかーじゅーにしぬ まむりがみとうっし るちょー

ん。かんぬんどーや にー、うし、とうら、たち、みー、っんまぬ むーち、あんくくじんかえー とうい ていーち、だるまうていらんかえー うー、いん、あーぬ みーち、せいこーじんかえー ふいちじとう さーるーぬ たーち めちよーん。(首里には観音堂、安国寺、達磨お寺、盛光寺、万松院の5つのお寺があって、万松院以外は12支の守り神として配置されている。観音堂は子、丑、寅、卯、辰、巳、午の6つ、安国寺には酉1つ、達磨お寺には卯、戌、亥の3つ、盛光寺には未、申の2つが置かれている)。

### ていん 〈天〉

ていん がーら 〈天の川〉 【例】うちな一ぐゆみぬ しちぐわち なぬかー たなばた やてい、うぬ しちぬ ていんがーらー いっぺー みぐとう やん。(旧暦の7月7日は七夕で、その時節の天の川は実に見事である)。  
【参】みーむん(芝居、綱引き、闘牛などの娯楽的な見物)。

ていんぬ っちゅ 〈天上人〉 【例】ちのーんぬ 「むいぬ かー」んかえー はにんすちちよーたる ていんぬ っちゅぬ いーちてーぬ あん。(宜野湾の「杜の湧泉」には羽衣を着た天女の伝説がある)。

ていん みー 〈天命〉 【例】ていんみーかみてい っんまりとーん。(天命をいただいて生まれてきている)。

ていんさーぐー 〈ホウセンカ〉 【例】ていんさーぐーぬ はな ちみさちに すみたくとう、うふっちゅ なたんねーっし、たーがな

まし やる ういきがとう まじゅん りゅーたぬんかい いちぶしく なたん。(ホウセンカの花を爪先に染めたら、大人になったようなきがして、誰かいい人と一緒に龍潭に行きたくなった)。

ていんちやま 〈いたずら〉 【例】わらべー ありんくりん がっていん しーぶさすくとう、んーちやい さーたいっし ていんちやま すん。(子どもはあれもこれも確かめずにはいられないので、見たり触ったりしていたずらする)。

ていんしー 〈天水〉 【例】ていんしー かーみんかい たみてい ゆー ふかち ちゃーいってい ぬみーねー いっぺー まーさん。くーぶん ていんしーんかい ちきーねー たでーま やふあらち まーく ないん。(天水を甕に溜めて、湯を沸かしてお茶を入れて飲むととてもおいしい。昆布も天水に浸けるとたちまち柔らかくなっておいしくなる)。

ていんじょー 〈天井〉 【例】どうーぬ やー ふちゆる とうちねー ていんじょーん たかだかーっとう そーる やー ちゅくらなやーんち うむとーん。(自分の家を建てるときには天井も高い家を造ろうかと思っている)。

ていんぷら 〈てんぷら〉 【例】うちなーをうてー ごーやー、らっちょー、っんむ、いゆ、いちゃんてーや ていんぷらっしん かむん。(沖縄ではゴーヤー、らっきょー、芋、魚、イカなどをてんぷらにしても食べる)。



# とう

**とうい** 〈鶏〉【例】いゆ こーらー まぎさ  
しから こーり、とうい こーらー っういー  
やーや ししぬ くふあさぬ、かまらんくとう  
わかどういぐわーから かじ こーいしえー  
まし。(魚を買うなら大きいものから買いな  
さい、鶏を買うなら老いたのは肉が固くて食べ  
られないので若鶏から数で買うのがよい)。

**とういん** 〈取る、もらう〉【活】とうたん、と  
うらん、とうてい【例】っちゅぬ むのー と  
うてーならん。(人のものは取ってはならない)。  
くん ちちえー たーが ふーび とうたが？  
(今月は誰が報償をもらったか)。

**とうい** けーすん 〈取り戻す〉【活】～けー  
ちゃん、～けーさん、～けーち【例】くんち と  
ういけーちえーさ やー。(元気を取り戻した  
んだねえ)。

**とうい** しがいん 〈とりすがる〉【活】～し  
がたん、～しがらん、～しがてい【例】っやーと  
うぬ くとー なー うわたんでい いちやる  
えーていんかい とういしがらってい なち  
ぐえーぐえー さったん。(あなたとはもうこ  
れまでと言った相手にとりすがられて激しく泣  
かれた)。

**とうい** しまいん 〈取り締まる〉【活】～し  
またん、～しまらん、～しまてい【例】ゆるー  
いん なてい あっちゅる わかむんぬちやー  
とういしまいん。(深夜徘徊する若者たちを  
取り締まる)。

**とうい** ちめーいん 〈かき集める〉【活】～  
ちめーたん、～ちめーらん、～ちめーてい【例】  
なーぬ きーぬ ふあー ほーちかちさーに

とういちめーてい めーすん。(庭の木の葉を  
ほうきで掃いてかき集めて燃やす)。あったー  
や いーぶさかっていー そーくとう、ちゅい  
なーちゅいなー むる とういちめーてい あ  
つくっし とうらしえー。(あの人たちは言い  
たい放題していて、一人一人皆んなかき集めて  
叱りなさい)。

**とうい** どうくる 〈長所〉【例】ぬーぬ  
とういどうくるん ねーらん っちゅんちん  
をうみ？ っちゅんかえー かななじ たーに  
ん まきらんくとうぬ ていーちえー あんで  
い。(何の長所もない人間っているのか。人  
にはかならず誰にも負けないことが1つはある  
て)。

**とうい** のーすん 〈取り直す、改める〉【活】～  
のーちゃん、～のーさん、～のーち【例】っちゅ  
んでい いーしえー いーつくわ いーぶすく  
ぬ あくとう、ながみていとうらち、ちむ と  
ういのーち くいり よー。(人と言うのは言  
い過ぎ、言い不足があるので、大目にみてもら  
って、気持ちを直してくださいよ)。

**とうい** ぶさ かっていー すん 〈取  
り放題する〉【活】～さん、～さん、～っし【例】  
ちゅーや サラダン とういぶさかっていーっ  
し、さきん ぬみぶさかっていーっし、かみむ  
ぬん かみぶさかっていーっし しむん ど  
ー。(今日はサラダも取り放題、酒も飲み放題、  
食べ物も食べ放題していいよ)。たんかのー  
じん はらいーねー、なとーる きーから か  
みぶさかっていー とうてい しむるくとう  
なとーん。(タンカンはお金を払うと、実が生っ



ている木から食べ放題していいことになっている)。

**とういん ちかみん ならん** 〈制御できない〉 【例】うぬ ういーっちゃーや じゃーまていーまっし とういんちかみん ならんさ。(その酔っぱらいは行く先がわからなくなってどうしようもない)。

**とうーぬ いーび** 〈10本の指〉 【例】とうーぬ いーべー めんたけー ねーらんぐとう、かんげーよーん むる ちがとーん。(10本の指は同じ丈ではないのと同様、考え方もみんな違っている)。

**どうー** 〈体〉 【例】どうーぬ どうーや どうーっしどう わかいくとう、どうーよーじょー しー よー やー。(自分の体は自分でしかわからないので、自己管理しなさいよ)。どうー かなとーみ?(元気でいるか)。どうー てーしちに しーよー やー。(体を大切にしなさいよ)。あさんちん、ふいるんちん、ゆるんちん ねーん、めーが めーなち ふりばたらちっし あとー どうー とーすん どー。(朝も昼も夜もなく、毎日働きっぱなしで終いには過労で倒れるよ)。あれー っちゅぬ いーしえー ちかんぬー やくとう、どうー やんていどう わかいる。(あの人は人が言うのは聞かない人なので、体を壊してからしかわからない)。

**あち どうー** 〈体の熱っぽい者〉 【例】あちどうーや にーぶたーぬ うみ むちゆるか たっくいーくとう、のーいぐりさん。(体の熱っぽい人はおできの膿みをもつほどただれるので、治りにくい)。

**どうー ぢゅくい** 〈体格〉 【例】ありが どうーぢゅくえー うやゆじり やっさー やー。(あの人の体格は遺伝だね)。

**どうー にー** 〈うなること〉 【例】っやーや いみどう んーちー? どうーにー そーたん どー。(あなたは夢でも見たの。うなっていたよ)。

**どうー ふいじゅやー／どうー ふいじゅるー** 〈冷え性の者〉 【例】ういなぐぬ どうーふいじゅやー ないねー、つくわ むちぐりさ ないくとう、ふいさ ちちめー。(女性が冷え性になると、子を産めにくくなるので、足を包み込みなさい)。

**どうー ぶに** 〈体の骨〉 【例】うぬ とうし なていから はーえーすーぶ さくとう、どうーぶに やでい ふしがらん などーさ。(この歳になってから駆けっこしたので、骨が痛くてどうしようもなくなっている)。

**どうー ぶに のーし** 〈骨休め〉 【例】さきぐわー ぬでい どうーぶにのーし さな。(酒でも飲んで骨休めでもしようか)。

**どうー っんぶさ** 〈体が重いこと〉 【例】どうーっんぶさたくとう、こーえぬんかい っんぢ あっちゃーあっちゃー そーる っうえーだに どうーがるく などーたん。(体が重かったので、公園に行って散歩しているうちに体が軽くなっていた)。

**どうー** 〈自分〉 【例】どうく をうたていよー、なまー どうーぬ どうーん むちかんていー そーっさー。(あまりにも疲れて、今は自分の体も維持しにくい様だ)。どうーぬ はんめーんちょーん ならに?(自分の食べる分さえも稼げないのか)。っちゅんかい あんいちょーてい どうーや ちゃー などーが?(人にそう言って自分はどうなっているの)。どうーぬ どうーや どうーくる しー よー。(自分の体は自分でしなさいよ)。どうーぬ めーんかい するばん はんちゅん。(自分中心に物事を考える)。どうーぬ ふえーや うーらん、っちゅぬ ふえー うーゆん。(自分のこともできないのに他人の世話をしたがる、おせっかい者)。どうー かんげー (自分の考え)。  
**どうー あがち** 〈自活、自立〉 【例】わーういきがんぐわー やーわかやーっし なまー どうーあがち そーん。(私の息子は分家して現在は自立している)。【参】どうーむち。  
**どうー あがみ／どうー うやめー** 〈う

ぬぼれ) 【例】ちゃっさが ぶんむちゃーが  
やら わからのー あしが、っちゅ うしえー  
ーてい どうーあがみ／どうーうやめーびけー  
そーん。(いったいどれほどの格好つけ屋な  
のか判らないが、人を馬鹿にしてうぬぼれてば  
かりいる)。

どうー あたい／うちあたい <自分の心  
に響くこと> 【例】「どうーあたい／うちあた  
い」んでい いーしえー、っちゅぬ はなしど  
う やしが、どうーぬ くとう いらっとうん  
ねーっし ちむはじかしく ないるくとう や  
ん。「どうーあたい／うちあたい」というのは、  
実際は人の話なのに、自分のことでも言われて  
いるように恥ずかしくなることだ)。

どうー くる <自分自身で> 【例】どうー  
くる ないしえー どうーくる すさ。(自分  
で出来るのは自分でするもの)。

どうー ちゅい あっち <一人歩き、独  
走> 【例】あれー いちん どうーちゅいあ  
っちっし っちゅぬ はなしえー ちかんぬー  
やさ。(あの人はいつも独走して人の話は聞  
かない人だ)。うふっちゅ なてい、どうーちゅ  
いあっち そーん。(大人になって、一人歩きし  
ている)。

どうー ちゅい むにー <独り言> 【例】  
すばんかい をうんでい うむてい はなし  
そーたる ちむえーどう やたしが、くさー  
とうんけーたくとう たーん をうらん、わん  
ねー どうーちゅいむにーどう そーたる。(そ  
ばに居ると思って話していたつもりだったが、  
振返ったら誰も居ない、独り言をしていたのだ  
った)。

どうー なー <自分たち(話者を除く一人称  
複数)> 【例】どうーなーや あしどーてい  
っちゅびけー あちかてい。(自分たちは遊ん  
でいて人だけをこき使って)。わらびんちゃー  
が かけほーてー しえー、ていー っんぢや  
すな。どうーなーくる しじみらし よー。(子  
どもたちがかき乱したら手を出すな。自分たち  
で片付けさせなさいよ)。

どうー むち <身持ち> 【活】どうー むち

ぐりさ <自活し難さ> 【例】とうすい ない  
ねー、ぬーぬ わじゃ するくとうん ねーら  
ん、ねんきんびけー やくとう どうーむちぐ  
りさ そーん。(年寄りになったら、何の仕事を  
することもなく、年金だけなので自活するのが  
むずかしい)。さちざちん かんげーらんぐと  
う、ぬーくいーん ていー っんぢやさーに  
あとー しーやんぢぐとうっし どうーむちぐ  
りさ そーん。(先々のことも考えないで、何も  
かも手を出して、後は失敗して生活に困窮して  
いる)。

どうー ゆい <自己責任、自業自得> 【例】  
あん ないしん かん ないしん、くれー ど  
うーゆい やさ。(ああなるのもこうなるのも、  
これは自業自得だ)。っちゅんかい しかりー  
しん ちらーりーしん、っやーゆい／どうーゆ  
い やさ。(人に好かれるのも嫌われるのもあ  
なたのせい／自分のせいだよ)。どうーぢゅー  
く ないしん よーく ないしん、どうーゆい  
やさ。(体が強くなるのも弱くなるのも自分  
次第だよ)。

どうー わちゃれー <手に負えない状態>  
【例】しじみーんち、ある うっさぬ どーぐ  
すんちっんぢやちやしが、どうく うふさぬ、  
どうーわちゃれーっし ならん。(片付けると  
いって、あるだけの道具を引っぱり出したが、  
あまりにも多くて、手に負えない)。【参】てい  
ーまーまーすん(うろたえる)。

とうーいん <問う> 【活】とうーたん、とう  
ーらん、とうーてい 【例】っちゅんかい むぬ  
とうーいるばすねー、ぬーぬ くとう ちち  
ゅんでいーる くとう ゆー かんげーていか  
ら とうーいし やん。(人にものを問う際  
には、どんな事を聞くのかをよく考えてから問う  
ものだ)。

とうーいん <通る> 【活】とうーたん、とう  
ーらん、とうーてい 【例】まくとう そーち  
ーねー、まーまでいん とうーいん。(正直を通せ  
ば、どこまでも伝わる)。

とうーい みち 〈通り道〉【例】がっこーから けーいる じぶんに とうーいみちんかい ちゃー いんぬ をうてい、しーとうぬちやー んーぢーねー、あびてい うーていちゅーたん。(学校から帰る通り道にいつも犬がいて、生徒たちを見つけると吠えて追って来たものだ)。

とうーすん 〈通す〉【活】とうーちゃん、とうーさん、とうーち 【例】うっさー とうーちよーか やー？／いちよーちゅさ。(それだけは通しておくね／言っておくね)。

とうーぬちゅん 〈遠のく〉【活】とうーぬちゃん、とうーぬかん、とうーぬち 【例】ひこーけー なまどう とうどーたしが、たでーま とうーぬち あがとーまでい っんぢよーる。(飛行機はいま飛んだのだが、あっという間に遠のいてあんなに遠くまで行っている)。

とうーみー かがん 〈望遠鏡〉【例】とうーみーかがんぬ あいねー かーまんかいある むぬん みーぬ めーんかい まぎくみーん。(望遠鏡があると、遠くにあるものも目の前に大きく見える)。

とうーみかすん 〈唾をぺっと吐く〉【活】とうーみかちゃん、どうーみかさん、どうーみかち 【例】まーまーんぢん とうーみかすしえー はごーぎさくとう しえー ならん。(場所をわきまえないで唾を吐くのは汚らしいのでしてはいけない)。

とうぬー まーぬー 〈道に迷うさま〉【例】どうしぬ やー とうめーてい っんぢやしが、とうめーていん とうめーららん、とうぬーまーぬー そーたっさー。(友人の家を探しに行ったが、探しても探せない、戸惑ったよ)。【参】じゃーまでいーま (道に迷うこと)、じゃーま ないん (道に迷う、途方にくれる)、じゃーまでいーますん (道に迷う)。

とうがいん 〈とがる〉【活】とうがたん、とうがらん、とうがてい

とうがらすん 〈とがらす〉【活】とうがらちやん、とうがらさん、とうがらち 【例】あれーくち とうがらちよーしが、ぬーがな ちむふがん くとうぬどう あいどう すたがやー？(あの人は口をとがらしているが、何か不満なことでもあったのかなあ)。

とうがみーん 〈とがめる〉【活】とうがみたん、とうがみらん、とうがみてい 【例】っちょー とうがみーんなけー。(人をとがめるな)。

とうきーん 〈溶ける〉【活】とうきたん、とうきらん、とうきてい 【例】くふあとーたるいよー なー とうきとーみ？ とうきとーらー、んーす いってい しる ちゅくれー。(冷凍していた魚はもう解凍しているか。解凍しているなら、味噌を入れておつゆを作んなさい)。

どうきないん 〈避ける、退く〉【活】どうきなたん、どうきならん、どうきなてい 【例】あまから ちゅーしえー っんま でーむん、どうきなり よー。(あそこから来るのは馬だから退きなさいよ)。みち あっちょーたくとう、たんかーから いんぬ んかていっち、うどうるちゃーに どうきなたん。(道を歩いていたら、真向かいから犬が向かってきて、おどろいて退いた)。

どうきなすん 〈退ける〉【活】どうきなちゃん、どうきなさん、どうきなち 【例】みち はばかてい じゃま なんとくとう みちんかい とうみらっとーる くるまー どうきなしえー。(道をはばかってじゃまになっているので、道に停めている車を退けてください)。なーいふいぐわー ふいぢやい／あま むていーんかい くるまー どうきなしえー。(もう少し左／あそこの方に車を寄せてください)。くまー っちゅぬ いっちやいっんぢたい する とうくま やくとう、はちむのー すばはらんかい どうきなちよーけー。(ここは人が出たり入ったりするところだから、履物は端っこに寄せておきなさい)。

**とうく** 〈徳、得〉 【例】とうく とうてい  
じん も一きり。(徳を取って金儲けしなさい)。  
とうこー していてい すん とうれーんでい  
る くとうん あてい、まぎさる むのー っ  
ちゅんかい くいてい わんねー ぐまさる  
むん やていん しむさ。(得は捨てて損を取  
れということもあって、大きいものは人にやっ  
て私は小さいもので充分だ)。

**どうく** 〈毒〉 【例】やなぐち さい、みつく  
わさ さい、に一たさ さいっし やなぢむ  
むっち っちゅんかい どうこー くわーさん  
けー。(悪口したり、嫌ったり、妬んだりして悪  
気で人に毒を喰わすな)。ふいんがーいちゃぐ  
わーぬ しる ぬまーに どうーぬ どうく  
さぎてい どうくげーし すん。(イカ汁を飲  
んで体の毒を流して解毒する)。

**とうく むち** 〈徳のある者〉 【例】くぬ  
っちょー くじ やふあらー やくとう、と  
うくむち やさ やー。(この人はくじ運が強  
いので、徳のある人だね)。

**とうくる** 〈場所〉 【例】つういーりき どう  
くる (観光地)、つくわ あじかい どうくる  
(託児所)、じん あじき どうくる (銀行)、ち  
ゃー ぬみ どうくる (喫茶店)、ばす ぬい  
どうくる (バス停)、さき ぬみ どうくる  
(酒場)、むん かみ どうくる (レストラン)。

**どうげーいん** 〈転ぶ〉 【活】どうげーたん、  
どうげーらん、どうげーてい 【例】いふいぐわ  
ーぬ ぐまいしんかいん きっちゃきさーに  
どうげーいん どー。(ちょっとした小石にも  
つまづいて転ぶよ)。うっさなーぬ たかぐつ  
くでい はーえーしーねー、どうげーやーに  
どうー やますん／ふいさ をうーいん ど  
ー。(そんなに高い靴履いて走ったら、転んでケ  
ガする／足を折るよ)。

**とうじゃ** 〈鰐〉 【例】みーかがん はち し  
ーみっし とうじゃさーに いゆ とういん。  
(水中眼鏡をして潜って鰐で魚を採る)。

**とうじゃ ないん** 〈鰐のように鋭くなる〉  
【活】～なたん、～ならん、～なてい 【例】あれー  
わじーねー、みーん とうじゃ なてい や  
な あびーっし すばんかい をうらりーる  
むのー あらん。(あの人は怒ると、目も鰐のよ  
うに鋭くらんで側に居れるものではない)。

**とうし** 〈年、歳〉 【例】くとうし (今年)、く  
じゅ (去年)、やーん (来年)、んちゅ (一昨年)。  
とうし みーとう (長年連れそった夫婦)。っ  
やー とうしえー いくち (なとー／なた)  
が? (あなたの歳はいくつなっている／なった  
の)。ぬーどうし っんまり やが? (何年生ま  
れか、＝ぬーぬ っちゅ やが?)。うぬ うと  
うすえー わかすがいっし ゆー うちやてい  
ちゅらさん やー。(そのお年寄り若い格  
好してよく似合ってきれいだね)。とうしぬ  
はいや っんまぬ はい。(光陰矢の如し)。

**とうしぬ くー** 〈年の功〉 【例】「かーみ  
ぬ くーやか とうしぬ くー」んでい いし  
えー、ゆー わたてい ちょーる っちょー  
ぬーくいーん あたてい ちょーくとう、ちむ  
ぬ ゐちょーん。(「亀の甲より年の功」という  
のは、世を渡って来ている人は何でも経験して  
来ているので、落ち着いている)。

**とうしぬ とうじ みーとう** 〈長年連れ  
添った夫婦〉 【例】なげー まま なとーる  
みーとうんだー ちらかまちゃん むぬ いー  
よーん にちちゅーん。(長年連れ添った夫婦  
は顔も表情もものの言い方も似てくる)。【参】  
まま なら やー。(夫婦として、一緒になろう  
ね)。

**とうしぬ ゆーる** 〈大晦日〉 【例】とうし  
ぬ ゆーるぬ うふるめーや っわーじし や  
たしが、なまー すば なとーん。(大晦日のご  
ちそうは豚肉だったが、現在はそばになっている)。

**とうし びー** 〈生年祝い〉 【例】13、25、  
37、49 (くくぬとう ぐんじゅー)、61、73、85、  
97 ないねー、っんまりとうしぬ とうしびーん  
でいいち すーじ すん。(13 歳、25 歳、37 歳、

49 歳、61 歳、73 歳、85 歳、97 歳になると生年祝いといってお祝いをする)。88 ぬ うゆうえーや とーかち、97 ぬ うゆうえーや かじまやーんでい いらってい うふすーじ すん。(88 歳のお祝いは「とーかち」、97 歳のお祝いは「かじまやー」といって大きなお祝いをする)。

**とうし わらび** 〈年齢相応な知恵がない者〉  
【例】とうしわらび なてい (ふつつか者なので)。

**とうじ** 〈妻〉 【例】っやー をうとー したたかぬ とうじうむやー やん やー。あーをうとう あたてーさ やー。(あなたの夫はたいそうな奥さん孝行だね。いい夫にめぐりあったね)。とうじとう たたのー みーく みーく、さけー ふるみてい。(妻と昼は新しいのが、酒はふるいのが良い)。

**とうじ つくわ** 〈妻子〉 【例】うやぬ ぐーのー やまやかん まぎさしが、とうじつくわ うむいる ちもー うみやかん ふかさん。(親のご恩は山より大きい、妻子を思う心は海よりも深い)。

**とうじきーん** 〈命令する〉【活】とうじきたん、とうじきらん、とうじきてい 【例】しゃちよーが とうじきーるくとー ぬー やていん ちかんとー ならん。あん さんねー、やみらんとー ならん ないん。(社長が命令することは何でも聞かないといけない。そうしないと、辞めなくてはならない)。

**とうじまいん** 〈仕上がる〉【活】とうじまたん、とうじまらん、とうじまてい 【例】やーや なー ゆーくる とうじまいぎさー やん どー。(家はそろそろ仕上がりそうだよ)。やーや とうじまとーみ？(家は仕上がっているの)。

**とうじみーん** 〈仕上げる〉【活】とうじみたん、とうじみらん、とうじみてい 【例】やーとうじみーん。(家を仕上げる)。

**とうち とうい** 〈時刻選び〉 【例】とうち いらぶしえー すーぬ みちじぶん あーち、ふいーどういや じょーふい (=ゆかるふい、まさるふい) あーち すん。(時刻選びは潮の満潮時にあわせて、日取りは佳き日にあわせる)。

**とうぢゅん** 〈研ぐ〉【活】とうぢゃん、とうがん、とうぢ 【例】ほーちゃー とうぢやくとう、さーらない ちりーん。(包丁を研いだら、スパッと切れる)。ほーちゃーや ちかてい なー ないねー、とうぢゅん むん やん。(包丁は使い終わると、研ぐものだ)。

**どうぢゅん** 〈退く、別れる〉【活】どうぢゃん、どうかん、どうち 【例】ぐーさん ちちよーる うとうすいぬ めーから ちゅーくとう いったーや すばんかい どうけー。(杖をついたお年寄りが前から来るので、あなた達は側に退きなさい)。くまー とーいみち やくとう、あまんかい どうちよーけー。(ここは通り道だからあちらに退いていなさい)。

**とうっ／／とうん** 〈強意を表す〉 【例】あったに／ちゅばちに とうっちかちみーん。(いきなり／一発でとっつかまえる)。

**とうっ かかいん** 〈つかかかる〉【活】～かかたん、～かからん、～かかてい 【例】まーぬ たーが やら わからんしが、ういっちやーんかい とうっかからって、ぬー なとーがんでい うむたん。(何処の誰だか知らないが、酔っぱらいにつつかかれて、どうなっているのかと思った)。

**とうっ かちみーん** 〈捕まえる〉【活】～かちみたん、～かちみらん、～かちみてい 【例】みち あっちょーたる わかういなぐが しらん っちゅんかい とうっかちみらって、かばん とうらったんでい。(道をおるいていた若い女性が知らない人につかまえられてカバンを取られたんだって)。

**とうっ くわいん** 〈噛みつく〉【活】～たん、～らん、～てい 【例】っちゅ とうっくわや

ー（人にかみつく者）。

とうっ くらい むにー すん〈噛みつく〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】あれー あん やみ んでいいーる とうくるぬ ねーらん。ゆー いちどう をうしが、あれー たーんかい やていん とうっくらいむにー すん どー。（あの人はああそうなのかということころがない。よく言ってはいるが、あの人は誰にでも噛みつく）。

とうっちみーん〈とっちめる〉【例】ゆくし むにー さってい とうっちみたくとう あとー まっとーば はちゅたん。（嘘をつかれてとっちめたら、終いには白状した）。

とうっちり ぢん〈緋の着物〉【例】とうっちりぢのー ふさー あしが、ていー っんぢゃさらん あたい たかむん やくとう、んーぢゅる うっぴさーに ちもー みたちよーん。（緋の着物は欲しいが、手が出ないほど高価なので、見るだけで満足してている）。とうっちりぢん ういる っちゅん いきらく なたいていーん っんぢゃさらん あたいぬ でーなとーん。（緋の着物を織る人も少なくなっ手も出せないほどの値段になっている）。

とうん もーいん〈びっくりする〉【活】～たん、～らん、～てい

とうっちーん〈詰まらせる、むせる〉【活】

とうっちたん、とうっちらん、とうっちてい 【例】うーんでいいーる やまとうぬ かーらどうえー うさきーなーぬ いゆ ぬーでいーんかい いってい とうっちらんどー あが やー？（鵜という日本の川鳥はそんなにたくさんの魚を喉に入れてむせないのかねえ）。ぬーでいーんかい むち とうっちーる くとうん あくとう、うとうすいん わらんびん かむる ばすねー ちー ちきらんとー ならん。（喉に餅を詰まらせることもあるので、お年寄りも子どもも食べる時には注意しなければならない）。

どうっとう 〈とても〉【例】あぬ うふやしーっちゅぬ くさみちゅしえー どうっとう

みじらしーくとう やー。（あのおとなしい人が怒るのはとてもめずらしいことだね）。

とうでーいん〈途絶える〉【活】とうでーたん、とうでーらん、とうでーてい 【例】ういき がんぐわー、やまとうんかい いちゅるめーやめーにち でんわ すんどー、まるけーてい なーや ていがみん うくいん どーんち はちやしが、あんす しん いっとうちどう やたる。うとうぬ とうでーてい いちにん あまいさ。（息子は、本土に行く前は毎日電話するよ、たまには手紙も送るよと言って行ったのだが、そうするのもしせいぜい一時だった。音信が途絶えて一年余りになる）。

とうどうくーいん〈滞る、消化不良を起こす〉【例】あんだじしびげーん かまーに とうどうくーとーっさー。（三枚肉だけを食べて消化不良を起こしているよ）。

とうどうちゅん〈届く〉【活】とうどうちやん、とうどうかん、とうどうち 【例】わーが うくたしえー とうどうちよーみ？ なーだ やっさー。（私が送ったのは届いているか。まだだよ）。あんしえー、ちゅー、あちやーねー とうどうちゅる はじ どー。（それじゃー今日明日には届くはずだよ）。

とうない〈隣り〉【例】わったー とうないぬ っちよー あたいぐわーんぢ ちゅくとーる やしえーとうか ないむんぬ ないる かーじ かみよーんち むっちっち くいーん。（私の隣りの人は自家菜園で作っている野菜や果物ができる毎に食べなさいといって持って来てくれる）。

とうなか〈沖合い〉【例】ふに ぬてい とうなかをうてい いゆ ちーねー まぎいゆぬ くーいん。（船に乗って沖合いで魚を釣ると大きな魚が捕れる）。

とうぬぢゅん〈跳ねる〉【活】とうぬだん、とうぬがん、とうぬぢ 【例】ていんさぐーぬ

さねー どうーくる はんちげーりやーに  
とうぬぢ ふいるがてい いちゅん。(ハウセ  
ンカの種はひとりではじけ跳んで広がってい  
く)。

**とうぶいん** 〈灯る〉【活】とうぶたん、とう  
ぶらん、とうぶてい 【例】うこーぬ とうぶと  
ーしが、うぬまま そーき よー。(お線香が灯  
っているが、そのままにしておけ)。

**とうぶすん** 〈灯す〉【活】とうぶちゃん、と  
うぶさん、とうぶち 【例】うこー とうぶちょ  
ーけー。(お線香を灯しておけ)。

**とうぶん** 〈飛ぶ〉【活】とうだん、とうばん、  
とうでい 【例】あれー たびじち やてい、ち  
ゃー あまはいくまはい とうでいあっちよー  
くとう、やーんかい むる かからん。(あの人  
は旅好きでいつもあちらこちら飛び回っている  
ので、いつも不在である)。

**とうばすん** 〈飛ばす〉【活】とうばちゃん、と  
うばさん、とうばち 【例】ブーメランや ちゃ  
っさ かーまんかい とうばちん むとうんか  
い むどうていちゅーん。(ブーメランはどん  
なに遠くに飛ばしても元に戻ってくる)。  
とうぶー 〈とび魚〉 【例】ふなたび そー  
いに とうぶーぬ とうぶし んーち わらび  
んちゃーや いっぺー うっさ／いそーさ そ  
ーたん。(船旅をしているときにとび魚が跳ぶ  
のを見て、子どもたちはとても喜んでいた)。

**とうまいん** 〈泊まる〉【活】とうまたん、と  
うまらん、とうまてい 【例】ちゅーや なー  
につか なんとくとう くまんかい とうまて  
い あちやー けーいしえー まし あらに？  
(今日はもう遅いのでここで泊まって明日帰っ  
てはどうか)。

**どうまんぐいーん** 〈うろたえる〉【活】ど  
うまんぐいたん、どうまんぐいらん、どうまん  
ぐいてい 【例】ちゃー うちきてーる とう  
くまからー ねーん なんとくとう、いっぺ

ー どうまんぐいたん。(いつも置いてあると  
ころからはなくなっていたので、とてもびっく  
りした)。くわじぬ あたい、ねーぬ ゆたい  
しーねー、どうまんぐいてい ふかんかい  
とうんじてい いちゅたん。(火事があったり、  
地震が起こったりすると、あわてて外に跳びだ  
して行ったものだ)。

**どうまんぐわすん** 〈うろたえさせる〉【活】  
どうまんぐわちゃん、どうまんぐわさん、どう  
まんぐわち 【例】ありんかえー やーにんじ  
ゅ ちゃー どうまんぐわさりーん。(あれに  
は家族の者はいつもあわてさせられる)。うみ  
ぬ なーかんかい あみ はてい まぎぐいー  
っんぢやちやい、うとう っんぢやちやい  
っし いゆ どうまんぐわち あみぬ なーか  
までい っういーくむん。(海の中に網を張っ  
て大声を出したり、音を出したりして魚をびっ  
くりさせて網の中まで追い込む)。

**とうみーん** 〈止める〉【活】とうみたん、と  
うみらん、とうみてい 【例】やなむぬんかい  
すんかりーくとう、しちぐわちーめーから  
うーくいするまでい はまうりーるくとう と  
うみーん。(不浄の霊に引きずり込まれるので、  
盆の前からお送りするまで浜に降りることを法  
度にする)。

**とうみーん** 〈書き留める〉【活】とうみたん、  
とうみらん、とうみてい 【例】んかしえー  
さがてい こーたる しなむのー むる ちょ  
ーめぬんかい (かち)とうみとーたん。(昔は  
掛けで買った品物はみんな帳面に書き留めてい  
た)。

**とうむ ぐー** 〈足の付け根、股関節〉 【例】  
うとうすいぬ みち をうとーてい きっちゃ  
きさーに よーんぐわーどう ぢーんかい ふ  
いらきたしが、やでい ふしがらん たたらん  
たくとう、いさぬ やーんかい っんぢやれー  
とうむぐーぬ ふにぬ をうーりとーたん。  
(お年寄りが道でつまづいてゆっくり尻もちつ

いたのだが、痛くて立てなくなったので、病院に行ったら足の付け根の骨が折れていた)。ちぬーや つくわぬ くつ こーいが つんぢやしが、あまいちくまいちっし なげー あっちゃーに とうむぐーぬ やどーっさ。(きのう子どもの靴を買いに行ったが、あっち行ったりこっち行ったりして長いこと歩いて股関節が痛くなっているよ)。

### とうめーいん 〈探し求める、尋ねる〉【活】

とうめーたん、とうめーらん、とうめーてい  
【例】とうじ とうめーいん。(妻をもらう)。な一だ ちえー んーだん とうくるをうてい  
どうしぬ やー とうめーいどうめーいっし  
やっとうかつとう かめーたん。(見知らぬ土地で友人の家をあちこち探し求めてやっとなつた)。

### とうやーかやー すん 〈バランスがとれる〉【活】

～さん、～さん、～っし 【例】くぬ  
くわーしえー かしていら、ばさない、くりー  
むぬ みーちから ちゅくらっとうしが、とう  
やーかやー さってい まーさん。(このお菓子はカステラ生地と、バナナとクリームの3つから作られているが、バランスがとれておいしい)。

### とうやーすん 〈揃えて整える、まとめる〉

【活】とうやーちゃん、とうやーさん、とうやーち  
【例】からじ とうやーち うちなーから  
じ ゆーいる っちょー むる んーだらん  
なとーん。(髪をととのえて沖縄の髪型を結う人はまったく見かけなくなっている)。  
【参】うちなーからじ(琉装の結髪)、かんぷー(男の子の髪型)。

### とうゆむん 〈世間に鳴り響く〉【活】

とうゆだん、とうゆまん、とうゆでい

### とうゆまりーん 〈評判である〉【活】

とうゆまりたん、とうゆまりらん、とうゆまりてい  
【例】しきん とうゆまりーる ちゅらういな  
ごー いちぬ ゆーやていん つんまりていち

ゆーん。(絶世の美女はいつの時代でも産まれてくる)。

### とぅらぬ じゅー 〈千歳蘭〉【例】

うーち なーぬ まーぬ ちねーなかいん とぅらぬじゅーぬ つういーらっとうしが、やなむん、やなぐとう はにちき、つつゆぬ どうーんかいまし やる むん つんぢやすんてい あかさっとうん。(沖縄の何処の家庭にも千歳蘭が植えられているが、不浄なものや事柄をはねつけ、人体に良いものを出すと証明されている)。

### ～とぅらすん 〈～してやる〉【活】

～ちゃん、～とぅらさん、～とぅらち 【例】いふえー わーが むぬ いーぢゅーさてーくとうくねーていとうらし よー。(少し私が言い過ぎていたので、こらえてくれよ)。わーが いからん なとーくとう つやーさーに つんぢとぅらし よー。(私が行けなくなっているのだから、あなたが行ってくれよ)。

### とぅりーん 〈風ぐ〉【活】

とぅりたん、とぅりらん、とぅりてい 【例】あさとう ゆまんぐいに かじぬ とぅりーしえー ぬーぬ くとぅやがやー?(朝と夕暮れに風が風ぐのはどういうことなのかねえ)。

### どうる 〈泥〉

どうる ぐえったい 〈泥んこ〉 【例】んかしえー んーちゃみち やたくとう、あみぬふてい かーらぬ あんでいーねー、みちえーむる どうるぐえったい なとーたん。(昔は土道だったので、雨が降って川が溢れたなら、道はみな泥んこになっていた)。

### どうる びさ 〈泥んこ足〉【例】

あみふいねー うやぬ こーていくいてーる あったるくつぬ どうるぶったー ないくとう、くつぬぢやーに からふいさー なてい むるどうるびさっし けーたん。(雨降りには親が買ってくれた大切な靴が泥だらけになるので、靴を脱いで裸足になってみんな泥んこ足で帰った)。



どうる ぶったー／どうるびっちゃー  
〈泥だらけ〉 【例】どうるぶったー／どうるび  
っちゃー そーくとう、うふみぐいさーに ち  
ゆらみち とうーてい いき よー。(泥だら  
けなので、まわり道してきれいな道を通して行  
きなさいよ)。

どうる わかしー／どうーるわかしー  
〈田芋の料理〉

とうるばいん 〈ぼんやりする〉【活】とう  
るばたん、とうるばらん、とうるばてい 【例】  
ちかなとーる いんぐわー ふいんがさーに、  
うふとうるばい そーる っちゆぬ をうたし  
が、いのー をうたがやー？(飼っていた犬に  
逃げられて、ショックを受けている人がいたが、  
犬はいたのかなあ)。とうるばいかーばい そ  
ーん。(ぼんやりしている)。

とうるとうる すん 〈うたた寝する〉  
【活】～さん、～さん、～っし 【例】なま とうる  
とうる そーたっさー。(今うとうとしていた  
よ)。ふかから けーていっち めーんかい  
ふいらきーしとう まじゆん あくび かーか  
ーっし、とうるとうるー そーたしが、しらん  
うちに にんとーたん。(外から帰って来て椅  
子に座り込むと同時にあくびが出て、うとうと  
していたが、いつの間に寝ていた)。むぬ かで  
い わた みちれー、とうるとうる にんぢっ  
し ちゅーん。(食事をしてお腹いっぱいにな  
ると、うとうとと眠たくなってくる)。【参】に  
ーぶいかーぶい すん(しきりに眠たくなる)。

とうん～〈急に動く〉

とうん くいーゆん 〈跳び越える〉【活】～  
くいーたん、～くいーらん、～くいーてい 【例】  
っちゆぬ にんとーる っういーから とうん  
くいーてー ならん。(人が寝ている上を跨い  
ではいけない)。

とう んけーいん 〈振り向く〉【活】～んけ  
ーたん、～んけーらん、～んけーてい 【例】うい  
なぐんでい うむてい くいー かきたれー、  
とうんけーたくとう ういきが やたん。(女

性だと思って声をかけたら、振り向いたら男性  
だった)。

とう んぢーん 〈飛び出す〉【活】～んぢた  
ん、～んぢらん、～んぢてい 【例】うかーさくと  
う、くるまぬ めー、くさーから あったに  
とうんぢーる むのー あらん。(危険なので、  
車の前後から急に跳び出るものではない)。

とうん たちー めー すん 〈しゃがむ〉  
【活】～さん、～さん、～っし 【例】なげー と  
うんたちーめーっし ふいさん ふいらくでい  
じりじりーっし、くんだぬ くふあてい た  
ちゆんち しん しごー たたらん なとーた  
ん。(長い間しゃがんで足もしびれてびりびり  
して、こむらが固くなって立とうとしてもすぐ  
は立てなくなっていた)。

とう んぢゆん／とうぬぢゆん 〈跳びだ  
す〉【活】とうんぢちゃん、とうんがん、とうんぢ  
／～ぬぢちゃん、～ぬがん、～ぬぢ 【例】なーを  
うてい きーくさんかい みじ かきとーたく  
とう、みーぬ めーから あったに あたびち  
やーぬ とうんぢやくとう うどうるちゃん。  
(庭で植物に水をかけていたら、目の前から急に  
かえるが跳び出たのでびっくりした)。

とうん とうるもーかー すん 〈跳びあ  
がって騒ぐ〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】  
だいがく とうーたんち いっぺー っういー  
りきさっし、ぐまわらばーぬ すんねーっし  
とうんとうるもーかー そーたん どー。(大  
学を合格したといってとても喜んで、小さな子  
のするように跳びあがって騒いでいた)。

とうん まーいん 〈ちょっと立ち寄る〉  
【活】～まーたん、～まーらん、～まーてい 【例】  
うりかーんかい ちーねー、とうんまーいまー  
いっし ちらぐわー みしてい とうらし よ  
ー。(近くに來たら、ちょっと立ち寄って顔を見  
せてくれよ)。

とうん もーい もーい すん 〈躍り上  
がって喜ぶ〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】  
わんどうしえー たった いちめーぐわーどう  
たからくじえー こーたしが、あたてい と  
うんもーいもーい そーたん。(私の友人はた

った一枚宝くじを買ったんだが、当たって躍り上がって喜んでいた)。

**とうんじー** 〈冬至〉 【例】とうんじーねー、とうんじーびーさぬ ちゅーくとう、とうんじーじゅーしー ちゅくてい、あちこーこー うやふあーふじんかい うさぎていから うさんでーっし、やーにんじゅさーに かまーに どうーぬくたみてい、どうーがんにゅーにげーすん。(冬至には、冬至の寒さがやってくるので、冬至雑炊を作って、熱々を御先祖と家族でお供えしてから食べて、体を温めて健康を願う)。

**とうんじゃく** 〈介護、看病、扱い〉 【例】いさぬ やーから むどうてー ちゃしが、な

まから あとうぬ とうんじゃくぬどう しわやる。(退院して来ているが、これから後の介護のことが心配だ)。つくわぬちゃーや むるふかんかいどう っんぢてい しくちどう そーる むんぬ、ていー かかいる うやーたーが とうんじゃこー そーが?(子どもたちは皆んな外に出て仕事をしているのだから、手がかかる親は誰が看るのか)。【参】みーかんげー(世話、見て考えてあげること)、かむいん(かまう、世話する)。

**とうんだー ぶん** 〈東海盆〉 【例】とうんだーぶのー うゆうえーぬ うじゃきとう かってい かむる いるかじぬ むん むいしんかい ちかいん。(東海盆はお祝いの酒のさかななどをいろいろ盛るのに使う)。



## て、で

てー 〈耐える力、はね返す力〉 【例】すーじきー しーねー たぶいでーぬ あん。(塩漬け肉にすると保存力がある)。てー いっていふいちゅん。(力を込めて引く)。てーとうん みーとうん かなーん。(どうにもこうにもどうしようもない)。てーん たたん。(力の入れようがない)。ありんかえー てーん たたらん。(あの人には張り合えない／敵わない)。

てー 〈松明〉

てー ちちゅん 〈燃えつく〉 【活】～ちちゃん、～ちかん、～ちち 【例】かび めーさーにきーぬふあー ちでーる なーかんかい ちつくみーねー なんくる てーちちゅさ。(紙を燃やして木の葉を積んだ中に突っ込んだら自然に燃え始めるよ)。

てー はていーん 〈絶滅する〉 【活】～はていたん、～はていらん、～はていてい 【例】っちゅぬ ゆくぬ ちゅーさぬ、うみん やまんくーさってい なまー いるかじぬ いちむしぬ てーはていてい ちょーん。むる かりはていていからー なー ちゃー する くとうん ならんさ。(人間の欲望があまりに強くて、海も山も破壊されて現在は多くの種類の生き物が絶滅してきている。完全に絶滅してからはもうどうすることもできないよ)。【参】くーすん(山、家などを壊す)、やんぢゅん(小さな物を壊す)。

てー びー 〈たいまつ〉 【例】ギリシャから くわいじょーまでい てーびー むちやーに っちゅぬ ふいさっし はくぶん。(ギリシアから会場まで聖火を持って人の足で運ぶ)。

てー 〈～と言い〉 【例】いちゅんてー、いかんてー すくとう、なー うっちゃんぎてい どうーちゅい ちゃん。(行くと言ったり、行かないと言ったりするので、もう放っておいて独りで来た)。かむんてー、 かまんてー する さこー かまんけー。(食べると言ったり、食べないと言ったりするくらいなら食べるな)。やんてー、あらんてー っし みーとうんだ おーえー そーたん。(ああだ、こうじゃないと言って夫婦げんかをしていた)。

でー 〈代金、値段〉 【例】うれー でーや ちゃっさ ちちょーが？(それは値段はいくら付いているかね)。うれー ちゃっさ なーが？(それはそれぞれいくらかね)。ゐぬ しなむん どう やしが、まちやにゆってー でーぬ あねー あらん くとうん あん やー。(同じ品物なのに、店によっては値段がそうではないこともあるよね)。

でー だかー 〈値段の高いもの〉 【活】でー やしー 〈安物〉 【例】あまー むる でーだかー びけーどう あちかとーん／うちきらつとーん どー。(あそこはみんな値段の高いものだけを扱っている／が置かれている)。でー やしーや じん していぐとうどう ないくとう こーんな よー。(安物はお金を捨てる事になるので、買うなよ)。でーだかーや かじみらんぐとう ゆー ちかていどう ふいちゃいる。(高いものはしまわないでよく使ってこそ光る)。

てーくく 〈大国〉 【例】くにぬ まぎさ っ

ちゆぬ うふさびけーしえー てーくくんでい  
いらりーどう すがやー？(国の大きさ、人  
口の多さだけで大国と言えるのかなあ)。

**でーくに** 〈大根〉 【例】でーくにぬ っん  
ぢれー いさぐすいん うららん。(大根が出  
回ると医者薬も売れない)。でーくにばーや  
していーる っちゅん をうしが、たしやー  
めーんかい いったい、ちきむん ちゆくたい  
ん ないん。(大根の葉は捨てる人もいるが、炒  
飯に入れたり、漬け物にしたりもできる)。

**てーげー** 〈おおよそ、まずまずの〉 【例】わ  
んねー いちちよーる っうえーだー ちかい  
る てーげーぬ じのー うちきらっとうっ  
さ。(私は生きている間使う、困らない程度のお  
金は貯めておいてあるよ)。ふかから んーぢ  
ーねー ちゅらさしが、なーかー あんすかー  
あらん、てーげーどう やる。(外から見ると  
きれいだが、内装はそれほどでもない、普通  
だ)。

**てーげー ざんみん** 〈概算〉 【例】てーげ  
ーざんみんっし 50にんびけー をうれー、  
ちゃーがな ないさ。(概算で50人ほど居れ  
ば、どうにかなるさ)。

**でーじ** 〈大変、大ごと〉 【例】でーじな く  
とう／っちゅ (大変なこと／人)。でーじ な  
とーん。(大ごとになっている)。

**てーしち** 〈大切〉 【例】ぬー やていん て  
ーしちに しーねー いちまでいん ちかーり  
ーん。(何でも大切にすればいつまでも使える)。

**てーすん** 〈費やす〉【活】てーちゃん、てーさ  
ん、てーち 【例】うふいなー みじ はらち  
てーすな けー。(そんなに水を出して無駄に  
するな)。

**てーてー むぬ いー／てーてー**  
**むにー** 〈舌がもつれるようなものの言  
い方〉 【例】あれー てーてーむぬいー す  
くとう、ぬーんでいが いちよーら ちちぐり  
さん。(あの人は舌がもつれるようなものの言  
い方するので、いったい何と言ってるのか聞き  
取りにくい)。

**てーふあ** 〈冗談〉 【例】っちゅぬ なーか  
んかえー てーふあぬ わかいる っちゅとう  
わからん っちゅぬ をうくとう、たーんた  
ーんかい てーふあ しーねー あっくさりー  
ん どー。(人間のなかには冗談がわかる人と  
わからない人がいるので、誰にでも冗談をする  
と叱られるよ)。うぬよーな てーふあ する  
むのー あらん どー。(そのような冗談は  
するものではないよ)。

**～てーまん** 〈～ても〉 【例】ちゃっさ い  
からんてーまん でんわ しー よー。(いか  
に行かれなくても電話しなさいよ)。いかんけ  
ーんでい ちゃっさ いちやんてーまん ちか  
ん。(行かないでといくら言ったところで聞か  
ない)。ちゃっさ しかんたんてーまん むのー  
いり よー。(いかに好きでなかったとして  
何か言いなさいよ)。ちゃっさ まーこーねー  
らんてーまん いふいぐわー やていん かみ  
ねーび しー よー やー。(いかにおいしく  
なくても少しだけでも食べる真似しなさいよ)。

**てんぶす** 〈出べそ〉 【例】なーふあぬ まん  
まんなかんかい てんぶすかんぬ あてい、む  
ゆーしむん さい、あちまい さい そーん。  
(那覇のど真ん中にてんぶす館があって、催し物  
をしたり、集会をしたりしている)。

# と

## とー 〈中国〉

とー あちれー 〈中国製品〉 【例】んかし  
えー とーあちれーや めーむん やたしが、  
なまー あねー あらん。(昔は中国製品は高  
級品であったが、現在はそうではない)。

とーぬ くに 〈中国〉 【例】なまやていん  
うとうすえー ちゅーごくにかえー とーぬ  
くにんてい いちょーん。(今でもお年寄りは  
中国に唐の国と言っている)。

## とーかち 〈米寿のお祝い〉 【例】とーかち

うゆうえーや はちじゅーはちぬ うふすー  
じ やん。(米寿のお祝いは88歳の大きな祝  
い事だ)。

## とーしんばい 〈耳下腺炎〉 【例】うふっ

ちゅ なていから とーしんばい かかいてー  
ねー、つくわ ちゅくいぐりく ないん。(成人し  
てから耳下腺炎にかかると、子どもをつくりに  
くくなる)。

## とーすん 〈倒す〉【活】とーちゃん、とーさ

ん、とーち 【例】ひゃーくびけー ないん う  
ふぎーぬ むしに くわーってい とーりたし  
が、うっぴぐわーぬ むし やしが、まーん  
うちくわてい とーすん。(百年ほどになる大  
木が虫に喰われて倒れたが、これっぽちの虫だ  
が、どこでも喰って倒す)。

## とーとーめー 〈祖先の位牌〉 【例】とー

とーめー (=うやふあーふじぬ めー) んかい  
ふいさまんち かきてい 「そーいらー な  
しみていくいみそーり よー」 んち ていー

うさー すん。(霊前に正座して「しっかり者  
にしてください」と手を合わす)。【参】「とーと  
ーめー」(お月さん、幼児語)。

## とーびーらー／ふいーらー 〈ゴキブ

リ〉 【例】とーびーらーや くらさる ふい  
じゅってーんぐわー そーる とうくるんかい  
くわっくいとーん。(ゴキブリは暗くてひん  
やりしているところに隠れている)。

## とーふ 〈豆腐〉 【例】うちなー とーほー

うすみじ さーに くふあぐふあーっとう ち  
ゅくらってー をうしが、ちゃんぶるーん、し  
るん、そーゆーにーん、いりちーん、ちゃーっ  
し しん まーさん。(沖縄豆腐は潮水を使っ  
て固めに作られているが、ちゃんぶるーも、お  
つゆも、煮付けも、炒めものも、どんなにしても  
美味しい)。

## とーふ まーみ 〈大豆〉 【例】とーふまー

み ふいチャーに にーねー とーふぬ ゆー  
なてい、しる はらしーねー とーふぬ か  
し ないしが、しる かたまらしーねー とー  
ふ ないくとう、とーふまーめー していーし  
えー ぬーん ねーらん。(大豆を挽いて、煮る  
と豆乳になって、絞るとおからになるが、豆乳  
を固まらせると豆腐になって、大豆は捨てるの  
はまったくない)。

## どーま すん 〈もうろく〉【活】～さん、～さ

ん、～っし 【例】むぬ うびーぬ わるく な  
てい、なまー どーま そーっさー。(物覚えが  
悪くなって、今はもうろくしているよ)。

**とーりら とーりら** 〈今にも倒れそうな状態〉 【例】あれー ういーっちゅどう やがやー？ とーりらとーりら そーっさー。うかーさっさー。(あの人は酔っているのかねえ。今にも倒れそうだね。危ないね)。ちぶんぬ わっさぬ、みーくらがんっし とーりらとーりら そーっさー。(気分が悪くて、めまいがして今

にも転倒しそうだ)。

**とんとんみー** 〈飛びハゼ〉 【例】っやーや あまはい、くまはいびけーっし うていちちぬ ねーらん、まったち とんとんみーぬぐとーっさ。(お前はあちこち駆けずりまわってばかりで落ち着きがない、まったく飛びハゼのようだ)。

# な

な一 〈葉〉 【例】からしなや うちな一をう  
て一 ま一すぢき一 っし ゆ一 かむくとう  
「ちきな一」んでいん い一ん。(からし菜  
は沖縄では塩づけしてよく食べるので「ちきな  
一」とも言う)。

な一 〈縄〉 【例】ちなふいちぬ な一んかえ  
一 み一ぢなとう をう一ぢなぬ あん。(綱  
引きの縄には雌縄と雄綱がある)。

な一 〈名前〉 【例】っや一 な一や ぬ一  
やが?(あなたの名前は何ですか)。うんじゅぬ  
な一や ぬ一んでい いやび一が?(あなた  
様のお名前は何かとおっしゃいますか)。

な一 〈庭、広場〉 【例】わった一 むらんか  
え一 あしびな一ん しまな一ん うしな一ん  
あてい、っうい一りきどうくる やくとう  
やんばるからん な一ふあからん っちゅぬ  
あちまてい ちゅ一ん。(私たちの村にはイベ  
ント広場も相撲広場も闘牛場もあって、行楽地  
なのでヤンバルからも那覇からも人がくる)。

な一 〈それぞれ〉 【例】な一 ちね一ぢね一  
ぬ し一よ一ぬ あくとう、わかてい ふいれ  
一 すし やん。(家庭それぞれのやり方があ  
るので、分かってつき合うものだ)。な一 や一  
や一ぬ し一よ一ぬ あくとう、っちゅぬ や  
一ぬ くとう っわ一ばくとう い一しえ一  
あらん。(それぞれの家庭のやり方がるので、  
人様の家のことに余計なことを言うものではな  
い)。な一 め一め一ぬ かんげ一 (=な一  
かんげ一 かんげ一/な一 かめ一 がめ一ぬ

かんげ一)(各人各様の考え)。な一 め一め  
一ぬ かんげ一 あがみていびけ一 をういね  
一、み一うすらってい かんぬ一な くとう  
み一らん ないん。(各人各様の考えを尊重し  
てばかりいると、目が見えなくなってしまう肝  
心なことが見えなくなる)。な一 すくぶんす  
くぶん(自分の職分に応じて)。っちゅぬ あち  
まいね一 な一 かっていがっていぬ あくと  
う まぎわじゃん ないん。(人が集まればそ  
れぞれの専門があるので大きなこともできる)。  
な一 い一い一っし うむいぬ ぐとう め一  
んかい あがかん。(それぞれ勝手なこと言っ  
て前に進まない)。すいんっちょ一 すり一ず  
り一、な一ふあんちょ一 な一はいばい。(首里  
の人は連れ立って、那覇の人は三々五々に集ま  
る)。うやふあ一ふじから うきちぢちやる  
な一 むらむら、な一 しまじまぬ むちめ一  
ぬ くとうば一 「しまくとうば」んでい い  
一ん。(先祖から受け継いで来た各地域のこと  
ばは「しまくとうば」と言う)。な一 んけ一  
んけ一ぬ しくちぬ あいどう すくとう、く  
ぬ しくちえ一 っや一んかえ一 んか一ん。  
(それぞれ向いた仕事があるものなので、この仕  
事はあなたには向かない)。あまぬ や一や  
うやとう っくわと一 じぬん な一 も一き  
も一き、かむる むぬん な一 くえ一ぐえ一  
やんでい。(あそこの家は親と子はお金もそ  
れぞれで稼いで、食べる物もそれぞれで食べる  
んだって)。あまぬ や一にんじょ一 ちゃ一  
る ぐまわらび やていん ちゅいな一 ちゅ  
いな一ぬ むちめ一ぬ あん。(あそこの家族



はいかに小さい子でも一人一人の役目がある)。

**な一** 〈いざと、終わり〉 【例】いちゅさんでい いちから、な一 ないねー いかんでい  
な一? (行くよ言ったのに、いざとなったら行かないんだって)。いふいぐわーどう あくとう、ふえーくなー かまーに な一 なちょーけー。(少ししかないので、早く食べて終わりにしておきなさい)。

**な一** 〈翌、再〉 【例】な一 あさてい (しあさて)。

**な一 やーん** 〈再来年〉 【例】にーびちさくとう、なーやーんねー あみりかんかい  
いかんねーならん なたん。(結婚したので、再来年にはアメリカに行かないといけなくなった)。な一 やーん くまをうてい また いちやいびら。(再来年もここで又会いましょう)。

**な一 ゐーる っちゅ** 〈有名な人〉

【例】うぐしくんかい うすがなしーめーぬ  
うちえーいみそーちやる じでーに たまぐしくちよーくんでいーる くみをうどうい ちゅくたる なーゐーる っちゅぬ めんしえーたん。(首里城に国王がいらっしゃった時代に玉城朝薫という組踊を作った有名な人がいらっしゃいました)。

**な一か** 〈中〉 【例】くぬ な一かー ぬーぬ  
いっちょーが?(この中は何が入っているか)。

**な一か** 〈仲〉 【例】なげー むぬん いらん、  
な一か ぐふあい そーたしが、ちょーでーやくとう なんくる な一か とういの一ちょーん。(長いことももの言わずに仲たがいしていたが、兄弟なので自然に仲を取り戻している)。

**な一く** 〈脈〉 【例】あったばい さくとう  
な一くん どうまんぐいとーさ。(急に走ったので脈も驚いているよ)。

**な一ちゃ** 〈翌日〉 【例】あちゃーぬ な一  
ちゃー あさてい、あさていぬ な一ちゃー

しあさてい やん。(明日の翌日はあさて、あさての翌日はしあさてだ)。

**な一でいー** 〈経由して〉 【例】まー な  
一でいー いちゅが?(どこを經由して行くのか)。なちじん な一でいー いちゅん。(今帰仁を經由して行く)。かーらぬすば な一でいー いけー。(川の側に沿って行きなさい)。うふみち な一でいー いけー。(大きい道を通って行きなさい)。

**な一び** 〈鍋〉 【例】んかしえー ムーチーん  
うゆうえーぬ くわっちーん しんめーな一  
びんかい っんぶらちよーたんでい。(昔はムーチーもお祝いのごちそうも大釜に蒸したんだって)。

**なびげー** 〈おたま〉 な一びぬ けー (鍋の匙) が短縮した語か。

**な一べーらー** 〈へちま〉 【例】な一べー  
らーや うちな一をうてー いっぺー まーさ  
むん やしが、やまとうをうてー かまりーる  
むんでー うむてーをうらん。ふいんぐうと  
うさー、ばにんとうっし ちかーつとーんでい。  
(へちまは沖縄ではとてもおいしいものだが、本土では食べ物とは思っていない。垢擦り、たわしとして使われている)。

**ないん** 〈なる〉 【活】なたん、ならん、なてい  
【例】うふっちゅ ないねー くにぬ っうい  
ーぬ っちゅぬちゃー いらぶる けんり む  
ちゆるくとう ないん。(成人になると国会議員を選ぶ権利をもつことになる)。

**ない がたー** 〈～になりかけ〉 【例】わっ  
たー ういきぐわんぐわー ふいじん みーて  
いっち、くいーん かわてい うふっちゅ な  
いがたー そーん。(私の息子はヒゲも生えてきて、変声して成人になりかけている)。あみな  
ーや あたびち ないがたーねー ていーふい  
さん みーていっち じゅーん いんちゃく  
なてい ちゅーん。(おたまじゃくしはカエルになりかけると手足が出てきてしっぽも短くなってくる)。

**ない はんすん** 〈なり損なう〉【活】～はんちゃん、～はんさん、～はんち 【例】んかしえー じんぬ ねーんたくとう っういーぬ がっこー いちゅーさん っちゅん まんどーたしが、なまー ゆちく なてい うみはまてい しーねー ぬーぐとうん ないん。(昔はお金がなかったので大学まで行けない人も多かったが、今はゆたかになって努力すれば何だってできる)。

**ない ちーん** 〈なりきる〉【活】～ちっちゃん、～ちらん、～ちっち 【例】うぬ っちゅんかい ないちっち しばい そーくとう、いっペー みーむん やたん。(その人になりきって演じていたので、とても見応えがあった)。

**ないん** 〈できる〉【活】なたん、ならん、なてい 【例】どーくる ないる くとー っちゅ たるがきらんぐとう どーっし すしが どう どーぬ たみ やる。(自分でできることは人に頼らないで自分でするのが自分のためである)。ならんぬどう なれーが ちょーる。(できないからこそ習いに来ている)。

**ならん ぬー** 〈けしからん者〉 【例】いちゃん ありが くとー ゆー しどう をうたしが、みーらん とうくるをうてー わーくとう むぬ ゆどーたんでい。あんすくとう、あれー ならんぬー やっさー。(いつもあの人のことをよくしていたのだが、見えないところでは私のことを悪く言ってたって。だから、あの人はけしからん奴だ)。

**ないん** 〈生る、実ができる〉 【例】マンゴーぬ うほーく まーさぎさ などーたしが、っちゅぬ むんどう やくとう とうーいる かーじ みーぐわっちーびけー そーたん。やしが、ちかぐろー ねーん などーん。(マンゴーがたくさんおいしそうに生っていたが、人様の物なので通るたびおいしそうに見ているだけだった。しかし、近頃はなくなっている)。

**ない (むん)** 〈果物〉 【例】くとうしえー うふかじぬ うふさくとう ないむのーくーく なてい かじん いきらさん。(今年

は台風が多かったので果物は小さくなって数も少ない)。

**ない くじりーん** 〈出来損なう〉【活】～くじりたん、～くじりらん、～くじりてい 【例】ウイぬ ないくじりとーしえー ういむん ならんくとう、うどうきーん。(ウリの出来損ないは売り物にならなくて、引き合わない)。

**ないん** 〈鳴る〉【活】なたん、ならん、なてい 【例】ハーリーがにぬ なてい あとうからどーう すーまんぼーすーや あがいん。(ハーリー一鉦が鳴った後から梅雨が終わる)。

**なか** 〈中、仲〉

**なか じん** 〈中心、中央〉 【例】やしちぬ なかじのー とうふあしらぬ めー むてい などーん。(屋敷の中心は玄関の前方になっている)。

**なか だち** 〈仲人、仲介〉 【例】たーんかい なかだち うにげー すしえー／しえー ゆたさが やー？(誰に仲人をお願いするのが／したらいいのかなあ)。

**なか ていー** 〈中ぐらい〉 【例】なかていーから うていくいれー。(中ぐらいのから売ってくれ)。

**なか めー** 〈茶の間、居間〉 【例】なかめーや なーぬ きーくさん ゆー みーゆる とうくま やてい、あかがてい なちえー しだかじぬ いっち、やーにんじゅぬ ゆくいる とうくま やん。(居間は庭の草木もよく見える箇所、明るくて夏は涼風が入って、家族がくつろぐところだ)。

**なが** 〈長〉

**なが たび** 〈長旅〉 【例】ながたべー いちゅる とうちねー っういーりきさしが、けーいる とうちねー くとんでいーくとう ながたべー さん。(長旅は行くときには楽しいが、帰るときには疲れるので長旅はしない)。

**なが ちび** 〈長居〉 【例】っちゅぬ やーんかい っんぢ ながちびー しーねー、しか

ん さりーん どー。(人の家に行って長居すると、嫌われるよ)。

**なが わちゃれー** 〈長患い〉【例】ながわちゃれーっしどう どうー あたらさする くとうぬ わかいる。(長患いをしてこそ体を大切にすることがわかる)。

**ながすん** 〈流す〉【活】ながちゃん、ながさん、ながち

**ながし あみ** 〈通り雨、にわか雨〉【例】ながしあみ やくとう、しぐ はりーっさ。(にわか雨だからすぐ晴れるよ)。

**ながみーん** 〈免ずる〉【活】ながみたん、ながみらん、ながみてい 【例】っやーさーに ながみていとうらし よー やー。(あなたの方で免じてくれよ)。うんじゅさーに わんくとうー ながみていくいみそーり よー。(あなた様の方で私のことは免じてがまんしてくださいね)。

**なかみ じる** 〈中味汁〉【例】なかみじろー ちねーをうてい ゆー かむる んかしからぬ くわっちー やん。(中味汁は家庭でよく食べる昔からのごちそうだ)。

**ながりーん** 〈流れる〉【活】ながりたん、ながりらん、ながりてい 【例】うふあみぬ ふてい かーらぬ みじぬ あんでいてい ながりーしぬ ふえーさん。(大雨が降って川の水が溢れて流れるのが速い)。

**なぎーん** 〈投げる〉【活】なぎたん、なぎらん、なぎてい 【例】しくちぬ うわいーねー、やーぬ めーをうてい うやっくわっし ボールなぎえー そーん。(仕事が終わると家の前で親子でキャッチボールをしている)。ありがなぎていちゅーる ぼーるぬ ちゅーさくとう、うきとういしえー うとうるさぬ でーじやっさー。(あの人が投げってくるボールが強いので、捕球するのは恐くて大変だ)。いんぬむん むぬいりやーんかい なぎいっとーけー。(犬の餌も餌入れに投げ入れておきなさい)。

**なぎ んちゅん** 〈投げ込む〉【例】ゆぐりむん いりやーんかい なぎんちょーけー。(洗濯もの入れに投げ込んでおきなさい)。

**なげーさ** 〈長いこと〉【例】なげーさ いちやてーをうらんしが、ちゃー そーが やー？(長いこと会ってはいないがどうしているのかねえ)。

**なげー なやー** 〈年代物〉【例】うれーなげーなやー やいびーん。(それは年代物です)。くぬ くーそー さんじゅーにんぬなげーなやー やくとう、にーだかさん。(この古酒は30年ものなので、値段が高い)。

**なぐさみーん** 〈慰める〉【活】なぐさみたん、なぐさみらん、なぐさみてい

**なぐさむん** 〈慰む〉【活】なぐさだん、なぐさまん、なぐさでい 【例】どうー なぐさみすん＝どうー なぐさむん。ういきがんかいしていらってい(／ういなぐんかい だまさってい) なまー やーんぢ うた ちちやい、ふかんぢ どうしとう いちやたいっし どうーなぐさみ そーん／どうー なぐさどーん／ゐーちむ とうめーとーん。(失恋して今は家で音楽を聴いたり、外で友人と会ったりして自分を慰めている)。

**なけーすん** 〈泣かす〉【活】なけーちゃん、なけーさん、なけーち 【例】くーさる ばすにあわりっし ふどううういーてい にーびちさるあとうん くちさ しみらったる はなしやくとう、っちょー なけーすな けー。(幼いときに苦労して大きくなって結婚してからも苦労させられた話なので、人を泣かさなくてくれ)。

**なさがすん** 〈陰口をする〉【活】なさがちゃん、なさがさん、なさがち 【例】みーらん とうくまをうてい わんくとう なさがする くとー すな よー。(裏で私のことを陰口することはするなよ)。

**なしーん** 〈塗る〉【活】なしたん、なしらん、  
なしてい 【例】からじんかい あんだ なし  
ーねー、からじぎーや りっぱんぐわー にん  
ぢゅさ。(髪に油をぬれば、髪の毛はきれいに整  
うよ)。かっぱやーぬ とურიーるくとう、ちら  
んかい くりーむ なしれー。(乾燥を防げる  
ので顔にクリームを塗りなさい)。

**なじきーん** 〈そぶりをする〉【活】なじきた  
ん、なじきらん、なじきてい 【例】いちぶしこ  
ー ねーんむんぬ いちぶさー そーんねーっ  
し、なじきらんけー／なじきていが をうら  
やー。(行きたくないのに行きたがっているふ  
りをして、そんなそぶりをするな／そんなそぶ  
りをしているんだろう)。しゅむち ゆどーん  
ふーなーっし／ゆみなじきーっし にんとーた  
ん。(本を読んでいるふりをして眠っていた)。

**なすん** 〈産す〉【活】なちゃん、なさん、なち  
【例】なし みちえー しっち、すだてい みち  
えー しらん。(子を産むのは知っていても子  
育ては知らない)。

**なし** 〈産み〉

**なし あがいん** 〈鶏が卵を産まなくなる〉  
【活】～あがたん、～あがらん、～あがてい 【例】  
なしあがたる とうえー みーぬ くふあさ  
ぬ、かみん ならん。(卵を産まなくなった鶏は  
肉が堅くて、食べられない、かなーさらん＝噛  
めない)。

**なし うや** 〈産みの親〉【例】なしうや や  
かん すだていぬ うやぬどう うや やる。  
(産みの親よりも育ての親こそ親だ)。

**なし ぐわ** 〈産んだ子〉【例】わんねー な  
しぐわぬ ゆったい をうん。(私には子が4  
人いる)。なしぐわ かなさっし ふどうっわ  
ーすしどう うやぬ ゆるくび やん。(産ん  
だ子进行がわいて育てるのこそ親の喜びだ)。

**なし ぢち** 〈臨月〉【例】なしぢち やく  
とう うていちち ゆくらりーくとう なしみ  
ーんかい いちゅん。(臨月なので落ち着いて  
休めるので里方に行く)。

**なし むぬ つくわ** 〈子宝〉【例】にん  
ぢんぬ なしはんじょーや うていんぐとう  
やしが、ちむにんじ しーねー、かなんじ な  
ーたましたまし なしむぬつくわ うたびみし  
えーん。(人間の子ども授かりは神様の御心  
次第なのだが、心から念ずれば、必ず銘々の配  
分で子宝を授かるもの)。

**なし はんじょー すん** 〈出産する〉【活】～  
さん、～さん、～っし 【例】あぬっちょー つく  
わ なしはんじょー そーん。(あの人は子宝  
に恵まれている)。

**なし ふいるぎーん** 〈子孫を増やす〉【活】～  
ふいるぎたん、～ふいるぎらん、～ふいるぎてい  
【例】ちかぐるぬ わかみーとうんだー どう  
ーぬ あしぶしどう わかいる、つくわ なし  
ふいるぎーる くとうんかえー ちむに ねー  
らん。(近頃の若夫婦は自分の遊ぶことばかり  
で、子孫を増やすことには関心がない)。

**なし みー** 〈里方〉【例】ういなごー にー  
びち しん なしみーぬ くとう すん。(女  
性は結婚しても里方の面倒を見る)。

**なだ** 〈涙〉【例】あながちさる はなし ち  
ち んかし うびっんぢゃさーに なだぬ う  
ていたん。(なつかしい話を聞いて昔を思い出  
して涙が落ちた)。

**なだ ぐるまーい** 〈涙ぐんださま、今にも  
泣きそうなさま〉【例】なげー はなりとー  
たる どうーぬ っんまりじまんかい けーて  
い ういなぐどうしえー なだぐるーまーい  
なとーたん。(長く離れていた自分の故郷に帰  
ってきて女友だちは今にも泣きそうになってい  
た)【参】「みーなだ ぐるぐるー」とも言う。

**なち** 〈夏〉

**なち ぐち** 〈初夏〉【例】なちぐち ない  
ねー あささーぬ なちはじみーん。(初夏に  
なるとクマゼミが泣き始める)。

**なち むん** 〈夏もの〉【例】かりゆしウェ  
アーや なちむんとうっし やまとうまでいん  
ふいるまとーん。(かりゆしウェアは夏も  
のとして本土までも広まっている)。

**なちゅん** 〈鳴く〉【活】なちゃん、なかん、なち 【例】をうーどういぬ クックルーウーっし なちょーん。(雄鶏がコケコッコーと鳴いている)。なーどういぬ クックルーウーっし なちょーん。(鶏がコケコッコーとないている)。ちゃーんぬキッキリーキーっし なちょーん。(ちゃぼがキッキリーキーと鳴いている)。がらさーぬ カーアカーアっし なちょーん。(カラスがカーカー鳴いている)。あふいらーぬ クェークェーっし なちょーん。(アヒルがガーガー鳴いている)。さんさなーぬ シャーンシャーンシャーンっし なちょーん。(くまぜみが鳴いている)。なーびかちかちーぬ なちょーん。(あぶらぜみが鳴いている)。そーみなーぬ チーユチーユチーユっし たかぶきーそーん。(メジロが甲高くさえずっている)、ふきすーぶ(さえずりの勝負)、くーぶきー(低い調子の鳴き声)。ぶらぬ ヲーヲーヲーっし なちょーん。(汽笛が鳴っている)。あたびちぬ ガークーガークーっし なちょーん。(カエルがゲロゲロ鳴いている)。【参】まやーぬ マーウマーウっし、いんぬ ワウワウっし、うしぬ シーモーナーモーっし、っわーぬ ガウエーガウエーっし、ふいーじゃーぬ ツンベーツンベーっし、っんまー ミーハーハーっし あびとーん。(猫がミャーオミャーオと、犬がワンワンと、牛がモーモーと、豚がブーブーと、山羊がメーメーと、馬はヒヒーンと鳴いている)。

**なちゅん** 〈泣く〉【活】なちゃん、なかん、なち 【例】わらばーぬ ウェーウェーっし なちょーん。(子どもがめそめそ泣いている)。あかんぐわぬ ンガーンガーっし なちょーん。(赤ちゃんがオギャーオギャーと泣いている)。  
**なち かかいん** 〈泣きつく〉【活】～かかたん、～かからん、～かかてい 【例】わらびぬ むぬふさっし なちかかていん じまま しみーる むのー あらん。(子どもがものを欲しがって泣きついてわがままさせるものではない)。  
**なち ねーび** 〈泣きまね〉 【例】わらびと

う ういなごー なちねーびぬ じょーじ。(子どもと女は泣きまねが上手)。

**なち ぶさー** 〈泣き虫〉 【例】めーなち なちげーげー そーしが、なちぶさーがどううふっちゅ ないねー いぢちりむん ないん どー。(毎日泣いてばかりいるが、泣き虫が大きくなると意地の強い子になるんだよ＝よく泣く子はいろいろな要求を表現していることから、大きくなるとしっかりする)。

**なち むにー** 〈泣きながらものを言うこと〉 【例】っやーや いくち ないくとう なち むにー すが? はじかこー ねーらに? (あなたはいくつなるのに泣きながらものを言うのか。恥ずかしくないのか)。

**なち われー** 〈泣き笑い〉 【例】っちゅぬ ゆーや なちわれーぬ くいけーし やん。(人生は泣き笑いの連続だ)。

**なちょーら** 〈海人草〉 【例】わらび そーいに さぎむんとうっし なちょーら ぬまさったる くとうぬ あん。(子どもの頃に下剤として海人草を飲まされたことがある)。

**なでい すだていーん** 〈かわいがって育てる〉【活】～すだていたん、～すだていらん、～すだていてい 【例】つくわ なしえーからー なでいすだていてい ふどうっわーすし やん。(子を産んでからはかわいがって育てるものだ)。

**ななち ふし** 〈北斗七星〉 【例】にしぬ すらんかい あかがとーる ななちぶしん にーぬふあぶしん んなが ゆー しっちょーし やん。(北の空に輝いている北斗七星も北極星もみんながよく知っているものだ)。

**なぬいん** 〈名乗る〉【活】なぬたん、なぬらん、なぬてい 【例】ちゅいなー ちゅいなー どうーぬ なー なぬてい っんまりじま いれー。(一人一人自分の名前と出身地を言いなさい)。

**なばくいん** 〈からかう、ひやかす〉【活】なばくたん、なばくらん、なばくてい 【例】なばくいから まぎく なてい っちゅなけーしぐとう なていいちゆる くとうん あくとう、っちゅ なばくてー ならん。(からかいから大きくなっていじめに発展していくこともあるので、人をからかってはいけない)。

**なま** 〈現時点〉 【例】うちなーゆーから やまとうゆー、やまとうゆーから あめりかゆー、なまぬ ゆーや ちゃー なとーが？ やまとうんかい さっとーる ばす め？(沖縄の世から大和の世、大和の世からアメリカの世、現代の世はどうなっているのか。大和の人たちに翻弄されているのかな)。【参】「今帰仁」や「今浜」(現在の滋賀県長浜)の「今(な)」と、「間をおく、間を空ける」の空間的・時間的な「間(ま)」から構成されている。いま。

**なま あし ばい** 〈冷や汗をかくこと〉 【例】あんまさぬ、 なまあし はとーん。(体調不良で、冷や汗をかいている)。なま あし じーじー そーん。(冷や汗をかいている)。

**なま じらー** 〈生意気者〉 【例】っちゅぬ むぬならーしどう そーしが やなわれーっし、あれー はていなまじらー やん どー。(人がものを教えているのに嫌な笑いをして、あいつはとんでもない生意気者だよ)。【参】「くさぶっくわー」とも言う。

**なま じさー、なま しさー、なま じし** 〈生肉〉 【例】ししえー なまじさーどう こーいん どー。(肉は生肉を買うんだよ)。

**なまたりーん** 〈怠ける〉【活】なまたりたん、なまたりらん、なまたりてい 【例】なまたりとーてい めぬ ていま め？(怠けていて同じ手間賃か)。っやーや いふえー なまたりてー をうらに？(あなたは少し怠けてはいないか)。

**なまたり むん** 〈怠け者〉 【例】しくちんさん、むぬかだい にんたい ほーたいつし あしでいあっちょーる っちゅんかい 「なまたりむん」んでい いちょーん。(仕事もしない、食べたり寝たりして遊び回っている人に「怠け者」と言っている)。

**なまちな むん** 〈気の荒い者〉 【参】「なまちゃー」とも言う。

**なまりーん** 〈なまる〉【活】なまたりたん、なまりらん、なまりてい 【例】くぬ ほーちゃーや なまりとーくとう とうげー。(この包丁はなまっているので研ぎなさい)。

**なまらー、なまてー、しくちゃー** 〈おどけ者〉 【例】あれー いふーな くとうびけー さーに っちゅわらーち いっぺー なまらー やん。(あの人は変なことをして人を笑わしてとてもおどけ者だ)。

**なま わらび** 〈未熟な子〉 【例】くとうぬ ゆしあしん わからん なまわらびどう やる。(道理もわからない未熟な子どもだ)。17、8 なていん むぬ あてー ねーん、わらびぬ さた やさ やー。(17、8 歳になっても物事がわかっていない、子どもじみたことだね)。【参】そーわらび。

**なみむさー** 〈なめくじ〉 【例】あみぬ ふいねー ちんなぬん なみむさーん まーがなから っんぢていちゅーん。(雨が降るとカタツムリもナメクジも何処からか出てくる)。なみむさーぬ まーす くわやーに ちぢくどーん。(ナメクジが塩を食べて縮こまっている)。

**ならーすん** 〈教える、しつける〉【活】ならーちゃん、ならーさん、ならーち 【例】むぬいーよーぬ わっさくとう、むん ならーしー よー。(言葉遣いが悪いので、教えなさいよ)。くるまぬ くわんさち とういんでいち じれんかい ならいが いちゅん。(車の免許をとるといって自練に習いに行く)。

ならーし よー 〈しつけ〉 【例】わらび  
そーいぬ ならーしよーぬどう かんぬー や  
る。(子どものうちのしつけが肝心だ)。

ならいん 〈習う〉【活】ならたん、ならーん、  
ならてい 【例】ならいしえー いっとうちぬ  
はじ、ならーんしえー ゆーまんでーぬ はじ。  
(習うのは一時の恥、習わないのは一生の恥)。

なれー 〈習い〉 【例】「やー なれーぬ ふか  
なれー」んち あてい やーをうてい そー  
る くとー ふかをうていん すくとう むん  
ならーしえー ゆー さんねー ならん。(「家  
習れーぬ 外習れー」というのがあって家でし  
ていることは外でもするので、しつけはちゃん  
としないといけない)。

～なれー 〈～の習い事〉 【例】がっこー  
うわいねー、ていーなれー、をうどういなれー、  
じーなれーんかい。っんちよーたん。(学校が  
終わると空手、踊り、習字の習い事に行ってい  
た)。

ならすん 〈平らにする、粉にする〉【活】なら  
ちゃん、ならさん、ならち 【例】んかしえー  
くみ、まーみ、まーそー ちょーばぬんかい  
いってい ならち うとーたん。(昔は米、豆、  
塩は京升に入れて切って売っていた)。むちぐ  
み うーしさに ならち、だーぐんねーっし  
まるみていから っんぶさーに むち ちゆ  
くいん。(餅米を白で碾いてだんご状にして丸  
めてから蒸して餅を作る)。

ならすん 〈鳴らす〉【活】ならちゃん、ならさ  
ん、ならち 【例】しちぐわちねー やなむん  
っういーほーいるたみに なまん ほーちゃく  
ならすん。(盆には悪霊を追い払うために今  
も爆竹を鳴らす)。

ならぶん 〈並ぶ〉【活】ならだん、ならばん、  
ならでい 【例】みーむん んーぢゆる っち  
ゆぬちゃーが 2、3じかんめーから ならど  
ーたん。(観客が2、3時間前から並んでいた)。  
まーさ ていんぷらー こーいんち っちゆぬ

うほーく ならどーたん。(おいしい天ぷら  
を買うと行って行列をつくって並んでいた)。

ならび 〈隣り〉 【例】がっこーぬ ならびん  
かい まぎかじまるぬ あん。(学校の隣りに  
がじゅまるの大きな木がある)。

なりーん 〈慣れる〉【活】なりたん、なりら  
ん、なりてい 【例】たいぬ うやー ちゃー  
しくちぬ いちゆなさたくとう、どうーちゆい  
さーに やーんかい をうしえー なりとーた  
ん。(両親はいつも仕事が忙しかったので、一人  
で家で居るのに慣れていった)。

なりーん 〈親密になる、なじむ〉【活】なりた  
ん、なりらん、なりてい 【例】いん、まやーや  
なりてい ちーねー すばんかい たっくわ  
ていちゅーん。(犬猫は慣れてくると側にくっつ  
いてくる)。さきん んーすん ちきむぬん  
なりてい ちーねー まーく ないん。(酒も  
味噌も漬け物もなじんでくるとおいしくなる)。

なんか 〈7日ごとの法事〉 【例】なんかんで  
い いーしえー っちゆぬ まーしーねー、な  
ぬかぬ かーじに ななけーん する すーこ  
ー やん。(「なんか」というのは人が亡くなっ  
たら、7日ごとに7回する法事だ)。

なんくる みー すん 〈自生する〉  
【活】～さん、～さん、～っし 【例】なんくるみー  
そーる ばんしるーぬ きーぬ まぎー な  
てい めーにん ぐ、るくじゅーびけーぬ な  
いむんぬ なんとーん。(自生しているグアバの  
木が大きくなって毎年5、60ほどの実が生っ  
ている)。

なんぢ 〈難儀〉 【例】なんぢさーや よーが  
らー。(苦労人は痩せている)。

なんぢ くんぢ 〈苦労〉 【例】わんねー  
ちゆいんぐわ なやーに やーぬ くとうか  
ら、うやぬ くとうから、どうーぬくとうから  
なんぢくんぢぬ うふさん。(私は一人っ子  
なので家のことから、親のことから、自分のこ  
とから苦労が多い)。

**なんちち** 〈焦げ付き〉 【例】んかしえー は  
がまっし くみ に一たくとう、うかつとう  
しーねー まーからん なんちちかじゃっし  
やっけー など一たしが、なまー すいはんき  
ぬ あくとう うんなくとー ねーらん。(昔  
は羽釜で米を炊いたので、うっかりすると何処  
からも焦げたにおいがして困っていたが、今は  
炊飯器があるのでそんなことはない)。

**なんでーしー** 〈桑の実〉 【例】なんでーし  
ーや くわーぎぬ むっくーんでい いーん。  
うみーねー ブドーぬぐとう くるー なてい  
まーさん。(桑の実は桑の木の「むっくー(小

さい実)」と言う。熟するとブドウのように黒く  
なっておいしい)。

**なんどうち** 〈何時／何日〉 【例】なまー／  
ゆれーや なんどうち やが?(今は／模様は  
何時(何日)なのか)。

**なんどうる むん** 〈滑りやすいもの〉  
【例】じのー なんどうるむんどう やくとう、  
じんぶくるぬ くち あきーねー、むる ふい  
んぎてい いちゆん。(お金は滑って出やすい  
ものなので、財布の口を開けるとすべて出て行  
く)。





# に

にー 〈荷〉 【参】にーちらすん、にーむちゅん。

にー うーさー 〈荷物を運ぶもの〉 【例】んかしぬ つんまー にーうーさーん そーたしが、なまー さまがわいっし っちゅ ぬしてい あっちょーん。(昔の馬は荷物運びをしていたが、今は様変わりして人を乗せている)。

にー うーしーん 〈荷物を負わす、負担をかける〉 【活】〜うーしたん、〜うーしらん、〜うーしてい 【例】くれー わんが さんねーならんくとうどう やくとう、っちゅんかいにーうーしていまでー たぬまなやーんでーうまーん。(これは私がしないといけないことではあるが、人に負担かけてまでは頼もうとは思わない)。

にー 〈値〉 【例】うふかじぬ あとうぬ ぶん なとーしが、うさぎむんぬ ないむのーちゃっさぬ たかにー ないがやー?(台風の後の盆になっているが、お供え物の果物はどれくらいの高値になるのかね)。なまぬ まちやー にーふだぬ ちちよーしが、ちちえーをうらん まちやん あたくとう いっペー こーいぐりさたん。(現在の店は値段票が付いているが、付いていない店もあったのでとても買い難かった)。

にー ふだ 〈価格表示〉 【例】くりんかえー にーふだー ちちえー をうらんしが、ちゃっさ やいびーが?(これには価格表示はついていないが、いくらですか)。

にー 〈音色〉 【例】さんしんぬ にー あぎーん。(三線の音程を上げる)。

にー 〈根〉

にーからぬ 〈根っからの〉 【例】あれーにーからぬ ふりむん やくとう ちゃーしんのーらん。(あの人は根っからのバカなので何してもなおらない、にーからぬ ふりむん=そー ふりむん)。

にー がん 〈集落の神官〉 【活】にー やー／にー どうくる 〈神官の家〉 【例】むらぬ まちりぐとう うくする っちゅんかい にーがんでい いーん。(地域の祭事をつかさどる人を「にーがん」と言う)。うったーや にーやーぬ つくわ、つんまがぬちゃー やくとう、うったーんかい とうーいねー わかいさ。(その子たちは神官の家の子や孫たちだから、その子たちに聞いたらわかるよ)。

にー ぐい 〈根っこ〉 【例】やふあたーにーぐい ふいうくち とうらんねー たでーま みーていちゅーん。(むらさきかたばみは根っこを掘り起こして取らないとあっという間に生えてくる)。

にー すーら 〈根と梢〉 【例】やなむんばれー するたみに／かじょーらー はんするたみに「にー ちっち すーら からすん どー、すーら ちっち にー からすん どー」んでいーる ぐいすぬ あん。(悪霊払いするために／じんま疹を治すために、「根を切って梢を枯らすぞ、梢を切って根を枯らすぞ」という唱えがある)。

にー ばい 〈根張り〉 【活】にー ぢり 〈根切り〉 【例】がじまろー にーばいぬ うすまさん。ちでーる ブロックまでいん かちわい

くとう にーぢり さんとー ならん。(ガジュマルは根張りがすごい。積んでいるブロックまでも割ってしまうので根切りをしないとけない)。

にー びち〈結婚式〉【例】なままでー さきむえー っしから にーびち あぎたしが、なまー さきむい にーびちぬ ていーち なとーる しーよーん あん。(これまでは結納をしてから結婚式をあげたが、今は結納と結婚式を一つにするやり方もある)。いったー っくわぬ にーびちじゃーや まーやが?(あなたの子どもの結婚式場はどこなのかい)。

にー ぢちゅん〈根づく〉【活】～ぢちゃん、～ぢかん、～ぢち 【例】こーていちゃる むむぬ きーぬ なーんかい にーぢちよーん。(買ってきた桃の木が庭に根づいている)。

にー ちらすん〈根絶させる〉【活】～ちらちゃん、～ちらさん、～ちらち 【例】いさぬやーをうてい にーちらちえーくとう なー ありから ちゃーん さん どー。(病院で根絶手術したので、もうあれからどうもなっていないよ)。

にー ちりーん〈根治する〉【活】～ちりたん、～ちりらん、～ちりてい 【例】やんめーぬ がくむのー だてーん ししでーをうしが、さきがこー にーちりーしえー なーだ だやしこー ねーらん。(医学はずいぶん進歩しているが、癌は完治するのはまだ容易ではない)。

にー むちゅん〈根にもつ〉【活】～むっちゃん、～むたん、～むっち 【例】っちゅからちむふがんくとう いらったい さったい しん、にーむちゅる くとー どうーぬ ためーならん。(人から納得しないことを言われたりしても、根にもつのは自分のためにはならない)。

にー いん〈煮える〉【活】にーたん、にーらん、にーてい 【例】くめー っんぶりかじゃそーくとう なー にーとーさ。(米は蒸れた匂いがしているので、もう煮えているよ)。

にー いん〈練る〉【活】にーたん、にーらん、

にーてい 【例】っんむくじていんぷらーや っんむ にーてい っんむくじとう あーちていんぷらーっし かむん。(「っんむくじていんぷらー」は芋を練って澱粉と混ぜて天ぷらにして食べる)。

にー しえ 〈青年〉 【例】ぶんぬ みっちゃぬ っうえーだー にーしえーたーや エイサーんかい うみちとう はまてい みーむん やさ。(盆の3日間は青年たちはエイサーにとっても一生懸命で見事だよ)。

にーぬふあぬ みふし、にーぬふあぶし 〈北極星〉 【例】ゆる はらすふにや にぬふあぶし みあてい、わん なちえーる うやや わんどう みあてい。(夜走らせる船は北極星が目印、私を産んだ親は私が生き甲斐、「ていんさぐぬ花」より)。

にー び 〈赤土の一種〉 【例】んかしえー じんぬ ねーらんたくとう にーび ふてい ちゅくたる うふあかぬ うふさたん。(昔はお金がなかったので赤土を掘って造った墓が多かった)。

にー びる／のー びる 〈のびる、ねびる〉 【例】にーびろー くさぬ みーとーる とうくまんかい あてい あたいめーぬ びらやかーくさしが、びらかじゃーっし かまりーん。(のびるは草が生えているところにあって普通のネギよりも小さいが、ネギの香りがして食べられる)。

にー ぶ 〈ひしゃく〉 【例】「にーぶ」んでい いしえー みじくまー どー。(「にーぶ」というのは水汲み道具だよ)。んかしえー かーから ちーさーに みじ くでい みじたみやーんかい いったい、にーぶさーに くまーに みじ ちかたん。(昔は井戸からつるべで水を汲んで水溜めに入れて、ひしゃくで汲んで水を使った)。

にー ぶ がー 〈ひしゃくで直接汲める井戸〉 【例】ふいーじゃーがーや ちゃー みじえー

みっちゃかーっし にーぶがー などーん。  
(湧き水はいつも水は満杯でひしゃくで直接汲  
める井戸になっている)。

**にーぶい** 〈居眠り〉 【例】にーかまでい  
うきーねー なーちゃー にーぶいっし ふし  
がらん ないん。(遅くまで起きると翌日は居  
眠りしてどうしようもなくなる)。

**にーぶい** ぐさ 〈オジギソウ〉 【例】にー  
ぶいぐさー ゆさんでい ないねー ふあー  
くーてい にんとーる ぐとーん。(オジギソ  
ウは夜になると葉を閉じて寝ているようだ)。

**にーぶい** みー 〈眠たそうな目〉 【例】っ  
やーや にーぶいみー そーしが、なー にん  
ぢゆる じぶんどー などーみ?(あなたは眠  
たそうな目をしているが、もう寝る時間になっ  
ているのか)。

**にーぶい** かーぶい すん 〈こっくりこ  
っくり居眠りをする〉 【例】わん つくわー  
びんちょー そーんでい うむとーたれー  
にーぶいかーぶいどう そーたる。(私の子は  
勉強していると思ったのにしきりにこっくりこ  
っくり居眠りをしていた)。

**にーぶやー** 〈寝坊〉 【例】あれー にーぶ  
やー やくとう、うくさんねー いちまでいん  
にんとーん。(あれは寝坊なので、起こさない  
といつまでも寝ている)。

**にーぶたー** 〈腫れ物〉 【例】んかしえー  
にーぶたー っんぢとーる っちゅん、ふえー  
がさー っんぢとーる っちゅん うふさたし  
が、なまー をうらん などーん。(昔は腫れ物  
ができていた人も、頭にかさぶたができていた  
人も多かったが、今は居なくなっている)。

**にーん／にゅん** 〈似る〉【活】にちゃん、に  
らん、にち 【例】っやーや たいぬ うやぬ  
たーんかい／たーとう にちょーが?(あなたは  
両親の誰に／誰と似ているの)。

**にーん／にゅん** 〈煮る〉【活】にちゃん、に  
らん、にち 【例】けーてい ちゅーるまでいね

ー うぶん にちょーき よー。(帰ってくる  
までにはご飯を炊いておけよ)。っんむ にー  
ん。(芋を蒸かす)。

**にーゆん** 〈煮える〉【活】にーたん、にーら  
ん、にーてい

**にー** くたー 〈煮過ぎてくたくたになっ  
ているさま〉 【例】そーみのー にーくたー  
なとーくとう かまらん。(そうめんは煮過ぎ  
てくたくたになっっていて食べられない)。

**にー** しぢーん 〈煮すぎる〉

**にーゆん** 〈練る〉【活】にーたん、にーらん、  
にーてい 【例】あんまーが っんむ にち  
っんむにー ちゅくてい かまちゃん。(お母  
さんが芋を蒸かして練り芋をつくって食べさせ  
た)。

**にーがいん** 〈願う〉【活】にーがたん、にーがらん、  
にーがてい 【例】いち やていん どうーぢゅ  
ーく ないん くとう にーがいん／かみにげー  
すん／ぐわんだていすん。(いつでも体が丈夫  
になることを願う／祈願する／祈る)。

**にーが** ゆー 〈凶年〉 【例】あみぬ ふいぢ  
ゆーさていん、あみぬ むる ふらんでいん  
にーがゆー ないん。(雨が降り過ぎても、雨がま  
ったく降らなくても凶年になる)。

**にーぐーにーぐー** すん 〈ゆったりしてい  
る〉 【例】むのー にーぐーにーぐーそーてい  
かむしどう まーさる。(食事はゆっくり食べ  
てこそおいしい)。

**にーぐとう** 〈寝ごと〉 【例】うむくとうどう  
にーぐとうんでいち まるふいーじー ちむに  
うむとーる くとうぬどう いみに っんぢ  
てい ちゅーる。(思っていることが寝ごとと  
いってふだん心に思っていることが夢に出てく  
る)。

**にーげー** 〈祈り〉 【例】にーげーどう しえーう  
えーんでいち ちゃー かみにげー すしどう

しえーうえー やる。(祈ることが幸いとい  
っていつも祈願するのが幸いとなる)。

**にしーん** 〈似せる〉【活】にしたん、にしら  
ん、にしてい 【例】むぬかみどうくるぬ がら  
すだなぬ なーかんかい かじやらっとーる  
かみむの一 ゆー にしらってい ちゅくらっ  
とーん。(食堂のガラス棚の中に飾られている  
食べ物はよく似せて作られている)。

**にじーん** 〈がまんする〉【活】にじたん、にじ  
らん、にじてい 【例】やーさー にじていん  
にじらん むん やん。(ひもじさは我慢し  
ようにも我慢できないものだ)。

**にじ でー** 〈忍耐力〉 【例】にじで一ぬ  
あていどう あとあとー みちぬ ふらちゅ  
る。(忍耐力があってこそ最後には道が開く)。

**にじー かんていー すん** 〈がまんでき  
なくなる〉 【例】どうく やでい ふしがら  
んたくとう にじーかんていー そーてい い  
さぬやーんかい にかたん。(あまりに痛くて  
がまんできなくなって病院に向かった)。

**にし ぶち** 〈北風〉 【例】うちなーをうて  
ー しむちち なていから ふちゅる にしぶ  
ちや 「みーにし」 んでい いーしが、しだく  
ないん。(沖縄では11月になってから吹く  
北風は「新北風」と言うが、涼しくなる)。

**にじゃまさ すん** 〈寝ぼける〉【活】～さ  
ん、～さん、～っし 【例】にじゃまさ そーてい  
あちぢャー そーぬぎてい ぬまーに ちゅ  
ばちなかい みーくふあたん。(寝ぼけていて  
熱い茶を何も考えずに飲んでしまっで一氣に目  
が覚めた)。

**にじゃみ うどうるち すん** 〈夢で  
驚く〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】をうた  
ていどう をうが、ちかぐろー にじゃみうど  
うるちっし ゆなか あったに うきーる ば  
ーぬ あん。(疲れているのか、近頃は夢で驚い  
て夜中に急に起きる場合がある)。

**にたかまんた** 〈似た者同士〉 【例】どう  
しぬちゃーや にたかまんたぬ ゆいあちまい  
やくとう、ちむくくるぬ あーてい ぬー  
しん ちむ っういーりきさん。(友だちは似  
た者同士の寄せ集まりなので、気心も合って何  
をしても楽しい)。

**にち** 〈熱、温度〉 【例】にちぬ あみ？ に  
ちえー ねーらん。(熱があるか？ 熱はない)。  
ガラスじえーこー にちぬ ふあーふあー そ  
ーる とうくるをうてい まるふいーじー し  
くち そーしが、ちむ いふなー ならんがや  
ー？(ガラス工芸の職人は温度が高いところで  
一日中仕事をしているが、気分悪くならないか  
ね)。

**にぢーん** 〈握る〉【活】にぢたん、にぢらん、  
にぢてい 【例】うやっくわー ていー にぢ  
ーる うっぴっし ちむぬ かゆてい ちゅー  
ん。(親子は手を握るだけで心が通ってくる)。

**にぢり めー** 〈握り飯〉 【例】がっこー  
から けーていちーねー、つくわぬちゃー や  
ーさしみらさん かんげーっし はんたいぬ  
っういーんかい にぢりめーぬ うかっとーた  
ん。(学校から帰ってくると、子どもたちにお腹  
をすかせないように飯台の上に握り飯が置かれ  
ていた)。

**にぢむん** 〈つねる〉【活】にぢだん、にぢま  
ん、にぢでい 【例】たからくじぬ あたてい  
いめー あらんがやーんち いくけーん ふー  
にぢでいん やむたくとう ちむ ゆるちゃ  
ん。(宝くじがあたって夢ではないのかと何度  
頬をつねっても痛かったのでほっとした)。

**にぶ っんまり** 〈遅生まれ〉 【例】ふえ  
ーっんまらーや ていーち しーじやぬちゃー  
とう がっこー っんぢーん。にぶっんまれー  
しんぐわちふちかから じゅーにぐわち っ  
んまりまでいぬ っちゅぬちゃー やん。(早  
生まれの人は1歳年上の人たちと学校に行く。  
遅生まれは4月2日から12月生まれ迄の人た  
ちである)。

**にりん** 〈飽きる〉【活】にりたん、にりらん、にりてい 【例】ちちにりーん。(聞き飽きる)。ありが はなしえー ちゃー めぬくとうびけー なー ちちにりとーん。(あの人の話しはいつも同じ事だけでもう聞き飽きている)。

**にりがさがさ すん** 〈食べ物に砂などが混ざっている〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】くぬ けーぬ みーや にりがさがさっし じょーい かまらん。(この貝の実には砂が混じってとても食べられたものではない)。

**にん** 〈年〉 【例】ちゅとう(1年)、たとう(2年)、みとう(3年)、ゆとう(4年)、…むむとう(百年)。ぐにんぬ っうえーだ(5年の間)。っやーや にーびちしから なんにんびけー なとーが?(あなたは結婚してから何年ほどになっているの)。さんにんびけー などーいびーっさ。(三年ほどなっています) 【参】くじゅ(去年)、やーん(来年)、んちゅ(一昨年)。

**にん とうー** 〈年始〉 【例】あきまどうしぬ ふちかから じゅーににちまでいぬ っうえーだに ちゅいなー ちゅいなー にんとうーとう とうしびーに どうーがなんじゅーさにげー すん。(新年の2日から12日までの間に1人ひとり年始と自分の干支の日に健康願いをする)。うちなーをうてー っうえーかぬ ちゃーが そーぐわちぬ あさ ふえーべーとう にんとうー まーい しーが あまくまから ちゅーし なま ちゅーがやーんち まちかんでいー そーん。(沖縄では親戚の人たちが正月の朝早くから年始回りしにあちこちから来るのを今か今かと待ち望んでいる)。

**にんぐる** 〈愛人、情夫〉 【例】あれー とうじえー をうしが、なまぬ ういなごー にんぐるどう やん どー。(あの人には妻がいるが、いまの女性は愛人だよ)。

**にんしーん** 〈寝かす、放ったらかす〉【活】にんしたん、にんしらん、にんしてい 【例】しださる とうくるんかい わらび にんしとーけ

ー。(涼しいところに子どもを寝かしておきなさい)。あかんぐわー そーいに めぬ とうくる ンかーさってい にんしらったるために ちぶるぬ かたはら たっぴーらー などーん。(赤ん坊の時に同じ側に向かわせて寝かされたために頭の片側が平たくなっている)。わーしーじゃぬ でーだかーぐつ こーたしが、うんなげーさ くつばくんかい にんしらっとうしえー ちゃーる ばーがやー?(私の兄が高価な靴を買ったが、あんなに長いこと靴箱に放置されているのはどうしたのかな)。

**にんじーん** 〈念じる〉【活】にんじたん、にんじらん、にんじてい

**にん** 〈念〉 【例】っやー しーよーや にんぬ いっちえー をうらん／ねーらん。(あなたのやり方は気持ちが入っていない／無い)。ぬーぐとうん にん いってい すし やん。(何事も気持ちを入れてすべきだ)。ちむぬ にんじどう でーいち。(心から念じるのが肝心)。

**にん がきーん** 〈心がける、志す〉【活】～がきたん、～がきらん、～がきてい 【例】くーさる ばすから きんメダル とういんでいち、いち やていん まーんぢ やていん うみはまてい、まーいぬ っちゅぬちやーぬ ちむがしーん あてい、にんがきたるくとうぬ みーなたん。(幼い時から金メダルを取るといって、いつでもどこでも努力して、周囲の人たちの協力もあって、志したことが成就した)。

**にん ぐわん** 〈念願〉 【例】アミリカーたーぬ ちかとーる ぐんじきち ねーん なする にんぐわんぬどう なままでいん なーだちぢぢョーる。(アメリカ人たちが使っている軍事基地を撤去する願いが現在でもまだ続いている)。

**にんじ ぐとう** 〈願いごと〉 【例】っやー にんじぐとー どうく うふさぬ、てーいちなーどう する むん やる。(あなたは願いごとがあまりに多くて、1つずつするものだ)。  
**にん ぶとうきー** 〈すべりひゆ〉 【例】にんぶとうきーや ふあーや ぐまくっし あち

みぬ あてい なんどうるー そーてい、はな  
ー ちーるーっし みちばたんかい みーとー  
しが、えーむん さーに かむん。(すべりひ  
ゆは葉は小さくて厚みがあってすべすべしてい  
て、花は黄色で道端に生えているが、和え物に  
して食べる)。

**にん りち** 〈念力〉 【例】めーなち にげー  
ぐとう しわどう にんりちん ちゅーく な  
いる。(毎日願い事をしてこそ念力も強くなる)。

**にんじゅ** 〈人数、一団〉 【例】ちかぐろー  
とーからん たいわんからん たびにんじゅ  
ぬ うふく なとーん。(近頃は中国からも台  
湾からも観光団体が多くなっている)。うさき  
ーぬ にんじょー まーから あちまとーがや  
ー?(そんなに多くの団体はどこから集まって  
いるのかなあ)。しばいにんじゅ(芝居の一団)、  
をうどういにんじゅ(舞踊団)。

**にんじゅ** あらたみ 〈人数調査、人数確認〉  
【例】っういーりきどうくるをうてー ばす  
んかい ぬいる かじ にんじゅあらたみ す  
ん。(観光地ではバスに乗るごとに人数確認を  
する)。

**にんぢゅん** 〈寝る〉【活】にんたん、にんだ  
ん、にんてい 【例】にんぢゅる みーや に  
んぢゅるぐとう しーよー やー。(寝るとき  
にはちゃんと寝るようにしなさいよ)。にんで  
ー やーんでい うむていん いかなしとうん  
／ちゃーしん にんだらんたん。(寝返りをう  
って寝ようとしてもどうしても寝れなかった)。  
っわーぬ ぐとう むぬ かでい にんてー  
しーしー しーねー、っわーぬ ぐとう くえ  
ーいん どー。(豚のようにものを食べて寝た  
りすると、豚のように太るよ)。にんとーしゅー  
うくさりーしが、にんたふーなーや うくさ  
らん。(寝ている人は起こせるが、寝たふりは起  
こせない、＝その気の無い人はいくら言っても  
駄目だ)。

**にんぢ** ぐくち 〈寝心地〉 【例】「きしゃ  
ぬ しんだいしゃぬ にんぢぐくちえー ちゃ  
ー やたが?」「すとうみてい うきたくとう

どうーぶに やむたっさー」(「汽車の寝台車の  
寝心地はどうだった」「朝起きてみると体の節  
々が痛かったよ)。

**にんぢ** くげー 〈寝返り〉 【例】っやーや  
ゆなかさなか にんぢくげーびけー そーた  
しが、にんだらんていー?(あなたは夜中に寝  
返りばかりっしていたが、寝れなかったのか)。

**にんぢ** じゃま 〈寝相〉 【例】わらべー  
あましぢゅーさぬ、にんぢじゃまぬ わっさん。  
(子どもは元気が有り余っていて、寝相が悪い)。

**にんぢ** ちげー 〈寝違い〉 【例】にんぢち  
げー さーに くびぬ やでい うっちんとう  
ーん ならん、くびん みぐらん ふしがらん  
なとーん。(寝違いをして首が痛くてうつ伏  
せもできない、首も回らなくてがまんできなく  
なっている)。

**にんぢ** ぢら 〈寝顔〉 【例】わらびぬ に  
んぢぢらー いっぺー うじらーさん。(子ど  
もの寝顔はとてもかわいい)。

**にんぢやー** っういーぢ 〈背泳〉 【例】  
いんぐわーっういーぢえー ないしが、にんぢ  
やーっういーぢえー ならん。(犬かきはでき  
るが、背泳はできない)。

**にんぢ** はぎ 〈床ずれ〉 【例】ながわちゃ  
れー そーる っちゅぬちゃー にんぢはぎ  
しみらんだみに まるけーていなー どうー  
っんぢゅかしみーんでい。(長患いをしている  
人たちを床ずれさせないために時々体を動かさ  
せるんだって)。

**にんぢ** はな 〈寝入りばな〉 【例】にんぢ  
はなどう やたる むんぬ、でんわぬ にーぬ  
どうく まぎささぬ、ちゅふあーら みーぐ  
ふあい しみらさったん。(寝入りばなだった  
のに、電話の音があまりに大きくて、すっかり  
目を覚まさせられた)。

**にんぢ** ふりーん 〈爆睡する〉 【例】ゆな  
がた しゅち そーたくとう、なーちゃー む  
ぬん かまん、まるふいっちー にんぢぶり  
そーたん。(夜通し仕事をしていたので、翌日は  
食事もせずに一日中爆睡していた)。

**にんぢ** やんぢゅん 〈寝損なう〉【活】～や

んたん、～やんだん、～やんてい 【例】あー あ  
んべーっし なー にんだな やーんち そー  
たしが、とうないぬ っちゅぬ あびーぐいー  
んかい うくさってい にんぢやんたん。(い

い心地でもう寝ようとしていたが、隣りの人の  
大声に起こされて寝損なった)。

**にんぢん** 〈人間〉 【例】にんぢのー ちむ  
ぐくるぬどう でーいち。(人は心が肝心)。





# ぬ

**ぬいん** 〈塗る〉【活】ぬたん、ぬらん、ぬてい  
【例】クーラーぬ ふいるまでいからー しみん  
やーぬ うふく なてい かーらやーん むち  
ぬやーん いきらく なとーん。(クーラーが  
普及してからはコンクリート建てが増えて瓦葺  
きの家も瓦職人も少なくなっている)。【参】む  
ち(瓦接合用の漆喰)。

**ぬい** 〈糊〉【例】ぬぬさーに ぬくやーめー  
ちちでい、いふいぐわー みじ まんちきて  
い、ぬぬぬ くち くんち、ていーっし むま  
ーむまー さーに むちさ っんぢやち ぬい  
ちゆくとーたん。(布で残り飯を包んで、水を  
少し混ぜて、布の口を縛って、手で揉んで粘っ  
こさを出して糊を作っていた)。

**ぬい むん** 〈塗りもの、漆器〉【例】うちな  
ーをうてー ぬいむんとうっし じゅーばく、  
まかい、けーうち、うじん、うめーしたていや  
ー、くわーしばく、ちやわんうちやー、はない  
ちやーんでーぬ あん。(沖縄では漆器として  
重箱、椀、皿、お膳、箸立て、菓子箱、茶碗置  
き、花瓶などがある)。

**ぬいん** 〈乗る〉【活】ぬたん、ぬらん、ぬてい  
【例】まちり んーぢーが ふに ぬてい は  
なりじまんかい っんぢやん。(祭りを見に船  
に乗って離島に行った)。

**ぬー** 〈何〉【例】っちゅが ぬー さわん  
しむさ。うぬ っちゅぬ かつていどう やる。  
(人が何をしてもいいさ。その人の勝手だ)。あ  
んし わかやーふーなーっし／ちゅーばーふ  
ーなーっし あれー ぬー さる むぬ が？

(あんなにわかったふりをして／強がってあい  
つは何様か)。めーなち びんちょー そーく  
とう、あちゃー しけんでい いちゃんてーま  
ん、ぬーんでいーる くとーん ねーん。(毎日  
勉強しているので、明日試験でも、どうってこ  
ともない)。ぬーどうし っんまり やが？(何  
年生まれなのか)。ぬーぬ っちゅ やが？(何  
年の人なのか)。

**ぬー がな** 〈何か〉【例】っやーや わん  
にんかい ぬーがな いーし ねーに？(あな  
たは私に何か言うことはないのか)。

**ぬー ぐとう** 〈何事〉【例】ぬーぐとうぬ  
あていん ちゃー うていちち ゆー かん  
げーてい すし やん。(何事があってもよ落  
ち着いてよく考えてすべきだ)。

**ぬーとう くいーとー** 〈詳細〉【例】ぬー  
とうくいーとー ちかちくいらん なー？(詳  
しく聞かせてくれないか)。

**ぬー ぬー** 〈何と何〉【例】ぬーぬー こ  
ーてい ちゅーが？(何々を買ってくるの)。

**ぬーぬ さびん ねーらん** 〈何の差し障  
りもない〉【例】いーちゅー とうれーから  
ー どうー っんぢゅかちん ぬーぬさびん  
ねーらん。(糸がとれてからは体を動かしても  
何の差し障りもない)。

**ぬーやー くいーやー** 〈何やかや〉【例】  
じんぬ あくとうんでいち ぬーやーくいーや  
ー こーいまじでーん。(お金があるからと言  
って何やかや買い占めてある)。

**ぬーん くいーん** 〈何もかも〉【例】っち  
ょー っし ならん くとー ねーん どー。

チャー シー そーきわどう ぬーんくいーん  
まし ない。(人はやってできないことはないよ。ずうっとしておけば何もかもよくなる)。

**ぬーし** 〈本人〉 【例】ぬーしんちょーん わ  
からん むんぬ っやーが わかいる ばー  
ゐ？(本人でさえもわからないのに、あなたが  
わかるのか)。っやーや わかとーん ふーな  
ーっし ぬーし くいーてい ぬーやん くい  
ーやん いちよーしが、わーがんちょーん わ  
からん むんぬ、っやーや ぬーが わかとー  
ら？(あなたはわかっているふりをして本人を  
越えて何やかんや言っているが、私でさえもわ  
からないのに、あなたはいったい何がわかっ  
ているの)。

**ぬーじ** 〈虹〉 【例】わらび そーいに かぐ  
やふいめとう まじゅーん ていー ちなぢ  
ぬーじぬ はし わたいる いみ ゆー んー  
ちゃん。(幼い頃にかぐや姫と一緒に手をつな  
いで虹の橋を渡る夢をよく見た)。

**ぬーでいー** 〈喉〉

**ぬーでいー** ぐーふー 〈喉仏〉 【例】ぬ  
ーでいーぐーふーとう くいーがーえー ちゃ  
ぬよーな かかわい そーがやー？(喉仏と声  
変わりはどういう関係になっているのかなあ)。  
**ぬーでいー** ぢる 〈声帯〉 【例】ぬーでい  
ーぢるぬ ふいっちーる あたい あびてい  
どうーぬ くにぬ サッカーんかい やぐいー  
かきたん。(声帯がちぎれるほどかけ声を出  
して自分の国のサッカーを声援した)。**【参】**や  
ぐいー (気合いの入った声)。

**ぬーでいー** っわーぐわー 〈喉ちんこ〉  
【例】ぬーんち ぬーでいーっわーぐわーんでい  
いらりーるくとう なたがやー？(どうして  
喉ちんこは「ぬーでいーっわーぐわー」と言わ  
れることになったかのねえ)。

**ぬーり** 〈苔〉 【例】くむいんかい ほーとー  
る ぬーれー いゆぬ かみむん などーくど  
う はぐな よー。(池に密生している苔は魚  
の餌なので剥ぐなよ)。

**ぬーる** 〈神人〉 【例】ヌールんてい いーし  
えー うちなーびけーぬ かみんちゅ やん。  
(ノロというのは沖縄独特の神に仕える人であ  
る)。

**ぬがーりーん** 〈逃れる〉 【参】「ぬぢゅん」  
(抜く、脱ぐ、騙す)からの派生である；宮良  
(2019a;123,180-181 頁)。

**ぬがーらすん** 〈勘弁する、見逃す〉【活】ぬが  
ーらちゃん、ぬがーらさん、ぬがーらち 【例】  
ばっぺーていどう そーくとう ぬがーらしえ  
ー。(間違えているので勘弁してくれ)。いーば  
っぺー／みーばっぺー／しーばっぺー そーて  
ーくとう ぬがーらちくいれー。(言い間違い  
／見間違い／し間違いしてしまったので、勘弁  
してくれ)。**【参】**宮良 (2019a,177-180 頁)。

**ぬかぐ** 〈米や糠に発生する虫〉 【例】ぬーが  
やら んかしえー くみぬ なかんかえー  
ぬかぐぬ ゆー んーだりーたん。(なぜか昔  
は米の中に小さな虫がよく見られた)。

**ぬぎーん** 〈抜ける〉【活】ぬぎたん、ぬぎら  
ん、ぬぎてい 【例】とうし とういねー は一  
ぬ ぬぎてい ちゅくいばーぬ いりゆー な  
いん。(歳をとると歯が抜けて入れ歯が必要に  
なる)。ポケットぬ あなから じんぬ ぬぎ  
てい ねーん などーたん。(ポケットの穴か  
らお金が抜けてなくなっていた)。

**ぬぎーん** 〈逃げる〉【活】ぬぎたん、ぬぎら  
ん、ぬぎてい 【例】じゅーちりまやーや しか  
まー なてい、っちゅ んーぢーねー しぐ  
ぬぎーん。(人に尾を切られた猫は臆病になっ  
て、人を見るとすぐ逃げる)。**【参】**「ふいんぎー  
ん」とも言う。

**ぬぎ** じこーい 〈逃げ支度〉 【例】かとー  
る じん ぬがーりーるたみに なま ぬぎじ  
こーいどう そーがやー？(借金を逃れるため  
に今逃げ支度をしているのかねえ)。**【参】**「ふ  
いんぎ じこーい」とも言う。

**ぬく** ～〈暖か〉 【例】ぬくさん (暖かい) から  
の接頭辞化。

ぬく ぐに 〈暖かい地方〉 【例】うちなーや ぬくぐに やてい ふよー ぐらしやっさん。(沖縄は暖かくて冬は暮らしやすい)。ぬくぐねー ゆちさーに でーじ ないる くとうん ねーらん。(温かい地方は雪で被害を受けることもない)。

ぬく どうし 〈暖冬の年〉 【例】ぬくぐにぬ うちなーをうてー みーはだむちぬ じしちえー し、ぐんぐわちぐる やがやー?(暖かい地域の沖縄では過ごしやすい時節は4、5月頃かなあ)。くとうしえー ぬくどうし やくとう、どうー ぬくたみーる むのー あんすかー うりらん などーんでい。(今年は暖冬なので、暖房用器具はそんなに売れなくなっているって)。

ぬくいん 〈残る〉【活】ぬくたん、ぬくらん、ぬくてい 【例】につかまでい しくちばんかい ぬくてい なーちやぬ しこーいむん さん。(遅くまで職場に残って翌日の準備をした)。  
ぬくい むん 〈残りもの〉 【例】なちえー しーやっさくとう、れいぞーこんかい いっとうーかんねー ならん。(夏は饅えやすいので、冷蔵庫にいれておかないといけない)。なちえー ぬくいむのー あちらち うちきとーかんねー かまらん ないん。(夏は残り物は暖めておかないと食べられなくなる)。

ぬぐいん 〈拭きとる〉【活】ぬぐたん、ぬぐらん、ぬぐてい 【例】ちらんかい はとーる あしみじ ていーさーじさーに ぬぐれー。(顔に流れている汗を手ぬぐいで拭きとりなさい)。うじんぬ ゆぐり ふいーちん(那覇では、ひーちん) さーに ぬぐてい むぬ しこーれー。(お膳の汚れをフキンで拭いて食事の支度をしなさい)。っちゅぬ ちゅーくとう ふえーく なー なた ぬぐれー。(人が来るので早く涙を拭きなさい)。

ぬくすん 〈残す〉【活】ぬくちゃん、ぬくさん、ぬくち 【例】つくわっんまがんかえー じん ぬくちやい、ちー ぬくちやい、むぬ ぬくち

やい すしやか、なー ぬくすしどう ましやる。ちむぬ ぬらん くとー さんしえー まし。(子孫にはお金を残したり、土地を残したり、物は残したりするより、名を残すことの方が良い。気が進まないことはしない方が良い)。

ぬくたまいん 〈暖まる〉【活】ぬくたまたん、ぬくたまらん、ぬくたまてい 【例】こたつんかい いーねー、ぬくたまいさ。(こたつに入れば暖まるよ)。ていーぶくる しーねー、ぬくたまいくとう ぬーん しーぶしこーねーん なてい ふゆーなむん ないくとう こーらんでいん しむん。(手袋をすると暖まるので何もしたくなくなって怠け者になるから買わなくてもいい)。

ぬくたみーん 〈暖める〉【活】ぬくたみたん、ぬくたみらん、ぬくたみてい 【例】ふかー ふいーさくとう、どうーや ちゅーぢゅーとう ぬくたみらんねー はなしち がかいん どー。(外は寒いので、体はちゃんと暖めないと風邪をひくよ)【参】「はなしち」(風邪、鼻が湿気ること)。

ぬくばーいん 〈暖かくなる〉【活】ぬくばーたん、ぬくばーらん、ぬくばーてい 【例】ぬくばーたくとう、うすめーとう はーめーや はしるぐちんかい っんぢてい ていーだぶーい さがなー ちゃー ぬどーたん。(暖かくなったので、おじいさんとおばあさんは縁側に出て日向ぼっこしながらお茶を飲んでいた)。

ぬしーん 〈載せる〉【活】ぬしたん、ぬしらん、ぬしてい 【例】うむいるくとう かちゃーに しんぶぬんかい ぬしーたくとう あん やさんでいる いちんぬ うほーく あたん。(思うことを書いて新聞に載せてもらったのでそうだという意見がたくさんあった)。

ぬしかいん 〈ちょっと顔を出す〉【活】ぬしかたん、ぬしからん、ぬしかてい、 【例】ぬしかいが いっとうち っんぢちゅーくとう わったー やー んーちょーていとうらしんでい

たんかーぬ っちゅが じょーぐちをうてい  
くいー かきーたん。(ちょっと立ち寄るた  
めいつとき出かけて来るので私の家を見てい  
くれと向かいの人が門口で声をかけた)。【参】  
ぬばがいん。

**ぬしきーん** 〈差し出す〉【活】ぬしきたん、  
ぬしきらん、ぬしきてい 【例】っちゅぬ み  
ーんぢえー ふいさ ぬしきてー あらん ど  
ー。(人前では足を差し出して座らないよ)。

**ぬぢふあ** 〈靈魂はずし〉 【例】ふるばかを  
うてい まぶいぬぢ さーに みーばかんかい  
みくちとう まぶい うんちけーすしんかい  
ん 「ぬぢふあ」んでい いーん。(古い墓で靈  
魂をはずして新しい墓に遺骨と靈魂をお迎えす  
ることにも「ぬぢふあ」という)。

**ぬじゅむん** 〈望む〉【活】ぬじゅだん、ぬじ  
ゅまん、ぬじゅでい 【例】ぬー ぬじゅでいん  
ふいーびー みあていんかい んかてい ぬ  
ーっし ちゃんでいーる くとうぬどう かん  
ぬー やる。(何を望もうとも日々目標に向か  
って何をしてきたかということが大事だ)。  
**ぬじゅみ** 〈望み〉 【例】っやー ぬじゅめ  
ー ぬー やが?(あなたの望みは何か)。

**ぬすどう** 〈どろぼう〉 【例】ぬすどうんかい  
っわーっとーんねーっし いーち ふちよー  
しが、っやーや ちゃー さる ばーが?(ど  
ろぼうに追われているように息をはずましてい  
るが、どうしたのか)。

**ぬすむん** 〈盗む〉【活】ぬすだん、ぬすまん、  
ぬすでい 【例】っちゅぬ むん ぬすでい  
どうーぬ むんふーなー そーん。(人のもの  
を盗んで自分のもののようになっている)。わん  
が かんげーたる むん ぬすまってい じゃ  
ーふえー などーっさー。(私が考えたものを  
盗られて困ったことになっているよ)。

**ぬち** 〈命〉 【例】うふいぐわー やていん  
さき ぬみーねー ぬち ちりーんでい いさ

から いらっとーん。(少しでも酒を飲むと命  
を落とすと医者から言われている)。ぬちえー  
ていんにどう ある。(命は天が預かっている  
のでどうすることもできない)。

**ぬち かぢり** 〈一生懸命〉 【例】っちゅに  
んぢのー ならん むのー ねーらん、ぬー  
やていん ぬちかぢり しーねー いちかー  
かんなじ みー ないん。(人間はできないも  
のではない、何であろうとも一生懸命すればいつ  
かは必ず成就する)。

**ぬち がふー** 〈命拾い〉 【例】まぎじこ  
やたしが、まーん やまちえー ねーん、ぬち  
がふーぬ あてーさ やー。(大きな事故だっ  
たが、どこもケガしていない、命拾いしたんだ  
ね)。ぬちがふーどう しでいがふー。(助かつ  
た命に感謝)。

**ぬち かんばー** 〈生き返ったような心地、命  
の限り〉 【例】はー ぬちかんばー やっさ  
ー。(ああ生き返ったような気分だ)。とー、は  
い ぬちかんばー おーていんーだな。(それ  
では、手加減しないでけんかをしてみようか)。  
わんねー あぬ ういなぐんかい ぬちかんば  
ー ふりとーん。(俺はあの娘にぞっこん惚れ  
ている)。

**ぬち ぐすい** 〈非常においしいもの〉 【例】  
ふみちぬ ちゅーさる ばすに あしはい み  
じはいっし、じこー ぬーでいー かーきとー  
る ばすぬ ふいじゅる みじえー ぬちぐす  
い やん。(蒸し暑い時に汗を流して、とても喉  
が乾いている際の冷たい水は本当においしいも  
のだ)。

**ぬち してい むん** 〈命をそまつにする  
者〉 【例】さき ぬでい くるま むちゅる  
っちゅぬちやーや ぬちしていむんどう や  
る。(酒を飲んで車を運転する人たちは命を大  
事にしない人だ)。

**ぬち してい わじゃ** 〈命がけの仕事〉  
【例】ぬちしていわじゃ そーる っちゅぬ ぬ  
ちぬ かたに はらとーる じのー うすまさ  
まぎさんでい いらっとーん。(命がけの仕  
事をしている人が命を担保に払っているお金は

とても高額だと言われている)。

**ぬち ぢる** 〈命の弦〉 【例】しわぐとうぬ  
まんでい ぬちぢるぬ よーいんねー す  
ん。(心配事が多くて命のたがが緩んでいるよ  
うな気がする)。

**ぬち だしき** 〈救命〉 【例】うみをうてい  
っんぶっくいとーる っちゅ ぬちだしき  
すんでいち どうーぬ ぬち うとうちえーさ  
やー。(海で溺れている人の命を助けるとい  
って自分の命を犠牲にしたんだね)。

**ぬち ちり ばたらち** 〈死にもの狂いで働  
くこと〉 【例】っくわぬちゃー むぬかます  
んでいち んかしぬうやぬちゃーや ぬちちり  
ばたらちっし ふどうっわーちょーたん。(子  
どもたちを食べさせるといって昔の親たちは死  
にもの狂いで働き育てていた)。

**ぬちとう かくがー** 〈命がけ〉 【例】いく  
さばぬ さしん ぬちゃーや ぬちとう かく  
がーさーに いくさばんかい っんぢょーん。  
(戦場カメラマンは命がけで戦場に出ている)。

**ぬち どうくる** 〈急所〉 【例】ていー ち  
かいる ばすねー ぬちどうくる さーてー  
ならん。(空手を使う際には急所に触れてはな  
らない)。

**ぬちぬ うや** 〈命の恩人〉 【例】うぬ っ  
ちょー わん ぬちぬ うや などーくとう、  
ちゃー ちぢに かみとーん。(その人は私の  
命の恩人なので、いつも感謝している)。

**ぬちぬ ぐすーじ** 〈命拾いのお祝い〉 【例】  
いさんかい みーはなさっていどう をうたし  
が、むちのーち ぬちがふーぬ あたくとう、  
ぬちぬ ぐすーじ すん。(医者に見放されて  
いたが、持ち直して命拾いしたので、命拾い  
のお祝いをする)。

**ぬちぬ しんたく** 〈命の洗濯〉 【例】っち  
ゅにんぢのー まるけーていなー ぬちぬ し  
んたく さんねー、どうーぬ どうーん むた  
らん ないん。(人間は時には命の洗濯をしな  
いと、自分の身も持てなくなる)。

**ぬちやーすん** 〈持ち寄る〉【活】ぬちやーち

やん、ぬちやーさん、ぬちやーち 【例】みめー  
じのー ぬちやーち さな やー。(見舞金は  
持ち寄ってしようね)。なー めーめーや さ  
んぐとう、ちゅいなー ちゅいなー ぬちやー  
し さな やー。(各自でしないで、1人ひとり  
持ち寄ってしようね)。

**ぬちゅん** 〈貫く〉【活】ぬちゃん、ぬかん、ぬ  
ち 【例】なちじんちゅらーが しむないぬ/  
すーらないぬ くにぶ ぬちやい はちやいさ  
がなー、いち ちゅーが すら わからん を  
うとう まっちょーたんでい どー。(今帰仁  
美人が末生りのミカンに紐を通して首飾りを作  
ったり首に掛けたりしながら、いつ来るのかわ  
からない夫を待っていたんだってよ)。わらび  
そーいねー ツーツーダーマー いーちゅー  
っし ぬち はちょーたしが、なまー ダイヤ  
ぬ くびかじゃいとう ブレスレット はちょ  
ーん。(子どもの頃は数珠玉を糸を通して首に  
掛けていたが、今はダイヤの首飾りとブレスレ  
ットを身に着けている)。

**ぬち くるすん** 〈刺し殺す〉【活】〜くるちゃ  
ん、〜くるさん、〜くるち 【例】うみあっちゃー  
や しーみっし とうじゃさーに まぎいゆ  
ぬち とういるくとうん すん。(漁師は潜っ  
て鉾で大きな魚を刺して捕獲することもある)。

**ぬち ふいち すん** 〈非難する〉 【例】ふ  
すく むっちょーる っちゅぬちゃーぬ ぬち  
ふいち さんぐとう ちゅい たれーだれー  
さーに ならーすし やん。(至らない人たち  
を非難せずに一人ひとり補い合って教えるもの  
だ)【参】とうがみーん。

**ぬち むん** 〈刺繍〉 【例】はーいさーに  
ぬちやーぬちやー さがなー、いーちゅーぬ  
いるん けーてい かたぬ ちゅくらってい  
ぬちむんぬ ないん。(針で抜き刺しながら、糸  
の色も変えて、型が作られて刺繍ができる)。

**ぬちゅん** 〈募る〉【活】ぬちゃん、ぬかん、ぬ  
ち 【例】じん ぬちゅるたみ、しーとうぬち  
やーが なーふあぬ うふみちぬ はたんかい  
たっち あかはに ちきていとうらちょーた

ん。(募金のため、生徒達が那覇の大通りの端で立って赤い羽を付けてあげていた)。

**ぬち しん** 〈募金〉【例】とーほくぬ うふねー、うふしがりなみぬ ぬちしんっし あまんかい うくたん。(東北の大地震、大津波の募金をして現地に送った)。

**ぬぢゅん** 〈抜きとる、追い抜く、撮る〉【活】ぬぢゃん、ぬがん、ぬぢ 【例】しらげー ぬぢゅるむのー あらん、ぬぢーねー あとー ちぶるぬ きーや はぎーんでい いーさ。(白髪は抜きとるものではない、抜くと後で頭髮が禿げると言うよ)。くれー わらび そーいにぬぢえーし やん どー。(これは子どもの頃に撮ったものだよ)。くれー ゆー ぬがっとーさー。(これはよく撮れているよ)。

**ぬぢゅん** 〈だます〉【活】ぬぢゃん、ぬがん、ぬぢ 【例】っちゅ ぬぢまでい どうーぬ ゆく みたすんでいーる かんげーよーぬ わからん。(人をだましてまで自分の欲を満たすという考え方がわからない)。くにんかい はらいる じん ぬぢゅる しーよーん あんでい いーしが。(税金を免れる方法もあるというが)。

**ぬぬ** 〈布〉【例】んかしぬ っちょー どうーくる ちのー のーとーたしが、なまー ぬーんくいーん ちゅくらっとーしぬ あくとう、なんぢえー ねーん なんとーん。(昔の人は自分で着物を縫っていたが、現在は何でも既製品があるので、難儀することはない)。

**ぬばがいん** 〈ちょっと顔を見せる〉【活】ぬばがたん、ぬばがらん、ぬばがてい 【例】うりかーまでい ちゃくとう ぬばがたん どー。(このあたりに来たのでちょっと顔をみせたよ)。  
**ぬばがい かーぎ** 〈ちっとも顔を見せないこと〉【例】ぬーが っやーや ゆー ちょーたる むんぬ、ちかぐろー むる ぬばがい かーぎぬ ねーらん なてい。(何であなたはよく来ていたのに、最近はずっと顔も見せなくなつて)。

**ぬばすん** 〈延ばす、伸ばす〉【活】ぬばちゃん、ぬばさん、ぬばち 【例】うふかじぬ ちゅーくとう まちりぬ みちじゅねーぬ ふいー ぬばさったん。(台風が来るので祭りのパレードの日が延期された)。くしながねー ちゃーぬばし よー。こーぐー ないん どー。(背中はいつも伸ばしなさいよ。猫背になるよ)。

**ぬばちりーん** 〈くたばる〉【活】～ちりたん、～ちりらん、～ちりてい 【例】ぬー やていん かぎんでいーしぬ あいどう する。あとーさちぬ くとう ぬーん かんげーらんぐとう しくち ちゃーしー さーに ぬばちりてい ねーらん。(何でも加減というのがあるものだ。後先のことを何も考えないで仕事をずうっとしてくたばってしまった)。

**ぬば ちり むん** 〈だらしない者〉【例】をうとー ゆー はまやー やたしが、ゆぬなかぬ じんぬ みぐいぬ わっさくとう、しくちん ちぢきららん なていあとうから ぬばちりむん なんとーん。(夫は頑張りやだったが、世の中が不況なので、仕事も続けられなくなって後からだらしない者になっている)。

**ぬびーん／ぬぶん** 〈伸びる、延びる、がまんする〉【活】ぬびたん、ぬびらん、ぬびてい 【例】はかやーむしえー ぬだいちぢだいっしししでい いちゅん。(尺取り虫は延びたり縮んだりして進んで行く)。っやー すばーぬびてい／ぬでい かまらん なんとーん。(あなたのそばは延びて食べられなくなっている)。っやーや しーじゃ やくとう、ぬびり よー。(あなたは年上だから、がまんしなさいよ)。ししでー ぬびらりやびらんれー、わんが ぬびとーちゅさ。(肉の代金を延ばせないなら、私が我慢しておくさ(といって足蹴りする))。  
**ぬび** 〈寛容さ〉【活】ぬび でー 〈抱擁力〉【例】あぬ っちょー いふいぐわーぬ くとうしえー わじらん、いっぺー ぬびぬ あん どー。(あの人は少しのことでは怒らない、とても寛容さがあるよ)。をうとうぬ ぬびでーぬ あくとうどう たえー ちぢちょーる。(夫

が寛容だからこそ二人は続いている)。っやー  
さーに ぬび むっちとうらし よー やー。  
(あなたの方で免じてくれよ)。【参】うびでー  
(記憶力)、にじでー(忍耐力)、てーいん(堪え  
る)。

**ぬーび** 〈(手足を伸ばして) くつろぐこと〉

【例】しくちから けーてい ゆーふる いっち  
ぬーびさーに ビール ぬみねー いっぺー  
ゐーあんべー やん。(仕事から帰って風呂  
に入って手足を伸ばしてくつろいでビールを飲  
めば最高だ)。

**ぬびぬび** 〈延び延びに〉 【例】どうく い  
ちゆなさくとう、どうしとうぬ やくしくん  
ぬびぬび などーん。(あまりに忙しいので、友  
人との約束も延び延びになっている)。

**ぬぶいん** 〈登る、(中心地、中央に) 向かう〉

【活】ぬぶたん、ぬぶらん、ぬぶてい 【例】んか  
しぬ かみあちねーさーや すい なーふあ  
からびさっし ぬぶたい うりたいつし あち  
ねー そーたん。(昔の行商人は首里那覇を素  
足で上ったり下りたりして商売していた)。き  
ーんかい ぬぶいん／あがいん。(木に登る)。  
ふいら ぬぶいん。(坂に登る)。ふいら ぬぶ  
いかんていー すん。(坂に登るのに苦労する)。  
すぬひゃんうたきんかい うぐわんまーいぬ  
えーさちしーが すいぬぶい すん。(園之比  
屋御嶽に巡礼の挨拶をしに首里上りする)。【参】  
ふいら(上り坂)、さか(下り坂)。

**ぬぶいくだい すん** 〈坂を上り下りす

る〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】んかし  
えー くるまー ねーんたくとう、すいんかえ  
ー ぬぶいくだいっしどう あっちゅたん ど  
ー。(昔は車はなかったので、首里には坂を上り  
下りして行ったんだよ)。

**ぬぶしーん** 〈のぼせる、夢中になる〉【活】ぬ

ぶしたん、ぬぶしらん、ぬぶしてい 【例】から  
じぬ ぬび ちぶるぬ つんぶく なてい ぬ  
ぶしとーたくとう からじ ちみーが だんぱ  
ちやーんかい つんちゃん。(髪が伸びて頭が

重くなつてのぼせていたので、髪を切りに理容  
店に行った)。あぬ すーらーさる ういなぐ  
んかい ぬぶしとーてい ちむん とうやーさ  
らん などーん。(あのしっかり者の女性に夢  
中になっていて心も制御できなくなっている)。

**ぬぶん** 〈伸びる〉【活】ぬだん、ぬばん、ぬで  
い 【参】ぬぶしーん。

**ぬむん** 〈飲む、受け入れる〉【活】ぬだん、ぬ

まん、ぬでい 【例】ちゃんぐとう さき ぬで  
いん ういーらん、あれー わりがーみどう  
やん どー。(どれほど酒を飲んでも酔わない、  
あの人は底なしの割れた甕だよ)。っんみぶし  
ぬ さに うぬまま ぬんくだい、まぎあみぐ  
わー かなさんぐとう ぬーでいーんかい か  
からちやる くとうん あん。(梅干しの種そ  
のまま飲み込んだり、大きな飴を噛まないで喉  
にかからせたこともある)。っやーが いちゃ  
る くとー むる ぬむさ。(あなたが言った  
ことはすべて受け入れるさ)。

**ぬみ どうし** 〈飲み友だち〉 【例】とうし  
とういねー ちゃーぬみどうしん をうしえ  
ー まし。(歳をとれば茶飲み友達もいた方が  
いい)。

**ぬみ みじ** 〈飲み水〉 【例】ぬみみじえー  
すいどーから ちけーみじえー かーから  
ちーさーに くでい ちかとーん。(飲み水は  
水道から用水は井戸からつるべで汲んで使っ  
ている)。

**ぬらいん** 〈叱る〉【活】ぬらたん、ぬららん、

ぬらてい 【例】うんじゅなーたー うみんぐ  
わー っちゅんかい うっさなー ぶりー な  
とーくとう、ぬらやーに むぬ ならーし し  
みそーり よー。(お宅のお子さんは人様に大  
変失礼なことになっているので、叱って道理を  
教えてください)。っちゅんかい ぬらーりし  
ん、っちゅ ぬらいしん めー ちもー あら  
ん。(人に叱られるのも、人を叱るのもいい気持  
ちではない)。【参】あっくすん。



**ぬるっくいーん** 〈なまぬるくなる〉【活】

ぬるっくいたん、ぬるっくいらん、ぬるっくいてい 【例】くぬ ゆーや ぬるっくいてい  
ゆー たさんねー いららん。(この湯はなまぬるくて湯を加えないと入れない)。

**ぬるみーん** 〈ぬるめる〉【活】ぬるみたん、ぬ

るみらん、ぬるみてい 【例】ちゃー いってい

ちゃーきどう やくとう、いふえー ぬるみて  
いから ぬみ よー。(お茶入れたばかりだから、少しぬるめてから飲みなさいよ)。

**ぬるむん** 〈ぬるむ〉【活】ぬるだん、ぬるま

ん、ぬるでい 【例】うけーめー いってい う  
ちきとーけー、なんくる ぬるむさ。(お粥を入れて置いておきなさい、そのうちぬるむから)。

# ね

ねー 〈地震〉 【例】ねーぬ ゆとーたしが、あてー あていー？(地震が起きていたが、気がついてたか)。やまとうぬ まーをうてい ねーぬ ゆていん ふいるましこー ねーらん。(本土のどこで地震が起きても不思議ではない)。

ねー 〈苗〉 【例】ゴーヤーん ナーベラーん ねー こーやーに どうーぬ あたいぐわーんかい っういーてい たぬしみ そーん。(ゴーヤーもへちまも苗を買って自分の菜園に植えて楽しみにしている)。

ねーいん 〈(話し手に)物をわたす、(相手に)身体の一部を放つ〉 【活】ねーたん、ねーらん、ねーてい 【例】じん ねーれー。(お金をよこせ)。うり ねーてい とうらしえー／くいり よー。(それをよこしてくれ)。うれー わーむんどう やくとう とうてい ねーれー。(それは私のものなので取ってよこして)。なまー ねーららん どー。(今は渡せないよ)。しば ねーいん。(人を小馬鹿にして舌をだす)。いのー あし っんぢやする みちぬ ねーらんくとう ふいっちー しば ねーてい ハーハー そーん。(犬は汗腺がないのでしょっちゅう舌を出してハーハーしている)。ふいさ ねーいん。(足で蹴る)。ていー ねーいん。(手をだす)。しば ねーやー (人を小馬鹿にする者)、ふいさ ねーやー (足蹴りをする者)、ていー ねーやー (手を出す者)。【参】「ねーいん」の対象は相手に物か、身体の一部を差し出すのを意味し、「っんぢやすん」は外向きの動作なので、\*うれー わーむんどう やくとう っ

んぢやしえー (それは私のものなのでよこせ)；\*くち ねーやー (口を出す者)とは言わない。

ねーいん 〈なえる〉 【活】ねーたん、ねーらん、ねーてい 【例】どうく あちさぬ、やしえーぬ ねーとーくとう、はんぶんでーさーにむっちいけー。(あまりにも暑くて、野菜が萎えているので、半値で持って行きなさい)。しーぬぬきてい ねーとーっさ。(性根が抜けて弱っているよ)。ていーだぬ ねーていちよーん。(太陽が弱くなってきた)。ねーやー (しなれた野菜)。

ねーぐー 〈びっこ〉 【例】ねーぐーんねーっし あっちょーしが、ぬー さが？(びっこを引いて歩いているが、どうしたのか)。【参】どーにー すん。

ねーとう けーとう 〈似合い、似たり寄ったり〉 【例】いったー たえー ねーとうけーとう やさ。(あなた方二人はお似合いだね)。ねーとうけーとうぬ みーとうんだ (似合いの夫婦)。

ねーび 〈まね〉 【例】っちゅぬ ねーびっしどう ぬー やていん ないるぐとう ないる。(人のまねをしてこそ何でもできるようになる)。

ねーん、ねーらん 〈無い〉 【活】ねーんたん、ねーんてい 【例】くるまぬ あっちかんていー そーしが、ガソリンぬ ねーんどう あがやー？(車がなかなか動かないが、ガス欠なのかなあ)。じのー ねーのー あらん。(お金

はなくはない)。じのー ねーんていん ちー  
ぬ あくとう しわー ねーらん。(お金はな  
くても土地があるので心配はない)。

～ねーん 〈～してしまった〉 【例】メール  
んーちゆる ちむえーや ねーんたしが、う  
いなぐどうしからぬ めーる やたくとう ゆ

でい ねーん。(メールを見るつもりはなかつ  
たが、女友だちからのメールだったので読んで  
しまった)。【参】ちゅーぬ しんぶんぬ うふ  
ぐとう ゆでーをうらん(今日の新聞の大事件  
を読んではいない)；みじえー あみ？ いっ  
ちえーねーん／いっちえーをうらん(水はある  
か。入ってない／入ってはいない)。

# の

**のーいん** 〈綱をなう〉【活】のーたん、のーらん、のーてい 【例】なーふあぬ うふちなふいちぬ ちなー いくたいぬ しんかぬちゃーさに のーとーがやー？(那覇の大綱挽きの綱は何人の仲間で綱っているのかねえ)。

**のーいん** 〈直る〉【活】のーたん、のーらん、のーてい 【例】わらび そーいに っんぢやなー (=っんじやに) やたしが、なまー のーてい あたいめーぬ っちゅとー むる かわらん。(子どもの時にどもりだったが、今は治って普通の人とはまったく変わらない)。

**のーが** 〈名誉〉 【例】うやふあーふじぬ いんとうくぬ あていどう のーが などーさやー。(ご先祖の陰徳があってこそりっぱな名誉を得ているんだね、うやふあーふじぬ のーが くいらっとーん)。じんやかー のーが どう ふくいる。(お金よりも名誉を喜ぶ)。いったー っくわー まがらぬ のーが やさ。(あなたの子は親族の誉れだよ)。

**のーすん** 〈直す〉【活】のーちゃん、のーさん、のーてい

**のーらすん** 〈仕立て直す〉【活】のーらちゃん、のーらさん、のーらち 【例】っやー ちのー のーらちやる むんどう やる め？(あなたの着物は仕立てたものか)。っやー ちのー のーしみたる むんどう やる め？(あなたの着物は仕立て直したものか)。【参】あちれーむん(仕立てもの)。

**のーたる** 〈当然の、ふさわしい〉 【例】っくわぬ うやぬ くとう すしえー のーたる / あたいめーぬ くとうどう やる。(子が親のことをするのは当然のことだ)。くまー っういーりき どうくるぬ まんどーてい、なちじんちゅらーぬ しじまうとうだるぬ っんまりじまに のーたる / うちやとーる ちゅらじま やん。(ここは観光名所が多くて、今帰仁美人の志慶真うとうだるの古里にふさわしい風光明媚なところだ)。



# は、ば

**は一つ** 〈へえ〉 【例】は一つ、でーじ など  
ーさ やー。(へえ、大変だね)。は一つ、うん  
ぐとーるくとうぬ あてーさ やー。(へえ、そ  
んなことがあったんだね)。

**は一** 〈歯〉 【例】は一ぬ むし くわとーん。  
(虫歯になっている)。は一やみーや にじてい  
んにじらん ふしがらん あたい やむん  
どー やー。(歯痛はがまんしてもがまんでき  
ないほど痛いよね)。はーうちやげーや うた  
じょーじ やんでい。(歯反り返り者は歌上  
手だって)。はーかき むにーや すな けー。  
(奥歯にものが詰まった言い方はするな)。くぬ  
ばーじゃーや あんし うじらーさる、はー  
ぎしまーっし／はーぎしぎしーっし ならんさ  
[＝かんくーぶしく ないさ] (この幼児はなん  
とかわいいことか、かみつきたくてならない)。  
はーぬ むし くわてい むぬん かまらん  
さ。(虫歯になってもものも食べられないよ)。ひ  
っ! はーぬ むし くわいねー、むしえー  
ぬー くわいが? (へえっ、歯が虫を喰うのな  
ら、虫は何を喰うの)。

**は一 かき むにー** 〈舌足らず〉 【例】は  
ーかきむにー しーねー、っちゅんかい ぼっ  
ぺーらりーる ばすん あん。(舌足らずだと  
人に誤解されることもある)。

**は一 もー** 〈歯がないこと〉 【例】はーも  
ー われー (にやっと笑うこと)。どうく くわ  
ーし かみぢゅーさいねー／かだるあとー は  
ーみがき さんねー、はーや むし くわてい  
はーもーないん どー。(あまりお菓子を食  
べ過ぎると／食後は歯磨きしないと、虫歯にな

って歯がなくなるよ)。【参】ていーもー／ふい  
さもー／はなもー／きーもー (手／足／鼻／毛  
のない者)、ていーむっこー／ふいさむっこー  
／はなむっこー (手／足／鼻のなくなった者)。

**ばー** 〈の、もの、ところ、時、わけ〉 【例】  
ぬー やる ばーが? (何なのか、どうしたの  
か)。さんでい いーねー、ちゃーする ばー  
が? (しないと言ったら、どうするのか)。あい!  
みしーん さん ばーあ? (あれ、見せもし  
ないのか)。うりまでい わんが わかいる  
ばーあ? (そこまで私が分かるものか)。なま  
かんげーてい あっちゅる ばーどう やいび  
ーる。(今いろいろ考えているところです)。あ  
る ばーに しむくとう、はらり よー やー。  
(ある時でいいから、払いなさいよ)。ちゃーる  
ばーが たしかみてい くーわ。(どうい  
うわけか確かめて来い)。

**はーい** 〈針〉 【例】わったーや はーいぬ  
みーん とうーていちゃくとう、いったーが  
くさむにー さんてーまん ぬーん くてーら  
ん どー。(私たちは難儀も経験してきたので、  
お前たちが偉そうな口のきき方をしても少しも  
応えないよ)。ちかぐろー はーいぬ みーん  
かい いーちゅーん ぬちえーうーさん など  
ーん。(最近針の眼に糸も通せなくなっている)。

**はーえー** 〈駆け足〉 【例】あったに あみ  
ふやーに、いっさんばーえーっし／はーえーご  
んごんっし やーんかい けーたん。(急に雨  
が降って一目散に駆けて家に帰った)。んかし

えー はーえーさー やたしが、わんとう はーえーすーぶっし んーぢゅみ？(昔は駆け足が速かったんだが、私と駆けっこしてみるか)。

### はーがー、ひゃーがー 〈(車の)タイヤ〉

【例】っやー くるまぬ はーがーや くーきぬぎてー をうらに？(あなたの車のタイヤは空気抜けてはいないか)。

### ばーき 〈ざる、かご〉 【例】あら ばーき

(目の粗いざる)、ゆな ばーき (目の細かいざる)。「ばーき」んでいしえー、だきさーに ちゅくてーる、すくぬ ふいらたー そーてい しかくーぬ いりむん やん。(「ばーき」とは、竹でできた、底が平べったくて四角の容器だ)。ふいらたー そーし とうれー。(平たいのを取ってくれ)。【参】そーき (ざる、=すくぬ まるさる いりむん)。

### はーち 〈鉢〉 【例】はなばーちんかい みじ

かきていー？(鉢植えに水をかけたか)。

### ばーばー 〈勢いよく燃えているさま〉 【例】

ふいーぬ ばーばーっし めーとーん。(火が勢いよく燃えている)。

### はーべーるー 〈蝶〉 【例】はーべーるー

ぬ やーんかい ふえーりんちちーねー、とう っかちみてい ちび ふいーっし いふいぐわー やちやーに ちかーったる とうくるんかい いきよーんでい ふかんかい っんぢやすんでいーる なれーぬ あたんでい。(蝶が家に入り込んできたら、捕まえて尻尾を火で少し焼きを入れて遣われたところに行きなさいよと外に出すという習慣があったって)。【参】ゆーるー。

### はーや 〈柱〉 【例】んかしえー みーどん

こーいねー、なかばーやんかい あていてい「ちのー みーくみーく ぬちえー ながーながーとう」んでい いちから ていー とうーちゃん どー。(昔は新しい服を買ったら、中柱に当てて「着物はいつまでも新しく命はいつ

までの長く」と唱えてから袖に手を通したもんだよ)。はーやぬ あまいさーに きーまっくわ ちゅくたんでい。(柱の残りで木枕を作ったんだとさ)。まちやーぐわーぬ すばんかいでいんしんばーやぬ あさ。(店の側に電柱があるよ)。やーをうてい あましーねー はーやんかい ちぶる うっち わいん どー。(家でふざけたら柱に頭をぶつけて割ってしまうよ)。なかばーや (大黒柱)。

### ぱーらんくー 〈太鼓の一種〉 【例】パー

ランクー (片張りの胴の短い小太鼓)。かっちのー パーランクー ちかていぬ エイサーっし なーぬ たっちょーん。(勝連はパーランクーを使っのエイサーで有名だ)。

### はーりー／はーれー 〈爬龍船漕ぎ〉

【例】ゆっかぬ ふいー ないねー、あじゃ、い ちまんをうてー はーりーぬ あん。(旧暦の5月4日になると、安謝や糸満では爬龍船漕ぎの競争がある)。

### はいん 〈流れる、走る〉【活】はたん、はらん、

はてい 【例】ふにぬ／っんまぬ はいん。(船が／馬が走る)。ちーぬ はいん。(血が出る、流れる)。ちー／あし／みじぬ はとーん。(血／汗／水が流れている)。ちちぬ はいや っんまぬ はい。(月日も馬の疾走の如し、光陰矢の如し)。

### はらすん 〈流す、走らせる〉【活】はらちゃん、

はらさん、はらち 【例】ちー はらすん。(血を出す、流す)。みじ はらしえー。(水を流しなさい、水を出しなさい)。あし はらしーねー、のーいん どー。(汗をかいたら、治るよ)。【参】ちーぬ えーいん (乳が出る)、ちー えーすん (乳を出す)、やなぢー とうらちちゃん (悪い血を吸い出してもらって来た)。

### はいん 〈張る〉【活】はたん、はらん、はてい

【例】かみぢゅーさぬ、わた はとーん。(食べ過ぎでお腹が張っている)。くえーてい わた はとーくとう、あっちゃーあっちゃーさーに

どうー つんぢゅかすしえー まし やん  
どー。(太ってお腹が出ているので、外歩きをして  
体を動かすのはいいよ)。あみぬ うていて  
いちゅーくとう、ふえーくなー かさ はれー。  
(雨が落ちて来るので、はやく傘を開きなさい)。  
いばやー やくとう、ありとー ふいらーらら  
ん どー。(すぐに威張るのであの人とはつき  
合えないよ)。

**はいん** 〈貼る〉【活】はたん、はらん、はてい  
【例】ふだいりぬ しらしむんぬ あまくま  
はらっとーん。(選挙のポスターがあちらこ  
ちらに貼られている)。かた くふあてい やど  
ーくとう、はいぐすい はてい とうらさに?  
(肩が凝って痛いので、貼り薬を貼ってくれない  
か)。

**はいん** 〈下半身を露出する〉【活】はたん、は  
らん、はてい 【例】おしめ けーいんちどう  
すしが、ちび はてい ふいんぎまーい す  
ん。(おしめを換えようとするがお尻を出して  
逃げまわる)。

**まる ばい** 〈下半身のまる出し〉

**はか** 〈墓〉【例】かーみなくーばか／かーみぬ  
くーばか(亀甲墓)、ふぁーふーばか(破風墓)、  
ふいんちゃーばか(横穴式墓)。うちなーをう  
てー しーみーとう たなばたにどう うふあ  
かめーんかい いちゆる。(沖縄では清明祭と  
七夕のときにだけお墓参りに行く)。**【参】**はる。

**はかいん** 〈計る〉【活】はかたん、はからん、  
はかてい  
**はかやー むし** 〈しゃくとり虫〉【例】は  
かやーむしぬ ゆだ はかとーんねーっし ほ  
ーとーん。(しゃくとり虫が枝を計るように這  
っている)。

**はかぐち** 〈仕事のし始め〉【例】くぬ わじ  
やー はかぐちぬ あきらわどう ないさ や  
ー。(この仕事は端緒が開かないとできないね)。  
あり かんげー くり かんげーっし やっど  
うかつとう はかぐちぬ あち、なー しくち

ん しー やしく などーさ。(あれこれ考え  
てやっとこさ仕事の端緒が開き、仕事もし易く  
なったよ)。

**はかすん** 〈弁償させる〉【活】はかちゃん、は  
かさん、はかち 【例】うり ねーんなちやい  
やんたい しーねー、はかすん どー。(それを  
失くしたり壊したりしたら、弁償させるよ)。

**はぎーん** 〈剥ける〉【活】はぎたん、はぎら  
ん、はぎてい 【例】みー はがー(結膜炎の  
者)。ふいーく ないねー、くちしばん かさか  
さー なてい、かー はぎーっさ。(寒くなる  
と、唇も乾燥して皮がむける)。どうく なげー  
すむちびけーん ゆみーねー、あとー みー  
はぎーん どー。(あまりに長く本ばかりを  
読んだら、眼が充血してしまうよ)。

**はく** 〈箱〉【例】ちゅはく、たはく、みはく、  
ゆはく、いちはく、むはく、ななはく、やはく、  
くくぬはく(一箱、二箱、三箱、…、九箱)。ちゅ  
らばく かめーたん。(きれいな箱を見つけた)。

**ばさー** 〈芭蕉、芭蕉布〉【例】くれー ばさ  
ーっし ちゅくらっとーん。(これは芭蕉布で  
作られている)。

**ばさー ぢん** 〈芭蕉布の着物〉【例】ばさ  
ーっし ちゅくてーる ちんぬどう ばさーぢ  
ん やる。(芭蕉布で作った服が「ばさーぢん」  
だ)。

**ばさ ない** 〈バナナ〉【例】ばさなえー  
しまーぬどう まーさる。(バナナは地元産が  
おいしい)。しまばさなえー みーむなー や  
さ。ばさーぬ ないむのー をうーむなー な  
てい かまらん どー。(島内産のバナナは雌  
だ。芭蕉の実は雄なので食べられないよ)。

**はし** 〈橋、はしご〉【例】やーぬ っういーん  
かい はし かきてい かーら ふちゃーぬ  
うかーさ わじゃ そーたん。(屋根の上には  
しごをかけて瓦職人が危ない仕事をしていた)。

**はじ** 〈恥〉【例】はじ ちらー(恥知らず)。



**はじ** 〈はず、推測〉 【例】っやーん いちゅしゅー まし やる はじ どー。(あなたも行くのがいいはずだよ)。ちゅーる はじ やる っちゅぬ なーだ くーんしが、ぬーがなあいどう すたがやー？(来るはずの人がまだ来ないが、何かあったのかね)。

**はじち** 〈入れ墨〉 【例】んかしゅー、うちなーぬ ういなごー ていーぬ なーんかい はじち すたん。うぬ はじちゅー いや(=やー)、ふし、みんさーがら やたん。(昔は、沖縄の女性は手の甲に入れ墨をした。その入れ墨は射矢、星、絣柄だった)。

**はしる** 〈開戸〉 【例】はしるぐち／とうばしる(玄関)。はしる みちれー。(雨戸を閉めなさい)。はしるぐちゅー うちやくぬ めんしゅーるとくま やくとう くみむのー かたはらんかい ゆしとーてい ならびり よー。(玄関先はお客さんがいらっしゃるところだから、履物はそばに寄せて並べなさいよ)。

**はしし** 〈歯茎〉 【例】ちゅくいばーぬ あたらん なてい、はししぬ ふっくいてい やどーん。(入れ歯が合わなくなって、歯茎がふくれて痛い)。

**はじまいん** 〈始まる〉【活】はじみたん、はじまらん、はじまてい

**はじみーん** 〈始める〉【活】はじみたん、まじみらん、はじみてい 【例】うりが やなぐしぬ またん はじまとーさ。またん あぬぐとう そーさ やー。(その人の悪い癖がまたも始まっているよ。またも同じことをしているね)。

**はじゃきーん** 〈～しそこなう〉【活】はじゃきたん、はじゃきらん、はじゃきてい 【例】こーらやーんでい うむとーたる ちん こーいはじゃきてい なまー ちるだい そーん。(買おうと思っていた服を買い損ねて今はがっかりしている)。あぬ さた そーたる ゑい

が んーちはじゃきたっさー。(あのうわさの映画を観損なったよ)。

**ばす／ばー** 〈とき、際、わけ〉 【例】うぬ ばーや／うぬ ばそー／うんな ばーねー ちゃー すが？(そんな時は／そんな時にはどうするのか)。うぬ くとー ありが ちゃる ばす やたしが。(そのことはあの人が来たときだったが)。っやーが あん すしゅー、ちゅーる ばす／ばー が？(おまえがそうするのはどういうわけか)。ぬー やる ばー が？(どういうわけか)。

**はた** 〈端、そば〉 【例】うみばた(海端)、みちばた(道ばた)、まちばた(市場のそば)、くむいばた(池／沼のはた)。にしぬ はた(北の方面)、あがりばた(東の方面)、いりばた(西の方面)、まーぬ はた(どの方面)。ふえーぬ／にしぬ はたんかい をうとーけー。(南の／北の方にそのまま居なさい)。いったー やーや ぬふあー まー やが？ わったーや ふうえーぬ はた やん どー。あんしゅー、うるくぬ はら やん やー。うるくぬ まーりかー やが？ あかんみえきぬ みーぬ めー やん どー。(あなたの家は方角はどのあたりか。家は南の方面だよ。それじゃー、小祿方面だね。小祿のどのあたりか。赤嶺駅のすぐ前だよ)。じてんしやぬ ちゅーくとう、はたんかい なれー。(自転車が来るので、側に寄りなさい)。【参】はら。

**はたかいん** 〈場所を取る〉【活】はたかたん、はたからん、はたかてい 【例】どうーちゅいさーに うさきーなー むしる はたかてい なー いふえー っちゅぬ くとー かんげーていん しみどう すしがやー。(自分一人でそんなにむしろで場所取りをして、もう少し人のことを考えてもいいのにね)。ういなごー ふいさ はたかてー ならん どー。ふーじぬ あるぐとうっし ゐりよー。(女性は足を拡げてはいけない。見た目がいいように座りなさいよ)。

**はたらちゅん** 〈働く〉 【例】はたらちゅしがどう むのー かみうーする。(働く者が食べていける)。

**はだ むち** 〈肌心地〉 【例】うちなーやしむちち ないねー、ゐーはだむち なてい、ゐーあんべー ないん どー。(沖縄は11月になると、心地よくなって、快適になるよ)。

**ばち** 〈罰〉 【例】やなぐとう しーねー、ばちぬ あたいん。(悪い事をすると、罰を受ける)。ちちゅ あーあー しみーねー、ちちゅぬばち かんぢゅん どー。(人をひどい目に遭わせると、その罰があたるよ)。うや あたらさ さんねー、うやぬばち かんぢゅん どー。(親を大切にしないと、親の罰があたるよ)。つくわ なち うっちゃんぎーねー、つくわぬばち かんぢゅん どー。(子を産んで放っておくと、子の罰があたるよ)。

**ばち** 〈(太鼓やどらを) 打つ棒〉 【例】てーくぬ ばち (太鼓の撥)。

**はち**〜〈初〉 【例】はちあっちー (初歩き)、はちうくし (初起こし)、はちあちねー (初商い)。うやふあーふじんかい はちぢャーとう はちみじ うさぎーん。(祖先に初茶と初水をお供えする)。くぬ うさんでーや ぬーしぬ くえーぶー やくとう、はちえー とうれー。(この供え物は主人の食にありつく果報なので、初ものは取っておきなさい)。はちなんか (=ちちゅぬ けーまーち はじみていぬ なんか すーこー、初七日法事)、たなんか (二回目の七日法事)、みなんか (三回目の七日法事)、ゆなんか (四回目の七日法事)、いちなんか (五回目の七日法事)、むなんか (六回目の七日法事)、しじゅーくにち (=なななんか、最後の七日法事)、ふいーうち (1〜49日の法事)。  
【参】接頭辞「はち」に対して、同義の名詞「はな」があるが、しーはじみ (し始め)、しーはな (し始め) があり、はちはな (初もの) もある。

**はぢーん／はぢゅん** 〈脱ぐ〉 【活】はぢたん、はぢらん、はぢてい／はぢゃん、はがん、

はぢ 【例】ふかから ちーねー／ちゃらー／けーたらー、ちのー はぢていから ゆくりよー。(外から来たら／来たら／帰ったら、服は脱いでから休みなさいよ)。ちん はぢれー。(服を脱ぎなさい)。

**はちか そーぐわち** 〈沖縄の正月の最終日〉 【例】はちかそーぐわちねー じゅりっんまぬ あん。(旧暦正月20日はジュリ馬祭りがある)。

**ばち くわいん** 〈幸運である〉 【活】〜くわたん、〜くわーん、〜くわてい 【例】あん やれー っやーや ばちくわとーっさー。(そうであればあなたは幸運だよ)。

**ぱちみかすん** 〈パチンと音をたてる〉 【活】ぱちみかちゃん、ぱちみかさん、ぱちみかち 【例】むぬ なぎたい、ちちゅ きっちやい する ばすねー、ていーふいさ ぱちみかさーにしちきーん。(物を投げたり、人を蹴ったりするときには、手足をパチンと打って躡ける)。

**はちャー** 〈蜂〉 【例】はちャーんかい ささりーねー、うぬ はーい ぬぢ、くちさーに どうく すつぶやーに はちっんぢャち、ふいじゅる みじっし ふいじゅらさーに、うりから いさぬ やーんかい いちゅん。(蜂に刺されると、その毒針を抜いで、口で毒を吸い出して、冷水で洗って、それから医者のところに行く)。

**はちゅん／はきーん** 〈掛ける〉 【活】はちゃん、はかん、はち／はきたん、はきらん、はきてい 【例】くぬ くびかじゃい くびからはけー／はきれー。(この首飾りを首に掛けなさい)。くぬ ぼーじゃーや ていーんふいさん たま はち、あんし まってんぐわーくえーてい がんじゅーぎさる。(この乳児は手も足もなんとまるまると太って丈夫そうなことか)。

**はちゅん** 〈吐く〉 【活】はちゃん、はかん、はち 【例】ゆくしむにー さんぐとう まっと

ーば はけー。(嘘をつかないで正直に言いなさい)。うっさ はけーからー、まーまでいんすし やん どー。(それだけ口にしたからにはどこまでもすべきだ)。

**はちゃい ふいっちゃい** 〈吐いたり下したり〉【例】はちゃいふいっちゃい すん。(吐いたり下したりする)。

**はちゅん** 〈発つ、逝く〉【活】はちゃん、はたん、はち 【例】っやー をうとー なー しゅちんかい はちー?(ご主人はもう仕事に出たか)。あぬ っちょー きっさ はち をうらん。(あの人はすでに発って(又は、逝って)しまっ居ない)。いーなぬふえーなー はち をうらん。(こんなにも早く行ってしまっ居ない)。ちれー なー むる むっち はちねーらんくとう、ちゅーや っんまんかい ちれー うちきてーならんさ やー。(ゴミはもう全部持って行ってしまったので、今日はそこにゴミは置けないね)。

**はちゅん** 〈弁償する〉【活】はちゃん、はかん、はち 【例】っちゅぬ くるま やんてい／きじちきてい ちゃーしん はかんとーならんぬー なんとーっさー。(人の車を傷つけてどうしても弁償しなければならなくなっている)。くれー わーがどう ばっペーてい しえーるくとう やくとう むる はちゅさ。(これは私が間違えてしたことなので全て弁償するよ)。

**はかすん** 〈弁償させる〉【活】はかちゃん、はかさん、はかち 【例】うり やんたい ねーん なちゃい しーねー はかすん どー。(それを壊したり無くしたりしたら弁償させるよ)。

**はちゃ ぐみ** 〈もち米のおこし〉【例】はちゃぐみねー しーとう あかーぬ あてい、くーさる ばすねー やーさのーし やたん。(餅米のおこしには白と赤があって、幼い頃にはおやつだった)。

**はぢゅん** 〈剥ぐ〉【活】はぢゃん、はがん、はぢ 【例】いゆぬ かー はぢゅん。(魚の皮を

はぐ)。しらしぐとう しえーる かペー はげー／はがしえー。(お知らせの紙は剥がしなさい)。【参】「はがすん」とも言う。

**はぢゅん** 〈配る〉【活】はぢゃん、はがん、はぢ 【例】あれー くーさいに しんぶんはぢゃー そーたん どー。(あの人は幼いときに新聞配達していたよ)。しーとう そーいねー ゆー ひこーきから びら はぢゅたん どー。(生徒の頃にはよく飛行機から宣伝ビラを撒いていたよ)。こーなんぬ やまとうぬ こーこー むる まかちやくとう けんちょーぬ めーをうてい ゆーしょーぬびら はぢょーたん。(興南が本土の高校をみんな負かしたので県庁の前で優勝の号外を配っていた)。

**はぢゅん** 〈船を造る〉【活】はぢゃん、はがん、はぢ 【例】ふに はぢゅん。(船を造る)。

**ぱったり げーやー すん** 〈パタパタする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】いま いよー ぱったりげーやー すくとう なりらん ちゅのー かつみうーさん。(活魚はパタパタするので慣れない人には捕まえられない)。

**はっちりーん** 〈はじける〉【活】はっちりたん、はっちりらん、はっちりてい 【例】じゃくらぬ っんでい はっちりとーん。(ザクロが熟んではち切れている)。はっちりらわどう／はっちりていからどう かまりーん どー。(はち切れれば／はち切れてから食べられるよ)。どうく くえーてい あんし ちんぬ はっちりとーる。(あまりにも太ってあんなに服がはち切れている)。「さーたーあんだぎー」や はっちりとーしどう まーさる。「さーたーあんだぎー」ははち切れているのがおいしい)。

**はっちりら ちりら すん** 〈はちきれそうだ〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】ありんくりん いってーくとう ふくるぬ なまにん はっちりらちりら そーん。(あれもこれも入っているので、袋は今にもはち切れそうになっている)。

**はっちゃかいん** 〈出くわす〉【活】はっちゃかたん、はっちゃからん、はっちゃかてい  
 【例】んかしどうしとう はっちゃかたくとう、  
 でいかでいか コーヒー ぬみーが いか／い  
 ちゆみ んでいいち 2、3じかぬん はなし  
 さん。(昔の友と出くわしたので、じゃーコー  
 ヒーを飲みに行こう／行こうかといって2、3  
 時間も話をした)。おーえーぬ みーんかい  
 はっちゃかたん。(けんかしているなかに出く  
 わした)。ないむん とうてーる とうくまん  
 かい はっちゃかてーさ やー。っやーん む  
 っちっんちゃーに かめー。くえーぶー やさ  
 やー。(果物を収穫したところに出くわした  
 ね。あなたも持って行って食べなさい。食べ物  
 の付きがあるね)。

**はっとう** 〈禁止〉【例】っちゆぬ あちまい  
 どうくろー てーげー たばこー はっとう  
 なてい たばくふちゃーや じゃーふえー な  
 とーん。(人が集まるところはだいたいタバコ  
 は禁止になっていて喫煙者は困っている)。ま  
 ちりぬ あくとう くぬみちえー くるまー  
 むる はっとう などーん。(祭りがあるので  
 この道は車はみんな禁止になっている)。

**はっぱいん** 〈大きく見開く〉【活】はっぱた  
 ん、はっぱらん、はっぱてい 【例】みーや た  
 ーちなー むっちよーてい とうめーうーさん  
 どう ある め? なーふいん みー はっぱ  
 てい とうめーれー。(目を2つ持っても  
 探せないのか。もっと目を大きく見開いて探し  
 なさい)。

**ばっぺー** 〈間違い〉【例】みちばっぺー (道  
 を間違えること)、っちゅばっぺー (人違い)、  
 みーばっぺー (見間違い)、しーばっぺー (や  
 り間違えること)、かちばっぺー (書き間違えるこ  
 と)、にんぢばっぺー (寝違い)。いーばっぺー  
 や ちちのーし。(言い間違いは補って聞きな  
 さい)。っやー むのー いみくじ わからん  
 どー。ばっぺーひっぺー そーさ やー。(あ  
 なたのはわけがわからないよ。あれこれ間違っ

ているよ)。

**はっぶがすん** 〈吐き出す〉【活】はっぶがち  
 ゃん、はっぶがさん、はっぶがち 【例】ちむん  
 かい ある くとう くわっくわさんぐとう  
 むる はっぶがしわどう かるく ないん ど  
 ー。(心にあることを隠さずにみんな吐き出せ  
 ば軽くなるよ)。

**はてい** 〈終わり、キリ〉【例】あわりぬ  
 だんだん、はていぬ ねーらん。(苦労が続い  
 て、終わりが無い)。ういなぐぬ はていれー  
 じゃー ないん。(女はしまいには蛇になる)。  
 めーとー かわてい ゆくぬ っんぢていっち  
 ゆくぢゅーく なてい、あとー はていぬ  
 ねーらん ないん。(以前とは変わって欲が出  
 てきてずうずうしくなっていて、終いには終わりが  
 なくなる)。はいー (何をしでかすか解らない  
 者)、=ぬーがすら わからん むん、=ぬち  
 してい むん=はてい むん(命知らず)。は  
 ていーな むん(どうしようもない者、=した  
 たか むん=ちゃーん ならん っちゅ)、。は  
 ていぬ くさー (どうしようもないほど腐れ  
 きった者)、はていぬ うーまくー (どうしよ  
 うもない生意気者、=とういんちかみんならん  
 っちゅ)。はていぬ あんまさ などーさ。(ど  
 うしようもないやっかいなことになっている)。  
 はてい あんまさ (どうしようもない厄介なこ  
 と)、はてい わらばー (どうしようもない餓  
 鬼)、はてい ゆーくー (すごい欲張り)、はて  
 い ういなぐ (何をしでかすか解らない女、\*  
 はていういきが=ぬーが すら わからん う  
 いなぐ)。なー ゆみはていてーくとう けー  
 さ やー。(もう読み終えたので返すね)。

**はな** 〈鼻〉【例】はな ふちゆん。(いびきをか  
 く)。はな ふいーん／ふいっちょーん。(くし  
 やみをする／している)。はな しぴーん。(鼻  
 をかむ)。はな ししーん。(鼻をすする)。はな  
 しぶいん／しっぶいん。(鼻を吸引する)。は  
 な ふらちょーん。(威張っている、=はな  
 たかだかー などーん)。はな かたまー

なやーに めーぬ かじゃん さん。(鼻づまりになって何の臭いもしない)。はな むにー (鼻声)、はな だい (鼻みず)、はなだやー わらばー (鼻垂れ小僧)、はな しっぴらー／しっぴるー (鼻が低い者)。

**はな ふいちゅん** 〈くしゃみをする〉【例】はなびけー ふいっちょーん。(くしゃみばかりしている)。ありんかえー むぬん いららん、はなん ふいららん っちゅ やくとう、くとうばー ゆー ちー ちきらんとーならん どー。(あの人にはものも言えない、くしゃみもできない、ことばはよく気をつけないといけないよ)。

**はな しち** 〈風邪(鼻が湿気ていること)〉【例】はなしち そーん＝はな ぴーぴー そーん。(風邪をひいている)。はなしちがたー あらに？(風邪ひきそうじゃないの)。はなしち かかいぎさー あらに？(風邪を引きそうじゃないの)。はなしちぬ ふえーとーくとう からんぐとう どうーん ふいじゅらすな よー。(風邪が流行っているの、ひかないように体も冷やすなよ)。

**はな** 〈はじめ〉【例】にーはな やくとう、ふた あきーねー なまにー すん どー。(煮始めだから、ふたを開けたら生煮えするよ)。にんぢはなに でんわぬ なやーに うりから あとー ちゃー みーぐふあいさーに にんだらんたん。(寝入りばなに電話が鳴ってそれから後はずっと眼がさえて眠れなかった)。ちゅーや たびぬ っんぢはな やくとう、ほーちえー すな よー。(今日は旅の出立なので、掃き掃除はするなよ)。

**はな** 〈花〉

**はな あたい** 〈花園〉【例】やーぬ めーや はなあたい、くさーや やしえーあたい、めーなち はるわじゃ そーてい たぬしみ やん。(家の前は花園、裏は菜園、毎日畑仕事していて楽しんでいる)。

**はな いちー** 〈花瓶〉【例】はないちー むっちくーわ。(花瓶を持っておいで)。

**はながさ** 〈花笠〉【例】はながさー をう どういびけーにどう ちかいる。(花笠は踊りにしか使わない)。

**はなすん** 〈離す〉【活】はなちゃん、はなさん、はなち 【例】ていー はなしーねー でーじ ないくとう、とうっかちみり よー。(手を離すと大変なことになるから、ちゃんとつかみなさいよ)。

**はなすん** 〈話す〉【活】はなちゃん、あなさん、はなち

**はなし はながく** 〈話半学〉【例】っちゅぬ あちまい どうくるんかえー いちゅしやんでい。ぬーがんでい いーねー、はなし はながく やくとう、ちちゅる うっさー むる たみ ないん。(人が集まるところへは行くべきだとき。どうしてかと言うと、話だけでも半分は学べるということなので、聞くだけでためになる)。

**はねーかすん** 〈盛り上げる〉【活】はねーちゃん、はねーかさん、はねーかち

**はねーちゅん** 〈盛り上がる〉【活】はねーちゃん、はねーかん、はねーち 【例】じゃー はねーかさー (座を盛り上げる者、＝じゃー むちゃー)。ありが ちーねー、じゃーぬ かわてい はねーちゅん どー やー。(あの人が来ると、雰囲気が変わってにぎやかになるよね)。

**はばかいん** 〈広い場所をとる〉【活】はばかたん、はばからん、はばかてい 【例】とうー いみちんかい はばかいんな けー。(通路に広がらないでくれ)。ふぁーぬ はばかとーくとう、ちーしえー まし あらに？(葉が広がっているので、切った方がよいのではないか)。  
【参】いったー あたいぐわーや あんし かんだぬ ふちゃーてい、ふいさん いりららんさ。(あなたの家の菜園はかずらがあんなに茂って、足の踏み場もない)。

**ばばっくわーすん** 〈ごまかす〉【活】ばばっくわーちゃん、ばばっくわーさん、ばばっく

わーち 【例】あれー うちあた い する く  
とう いらっ てい、あんいー かんいーっし  
ばばっくわーちよーたん。(あの人は思い当た  
ることを言われて、あれこれ言っ てごまかして  
いた)。ちかぐろー っんまがどう やんどー  
んち うとうすい ばばっくわーち じん ぬ  
ぢゆる やなむんぬ をうくとう ちー ちき  
らな。(近頃は孫だよといっ てお年寄りをごま  
かしてお金をだまし取る悪い人がいるので気を  
付けようね)。

**はばちゅん** 〈はかどる、さばく、たいらげる〉  
【活】はばちゃん、はばかん、はばち 【例】び  
んちよーや／しくちえー はばちよーみ？(勉  
強は／仕事ははかどっ ているか)。ちゅーぬ  
ういむのー むる はばちー？(今日の売り物  
はみんなさばいたか)。くぬ くわっちーや  
むる はばけー。(この御馳走はみんなたいら  
げなさい)。

**はぶ** 〈毒蛇〉 【例】ハブぬぐとう かくじぬ  
とうがとーる むぬんかい ハブかくじゃーん  
でい いちよーん。(ハブのように顎骨が尖っ  
ている者を「ハブかくじゃー」と呼んでいる)。  
はばー しでいていちゃーきぬ ぐまーぬどう  
どうこー ちゅーさんでい どー。(ハブは  
生まれたばかりの小さいのが毒は強いんだっ  
てよ)。ハブんかい うたりーん／うたったん／  
さりーん。(ハブに咬まれる／咬まれた／やら  
れる)。

**はまいん** 〈頑張る〉 【活】はまたん、はまら  
ん、はまてい 【例】どうく びんちよー はま  
いぢゅーさぬ、かたー ゆかいねー くふあと  
ーん。(あまりに勉強に熱中したので、肩はか  
なり凝っ ている)。していみてい／しとうみて  
い うきていから にんぢゆる みーまでい  
めーがめーなち るぬくとう びけー ちゃー  
しーっし どうく はまいぢゅーこー ねー  
らに？(朝早く起きてから眠るときまで毎日同  
じことだけをしてあまりに頑張りすぎでいなか  
い)。

**はら** 〈方面、側〉 【例】あぬ はら(あっち  
の方)、ふえーぬ はら(南の方、南側)。まー  
ぬ はら(どの方面)。【参】はた。

**はら** 〈母方の親戚〉 【例】はら わかやー(母  
親が違う人)、しじ わかやー(父親が違う人)。  
っやー はらー まー やが？(あなたの母方  
の親戚はどこなのか)。いっ たー はらどう／  
まがらどう やる る？(お前たちは親族なの  
か)。まがらびけーんかい はぎ よー。(親族  
だけに配りなさいよ)。あっ たーや はら て  
いーち やん どー。(あの人たちは兄弟だよ)。  
【参】ちーかー(血族)、っうえーか(親戚)、ま  
がら(親類)。

**はらいん** 〈払う〉 【活】はらたん、はらいん、  
はらてい 【例】はれーむんぬどう うふさく  
とう どうーぢけー する じんぬ いきらさ  
ん。(支払いが多いので自分で使うお金が少な  
い)。ちかぐろー じんぬ みぐいぬ わっさ  
くとう はれーぬ わっさる っちゅぬ うほ  
ーく なんとーん。(近頃は金めぐりが悪いので  
支払いが滞る人が増えている)。  
**はらい めー** 〈支払い〉 【例】はらいめー  
ぬ あくとう、じぬんかい っわーっ とーぐと  
う ちむぬまどうん ねーらん。(支払いがあ  
るので、お金に追われているようで気が休まら  
ない)。

**はらすん** 〈流す、走らせる〉 【活】はらちゃ  
ん、はらさん、はらち 【参】はいん(流れる、  
走る)。

**はらすん** 〈晴らす〉 【活】はらちゃん、はらさ  
ん、はらち 【例】あみ はらちから いけー。  
(雨がやむのを待っ てから行きなさい)。やく／  
うらみ はらすん。(厄／恨みをはらす)。

**はりーん** 〈晴れる〉 【活】はりたん、はりら  
ん、はりてい 【例】あみん はりらん まーる  
／ばーる っんぢてい っんぢやん。(雨も晴  
れないうちに出っ て行っ た)。ちゃー ないがん  
でい うむてー をうたしが、さちぬ みーた

くとう、ちむぬ はりとーん。(どうなるかと思  
ってはいたが、先が見えたので、心は晴れ晴れ  
している)。っんまりどうしえー やくむち  
やくとう、とうしぬ あきていどう はりやく  
ない。 (生年祝いの年は厄年なので、年が明  
けてから厄払いができる)。

**はりーん** 〈腫れる〉【活】はりたん、はりら  
ん、はりてい 【例】ちら／わた／に一ぶたーぬ  
はりーん。(顔／お腹／できものが腫れる)。  
ちぬーや ぬみぢゅーさどう あたがやー。ち  
ら はとーんねー すさ。(昨日は飲み過ぎた  
のかなあ、顔が腫れているようだ)。

**ばりん** 〈たわし〉 【例】ふかから けーて  
い ちーねー かーをうてい ばりんさーに  
ていーん ふいさん あらていから うちんか  
い いーん どー。(外から帰って来たら井戸  
でたわしで手足を洗ってから家の中に入るんだ  
よ)。【参】「さーら」とも言う。

**はる** 〈耕地〉 【例】はる あっチャー (農業従  
事者)。はる あっちゅん。(農業をする)。はる  
んかい いちゅん。(田畑に行く)。やーぬ く  
さーぬ あたいぐわーんかい どうーくる ち  
ゅくてーる びら やくとう、はるさーたーぬ  
ぐとー あらん、かーげー わっさしが、か  
むみ? (家の裏で自分で作っているネギなので、  
農作人たちのようではなくて、見かけは悪いが、  
食べるか)。はる ちゅくてい しち まてい。  
(畑を耕して植え付け時期を待て)。

**はる** 〈墓〉 【例】はる まぶやー (墓で「ま  
ぶやー ぐみ (落とした魂を込めること)」を  
すること)。まぶやー ぐみ さんねー、だや  
ーぐわー なすん どー。(魂込めをしないと  
精気が抜け出た状態にしてしまうよ)。はる  
すーじ (墓のお祝い)。みーばか ちゅくたん  
どー。(新しい墓をつくったよ)。【参】はか。  
【参】ふーる まぶやー (便所から不動明神をお  
呼びして「まぶやー ぐみ」をすること)。

**はろーじ、っうえーか はろーじ**

〈親族〉 【例】はろーじびけー うんちけーさ  
びたん どー。(親族だけを案内したんですよ)。

**ばんじ** 〈さなか〉 【例】むぬ かどーる ば  
んじに ていでん なてい むぬん かまらん  
なたしが、あやーや 「はなぬ しちゃー  
くち」 んでい いち わらわちゃん。(食事を  
しているさなかに停電になって食事もできなく  
なったが、母は「鼻の下は口」と言って笑わせ  
た)。むぬ しこーいむこーい そーる ばん  
じに でんわびけーっし かしまさぬ。(食事を  
準備しているさなかに電話ばかりでうるさく  
てならない)。なま っやーや さらばんじ  
やさ やー。(今あなたは絶頂期だね)。

**はんじょー すん** 〈栄える〉【活】～さ  
ん、～さん、～っし 【例】あまー んかしから  
あちねー そーしが、なまぬ つくわっんまが  
ぬ でーまでいん はんじょーそーん。(あの  
家は昔から商売しているが、現在の子どもたち  
の代までも栄えている)。

**はんすん** 〈はずす〉【活】はんちゃん、はんさ  
ん、はんち 【例】バンド／うーび はんすん。  
(バンド／帯をはずす)。あれー わったーから  
はんさな。(あの人は私たち仲間からはずそ  
うよ)。【参】はんでいーん (はずれる)。

**はんち げーいん** 〈はね返る〉【活】～げー  
たん、～げーらん、～げーてい 【例】うぬ ない  
むのー はんちげーとーしどう かまりーん  
どー。(その果物は跳ねっ返っているのが食べ  
られるよ)。ちゃんぐとう ないんでいーる  
くとうん かんげーらんぐとう さーに、どう  
ーぬ っういーんかい はんちげーてい ちょ  
ーさ やー。(どういうことになるということ  
も考えないでして、自分の身の上に跳ね返っ  
て来ているんだね)。

**～はんすん** 〈～機会をうしなう〉【活】～はん  
ちゃん、～はんさん、～はんち 【例】とういはん  
すん。(取りそこなう)。っやーや ちゅーしぬ  
にーさくとう、かみはんちよーしえー。(あ

なたは来るのが遅いので、食べ損なっているのさ)。くわっちー かみはんち、っやーや ふにびけーん なていから ちゅーみ? くえーぶーぬ ねーんさ やー。(ごちそうを食べ損なって骨だけになってから来るのか。食べ物の付きがないね)。がくむん しーはんちやる くとぅ なま なてい くーくえー そーん。(学問をする機会を失ったことを今になって後悔している)。いちえーが ちゅーる かーじ いちえーはんちよーる どうしぬ をうん。(逢いにくるたびに逢い損なっている友人がいる)。あぬ 魚いが んーでーやーんでい うむとーたしが、ちゅらーさ わしてい んーぢはんちやん。(あの映画は観ようと思ったが、すっかり忘れて観そこなった)。チケット めーかにてい こーたしが、ちゅらーさ わしてい しばい みーはんちやん。(前売り券を購入したが、すっかり忘れて芝居を観そこなった)。

**はんた** 〈端〉 【例】はんたゐー しーねー どうげーりーん どー。(端っこ座りをするとひっくり返るよ)。

**はんだま** 〈はるたま、水前寺葉〉 【例】はんだまぬ しろー いるぬ うていてい むらさちっんむぬ いるぬぐとぅ ないん。(水前寺葉の汁は色が落ちて紅芋の色になる)。

**はんちゅん** 〈はじく、まく〉 【活】はんちやん、はんかん、はんち 【例】っやーや いーし ちかんねー／ちかんだれー はな はんかりーん どー。(おまえは言うことを聞かないと鼻をはじかれるよ)。ちゅらすがい さーにかばーぐわーん はんけー。(きれいに装って香水もつけなさい)。まーす はんかったん。(塩をまかれた)。【参】みじ くんちやきらって い よー (水をひっかけられてねえ)。

**はんでいーん** 〈ほどける〉 【活】はんでいたん、はんでいらん、はんでいてい 【例】くじ

こーたしが、むる はんでいたん。(くじを買ったが、すべてはずれた)。っんぢチャーっんぢチャー すくとぅ、うーびや はんでいていちゅーん。やくとぅ、ちゅーくねーん しみとーちゅし どー。(動くので、帯はほどけてくる。それで、かなりきつく締めておくのだよ)。かんげーよー けーたくとぅ うみーやみーや はんでいとーん。(考え方を変えたので思い悩みから解かれている)。

**はんぶぬー** 〈半分、半丁〉 【例】とーほーはんぶぬー うていくいれー。(豆腐は半丁売ってくれ)。

**ばんみかすん** 〈ボタンと音をたてる、思い知らせる〉 【活】ばんみかちゃん、ばんみかさん、ばんみかち 【例】かじぬ ばーばー そーる ばすねー、はしろー みちとーかんねー ばんみかち ていー やますん どー。(風が強いときには、戸は閉めておかないとパタンと急に閉まって手をケガするよ)。まるけーてい ふいーらーぬ をうたくとぅ、スリッパさーに ばんみかちゃん。(久しぶりにゴキブリがいたので、スリッパで思い切りたたいた)。プロレスぬすーぶをうてい うみちとぅ きらってい ばんみかち ちゅーく とーりていん しぐ たちあがいん。うったー どうーや ちゃーが なんとーら? (プロレスの試合では思い切り蹴られてバンと強く倒れてもすぐに立ち上がる。あの人たちの体はいったいどうなっているのか)。

**はんめー** 〈ご飯〉 【例】っやー はんめーや あみ?(あなたのご飯はあるか)。はんめーぬ ちりとーん。(飯米が切れている)。ていがねー さしが、はんめーでーん ちゅーや ねーんたん。(手伝いをしたが、ご飯代も今日はなかったよ)。





# ひ、び

**びーちゃー** 〈もぐらの一種〉【例】びーちゃーぬ なちぐいーや たーち あてい、ぴちぴちーっし なちーねー じんぬ いーん。くちゅくちゅくちゅんでい なちーねー いりわいぬ うきーん de いる しらし やんでい。「びーちゃー」の鳴き声は2つあって、ぴちぴちーと鳴いたらお金が入る。くちゅくちゅくちゅと鳴いたら口論が起こるという知らせだっけさ。

**びけー／びけーじ／びけーん／びかー** 〈だけ（限定）〉【例】とーびけー／びけーじ／びけーん（10 だけ）。いくちびけーやが？（どれだけののか）。セールや ちゅーびけーじどう やいびーん どー。（セールは今日だけです）。うちなーびけーん やさ。（沖縄だけだよ）。っやーびけー やん どー。（あなただけだよ）。あまびけー やさ。（あっちだけだよ）。っんまびけー やさ。（そこだけだよ）。

**びじゅる／びんじゅる** 〈竜宮の神が祭られている拝所の霊石〉

**びちー** 〈べき〉【例】っやーや いーびちー／しーびちー くとう そーみ？（あなたは言うべき／すべきことをしているか）。ぎんこーんかい あじきびちー むのー やーんかい うかんぐとう むっち っんぢー？ やーんかい じん うちきてー ならん どー。（銀行に預けるべきものは家には置かないで持って行ったか。家に現金を置いてはだめだよ）。

**ひっくわーすん** 〈ひく〉【活】ひっくわー

ちゃん、ひっくわーさん、ひっくわーち 【例】みちなかい まやーぬ くるまんかい ひっくわーさっとーたん。（道路で猫が車に轢かれていた）。

**ひゃーがいん** 〈干し上がる〉【活】ひゃーがたん、ひゃーがらん、ひゃーがてい 【例】うみばたんかい さぎらっとーる いちやぐわーや ひゃーがてい くふあとーたん。（海端に下げられているイカが干し上がって固くなっていた）。

**ひやみかすん** 〈気合いを入れる〉【活】ひやみかちゃん、ひやみかさん、ひやみかち 【例】あれー しかしか そーてい いぢりぬ ねーんくとう、ひやみかさーに いぢりぐわー ちきれー。（あの人は落ち着かなくて意気地が無いので気合いを入れて意地をつけなさい）。

**ひょーし** 〈偶然、機会〉【例】あま っんぢん くま っんぢん めぬ っちゅとう はっちやかいる くとー ひょーしえー やしが、ふいるましー くとう やん。（あっちへ行ってもこっちへ行っても同じ人と出くわすことは偶然だが、不思議だねえ）。ありとう どうしやれー、うちなーぐち ちかいる めー ひょーし やさ。（あの人と友人なら、沖縄語をつかう好い機会だよ）。

**びら** 〈ネギ〉【例】びらー ちぶるぬ をうたい とうてい、ちりびらーや みーぬ をうたい とういんでい。（ネギは頭の疲れをとって、ニラは目の疲れをとるんだって）。すばじる

んかえー びら いりーねー かばく なてい  
いっぺー まーさしが、ちりびらーや あね  
ー あらん。(そば汁にネギを入れると香ばし  
くなってとてもおいしいが、ニラはそうではな  
い)。

**びんがた** 〈紅型〉 【例】びんがた ちん

あいびーみ？(紅型の着物ありますか)。わんね  
ー まーち、だき、っんみぬ びんがたぬ し  
ち やん。(私は松竹梅の紅型が好きよ)。

**びんしー** 〈酒や水を入れる道具、瓶子〉 【例】  
びんしー しこーれー。(「びんしー」を準備し  
なさい)。

## ふ、ぶ

**ふいーてい** 〈不得意〉 【例】 っちゅぬ  
めーんかい っんぢーしえー ふいーてい や  
さ。(人の前に出るのは得意ではない)。うた  
うたいしえー ふいーてい やん。(歌を歌う  
のは不得意だ)。

**ふいん** 〈降る〉【活】 ふたん、ふらん、ふてい  
【例】 うみんちゅが いーしえー、くちかじぬ  
ふちーねー あみぬ ふいんでい。(漁師が言  
うには、東風が吹いたら雨が降るって)。

**ふいん** 〈掘る〉【活】 ふたん、ふらん、ふてい  
【例】 あな／ぢー ふいん。(穴／地面を掘る)。  
**ふい っんぢゃすん** 〈掘り出す〉【活】 ～っ  
んぢゃちゃん、～っんぢゃさん、～っんぢゃち  
【例】 うちなーぬ ぢーんかい なーだ にんと  
ーる みくち ふいっんぢゃちからどう やー  
にんじゅぬ めーんかい けーらりーる／けー  
さりーる。(沖縄の地にまだ眠っている遺骨を  
掘り起こしてからこそ遺族のもとに帰ることが  
できる／返すことができる)。

**ふいん** 〈振る〉【活】 ふたん、ふらん、ふてい  
【例】 しょーがくしーぬ くる ぶーらんこー  
ぬやーに、たーが まぎーく ふゆーすがん  
でいち すーぶ そーたん。(小学生の頃ブラ  
ンコに乗って、誰が大きく振ることができるか  
と勝負をした)。ハワイぬ もーえーぬ くし  
どうーぶに ふとーる しがたー なみぬ  
ゆりとーるぐとう やん。(ハワイのフラダン  
スの腰骨を振っている姿は波がゆれている様で  
ある)。わんにん まじゅん そーてい っん  
ぢとうらしよーんでい どうーんかい しがた

しが、っやーや っちゅいっし をうとーけー  
んでいち ふらったん。(私も一緒に連れて行  
ってくださいとすがりついたのに、あなたは一  
人で居なさいと嫌がられた)。

**ふい けーすん** 〈(病気が) 再び悪化する〉  
【活】 ～けーちゃん、～けーさん、～けーち 【例】  
ふいけーしーねー のーいぐりさくとう、どう  
ーや ちゃー くくりり よー。(ぶり返すと  
治りにくいので、体はいつも用心しなさいよ)。

**ふー** 〈幸運〉 【例】 ぬーが やら あさから  
ちむぬ ンかーんたくとう たびんかい い  
かんたれー、うぬたびぬ くるまぬ じこぬ  
あてい、わんねー ふーぬどう あてーさ。(な  
ぜか朝から気が進まな買ったので旅行に行かな  
かったが、その旅行の車の事故があって、私は  
ほんとに幸運だったんだね)。

**ふー** 〈穂〉 【例】 っんにぬ ふーぬぐとう  
っちゅにんぢぬん みーぬ いらわ くび を  
うーりり。(稲の穂のように人間も実が入れば  
首を折るものだ)。

**ふー、なれー** 〈風習〉 【例】 やーぬ／むら  
ぬ ふー (家の／村の習わし)。うちなーぬ  
なれーや とーからぬ ながりん うふさん。  
(沖縄の風俗は中国からの影響も多い)。

**ふー** 〈帆〉 【例】 ふーだかぶにぬ とーりや  
っさるぐとう、っちゅにんぢぬん ちむだかー  
ないねー ふいられーぐりさん。(帆の高い  
船は倒れやすいように、人間も高慢になると付  
き合いにくい)。

**ふー** 〈はい〉 【例】しーじゃー しーじゃ  
 なち、「うー」、「ふー」どう すん どー。(年  
 上は年上として扱い、尊敬の「うー」「ふー」を  
 使うんだよ)。「いー」、「ひー」っし ふいじ  
 しん しむん。「(「いー」「ひー」で返事して  
 もいい)。うー、やいびーん どー。(はい、そ  
 うですよ)。いー、やん どー。(はい、そうだ  
 よ)。あぬ やー ふー。(あのですね)。っやー  
 さーに いち とうらし よー ひー。(あな  
 た、言ってちょうだいね)。っやーから さち  
 ゆーふる いれー ひー。(あなたから先に風  
 呂に入んなさいよ)。うんじゅから ゆーふる  
 さち な(い)みそーり よー ふー。(あな  
 たから風呂は先に入ってくださいね)。っやー  
 かめー／いけー／くーんけー／いかんけー  
 ひー。(あなた、食べなさい／行きなさい／来な  
 いで／行かないでね)。

**ふーかさー** 〈ほら吹き〉 【例】あれー ふ  
 ーかさー やくとう、ありが いーしえー が  
 っていん すな よー。(あの人はほら吹きだ  
 から、あの人が言うことは信用するなよ)。

**ふー** 〈頬〉

**ふー くぶー** 〈頬くぼみ〉 【例】っやーや  
 わらいねー、ふーくぶーぐわーぬ っんぢー  
 ん やー。(あなたは笑うとえくぼが出るね)。

**ふー けーいん** 〈ふくらむ〉【活】ふーけー  
 たん、ふーけーらん、ふーけーてい 【例】むち  
 ／まーいぬ ふーけーいん。(餅／鞠がふくら  
 む)。

**ふー けーらすん** 〈ふくらます〉【活】ふー  
 けーらちゃん、ふーけーらさん、ふーけーらち  
 【例】ぶーかーんかい くーき いってい ふ  
 ーけーらしえー。(風船に空気を入れてふくら  
 ましなさい)。

**ふー たい** 〈頬たれ〉【活】ふー たやー〈頬  
 が垂れている者〉 【例】くぬ いんぐわーや  
 ふーたい そーん やー。(この犬は頬が垂れ  
 ているね)。

**ふーち** 〈流行病〉 【例】なま ふーちぬ ふ

えーとーくとう、ていー あらてい、ぬーでい  
 ーん がらがらーっし ゆしぢ、ゆー くくり  
 り よー。(今流行病が流行っているの、手を  
 洗って、うがいをし、注意しなさいよ)。

**ふーち** 〈モグサ〉 【例】わらび そーいに  
 なちぶさー のーするたみに わたんかい ふ  
 ーちさーに やーちゅー さったん。(子ども  
 の頃に泣き虫を直すためにお腹にモグサでお灸  
 をされた)。

**ふーぢ** 〈流儀、風采〉 【例】くまー くまぬ  
 ふーぢさーに すん どー。(ここはこの  
 流儀ですよ)。なー めーめー ふーぢ あ  
 るぐとう しーよー やー。(各自様になるよ  
 うにしなさいよ)。ふーぢえー あるぐとう、す  
 がてい あっき よー。(様になるように、装っ  
 て外出しなさい)。ふーぢえー ねーらん く  
 とー すな よー。(みっともないことはする  
 なよ)。ありが しーよー、いーよー ふーぢえ  
 ー ねーらん。(あの人の仕方、言い方がみっと  
 もない)。

**ふーぢー** 〈なりふり〉 【例】しんしー／い  
 さ／でいきやー ふーぢー やさ やー。(先  
 生／医者／秀才の身なりだね)。**【参】**しんしー  
 ／いさ／でいきやーぎさん(先生／医者／秀才  
 のようだね)；しんしー／いさ／でいきやーら  
 ーさん(先生／医者／秀才のようだね)。

**ふーち ばー** 〈ヨモギ〉 【例】んかしえ  
 ー どうーぢゅーく するたみんでいち、ふー  
 ちばー ちちちゃーに んぢゃじる ぬまさっ  
 たん。(昔は体を強くするためにといて、ヨモ  
 ギをつついて苦汁を飲まされた)。

**ふー ぢら** 〈頬〉 【例】ゆちぐにぬ わら  
 びんちゃーや りんごぬ ぐとう ふーぢらー  
 まっかーらぐわー そーん。(雪国の子ども  
 たちはりんごのように頬を真っ赤にしている)。

**ふーなー** 〈ふり〉 【例】でいきやー／しっ  
 ちよーる／ないん／わかいん／んーだん／しら

ん ふーなー すな けー。(秀才／知っている／できる／解る／観た／知らないふりをするな)。うしだまてい わからんふーなー そーしが、ぬーんくいーん わかとーん。(おし黙ってわからないふりをしているが、何でもわかっている)。あれー にんとーんふーなーっし はなしえー むる ちちよーたんでい どー。(あの人は寝ているふりをして、話はみんな聞いていたってよ)。っちゅぬ くとう やくとう、んーだんふーなー／ちからんふーなー そーん。(他人のことなので、見ないふり／聞けないふりしている)。ぬーん すしえー ねーん たくとう、しらんふーなーっし やーんかい けーたん。(何もすることはなかったので、知らんふりをして家に帰った)。

**ふーび** 〈褒美〉【例】まるふいーじーぬ うくねーぬ ゆたさくとう、からだかふーや ぐふーび やさ。(常日頃の行いがいいので、健康なのはご褒美だよ)。

**ふーりんなー** 〈ほうれん草〉【例】ふーりんなーや とーふとう ししとう っんぶさー しーねー いっぺー まーさん。(ほうれん草は豆腐と肉で煮込みにすると、とてもおいしい)。

**ふか** 〈外、他〉【例】やー なれーどう ふかなれー。(家庭での行儀が外でもそのまま出る)。っやーふかに たーが ないが? ふかねー たーん をうらん。(あなたの他に誰がいるか。他には誰もいない)。やーぐまいびけーさんぐとう、まるけーていなーや ふかかんかい ちむ とうめーいが っんぢくーわ。(家に閉じこもってばかりいないで、ときには外に出て気分転換しておいで)。あれー やーぬくとうん ならん、をうとうぬ くとうん さん、ふかまーるーびけー そーん。(あの人は家事もできない、夫のこともしない、外出ばかりしている)。

**ふかから ちやー** 〈外着〉反意語は、やーから ちやー／やーからー (普段着)【例】ふか

からちやーどう やくとう、やーぬ むんとーまじゅのー あらいな よー。びちぬ ちんから いるぬ ちちやい、ちーち くーなていふかから ちちえー あっからん ないん どー。(外着なので、普段着とは一緒には洗うなよ。別の服から色が付いたり、縮んで小さくなって外に着て歩けなくなるよ)。【参】「ふかからー」とも言う。

**ふかすん** 〈沸かす〉【活】ふかちゃん、ふかさん、ふかち 【例】やっくわん めしてい ゆー ふかさーに ちゅーかーんかい ちゃーいれー。(やかんに湯を沸かして急須にお茶を入れなさい)。

**ふかすん** 〈(芋を)煮る、(まんじゅうを)蒸す〉【活】ふかちゃん、ふかさん、ふかち 【例】っんむ／まんじゅー ふかすん。(芋を煮る／まんじゅうを蒸す)。【参】っんぶすん。

**ふがすん** 〈穴をあける〉【活】ふがちゃん、ふがさん、ふがち 【例】ちむ ふがすん。(満足させる)。ちむ ふぢゅん。(満足する)。いんぐわーんかい ちび くーらってい ずぼんに ちゅらーさ みー ふがさったん。(犬にお尻を咬みつかれてズボンにおおきく穴をあけられた)。わらび そーいに はーいさーに ぶーかーふがしえー っし あしだん。(子どものときに針で風船に穴開けして遊んだ)。うさきーぬ じょーのー(＝ぐむち) ふがちえーさやー。ちゃーする ちむえーが やー?(そんなに大きな公金を使い込んでいるね。どうするつもりかねえ)。【参】むら ぐむち(村の公用物)、ぱっちー くわーえー(めんくい取り)、びーだま くわーえー(おはじき取り)。

**ふぎーん** 〈穴があく〉【活】ふぎたん、ふぎらん、ふぎてい 【例】くぬ やっくわのー／ゆーわかさーや みじぬ たとーしが、みー ふぎてー をうらに?(このやかんは／湯沸かしは水が垂れているが、穴があいてはいないか)。みー ふがー、ふぎむん(底に穴のあいた道具)。

**ぶかりー** 〈縁起が悪いこと〉 【例】あさん  
なーらから／しとうみていから あびやーてい  
ーやー しーねー、うぬ ふいーや ぶかりー  
ないん どー。(朝っぱらから／早朝から文  
句をいうと、その日は縁起悪くなるよ)。ぶかり  
ー ないくとう いちむしえー いってー な  
らん どー。(縁起が悪くなるから動物は入れ  
てはいけないぞ)。

**ふぎ** 〈欠損〉 【例】くんちちえー ふげー  
ねーらに？(今月は欠損はないか)。

**ふきーん** 〈さえずる〉【活】ふきたん、ふきら  
ん、ふきてい 【例】とういぐわーぬ ふきてい  
ちちぐとう やん やー。(小鳥がさえずっ  
て耳に心地よいね)。そーみなーぬ たかぶき  
けーちけーち する むのー ちむに ふい  
びち ちむん あらーりーんねー すん。(メ  
ジロが高鳴きをし合うのは心に響いて心が洗わ  
れるようだ)。なーぬ きーぬ っういーをう  
てい とういぬ やなぶき そーる ばすねー  
はぶぬ をういが すら わからんくとう  
ちー ちきり よー。(庭の木の上で小鳥が変  
な鳴き声をするときはハブがいるかもしれない  
ので、気をつけなさいよ)。

**ふきーん** 〈くぐる〉【活】ふきたん、ふきら  
ん、ふきてい 【例】まやーぬ かちぬ みーか  
ら ふきーん。(猫が藪の中をくぐり抜ける)。  
どうーぬ っういーんかい さわい ないる  
くとー どうーくる ふきーる くとうぬ な  
ていどう どうーぬ みち ふいらちゆる く  
とうん ないさ。(自分の身の上に障害になる  
ことは自分自身で抜け出ることができてこそ自  
分の道を開くこともできる)。

**ふきーん** 〈老ける〉【活】ふきたん、ふきら  
ん、ふきてい 【例】うやぬ ふきーねー っ  
くわぬちやーや うや あたらさっし ながぬ  
ち みしーるぐとう すしどう うやっくわ  
やる。(親が老けると子どもたちは親を大切に  
して長生きするようにすることこそが親子であ  
る)。

**ふく** 〈肺〉 【例】ふくまーみ (心臓)、たき  
ーまーみ (腎臓)、ちむぐわー (肝臓)。うちな  
ーをうてー くんちぶすく ないねー、ししぬ  
ふく、ふくまーみ、たきーまーみ、ちむぐわ  
ーとう ちでーくに、ちりびらー、ふいる ぐ  
ー なち、んーすん かたがたーとう いって  
い、しんじむん ちゆくやーに くんち ちき  
ーん。(沖縄では元気がなくなると、豚の肺、心  
臓、腎臓、肝臓とにんじん、ニラ、にんにくを  
混ぜて、味噌もたくさん入れて、おつゆにして  
元気をつける)。

**ふぐい** 〈ふぐり〉 【例】いん まやー ちか  
ないる ばすねー／ばーねー、いん まやーぬ  
ふぐい とういん。(ペットとして飼う場合  
には犬や猫のふぐりを除去する)。

**ふくい** 〈ほこり〉 【例】ふくいぬ みーんか  
い いっち みーぬ やどーん。(埃が目に入  
って目が痛い)。ちんぬ ふくい はれーうと  
うしえー。(服のほこりを払い落としなさい)。  
んなやー なてい、ふくいぶったー そーん  
やー。(空き家になって、埃だらけになっている  
ね)。みーにん みーらん、ていーにん とうら  
らん ふくいぐわー やしが、ていーだぬ あ  
たいねー みーに みーゆん。(目にも見えな  
い、手にも取れない小さな埃だが、陽がさすと  
目に見える)。

**ふくいん** 〈喜ぶ〉【活】ふきたん、ふくらん、  
ふくてい、われーふくいを参照 【例】にーびち  
っし ふくとーたん。(結婚して喜んでいた)。  
しけんに うかてい ふくとーたん。(試験に  
合格して喜んでいた)。あまぬ やーや っん  
まが もーきてい いっぺー ふくとーたん／  
ふくらしゃ そーたん。(あの家は孫を授かっ  
てとても喜んでいた)。

**ぶくー** 〈不器用〉 【例】ぶくーな むん (不  
器用な者)。ぶくーや まんがたみー。(不器用  
は担ぐことだけで精一杯)。【参】ていぐま (手  
先が器用なこと)、ていーぐまー (手が小さい  
者)。

**ふくぎー** 〈産毛〉【例】なまぬ ういきが  
わらびぬ からじえー、たましぬぎてい たっ  
ちょーる ばすぬ ふくがーぬ ふくぎーんか  
い ゆー／まったち にちょーん。(現代の男  
の子の髪は、びっくりして立っている際の烏骨  
鶏の産毛によく／そっくり似ている)。

**ふぐ すん** 〈処分する〉【活】～さん、～さ  
ん、～っし 【例】てーしちな かちむん どう  
ーかっていーさーに ふぐ さったん。(大切  
な書き物を自分勝手に処分された)。

**ふくたー** 〈ボロ〉【例】ちんぬ みーや  
くーっし、ボタンぬ ねーん ならー ボ  
タンぐわー ちきてい、やーをうてー ふくた  
ー やていん しみどう する。(服の穴は塞  
いで、ボタンが無くなっていたらボタンをつけ  
て、家ではボロでも構わない)。やーからちやー  
や／やーからーや ふくたー やていん しむ  
ん。(普段着はボロでもよい)。

**ふくたー むし** 〈みの虫〉【例】くーばー  
ぬぐとう ゆだんかい いーちゅーさーに さ  
がとーる ふくたーむしえー、まーから ふく  
たー ふいらていっち やーぢゅくい そーが  
やー? ふいるましー いちむし やん。(ク  
モのように枝に糸で下がっているみの虫はどこ  
からボロを拾ってきて家造りをしているのか。  
不思議な生き物だ)。(【参】ふいらいん、かめー  
いん (拾う)。

**ふくぢ** 〈フクギ〉【例】やーぬ まーいん  
かい っういーらっとーる ふくぢえー、てい  
ーだん くわっくわち かーぎ ちゅくいくと  
う しだかじ うくてい、うふかじぬ ばすぬ  
ー かじかたかっし やー まむていとうらす  
ん。(屋敷の周りに植えてあるフクギは陽を遮  
って陰をつくり涼風を送って、台風の際には風  
よけになって家を護ってくれる)。

**ふくちち** 〈悪臭を放つゴミ〉【例】まやーぬ  
ふくちちかー そーし きじゃーすん。(猫  
がゴミだらけなのをかき乱す)。ふくちちえー

ほーちがちっし しじみらんだれー かじゃ  
すん どー。(ゴミは掃いて処理しないと臭  
うよ)。ふくちち かじゃ すん。(ゴミの悪  
臭がする)。キャンプぬ あとうぬ ふくちち  
かー そーしえー しじみらんねー、まやーぬ  
あさぐてい うふやま ちらかさりーん ど  
ー。(キャンプのあとのゴミ山は処理しないと、  
猫があさってさんざん散らかされるよ)。

**ふくっとう すん** 〈不服な様をする〉  
【活】～さん、～さん、～っし 【例】ふくっとう  
そーたん。(不服そうだった)。(【参】類似表現と  
して、がっていのー あらんたん(納得しては  
いなかった); あねー あらん ちら そーた  
ん(そうじゃないという顔をしていた); うむ  
さぎさーや しえー をうらんたん(おもしろ  
くは思っていなかった); くさみちょーんねー  
そーたん(いらだっているようだった); ぷ  
ーぷー そーんねー すたん(怒っているよう  
であった)。

**ふくふく すん** 〈いい香りがする〉【活】～  
さん、～さん、～っし 【例】やーぬ うちまでい  
ふくふく そーくとう、なーぬ げっかびじ  
んぬ まっくらしん なてい さちえーさやー  
んち しぐ わかたん。(家の中までよい香り  
がするので、庭の月下美人が暗くなって咲いた  
んだとすぐわかった)。

**ふく まーみ** 〈心臓〉【例】ししぬ ふ  
くまーみ こーやーに しんじてい ぬみーね  
ー、どうーむち やしく ないん。(豚の心臓  
を買って煎じて飲むと、体調がよくなる)。(【参】  
ふく)。

**ふさ すん** 〈欲する〉【活】～さん、～さん、～  
っし 【例】つくわ／やー／くるま／どうし  
ふさすん。(子／家／車／友を欲しく思う)。っ  
ちゅにんぢのー っうえーき すしやかー の  
ーが ないしどう ふさする。(人間は裕福に  
なるよりも名誉を得るのを欲している)。

**ふさぢゅん** 〈ふさぐ〉【活】ふさぢゃん、ふ



さがん、ふさぢ 【例】ちむぬ ふさぢょーん。  
(気持ちがふさぎ込んだ状態である)。ちむふさ  
ぢ そーん。(気持ちがふさぎ込んだ状態であ  
る)。っちゅぬ みーぬ めー ふさぐなけー。  
(人の目の前をふさぐな)。っちゅぬ みちえー  
ふさぐなけー。(人の歩む道をふさぐな)。っ  
くわぬ くとう しわっし、ちゃー ちむ ふ  
さぢょーん。(子のことを心配して、いつも心が  
ふさぎ込んでいる)。

ふし 〈星、運氣〉 【例】ななち ぶしえー  
に一ぶんかい にちょーん。(北斗七星はひし  
やくに似ている)。に一ぬふあ ぶしえー ゆ  
る はらす ふにぬ みあてい なてい にし  
ぬ むていをうてい／ぬふあんかい あかがと  
ーん。(北極星は夜航行する船の目印となって  
北の方角で輝いている)。くとうしえー やく  
どうし やくとう うんち ちゅーみらわどう  
やる。(今年は厄年なので、運気を強めないと  
いけない)。ふしぬ やーうーちー そーる  
ばすに うにげーぐとう しーねー かないん  
でい どー(流れ星にお願いごとすると叶うっ  
てよ)。

ふし 〈節〉 【例】わん みーや ふしぬ み  
ーや あらん どー。(私の目は節穴ではない  
ぞ)。っやー みーや ふしぬ みーどう や  
る め?(あなたの目は節穴なのか)。

ふしぢゅん 〈防ぐ〉【活】ふしぢゃん、ふし  
がん、ふしぢ 【例】でーじ ならん めーに  
ふしぢ をうかんとー ならん どー。(大変  
なことにならない前に防いでおかないといけな  
いよ)。

ふすん 〈干す〉【活】ふちゃん、ふさん、ふし  
【例】ちん ふすん。(着物を干す)。うちな  
ーぢのー ていーだぶし さんぐとう しだか  
じんかい あていてい かーぎぶし すし や  
ん。ていーだぶし しーねー、いる ぬぎてい  
ちんぬ かたん くーりーん。(沖縄の着物  
は陽に干さないでそよ風にあてて陰干しするも

のだ。陽に干すと、色が抜けて着物の型くずれ  
する)。

ふし むん 〈干し物〉 【例】なまー ちん  
かーらかさーぬ あくとう、ふしむのー ふ  
かんかい ふさんていん しむるぐとう など  
ーん。(今は乾燥機があるので、干し物は外に干  
さなくてもよくなっている)。

ふす 〈へそ〉 【例】てんぶす(出べそ、突起  
したへそ)。なちぶさー ないねー てんぶさ  
ー ないん どー。(泣いてばかりいると出べ  
そになるよ)。っくわ なちやるあとう ふす  
ぬ とうりーねー、からじぎーとう ぐー な  
ち あたらさっし かじみとーちゅん。(子を  
産んだ後へそがとれると、髪の毛と一緒にして  
大事にしまっておく)。

ふすく 〈不足〉 【例】うぐわん ぶすく(祈  
り不足)、しー ぶすく(やり足りないこと)。  
いー ぶすくぬ あてい えーていんかい ち  
む とうーさらんたん。(ことば不足で相手に  
思いを通せなかった)。うぐわん ぶすくぬ  
あいねー、いちみん めーねー あがからん  
ないん。(祈り不足があっては、生きている人も  
前には進めなくなる)。

ふだ いり 〈投票〉 【参】いりーん。

ふちき 〈繊維くず、髪の毛くず〉 【例】っやー  
くしながにんかい からじぶちきぬ たっく  
わとーん。(あなたの背中に髪の毛の抜け毛がくっ  
付いている)。ちん のーやー やくとう、ふち  
きぬ うほーくなー っんぢーさ。(洋裁専門  
なので、繊維くずがたくさん出るよ)。

ぶちくん／ぶちげー 〈気を失いそうな状  
態〉 【例】くんち ぶらーり そーる ばす  
に、ぶちくん／ぶちげー などーんでい いー  
ん。(めまいして倒れそうになっているとき、気  
を失いそうになっていると言う)。

ふちばんた 〈断崖〉 【例】ふちばんたんか  
い たっち しちゃ んーちーねー いっペー

ふいさはごーさん。(断崖に立って下をみると足下がとてもむずむずする)。

**ふちまー** 〈さかき(榊)〉【例】ふちまーやかみぎー やくとう、うていらぬ ぼーじえー ふちまーさーに やなむん はらたい、うかみがなしーぬ めーんかい うさぎたい すん。(さかきは榊木なので、お寺のお坊さんはさかきで悪霊を払ったり、神前に供えたりする)。

**ふちやーいん** 〈生い茂る〉【活】ふちやーたん、ふちやーらん、ふちやーてい【例】くぬごーやーや ぢーんかい ほーらちやくとう、ふあーぬ ふちやーてい ふいさん いりらんあた い なてい、ないむのー まーんかいが なんとーら わからん。(このゴーヤーは地面に這わせたので、葉が茂って足も入れられないほどになって実はいったいどこにあるのか分からない)。うぬ なーや くさぬ ふちやーてい じゃーふえー そーさ。(その庭は雑草が生い茂って困っている)。やまなかー きーぬ ふちやとーくとう、みち まゆいどう する はじ やー。(山の中は木が茂っているので、道に迷うんだね)。

**ふちやぎ** 〈あずきを表面にくっつけた餅〉【例】じゅーぐやーねー うちちゅーめーんかい ふちやぎ うさぎーん。(旧暦の十五夜はお月様に「小豆の付いた餅」を供える)。

**ぶちゅーい** 〈発育不良〉【例】ぶちゅーいな わらび(発育の悪い子)。

**ふちゆく** 〈懐〉【例】うやぬ ふちゆく るんかい だちどう つくわ ふどうっわーさりーん どー、あねー あらん わらびんちやーぬどう ふいんじむん ないん どー。(親の懐に抱いてこそ子は育てられるんだよ、そうではない子がひねくれ者／非行少年になるんだよ)。あれー どうーぬ ふちゆく るんかい どう するばん はんちゅん どー。(あの人は自分の懐に向けてソロバンをはじくよ)。じめん あらぢけーん さん、むぬん あらがみん

さん くらし そーしが、じちえー 「ふちゆくのおーぢめー」 どう やたる。(金使いも荒くない、暴食もしないで、質素な暮らしをしているが、実は「裕福」だった)。

**ふちゅん** 〈沸く〉【活】ふちゃん、ふかん、ふち【例】ゆーぬ ふちよーくとう、ちゅーかんかい ちゃー いりれー。(お湯が沸騰しているので、急須にお茶を入れなさい)。

**ふちゅん** 〈吹く〉【活】ふちゃん、ふかん、ふち【例】いーち／はな ふちゅん。(息を切らす／いびきをかく)。ちゃたのー ふいらぬ うふさくとう、ふいら ぬぶいんち いーち ふちゅさ。(北谷は坂が多いので、坂を登るのに息が切れる)。たばく すーてい きぶし ふちゅん。(タバコを吸って煙を吐く)。あみ ふいがたーどう やがやー? かじぬ ふちよーさ やー。(雨が降りそうなのかねえ。風が吹いているね)。うふかじ めー なてい、かじぬ ふちよーさ やー。(台風の前なので風が吹いているね)。にんだなんでい うむていん／うむたんてーまん っやーが みみすば をうとーてい はな ふちゅくとう、むる にんだらんたん。(寝ようかと思っても／思ったのにあなたが耳元でいびきをかくので、まったく眠れなかった)。

**ふぢゅん** 〈満足する〉【活】ふちゃん、ふがん、ふぢ【例】あれー ちむ ふがん っちゅ やっさー。(あの人は気に食わない人だよ)。ちむ ふがんだらー、さんていん しむさ。(気に入らなければ、しなくてもよい)。くねーだのーらちえーる ちのー いっぺー ちむ ふぢよーん。(この間直してもらった服はとても気に入っている)。っやーが ちむ ふぢゆる っちゅから やらすくとう、っやー すばんかい うちきれー。(あなたが気に入る人から派遣するので、あなたの側に置きなさい)。

**ぶちりー** 〈不潔(人に対して用いる)〉【例】ぶちりーな むん(不潔な者)、ちりーな っち

ゆ（清潔な人）。あれー ぬーやていんしむるー やてい ぶちりー どー。（あいつは何だっつかまわない奴で不潔だよ）。ぶちりーな ていーさーに くれー さーんな よー。（汚い手ではこれは触るなよ）。しーらー くちからどう いーくとう、ぶちりーな ていーしえー むぬ かむな よー。（障りは口から入るので、汚い手ではものを食べるなよ）。

**ふっくいーん** 〈ふくれる〉【活】ふっくいたん、ふっくいらん、ふっくいてい 【例】あさふえーくから ゆさんでいまでい ちゃーたちーっし ふいさぬ ふっくいとーん。（朝早くから夕方までずっと立ち通しで足がふくれている）。ふいさぬ ふっくいてい やむん。（足がふくれて痛い）。ていーふいさぬ あかーなてい ふっくいとーくとう、いさぬ やーんかい っんぢくーわ。（手足が赤くなってふくれているので、医者のところに行っておいで）。はしし ふっくいてい むぬん かまらん、にんだらん なてい いっぺー どうーあんまさん。（歯茎がはれてものも食べられなく、眠れなくなっかなり体調が悪い）。ちら ふっくいとーん。（ふくれた顔をしている）。ちら ふっくわー（ふくれている者）。

**ぶったらー／ぶったらこー** 〈太いもの（大根、しぶい、など）〉 【例】あち ぶったらー（厚着）。くぬ でーくねー ぶったらー そーん やー。（この大根は太いね）。

**ぶってー** 〈でぶ〉 【参】同義語として、くえーたー、くえーとうー、くえーぶたー。

**ぶっとうー** 〈でぶ、太いもの〉 【例】まーさむん じょーぐーぬ うふく なてい、ういなぐん ういきがん ぶっとうるー なていちよーしが、ちゃーするくとうん ならん。（食いしん坊が多くなって、男も女もでぶになってきているが、どうにもならない）。

**ふとうちゅん** 〈ほどく〉【活】ふとうちやん、ふとうかん、ふとうち 【例】いーちゅーぬ

まちぶい ふとうちゅんち なげー かかたん。（糸のからまりを解くのに長くかかった）。

**ふとうふとうー すん** 〈心配で震える〉

【活】～さん、～さん、～っし 【例】っんまがぬぬとーる バスぬ しんていやーに かーらんかい うていたんでいぬ しらしぬ あてい、いちちよーが すら しちよーが すらわからんくとう、したたか ちむふとうふとうー そーたん。（孫が乗っているバスがスリップして川に転落したという知らせがあつて、生きているのか、死んでいるのかわからないので、とても心配で震えていた）。ゆる ゆなかにやーぬ くさーをうてい むぬ うとうぬっしぬすどうが やら わからんくとう、ちむふとうふとうー さが なー じゅんさ ゆだん。（真夜中に家の裏で物音がして泥棒なのかわからないので、心配でどきどきしながら警官を呼んだ）。あまぬ めーういきがぬ わんとうじっし とうらしが すら、チルグワーやめーなち ちむ ふとうふとうー そーん。（あそこの男性が自分を妻にしてくれるのか、チルグワーは毎日どきどきしている）。ふとうふとうーぐいー（震え声）。

**ふどう** 〈身体、身長〉 【例】ふどうぬ まぎさん／ふどうぬ ぐまさん。（体が大きい／体が小さい）。ふどう まぎー／ふどう ぐまー（体が大きい者／小さい者）。ふどうぬ たかさん／ふどうぬ ふいくさん。（身長が高い／身長が低い）。ふどう だかー／ふどう ひくー（身長が高い者／身長が低い者）。っやーや あったに ふどうっういーとーん。（あなたは急に体が大きくなっている）。うやー ふどうぐまー やしが、っやーや ふどう まぎさんやー。（親は体は小さいが、あなたは体が大きいね）。あったー うやっくわー むる ふどうぐー やん やー。（あの家の親子はみんな体が小さいね）。

**ふどうーい** 〈反対〉 【例】なまから あとー いちいちまでいん いくさー ふどうーい

やん。(今後はずうっと戦争は反対だ)。わったー しまんかえー アミリカーたー しーぐわー ちゆくいしえー ぬーが あたんでーまん ふどうーい すん どー。(私たちの島にはアメリカの巣窟を造るのは何があっても反対するぞ)。

**ふどうふどう** 〈年頃〉 【例】いったー ういなぐんぐわー ふどうふどう なんとさに？ をうとう むっちー？(あなたの家の娘は年頃になっていないの。結婚はしたのか)。いったー ちゃくしえー ふどうふどう なんとさに？ とうじ とうめーていー？(あなたの家の長男は年頃になっていないか。結婚はしたのか)。

**ふに** 〈骨、茎〉 【例】ぐるくのー あんだんかい あぎーねー、ちぶるから どうーぶにーじゅーまでい むる かまりーん。(グルクンは油にあげたら、頭から骨、尾びれまでみんな食べられる)。うんちえーや ふぁーん ふにん むる かまりーしが、なまぬ っちゅぬちやーや ふぁーびけー かでい ふねー むるしていとーん。(空心菜は葉も茎もみんな食べられるが、今時の人たちは葉だけを食べて茎はみんな捨てている)。うやに にち、つくわん っんまがん ふにぬ あらさん。(親に似て、子も孫もがっちりしている)。

**ふみーん** 〈ほめる〉 【活】ふみたん、ふみらん、ふみてい 【例】わらべー ぬらてい ふどうっわーするむのー あらん。ふみていどうならーさりーる。(子どもは叱って育てるものではない。ほめてこそ教えられる)。ぬらいしえー いんちゃく さーに、ふみーしえー ながながーとう すし やん。(叱るのは短くして、ほめるのは長くすることだ)。ふみれー ふみあがい すくとう、くるま むちゆるびけーや うかーさくとう ふみーるむのー あらん。(ほめるとほめあがるので、車の運転ばかりは危いのでほめるべきではない)。

**ふみ たっくわすん** 〈大げさにほめる〉

【例】あんし っやーや ふみたっくわすしが、どうーぬくとー どうーくる ゆー わかとー っさ。あんだぐちえー さんけー。(あんなにお前は大きさにほめるが、自分のことは自分でわかっているさ。おだてることはするな)。

**ふみかすん** 〈盛り上げる〉 【活】ふみかちゃん、ふみかさん、ふみかち 【例】ふみかさー、＝じゃー むちゃー (宴会の引き立て役)。うちなーをうてー うゆえーや うた さんしん っし ふみかすん。(沖縄ではお祝いは歌三線で盛り上げる)。ちゅーや うほーくぬ っちゅぬちやーが あちまてい すじょーっし いっぺー ふみかちよーたん。(今日は多くの人たちが集まって喜んで多いにぎわっていた)。

**ふみちゅん** 〈蒸し暑い〉 【活】ふみちゃん、ふみかん、ふみち 【例】ちゅーや あんし ふみちよーる やー。(今日はだいぶ蒸し暑いね)。ちゅーや かじん ねーん、ふみちよーん やー。(今日は風もなくて熱気でむんむんしているね)。

**ふみち** 〈熱気〉 【例】うちなーぬ まふっくわー じこー／さっこー ふみちぬ ちゅーさくとう、なれー ふかねー っんぢらんしえー まし どー。ていーだぬ さがていから っんぢれー。(沖縄の真昼間は大変な灼熱なので、なるべく外に出ない方がいいよ。日が落ちてから外出しなさい)。あみぬ あがやーに ていーだぬ ていてい ふしがらんあたい ふみちよーん やー。(雨があがって陽が照ってがまんでできないほど蒸し暑いね)。【参】ゆーかーぎなていから (夕方になってから)。

**ふゆー** 〈怠け者〉 【例】ふゆー (怠け者)、ぬーん しーぶしこー ねーん ぬー (何もしたくない者)、ふゆーな むん (怠け者)、ふゆーくさー (とんだ怠け者)。ちゃっさ ふいーさくとうんでい いちん みじん ちからんばー、さーらんばー しーねー、ふゆーな むんないん どー。(いくら寒いからといって水を使うのもさわるのも嫌がっていると、怠け者

になるぞ)。

**ふらきーん** 〈開ける〉【活】ふらきたん、ふらきらん、ふらきてい

**ふらちゅん** 〈開く、吹かす〉【活】ふらちゃん、ふらかん、ふらち 【例】みー／はな／くちふらちゅん。(目／鼻／口が開く)。とういぬぴーよーぐわーや うやどういぬ かみむんむっちちゅーし くちえー がーぶらちっしまっちょーん。(小鳥のヒナは親鳥が食べ物を持ってくるのを大きく口開いて待っている)。くたんでいてい くち ふらち にんとーん。(疲れていて口をあぐりあけて寝ている)。はな ふらち (生意気になって)。

**ぶらげー** 〈ほら貝、うどの大木〉 【例】ふどーん どんどんっし くえーてい あぬ っちょー あんし まぎさる。あれー ぶらげーやん やー。(体が大きくて肥えてあの人は何と大きいことか。あれはうどの大木だね)。あれー たー やが? あぬ ぶらげー なー?(あれは誰か。あのうどの大木のことねえ)。

**ふりー** 〈限度が過ぎた、バカな〉 【例】ふりゆんたく／ふりあびー／ふりわれー／ふりがみ／ふりぬみ／ふりごーい／ふりすがい／ふりばたらち そーん。(バカ話／バカ叫び／バカ笑い／バカ食い／バカ飲み／見境なく買うこと／ふざけた装い／牛馬のような労働をしている)。  
**ふり ぢから** 〈馬鹿力〉 【例】っちゅぬぬち まむいる たみねー ふりぢからぬ っんぢーる むん やんでい。(人が命を守るためには馬鹿力が出るものだとき)。ふいるましーくとう やしが、ふりぢからぬ っんぢーねー まるふいーじー たーがん っんぢゅかさらん むん っんぢゅかすん。(不思議なことだが、馬鹿力が出ると普通は誰も動かせない物を動かす)。

**ふり むん** 〈バカ〉 【例】っやーや ふりむんどう やる る? またん めぬ くいけーしっし ちゅけーんなーっし わかりわどう

やる。(あなたはバカか。またも同じくり返しをして一度でわかるべきだ)。

**ふりーん** 〈惚れる〉【活】ふりたん、ふりらん、ふりてい 【例】ちちぶり (聞き惚れ)、んーぢぶり／みーぶり (見惚れ)。ういきがぬ ういなぐ もーいする しがたー んーち ふりーん やー。(男が女踊りをする姿は見惚れるね)。

**ぶりー** 〈群〉

**ぶり ぶし** 〈群星〉 【例】「ていぬぬ ぶりぶしや ゆみば ゆまりーしが、うやぬ ゆしぐとうや ゆみや ならん」でいーる うたんかえー うやっくわぬ ちながいぬ ふかさぬ みーゆん。(「天の群星は数えれば数えられるが、親の教えは数えられない」という歌には親と子の絆が見える)。

**ふるばすん** 〈金銭を踏倒す〉【活】ふるばちゃん、ふるばさん、ふるばち 【例】じん からちやくとう、ぬーぬ うとうさたん ねーらん、まーんかい をういが すら わからん、ちゅらーさ ふるばさったん／まちうたったん。(お金を貸したのに、何の音沙汰もない、いったいどこに居るのかわからない、まんまと借金を踏倒された／すっかり裏切られた)。つくわぬやー ふるばすん。(子が家財産を失ってしまう)。っちゅぬ てーとー いやーに、ぢーから じんまでい むる とうらってい やーや ふるばさったん。(人の保証人になって、お金から土地まですべて取られて家を滅ぼされた)。うやぬ じんから、ぢーから むる っくわんかい うちくわーったん。(親のお金から、土地からすべて子に食いつぶされた)。

**ふるみーん** 〈古くする〉【活】ふるみたん、ふるみらん、ふるみてい 【例】くぬ さけー ふるみていから ぬむる ちむえー やくとう かじみとーかな やー。(この酒は寝かしてから飲むつもりなのでしまっておこうね)。

**ふるむん** 〈古くなる〉【活】ふるだん、ふるまん、ふるでい 【例】ちゃっさ ちゅらやー

みーやー やていん っちゅぬ しまんだれー  
 たった ふるまーに やーや よーいしん  
 たでーま やんでい どー。(いかにきれいな  
 家、新しい家でも人が住まないとだんだん古く  
 なって家は弱るのもあつという間だよ)。そー  
 むんぬ かーっし ちゅくらっとーる かぼの  
 ー、ちかいしんでー やふあらち ちけーやし  
 く ないん。ふるみねー、いるん どうーぢゅ  
 らさぬ っんぢーん。(本皮で作られているカ  
 バンは、使うほど柔らかくなって使いやすくな  
 る。古くなると、色もつやが出る)。ふるむん  
 (古いもの)、ふるむん やー (古本屋、古もの  
 屋)、ふるぢん (古着)、ふるしんぶん (古新聞)、  
 ふるアルバム (古いアルバム)。ふるさー あ  
 しが、なかめー めぬ むん やくとう、じん  
 てーち みーむん こーらんぐとう、ふるむ  
 んやーんぢ こーいしえー まし。(古くはあ  
 るが、中味は同じものなので、お金を費やして  
 新品を買わないで古物屋で買った方がいい)。

～ふん 〈(数詞として、鉛筆などの)～本〉  
 【例】いっぶん (1本)、にふん (2本)、さんぶ  
 ん (3本)、ゆんぶん／しふん (4本)、ごふん  
 (5本)、るっぶん (6本)、しちふん (=ななふ  
 ん) (7本)、はちふん／はっぶん (8本)、きゅ  
 ーふん (9本)、じっぶん (10本)。

ぶん 〈品格〉 【例】あぬ っちょー ぶんぬ

あみしえーくとう、くぬ ちとうめー あぬ  
 っちゅ やれー まちげー ねーんさ。(あ  
 の人は品位が備わっているの、この役職はあ  
 の人なら間違いはないよ)。あれー ぶんむち  
 やー なてい たーとうん たーとうん ふい  
 ららん。(あの人は気取っていて人を選んでし  
 かつき合わない)。

ふんしー 〈風水〉 【例】うちなーや なち  
 なれー、ふえーかじぬ ふちゅくとう、ふん  
 しー かんげーてい じょーや ふえー んか  
 ーさっとーん。(沖縄は夏になれば、南風が吹く  
 ので、風水を考えて門は南に向けられている)。

ぶんぢらー／ぶんぢり 〈棒切れ〉 【例】  
 ぐわんくーとうすいんかい ぶんぢらー むっ  
 ち やーまでい っわーぎらったん。(頑固年  
 寄りに棒切れを持って追いかけられた)。【参】  
 んかしえー ぼーぬ ふいぢやいにぢりんかい  
 をうーき さぎてい みじ かたみとーたん  
 どー。(昔は棒の左右に桶を下げ水を担い  
 でいたよ)。

ふんでー すん 〈わがままをする〉【活】～  
 さん、～さん、～っし 【例】ちびーぐわー／っち  
 ゆいんぐわ なてい、ふんでー そーん。(末っ  
 子／一人っ子なので、わがままをしている)。



べ

ベ—／ベ—る 〈嫌だ（否定）〉 【例】しか  
ん っちゅんかい っわ—ばぐとう さり—ね

一、「ベ—る」んでいち ちかんふ—な— す  
ん。（好きでもない人から余計なことをされると、「嫌だ」と聞かないふりをする）。





# ほ、ぼ

## ぼー／ぶい／ぶち 〈棒／短い棒／細い棒〉

【例】 っちゅぬ をうる とうくまをうてい  
ぼー ふいまーち、っちゅんでー どうー や  
ましみーねー いちでーじなくとう ないん  
どー。(人がいるところで棒を振り回して、人  
の体とかを傷つけてもしたら大変なことになる  
よ)。ぶい ふいちゃーに てーくぬ ばち  
ちゅくたん。(短い棒を削って太鼓打ちの棒を  
作った)。んかしえー いーし ちかん わら  
びんちゃーや ぶちさーに むむ すぐらった  
い ちび すぐらったいっし しちきらった  
ん。(昔は言うことを聞かない子どもたちは細  
い棒で腿をたたかれたり、お尻をたたかれたり  
して躰けられた)。

ほー いん 〈こぼす〉【活】 ほーたん、ほー  
らん、ほーてい 【例】 むのー ほーらんぐとう  
かめー。(食べ物ほこぼさないで食べなさい)。  
ちゅちぶ やていん ほーてー ならん。(一  
粒でもこぼしてはいけない)。まーみぬ いっ  
ちよーんちえー わからん、ばーきんかい き  
っちゃきっし ある うっさ ほーたん。(豆  
が入っているとはわからなくて、平底カゴにつ  
まずいて一つ残らずこぼした)。むとうぶんち  
ゅぬ かみあちねーっし むとうぶくとうばさ  
ーに「くみ ほーいみ？」んでい いちやくと  
う、なーふあんちゅぬ 「ぬーんち くみ ほ  
ーいが？ くみ ほーいねー、ばち かんぢゅ  
ん どー」んでい いちやんでい。(本部出身の  
人が行商をして本部のことばで「米を買うか？」  
と聞いたので、那覇の人は「どうして米をまき  
散らすのか。まき散らすと罰があたるぞ」と言

ったとき)。

ほーりいん 〈こぼれる〉【活】 ほーりたん、ほ  
ーりらん、ほーりてい 【例】 むぬ／くみちぶ／  
まーす／うくわーし／まーみ／まーじんぬ ほ  
ーりとーん。(もの／米粒／塩／お菓子／豆／  
粟がこぼれている)。

ほーいん 〈這う〉【活】 ほーたん、ほーらん、  
ほーてい 【例】 うさきーなーぬ ちたぬ ほ  
ーとーん やー。うれー まーまでいん いち  
ゅくとう なま とういしえー まし どー。  
(たくさんのツタが這っているね。これはどこま  
でも伸びていくので今取るほうがいいよ)。「な  
が ぼーやーや すなけー」「うすりていどう  
ほーとーいびーん」「寝そべてはいけない  
ぞ」「恐れ多くてひれ伏しているんですよ」。

ほー らすん 〈這わせる〉【活】 ほーらちゃ  
ん、ほーらさん、ほーらち 【例】 いちゅび ぢ  
ーんかい ほーらすん。(イチゴを地面に這わ  
せる)。

ほー い がじまる 〈根が這いすぎたガジ  
ュマル〉 【例】 なぐぬ ひんぷんがじまるや  
ほーいがじまる なてい ゆだ ちっちゃん。  
(名護のヒンプンガジュマルは根が這いすぎて  
枝を切った)。

ぼーじゃー 〈坊主、乳児〉 【例】 あんだく  
えーぼーじゃー(芝居・義賊「運玉義留」の子  
分)。  
【参】「はー」に関連する例有り。

ほーちゃく 〈爆竹〉 【例】 ババンバンバ  
ンっし まちりぬ しめー ほーちゃくぬ あ  
がいん。(ババンバンバンと祭りの締めは花火

が上がる)。よーかびーねー げーぬんかい  
くわーぎぬ ゆだ ていーち ささーに しば  
さし ちゅくてい じょーぬ ふいぢゃいにぢ  
り、やしちぬ ゆしめんかい うちきーん。う  
りから ほーちゃく ならさーに やなむん  
っういーほーいん。(旧暦の八月八日にはス  
スキで作った魔除けに桑の木の枝を一本差して柴  
指しを作って門の左右、屋敷の四隅に置く。そ  
れから爆竹を鳴らして邪気を追い払う)。

### ほーちゅん 〈清掃する、ビンタをする〉【活】

ほーちゃん、ほーかん、ほーち 【例】しわーし  
えー やー ほーちゃい なー ほーちゃいっ  
し いちゅなしく ないん。(師走は家を掃除  
したり、庭を掃除したりして忙しくなる)。なー  
(ぬ きーぬ ふぁー) や ほーかっとーみ?  
(庭(の木の葉)は掃かれているか)。やーぬ  
ほーちかち すん。(家の中を掃除する)。ちら  
ほーかりーん。(ビンタをされる)。

ほーち んちゅん 〈かき込む〉【活】～んち  
ゃん、～んかん、～んち 【例】ぬくさんぐとう  
ほーちんけー。(残さないでかき込め)。【参】  
「はばはば かむん」とも言う。

### ぼーちり／ぼーちらー 〈乱暴者〉【例】

＝っちゅぬ いーし ちかんぬー (人の言うこ  
とを聞かない者)。あれー ちゃくし なとー  
てい、かみぐとうん とーとーめーぐとうん  
うやふぁーふじぐとうん ぬーん わからん。  
(あの人は長男なのに、神事もお供え事も先祖の  
ことも何もわからない)。

### ほーとう 〈鳩〉【例】ほーとうや くーが

たーちどう なするんではいる くとうから、っ  
ちゅにんぢんぬ たーちゅー なしーねー、ほ  
ーとうんぐわ なちえーさ やーんでい いら  
っとーたん。(鳩は卵を2個産むということか  
ら、人間が双子を産むと鳩のように子を産んだ  
ねと言われていた)。

## ふあ

**ふあー** 〈葉〉 【例】はなしえー はな さか  
ちよーしが、ありが はなしえー ふあーどう  
やさ。(話の花を咲かしているが、あの人の話  
は根も葉もない)。じゅーるく、しちぬ ういな  
ぐわらびんちゃーや きーぬ ふあーぬ かじ  
っし っんぢゅちよーし んーちん ぬー ん  
ーちん わらいん。(16、7歳の娘たちは木  
の葉が風で動いているのを見ても何を見ても笑  
う)。

**ふあーふあー** 〈火照っていること〉 【例】  
ゆーふるんかいどう いっちょーるぐとう、ぬ  
ーが やら ふあーふあーそーんねー すっさ  
ー。(風呂にでも入っているように、何かしら火  
照っているかのような気がする)。いくさ め

ーぬ くとう やしが、どうー ふいじゅらさ  
んたみに ふいー めーさーに どうーん ち  
らん ふあーふあー さがなー つくわ なす  
たんでい。(戦前のことだが、体を冷やさないと  
めに火を燃やして体も顔も暖めながらお産した  
ってよ)。なんめーん かさびてい ちち、どう  
ー ちちどーくとう ぬくたまでい ちらん  
ふあーふあー そーん。(何枚も重ねて着て、体  
を包んでいるので暖まって顔も火照っている)。

**ふあんない すん** 〈高熱が噴き出る〉  
【活】～さん、～さん、～っし 【例】にちぬ くま  
てい ふあんない そーん。(熱がこもって体  
が熱い、＝にちぬ ぱんぱん そーん)。



# ふい

**ふいー** 〈火〉 【例】かじん かーきとーくと  
う、ふいーぬ どうじまえー ちー ちきり  
よー。(風も乾いているので、火の戸締まりは気  
をつけなさい)。かーきーる しちねー どう  
ーぬ かーぬ かさかさ さんぐとう、あんだ  
むぬん とういしえー まし やん。(乾燥し  
ている季節には皮膚が乾燥しないように脂肪分  
を補給すればいい)。ふいー めーさーや マ  
ッチから ライターなてい、ちけーやしく な  
とーん。(着火器はマッチからライターになっ  
て、使いやすくなっている)。

**ふいー たったー すん** 〈(摩擦熱、やけ  
どで) 皮膚がめくれる〉【活】～さん、～さん、～  
っし 【例】ながさる すべりだい ぬやーに  
ちべー あちりてい ふいーたったー そー  
たん。(長い滑り台に乗ってお尻が熱くなって  
ひりひりした)。

**ふいー だま** 〈火玉〉 【例】ふいーだまや  
まーるー あらん、あみなーぬぐとう じゅ  
ーぬ あてい、ゆとうゆとうっし よーんなー  
とうどーん。おーるーびーとう あかびーぬ  
あてい、おーるーびーや っちゅだま やく  
とう っちゅぬ まーする しらし、あかびー  
や くわじぬ うくいる しらしぬ たま や  
んでい。(火玉は丸くはない、メダカのように  
尻尾があって、ふわふわとゆっくり飛んでいる。  
青火と赤火があって、青火は人の靈魂なので人  
が亡くなる知らせ、赤火は火事が起こる知らせ  
の玉だって)。

**ふいー ちゃーさー** 〈消防士〉 【例】わ  
ったー をうじゃさーや ふいーちゃーさー

やん。(私のおじさんは消防士だ)。

**ふいー らちゅん** 〈ひりひり痛む〉【活】～  
らちゃん、～らかん、～らち 【例】まるふいっち  
ー うみんぢ あしどーたくとう、どうーてー  
むる やちふいーらち ゆるん にんだらん  
たん。(一日中海で遊んでいたもので、体中日焼け  
してひりひり痛んで夜も眠れなかった)。

**ふいー** 〈陽、日〉 【例】ふいーぬ さがていか  
ら ちゃーびーさ。(陽が落ちて／午後から来  
ますね)。はるぬ しでーに ゆていちゃーに  
ちかぐろー たった ふいーぬ ながく な  
とーんねー すん。(春がしだいに寄って来て  
近頃はだんだん日が長くなっている気がする)。  
【参】金城(1997, 26-28 頁)に基づく、一日の  
区分名称は、あこーくろー(薄暮、夜明け前)、  
ゆーあきがた(ほのかに明るくなってくる頃)、  
あかちち(暁、夜明け)、すとうみてい(早朝)、  
あさ(朝)、まふいる(正午の頃)、まふつくわ  
(夏の陽が強い午後)、ゆさんでい(夕方)、ゆー  
いりがた(陽が沈む頃)、ゆまんぐい(薄暗く  
なる頃)、ゆくねー(宵、ゆくねーくらしん[暗  
闇])、ゆる(夜)、ゆなか(夜中)、まゆなか(真  
夜中、午前2時～3時頃)のようになる。

**ふいー かし** 〈日数〉 【例】わんねー す  
るくとうぬ あてい、ふいーかじぬ たらーん  
くとう なまー っんぢゅからん。(私はする  
ことがあって、日数が足りないので今は動けな  
い)。

**ふいー かたか** 〈日除け〉【活】ていーだ  
かたか 〈日除け〉 【例】あがりむていーんか  
い うふやーぬ たっち わったー やーや

ふいー／ていーだ かたか なてい、なまー  
あさが やら、ふいるが やら、ゆさんでいど  
う かとーが わからん あたい かとーん。  
(東側に大きな家が建って私のうちは日陰にな  
って、今は朝なのか、昼なのか、夕方になって  
いるのか分からないほどになっている)。

ふいー じー 〈常日頃〉 【例】まるふいー  
じーから なーちねーぢねーをうてい しまく  
とうば ちからんとー ならんでい うむてー  
をうしが、いち やていん まーんぢ やてい  
ん ないんでいーる くとうん あらんくと  
うむとーるぐとー ならん。(常日頃から各  
家庭でしまくとうばを使わなくてはならないと  
思っているが、いつでも何処でもできるとい  
うことでもないで思っているようにはできな  
い)。

ふいー どうい 〈日取り〉 【例】やー う  
ーちー、にーびち、うゆうえー、やー ぢゆく  
い、はか ぢゆくい、ぢー こーたい する  
ばすねー、ふいーどうえー かんぬーんでい  
ならーしぬ ちゅーさん。(引っ越し、結婚、  
お祝い、家造り、墓造り、土地購入する際には、  
日取りは大切だという慣わしが強い)。

ふいー びー 〈日々、日常〉 【例】ふいー  
びー するくとうぬ まんでい、ちゃー ちも  
ー っわーとーんねー すん。(毎日するこ  
とが多くて、いつも心は追われているような気  
がする)。

ふいー むどうい 〈日帰り〉 【例】くぬ  
ゆぬなーかー、いちやびら、ちゃーびらんで  
いいち ふいーむどうい ないる っちゅびけ  
ーのー あらん。(この世の中は、行って来ま  
す、ただいまといって日帰りできる人だけでは  
ない)。

ふいー よー (さー) 〈日雇い (労働者)〉  
【例】ふいーいちにち はたらちゃーに じん  
ゐーゆしんかい ふいよーさーんでい いー  
ん。(一日働いてお金をもらうのを日雇い労働  
者と言う)。

ふいー じゅー 〈一日中〉 【例】ちゅーや  
なー ぬーん さんぐとう ふいじゅー あふ

あ なちよーちゅさ。(今日はもう何もしない  
で一日中だらだらしているね)。【参】「ふいっ  
ちー」とも言う。

ふいー くし 〈欠点〉【活】やな ぐし 〈悪  
い癖〉 【例】ふいーくし かちみやーや どう  
ーぬ っういーや みーらん。(人のあら探し  
をする人は自分のことは見えない)。あらん  
ふいーくし かきらってい めー ちもー さ  
んたん。(ありもしない欠点をかけられて、いい  
気はしなかった)。

ふいー 〈屁〉

ふいー ふいらー 〈おならをよくする者〉

【例】きじむなーや ふいーふいらー いっぺ  
ー うとうるさ すたんでい。(キジムナーは  
おならをよくする者をとても恐れていたとさ)。  
んかしえー まるふいーじーぬ かみむのー  
っんむとう とーふ やたくとうどう ふいー  
ふいらーぬ うふさたがやー?(昔は通常の食  
べ物は、芋と豆腐だったのでおならをする人が  
多かったのかねえ)。

ふいーん 〈屁を放る〉【活】ふいっちゃん、ふ  
いらん、ふいっち 【例】わたぬ ちゅーさくと  
う ふいー ふいーん。(胃腸が強いのでおな  
らをする)。はな ふいーねー、やなむんが し  
がとーくとう くすくえーんでい いやーに  
やなむん はんする まじねーくとうばぬ あ  
ん。(くしゃみをする、と、邪気がついているので  
「くすくえー」と言って邪気を外すまじない言葉  
がある)。【参】過去形には、「ふいたん」と「ふ  
いーたん」があるが、後者の場合には自分が屁  
をしたことにはならない; 宮良 (2019a, 129–136  
頁)。

ふいーうち 〈忌中〉 【例】ふいーうちんで  
い いーしえー、っちゅぬ ゆー しぢていか  
ら しじゅーくにちまでいぬ くと う やん。  
(忌中というのは、人が亡くなってから49日間  
のことである)。

ふいーさ 〈寒さ〉

ふいーさ がたがた すん 〈寒さで震える〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】ばすぬ いる とうくるをうてい ふいーさがたがた さがなー ばすぬ ちゅーし まっちょーたしが、ふしがらんたん。(バス乗り場で寒さで震えながらバスの来るのを待っていたが、耐えられなかった)。

ふいー ぐに 〈寒い地域〉 【例】あちぐにぬっちょー ふいーぐにんかい いちゅるばすねー、なりてーをうらんくとう ぬくばーていから すじょーしーが いちゅん。(暑い地域の人は寒いところに行くときには、慣れていないので暖かくなってから楽しみに行く)。

ふいーさ うみー 〈寒がり〉 【例】あれー ふいーさうみー やくとう、ふいーさるばすねー ふかねー つんぢらん、やーんかい をうとーちゅしえー ましんでい うむとーん。(あの人は寒がりなので、寒いときには外には出ない、家に居るほうがいいと思っている)。

ふいーさ ぬー 〈悪寒〉 【例】ふいーさぬー する ばすねー、くるざーたーさーに そーがーゆー ちゅくてい ぬみーねー とうまいさ。(悪寒がするときには、黒砂糖でショウガ湯をつくって飲むと止まるよ)。

ふいーさ まがい 〈寒さで縮こまること〉 【例】ふいーさくとうんち ふいーさ まがい する っちょー ふゆーな むん やん。(寒いといって寒さで縮こまる人は怠け者だ)。

ふいーじゃー 〈山羊〉 【例】ふいーじゃー がんまり しーねー、わじやーに うーていちゅーん。(山羊にいたずらしたら、怒って追ってくる)。

ふいーじゃー がー 〈湧き水場〉 【例】ふいーじゃーがーぬ みじえー ぬーぬ ゆぐりん ねーん、ちゅらみじ やてい ふいじゅってーんっし まーさん。ぬーでいーぬ あらーりーんねーっし ぬちみじどう やる。(湧き水場の水は何の汚れもない、清らかな水で冷たくておいしい。喉が洗われるようでまさに命の水だ)。んかしえー ふいーじゃーがーをう

てい ぬみみじ くだい、まかいどーぐ あらたい、あらいむん さい、わらびんちゃーが あみたい さん。(昔は湧き水場で飲み水を汲んだり、炊事道具を洗ったり、洗濯をしたり、子どもたちが浴びたりした)。

ふいーじんとー 〈遊びの一種〉 【例】ふいーじんとーんでいーる うやっくわぬ あしびっし、ふいーじんとー、みーみんめー、ちぶる てんてん、いーゆぬ みー、ぼーじゃーんかい ならーすん。「ふいーじんとー」という親子の遊びで、肘、耳、頭、(手のひらと人差し指で) 魚の目を幼児に教える)。

ふいーち 〈ひいき〉 【例】つくわ びーちゃー (子煩悩、=どうーぬ つくわ いっペー うむやー)、っちゅ びーちゃー (えこひいき)、かた びーちゃー (えこひいき)。ありが うやー つくわ びーちゃー やくとう、あまぬ わらびんちゃーや ぬらーらん どー。(あの子の親は子煩悩だから、あの家の子ども達は叱れないよ)。

ふいーとう 〈いるか〉 【例】いくさ うわていちゃーきー やんばるからぬ かみあちねーさーが 「ふいーとー こーいみそーらに?!」 んでい つふいーとう ういが なーふあまでい ちゅーたん。(終戦直後はヤンバルから頭にたらいを乗せた売り子が「イルカを買ってくださいませんか」とイルカを売りに那覇まで来たんだよ)。

ふいーふいー 〈ひゅーひゅー〉 【例】いーびさーに ふいーふいー ふちゃーに ゆだしが、っやーや とうんけーらんたん。(指笛を吹いて呼んだんだが、あなたは振り向かなかった)。

ふいーら 〈へら〉 【例】ふいーら からちく いら。(へらを貸してくれ)。ふいーら かとーか? かれー。(へらを貸してね。どうぞ)。ふいーら からちよーかん なー?(へらを貸してもらえないかね)。



**ふいーらー** 〈ゴキブリ〉 【例】 まっくーる  
そーる まぎふいーらーんかい とーびーら  
ー んでい いち、ぐまふいーらーんかい ア  
ミリカふいーらー んでい いちよーしが、た  
ーがが あんし なー ちきたがやー？(真っ  
黒な大きなゴキブリにトービラーと言って、  
小さなゴキブリにはアメリカフィーラーと言っ  
ているが、いったい誰がそのように名前をつけ  
たのかなあ)。

**ふいがん／ふいんがん** 〈彼岸〉 【例】  
ふいがんねー うやふあーふじんかい うじゅ  
ー うさぎてい、やーにんじゅさーに うさん  
でー かでい どうーがんにゅーさ にがい  
ん。(彼岸には祖先に食べ物を供えて家族でお  
供えした物を食べて健康を祈願する)。

**ふいさ** 〈足〉 【例】 うふえー ふいさー ぐ  
ーに そーてい ねーぐねーぐっし あっちぐ  
りさ そーん やー。(少しばかり足をびっこ  
引いていて、歩きにくそうにしているね)。んか  
しぬ わらびんちゃーや からびさーどう や  
たくとう、ふいさぬ わたー くふあぼっちら  
ー そーたん。(昔の子どもたちは素足だった  
ので、足の裏は固くなっていた)。あれー ふ  
えーぬぐとう ていーふいさ しりしりーっし  
あんだぐち たらたら そーん。(あの人は  
蠅のように手足をこすっておべっかを使ってい  
る)。っやーや っちゅ うしえーむにーっし  
どうくから はな ふらちーねー ふいさ  
とーさりーん どー。(おまえは人をバカにし  
ていい加減にしないと足ごと倒されるぞ)。あ  
していびち ちゆくいくとう っわーびさ こ  
ーてい くーわ。(「あしていびち」をつくるか  
ら豚足を買ってきなさい)。【参】 ちまぐー (蹄  
の部分)、とうむぐー (足の付根の部分)。

**ふいさ** うとう 〈足音〉 【例】 ゆるゆな  
かに はしるぐちぬ めーをうてい ふいさうと  
うぬ っし たーがなぬ さーし あきらんち  
そーたくとう、じこー うとうるさたん。(夜  
中に玄関の前で足音がして誰かが鍵を開けよう  
としていたので、とても恐かった)。

**ふいさ まんち すん** 〈正座する〉 【活】 ～  
さん、～さん、っし 【例】 じー ならいぐとう  
する とうくるをうてー はじみから うわ  
いまでい ふいさまんちー そーん。(字を習  
う所でははじめから終わりまで正座している)。  
**ふいさ だかー すん** 〈つま先立ちする〉  
【活】 ～さん、～さん、っし 【例】 みーむん ん  
ーぢーが っんぢやしが、っちゅぬ ぐわさぐ  
わさ をうてい ふいさだかー さしが んー  
だらんたん。(見物に出かけたが、人がたくさん  
いてつま先立ちしたが見えなかった)。【参】 「と  
うんたちー すん」とも言う。

**ふいさ もー** 〈足のない者〉 【活】 ／ふいさ  
むっこー (ふいさ もーくー) 〈足を失くし  
た者〉 【例】 いくさあとー ていーふいさむ  
っこー なたる っちゅぬちゃーぬ をうたし  
が、いくさ をうていどう あん なたが や  
ー？(戦後は手足の無くなった人たちがいたが、  
戦争でそうなったのかなあ)。

**ふいし** 〈栓〉 【例】 なま ぬだる さけー  
いーけーりらんぐとう、ふいし そーけー。(今  
飲んだ酒はこぼれないように栓をしておけ)。

**ふいし／ふいち すー** 〈干潮〉 【例】  
ふいちすーまでいねー 2じかん かかいくと  
う、2じかんめーぬ なまじぶんから はまう  
り すしえー まし。(引き潮までには2時間  
かかるので、2時間前の今頃から浜に降りる方  
がいい)。っちゅにんぢのー みちすーぬ じ  
ぶんに っんまりていちゃーに ふいちすーぬ  
じぶんに まーすんでい。(人間は満潮時に  
産まれて来て干潮時に亡くなるんだって)。う  
ちなーをうてー かりーぐとう とういいりー  
る たみねー みちすーぬ じぶんに うにげ  
ーさーに、やなぐとう はんする たみねー  
ふいちすーぬ じぶんに うにげーすん。(沖  
縄ではめでたいことを取り入れるためには満ち  
潮時分にお祈りして、悪いものを取り除くため  
には引き潮時分にお祈りする)。

**ふいしーん** 〈(厚み、濃さを) 薄くする〉 【活】

ふいしたん、ふいしらん、ふいしてい 【例】ちゅーぬ えーむのー んーすぬ うふさくとう  
なまからー ふいしり よー。(今日の和え物は味噌が多いのでこれからは薄くしなさいね)。

ふいし かーがー 〈透けて見える物陰〉  
【例】ふいろー みーらんしが、ゆろー でんきちかいねー、ふいしかーがーぬ みーゆん。(昼間は見えないが、夜は電気を点けると、透けて物陰が見える)。

ふいし やちー 〈薄焼き〉 【例】やまとうしんぴーや あんし ふいしやちー さつていまーさる やー。(本土の煎餅は見事に薄焼きにされていておいしいね)。

ふいじ 〈返事〉 【例】っちゅんかい えーじさりーねー／なー ゆばりーねー、ちむからふいじふいんとーや しー よー。(人に声をかけられたら／名前を呼ばれたら、快く返事しなさいよ)。

ふいじゅいん 〈冷める〉 【活】ふいじゅたん、ふいじゅらん、ふいじゅてい

ふいじゅ らすん 〈冷たくする〉 【活】ふいじゅらちゃん、ふいじゅらさん、ふいじゅらち 【例】むのー ふいじゅらん まーどうかめー。あちらしけーさー しーねー、まーこー ねーん ないくとう やー。(食べ物に冷めないうちに食べなさい。暖め直してはおいしくないからね)。にち ばんばんっし じこー あんまさ そーたしが、どうー いっぺーさき なしてい ふいじゅる あし はらちやくとう、しでーに にちぬ さがたん／ねーん なたん。(高熱でたいへん気分が悪かったが、体中酒を塗り込んで冷や汗を出したのでしだいに熱が下がった／なくなった)。しだかじ うくする せんぷーきや、れいぼーとー ちがてい、にんぢゅる みーねー あちかじぬ ちゅーん。(涼風を起こす扇風機は、冷房とは違って、眠るころになって熱風が来る)。なまぐろー あさゆーや ふいじゅいん どー やー。(今頃は朝夕冷えるよね)。

ふいじゅい 〈冷氣〉 【例】ふいじゅい いーくとう、にんぢゅるめーねー からじえーあらいな よー。(冷氣におかされるので、寝る前には髪は洗うなよ)。ふいじゅい いーねー、しーら いーん どー。(冷氣におかされると、病気になるよ)。

ふいじゅってーん すん 〈ひんやりする〉  
【活】～さん、～さん、～っし 【例】くぬ ふいじゅってーん そーる しーくわうい かだくとう どうーまでいん しだく などーさ。(このひんやりしたスイカを食べたので体までも涼しくなっているよ)。

ふいじゅるー 〈冷たいもの、冷たい者〉  
【例】ふいじゅるコーヒー(冷たいコーヒー)、ふいじゅいかー(とても冷たいさま)、あち こーこー(湯気がでるほど熱いさま)。ぬーでいーかーきてい うぬ ビール よー、ふいじゅってーんっし あんし まーさぬ、いちげーいん ねー すさ／ぬちかんばー やっさー。(のどが渇いてこのビールは冷たくてとてもおいしくて生き返るようだね／すっきりするね)。ちゅくてい ちゃーきぬ ピザや いっぺー まーさるむんぬ、ふいじゅいかー なていからー まーこーねーん。(作ったばかりのピザはおいしいのに、冷たくなってからはおいしくない)。うしろー ふいじゅるかー そーくとう、あちらち かめー。(おつゆは冷めているので、あたたためて食べて)。ていーぬ わたぬ あちさる っちょー ちむふいじゅるーんでい いらっとーしが、うれー ふんとー やみ?(手の内の熱い人は心が冷たい人と言われているが、それは本当か)。

ふいじゅる かんぢやー 〈寒々としているさま、冷え冷えとしているさま〉 【例】あれー いっぺー ちゅらかーぎー やしが、ふいじゅるかんぢやー そーん やー。(あの人はたいそう美人だが、暖かさを感じないね)。やまぬ かーま うくんかい ある やどうんかい ちちやしが、いっぺー ふいじゅるかんぢやーっし をうらりーる むのー あらんたん。(山の奥深いところにある宿に着いたが、とても

冷え冷えして居られるものではなかった。  
わったーどうしぬ まっくらしん なていから  
はかぬ めー とうーたくとう、あつたに  
ふいじゅるかんぢやー すたんでい。(私の友人が真っ暗になってから墓地の前を通ったら、急に悪寒がしたそうだ)。

**ふいじゅる むん** 〈冷たい食べ物〉 【例】  
わたぬ やだい くす ふいりー そーる ば  
すねー、ふいじゅるむのー かむしえー あら  
ん。(お腹が痛かったり下痢をしている時には、  
冷たいものを食べるものではない)。

**ふいじゅる みじ** 〈冷たい水〉 【例】ぬー  
でいーぬ かーきとーる ばすに ふいじゅる  
みじ ぬみーねー、ぬち もーきたんねー す  
ん。(喉が渴いているときに冷たい水を飲むと、  
命をいただいたような気がする)。

**ふいた** 〈下手〉 【例】っやーや ふいじやい  
ぬーでいー なてい あんし うたー ふいた  
やる。(あなたは音痴でどうしてあんなに歌  
は下手なのかね)。

**ふいだていーん** 〈隔てる〉 【活】ふいだて  
いたん、ふいだていらん、ふいだていてい 【例】  
やーにんじょー ふいだていてー ならん。(家  
族は隔てがあってはならない)。

**ふいだてい** 〈隔て〉 【例】いちやりば ち  
よーでー ぬーぬ ふいだていぬ あが?(出  
逢えば仲間、何の隔てがあろうか)。っやーとう  
わんとー ぬーぬ ふいだていぬ／ふいぢや  
みぬ あが、かたてい あしば。(あなたと私は  
何の隔てがあろうか、語って遊ぼう)。

**ふいぢ** 〈髭〉 【例】っわー ふいぢ(鼻ひげ)、  
しちや ふいぢ(あごひげ)、ふいじ もー(髭  
のない者、＝うとうげー なんどうるー)、やま  
ふいぢやー(ひげの多い者)。んかしえー む  
ぬぐとう をうさみーる っちゅぬちやーや  
んな っわーふいぢ たていとーたん。(昔は  
物事を治める人たちは皆んな鼻ひげを生やして  
いた)。んかしえー うとうすいぬどう ふい  
ーじやーふいぢ みーらちえー をうたしが、

ちかぐろー わかむぬんかいん をうん。(昔  
はお年寄りが山羊のような髭を生やしていたの  
だが、近頃は若者にも居る)。あれー ういき  
がどう やしが、ふいぢもー はーもー やて  
い、はーめーぢら そーん。(あの人は男だが、  
髭もなくて歯もなくて、ばあさん顔している)。

**ふいぢやい** 〈左〉 【例】くぬ テレビんか  
い っんぢーる ういなごー ふいぢやいから  
うちーる ちらやか にぢりから うちーる  
ちらぬどう ちゅらさんねー すっさー。(こ  
のテレビに出演する女性は左から映る顔よりも  
右から映る顔が美しい気がする)。**【参】**ふいぢ  
やいぬーでいー(音痴)、ふいぢやいぐん(飯椀  
と汁椀の配置を反対にすること)、ふいぢやい  
うちやーしー(男子の着付けで右のおくみを左  
のおくみに重ねること)。

**ふいぢやい おーぢ めー** 〈左うちわ〉  
【例】どうーなーや ぬーん さん、っちゅ ち  
かてい めーあんべー そーる っちゅんかい  
ふいぢやいおーぢーめーんでい いーん。(自  
分は何もしないで、他人を使って楽をしている  
人を左うちわと言う)。

**ふいぢやい まちやー** 〈つむじが左巻きの  
者〉 【例】ふいぢやいまちやーとう たーち  
まちやーや うまくー／ぼーちらーんでい い  
らっとーたん。(つむじが左巻きと二つ巻きの  
者はやんちゃ／わがままと言われていた)。

**ふいぢやい みぐい** 〈空回り〉 【例】あ  
れー まくとうな むん やしが、ぬーんち  
ふいじやいみぐい そーがやー?(あの人は誠  
実な人だが、どうして空回りしているのかね)。

**ふいぢや やー／ふいぢやい がって  
い** 〈左きき〉 【例】ふいぢややーや ふいぢ  
やいん にぢりん ちかいるくとうぬ なてい  
うーぐとう やー。(左利きは左も右も使う  
ことが出来てありがたいことだ)。

**ふいぢやるー** 〈不器用、ばつが悪い〉 【例】  
わったー ういなぐぬ うやー あみむんから  
のーいむんから いっぺー じょーじ やし  
が、わんねー うやんかい にらん、ふいぢや

るー やん。(私の母親は編み物から縫い物から大変上手だが、私は親とは似ていなくて不器用だ)。ぬーんくいん どうーくる かんげー てい すんでいる くとー ならーさんねー、つくわー ふどういーねー ふいぢやるー ないん どー。(何でも自分で考えてすることを教えないと、子どもは大きくなると困ってしまうよ)。

**ふいぢゃまいん** 〈隔たる〉【活】ふいぢゃまたん、ふいぢゃまらん、ふいぢゃまてい 【例】わったー むらー むら ていーち ふいぢゃまとーん。(私たちの村とは村一つ隔たっている)。

**ふいぢゃみーん** 〈隔てる〉【活】ふいぢゃみたん、ふいぢゃみらん、ふいぢゃみてい 【例】うむやーぐわーやーとー かーま ふいぢゃみとーん。(恋人の家とは遠く離れている)。

**ふいぢゅん** 〈削る〉【活】ふいぢゃん、ふいがん、ふいぢ 【例】かちゅー／でーくに ふいぢゅん／ふいげー。(鯉節／大根を削る／削りなさい)。どうーくる かちゅー ふいぢ、ちゅくたる しろー だしぬ っんぢてい いっぺー まーさたん。(自分で鯉節をけずって、作ったおつゆはダシが出てとてもおいしかった)。

**ふいち** 〈親戚〉【例】っやーや まーぬ ふいち (や) が?(あなたはどこの親戚か)。しじえー まー やが?(血筋はどこか) 【参】っうえーか、はら。

**ふいぢゃい／ふいちえー** 〈額〉【例】っやー ふいぢゃえー ふじびぢゃい ない あんし ちゅらさる、ちのー ゆー うちやいん てー。(あなたの額は富士のような額でなんととりっぱなことか! 着物はよく似合うね)。んーもーこっこいんてい いーしえー、うやぬ ふいぢゃいとう つくわぬ ふいぢゃいとう あーち よーんぐわー がんまかち あしぶし やん。(「んーもーこっこい」というの

は、親と子の額とを合わせて軽くこつんとやる遊びだ)。

**ふいちないん** 〈抜ける〉【活】ふいちなたん、ふいちならん、ふいちなてい 【例】んなが っういーりきぎさ あしどーる ばすねー どうーちゅい ふいちなてい びんちょーんかい うみはまとーたん。(みんなが楽しそうに遊んでいるときには自分一人抜けて勉強に精を出していた)。

**ふいちなすん** 〈とって置く〉【活】ふいちなちゃん、ふいちなさん、ふいちなち 【例】くぬくわっちーや うっとうぬちゃーんかいん ふいちなちょーき よー。(このごちそうは弟妹たちにもとって置きなさいよ)。

**ふいぢゃいん** 〈光る〉【活】ふいぢゃたん、ふいぢゃらん、ふいぢゃてい 【例】っやー ちぶるぬ うっさ ふいぢゃとーくとう、いったー やーや あかがえー いらん てー。(あなたの頭はそんなに光っているので、あなたの家は明かりは要らないよね)。

**ふいぢゃい** 〈光り〉【例】わったー なーんかえー ちちぬ ふいぢゃいっし さちゆる ちゅらばなぬ あてい、ちゅゆるぬ ぬちどう やる。(私のうちの庭には月の光で咲く美しい花があって、一夜の命しかない)。

**ふいちゅん** 〈引く、弾く、挽く〉【例】うちなーぐゆみぬ 3ぐわち3にちねー うすぬ ふいちゅる じぶんねー、やーにんじゅ するてい どうーがんにゅーにげー しーが はまうい すん。(陰暦の3月3日には潮が引く頃になると、家族揃って健康をお祈りしに浜に降りる)。どうー ふいちゅる じぶん なとーしが、なまから あとう しーぶさるくとうぬ まんでい、ういーりきさっし まちかんでいー そーん。(身を引く頃になっているが、これから後したいことがたくさんあり、楽しみに待ちかねている)。まーみ ふいぢゃー(豆を挽く器械)、さんしん ふいぢゃー(三線弾く者)。

**ふいち あていーん** 〈引き合わす〉【活】～あていたん、～あていらん、～あていてい 【例】まちげーぬ ねーんが すら たげーに ふいちあていていから っんじゃさ やー。(間違いないのか、お互いに引き合わせてから出そうね)。

**ふいっ かかい むっかかい すん** 〈ひっかかる〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】なまぬ とうくろー ふいっかかい、むっかかいぬ ねーんくとう さーらない っんぢょーいびーん。(今のところはひっかることもなく、順調に行っている)。

**ふいっ かたんちゅん** 〈熱中する〉【活】ふいっかたんちゃん、ふいっかたんかん、ふいっかたんち 【例】だいがく あがていから なまー をうどういんかい ふいっかたんちょーん。(大学を卒業してから今は踊りに熱中している)。

**ふいち くむん** 〈(人)を引き込む〉【活】～くだん、～くまん、～くでい 【例】かみどうくるぬ っちゅ ふいちくどーしえー、まーさるびけー あらん、やーぬ かじゃぬ ゆたさくとう うちやくぬ うほーく ゆしらっとーん。(食事処が人を引き込むのは、おいしいだけではない、雰囲気がいいのでお客が引き寄せられている)。

**ふいち けーすん** 〈引き返す〉【活】～けーちゃん、～けーさん、～けーち 【例】ありとう いちえーが いくけーん ちゃんてーまん をうんでいーる くとうぬ ねーらんくとう またん ふいちけーちゃん。(あの人に会いに何度来ても居るということもなくまたも引き返した)。

**ふいち さがいん** 〈(空腹で)元気がなくなる〉【活】～さがたん、～さがらん、～さがてい 【例】ちゅーや していみていむぬん かでーをうらん、やーさぬ ふいちさがとーっさ。(今日は早朝食も食べてはいない、お腹がすいて元気がなくなっている)。

**ふいち しみーん** 〈引き締める〉【活】～しみたん、～しみらん、～しみてい 【例】むぬぐと

ー ちむ ふいちしみてい すしどう じゅんやる。(物事は心を引き締めてするのが本当だ)。

**ふいち たちゅん** 〈引き立つ〉【活】～たちちゃん、～たたん、～たちち 【例】うりが すが いよーや、じんかじゃ する ちむん あらんしが、まーんぢ やていん ふいちたちちょーん やー。(あの人の装いは、高級そうな服でもないが、どこででも目立っているね)。

**ふいち ちーん** 〈引きつる〉【活】～ちたん、～ちらん、～ちてい 【例】たかどうくる うとうるさするっちゅとう まじゅん ひこーきぬたくとう、うりーるまでい ちらー ふいちちーかーちー そーたん。(高所恐怖症の人と一緒に飛行機に乗ったら、降りるまで顔はひきつっていた)。

**ふいち とういん** 〈引きとる〉【活】～とうたん、～とうらん、～とうてい 【例】うやぬ あちねーぐとう っくわぬ ふいちとうてい ゆくん さけーとーん。(親の商売を子が引き継いでさらに繁盛している)。

**ふいち ぬぢゅん** 〈引き抜く〉【活】～ぬぢちゃん、～ぬがん、～ぬぢ 【例】おーふあや あまくまから ふいちぬぢーねー、びちぬ ふあーぬ ゆかいん。(若葉はあちこちから引き抜くと別の葉が育つ)。

**ふいち ぬばすん** 〈引き延ばす〉【活】～ぬばちゃん、～ぬばさん、～ぬばち 【例】くとうしぬ みちじゅねーや うふかじ なてい ふいちぬばさったん。(今年のパレードは台風になって引き延ばされた)。

**ふいち のーすん** 〈再確認する、改める〉【活】～のーちゃん、～のーさん、～のーち 【例】くぬ すーむん/じん うんじゅさーに なーちゅけーん ふいちのーち くいみそーり。(この書類/お金をあなた様でもう一度改めてください)。どうく くさみかんぐとう なーちゅけーん ちむ ふいちのーしえー。(あまり怒らないでもう一度心を落ち着かせなさい)。

**ふいち やーすん** 〈引き合わす〉【活】～やーちゃん、～やーさん、～やーち 【例】まーんか

い をうが すら わからんしが、かなじ  
みちなかをうとーてい ふいちゃーち くいみ  
そーり。(どこにいるかさっぱり分からないが、  
必ず道中で引き合わせてください)。ちんぬ  
くべー しかっとう ふいちゃーち とうらし  
よー。(襟はちゃんと引っ張り合わせてちょ  
うだいね)。

**ふいち やーいん** 〈引き合う〉【活】～やー  
たん、～やーらん、～やーてい 【例】いふいぐ  
わーどう もーけー あくとう、みーぶくるん  
かい むん いりねー じょーい ふいちゃ  
ーらんでいち、なまぬ あちねーさーぬ ねー  
さんたーや くめーきやー なてい みーぶ  
くる くいらんばー すん。(少ししか儲けは  
ないので、新しい袋にもものを入れるととても引  
き合わないといって、今の商売人のお姐さんた  
ちはケチって新しい袋をあげようとはしない)。  
なーふあんちょー まちぐわーぬ ちかさくど  
う、あっちこーいむん ないくとう ふいちゃ  
ーとーん。(那覇の人は市場に近いので、歩いて  
買い物できるので互いに助け合っている)。

**ふいち やぎーん** 〈引き揚げる〉【活】～や  
ぎたん、～やぎらん、～やぎてい 【例】じん  
もーきんでいち やまとうんかい っんぢやし  
が、ゆくん もーきらんたくとう ふいちゃ  
ぎてい ちゃん。(お金を儲けるといって本土  
に行ったが、そんなに儲けられなかったので引  
き揚げて来た)。

**ふいち むん** 〈差し押さえ〉 【例】あーっ  
ちゅ なれーやーんち っちゅぬ いーるまま  
ないねー、ふいちむん さりーん どー。(善  
人になろうとして人の言いなりになると、差し  
押さえられてしまうよ)。

**ふいっ ちーん** 〈引き切る〉【活】～っちっ  
ちゃん、～っちらん、～っちっち 【例】くぬ た  
くぬ ふいさ はーさーに かんくーてい ふ  
いっちれー。(このタコのゲソは歯で噛んで引  
きちぎりなさい)。じん ふいっちらちよーく  
とう、たーがな じん からしえー。(お金を切  
らしているので、誰か金を貸してくれ)。

**ふいっ ちり びっちり すん** 〈切れ切

れにする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】  
っやー むぬ いーよーや ふいっちりびっち  
りっし ぬーんでいが いちよーら むる わ  
からん。(あなたのものの言い方は途切れがち  
で何と言っているのかまったく解らない)。っ  
うえんちゅぬ かでーんねーっし むのー あ  
まくま ふいっちりびっちりっし かむな よ  
ー。(ねずみの食べたように食べ物はあっち噛  
んだりこっち噛んだりして食べるなよ)。ふい  
っちりびっちりっし じのー けーすな、すら  
ーち むっちくーわ。(切れ切れにお金は返す  
な、そろえて持って来なさい)。ちゅけーんなか  
いねー けーすんちえー さん、ふいっちりび  
っちりっし けーすくとう、なまから あとー  
ありんかえー じのー からさん。(一回で  
返そうとはしないで細切れに返すので、今後は  
あの人にはお金は貸さない)。

**ふいっ ぱい かっぱい すん** 〈引きつ  
っている〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】ち  
らぬ ふいっぱいかっぱい そーくとう、ちら  
んかい くりーむ なしれー、かっぱやーや  
とうりーっさ。(顔の皮膚が乾燥で引きつっ  
ているので、顔にクリームを塗れば乾燥はとれる  
よ)。

**ふいちゅん** 〈干る、潮がひく〉【活】ふいち  
やん、ふいかん、ふいち、 【例】なまじぶのー  
あんし あがとーまでい すーぬ ふいちよ  
ーる やー。(今時分はあんなに遠くまで潮が  
干くんだね)。

**ふいち すー** 〈干潮〉 【参】ふいし。

**ふいっすいふいっすい すん** 〈ずき  
んずきんする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】  
はーぬ ふいっすいふいっすいすん／ふいっす  
いみかすん。(歯がずきんずきんする)。ちぶる  
ぬ ふいっすいふいっすいすん／ふいっすいみ  
かすん。(頭がずきずきする)。【参】ふいっすい  
みかすん(ズキンと痛む、ぎくりとする)、んに  
だくだくーすん(胸がどきどきする)、ふと  
うふとーすん(ぶるぶる震える)。

**ふいっちー** 〈いつも、一日中〉【例】ちゅー ふいっちー ていがねー ないが やー？ (今日終日手伝いできるね)。ちら あーしーねー、ふいっちーゆっちー ごーぐちびけー／ゆんたくびけー すくとう、ありからー ふいんぎまーい そーん。(顔を合わすと、いつも文句ばかり／おしゃべりばかりするので、あの人からは逃げ回っている)。

**ふいっちー** **ぐーしー** 〈一日おき〉【活】まるふいっちー 〈一日中〉【例】めーにち あらん、ふいっちーぐーしー やーぬ めー あっちょーん。(毎日ではないが、一日おきに家の前を歩いている)。やーんかい をうる ばすねー、まるふいっちー すむち ゆどーん。(家に居るときには、一日中本を読んでいる)。

**ふいっちやていーん** 〈ひっぱり上げる〉【活】ふいっちやていたん、ふいっちやていらん、ふいっちやていてい 【例】くるまぬ とぅーいる みちんかい にんとーる ういっちやー たいさーに ふいっちやていてい うかーこーねーん とぅくまんかい どうきなちゃん。(車道に寝ている酔っぱらいを二人でひっぱり上げて安全なところに移した)。

**ふいっちえーいん** 〈ひっくり返る〉【活】ふいっちえーたん、ふいっちえーらん、ふいっちえーてい

**ふいっちえーらすん** 〈ひっくり返す〉【活】ふいっちえーらちゃん、ふいっちえーらさん、ふいっちえーらち 【例】みーぬ かしまさたくとう、いさぬやーんかい っんぢやれー、みー ふいっちえーらさってい、みーがーんかい はーい うたってい したたか はたはたー そーたん。(目がおもがゆくて病院に行ったら、まぶたをひっくり返されて、まぶたに注射されてがまんできないほど痛かった)。【参】はたはたー そーたん、＝にじらんあたいやむたん、＝にじらん にじー そーたん。

**ふいっちえーすん** 〈ぶり返す〉【活】ふいっちえーちゃん、ふいっちえーさん、ふいっ

ちえーち 【例】やんめーや ふいっちえーすくとう、なー はしっとう ないるまでー にんたい ほーたいどう すん どー。(病気はぶり返すので、完治するまでは寝たり起きたり(無理せずに)することだよ)。【参】うくりーん(盛り上がる、起こる)。

**ふいっちよー／ふいっちえー** 〈比較〉

【例】つうえーきんちゅとう ふいんすーむんとー ふいっちよー ならんさ。(金持ちと貧乏人は比較はできない／話にならない)。

**ふいっとうんがすん** 〈飛び出す〉【活】ふいっとうんがちゃん、ふいっとうんがさん、ふいっとうんがち 【例】わかむんぬ ずぼんぬ くさーぬ ポケットから さいふぬ っんぢやしぢゅーさぬ、なまにん ふいっとうんがしぎさー そーし なーふあぬ まちぐわーをうてい ゆー みーだちゅん。(若者のズボンの後ろポケットから財布が顔出し過ぎて、今にも跳び出してしまいそうなのが那覇の市場でよく目につく)。

**ふいないん、ふいーん** 〈減る、小さくなる〉【活】ふいなたん、ふいならん、ふいなてい

**ふいならすん** 〈減らす、小さくする〉【活】ふいならちゃん、ふいならさん、ふいならち 【例】ぬーが んーぢゅる うっペー ふいない むのー あらんむんぬ みしてい とぅらしえー。(なんで、見るだけでは減るものでもないのに見せてくれよ)。「わたぬ ふいなとーんねーすくとう ぬーがな かむみ?」「なーいふいぐわー わたぬ ふいなていから かむさ」「お腹がすいているようなので何か食べるか」「もう少しお腹が減ってから食べるよ」。あっちやーあっちやー そーくとう、いふいぐわー わたぶとー ふいなとーん。(散歩をしているので、少しはお腹が小さくなっている)。どー やんだんぐとう よーがりーる はなし やていん、わたぶとう てんてん そーる しんしーからー たーん ちかんさ。まじえ

一、なら一ちょーる しんしーぬ わたぶとう  
から ふいならさわどう やる。(健康に痩せ  
る話であっても、お腹が出ているお医者さんか  
らは誰も聴かないよ。まずは、教えている医者  
の出腹から小さくしないとね)。

**ふいに一ん** 〈ひねる〉【活】ふいにたん、ふ  
いにらん、ふいにてい 【例】ちむぬ ふいにと  
一ん。(心がひねくれている)。「【参】「むでい  
一ん」とも言う。

**ふいばり一ん** 〈ひび割れる〉【活】ふいばり  
たん、ふいばりらん、ふいばりてい 【例】せめ  
んやーや ふるー ないねー、ふいばりてい  
ちゅーん。(コンクリート建ての家は古くなると  
ひび割れてくる)。

**ふいま** 〈暇〉 【例】いちゅなさる なーかを  
うていん ふいまー どうーくる ちゅくいる  
むん。(忙しいなかでも暇は自分でつくるも  
の)。ちゅちち ちゃー はたらち そーくと  
う、ふちかびけー ふいま くいーさ。みっち  
やみーねー っちとうらし よー。(ひと月ず  
うっと働いているから、二日ばかり休みをあげ  
る。三日目には出て来てね)。ゆくいる ふいま  
ん ねーん、ちゃー じぬんかい っわーつと  
一んねーっし、じん あわり そーん。(休む暇  
もない、いつもお金に追われているようで、お  
金の苦労をしている)。ふいま なてー なら  
んしがどう やー。どうくから ふいま なて  
い やっけー やさ。(暇になってはいけな  
いんだが。あまりに暇で困ったことだ)。

**ふいま だーり** 〈暇をつぶすこと〉【活】ふ  
いま しー むん〈暇な人〉 【例】いちゅなし  
むん やたしが、しくち あがたくとう ふい  
まだーり そーん。(忙しくしていたが、退職  
したら暇をつぶしている)。くららんらー く  
ららん どーんち でんわ しえー しむるむ  
んぬ、ぬーぬ くとうん ねーん、ふいさ く  
んだってい ふいまだーり しみらさったん。  
(来れないなら、来れないよと電話すればすむの  
に、何の連絡もない、身動きがとれず暇つぶし

をさせられた)。

**ふいみち すん** 〈喘息でぜいぜいする〉

【活】～さん、～さん、～っし 【例】ふいみちさー  
に いーちん しーぐるさぬ、くちさぎさ そ  
ーん。(喘息で息苦しそうである)。

**ふいみち** 〈喘息〉 【例】ふいみちやー (喘  
息持ち)。ふいみち ぐすぐす そーん。(喘息  
でぜいぜいしている)。ふいみちやー なてい  
ぐすぐす そーん。(喘息持ちになってぜい  
ぜいしている)。

**ふいむん** 〈碑文〉 【例】ハンドーグラーぬ  
ふいむんぬ めーをうてー さしん ぬぢえー  
ならん どー ンでいる はっとうぬ あん  
でい。(ハンドーグラーの碑文の前では写真を  
とってはいけないという注意書きがあるって)。

**ふいら** 〈坂〉 【例】「っうえーき ふいんす  
ーや ふいらぬ ぬぶいくだい」 ンでいーる  
いくとうばぬ あくとう、っうえーきんちよー  
ふいんすーむん うしえーてー ならん。ま  
ーぬ たーがが りっしん すら わからんく  
とう やー。(「富裕と貧乏は坂の上り下り」と  
いう伝えがあるので、金持ちは貧乏人をバカに  
してはいけない。どこの誰が立身出世するのか  
まったくわからないからね)。じゃーがるぬ  
さくふいらをうてい ぬぶいかんていー そー  
る そーべーぐるまー んーちゃん。(謝荊の  
急斜面の坂で上るのに四苦八苦しているボンコ  
ツ車を見た)。うるくぬ やましちゃんかい  
がじゃんびらんでいち うすまさる がじゃん  
ぬ ブーンブーン そーたんでいーる とくくる  
ぬ あん。(小祿の山下に蚊坂という、たくさん  
の蚊がブーンブーンと音を出していたというこ  
ろがある)。

**ふいら〜**〈平たい〉

**ふいらー、ふいら たっぺー、ふいらべ  
ったー、ふいらたー** 〈平たいもの〉 【例】  
うしるくぶ がっばやーや なちぶさー やて  
い、ふいらたっぺーや うふやっさたんでい



んかしぬ っちゅが ゆー いちよーみしえー  
たん。ぬーんちがんでい いーねー、ふいっち  
ー なちゅくとう だちぐしぬ ちち ちぶろ  
ー まっくわんかい うしちきらってー をう  
らんくとう、がっぱい やんでい。(後頭部が尖  
っている者は泣き虫で、平たい者はおとなしか  
ったと昔の人はよくおっしゃっていました。な  
ぜかと言うと、よく泣くので抱き癖がついて頭  
は枕におしつけられていないので、尖っている  
んだって)【参】たっぴーらー(後頭部の平た  
い者)。

**ふいら きーん** 〈ぺたっと座る、ぺっしや  
んこになる〉【活】ふいらきたん、ふいらきらん、  
ふいらきてい 【例】をうーじとーしぬ なか  
ゆくいに ふいらきてい くしゆくいっし、ん  
なっし ぬだい かだい する むぬどう い  
ちやかん まーさる。(砂糖キビ収穫の休憩時  
にあぐらをかいて腰を休めて、皆で飲んだり食  
べたりするものがいつもよりおいしい)。きち  
ぬ あしえー がっていん ならんでいいち  
しまんちよー かなあみぬ めーんかい ふい  
らきとーたん。(基地があるのは反対だと言っ  
て島の人々は金網の前に座り込んでいた)。あ  
ぬ っちょー ぬーんくいん みっち、あんし  
どう ちむぬ ふいらきとーさ やー。(あの  
人はすべて満ち足りて、なんと心が座っている  
ことか)【参】「ふいらく ないん」とも言う。

**ふいら かすん** 〈ぺっしやんこにする〉【活】  
ふいらかちゃん、ふいらかさん、ふいらかち  
**ふいら ぐん** 〈三つ編み〉【例】んかしえ  
ー ういなぐがくしーや からじ ふいぢやい  
にぢりんかい わきてい ふいらぐんっし ゆ  
ーとーたん。(昔は女学生は髪を左右に分けて  
三つ編みして結っていた)。

**ふいら ふあー ぐさ** 〈オオバコ〉【例】  
んかしえー ふいらふあーぐさ とうやーに  
あらてい ふいーっし あんていから、ていー  
さーに しりーしりーっし ちんペー くわー  
さーに っんペーとーる にーぶたー えーす  
るたみに くすいがわいに ちかたん。(昔は  
オオバコを採って洗って火で焙ってから手で擦

って唾をつけて化膿しているデキモノの膿を出  
すために薬代わりに使った)。

**ふいら やちー** 〈沖縄風チヂミ〉【例】ふ  
いらやーちーんでい いーしえー むーじなく  
ーんかい ちりびら ちっち いってい ふい  
しふいしーとう ふいらやちー しえーる か  
みむん やん。(「ふいらやーちー」というのは  
小麦粉にニラを切って入れて薄く平焼きしてい  
る食べ物だ)。いくさ うわていちゃーきー  
わらびんちゃーんかい うやぬ ふいらやちー  
ゆー ちゅくてい かますたん。(終戦直後  
は子どもたちに親が「ふいらやーちー」をよく  
作って食べさせた)。

**ふいらいん** 〈つき合う、仕える〉【活】ふい  
らたん、ふいららん、ふいらてい 【例】あれー  
っちゅ／どうし／っうえーかとう ゆー ふ  
いらとーん。(あの人は人／友人／親戚とちゃ  
んとつき合っている)。たーやかん たんかー  
まんかーぬ っちゅぬちゃーとー ゆー ふい  
らり よー。(誰よりも隣近所の人とはちゃんと  
つき合いなさいよ)。をうとうとう ゆー  
ふいらとーん。(夫の面倒をよく見ている)。

**ふいれー** 〈つきあい〉【例】っちゅ びれ  
ー (人づき合い)、ちゅけーとうない びれー  
(隣近所づき合い)、っうえーか びれー (親戚  
づき合い)、をうとう びれー (夫づきあい)、  
どうし びれー (友人づきあい)、しとう び  
れー (しゅうとづき合い)、ちよーでー びれ  
ー (兄弟づき合い)、えーじゅー びれー (同僚  
づきあい)、むとう びれーぐわー (元恋人)。

**ふいらくむん** 〈しびれる〉【活】ふいらくだ  
ん、ふいらくまん、ふいらくでい 【例】ちんし  
んかい たまとーる みじえー ぬぢえー あ  
しが、なーだ ふいしふいしーとう ふいらく  
でい やむっさー。(膝にたまっている水は抜  
いてあるが、まだずきずきとしびれて痛い)。ど  
うく ふいーさぬ、いーびぬ ふいらくでい  
うめーし かちみん ならん。(あまりに寒く  
て、指がしびれて箸のつかみもできない)。

**ふいらちゅん** 〈開く〉【活】ふいらちゃん、ふいらかん、ふいらち 【例】みみん ふいらち っちゅぬ はなしえー ゆー ちき よー やー。(耳をすまして人の言うことはよく聞きなさい)。

**ふいり** 〈へり〉【例】たたんぬ ふいりぬ いるがらー いくちん あてい、うりっし で一ん かわいん。(畳の縁の色柄はいくつもあって、それで値段も変わる)。

**ふいりーん** 〈拾う〉【活】ふいったん、ふいりらん、ふいってい 【例】どうーぬ うとうちえーる ちれー ふいりれー。(自分が落としたゴミは拾いなさい)。ふいってい ちりばくん かい いりれー。(拾ってチリ箱に入れなさい)。  
**ふいりー がみ** 〈つまみ食い〉【例】でばーとうぬ かみむん うとーる とうくまを うてー まじ あじっし まーにんできち う かつとーる かみむん ふいりーがみ さくとう、あとー ちゅふあーら わた みっちょーたん。(デパートの食品売り場で試食のために置いてある食べ物をつまみ食いしたので、終いにはお腹いっぱいになった)。

**ふいり すー** 〈干潮〉【例】うちなーぐ ゆみぬ さんぐわちさんにちに ふいりすー ないねー、かわてい すーぬ かーままでい ふいちゅくとう、はまんかい うりてい、あーさ とうたい ちんぼーらー とうたい がに とうたい する っういーりきぐとうぬ あん。(陰暦の三月三日には干潮になると、ことさら遠くまで潮が引くので、浜に下りて、アオサを採ったり巻貝を採ったりカニを採ったりする楽しみがある)。

**ふいる** 〈にんにく、蒜〉【例】んかしえー ふいるぬ かー んーち さきぢきっし ふいる じゃき ちゅくたん。どうー あんまさる ばすねー、ふいるじゃき ぬだいっし うぬ みーん かなーち かみーねー たでーま はし っとう なたん どー。(昔はニンニクの皮をむ

いて酒漬けにしてニンニク酒をつくった。気分が悪いときにはニンニク酒を飲んだりして、その実も噛んで食べるとすぐに元気になったよ)。

**ふいるがじん** 〈広がる、繁栄する〉【活】ふいるがたん、ふいるがらん、ふいるがてい 【例】ちゅいんぐわから っんまがぬ さけーてい おーぢ ふいるぎーるぐとう ふいるがてーっさ やー。(一人っ子から孫が栄えて扇を広げるように繁栄しているね)。

**ふいるぎーん** 〈広げる、拡げる〉【活】ふいるぎたん、ふいるぎらん、ふいるぎてい 【例】ばんしるーぬ ふあー、かきぬ ふあー、くわーぎぬ ふあー とうやーに、ちゃーぬ ふあー ちゅくいんできち はしるぐちんかい うちゅくいー ふいるぎやーに かーらかちやん。(グアバの葉、柿の葉、桑の葉をとって、茶葉を作るといって縁側に風呂敷を広げて乾燥させた)。ありんかい はなし しーねー、かんだばーぬぐとう まーまでいん ふいるぎーん どー。(あの人に話をすると、芋の葉のようにどこまでも広げてしまうよ)。あとうさち かんげーらんくとう ていー ふいるぎやーに すんじぐとう なたん。(将来のことを考えないで手を拡げて損をした)。

**ふいん** 〈変、すねること〉【例】ふいんな むん(変なもの、ひねくれ者)。ふいんさー(=ふいん そーる っちゅ、ひねくれ者)。

**ふいん すん** 〈ひねくれる〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】ふいん そーん。(ひねくれている)。あれー ふいんし やーんぢ にんとーたん。(あいつはひねくれて家で寝ていた)。

**ふいん まがじん** 〈ひね曲がる〉【活】～まがたん、～まがらん、～まがてい 【例】ちむぬ／はりがにぬ ふいんまがとーん。(心が／針金がひね曲がっている)。

**ふいん むでいーん** 〈ねじれる〉【活】～むでいたん、～むでいらん、～むでいてい 【例】なまー ちむぬ ふいんむでいとーくとう、ありとー ちゅーごーや ならん どー。(今は心

がねじれているので、あの人とは協議はできないよ)。

**ふいん ぬぎーん** 〈すり抜ける〉【活】～ぬぎたん、～ぬぎらん、～ぬぎてい 【例】ふくるぬすくぬ やりてい いっちょーる むのーむる ふいんぬぎてい ねーらん。(袋の底が破れていて入っているものはみんなすり抜けてしまった)。**【参】**やんでいゆん(壊れる)、やりゆん(破れる)、やりちん(破れた着物)。

**ふいんじむん** 〈ひねくれ者〉 【例】＝ふいんさー。あまー しくちびけーっし やーん っくわん うっちゃんぎーっし ほーとーくとう うやぬ ふちゆくるんかい だかりらん わらべー ふいんじむん ないさ。(あそこは仕事ばかりで家も子も放り出したままなので、親の愛情を感じさせていない子どもは非行少年になる)。

**ふいんぎーん** 〈逃げる〉【活】ふいんぎたん、ふいんぎらん、ふいんぎてい 【例】ねーぬ ゆいねー、たかさる とうくまんかい いっさんばえー ふいんぎり よー。(地震が来たら、高い所に一目散に逃げなさいよ)。くぬよーな しーかた しーねー、とうじえー ふいんぎーん どー。(このようなやり方をすると、妻は逃げてしまうよ)。

**ふいんがすん** 〈逃がす〉【活】ふいんがちゃん、ふいんがさん、ふいんがち 【例】なーびかちかちーぬ ぬちえー いんちゃさくとう、とうっかちみていん あしだらー ふいんがしよー。(蟬の命は短いので、捕まえても遊んだら逃がしなさいよ)。ふいんがちゃしえー まぎー やたん。(逃がしたのは大物だった)。いゆちっちゃしが、ぐまさたくとう ふいんがちゃん。(魚を釣ったが、小さかったので逃がした)。

**ふいんぎ まーい** 〈逃げ歩き〉 【例】むぬじぶん ないねー、こーいむん いーちきりーくとう、ふいんぎまーい そーたん。(ご飯の時間になると買い物を言いつけられるので、逃げまわっていた)。

**ふいんぐ** 〈皮膚に付いている垢、煤〉 【例】

どうー ふいんぐ うとうしえー。(体の垢を落としなさい)。ふいんぐんでい いしえー かーんかい ちちよーる ゆぐりぬ くとうやん。「ふいんぐ」というのは皮膚に付いている汚れのことである)。ゆさんでい なていから あかんぐわ ふかんかい っんぢゃさんとー ならん ばすねー、まじむぬんかい ふいっかからんたみに、なーびぬ ふいんぐ ふいちゃいんかい ちきてい、そーてい あっちょーたん。(夜になってから幼子を外に連れ出さないとならないときには、悪霊が付かないために、鍋の煤を額に付けて連れ歩いていた)。

**ふいんがー まやー** 〈汚れた猫〉 【例】ゆー わかちゃい むぬ にちゃい するとうちねー ふいーふちゃー ちかとーたくとう、ちらー しーし かんてい ふいんがーまやーぬぐとう などーたん。(湯を沸かしたり物を煮たりするときには、火吹きを使っていたので、顔は煤だらけになって汚れた猫のようになっていた)。

**ふいんすー** 〈貧乏〉 【例】ふいんすーむのー ちもー ばーき、つうえーきんちよー つうえーき くまさん。(貧乏者の心はザルだが、金持ちは儉約する)。ふいんすーや そーていん、くくろー ゆちく。(貧乏はしても心は豊かに)。

**ふいんち** 〈急に不機嫌になること〉 【例】ふいんち すん。(不機嫌になって怒り出す)。

**ふいんとー** 〈返答〉 【例】ちかりーるぐとう ふいじふいんとー しー よー。(聞こえるように返事しなさいよ)。

**ふいんぷん** 〈前堀〉 【例】んかし うちなーやーや みちから やーぬ なーかぬ みーらんぐとう、やーぬ めーをうてい あーいし ゐしたい、あかばなーぎー つういーたいっし ふいんぷん そーたしが、なまー しだい さぎてい ふいんぷんがーい そーん。

(昔風の沖縄家屋は道から家の中が見えないように、家の前にあわ石を築いたりブーゲンベリ

アの木を植栽したりして前塀にしていたが、今は簾を下げてその代わりにしている)。



# ふえ

**ふえー** 〈南〉 【例】ふえーむていー（南側）、ふえーんけー（南向き）、ふえーぬ ふぁー（南の方角、方位）。っちゅけーん っんぢやるくとー ねーらん くになかいぬ たべー、まーぬ ふえーが やら にしが やら むさっとう わからん。（一度も行ったことのない国への旅はどこが南か北かまったく分からない）。ふえーぬ かじぬ ふちーねー、いっぺー しださん やー。（南風が吹いたら、とても涼しいよね）。ふえーむていーや きー たっくわーち っういーねー かじかたか なゆくとう、かじぬ とうーいみち あきてい っういーゆし どー。（南側は木をくっつけて植えると風を遮るので、風通しの道をあけて植えるものだよ）。

**ふえー** ない にし ない 〈定まっている様〉 【例】あん いちよーがやーんでい うむれー なまー あねー あらん どーんでい いち、ありが ちもー ふえーない にしない そーん。（そう言っているかと思ったら今はそうではないと言って、あの人の心は定まっていない）。あれー あん いー かん いーっし ちもー ふえーない にしないっし。ぬーんでい いちよーが むさっとう わからん。（あの人はああ言ったりこう言ったりして心は定まっていなくて、何と言っているのかさっぱり解らない）。【参】あん いー かん いー っし（ああ言ったりこう言ったりして）。

**ふえー** ぶちやー 〈夏、南風のそよぐ季節〉 【例】ふえーぶちやーぬ しち ないねー、っういーりきどうくるんかい ゆすぐにから すじょーさーぬ うほーく めんしえーん。（夏

になると、観光地に県外から観光客がたくさんいらっしやる）。【参】すじょーさー＝っういーりきどうくるんかい っち すじょー する っちゅぬちやー（観光地に来て楽しむ人たち）、ふえーぶちやー（早口の者）。

**ふえー** まーい 〈南のなま暖かい風に変わること、雨の兆候〉 【例】ちゅーや かじえー ふえーまーい やてい、あみぬ ふいねー んでいーくとう あらいむのー ふさんしえー まし どー。（今日の風は南回りで、雨が降ったら濡れるので、洗濯物は干さない方がいいよ）。

**ふえー** 〈灰〉 【例】ふえー ちかいーねー なんどうるこー ねーらん なてい しらぎぬ いんちやーぐわーん むる りっぱんぐわーぬがりーっさ。（灰を使うと滑りにくくなって白髪の短いのもみんなちゃんと抜けるよ）。

**ふえーぬ** くすー 〈そばかす〉 【例】アミリカーたーぬ ぐまわらびんちやーや ふえーぬ くすーぬ っんぢとーしが、うりが（あくとう）どう うじらーさる。（アメリカ人たちの幼い子たちはそばかすがあるが、それが（あるから）かわいい）。

**ふえー** 〈蠅〉 【例】ふえー ぶーぶー（蠅がたくさん飛び交っている様）。おーべー（青蠅）。すーまんぼーすー ないねー、しーべーぬ しでいてい かみむぬんかい ゆー しがいくとう、ぬーがな さーに かんしとーけー／うーとーけー。（梅雨になると、小蠅が発生して食べ物によく停まるので、何かで被しておきなさい／覆っておきなさい）。

## ふえーい 〈流行〉

ふえーい うた 〈流行歌〉 【例】なまぬ  
うたさーや んかしとう ちがてい とうんぢ  
やーもーやーっし どうー っんぢゆかさなー  
うたいん。ふえーいうたん ふえーぐちっし  
うたいくとう、ぬーぬ ましが やら わっ  
たーんかえー むさっとう わからん。(今の  
歌手は以前とは違って跳んだり跳ねたりして歌  
う。流行歌も早口で歌うので、いったい何が  
いのか私たちにはまったくわからない)。

ふえーい くとうば 〈流行語〉 【例】なま  
ぬ わかむんぬちゃーぬ ふえーいくとうばー  
いんちゃく などーしぬ うふさん。(今の  
若者たちの流行語は短くなっているのが多い)。

ふえーい やんめー 〈流行病〉 【例】なま  
ー ふえーいやんめーぬ あくとう、っちゆぬ  
まじまっとうー とうくるんかえー いちゆ  
しえー あらん どー。たーから やんめー  
とういが すら わからんくとう やー。(今  
は流行の病気があるので、人が集まるところ  
には行くんじゃないよ。誰から病気をもらうか  
わからないからね)。

## ふえー〜〈早〉

ふえー がっていん 〈早合点〉 【例】む  
ぬぐとー ふえーがっていん すな よー。っ  
ちゆぬ あん いちやくとうんち しぐ 「う  
ー」んでいち がっていんさんぐとう、ゆー  
かんげーていから いれーたい ふいじさい  
しーよー。(物事は早合点するなよ。人がああ  
言ったからといってすぐさま「はい」と承知し  
ないで、よく考えてから返事しなさい)。

ふえー にーびち 〈早婚〉 【例】ふえーに  
ーびちんでい むさーぬ あしが、なまー  
んかしとー ちがてい にーく などーん。  
(早婚という言葉があるが、今は昔とは違って  
遅くなっている)。

ふえー にんぢ 〈早寝〉 【例】ちゅーや  
なー くたんでいとーくとう、そーまでいー  
ゆーふる あみてい むぬ かみーねー ふえ  
ーく ゆくいん。(今日はもう疲れているので、

早めに風呂に入って食事したら早く休む)。

ふえー まーし 〈早死に〉 【例】みーっち  
よー ふえーまーしっし やなっちょー なが  
ぬち んーぢゆんち ちちよーしが、うんなく  
とうぬ あいどう するぬ んでいち わんに  
んかい ちちゆる うとうすいぬ めんしえー  
たん。(いい人は早死にして悪い人は長生きす  
ると聞いているが、そんなことがほんとにある  
のかと私に聞いて来たお年寄りがいらっしやっ  
た)。

ふえー みーん 〈早める〉 【例】みーくと  
ー ふえーみり。(いいことは早めなさい)。

ふえー っんまらー 〈早生まれの者〉 【例】  
ふえーっんまらーや ていーちえー しーじゃ  
ぬちゃーとう がっこー っんぢーん。(早生  
まれの者は1歳上の者たちと学校を出る／学校  
に行く)。

ふえーし 〈囃し〉 【例】っんまがぬちゃー  
ぬ うんどーかいんかい っんぢ、はーえーす  
ーぶー ふえーし たていたくとう、ぬーでい  
ーや がらがら そーっさー。(孫たちの運動  
会に出て、かけっこを声援したので、喉はかれ  
ているよ)。ばっペーぐとうんかえー ふえー  
し たていーしえー あらん。(間違っている  
ことにははやし立てるものではない)。

ふえーじえー がち 〈処方箋、配剤書  
き〉 【例】ふえーじえーがち むちゃーに  
くすいやーをうてい うきとうみそーり。(処  
方箋を持って薬局で受け取ってください)。

ふえーりんちゅん 〈入り込む〉 【活】ふ  
えーりんちゃん、ふえーりんかん、ふえーりん  
ち 【例】っういーりきどうくるをうてー み  
ーむんぬ ある ばすねー、いばさる なーか  
んかい わいくでい ふえーりんち ちゅーる  
っちゅん をうん。(観光地でイベントがあ  
るときには、狭いところに割り込んで入って  
くる人もいる)。どうーくる ふえーりんち ち  
よーてい っちゅんかい ぶりーなくとう そ  
ーん。(自分勝手に入り込んで来ていて人に迷

惑をかけている)。やーぬ うちんかい どう  
いぐわーぬ ふえーりんち ちーねー、やくぬ  
いっちょーんでいち うみんかい っんぢや  
ーに やくばれー そーたん。(家の中に小鳥  
が入り込んで来たら、厄が入っているといって  
海に行って厄払いをしていた)。くま あきー  
ねー とういぬ ふえーりんち ちゅーん ど

ー。あみどー みちれー。(ここを開けると鳥が  
入り込んで来るよ。網戸を閉めなさい)。

**ふえーれー**〈追いはぎ〉【例】たこーやまん  
かい ふえーれーぬ たい くわっくいとーて  
い っちゅ うだーすたんでい。(多幸山に追  
いはぎが二人隠れていて人を脅したんだって)。





# ぱ、ぴ、ぷ、ぺ、ぽ

**ぱーぱー** 〈おばあさん〉 【例】すーやーぬ  
ぱーぱーや わらびぬくろー ういきがんちど  
う うむとーたしが、ういなぐどう やみしえ  
ーたる。(塩屋のおばあさんは子どもの頃は男  
だと思っていたが、女でいらしゃったんだね)。  
ぬーんち ふぁーふぁーや あらん、ぱーぱー  
やんでい いーしえー わからんしが、すー  
やーぬ ぱーぱーや うちなーしばいをうてい  
ゆー っんちてい ちゅーん。(どうして「ふ  
ぁーふぁー」ではなくて「ぱーぱー」だとい  
うのは分からないが、塩屋のおばあさんは沖縄芝  
居ではよく登場する)。【参】平安時代の日本語  
の「は」行はp音だったということと関連する  
のか。

**ぱったらげーやー すん** 〈抵抗する〉  
【例】じゅんさぬ ういっちゅ とうっかちみ  
ーんでい そーしが、ぱったらげーやーっし  
とういんちかみん ならん。(警官が酔っぱら  
いを取り押さえようとするが、抵抗して捕まえ  
られない)。【参】ていーんけーすん(手向かう)、  
ふいんけーする(口答えする)、げー すん(反  
抗する)。

**ぴーじゃー なすん** 〈ぺっしゅんこにす  
る、こらしめる〉【活】～なちゃん、～なさん、～  
なち 【例】なーふぁぬ うとうるさる にー  
にーたーや くさみちーねー 「わんにんかい  
げー しーねー(じーぐいひゃーぐい しー  
ねー) ぴーじゃー なさりーん どー」んで  
い いちよーたん。(那覇の怖いお兄さんたち

は怒ると「俺に反抗すると(文句を言う)こ  
らしめてやるぞ」と言っていた)。

**ぷちみかすん** 〈ぽきんと音をだす〉【活】ぷ  
ちみかちゃん、ぷちみかさん、ぷちみかち 【例】  
ぬびー しーねー、あまくま ぷちみかち な  
とーっさー。(背伸びをしたら、あちこちぽきん  
と音を出して鳴っている)。

**ぺーちん** 〈親雲上、位階名〉 【例】ぺーちん  
ないねー うしゅがなしーめーから ちゅむ  
ら るーてい くーじぐとう そーたん。(親  
雲上になると国王から領地をもらって公務をし  
ていた)。

**ぽーぽー** 〈小麦粉と油味噌をつかった料理  
名〉 【例】ぽーぽー ちゅくいる ばすねー  
むぢなくー あーち ふいしやちー さーに  
うぬ なーかんかい あんだんすー いって  
い まちゅん。(「ポーポー」を作るときには小  
麦粉を混ぜて薄く焼いてその中に油味噌を入れ  
て巻く)。

**ぽんみかすん** 〈ポトンと音をだす〉【活】ぽ  
んみかちゃん、ぽんみかさん、ぽんみかち 【例】  
はしぬ っわーびから かーら んーぢゅんで  
い さーに ポケットから けいたいぬ しん  
でいてい かーらんかい ぽんみかち うとう  
ちゃん。(橋の上から川を覗き込もうとしてポ  
ケットから携帯が滑り出て川にポトンと落とし  
てしまった)。



# ま

ま〜〈真〉 【例】またんかー／まむこー（真向かい）、まゆなか（真夜中）、まふいるま（真昼間）、まふえー（真南）、まにし（真北）、まあがり（真東）、まいり（真西）。いったー やしちぬ まにしえー まー などーが？（あなたの家の真北はどこになっているの）。あったー やーぬ またんかーや うみ などーん。（あの人の家の真向かいには海になっている）。

〜まー 〈密生していること／もの〉 【例】きーまーとう あちぐにとー ぬーがな かかわいぬどう あが やー？（毛深さと南国とは何か関係があるのかなあ）。きーまーや あちさふいーさから どうー まむらっとーくとう がんぢゅーむんぬ うふさんねー すん。（毛深い人は暑さ寒さから体を守られているので、丈夫な人が多いような気がする）。

まー 〈何処〉

まー がな 〈何処か〉 【例】まるけーていーなーや まーがな とうーさんかい いちぶしく ないん。（時々はどこか遠くへ行きたくなる）。ちー こーてい どうーぬ やー ふかなやーんでい うむとーしが、まーがな ゐー とうくろー ねーんがやー？（土地を買って自分の家を建てようと思っているが、何処かいいいところはないかねえ）。

まー むていー 〈どの方角〉 【例】アンテナや まーむていーんかい ンかーしーねー テレビや ゆー うちーがやー？（アンテナはどの方角に向けたらテレビはよく映るのかねえ）。

まー りかー 〈どの辺〉 【例】くしながねー まーりかーぬ ういーごーさが？（背中は何の辺がかゆいの）。あぬ まーさ すばやーや まーりかーんかい あが？（あのおいしいそば屋はどのへんにあるの）。

まーい 〈毬、球〉 【例】くぬ ぼーじゃーや みるくぬぐとう くえーてい だちやっさんやー。（この赤ちゃんは弥勒のように太って抱きやすいね）。なまぬ わらびんちゃーや まーいうちえー さん、まーい なぎたい、とうばちやい、きっちやい する スポーツんかい はまとーん。（今の子どもたちは毬つきはしない、毬を投げたり、飛ばしたり、蹴ったりするスポーツに夢中になっている）。

まーいん 〈回る、すっかり〜の状態になる〉

【活】まーたん、まーらん、まーてい 【例】きーむさーぬ なーぬ はーちぬ はんた いくけーん まーいあっちよーしが、んーぢゅる っちょー みーまーいんねー すさ。（毛虫が庭の鉢の縁を何度も歩きまわっているが、見ている人は目が回るようだ）。くむぬ まっくーるー なてい あみぬ ふいぎさー／ふいがたー まーとーん。（雲が真っ黒くなって雨が降りそうな気配である）。うやんかい ぬらーっ てい なちぎさー／なちがたー まーとーん。（親に叱られて泣きそうな気配である）。ういき がびけーぬ がっこーや ふいじゅるかんじゃー まーとーてい、ういなぐぬ しんしーや いちぶさー さんでい。（男子校は女っ気がなくて、女性の先生は行きたくないって）。【参】がまぬ なーかんかい いーんでい さくとう、

ふいじゅるかんぢゃー さーに ちむ いふな  
ー なたん（洞窟に入ろうとしたので、寒さに  
ぞくっとして気分がおかしくなった）。

**まーい** 〈周り〉 【例】はなりじまとうか、い  
なかんぢゃー ふんしーとうかぬ かかわい  
から むらぬ まーいや ふくぢっし かくだー  
ん。（離島や田舎では風水などの関係で村の周  
りは福木で囲んでいる）。ありとう わんとー  
とうしえー ちゅまーい ちがいに。（あの  
人と私は歳は一回り違う）。

**まーおーふあー** 〈けしあざみ〉 【例】ま  
ーおーふあーや ふいどうみさちんかい ぐじ  
ゅぐじゅ みーとーしが、んぢゃー ちーちき  
らんねー ていーふいさ やますん。（けしあ  
ざみは辺戸岬に群生しているが、棘は気をつけ  
ないと手足をケガするよ）。

**まーぐー** 〈皺の寄ったもの〉 【例】とうし  
とういねー んな まーぐー ないしが、う  
れー わっさる むのー あらん、っんぶらー  
さる むんどう やる。（歳をとると皆しわが  
寄ってしまうが、それは悪いものではない、重  
みのあるものである）。ちんぬ まーぐー そ  
ーしが、アイロンっし ぬばちから ふかんか  
い っんぢらんねー ふーぢゃー ねーん ど  
ー。（服にシワができていますが、アイロンで伸ば  
してから外出しないとみっともないよ）。

**まーぐー ぢら** 〈しわくちや顔〉 【例】ブル  
ドックんでいーる いのー まーぐーぢらっ  
し いっぺー えーそーむち やん。（ブルド  
ックという犬はしわくちや顔をしてとても愛嬌  
がある）。

**まーぐー ふいーぐー** 〈しわくちや〉  
【例】あとうから ゆむる っちゅん をうくと  
う しんぶのー（＝じーがめー） まーぐーふ  
いーぐー なすな けー。（後から読む人もい  
るので新聞はしわくちやにするなよ）。ちんぬ  
まーぐーふいーぐー そーくとう のーしえ  
ー。（着物がしわがよっているので直しなさい）。

**まーじえー** 〈くつわ虫〉 【例】やーぬ ま

ーがなんかい まーじえーぬ をうしが、ゆな  
か ないねー まぎなち すくとう さーはご  
ーさん。（家のどこかにくつわ虫がいるが、夜中  
になると大きな音で鳴くので気味が悪い）。

**まーじゃーくーじゃー** 〈しわくちや〉

【例】くぬ とうし なれーから ちらん まー  
じゃーくーじゃー ないさ。（この歳になって  
からは顔もしわくちやになるよ）。たーがなが  
わん てーしちな むん まーじゃーくーじ  
ゃーっし うっちゃんぎてーたん。（誰かが私  
の大切なものをしわくちやにして投げ捨ててあ  
った）。

**まーす** 〈塩〉 【例】あぐにぬ まーす ちか  
いーねー、ちやぬ よーな むん やていん  
まーく ないんでい いらっとーん。（粟国の  
塩を使うと、どのようなものでもおいしくな  
ると言われている）。

**まーす みじ** 〈塩水〉 【例】やなむん は  
んする ばーねー からまーす やかー まー  
すみじえー まし やんでい。（邪気をはずす  
場合にはただの塩よりも塩水がいいって）。

**まーす にー** 〈塩煮〉 【例】なーびんかい  
まーすみじ いってい たぢーねー、いゆ  
まるま ま いってい にち、まーすにーっし  
かみーねー いっぺー まーさん。（鍋に塩水  
を入れて沸騰すると、魚を丸ごと入れて煮て、  
塩煮にして食べるととてもおいしい）。

**まーすん** 〈死亡する、回す〉【活】まーちゃ  
ん、まーさん、まーち 【例】あぬ っちょー  
けーまーちゃしが、っやーや わからんどう  
あていー？ だべー っんぢー？（あの人は  
亡くなったが、あなたは知らなかったの。告別  
式は行ったのか）。【参】みーくーゆん（亡くな  
る）、みーうていーすん（亡くなる）、とーんか  
い はちゃん（亡くなった）、をうらん ない  
ん（亡くなる）、しぬん（（動物が）死ぬ）。

**まーたかだーかー** 〈肩車〉 【例】ういき  
がぬ うやんかい まーたかだーかー さって

い すねー んーちやるくとう なま ちきて  
い うびとーん。(父親に肩車されてパレード  
を見たことを今でも覚えている)。

**まーち** 〈松〉 【例】やんばろー まーちぬ  
うふさぬ、みちぬ ふいぢゃい にぢれー ま  
ーちぬ みーてい、ちゅらむん やてい みー  
むん やん。(ヤンバルは松が多くて、道の両側  
は松が生えていて、美しく観ものだ)。まーち  
たむん しーねー、あんだぬ うふさくとう  
ゆー めーいんでい。(松を薪にすると、油脂が  
多いのでよく燃えるんだって)。

**まーぬ** 〈とんでもない〉 【例】「いったーや  
みーとうんだわかり さんでい なー?」「まー  
ぬ、っやーや。たーが いーたが?」「(あなた  
方は離婚したってね)」「とんでもない、あんだ。  
誰が言ったの)」。

**まーふあなちやー** 〈仰向けになる〉 【例】  
まーふあなちやー すん／そーん。(仰向けに  
なる／なっている)。まーふあなちやー な(い)  
みそーれー。(仰向けになってください)。まー  
ふあなちやー しみそーれー。(仰向けにして  
ください)。まーふあなちやーつういーぢとう  
いんぐわーつういーぢえー ないしが、ふい  
ぢゃい にぢりぬ ていー けーるーげーるー  
っし みじかち すしえー ならん。(背泳ぎ  
と犬かきはできるが、左手と右手を代わる代わ  
る水かきする泳ぎはできない)。

**まーみ** 〈豆〉 【例】くるまーみ(黒豆)、ぢ  
ーまーみ(落花生)、ゐんどーまーみ(えんど  
う豆)、たきーまーみ(腎臓)。あかまーみーや  
かりーな むん やてい うゆうえーねー  
かしちーめー ちゅくてい かむん。(あづき  
は嘉例なものでお祝いにはおこわを作って食べ  
る)。くらさる とうくるんかい とーふまー  
み(＝うふちじゃー) みじっし ふどうっわ  
ーち、まーみなー ちゅくいん。(暗いところで  
大豆を水で育てて、もやしを作る)。たきーまー  
みぬ わっさる っちゅんかえー しーくわう

えー いっペー くすい ないんでい ちちや  
る くとうぬ あしが、ちゃーが やー?(腎  
臓の悪い人にはスイカがかなり薬になると聞い  
たことがあるが、どうかなあ)。

**まーみ なー** 〈もやし〉 【例】よーがりふ  
いーがりっし、ていーだんかい あたたる く  
とうぬ ねーんぐとーる いるしるーぬ うい  
きがんかい まーみなーぬ ぐとーんでい い  
ーん。(痩せ細って、陽にあたったことのないよ  
うな色白な男性にもやしのようだという)。

**まーみな くー** 〈きな粉〉 【例】くじむち  
んかい まーみなくー ほーてい かみーねー  
まーさん どー。(葛餅にきな粉をふって食  
べるとおいしいよ)。

**まーるー** 〈順番〉 【例】くわふーや まー  
るー、まっちょーしが いかなしとうん わん  
にんかえー まーてー くーん。(果報はまわ  
りもの、待っているがどうしても私には回って  
こない)。くねーだー っやー まーるー や  
た くとう、くぬ あとー わん まーるー  
やん。(この間はあなたの番だったから、次は私  
の番だ)。

**まいん** 〈大便、小便をする〉【活】またん、ま  
らん、まてい 【例】んかしぬ ういなぐぬう  
やー っくわすだていじょーじ やてい っく  
わぬ まいーねー、みじっし あらていくいー  
たん。なまぬ すいせんトイレぬ さちばい  
ゐ?(昔の母親は子育てが上手で子がウンチし  
たら、水で洗ってあげた。今の水洗トイレの先  
走りかな)。

**まかい** 〈碗〉 【例】しるまかい(お汁茶碗)、  
めーまかい(ご飯茶碗)、うふまかい(どんぶ  
り)。

**まがいん** 〈曲がる〉【活】まがたん、まがら  
ん、まがてい 【例】くしながにぬ まがとー  
ん。(腰が曲がっている)。こーぐ まがとーん。  
(猫背である)。あれー やーんぢ ちんまがと  
ーたん。(あの人は家でちぢこもっていた)。あ

ん ぐとう いーねー あれー ふいんまがい  
ん どー。(そんなことを言うとあの人はひね  
くれるよ)。

まがやー ふいぐやー すん 〈曲がりく  
ねっている〉 【例】っやー ちんぬ くべー  
まがやーふいぐやー そーくとう、だー、の  
ーさ。(あなたの着物の襟は曲がっているので、  
どれ、直そう)。

まかすん 〈預ける〉【活】まかちゃん、まかさ  
ん、まかち 【例】じえーさのー むる ちゃく  
しんかい まかちゃん。(財産はすべて長男に  
預けた)。

まかねー すん 〈食事を作る〉【活】～さ  
ん、～さん、～っし 【例】していみていむん、あ  
さばん、ゆーばん、ちゆくいるむん かんげー  
らんとーならんくとう、まかねーさーやか あ  
んまさる っちょー をうらん。どうーちゆい  
むん やれー、ぬくやー かむしが。(早朝飯、  
昼ご飯、夕ご飯、食事を考えないといけないの  
で、食事を作る人ほど頭を悩ましている人はい  
ない。独身であれば、残り物を食べるんだが)。  
わんねー どうーくるどう まかねー そーん  
どー。(私は自分で食事を作っているよ)。

まかねー やー 〈食堂〉 【例】やぐさみむ  
ん やれー、どうーくる ちゆくてい かむし  
やかん まかねーやーんぢ かむしどう やし  
あがい すがやー? ふかんぢ かみーねー  
けーてー たかあがいどう すがやー?(独り  
者であれば、自分で作って食べるよりも食堂で  
食べるのが安くつくのかなあ。外食すれば、か  
えて高くつくのかなあ)。

まがら 〈内輪〉 【例】「まがら」んでい い  
ーしえー、ちょーでー、をうじゃさー、をうば  
まー、いちゆくぬちゃー、みーつくわ、ういー  
つくわぬ くとう やん。(「まがら」と言うの  
は兄弟、伯叔父、伯叔母、従兄弟姉妹、姪、甥  
のことである)。くんどうぬ うゆうえーや  
まがらびけーさーに ちゃーぐわー わかしえ

ー っさ やー。(今度のお祝いは内輪だけで  
祝おうね)。

まがるーふいぐるー 〈ひねくれた者〉

【例】あれー まがるーふいぐるー どー。(あ  
の人はひねくれ者だよ)。

まきーん 〈負ける〉【活】まきたん、まきら  
ん、まきてい

～まき 〈～負け〉 【例】かーぬ ふいっさる  
っちょー かんすいまきん ていーだまきん  
しー やっさん。(皮膚の弱い人はカミソリ  
負けも日焼けもしやすい)。ちからまき すし  
やか くちんかい まきーしが、ちむ ふが  
ん。(力で負けるのよりも口で押さえつけられ  
るのが割り切れない)。ふみちまき すくとう、  
なちえー ちゃーん ならん。(暑さ負けする  
ので、夏はどうにもならない)。なちまき (夏負  
け)、ハジまき (ハゼにかぶれること)、くすい  
まき (薬負け)、なーまき (名前負け)、ふじょ  
ー まき (不浄負け、葬式などに行つて体に異  
変が出ること)。

まぎーん 〈曲げる〉【活】まぎたん、まぎら  
ん、まぎてい 【例】っちゆぬ かんげー まぎ  
ーるくとー ならん どー。(人の考えを曲げ  
ることはできないよ)。ありが っやー どう  
し まぎていとうらちゃん。(あの人があなたの  
友人を負かした)。

まく 〈わんぱく〉 【例】わらばー そーいね  
ー はていまく やたしが、なまー あんし  
うふやしく なてい やー。(子どもの頃は乱  
暴者だったが、今はあんなにおとなしくなつて  
ね)。

まぐいん 〈(皮膚、着物、紙などの)しわがよ  
る〉 【例】ちんぬ まぐとーくとう のーしえ  
ー。(着物のしわがよっているの直しなさい)。

まぐい 〈顔のしわ〉 【例】ちらぬ まぐえー  
アイロンっし ぬばさりーる むのー あら  
ん、とうしぬ くーどう やくとう。(顔のしわ

はアイロンで伸ばされるものではない、年の功なのだから)。

**まくとう** 〈本当〉【例】っやーや くとうば はなさかちよーしが、なま いちやる くとうばー まくとう やみ? まちげー ねーん やー。(あなたはことばに花咲かしているが、今言ったことは本当か。間違いはないね)。くれー まくとうぬ くとう やいびーん。(これは本当のことです)。まくとう そーる っちゅんかえー いやー たたん。(正直な人には悪いことは起こらない)。

**まくとうー** 〈正直者〉【例】ふり まくとうー (お人好し)。うぬ っちよーや まくとうー/まくとうな むん やいびーん。(その人は誠実な人です)。まくとうーや たから。うぬ っういーんかえー いやーや たたん。どーうぬ っういーんかえー とうこー まーてーくーんていん、ゆくゆこー っくわっんまが んかえー いんとうくぬ ちゅーん。(正直者は宝。その身には矢は立たない。自分の身には徳は廻って来なくても、そのうち子孫には陰徳が来る)。

**まぐらー** 〈道義をわきまえない者〉【例】あれー ぬー からちん けーさん、ぬーっし とうらちん っちゅぬ くとー さん、まぐらーどう やる。(あの人は何を貸しても返さない、何をしてあげても人の事はしない、道義をわきまえていない)。

**まぐりーん** 〈(皮膚、着物、紙などが) しわくちやになる、めくれる〉

**まさいん** 〈勝る〉【活】まさたん、まさらん、まさてい 【例】っういーちえー ありがとう まさとーる。(泳ぎはあの人がうまい)。

**まさい** うとうるい 〈優劣〉【例】まさいうとうるいぬ あていどう っちよー うみはまいる くとうん ない。(優劣があつてこそ人は努力することにもなる)。

**まさい むん** 〈優れもの〉【例】んかしから くぬ メーカーや まさいむんでい いら

っとーん。(昔からこのメーカーは優れものだと言われていた)。

**まさかい** 〈全盛期〉【例】たー やていん んな まさかえー あしが、とうし とうてい しがたかたちえー かわていん ちもー ちやー わかわかーとう むちゅし やん。(誰でも全盛期はあるが、歳をとって姿かたちは変わっても、気持ちはいつも若くもつものだ)。

**まし** 〈一方よりまさること〉【例】っやーが まし やしから ていーち、たーち むっちょーけー。(あなたが好きなのから1つ2つ持って行きなさい)。コーヒーや あちこーこーとう ふいじゅー じろー まし やが?(コーヒーは熱いのと冷たいの、どっちがいいか)。

**まじくい** 〈交わり〉【例】んかしえー とーぬ っちゅぬちゃーとうぬ ふいれーぬ あてい まじくいぬ ちゅーさたん。(昔は中国の人との付き合いがあつて交流が盛んだつた)。「うぬ っくわぬちゃーや そーちよーでーどう やる め?」「あいびらん どー。たいやういきがぬ うやー ちがとーいびーん」「あん やん なー? たちーまじくいぬ をうさやー」「その子ども達は両親を同じくする間柄なのか」「そうではありません。二人は父親は違います」「そうなのか。他からの血が混じっている者が居るんだね」。

**ましし/ましさー** 〈赤肉〉【例】まししから くいみそーれー。(赤肉からください)。

**まじむん** 〈積む〉【活】まじだん、まじまん、まじでい 【例】しらびむん すんでいち しゅむち まじまりーる かぢり まじでい あとー しじみーんち あんましく などーん。(調べものをするといって本を積めるだけ積んで後は片付けるのに煩わしくなっている)。

**まじゅん** 〈一緒に〉【例】しちぐわち、そーぐわちねー とうじとう まじゅん っうえーかぬ やー まーいん。(旧盆、正月には妻と一緒に親戚の家をまわる)。



**まじん** 〈束〉 【例】たむん たまじん（＝たばい） とうていっち とうらしえー。（薪二束取って来てくれ）。【参】普通は「たばい」を使う。

**また**〜〈無傷な、完全な〉 【例】たまー ちゅくいむんとう またむのー（＝そーむのー） てーげーぬ っちゅがー みーわけー むちかさん。（宝石は偽物と本物は普通の人には見分けがむずかしい）。くぬ ゆーんかえー またっちょー をうらんしが、ありやか なとーる っちょー んーちやる くとうぬ ねーらん。（この世には完全無欠な人間はいないが、あの人よりできている人は見たことがない）。

**また** 〈また、再び〉 【例】また いちゃらやー。（また逢おうね）。ちぬー まちぐわーをうてい どうしとう いちゃたしが、ちゅーん また あぬ っちゅとう いちゃたん。（昨日市場で友人と出逢ったが、今日もまた同じ人と出逢った）。

**また** がらし 〈又貸し〉 【例】からしえー からすしが、またがらし しえー ならん どー。（貸すには貸すが、又貸ししてはだめだよ）。

**また** にーびち／また むち 〈再婚（主に女性に用いる）〉 【例】いく けーん また にーびち／またむち しん、しえーうえー ないんでー いららん。（何度再婚しても、幸せになれるとは言えない）。

**また** どうめーい 〈再婚〉 【例】あぬ っちょー とうじ をうらん なさーに なげーしからーさぎさ そーたしが、ちかぐる またどうめーい さんでい どー。（あの人は妻をなくして長いこと寂しそうにしていたが、近頃再婚したってよ）。

**また** 〈股〉

**また** ぐし 〈股ぐら〉 【例】どうく くえーれーからー またぐしえー しりやーに はぎてい やむんでい。（あまり太ると股ぐらは擦れてはげて痛いって）。

**また** ぬい 〈またがって乗ること〉 【例】なまー ういなぐぬ すばぬい すしえー んーだらんくとう、ういなぐぬ またぬえー ふーぢえー ねーんでい たーがが いーたら？（現在は女性が片方に足をそろえて乗るのは目にするのではないので、女性のまたがって乗るのはみっともないっていったい誰が言ったのか）。

**また** ばし ごーやく 〈二股かける者〉 【例】あぬ っちょー ありんかい たっくわい、くりんかい たっくわい する またばし ごーやく やくとう、ゆー くくりてい ふいりり よー。（あの人はあの人にくつつき、この人にくつつくどっちつかずなので、気を付けてつきあいなさいよ）。

**まち** 〈市場〉 【例】やしえーまち（野菜市）、ちぶやまち（陶器市）、っわーさーまち（屠殺市）、いゆまち（魚市）、そーぐわちまち（正月市）、ぶんまち（旧盆市）。なーふあぬ まちえー しちぐわち、そーぐわちねー こーいむん さーぬ まんでい いばやーしーちえー そーてーくとう あとうから いちゅしえー ましどー。（那覇の市は旧盆、正月に買い物客が多くてごった返しているの、後で行くのがいいよ）。

**まち** がしらー 〈市の人気商品〉 【例】ぶんまちぬ まちがしらー なーくぬ マンゴーやん。（盆市の人気商品は宮古のマンゴーだ）。

**まち** がねー 〈場所使用料〉 【例】まぢりぬ まちがねーや ちゃぬ あたい やが やー？（祭りの場所使用料はどのくらいかねえ）。

**まち** ばた 〈市場のそば〉 【例】いったーやーや まちばた なてい、あっちん いかりーくとう、こーいむぬん しーやっさぬ、うーぐとう やる むん なー。（あなたの家は市場のそばで歩いても行けるので、買い物もしやすくてよかったね）。

**まち** や 〈店〉 【例】ぬーから ぬーまでい ひゃくえんさーに こーらりーる まちやぬ なまー あまくまんかい あん。（何から

何まで百円で買える店が今はあちこちにある)。まぎまちゃんかい さつてい んかしから あたる まちやぐわーぬ なまー ねーん なーん。(大型店に潰されて昔から在る小売り店は今はなくなっている)。

**まचीん** 〈御霊を祀る〉【活】まちたん、まちらん、まちてい 【例】うやふあーふじぬ ぶちだん まちてい めーなち うちやとうーっし うさぎーん。(先祖の御霊を祀って毎日お茶湯してお供えする)。

**まちうちゅん** 〈裏切る〉【活】まちうっちゃん、まちうたん、まちうっち 【例】ありんかい ちゅらーく まちうたったん。(あの人に完全に裏切られた)。

**まちげー** 〈間違い、過失〉 【例】わーがいーまちげー やてーくとう、くねーてい とうらしえー。(私の言い間違いだったので、許してくださいね)。

**まちげー** ぐとう 〈道徳的に間違っただこと〉 【例】うんぐとう しーねー ちゃー ないんてい いーるくとうぬ わからん っちょー まちげーぐとう ないん ばーん あん。(そんなことをしたらどうなるのかということも解らない人は不道徳なことになるときもある)。

**まちぶいん** 〈からみつく、肉体関係をもつ〉【活】まちぶたん、まちぶらん、まちぶてい 【例】いーちゅーぬ まちぶいねー ふとうちぐりさくとう、はさんさーに たっちれー。(糸がからみつくとほどけ難いので、ハサミで切り取りなさい)。たくぬ じゅーんかい いーちゅーぬ まちぶてい ちんぶるげーやー さがなうていてい ちゅーっさー。(風のしっぽに糸がからんでくるくる回りながら落ちてくるよ)。わらびぬ まちぶてい ちゅーる ばすねー まじゅん あしでい うやっくわちなぢ すしやん。(子が甘えてくっついてくるときには一緒に遊んで親と子の契りを果たす)。わったーとー ちがてい、ちかぐるぬ ういきがとう

ういなごー あとうさちん ぬーん かんげーらん、まちぶてい あしどーしが。(私たちとは違って、最近の男と女は後先も何も考えないで、くっつきあっているが)。まちぶい すん。(からまる)。ていー ふいさ まちぶい そーん。(足手まといになっている)。

**まちゃーすん** 〈群がる、立ちこめる〉【活】まちゃーちゃん、まちゃーさん、まちゃーち 【例】あみぐわーんかい あいこーぬ まちゃー ちょーぐとう、しじみれー。(飴にアリがたかっているので取りのぞきなさい)。なーをうてい かりくさ とういちゃめーてい めーちやくとう、きぶしぬ まちゃーち みーぬ すんくわてい あきららん。(庭で枯れ草をかき集めて燃やしたので、煙が立ちこめて目にしみて痛くて開けられない)。

**まちゅん** 〈蒔く、撒く〉【活】まちゃん、まかん、まち 【例】うりずんぬ めーに ゴーヤーぬ さに まちーねー ゆー ないん。(うりずんの前にゴーヤーの種を蒔くとよくできる)。あたいぐわーぬ やしえーんかい みじ まちよーけー。(菜園の野菜に水を撒いておきなさい)。

**まち** ほういん 〈まき散らす〉【活】～ほうたん、～ほうらん、～ほうてい 【例】せつぶんねー とーふまーみ まち、うに ういーほういん。(節分には大豆をまき、鬼を追ひ払う)。

**まちゅん** 〈待つ〉【活】まっちゃん、またん、まっち 【例】ちゃっさ まっちん くーんたくとう けーたん。(いくら待っても来なかったので帰った)。まちゅしがどう うふいよー とういる。(あわてず焦らず機会を待つのが幸運を得る)。

**まち** あかすん 〈待ち明かす〉【活】～あかちゃん、～あかさん、～あかち 【例】そーぐわちぬ あがいていーだ んーぢゅんち まちあかすん。(初日を見るといって夜を待ち明かした)。

**まち** うきーん 〈待ち構える〉【活】～うきたん、～うきらん、～うきてい 【例】たー めー

んかい ぼーるぬ どうでいちゅーが すら  
わからんくとう、んな ちむわさみち さがな  
ー まちうきとーたん。(誰の前にボールが飛  
んでくるのか分からないので、みんなドキドキ  
しながら待ち構えていた)。

**まちゅん** 〈巻く〉【活】まちゃん、まかん、ま  
ち 【例】かじまーいっし ふにん ぬみくむ  
る あたい なみぬ したたか まちょーる  
うかーさる とうくまぬ あん。(つむじ風が  
吹いて船も飲み込むほど潮も渦巻いている危険  
な場所がある)。ちんなのー っんまりたる  
とうちから がらー まちょーん。(カタツム  
リは生まれたときから殻は巻いている)。【参】  
がんしな一なみ(渦潮)。

**まちゃー** 〈つむじ〉 【例】たーちまちゃー  
や うーまくーんでい いらっとうしが、あん  
やがやー?(つむじの2つ巻きはやんちゃと  
言われているが、そうなのかなあ)。

**まっ〜**〈真〉

**まっかーら** 〈真っ赤〉 【例】うちなーぬ  
はながしらー まっかーらっし さちょーる  
でいーぐ やん。(沖縄の花の筆頭は真っ赤に  
咲いているデイゴだ)。

**まっくーる** 〈真っ黒〉 【例】がらさーや  
ぬーんち まっくーるっし あんし さーはご  
ーさる。(カラスはどうして真っ黒でそんなに  
薄気味悪いのか)。

**まっしーら** 〈真っ白〉 【例】うちなーぬ  
しなー まっしーらっし ちゅらさん。(沖縄  
の砂は真っ白してきれい)。あぬ まっしーら  
ぬ らんぬ はなー ちゃっさが?(あの真っ  
白の蘭の花はいくらか)。

**まっちーる** 〈真っ黄色〉 【例】イッペーぬ  
はなー まっちーるー やてい、もーきーが  
んでい ゆすぐにんかい っんぢやる っちゅ  
ぬちゃーが ブラジルから むっちちゃんდეい  
どー。(イッペーの花は真っ黄色で、出稼ぎに  
外国に行った人たちがブラジルから持って来て  
る)。

**まっとーばー** 〈一徹者〉 【例】あれー  
まっとーばー やくとう むちかさん どー。  
(あれは一徹者だから難しいよ)。まっとーばー  
や ふいぢゃい、にぢれー ねーらん、うぬま  
ま まっしーぐ いちゅん。(一徹者は左、右は  
なくて、そのまままっすぐ行く)。

**まっくわ** 〈枕〉 【例】んかしえー きーま  
っくわ、むみがらまっくわぬ あたしが、なま  
ー はにまっくわ などーん。(昔は木枕、穀  
殻枕があったが、今では羽毛枕になっている)。

**まったらー** 〈ツバメ〉 【例】まったらーや  
っちゅぬ やーぬ あまだいんかい しー ち  
ゅくてい っくわぐわー ふどうっわーすん。  
(ツバメは人の家の軒下に巣を作って子を養う)。

**〜までいー** 〈無し〉 【例】くぬ くちやぐ  
わーや いばさぬ、っんぢゅち むどうるちん  
ならん。いーちまでいー すんねー すさ。  
(この裏座は狭くて、伸び伸び動けない。窒息し  
そう)。ねーさーに やーまでいー そーる  
っちゅぬちゃーぬ ちむ かんげーいねー  
ちゃーん ならん ないん。(地震で家を失っ  
た人たちの気持ちを考えるとどうしようもなくな  
る)。あぬ っちょー うやまでいー そー  
くとう、ありぬ ちむ あきーるまでいー さー  
てー ならん。(あの人は親を無くしているの  
で、あの人が心を開けるまで刺激してはいけな  
い)。っくわ までいー (子無し)、そー まで  
いー (理性を失うこと)。

**まどう** 〈暇、隙間〉 【例】しくちぬ いちゅ  
なさぬ、わんにんかえー なま あしぶる ま  
どうん ねーらん。(仕事が忙しくて、私には遊  
ぶ暇もない)。

**まどう なんか** 〈偶数目の法事〉 【例】ま  
どうなんかー っうえーかぬちゃーびけーっし  
すくとう、どうしぬちゃーや いかんていん  
しむん。(偶数目の法事は親戚だけですするの  
で、友だちは行かなくてもよい)。

**まどうぬ むん** 〈間食〉 【例】とうく ま  
どうぬむん とういぢゅーさいねー わた み

っち むの一 かまらん ないん どー。(あまり間食をとり過ぎるとお腹がいっぱいになって食べれなくなるよ)。

**まとうまいん** 〈まとまる〉【活】まとうまたん、まとうまらん、まとうまてい

**まとうみーん** 〈まとめる、統一する〉【活】

まとうみたん、まとうみらん、まとうみてい  
【例】なまからぬ わらびんちゃーんかい まちげー ねーらんぐとう うちなーぐち ならーさんねー ならんくとう うていふん うむんじてい まとうみーしどう かんぬーな くとー あらんが やー。(これからの子どもたちに正しく沖縄語を教えないといけないので、手本を重んじてまとめるのが大切ではないのかなあ)。

**まぶい** 〈魂〉【例】まぶい／たまし ぬぎーん。(びっくりする)。まぶい／まぶやー うとうすん。(魂を落とす)。まぶゑー んかとーてーさ。(噂をすれば影)。【参】たまし。

**まぶい** うてい／ぬぎ 〈魂落ち〉【例】くぶ わらべー まぶいうてい／まぶいぬぎ そーくとう、くみらんねー ましえー ならん どー。(この子は魂落ちしているので、入れ込まないとよくはならないよ)。【参】宮良 (2019b, 55 頁)。

**まぶい** ぐみ 〈魂込め〉【例】くるまじこ あーたい、たかさる とうくまから うていたい、うみかーらをうてい っんぶっくいたい、むぬかんげーぬ しーぢゅーさるたみに ちむんくくるん ちかりとーるとうちに まぶいぐみ すん。(自動車事故にあったり、高いところから落ちたり、海川で溺れたり、ものを考え過ぎるために精神的にも疲れているときに魂込めをする)。【参】くたんでいーん (重労働で疲れる)、をうたいん (軽い労働で疲れる)、ちかりーん (精神的に疲れる)。【参】宮良 (2019b, 55 頁)。

**まぶい** わかし 〈魂分かし〉【例】しんじゅーくにちぬ ゆさんでいに ぐそーとう い

ちみとう ちりわかする うぐわん する くとー 「まぶいわかし」んでい いーん。(4 9 日の夕方に浄土と現世とを切り離す拌みをすることを「魂分かし」と言う)。

**まふっくわ** 〈真昼間〉【例】まふっくわねー どうーてーぬ みじえー むる ねーん なたてい、ぶちくん ないくとう、ふかまーやー さんしえー まし。(真昼間には体内の水分がまったく不足して、気分が悪くなるので、外出はしない方がいい)。

**まま** 〈言いなり〉【例】あまぬ みーとうんだー とうじま／をうとうまま やさ やー。(あそこの夫婦は妻の言いなり／夫のいいなりだね)。あったー うやっくわー っくわまま やん どー。(あちらの親子は子の言いなりだよ)。っくわまま しみーねー、あとー なたていーん ちきららん ないん どー。(子のわがママを通すと、後ではもう手がつけられなくなるよ)。

**まま** 〈一緒〉【例】たーが ぬーんでい いちゃんてーまん、ぬーぬ あたんてーまん、うやっくわー まーまでいん まま やさ。(誰がなんと言っても、何があっても、親子はどこまでも一緒だよ)。っやーとう わんとー まま ならんさ。(あなたと私は一緒になれないね)。うむいる まま なたていー?(思いのままになったか)。【参】ないんぐとう やさ。(なるがようにってことよ)。

**まま** 〈血縁関係のない、継〜〉【例】ちょーでーや ぐにん やしが、そーちょーでーや みっちゃい やてい あとうぬ たえー まま ちょーでー やん どー。(兄弟姉妹は5人だが、一腹一生は3人で後の2人は血縁関係がないよ)。

**ままっくわーすん** 〈ごまかす〉【活】まま っくわーちゃん、ままっくわーさん、まま っくわーち 【参】ばば っくわーすん。

**まみぢゅん** 〈まちがえる〉【活】まみぢゃん、まみがん、まみぢ 【例】にちょーる一ぬ あくとう、どう一ぬ むんとう っちゅぬ むんとう さしわき さんねー まみぢゅる ばーん あん。(似ているがあるので、自分のものと人のものとを区別しないとまちがえることもある)。【参】さしわき／みーわき(区別)、いるわき(差別)、いるみーわかすん(差別する)。

**まむいん** 〈守る〉【活】まむたん、まむらん、まむてい 【例】うやふあーふじからぬ ゆしぐとー いちいちまでいん まむてい いちゅし やん。(祖先からの教えはいつまでも守って行くものだ)。

**まむい がみ** 〈守り神〉 【例】あまぬ まむいがめー いびどう やいびーる。(あちらの守り神は霊岩／霊木です)。うちなーをうてー くわじ うくさんたみに しーさー、やなむん ぬきーる いしがんとーんでー むんぬきむん(＝まむいがみ)に そーん。(沖縄では火事をおこさないためにシーサー、邪気を退ける石敢當を守りものにしている)。うちなーやかみぬ しま やてい あまくまんかい むんぬきむん(＝まむいがみ)ぬ まちらっとーん。(沖縄は神の島であちらこちらに守り神が祀られている)。

**まむこー** 〈真正面〉 【例】なかぐしくぐしく あとうぬ まむこーうじょーや ふえーぬ はたどう やんでいる くとー なまぬ なままでいん わからんたん。(中城城趾の正門は南端だということは今の今までわからなかった)。

**まやー** 〈猫〉 【例】まやーぬ ちら あらいんねー(猫が顔を洗うように)。【参】福州語の「まやーん」からの借用語か。

**まやー ぐち** 〈猫舌〉 【例】あれー まやーぐち やくとう、ありが むのー さちなち まかいんかい いってい うちきとーけー。(あの人は猫舌なので、あの人のものは先に碗に入れて置きなさい)。

**まやーすん** 〈惑わす〉【活】まやーちゃん、まやーさん、まやーち 【例】あれー まくとうな むんどう やたしが、ぬーにが まやーさっとーら、しきん さわがち あっち やー。(あの人は誠実な人だったのに、いったい何に惑わされたのか、世間を騒がしているね)。うちなーをうてー っちゅぬ やなぐとう しーねー、「あれー まやーさってーさ やー」んでー いーん。(沖縄では人が悪い事をしたら、「あの人は何かに惑わされているんだね」などと言う)。

**まゆいん** 〈迷う〉【活】まゆたん、まゆらん、まゆてい 【例】っちょー まくとう そーけー なんくる ないぐとう ちむまゆいや すな。(人は誠実にしていればどうにかなるので、惑うことはするな)。

**まるちゃ** 〈まな板〉 【例】んかしえー はがまぬ ふたぬどう まるちゃ やたんでい。(昔は羽釜の蓋がまな板だったって)。

**まる ばい** 〈お尻まるだし〉 【例】んかしえー ちび すがすんでいち ぐまわらびんちやーや まるばい そーしぬ うふさたん。(昔はお尻に風を当てるということで小さい子たちはお尻まるだしが多かった)。

**まるみーん** 〈丸める、心服させる〉【活】まるみたん、まるみらん、まるみてい 【例】うんけーねー うやふあーふじんかい しるだーぐ うさぎてい、うーくいねー くるざーたーだーぐ うさぎーたん。(お迎え日には先祖に白だんごをお供えして、お送り日には黒砂糖入りだんごをお供えした)。だいがくぬ しんしーんかい まるみらっとーてい なまー うみちとう がくむぬんかい うみはまとーん。(大学の先生に心服していて今はすっかり学問に夢中になっている)。

**まるむん** 〈まるくなる〉【活】まるだん、まるまん、まるでい 【例】うちなーぐゆみぬ じゅーぐにちねー うちちゅーめーや まるでい あかあかーとうっし いっペー ちゅらさん。

(旧暦の15日にはお月様は円くなって明るく輝きとてもきれいだ)。あれー わかさいねー、ぬーがやら むぬ いーねー しぐ とうっく わいむっくわい むにーどう すたしが、なまねー あねー あらん なてい ちもー まるでいちょーん。(あの人は若いときには、どうしたものか、ものを言うときすぐ言い返してきたが、今はそうではなくなって心がまるくなっている)。

**まんきーん** 〈混ぜる〉【活】まんきたん、まんきらん、まんきてい 【例】くりんかえー うさきーなぬ やしえーぬ まんきらってい／まんち あんし まーさる やー。(これにはそんなにたくさんの野菜が混ぜられて／混ぜってほんとうにいいね)。みじとう あんだー あたらんくとう、まんきーんな けー。(水と油は合わないの、混ぜるなよ)。ぬーんくいーん まんきれー。(何でも混ぜなさい)。【参】っんべーゆん(みそ汁とかが濃いときに湯水で薄める)；んぢゃさる コーヒーんかい ゆーっんべーたくとう あー さくぐわー などーん(苦いコーヒーに湯を混ぜたのでちょうど良い加減になっている)。

**まんぐら** 〈あたり〉【例】「やくそー まーぬ まんぐらんかい あいびーが?」「こーえんぬ まんぐら やいびーん」「(役場はどのあたりですか)」「公園のあたりです」。

**まんぐる** 〈頃〉【例】でいーごー うりじんぬ まんぐるから さち はじみーん。(デイゴはうりずんのあたりから咲き始める)。いちぬ まんぐる(いつ頃)。

**まんぐわすん** 〈惑わす〉【活】まんぐわちゃん、まんぐわさん、まんぐわち 【例】いじ ちゅーく むっち っちゅんかい まんぐわさってー ならん。(意思を強く持って人に惑わされてはならない)。【参】わちやく さーに あり どうまんぐわちとうらさ(いたずらしてあいつを驚かしてやろう)。

**まんぐいーん** 〈うろたえる〉【活】まんぐいたん、まんぐいらん、まんぐいてい 【例】をうじゃさーぬ けーまーちゃんでいる しらしぬ あてい じこー まんぐいとーん。(叔父が急死したという知らせがあつてかなりうろたえている)。

**まんじゅーういー** 〈パパヤ〉【例】うちなーをうてー まんじゅーういーや ないむん やか かていむんっし かむん。(沖縄ではパパヤは果物よりおかずにして食べる)。

**まん〜**〈金、万〉

**まん だち すん** 〈しっかり抱擁する〉

【活】〜さん、〜さん、〜っし 【例】ゆすぐにからけーてい ちゃーきぬ どうしとう みちなかをうてい うむいん ゆらん いちやてい、いちちょーる っうえーだに いちやーりーがすら やーんでい うむとーたくとう、あながちさぬ、まんだちさん。(外国から帰ってきたばかりの友人と道でばったり出逢って、生きている間に逢えるかと思っていたので、なつかしくて、しっかりと抱きしめた)。

**まん だまし** 〈魂のすべて〉【例】あつたに すーじぐわーから っちゅぬ とうんぢて いちやくとう まんだまし ぬぎたん。(急に脇道から人が飛び出して来てびっくり仰天した)。

**まん でー** 〈万代〉【例】ゆーでーまんでーまでいん さけーとうらち うたびみしえーびりんでい いちん にがとーん。(幾世万代栄えさせてくださいといつも祈っている)。

**まん どーん** 〈多い〉【活】まんどーたん、いきらさん、まんどーてい 【例】じん／じんぶんぬ まんどーん。(お金／知恵が多い)。うちなー やかー やまとー しゅちえー まんどーしが、なだやしこー ねーらん。(沖縄よりも本土は仕事は多いが、容易ではない)。くぬ まかねーやーや いるかじぬ かみむんぬ まんどーん。(この食堂は食べ物のメニューが多い)。なちえー やまとうからん、ゆすぐにからん すじょーする っちゅぬちゃーが まんど

ーん。(夏は本土からも外国からも観光客が多い)。

**まん ぶり すん** 〈完全に惚れてしまう〉  
【活】～さん、～さん、～っし 【例】まんぶりさりやーに くんだってい まーんかいん っんぢららん、あとー いーちまでいーっし かーまんかい ふいんぎたん。(完全に惚れられてしまって拘束されてどこにも出られなくなり、しまいには息苦しくなって遠くに逃げ出した)。あったー ういなぐんぐわー とうじ をうる ういきがんかい まんぶりそーん。(あの家の娘は妻子ある男に浮かれている)。

**まんちゃー ふいんちゃー すん**

〈混ぜる〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】くみんかい まーじん、くるまーみ、むぢ まんちゃーふいんちゃーっし にち かみーねーまーさん。(米に粟、小豆、麦を混ぜて炊いて食べるとおいしい)。

**まんちゅん** 〈混じる〉【活】まんちゃん、ま

んかん、まんち 【例】ぬーんくいーん まんちよーん。(何もかも混じっている)。ゆすぬ ちーぬ まんちーねー、たちーまじくい そーんでい いーん。(よその血が混じると、他血混入していると言う)。

# み

**みー** 〈中、穴、ところ、時〉 【例】みーみーごーごー（穴）。ふいーふちぬ みーから ていんとー をうがまー（火吹き穴から天道拝む人、視野の狭い人）。いららん みーんかい いっち じゃーふえー なとーさ。（にっちもさっちもいなくなつて大変なことになっているよ）。ありが／あつたー みーんかい いちゅみ？（あの人のところに行くの）。はいぬ みーんかい いーちゅー ぬちとうらしえー／とうーちとうらしえー。（針の穴に糸を通してくれ）。くさぬ みーから あっちゆる ばすねー、はぶぬ をういがすら わからんくとうちー ちきり よー。（草のなかを歩くときには、ハブがいるかも知れないので気をつけなさいよ）。にんぢゆる みーや にんぢゆるぐとう しーよー やー。（眠る時間は眠るようにしなさいよ）。っやーや ふいっちー ていーだぬ みーから あつちよーら やー。ちらーやきてい あかー なとーん。（あなたはいつも陽の下を歩いているんだね。顔は焼けて赤くなっている）。

**みー みー くーじー** 〈根掘り葉掘り〉  
【例】っちゅぬ やーぬ くとう みーみーくーじー ちちゆる むのー あらん。（よその家のことを根掘り葉掘り聞くものではない）。

**みー くわーすん** 〈間に合わせる〉【活】〜くわーちゃん、〜くわーさん、〜くわーち 【例】なまから とういが いからんくとう、うりさーに みーくわーちよーけー。（今から取りに行けないので、それで間に合わせておきなさい）。うくりらんぐとう くじまでいぬー みーくわ

ーし よー。（遅れないように9時には間に合わせなさいよ）。

**みー** 〈いっぱい〉 【例】わたぬ みー かだん。（お腹いっぱい食べた）。

**みー** 〈実〉 【例】みーぬ いらー くび をうーりり。（実るほどに頭を垂れる稲穂かな）。

**みー** 〈目〉 【例】みーはぎ（ただれ目）、みーぐるぐる（目をきよろきよろすること）、みーぶつくわー（目が腫れていること）。みーがー うくりーん。（元気になって、落ち込んでいたまぶたが盛り上がる）。っやーや にんぢゆる みーや にんとーみ？ みーこーがー いっちよーん どー。（寝るときはちゃんと寝ているか？ 目がくぼんでいるよ）。みーぬ そーぬ ねーらん なてい ぐぶりー なとーさ。（目の精気がなくなってしまって失礼しているよ）。ふいちみーぐわーっし（ウィンクして）。みーから ちーぬ っんぢゆるか はたらちゅん。（目から血が出るくらい働く）。

**みー うすい** 〈目隠し〉 【例】ちゃー うちゆる とうくまんかい あたしがどう わんねー ちぬーや とうめーうーさんたん。みー うすい さつとーてーさ やー。（いつも置いてあるところにあつたのに、私は昨日は探し出せなかった。目くらましされていたんだね）。

**みー うすいん** 〈目をくらます〉【活】〜うすたん、〜うすらん、〜うすてい 【例】どうーぬ さいふ みーぬ めーんかいどう あしが、どうまんぐいてい あま とうめーい くま とうめーいっし、みー うすいどう さつとーて



ーさ やー。(自分の財布は目の前にあるのに、びっくりしてあちらこちらを探したりして、きっと目をくらまされていたのだね)。

**みー うち** 〈まばたき〉 【例】うむやーやれー、みーうちさーに うむい とぅーする  
くとうん ないん。(恋人であれば、まばたきで思いを伝えることもできる)。

**みー くち** 〈表情〉 【例】ふいるまさんやー。あまぬ みーとうんだー みーくちまでい にちょーん でー。(ふしぎだね。あちらの夫婦は表情まで似ているね)。うとうすえーとうしぬ くー やてい みーくち やふあやふあーとう むぬ いーん。(お年寄りには年の功で柔らかい表情でものを言う)。

**みー くふあくふあー** 〈寝つきの悪いさま〉 【例】ぬーやんくいーやん かんげーてい さらゆながた みーくふあくふあーっしいかなしとうん にんだらんたん。(あれこれ考えて一晩中寝つきが悪くてどうしても眠れなかった)。【参】さらふいーっちー(一日中)、さらばんじ(働き盛り、真っ盛り)、さらまくとう(馬鹿正直)。

**みー くふあいん** 〈目覚める〉【活】～くふあたん、くふあらん、～くふあてい 【例】ゆなかぬ ちゃー めぬじぶんねー みーくふあいん。(夜中いつも同じ時刻に目が覚める)。

**みー くふあやー** 〈お目覚〉 【例】わらびそーいに していみてい うきーねー うやぬ みーくふあやー やさんでい あみぐわーくいーたん。(子どものときに朝早く起きるとお目覚だといって飴をくれた)。

**みー くらがん** 〈めまい〉 【例】ていーだくわらくわら そーる ばすに 2じかんびけー ながあっち さくとう、あし はていぬーでいー かーきてい みーくらがん そーたん。(太陽がかんかんしている時に2時間ばかり長歩きをしたので、汗をかいて喉が渇いてめまいがしていた)。

**みー こーがー** 〈疲れで目がくぼむこと〉 【例】わんねー みーこーがー そーら やー？(私は目がくぼんでいるでしょう)。

**みー じーんじーん すん** 〈目から火が出る思いをする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】ちぶる はーやーんかい ばんみかさーに  
みー じーんじーん すん。(頭を柱にぶつけて目から火が出ているようだ)。

**みーぬ くち** 〈目がしら〉 【例】なだぬっんぢぎさ そーたくとう、みーぬくち うしちきてい とぅみたん。(涙が出そうになったので、目頭を押さえて止めた)。

**みーぬ しん** 〈目つき、目の芯〉 【例】がくむん そーる っちょー ちらだまし(＝ちらうちき)ぬ かわてい みーぬ しぬん かわとーん やー。(学問をしている人は表情が変わって、目つきも変わっているね)。ありがくさみけーから／わじれーから／たんちしえーから、みーぬしんまでい たっち、うとうるさん やー。(あの人は怒ると、目つきまで変わって、怖いね)。

**みーぬ ちび** 〈目尻〉 【例】あちはていてい みーぬ ちびしん んーぢぶしこーねーん。(あきれ果ててもう見たくもない)。

**みー とうるばい** 〈唾然としているさま〉 【例】まぎいゆぬ かかてい みーぬ めーまでい あぎとーたしが、ふいっちりてい ふいんがさーに みーとうるばい そーたん。(大きな魚がかかって目の前まであげていたが、ひっ切れて逃がして愕然としていた)。

**みー はい ぬすどう** 〈目の前で盗みをはたらくこと、詐欺〉 【例】ぬすどうんでい いーしえー しらんふーなーっし すしが、みーはいぬすどー っちゆぬ めーをうてい ぬすどう すん。(盗人は知らんふりしてするものだが、「みーはいぬすどう」は目の前で盗みをはたらく)。

**みー ふいちゃいん** 〈にらんで目を光らせる〉【活】ふいちゃたん、～ふいちゃらん、～ふいちゃてい 【例】っちゆぬ めーをうてー ぬーん いらんたしが、みーふいちゃてい わからすたん。(人前では何も言わなかったが、目でにらんで解らせた)。

**みー まゆ** 〈顔立ち〉 【例】わん どうし

ぬ しーじゃー ふどうん まぎさぬ、みーま  
ゆん とうとうぬてい ちゅらにーしえー や  
ん。(私の友人のお兄さんは体も大きくて、顔立  
ちもよくてイケメンだ)。

みー むとう 〈目もと〉 【例】うぬ っち  
ゆぬ ちむぬ でいきとーしえー みーむとう  
んかい っんぢとーん やー。(その方の人間  
ができているのは目もとに出ているね)。

みー ふあー ふあー 〈呆然としているさ  
ま〉 【例】とうじから あったに うみかき  
らんくとう いらって、どうしえー みーふ  
あーふあー なたんでい。(妻から急に思いが  
けないことを言われて、友人は呆然となったっ  
て)。

みー よー 〈目くばせ〉【活】みー よー  
くち よー 〈目と口で合図すること〉 【例】っ  
ちゆぬ めーをうてー いららんくとー みー  
よーさーに とうーすん。(人前では言えない  
ことは目くばせで伝える)。

みー やみ 〈眼病〉 【例】ななじゅーぐれ  
ー ないねー、はくなくいしょーんでいーる み  
ーやみぬ っんぢていちゅーん。しゅじゅつや  
ちゅけーんなくい たーちえー ならんくとう  
、ていーちなーどう すんでい。(70歳ぐ  
らいになると、白内障という眼病が現れてくる。  
手術は1回で2つはできないので、1つずつす  
るんだって)。

みー いんでー 〈ものもらい〉 【例】にぢ  
りぬ みーぬ みーいんでー ないねー、ふい  
ぢゃいぬ うふいーびぬ ちみんかい はーい  
ぬ さちさーに あじまーぬ しるし ちき  
ーねー のーいんでい いらっとうたん。(右の  
目にものもらいができたら、左の親指に針の先  
で十字の印をつけると直ると言われていた)。

みー〜〈新〉 【例】みーぢん(新しい服)、みー  
じん(新札)、みーじょー(新しい門)、みーや  
ー(新築の家)、みーたたん(新しい畳)、みー  
ぐち(商売の口開け)、みーゆみ(花嫁)、みー  
むく(花婿)、みーぐつ(新しい靴)。  
【参】あき まどうし(新年)。

みー いり 〈新入り〉 【例】くとうしぬ  
みーいりぬ くわいいのー ぬーんくいーんか  
い ちむ いったい すん。(今年の新会員は  
何でも心を込めてする)。

みー にし 〈新北風〉 【例】うちなーぐゆ  
みぬ くんぐわちぬ なかぐれーから じゅー  
ぐわちぬ はじみぐれーまでい みーにしぬ  
ふちゆん。(旧暦の9月中旬から10月の初旬  
まで新北風が吹く)。

みー むん 〈新品〉 【例】くぬ かぼのー  
みーむん やさ。っやー めーみ(=めーゆ  
み)?(このカバンは新品だよ。お前もらうか)。

みーじーくーじー／ごーぐちはー  
ぐち すん 〈ぶつぶつ不平を言う〉

みーとうんだ 〈夫婦〉 【例】みーとうんだ  
ー しぢん まじゆん めぬ かーみんかい  
いーるくとう、「みーとうんだー かーみぬ  
ちび ていーち」んでい いらっとうん。(夫  
婦は死んでも同じ骨壺に入るので、「夫婦は一  
つの甕の底」と言われている)。

みーとうんだ おーえー 〈夫婦げんか〉

【例】わかさる うちにどう みーとうんだおー  
えーや する。(若いうちにこそ夫婦げんかは  
するものだ)。

みーとうんだ ぐわー しえー 〈夫婦ご  
っこ〉 【例】たー やていん くーさいねー  
みーとうんだぐわーしえー さるくとうぬ  
あゑー さに?(誰だって幼い頃に夫婦ごっこ  
したことがあるんじゃないの)。  
【参】がっこー ぐわーしえー(先生・生徒ごっこ)。

みーばい 〈めばる〉 【例】みーばいやか  
まーさる いよー ねーらんでい うむいさ。  
(めばるよりおいしい魚はないと思うよ)。

みー むん／みー むなー 〈雌〉

【例】わったー まやーぬ っくわぐわー な  
ち、むる みーむなーどう やしが、いったー  
めーみ?(私の家の猫が子を産んで、みんな  
雌なんだけど、お前の家もらうか)。

**みーゆん** 〈生える〉【活】みーたん、みーらん、みーてい 【例】っんまりてい ぐ、るっかげつびけー ないねー、めーばーぬ しちやから みーてい ちゅーん。(生後5、6か月ばかりすると、前歯が下から生えてくる)。

**みー かーい ばー** 〈永久歯〉 【例】みーかーいばーや いちち、むーちびけーねー みーかーてい ちゅーん。(永久歯は5歳、6歳頃に生えかわってくる)。

**みーゆん** 〈見える〉【活】みーたん、みーらん、みーてい 【例】きらまー みーゆしが、まちげー みーらん。(慶良間は見えるが、まつ毛は見えない、灯台もと暗し)。みーたる かーぎん みーらん。(姿が見えない)。みーぐわっちー さびたん。(見ただけでお腹いっぱいになりました)。みーぢたなさん。(見た目に薄汚い感じがする)。

**みー あていーん** 〈見つける〉【活】～あていたん、～あていらん、～あていてい 【例】とうめーとーたし みーあていたん。(探していたのを見つけた)。

**みー うじー** 〈見ただけで怖じ気づくこと〉 【例】かまん まーどう うっぴなぬ まかいんかい いりらりれーからー、みーうじーっし なー わた みっちょーん。(食べる前からそんな大きな碗に入れられると、見ただけで怖じ気づいてもうお腹いっぱいになっている)。

**みー うびーん** 〈見覚えがある〉【活】～うびたん、～うびらん、～うびてい 【例】あぬ っちょー みーうびーぬ ねーらん、(あの人は見覚えがない)。くぬ あかぢん みーうびとーみ?(この赤シャツに見覚えがあるか)。

**みー くだー** 〈見ても何だかわからないもの〉 【例】ピカソんでいーる しけーをうてい なー うっちょーる めーかちやー やしが、わったーがー みーくだー やん。(ピカソは世界的に有名な画家だが、私たちにはわけが分からない代物だ)。じーぬーをうてい なー うちよーる っちゅから サイン めーたしが、みーくだー じー なてい ゆまら

んたん。(芸能人からサインをもらったが、はっきりしない字で読めなかった)。

**みー けーし げーし** 〈くり返し見ること〉 【例】しけんねー みーばっペーしえーをうらんがやーんち みーけーしげーし すし やん。(試験には見間違えていないかとくり返し見返すものだ)。

**みー くーめー** 〈にらめっこ〉 【例】「みーくーめー さな。わらてー ならん どー。あっぷっぷー」んでいーる うやっくわ あしびぬ あてい、うり んーぢーねー わんまでい っういーりきく ないさ。(「にらめっこしよう。笑ってはだめよ。あっぷっぷー」という親子の遊びがあって、それを見ると私まで楽しくなる)。

**みー さぎーん** 〈見下げる〉【活】～さぎたん、～さぎらん、～さぎてい 【例】っちゅんかい みーさぎらりーしん どうーぬ ゆい やさ。(人に見下げられるのも自分の所為だ)。

**みー しーん** 〈顔見知りになる、見知る〉【活】～しっちゃん、～しらん、～しっち 【例】なまから あとうん みーしっちょーてい うたびみしえーびり。(今後ともお見知りおきください)。っやーや うふいなー なてい みちんぢ いちやていん みーしららん などーさ。(あなたはこんなに大きくなって道で逢っても見分けがつかなくなっている)。

**みー していーん** 〈見捨てる〉【活】～していたん、～していらん、～していてい 【例】ちゃぬよーな くとうぬ あたんてーまん なちえーる っくわ みーしていーる むのー あらん。(どういふことがあっても生んだ子を見捨てるものではない)。

**みー ちーん** 〈見切りをつける〉【活】～ちっちゃん、～ちらん、～ちっち 【例】あれー ならんしが、わんねー なー みーちっちゃん。(あの人はどうもねえ、私はもう見切りをつけた)。

**みー なり ちち なり** 〈見たり聞いたりして自然に身につくこと〉 【例】とーきよーや っちゅぬ うふさる とうくま やくとう、みーなりちちなり ふいるみてい うむさ

ん。(東京は人口が多いところなので、見聞を広められておもしろい)。【参】「なり」は「なりーん」(馴れる、慣れる)の名詞形。

**みー ないん** 〈見定める〉【活】～なたん、～ならん、～なてい 【例】っちゅぬ すし みーなていから じょーじ ないん どー。(人がするのをよく見ることで上手になるんだよ)。

**みー ぬがらすん** 〈見逃してやる〉【活】～ぬがらちゃん、～ぬがらさん、～ぬがらち 【例】なー わっさたんでい いちよーたくとう みーぬがらしえー。(もう悪かったと言っていたので見逃してやれ)。

**みー はていーん** 〈見終わる〉【活】～はていたん、～はていらん、～はていてい 【例】かたる ビデオ ぐじかんびけー かきてい みーはていたん。(借りたビデオを五時間ほどかけて見終わった)。

**みー ばっペーいん** 〈見間違う〉【活】～ばっペーたん、～ばっペーらん、～ばっペーてい 【例】めーに ぐしんゐんぬーとう みーばっペーたくとう、にしんゐんぬーや いってーくいーんな よー。(前に5千円札と見間違えたので、2千円札は入れないでね)。

**みー はんだー** 〈期待はずれ〉 【例】あーっちゅぬ をうくとうんでい いらってい わかういなぐとう ちらあーし さしが、むぬかんげーぬ あーらんたくとう、みーはんだーなたん。(良い人がいるからといって若い女性とお見合いしたが、ものの考え方が合わなくて、期待はずれに終わった)。

**みー まんぢゅん** 〈見守る〉【活】～まんだん、～まんだん、～まんでい 【例】たび さびーくとう、いちむどうい みーまんとーてい くいみそーり。(旅をするので、道中を見守ってください)。たんかーまんかーぬ っちゅぬちゃーが がっこーんかい いちゆる わらびんちゃー みちなかをうてい みーまんとーん。(隣近所の親たちが学校に行く子どもたちを登校中に見守っている)。つくわっんまがぬちゃー うやふあーふじぬ ちゃー みーまんとーくとう ぬーぬ しわん ねーんさ。(子や孫

たちを御先祖がいつも見守っているの、何の心配もないよ)。まやーぬ いゆ みーまんとーくとう ぬくさーに あとうから かましえー。(猫が魚を物欲しそうにみているので、残して後で食べさせなさい)。こーえんぬ いーすぐわーをうてい まーさむん かむんち されー、すばんかい みーちきてい みーまんとーる いんぐわーぬ をうてい かみん ならんたん。(公園のベンチで美味しいものを食べようとしたら、側で見つめて物欲しそうにしている犬がいて食べようにも食べられなかった)。

**みー むん** 〈催しもの〉 【例】ちゅーや みーむんぬ あしが、まじゅん いちゅみ?(今日は催しものがあるが、一緒に行くか)。

**みー やんぢゅん** 〈見損なう、見誤る〉【活】～やんたん、～やんだん、～やんでい 【例】っちゅんかい みーやんだっていん っちゅ みーやんぢゅる くとー しーぶしこーねーん。(人に見損なわれても人を見誤るようなことはしたくない)。

**みうくいん** 〈見送る〉【活】みうくたん、みうくらん、みうくてい 【例】やまとうからぬ どうし みうくい さーに なま けーてい ちやる とうくる(=けーてい ちゃーき) やさ。(本土出身の友人を見送って帰って来たところだ)。

**～みかすん** 〈～という音をたてる〉【活】～みかちゃん、～みかさん、～みかち 【例】あんすんでい ちわみれーからー いかな ぬーぬ あていん ひやみかち たちあがいどう する。(そうするって決めたからにはどんなことがあっても気合いを入れて立ち上がるのだ)。っんぶにー かたみとーたくとう なー ふしがらんない どうさみかち うるちゃん。(重い荷物を担いでいたの、もうたまらなくなってどすんと下した)。だっちょーぐわー がさみかしみそーれー。(らっきょうをお召し上がりください)。

**みぐいん** 〈廻る〉【活】みぐたん、みぐらん、

みぐてい 【例】やーぬ すばふいら みぐいん。(家の廻りをまわる)。たかさる とくろー みーん みぐてい ふいさはごーさん。(高所は目が回り足下がぞくぞくする)。

**みぐ い** 〈めぐり〉 【例】ふいーみぐい(日巡り)、ちちみぐい(月巡り)、にんみぐい(年巡り)。ちちゆぬ うくねーぬ ゆしあしえー／ぢーふぢえー ふいーみぐい、ちちみぐい、にんみぐいっし まーてい ちゅーぐとう ちーちきらんとー ならん。(人の行いの善し悪しは／悪いこと弱いことは日ごと、月ごと、年ごとに廻って来るので気をつけないといけない)。  
**みぐ らすん** 〈巡らす、回す〉 【活】みぐらちゃん、みぐらさん、みぐらち 【例】っやーん とぅやーに あまんかい みぐらしえー。(あなたも取って向こうに回しなさい)。せんぷーき みぐらしえー。(扇風機をまわしなさい)。なー いふえー じんぶん みぐらしえー。(もう少し頭を使いなさい)。ちかぐろー じんぬ みぐいぬ わっさっさー。(近頃は金巡りが悪いね)。

**みくち** 〈御骨〉 【例】ふるばかから みーばかんかい みくち うんちけー すん。(古い墓から新しい墓に御骨をご案内する)。

**みしーん** 〈見せる〉 【活】みしたん、みしらん、みしてい 【例】「っやーや わんがー ならんでいどう うむとーら やー?」「あんしえー、しーみしり」「(あなたは私ができないと思っているのか)」「それでは、やってみせろ)。うっとう みしていー? いくち ちげー やが?(二番目は生まれたか。いくつ違いか)。

**みしげー** 〈しゃもじ〉 【例】うちなーぐちぬ みしげーや めーいりやー やてい、すいをうてー 「いーじえー」んでいん いーん。(沖縄語の「みしげー」はご飯をよそうもので、首里では「いーじえー」ともいう) 【参】なびげー (しゃくし)。

**みしがら** 〈身一つ〉 【例】ありんくりんぬーんくいーん していてい みしがら ない

ぶさー あしが、しきんぬ あくとう、しーぶさていん いぢぬ っんぢらん。(あれもこれも捨てて身一つになりたいが、世間の目があるので、したくても決心がつかない)。

**みじ** 〈水〉 【例】ぬすどー むっちいかりーる うっぴどう むっちいちゆる。やしが、みじん くわじん やーしーていー むる むっちはいん。(盗人は持っていけるだけしか持っていない。しかし、水も火事も家屋ごとすべて持ち去る)。

**みし ちぢ** 〈飯粒〉 【例】めーまかいぬ みしちぢえー ぬくさんぐとう むる かめー。くみ ちゆくいる ちちゆぬちやーぬ ちやーっし ちゆくとーが わかとーみ?(ご飯茶碗の飯粒は残さないように残らず食べなさい。お米を作る人たちがどのようにして作っているか分かっているか)。

**みじゅん** 〈イワシ〉 【例】んかしえー みじゅのー ゆー とぅらりーたしが、なまー いきらくなてい あんすかー かまんなどーん。(昔はイワシはよく捕れたが、現在は少なくなつてそんなには食べなくなっている)。

**みちーん** 〈閉める、満たす〉 【活】みちたん、みちらん、みちてい 【例】いんぬ いっちちゅーくとう じょー みちれー。(犬が入ってくるので門を閉めなさい)。はしる／たんす／びんぬ ふた／くるま／かばん／れいぞーこ みちれー。(雨戸／たんす／瓶の蓋／車のドア／鞆／冷蔵庫を閉めなさい)。かーみ みちれー。(甕を満たしなさい)。

**みちくみーん** 〈閉じ込める〉 【活】みちくみたん、みちくみらん、みちくみてい 【例】うさぢ やーぐわーんかい いってい みちくみとーけー。(ウサギを小屋に入れて閉じ込めておきなさい)。

**みち ばっぺー** 〈道で迷うこと〉 【例】まーが まー ならんがらん わからん なたいてい、みちばっぺー すしえー ういなぐんか

い うふさん。(どこがどこなのかわからくなって、道で迷うのは女性に多い)。

**みちゅん** 〈満つ〉【活】みっちゃん、みたん、みっち 【例】ありが じんぶの一 みっちあまと一ん。(あの人の才能は満ち余っている)。みたん からから一ぬ うとうぬ まぎさ。(満たない酒瓶がかえって大きい音がする、大言する者ほど内容が乏しい)。あさばん ちゅふあーら かだくとう、わたみっち ゆーばの一 あんすかー かまらんたん。(昼はたくさん食べたので、お腹いっぱい夜はそんなに食べられなかった)。

**みち すー** 〈満潮〉 【参】ふいち すー。

**みっくわー** 〈盲人〉【活】＝みーぬ ふじゆーな っちゅ 【例】みーぬ ふじゆーな っちゅー いーびぬ さちとうか むぬうとうんかい かんぢゆーさん、みみぬ ふじゆーな っちゅー ちからんくとう っちゅぬ みーくち ゆむしえー ちゅーく ないん。(目の不自由な人は指先や物音に敏感で、耳が不自由な人は聞こえないので人の表情を読むのに敏感になる)。

**みっくわさ すん** 〈憎い〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】っちゅー みっくわさ しえー ならん どー。(人は憎んではいけないよ)。っちゅんかい みっくわさ むにー さん どー。(人には憎まれ口をたたくなよ)。みっくわさ むん(憎たらしい者)。

**みっちや** 〈三日〉 【例】うぬ くすいぬ ちちゅみ、ちかにんでい いしえー みっちや みーぬー なんくる わかいさ。(その薬が効くか、効かないかは三日目には自然にわかる)。

**みっちやい** 〈三人〉 【例】みっちやい すりれー しきん。(三人集まれば世間)。みっちやいからー しきん。(三人からは世間)。

**みっちやかいん** 〈満ちる〉【活】みっちや かたん、みっちやからん、みっちやかてい 【例】

だむぬ みじえー みっちやかてい なまぬ とうくろー みじぬ しわん ねーらん。(ダムの水はいっぱいになって今のところは水の心配もない)。

**みみ** 〈耳〉 【例】いちむしえー くいー かきーねー みみ ふいくふいくーっし たていーん。(動物は声をかけると耳をそばだてる)。

**みみ がー** 〈(豚の)耳皮〉 【例】みみがーんかい ういぐわー まんきてい、あまじやきとう ぢーまーみー しりたっくわーさーにあーち えーむん ちゅくいねー まーさん。(耳皮にキュウリを混ぜて、甘酒とピーナツを擦り潰して混ぜて和え物を作るとおいしい)。

**みみ くじやー** 〈耳かき〉 【例】あまんかい みみくじやーぬ あくとう とうてい くいれー。(あそこに耳かきがあるから取ってくれ)。

**みみぬ ふあー** 〈耳全体〉 【例】みみぬ ふあーぬ まぎさる っちゅー ながぬちんーぢゅん、みみだいぬ まぎさる っちゅー っうえーき すんでい いらっとうしが、あんな やが やー?(耳の大きい人は長命になり、耳たぶの大きい人はお金持ちになると言われているが、そうなのかねえ)。

**みん くじらー** 〈耳がわるい者〉 【例】わんねー みんくじらーや あらんくとう、くーくぐわー あびていん ゆー ちかりーっさ。(私は耳が悪いわけではないので、小さな声でしゃべってもよく聞こえる)。

**みみがに** 〈理解力〉 【例】みみがにぬ ある っちゅ あらんだれー うぬ わじやーじょーい ならん。(理解力のある人でないとその仕事はとてもできるものではない)。

**みみじゃー** 〈ミミズ〉 【例】っやーが ちえーしえー ゆみん ならん どー。みみじゃー じー かち。(あなたが書いたのは読めないよ。ミミズのような字を書くから)。みみじゃーや ちびん くちん めぬ かたー そーくとう、まーが ぬー ならん わからん。

(ミミズは尻も口も同じ形をしているので、どこが何になっているのかわからん)。

**みみぢゅん** 〈揉む〉【活】みみぢゃん、みみがん、みみぢ 【例】むもー ていーっし みみぢえー くいーんな、んーぢゅる うっぴ しーよーんでい ないむんやーぬ ぬーしが いちよーたん。(桃は手で揉まないで、見るだけにしてくださいと果物屋の主人が言っていた)。

**みむち** 〈身持ち〉 【例】あぬ っちょー くとうばから すがいから みむちぬ ちゅらさん。(あの人は言葉や身なりから品がある)。

**みるく** 〈弥勒〉 【例】みるくぬ うかみがなしーめーや むらじゃけー、つくわなしじゃけー、ちゅくいむぢゅくいじゃけー ゆばーに ゆがふー むたらすん。(弥勒の神様は地域の繁栄、健康祈願、豊作を呼んで、繁栄をもたらす)。

**みゅんち** 〈お顔〉 【例】あやかいぶさいびーくとう、ひゃーく なんとーる うんじゅなーたんめー／うすめーぬ みゅんち をうがまちくいみそーり。(あやかりたいので、百歳になったお宅のおじいさん／おばあさんを拝顔させていただきます)【参】「ちら」の敬語。

**みんぐいーん** 〈濁る〉【活】みんぐいたん、みんぐいらん、みんぐいてい 【例】うふあみぬ

ふいねー うぬ かーらー たでーま しーりぬぐとう みんぐいとーん。(大雨が降るとその川はたちまちどぶのように濁る)。

**みんぐわすん** 〈かき回す〉【活】みんぐわちゃん、みんぐわさん、みんぐわち 【例】りんご しぶてーしが、かしえー しじみてい っわーじる とういんちどう やくとう、みんぐわさんき よー。(リンゴを絞ってあるが、かすは沈めて上汁を取るなので、かき回さないでよ)。

**みんくわーうー** 〈作り顔〉 【例】わらびぬ うむっさっし わらいる みんくわーうーや しむしが、やなぢら ちゅくてい うどうるかする くとー さんしえー まし。(子どもがおもしろがって笑う作り顔はいいが、怖い顔をして脅かすことはしない方がいい)。

**みんさー** 〈布の一種〉 【例】うーべー みんさーうーびぬ ゆー ちかーっとーん。(帯はみんさー帯がよく使われている)。

**みんちやむん** 〈目に入ったゴミ〉 【例】みんちやむなーぬ いっち やどーくとう ふーみかち まーに。(目にゴミが入って痛いので息を吹きかけてごらん)。

**みんな** 〈るりはこべ〉 【例】ふいーじゃーぬ まーさむのー わかみんな やん。(ヤギの好物は若いるりはこべだ)。

# む

**むいん** 〈漏れる〉【活】むたん、むらん、むてい 【例】ふるやー やくとう、うふあみぬ ふいねー あまむいっし なーびから、バケツから、びんだれーから うちきらっとーん。(古い家屋なので、大雨が降ると雨漏りするので、鍋、バケツ、洗面器が準備されている)。たーん かいん わかってーならん くとう やたしが、いーなぬふえーな／ちゅーちゃん むとーん。(誰にも知られてはいけないことだったが、知らぬ間に／あっという間に漏れている)。【参】情報は「むりーん」、「むりとーん」、「むりたん」を遣う。

**むいん** 〈もぎ取る〉【活】むたん、むらん、むてい 【例】めーにん そーぐわち ないねー くにぶ むいが、いずみんかい っんちょーん。(毎年正月になるとミカン狩りをしに、伊豆味に行っている)。

**むいん** 〈盛る〉【活】むたん、むらん、むてい 【例】めーじょーぐー やくとう、かていむん やかー めーまかいんかい やまむいっし かむん。(ご飯好きなので、おかずよりはご飯茶碗を山盛りにして食べる)。

**むいん** 〈子守りをする〉【活】むたん、むらん、むてい 【例】わらび そーいに、つくわむやーでー、みじくまーでー、こーいむんでー、ほーちかちでー、すすいかちでーとうっし あかじなー めーとーたん。(子どもの頃、子守り代、水汲み代、掃きそうじ代、雑巾がけ代として小銭をもらっていた)。

**むい** **にんしーん** 〈守りをして寝かせる〉【活】～にんしたん、～にんしらん、～にんしてい 【例】むいにんしーる とうちねー、つくわむやーうた うたいがなー どうー をうーいねー にんていくいーん。(守りをして寝つかせるときには、子守唄を歌いながら体をゆり動かしたら寝てくれる)。【参】をうーいん(ゆすぶる)、をうーてい(ゆすぶって)。

**むーちー** **びーさ** 〈むーちー(鬼餅)寒さ〉【例】むーちーびーさんでいち あくとう じゅんに ふいるまさん どー やー。(むーちー寒さというのはあるので実に不思議だよねえ)。

**むえー** 〈模合〉【例】ちちむえーや ちゅちちに ちゅけーんなー すん。(月模合はひと月に1回する)。【参】「ゆれー」とも言う。

**むくい** 〈恩恵、報い〉【例】あまぬ うやふあーふじえー っちゅぬ くとう ゆー そーてーくとう、いんとうくとうっし いちみんかい むくいぬ ちょーっさ。(あそこのご先祖は人のことをよくしていたので、陰徳として現世の人に恩恵が来ている)。わかさる とうちに しえーる やなぐとうぬ むくい なまかんとーん。(若いときにした悪いことの報いを今受けている)。

**むげーいん** 〈沸騰する〉【活】むげーたん、むげーらん、むげーてい 【例】ゆーぬ むげーとーん／わちょーん。(湯が沸いている)。むげーとーらー、かちゅーぶし いってい とうらしえー。(沸いているなら、鯉節を入れてね)。



**むさげーいん** 〈にぎやかに騒ぐ〉【活】むさげーたん、むさげーらん、むさげーてい 【例】わかむんぬちゃーぬ はまをうてい ゆーるにっかまでい むさげーとーたん。(若い者たちが浜で夜遅くまで騒いでいた)。

**むし** 〈もし〉 【例】ありんかい っしとうらし んでいち たぬめーすしが、むし ならんでい いーねー ちゃー すが？(あの人にしてくれるように頼みはするが、もしできないと言ったらどうするか)。むし めーっわーちちやらー わんにん いちゅさ。(もしもいい天気なら私も行くよ)。

**むし** 〈虫〉 【例】ありんかえー にーぶやーむし／じんむし／おーやーむし／ういなぐむし／ういきがむしぬ たっくわとーん。(あの人には居眠り虫／お金の虫／けんか虫／女好きの虫／男好きの虫がくっ付いている)。

**むし** くえー ばー 〈虫歯〉 【例】むしくえーばーぬ やでい ふしがらんくとう はーやーんかい いかんねーならん。(虫歯が痛くてがまんできないので歯医者に行かないといけない)。

**むじ** くじ 〈ものの道理〉 【例】しめーしっち むじくじん わからん。(学問をしてもものの道理も分からない)。あれー 「むじくじん わからん まちがーぬ ふいむん」 どー。(あの人は何を言い聞かせても分からない人／何を言っているのかも分からない人だよ)。  
【参】「文字故事んわからん松川ぬ碑文」とは松川にあった碑文が長い年月で風化し、字が読めなくなったことに由来する。

**むじゃらくわじゃら すん** 〈うじゃうじゃする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】くーさる みじたまいをうてい くーがからしでいたる あみなーぬ むじゃらくわじゃら(＝ぐわさぐわさー) さーに ぱったいぱったい そーたん。(小さな水溜りに卵からふ化したオタマジャクシがうじゃうじゃ跳ねていた)。

**むじゅむじゅー すん** 〈むずむずする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】くしながにぬ むじゅむじゅーさーに いふーなー やたこう、ていー いったれー きーむさー やたん。(背中がむずむずして変だったので、手を入れたら毛虫だった)。

**むすび** くーぶ 〈結び昆布〉 【例】むすびくーぼー にーびち、さきむい、しちぐわち、そーぐわち、とうしびーぬ うゆうえーぬ すーじぐとうんかえー かかさらん。(結び昆布は結婚式、結納、盆、正月、生年のお祝いの祝事には欠かせない)。

**むたぶん** 〈遊びをする〉【活】むただん、むたばん、むたでい 【例】なちえー わらびんちやーや みじ むたペーっし うっさ すん。(夏は子どもたちは水遊びをして喜ぶ)。

～むたーん 〈～遊び〉 【例】わらペー どのるむたーん、みじむたーん、しなむたーんぬ しち やん。(子どもは泥遊び、水遊び、砂遊びが好きだ)。

**むち** 〈餅〉 【例】じゅーぐやーに あかまーみー たっくわちえーる 「ふちやぎ」 んでいーる むち うさぎーん。(十五夜に小豆をくっ付けた「ふちやぎ」という餅を供える)。

**むちとう** かーさ 〈男女の親密な関係〉【例】いったー たいや むちとう かーさぬ ぐとうどう あさ やー。(あなた方2人は餅とそれを包む葉のように離れられない関係だね)。  
【参】たっくわいむっくわいっし (くっ付いて)。

**むち** 〈漆喰〉

**むち** ちちゃー 〈漆喰作りの職人〉 【例】ちかぐろー かーらぬ むちちちゃーん むちぬやーん いきらく などーん。(近頃は瓦の漆喰作りも漆喰塗りの職人も少なくなっている)。

**むちめー** 〈独特〉 【例】うちなーぬ なーしまじま なーむらむらんかえー むちめーぬ んかしゆじりぬ くとぅばぬ あん。(沖縄

の各地域や各村々には独特の伝統的なことばがある)。

## むぢゅくいん 〈(芽や蕾が) できかかる〉

【活】むぢゅくたん、むぢゅくらん、むぢゅくてい  
【例】うりじん ないねー いるかじぬ  
きーんかい むっくーん むぢゅくてい ちむ  
ふくふく しみらさりーん。(春になるといろいろな木につぼみが出始めて心ゆたかにさせられる)。

むぢゅく い 〈農作物〉 【例】なちぬ  
ちゅくいむぢゅくえー ゴーヤーとう なーべ  
ーらー やてい たーやていん ゆー かどー  
ん。(夏の農作物はゴーヤーとへちまで誰でもよく食べている)。むぢゅくいや とういりら  
んうちえー どうーぬ むのー あらん。(農  
作物は収穫しないうちは自分のものではない)。  
むぢゅくいや ていんぬ っうえーむん。(農  
作物の出来は天候に支配されているので、農作  
物は天のお持ちもの)。「参」っうえーむん(お  
持ちもの)、「っうえーんす」(お召しもの)のよ  
うに、「っうえー」は敬語をつくる接頭辞。

## むちゅん 〈持つ〉【活】むっちゃん、むたん、

むっち 【例】あみぬ ふいが すら わから  
んくとう かさ むっち いき よー。(雨が  
降るか分からないので、傘を持っていきなさい  
よ)。やー むちゃー／やー むち じょーじ  
／やー むち むん(家事をしっかりと切り盛り  
する者)。ぬちえー なげー むたんどー。(命  
は長くはもたない)。なちえー かみむのー  
なげー むたんどー。(夏は食べ物長くはも  
たない)。上記の例で代表されるように、「むち  
ゅん」は単に〈持つ、所有する〉だけではなく、  
〈内から支える、維持する、保存がきく〉を意  
味する。ういなごー ななばち かんとーん。  
(女性は7つの難儀を抱え込んでいる)という言  
い伝えがあるように、生まれながらに「なんじ

さー」(難儀をする者)として「7つの苦勞」  
(出産、育児、夫をささえる、嫁としてのつきあ  
い、など)を抱えていると考えられている。女  
性や妻の社会的役割をよく表わしている表現と

して、をうとう たてーうーさんういなごー  
ゆーちらん ねーん。(夫をたてることができ  
ない女性は何の役にもたたない)をうとうぬ  
あがいしん とうじぬ ゆい やさ。(夫が出  
世するの妻のおかげだ)。ちゃー ういきが  
ー うふっちゅ どー。(幼くてもいつも男性  
はおとなだよ)の例では男女間の社会的役割の  
差をよく反映している。ところで、わったー  
をうとー やーぬ くとー とうんけーていん  
んーだん そーういきが やさ。(私の夫は  
家のことは顧みない。亭主関白だよ)「そーう  
いきが」(真正の男性)が〈亭主関白〉を意味する  
ところに、「ういきが」(男性)に対する見方を  
反映されている。「じまま」(わがまま)や「ど  
うー がっていー さー」(自分勝手な者)と  
は異なる。なーだ をうとう むたに？(まだ  
結婚していないのか)は、〈まだ嫁に行かない  
のか〉という日本語的発想よりも、〈まだ所帯  
をもっていないのか〉を意味する。さらに、「っ  
く；わ むっちょーみ？」(子を内に宿している  
か)は「かさぎとーみ？」(妊娠しているか)と  
同意義なので、日本語の「子を持つ」は意味し  
ない。また、「をうとう むっちょーみ？」は言  
えるが、「\*とうじ むっちょーみ？」は言えな  
いので、「むっちょーみ？」における「むちゅん」  
には単に〈所有する〉だけの意味ではないこと  
が明らかである。もしそうであれば、夫を所有  
できても、妻は所有できないことになり、封建  
的な考えからするとむしろ逆だからである。そ  
れから、「むちゃー」が〈内から支える〉を意味  
することから、「やー むちゃー」における「や  
ー」は多くの場合〈家〉そのものではなく、〈家  
計、所帯、家庭(夫、子)〉を意味するようになる。  
その結果、「やー むちゃー」は〈家庭を内  
から支える者、やりくり上手、主婦〉を意味し、  
女性を指す。それで、「をうとう むっちょー  
み？」は〈夫を内助する、結婚している〉の意  
味なので女性を対象とするが、「\*とうじ むっ  
ちょーみ？」における〈男性が妻を内助する〉の  
ような意味は成立しない。当然ながら、「やー  
むちゃー」における「やー」が〈家〉そのもの

を表わす場合には、〈家の所有者〉を意味する。同様に、「つくわ むちー」(妊婦)、「をうとう むちー」(女性既婚者)はあるが、「\*とうじ むちー」(妻帯者)はない。そこから、「とうじえー かめーていー?」(妻は探したか)という表現が使われるようになったと思われる。日本語の「どの面下げて歩けるか」に対する沖縄語は「ちら むっちえー あっからん」になるが、日本語に直訳した「\*面を持っては歩けない」は成立しない。沖縄語の「ちら むっちえー」は〈顔を内から支えては〉、すなわち〈面子を保っては〉を意味することになる。

**むち くわいん** 〈引きずり込む〉【活】〜くわたん、〜くわーん、〜つくわてい 【例】しらびむん すんち むちくわーってい むぬ かむしん にんぢゆしん わしとーん。(調べものをするといって没頭して寝食を忘れている)。ありが をうとー うしゆがなしめー なてい、あれー むちくわーしみらさつとーん。(あの人の夫は王様のようにふるまうので、あの人は引きずりまわされている)。

**むち すく** 〈位牌の守り主〉【例】むちすこー たー やが?(位牌の守り手は誰なのか)。いったー とーとーめーや たーが むちゆが?(あなた方の位牌は誰が守るのか)。

**むち つくわ** 〈負担加重〉【例】どうーぬ めーぬ くとう やていん あがかん ばーん あくとう、っちゆぬ しわまでい かたみーねー むちつくわ なてい ふしがらん ないん。(自分自身のことでもうまくいかない場合もあるので、人の心配事まで背負い込むと負担加重になってたまらなくなる)。**【参】**くわー ないん(し過ぎる)、くわー すん(多過ぎる)。

**むち なし** 〈手入れ〉【例】んかしぬ で一あがやーぬ かじやいむんぬ むちなしえー ちゃーっし そーが やー? わたい かきたい しえー ならんくとう じこー ちー ちかてい で一じ あらんがやー?(骨董品の手入れはどうしているかね。割ったり、欠けたりしてはならないので、大変じゃないのかね)。

**むち にー** 〈手荷物〉【例】ひこーじょー をうてい あじきーる むちにーんかえー ぬがーらりーる まぎさ、っんぶさとう ぬがーららん まぎさ、っんぶさぬ あん。(空港で預ける手荷物には大きさと重さに制限がある)。

**むち のーすん** 〈持ち直す〉【活】〜のーちゃん、〜のーさん、〜のーち 【例】わんにん いふえー くとうばぬ くふあさてーさ。ちもー むちのーちとうらし どー やー。(私も少しことばがきつかったね。気持ちを持ち直してくださいね)。

**むち はんでいーん** 〈持ち崩す〉【活】〜はんでいたん、〜はんっでいらん、〜はんでいてい 【例】どうーぬ みあていん ぬーん みーらん なてい どうー むちはんでいとーん。(自分の目標も何もみえなくなって身を持ち崩している)。

**むち ばんめー** 〈弁当〉【例】しくち ふいちゆるまでい さんじゆーにんぬ っうえー だー ちゆけーんちょーん かかさんぐとう とうじぬ むちばんめー むたちくいーたん。(定年まで30年間一回たりとも欠かすことなく妻が弁当を持たしてくれた)。

**むち めー** 〈負担額〉【例】ちゆいなー ちゆいなーぬ むちめーや ちゃっさ なーやが?(個人負担はいかほどなのか)。

**むち んちゆん** 〈持ち込む〉【活】〜んちゃん、〜んかん、〜んち 【例】ふかをうてい こーてーる むのー くまぬ かみどうくるんかえー むちんちえー ならん。(外で買ったものはこの飲食店に持ち込んではいけない)。くまぬ ほんやーや どうーぬ かばん むちんちえー ならん。(この書籍店はカバンの持ち込み禁止だ)。

**むち っんぶさ** 〈気が重いこと〉【例】っちゆぬ ちむがかい ちちゃーに わーがどう むちっんぶさ そーる。(人の心配事を聞いて私の方が気が重くなっている)。

**むちりーん** 〈くっつき合う〉【活】むちりたん、むちりらん、むちりてい 【例】ちかぐるぬ

わかむのー っちゅぬ めーをうていん は  
じかさん さん、たっくわいむっくわいっし  
むちりとーしが、ちゃー うむいが? (近頃の  
若者は人前でも恥ずかしくもなく、いちゃいちゃ  
してくつつき合っているが、どう思うか)。

**むっくー** 〈形状が小さいもの〉 【例】くま  
ぬ マンゴーや むっくー やしが、まーさん  
どー。(ここのマンゴーは形は小さいが、おい  
しいよ)。

**むっちゃかいん** 〈くつつく〉【活】むっち  
ゃかたん、むっちゃからん、むっちゃかてい  
【例】くぬ かーさーむーちーや どうく やふ  
あらさぬ、ていーんかい むっちゃかてい か  
みん ならん。(このカーサー餅はあまりに柔  
らかくて、手にくつついて食べられない)。【参】  
むっちゃいくわったい すん (ねばねばする、  
べとべとする)。

**むっちよーふいっちよー すん** 〈も  
たもたする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】  
うれー こーらんらー、むっちよーふいっちよ  
ー さんぐとう けーちくーわ。(それは買わ  
ないなら、もたもたしないで返しておいで)。

**むてい** 〈方角〉 【例】いったー やーや み  
つごしから まーむてい なとーが? にしむ  
てい やいびーん。(あなたの家は三越からだ  
の方角になっているの。北の方角です)。

**むでいーん** 〈ひねる〉【活】むでいたん、む  
でいらん、むでいてい 【例】ふいぢやいぬ な  
らんねー すいどーぬ くち にぢりんかい  
むでいてい まーに。(左がだめなら水道の栓  
を右にひねってごらん)。うやぬ いーし ち  
かんねー むでいてい ちんちきらりーたんで  
い。(親の言うのを聞かないとひねって強くつ  
ねられたって)。あれー よー がーぢゅー  
なてい ありが ちむ むでいれーからー し  
ぐねー のーらん どー。(あれは頑固で、あれ  
がひねくれてからはすぐには直らないよ)。む

でいヤー (ひねくれ者)。あれー ふいんむで  
い とーん。(あの人はひねくれている)。

**むでい けーらすん／むでい とーす  
ん** 〈ひねり倒す〉【活】むでいけーらちゃん／む  
でいとーちゃん、むでいけーらさん／むでいと  
ーさん、むでいけーらち／むでいとーち 【例】  
むでいけーらする わじゃー じゅーどーする  
っちゅぬちゃーぬ ゆー ちかいん。(ひね  
り倒す技は柔道する人たちはよく使う)。

**むていわかすん** 〈特別待遇する〉【活】む  
ていわかちゃん、むていわかさん、むていわか  
ち 【例】うやぬ じんむちゃー やくとうん  
でいち うったーんかい むていわかする く  
とー さん どー。(親が金持ちだからといっ  
てその子たちに特別待遇することはしないよ)。

**むてーいん** 〈盛んになる〉【活】むてーたん、  
むてーらん、むてーてい 【例】っちゅぬ あち  
まいねー むらー むてーいん。(人が集まる  
と村は栄える)。

**むてーい さけーい すん** 〈栄える〉  
【活】～さん、～さん、～っし 【例】しまぐわー  
んかい はしぬ かきらっていからー っんぢ  
ゃいちゃい する っちゅぬ うほーく なて  
い、しまー むてーいさけーい そーん。(島に  
橋が架けられてからは行ったり来たりする人が  
多くなって、島は栄えている)。

**むとう** 〈もとで、元金、元〉 【例】やしうい  
すな よー、むとう かんぢゅん どー。(安  
売りしないでよ、損失をこうむるよ)。あちねー  
さーや むとう とういけーすんでいち あさ  
ん ふいるん ゆるん むぬ かむる まどう  
ん ねーらん あたい ちゃー はまい そー  
たん。(商人はもとでを取り返すといって朝も  
昼も夜も食事する間もないほどずうっと一生懸  
命だった)。

**～むとう** 〈(生えている竹の)～本〉 【例】ち  
ゅむとう (1本)、たむとう (2本)、みむとう  
(3本)、ゆむとう (4本)、いちむとう (5本)、

むむとう（6本）、ななむとう（7本）、やむとう（8本）、くくぬむとう（9本）、とうーむとう（10本）。

**むどういん** 〈戻る〉【活】むどうたん、むどうらん、むどうてい 【例】あまぬ とうじえー みーとうんだわかり さーに うやぬやーん かい むどうとーん。（あそこの奥さんは離婚して実家に戻っている）。ブーメランや かーまんかい なぎていん どうーぬ めーんかい むどうていちゅーしぬ ふいるまさん。（ブーメランは遠くに投げても自分の前に戻ってくるのが不思議だ）。

**むどうすん** 〈戻す〉【活】むどうちゃん、むどうさん、むどうち 【例】んなっし ちかいる どーごー ちかれーからー むとうに むどうさんねー ならん。（皆で使う道具は使ったら元に戻さないといけない）。

**むどうちゅん** 〈さからう〉【活】むどうちゃん、むどうかん、むどうち 【例】うやとう いさんかえー むどうちん むどうからん。（親と医者には逆らえない）。

**むとうーいん** 〈長続きする〉【活】むとうーたん、むとうーらん、むとうーてい 【例】あぬ ういきがとー むとうーとーみ？（あの男とは長続きしているか）。

**むとうーすん** 〈長続きさせる〉【活】むとうーちゃん、むとうーさん、むとうーち 【例】わかさいにから あぬ ふるぐるま むとうーちぬてい あっちょーん。（若いときからあの古い車をずっと乗りまわしている）。

**むとう びれー（ぐわー）** 〈元恋人〉【例】50にんめーぬ むとうびれー やたる っちゅとう いちやたしが、んかし うびんぢやち ちむぬ かーぬ わかげーんねーすたさ。（50年前の元恋人だった人と出逢ったが、昔を思い出して心の髪が若返るようだった）。

**むどうるちゅん** 〈視力が衰える、ためらう〉【活】むどうるちゃん、むどうるかん、むどうるち 【例】みーぬ むどうるち、はいぬ みーんかい いーちゅーぬ とうーさらん。（視力が衰えて針の穴に糸が通せない）。

**むぬ** 〈もの、ことば〉【例】むのー うさが みそーちー？（食事は召し上がりましたか）。むぬ うさがいが めんそーちー？（食事をお召し上がりにいらっしゃいましたか）。むぬ くいーしどう わー うすー。（与えてくれる人こそが我が主人）。むのー かどーていどう いくさー ないる。（腹が減っては戦はできない）。かんげーてい むのー いり よー。（考えてものは言いなさいよ）。いーつくわいーぶ すくぬ ねーんぐとう むぬ いーよー っんぢやし どー やー。（言い過ぎや言い不足がないようにものの言い方をしなさいよ）。っやーが むぬ いーしえー、むぬ いー たなりぬ ねーらん、えーていん とうーらんさ。（おまえのものの言い方はことばが足りなくて相手にも通じないよ）。むぬ ゆむしどう しぐとう。（おしゃべりが仕事）。むぬいーぢゅーさん。（ものの言い方がきつい）。むぬかちやー（物書き、作家）、いちんさー（批評家）。

**むにー** 〈ものの言い〉「むぬ いー」から3連続母音の回避により「むにー」が派生される。【参】ゆくし むにー。

**むぬ いー ぐいー** 〈話し声〉【例】まーからが やら わからんしが、 むぬいーぐいーぬ ちかりーん。（何処からかはわからないが、話し声が聞こえる）。

**むぬ いー じょーじ** 〈話上手〉【例】むぬいーじょーじぬ っちゅぬ めーんかえー っちゅぬ ゆてい ちゅーん。（話し上手な人の前には人が寄ってくる）。

**むぬ いー たなり** 〈ものの言い方〉【例】あれー むぬいーたなりぬ ねーん っちゅなてい、っちゅおーえーぬ うふさん。（あの人はことば遣いがなっていない人なので、人とのけんかが多い）。

**むぬ いー はじみ** 〈ことばを話始めること〉 【例】むぬいーはじめー ういなぐわらびが ふえーさん。(ことばを話し始めるのは女の子が早い)。

**むぬ いりみ／っんぢり めー** 〈収入／支出〉 【例】むぬいりみとう っんぢりめーぬ あーらん なてい じゃーふえー やっさー。くばめー さんとー ならん。(収入と支出が合わなくなってやっかいなことだ。倹約しないといけない)。

**むぬ うじ** 〈もの怖じ〉 【例】あれー まーんぢん たーとうん むぬうじ する っちょー あらん どー。(あの人は何処でも誰とも物怖じする人ではないよ)。

**むぬ うび** 〈記憶力〉 【例】ちかぐろー むぬうび(＝うびでー)ぬ ねーん などーん。(近頃は記憶力がなくなっている)。

**むぬ うみー** 〈思いつめること〉 【例】あれー とうるばいかーばい そーしが、ちむまゆいぬ あてい むぬうみーどう そーが やー？(あの人は心がうつろだけど、心の迷いがあるって思いつめているのかねえ)。

**むぬ くくん あびー** 〈ふくみ声〉 【例】むぬくくんあびーや さんぐとう くちえー あきてい あびれー。(ふくみ声はしないで口を開けて話さない)。【参】「くくん」は、「くくむん」(口にふくむ)の名詞形「くくみ」の変異形。

**むぬ じち** 〈もの好き〉 【例】うさきなーぬ びん まーから あちみたが？ っやーや あんし むぬじち やてーる！(そんなにたくさんさんの瓶をどこから集めたのか。あなたはなんと物好きなことか)。

**むぬ まいー** 〈神隠し〉 【例】むぬまいー さってい まやーさっとーる っちょー、まーが あっちょーら？ ぬーが そーら？ むさっとう わからんでい。(神隠しにあって惑わされている人はいったい何処を歩いているのか、いったい何をしているか、まったくわからないって)。

**むぬ ゆまー** 〈おしゃべり〉 【例】っやー

や はていぬ むぬゆまー なてい くちから どう っんまりとーる。(あなたはたいへんなおしゃべりだからきっと口から生まれているんだね)。

**むぬ わしー** 〈もの忘れ〉 【例】あれー むぬわしーする くしぬ あてい ぬーんくいーん していてい あっちょーん。(あの人はもの忘れがあっていつも何もかも捨てている)。

**むぬ われー** 〈もの笑い〉 【例】っちゅん かえー むぬわれー さらーんぐとう しーよー。(人には笑われないようにしなさいよ)。

**むん ぬき むん** 〈魔除け〉 【例】シーサーん いしがんとーん あじけーん げーぬん さぬん まーすん うちなーをうてー むんぬきむん やん。(シーサーも石巖當もしゃこ貝もゲーンもサンも塩も沖縄では魔除けだ)。

**むぬ** 〈道理〉 【例】あれー むのー うまーん、はていまく やん どー。(あの人は道理をわきまえない、乱暴者だよ)。

**むぬ あかしえー** 〈謎解き〉 【例】むぬあかしえー やしが、はるぬ あかぢらーや ぬーやが？ っやーや わかいみ？ うれーちでーくに やさ。(謎解きだが、畑の赤顔は何か。お前わかるか。それはニンジンだよ)。

**むぬ かんげー** 〈筋道をたてて考えること〉

【例】っやーや いふえー むぬかんげー しーねー うふっちゅ ないさ。(あなたは少し筋道をたてて考えることをしたら大人になるよ)。

**むん ならーし** 〈しつけること〉 【活】むんなれー 〈しつけを受けること〉 【例】わらび そーいにから ゆー むんならーし そーかんねー あとうから じゃーふえー ないん。(子どものときからよくしつけをしておかないと後から手に負えなくなる)。むんなれー ないっさ。(しつけになるね)。

**むぬ** 〈食べ物〉 【例】なげー くちにーさたしが、ちかぐるから むぬ かむるぐとう などーん。(長いこと食欲はなかったが、近頃からものを食べるようになっていく)。【参】「くち

にーさん」の反意語は「くちまーさん」(食欲が出て何でもおいしい)。

**むぬ くーい**〈物乞い〉【活】むぬ くーやー〈乞食〉【例】んかしえー むぬくーい する っちゅぬ うふさたん。(昔は乞食が多かった)。

**むぬ ぐし**〈食べ物の好き嫌い〉【例】あれー くち ぐえーとーくとう むぬぐしぬ うふさしが、ありが まーさむのー ぬーが やら やー？(あの人は口が肥えているので好き嫌が多いが、あの人のおいしいものはいったい何なのかなあ)。むぬぐしぬ うふさくとう、ありんかい ぬーん かましぶしこー ぬーん。(好き嫌が多いので、あの人には何も食べさせたくない)。むぬぐしぬ ちゅーさい ねー、っちゅんかい しかん さりーん どー。(好き嫌いががはげしいと、人に嫌われるよ)。  
【参】むんぢれー(治療のための食事制限)。

**むぬ ぐし すん**〈食べ物の好き嫌いをする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】っやーや ありん かまん、くりん かまんち、むぬ ぐし すさ やー。(あなたはあれも食べないこれも食べないといって、好き嫌いをするんだね)。むぬぐし さー(好き嫌いののはげしい人)。

**むぬ ふさ すん**〈もの欲しそうにする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】っういーりき どうくるをうてい むぬ かどーる ばすに まやーぬ むぬふさっし みーちきとーたん。(行楽地で食事しているときに猫が物欲しそうにして見つめていた)。

**むぬ じぶん**〈食事時間〉【活】むぬ いみー〈ご飯を催促すること〉【例】むぬじぶんに っちゅぬ やーんかい いちゅしえー むぬ いみー そーしとう あぬ むん。(食事時間に人の家に行くのはご飯を催促しているのと同じだ)。

**むぬ すがい**〈食事の支度〉【例】むぬすがい さんねーならんくとう さち ないん どー。(食事の支度をしないといけないので先になるね)。

**むんぬ ごーぐち**〈食べ物の不平不満〉

【例】むんぬ ごーぐち さんぐとう、ぬーやて いん かむる っちゅぬどう ながぬちえー ーんぢゆる。(食べ物の不平不満を言わないで、何でも食べる人が長寿になる)。

**むんぬ ゆく**〈食欲〉【例】なちえー あちさまきっし むちゆく、いるゆく、むんぬゆく くん ねーん ないん。(夏は暑さ負けして物欲、色欲、食欲もなくなる)。むんぬ ゆこー はんさらんしが、むちゆく いるゆこー ちやーがな ないん むん。(食欲は外せないが、物欲、色欲はどうにかなるもの)。

**むむ**〈腿〉【例】わかさる じぶのー むむ まっくわん、うでいまっくわん、わたまっくわん っしくいーたしが、なまー びちぬ じゃーんかいどう にんとーる。(若い時は腿枕も、腕枕も、腹枕もしてくれたが、今は別室で寝ている)。

**むむとう**〈百年、百歳〉【例】っやーとう わんとー むむとう いちいちまでいん やー。(あなたと私は百年もいつまでもよろしくね)。【参】ちゅとう／たとう ないねー(1年／2年すれば)。

**むむん**〈もめる〉【活】むだん、むまん、むでい 【例】とうないとう ぢーばーけーっし むどーん。(隣との土地の争いをしてもめている)。

**むるさー げーやー すん**〈ごろごろする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】やまみちえー いしぬ むるさーげーやーっし あっちぐりさたくとう をうたたん。(山道は石がごろごろして歩き難かったので疲れた)。  
【参】いしがっからーみち(石ころ道)。

**むるし げーいん**〈かたまりができる〉【活】～げーたん、～げーらん、～げーてい 【例】むぢなくー やなあーし しーねー、むるしげーいん どー。(小麦粉をきれいに混ぜないと、かたまりができるよ)。【参】「むるさー ないん」とも言う。

**むる のーい** 〈全快〉 【例】 どうー あん  
まさぬ むるのーいっし なー ちゃーん ね  
ーん。(体の不調が全快してもうどうもない)。

**むん** 〈もの、道理、食べ物〉 【例】 「むぬ」の縮  
約形。かみむん(食べ物)、かちむん(書き物)、  
あてい なし むん(思慮のない者)、むん か  
まー(食欲旺盛な者)、っちゅ くえー／うし  
えー むにー(人をバカにした言葉遣い)。む  
ん かみーが いか？(食事をしに行こうか)。  
うれー っやー むんどう やみ？(これはあ  
なたのですか)。ある むん ねーむん むる  
かめー／むっち いけー。(何でも食べなさ  
い／持って行きなさい)。

**むん がたい じち** 〈話好き〉 【例】 わ  
らびん うとうすいん むんがたいじち やく  
とう、する っちゅん ゐぬ ちむ なてい  
っういーりきく ないん。(子どももお年寄り  
も話好きなので、する人も同じ気持ちになって  
楽しくなる)。

**むん がりー** 〈飼料〉 【例】 っわーぬ  
くえーむのー 「むんがりー」んでい いーん。  
(豚の飼料は「むんがりー」と言う)。

**むん ぐん** 〈文言〉 【例】 むんぐん かち  
ゅん／ちゅくいん。(文章を書く／作る)。

**むん ざーい** 〈蕁麻疹〉 【例】 あったに

ういーごー かし、あかでいちょーしが、む  
んざーいどう さがやー？(急にかゆみが出て、  
赤くなって来ているが、蕁麻疹にでもなったの  
かな)。

**むん だに** 〈餌食〉 【例】 むんだにんかい  
だまさってい、いよー くわいる ちむえー  
やしが、くわーりーん。(餌食にだまされて、  
魚は喰うつもりだが、逆に喰われる)。

**むん** 〈よ(終助詞)〉 【例】 えーじ しーねー  
いちゅたる むん ぬ。(声をかけたら行っ  
たのに)。わんねー いちゅる むん。(私は行  
くよ)。わんねー いかん むん。(私は行かな  
いよ)。

**むんちゅー じゅりー** 〈一門の集まり〉  
【例】 うちなーぐゆみぬ ぐんぐわち うまち  
ーねー むんちゅーじゅりー すん。(陰暦の  
5月祭りには一門の集会をする)。

**むんちゅー ばか** 〈門中墓〉 【例】 うし  
ーみーねー むんちゅーばかんかい うさんみ  
うじゅー むてい いちゅん。(清明祭には門  
中墓に御三味ごちそうの重箱を持って行く)。

**むんどー** 〈問題、けんか〉 【例】 ありが  
またん むんどーふいんどー うくちえーん  
どー。(あの人がまたも問題を起こしたよ)。





## め

めー 〈前〉 【例】 いったー やーぬ めーん  
かえー ぬーぬ あが？(あなたの家の前には  
何があるの)。めー しえーきてい すば か  
むんな。(目の前のことをさっさと片付けて、周  
りのことは構うな)。【参】 かむゆん、かむたん、  
かむらん(構う、構った、構わない)。

めー あが いん 〈増長する〉 【参】 めー  
あがい すん。

めー あがい すん 〈増長する〉 【活】 ~さ  
ん、~さん、~っし 【例】 あり ふみーねー め  
ーあがい すん どー。(あれをほめると増長  
するよ)。あれー なま くさみちよーくとう、  
ぬーん いらんしえ まし どー。ゆくん め  
ーあがい すん どー。(あの人は今怒ってい  
るので、何も言わない方がいいよ。さらに怒ら  
せるよ)。あれー じんぶぬん あてい ぬー  
んくいーん ないや すしが、ちゃー めーあ  
がい すくとう しからん。(あの人は知恵も  
あって何でもできはするが、いつも自惚れるの  
で好きになれない)。

めー がい すん 〈前借りする〉 【活】 ~さ  
ん、~さん、~っし 【例】 んかしえー はたら  
ちよーる とうくるから めーがい さがな  
ーやー たしきとーたんでい。(昔は働いてい  
るところから前借りしながら家を助けていたっ  
て)。

めー かに よーじょー 〈予防〉 【例】  
はなしちん あん やしが、やんめーや まる  
ふいーじーぬ めーかによーじょーぬどう て  
ーしち やる。(風邪もそうだが、病気は日頃の  
予防が大切だ)。

めー ごーい 〈前もって買うこと〉 【例】  
しばいぬ きっぷ／ふだ めーごーい しーね  
ー やしく ないん。(芝居の入場券を前もっ  
て買うと安くなる)。

めー しらし 〈前兆〉 【例】 でいーぐぬ  
はなぬ さちかんぢーねー うふかじぬ ちゅ  
ーんでいーる めーしらし やんでい。(デイ  
ゴの花が咲き乱れると台風が来るという前兆だ  
って)。

めー ちんたー すん 〈前につんのめるこ  
と〉 【例】 つくわ だちよーる とうちねー  
めーや ゆー んーち あっかんねー きっ  
ちゃき さーに めーちんたーっし わらび  
どうー やましみーん どー。(子どもを抱い  
ているときには前をよく見て歩かないとつまず  
いて前につんのめって子どもの体をケガさせて  
しまうよ)。

めー ない ない すん 〈でしゃばる〉 【活】 ~  
さん、~さん、~っし 【例】 めーないない すし  
えー あらんでい いーちきらっとーたしが、  
なまー うぬよーな しちきん さん などー  
ん。(でしゃばるものではないと戒められてい  
たが、今はそのようなしつけもしなくなってい  
る)。

めー ばー 〈前歯〉 【例】 どうく まーさ  
ぬ、めーばーん うすいかんていー そーっさ。  
(あまりにもおいしくて、前歯も抑えきれないで  
いるよ)。

めー ばれー 〈前払い〉 【例】 ていまー  
めーばれー する しくちばー なまー ねー  
らん。(給料を前払いする職場は今はない)。

**めー** 〈飯米〉 【例】めーぬ まーさる まか  
ねーやーんかえー うちゃこー まんどーんで  
い。(飯米がおいしい食堂には客が多いって)。

**めー** 〈毎〉 【例】めーあさ ふえーうきっし  
なーぬ ほーちかち そーん。(毎朝早起き  
して庭をほうきで掃いている)。

**めー** 〈枚(着物、紙、お札を数える単位)〉  
【例】っやーや ちのー なんめー むっちょー  
が?(あなたは着物を何枚持っているか)。

～**めー** 〈お金〉 【例】ちゅいなー ちゅい  
なーぬ むちめーや ちゃっさ なー やが?  
(各自の負担分/持ち前はいくらほどか)。はら  
い めー(支払い)、っんぢり めー(支出)、  
いり めー(収入)。

～**めー** 〈尊敬辞〉 【例】んかしえー をーん  
かえー うしゅがなしめーんでい いちよー  
たん。(昔は王様は御主加那志前と言っていた)。

**めーいん** 〈燃える〉【活】めーたん、めーら  
ん、めーてい 【例】かーらちよーる ゆだー  
ゆー めーいくとう、うぬまま かーらかちよ  
ーけー。なんくる かーらちゅさ。(乾燥して  
いる枝はよく燃えるので、そのまま乾かしてお  
け。自然に乾燥するよ)。

**めーすん** 〈燃やす〉【活】めーちゃん、めーさ  
ん、めーち 【例】どうーなーっし きーぬ ゆ

だ あちみていちゃーに めーち、むぬ にち  
かむしえー わらびんちゃーや っういーり  
きさ すん。(自分たちで木の枝を集めて燃や  
して、ものを煮て食べるのに子どもたちは楽し  
む)。

**めーさー** 〈燃料〉 【例】めーさーや たむ  
ん、たんから しちたんゆー なてい、なまー  
でんき、ガス などーん。(燃料は薪、木炭か  
ら石油になって、現在は電気、ガスになっている  
)。

**めーさー** 〈おべっかを使う者〉 【例】うい  
きがとうびけー あしぶる ういなごー 「う  
いきがめーさー」んでい いやーに みーぬち  
はなぬち さっとーたん。(男の子とばかり遊  
ぶ女の子は男におべっかを使う女と言って意地  
悪されていた)。

**めーういきが** 〈紳士、殿がた〉 【例】めー  
ういきが めーういなぐんでい みーなさりー  
しえー ちちよーる ちんからん わかいん。  
(紳士淑女は着ている服装からもわかる)。

**めーし／うめーし** 〈箸〉 【例】ていーん  
とうどうかんくとう、うめーしだていー っ  
んまんかい なしえー／ゆしれー。(手が届か  
ないので、箸立てをそこに寄せてくれ)。

# も

**もー** 〈野〉 【例】 わったー はろー うっち  
やんぎとーくとう なまー もー などーん。  
(私の家の畑は放ったらかしてあるので、今は荒  
れ果てている)。くさぬ みーとーる とうく  
まんかえー もーんでい いーん。(草が生え  
ているところは野原と言う)。

**もー いちゅび** 〈野いちご〉 【例】 もーい  
ちゅびぬ みーとーる とうくまんかえー は  
ぶぬ まち をうてい うかーさくとう、とう  
いが いくな よー。(野いちごの生えている  
ところにはハブがとぐろを巻いていて危険なの  
で、行くなよ)。

**～もー** 〈無し〉 【例】 ていーもー (手がない  
こと)、ふいさもー (足がないこと)。【参】 てい  
ーむっこー (手を失った者)、ふいさむっこー  
(足を失った者)、むっくー (つぼみ、小さい実)、  
ない (大きい実)。

**もーいん** 〈(即興的に) 踊る〉 【活】 もーたん、  
もーらん、もーてい 【例】 たかぬ もーれー  
がらさーん もーいん、(鷹が踊るとカラスも  
踊る、人の真似をする人に言う)。うぬ しらし  
ちちゃーに どうく うっさぬ あったもー  
い さん。(その知らせを聞いて嬉しくて即興  
的に踊った)。【参】 正式に踊ることは「をうど  
ういん」と言う。

**もーいん** 〈行く、来る (敬語)〉 【活】 もーち  
ゃん、もーらん、もーち 【例】 へい、にーしえ  
ーたー なまどう もーちゃん なー? (青年  
諸君、今来たのか)。

**もーきーん** 〈もうける〉 【活】 もーきたん、も  
ーきらん、もーきてい 【例】 じん もーきてい  
やー ちゅくたん。(お金をもうけて家を造  
った)。もーきーしやか あがねーり。(もうけ  
るのよりも節約しなさい)。もーきはんしえー  
かみはんすん。(もうけそこなうと食べそこ  
なう)。っやーが ちゅくてーる むん かま  
ーに、ぬち もーきーんねー すき。(あなたが  
作ったものを食べて、命を救われたような気が  
するよ)。つくわ もーきーん。(子を授かる)。  
あれー なーだ しゅちえー かつみてーをう  
らんくとう、うぬ とうし なていん もーき  
てー かみかみ そーん。(あの人はまだ定職  
に就いていないので、この歳になってもその日  
暮らしをしている)。

**もーき じゅく** 〈アルバイト、儲け一本槍〉  
【例】 じんぬ いりゆー などーくとう、まー  
がな もーきじゅこー ねーらんがやー? (お  
金が必要になっているので、どこかアルバイト  
はないかねえ)。

**もーしゃぎ** 〈告げ口〉 【例】 もーしゃぎ  
すくとう ありんかえー ぬーん ちかさんし  
えー まし どー。(告げ口するので、あの人に  
は何も聞かさないほうがいいよ)。【参】 「こー  
じん」とも言う。

**もーどー** 〈心が乱れるさま〉 【例】 あった  
に くるま あーさってい ちむん もーどー  
などーたん。(急に車をぶつけられて気が動  
転していた)。



# や

やー 〈家、屋〉 【例】あしじゃやー（下駄屋）、かんじゃーやー（鍛冶屋）、くすいやー（薬局）、はーやー（歯科医院）、いさぬやー（医院）、くるまやー（自動車販売店）、だんぱちやー（床屋）、ゆーふるやー（風呂屋）、やしえーやー（八百屋）、はなやー（花屋）、いゆやー（魚屋）、とーふやー（豆腐屋）、ないむんやー（青果店）、ししやー（肉屋）、むちやー（漆喰屋）、ちんやー（洋服店）、じゅんさぬやー（派出所）、っんむやー（芋屋）、やーちゅーやー（お灸診療処）、ぶーぶーやー（血を清める処）。だんぱちやーんかい からじ ちみーが いちゅん。（散髪屋に髪を切りに行く）。パーマやーんかい パーマ しーが いちゅん。（美容室にパーマをしに行く）。みしんやーんかい のーしーが いちゅん。（洋裁店に直しに行く）。あまぬ ししやーや ちりー やくとう、あまんぢ こーていくーわ。（あそこの肉屋は清潔だから、あそこで買って来なさい）。ぐけーやー やていん、たかやーんでー いらん、あんし まぎやーふちえーるんでい いーん。（5階建てでも、高い家とは言わない、あんなに大きな家を建てたのと言う）。屋敷の位置や形状を基にして、はんたやー（端っこの家）、まーちぬしちや（松の下の屋敷）、あじまーやー（十字路の家）、はまばたやー（浜端の家）、とうんぐむい（鳥隠りの家敷）など。。

やー いちやー 〈内弁慶〉 【例】ふかんじえー むぬん いらん、くーく なとーしが、やーをうてー うふぬしぬ ぐとうどう あんどー。うんな やーいちやーや むちかさん。

（外ではものも言わなくて、小さくなっているが、家ではご主人様のようだ。こんな内弁慶は扱い難い）。

やー うーちー 〈引っ越し〉 【例】やくど うしぬ ばすねー、うんちぬ よーさんでい いらっとーくとう、やーうーちーん やーぢゅくいん すしえー あらん。（厄年のときには、運気が弱くなると言われているので、引っ越しも新築もするものではない）。ふしぬ やーうーちーや またとー んーだらんくとう んーちやる とうちねー まぎ ふーび めーたんねー すん。（流れ星の二度見はないので、見たときには大きな褒美をもらったような気分だ）。

やー うち 〈内々の〉 【例】やーうちぬ はなしどう やくとう っちゅんかえー いちえー ならん どー。（内々の話なので人には言っではいけないよ）。

やー ぐなー 〈家族〉 【例】やーんかい なま まじゅん しまとーる っちゅ（現在一緒に家に住んでいる人たち）をさすが、やーに んじゅ（家族全員、たび いっちょーる っちゅん ふくまりーん）とは少し違う。。

やー ぐま やー 〈家にこもって出歩かない者〉 【活】やー ぐまい 〈家にこもること〉

【例】んかしぬ わらびんちやーや やーんかい けーいねー ふかをうていどう あしぶたしが、なまぬ わらびんちやーや やーぐまやー ない ゲームびけーん そーん。（昔の子どもたちは家に帰ると外で遊んだものだが、今の子どもたちは家の中にこもってゲームばかりしている）。

やー じしー 〈家に慣れないさま〉 【例】  
たびんちえー やーじしーっし にんぢゆる  
みー なていん むる にんだらん。(旅では  
宿に慣れなくて寝る時間になってもまったく眠  
れない)。

やー たちゃー／やー わかやー 〈分家  
した者〉 【例】じなん、さんなのー やーた  
ちゃー／やーわかやー、ちゃくしえー やー  
んーぢャー。(次男、三男は分家し、長男は家を  
みる者)。

やー どうい 〈都落ちをした土族の集落〉  
【例】くりかーや やーどうい なやーに たん  
かーまんかーや っうえーかぬちゃーぬ まん  
どーん。(この辺りは都落ちをした者が集まっ  
ていて隣近所は親戚が多い)。

やー なれー 〈家でのしつけ〉 【例】やー  
なれーどう ふか なれーんでい いらっどー  
くとう、うやー っくわんかい ゆー むぬ  
ならーし さねー ならん。ならーする うっ  
ぴどう っくわん ない。(家でのしつけは  
外でも自然に出るものだと言われているので、  
親は子どもによく物事を教えておかないといけ  
ない。教える分だけしか子どもはできないのだ  
から)。

やーぬ ぬーし 〈家主〉 【例】まぎくーば  
ー、やーどうーぬ っんぢていちーねー、うっ  
たーや やーぬ ぬーし やさんでい うとう  
すいぬ てーふあ すん。(大クモ、ヤモリが出  
てくると、そいつらは家主だといってお年寄り  
が冗談を言う)。

やーぬ ばーん 〈留守番〉 【例】しらんち  
ゆぬ ちーねー、あびてい っういーほーてい  
じょーぬ うちんかい いりらんくとう、や  
ーぬばーん しみてー いのー まし やん。  
(知らない人が来たら、吠えて追い払って門の内  
に入れないので、留守番させるのは犬がいい)。

やー むちゃー 〈しっかり家計を支えている  
女性〉 【例】＝やー むち ういなぐ＝や  
ー むち むん。

やー ン なー 〈屋号〉 【例】いったー  
やーんなーや ぬー やが？(あなたの家の屋

号は何か)。うむっさる やーんなーんかえー、  
ういっちゃー まてーし、いちゃじち うふぐ  
しく、っわーさーやー しまぶく、うさー ふ  
いぢゃ、むちぬやー あらかち、んでーぬ あ  
ん。(おもしろい屋号には、酔っぱらいの又吉、  
イカ好きの大城、養豚業の島袋、牛飼いの比嘉、  
漆喰塗りの新垣、などがある)。

やーさ 〈ひもじいこと〉 【例】やーさ まー  
さん。(空腹時は何でもおいしい)。

やーさ がみー 〈がつがつ食うこと〉 【例】  
むぬ かむる ばすねー、よーんなー かむし  
どー。やーさ がみーや ぬすどうんかい  
っわーっどーんねーっし ふーじえー ねーら  
ん。(食事をするときには、ゆっくり食べるんだ  
よ。がつがつ食うのはいかにも盗人に追われて  
いるようでみっともない)。

やーさ じに 〈飢え死に〉 【例】ゆぬなか  
ー ゆちくなてー をうしが、なまちきてい  
やーさじに する っちゆぬちゃーぬ あんで  
いーる あたい をうん。(世の中は豊かにな  
っているが、今でも飢え死にする人たちが溢れ  
るぐらい居る)。

やーさ のーし 〈空腹の一時しのぎ〉 【例】  
うちやとう かってい ちゃわきん かでい  
やーさ のーし そーかな。(お茶と一緒に茶  
請けでも食べて一時しのぎしておこうかねえ)。

やーどうー、やーるー 〈ヤモリ〉 【例】  
うちなーぬ やーぬ くびんかえー やーどう  
ーぬ をうてい、ふいんぎーる ばすねー ど  
うーくる じゅー ちっち えーていぬ みー  
うすい すん。(沖縄の家の壁にはヤモリが  
いて、逃げるときには自分で尾を切って相手の目  
をくらます)。

やいん 〈破る〉【活】やたん、やらん、やてい  
【例】うれー ふかからちやー やくとう、ふえ  
ーくなー ちのー けーらんねー ぬーがなん  
かい ふいっかきーねー ちん やいん／やん  
ぢゅん どー。(それは外出着だから、早く着替  
えないと何かに引っ掛けたら着物が破れる／着

物を破ってしまうよ)。【参】やんぢゅん、やーからちやー。

**やい ほーいん** 〈ずたずたに破る〉【活】～ほーたん、～ほーらん、～ほーてい 【例】とうしぬゆーるめー ないねー、うふほーちかちすしが、あかい はいけーする めーに やいほーいん。(大晦日前になると、大掃除するが、障子を張り替える前にずたずたに破る)。

**やきーん** 〈焼ける〉【活】やきたん、やきらん、やきてい 【例】っやーや ふいっちー ていーだぬ めーから あっちょーら やー。ちらー やきてい あかー などーん。(あなたはいつも陽の下で働いているのだね。顔も焼けて赤くなっている)。

**やか** 〈より〉【例】あり やか くれー まし。(あれよりこれはいい)。あり やか くり どう まし やる。(あれよりこの方がずっといい)。

**やから／やからむん** 〈しっかり者、頼りがいがある者〉【例】っやーや やから やさ。(あなたはとてもしっかり者だね)。うみから いゆ とういねー たんかーまんかーんかい はぢくいたい むらぬ くとんかい いち やていん ちからかしー するぐとう やからむん やてい、「いちまん うみやからー」んでい ゆばっとーたる ういきがぬ をうたん。(海から魚を採ったら隣り近所に配ってくれたり、村のことにいつでも協力するようなしっかり者で、「糸満海やからー」と呼ばれていた男がいた)。

**やく** 〈厄〉【例】やーぬうちんかい とうび どういぬ ふえーりんちーねー、うちなーをうてー やくぬ いっちゃんていいち やくばれー するために、かみむん むっち はまをうてい やーにんじゅさーに かだい、うすみじんかい ていーふいさ ちかてい やくばれー すんでいる なれーぬ あたん。(家の中に飛ぶ鳥が入り込んだら、沖縄では厄が入ったと

いって厄払いするために、食べ物を持って浜で家族で食べて、潮水に手足を浸かって厄払いする習慣があった)。

**やく** 〈役〉【例】くち ぱくぱくーや／くち がるーや ぬーんでいーる とうちねー ぬーぬ やくん たたん。(口軽者はいざというときには何の役にも立たない)。

**やぐさみむん** 〈未亡人〉【例】やぐさみむん なてい なまー どうーぬ しーぶさたる くとうっし いちゆなさ そーん。(独りになって今は自分がしたかったことで忙しくしている)。

**やぐみさ** 〈恐れ多いこと〉【例】やぐみさん しらん いちん うんぬきーし ぐぶりー などーいびーん。(恐れを知らない意見を申し上げて申し訳ありません)。

**やゑーさに？** 〈～ではないか(確認)〉【例】あんどう やゑーさに？(そうじゃないのか)。ちちえー んかしから かわいる くとー ねーのー あらに？ かわいやっさる むのー っちゆぬ くくる。(月は昔から変わることはないではないのか。変わりやすいのは人の心)。

**やしえー** 〈野菜〉【例】むぬ かむる ばすねー ししん やしえーん まんちきてい かまんとー むし わちゆん。あんすぐとう、むぬ かむる ばそー かたじーや さんぐとう、しし かみーねー やしえー かでい、やしえー かむる ばすにん ししん かつてい かむし やんでい どー。(ものを食べる際には肉も野菜も混ぜて食べないと腹の虫が湧く。それで、食べるときには片一方だけはしないで、肉を食べたら野菜を食べ、野菜を食べるときにも肉も一緒に食べるものだってよ)。

**やし がるー** 〈痩せてほっそりしている子、人〉【例】くぬ わらべー やしがるー やくとう、だちやっさん やー。(この子は痩せてほっそりしているので、抱きやすい)。ふどー



まぎさー あしが、やしがるーぐわー やんやー。(体は大きいが、痩せてほっそりしているね)。【参】反意語は、くえーたー(デブちん)。

**やし ごーい** 〈安く買うこと〉【例】たーがん たーがのー むっちえーをうらん ちぶ しっちょーるーから やしごーい さん。(誰とて持ってはいない骨董の壺を知り合いから安く買った)。

**やしないん** 〈養う〉【活】やしたん、やしなーん、やしなてい 【例】なちやる うややか やしないる っちゅぬどう うや やる。(産んだ親よりも養う人こそ親なのだ)。

**やしない んぐわ** 〈養子〉【例】うちなーをうてー やしないんぐわー ちーかーから／まがらから とういん。(沖縄では養子は血族から／一族から取る)。

**やしむん** 〈休む〉【活】やしだん、やしまん、やしでい 【例】やーぬ ゆーじゅぬ あてい、ちゅーや しゅちえー やしだん。(家の用事があって、今日は仕事は休んだ)。

**やすんじーん** 〈許してあげる、あきらめる〉【活】やすんじたん、やすんじらん、やすんじてい 【例】なー わじらんぐとう、やすんじてい とうらし よー。(もう怒らないで、許してあげてね)。ゆすたにぬんかい ぬーんでい いらったんてーまん わんねー やすんじえーうーさん。(誰に何と言われたとしても私はあきらめきれない)。いちまでいん なちえー／なちぐえーぐえー さんぐとう やすんじり よー やー。(いつまでも泣きはしないで／泣いてばかりいないで、あきらめさいよ)。やすんじてい とうく とうり。(許してやって自分に返ってくる徳を取れ)。【参】くねーいん。

**やちゅん** 〈焼く〉【活】やちゃん、やかん、やち 【例】かていむんぬ ねーんくとう、くーが(ぐわー) やち かってい かまな。(おかずがないので、卵焼いて一緒に食べようか)。やま とうんちよー あちさる なちに うったーて

い どうーやちーが うちなーんかい ちゅーん。(本土の人は暑い夏にわざわざ体を焼きに沖縄に来る)。

**やち むん** 〈陶器〉【例】んかしぬ やーむちどーごー やちむんぬ うふさたしが、なまー やちむんさーん いきらく なてい うちなーぬ やちむのー でーぬ うすまさ あがとーん。(昔の日用品は陶器が主だったが、現在は陶工も少なくなって沖縄の陶器は値段がすごく上がっている)。

**やちりーん** 〈やつれる〉【活】やちりたん、やちりらん、やちりてい 【例】しわぐとうぬ まんでい、わんねー やんめー かかいるひまん ねーらん、ちむ めしーる ふいーん ねーらん、よーがりていっち やちりとーさ。(心配事が多くて、私は病気になる暇もない、心が休まる日もなくて、痩せて来てやつれているよ)。

**やっくわ** 〈高木の上の物見やぐら〉【例】なちやしみ なてい やっくわをうてい にんとーしが、ちゅんかい うたりーねー、しーらいーん どー。(夏休みになって物見やぐらで寝ているが、夜露にうたれると、体に悪いよ)。

**やっくわん** 〈やかん〉【例】ちび あちらさってい ふいーふいー なちゅしえー ぬーやが? うれー やっくわん やさ。(お尻を熱くされてピーピー泣くのは何か。それはやかんだよ)。

**やっけー** 〈世話、困ったこと〉【例】っちゅぬ やっけーびけー なてい、やっけー なのーっさ。(人の世話ばかり受けて、やっかいなことになっているよ)。やーぬ ふるく なてい あまむいっし やっけー なのーっさ。(家が古くなって雨漏りして困ったことになっている)。くるまぬ はーがーぬ ばんくっし っちゅぬ やっけー なたん。(車のタイヤがパンクして人のお世話になった)。あったーやくにぬ やっけー なていどう かどーん どー。(あの人たちは生活保護を受けているよ)。

**やっちー** 〈兄さん(士族)〉【例】あまぬ  
やっちー(あそこの兄さん)、わったー やっち  
ー(私の家の兄さん)。まーぬ やっちー?(ど  
この兄さんか)。いったー やっちー(あなた  
の家の兄さん)。

**やっぱいん** 〈踏ん張る〉【活】やっぱたん、や  
っぱらん、やっぱてい【例】っちょー ぬー  
ぐとうんかいん まきらんぐとう、やっぱてい  
いちち いちゆし やん。(人は何事にも負  
けないように、踏ん張って生きて行くものだ)。  
いちからん いちち そーる ばすにどう や  
っぱいし やん。(どん底の生き方をしている  
時にこそ踏ん張るものだ)【参】くんばいん。

**やとう〜**〈特大な〜〉【例】やとう むち(特  
大な餅)、やとう っわー(特大な豚)。やとう  
がち／うふがち(大変な食いしん坊)。やとう  
むん／やとうー(大男)。

**やとう まぎさん** 〈巨大である〉

**やとう まぎー** 〈巨大なもの〉

**やどういん** 〈宿泊する〉【活】やどうたん、や  
どうらん、やどうてい【例】たびする ばすね  
ー、あまぬ どうしぬ やーんかい にんぢゆ  
し やかー ホテルんかい やどういしえー  
どうーぐりさ さんていん しむくとう まし  
やん。(旅するときには、そこの友人の家に泊  
まるよりもホテルに泊まるのは気兼ねしなくて  
もすむのがいい)。

**やどう ちん** 〈宿泊代〉【例】やどうちん  
やしが、ちゆいがむのー／ちゆーふいっちー  
や ちゃっさが?(宿泊代ですが、1人あたり  
／1泊はいくらですか)。

**やな〜**〈嫌、悪〉【例】やなー(上等ではない  
もの)。やなあびー(気味の悪い叫び)、やない  
み(悪い夢)、やなだくみ(悪だくみ)、やなふ  
ーじ(悪い風習)、やなぐくる=やなぢむ(悪い  
心)、やなぐち(悪口)、やなぐちゃー(悪口を  
言う者)、やなかじゃ(悪臭)、やなかじ(邪悪  
な風)、やなかーぎー(不細工)、やなみち(歩

きにくい道)、やなむぬいー(悪口を言うこと)、  
やなでいくち(ずるい考え)、やなっちゅ(悪  
い人)、やなっわーちち(悪天候)、やなういー  
(悪酔い)、やなぢん(質や柄がよくない着物)。

**やな がたー** 〈悪い形のもの〉【例】うれ  
ー やながたー やくとう、やしみーっさ。(そ  
れは形が悪いから安くするからね)。

**やな がんまり すん** 〈ふざける〉【例】  
やながんまり しーねー、めーごーさー くわ  
ーさりーん どー。(ふざけると、げんこつをお  
見舞いするよ)。

**やな むん** 〈嫌なやつ、悪霊〉【例】とう  
いん ちかみん ならん あたいぬ やなむん  
なてい、んなから ちらっとーん。(煮ても焼  
いても食えないほどの嫌なやつなので、皆から  
嫌われている)。ゆるゆなかに あったに に  
ちぬ っんぢたくとう、やなむんぬ たっくわ  
たがやーんでいち あんまーんかい まーす  
はんかったん。(夜中に急に熱が出たので、悪霊  
がくつついたのかねえといって母親に塩をまか  
れた)【参】くんちゃきゆん(水などの液体を  
ひっかける)、くんちゃきらったん(ひっかけ  
られた)。

**やにーん** 〈竹を細く削る〉【活】やにたん、や  
にらん、やにてい【例】だき やにーん。(竹  
を削る)。くー やにーん。(カゴを作る)【参】  
ふいぢゆん(削る)は〈作る〉までは意味しな  
い。

**やびりーん** 〈体が弱くなる、衰弱する〉【活】  
やびりたん、やびりらん、やびりてい【例】わ  
かさる とうちえー あっさ がんぢゆーむん  
やていん、とうし とういしんでー っちょ  
ー やびりていっち ちむ しからーしく な  
いん。(若いときにはあれほど元気者でも、年を  
とるにつれて人は体が弱くなって来てむなしく  
なる)。

**やびり むん／やびらー** 〈体が弱い者〉

【例】やびりむん／やびらー やしが、なまん  
がんじゆーさ そーくとう、やふあらがんじゆ  
ーむんでいいる くとー あさ やー。(体が弱

いんだが、今でも元気でいるので、病弱ものの長生きってことはあるのだね。

**やふあた ぐさ** 〈紫カタバミ〉 【例】んかしわらびんちやーや やふあたぐさ ちでいあらやーに けーうちんかい をうーてい いてい まーす いふいぐわー ほーていかむたん。(昔の子どもたちは紫カタバミを摘んで洗って小皿に折って入れて塩を少し振りかけて食べたものだよ)。

**やふあらちゅん** 〈やわらくなる、体が弱る、穏やかになる〉 【活】やふあらちゃん、やふあらかん、やふあらち 【例】くー さるばすねー やふあらー やたしが、あんし がんじゅーむん などー。(幼いときは病弱だったが、あんなに健康になっている)。いっぺー ぼーちりむん やたしが、とうしぬ ゆたくとう、やふあらちやーに うふやしく なたん。(とても強情者だったが、歳をとって穏やかで温和になった)。くーぼー みじんかい ちきてーたしが、やふあらちよーみ？(昆布は水につけてあったが、やわらくなっているか)。くふあらちえーたしえー やふあらちちよーみ？(凍らせてあったのは解けてきているか)。

**やふあらきーん** 〈やわらくする、和解させる〉 【活】やふあらきたん、やふあらきらん、やふあらきてい 【例】あったーや いんとうまやー なてい めーがめーなち いりわいびけーっし、たーがな なかんかい いっち やふあらきらんとー ならんさ やー。(あの人は犬と猫の仲で毎日口論ばかりして、誰か仲に入って和解させないとならないね)。

**やま 1** 〈森林〉 【例】やま あっちやー(林業従事者)。やま あっちゅん。(林業に従事する)。

**やま 2** 〈逸脱した状態〉 (人に対して) 非嫡出、乱暴；(物に対して) 非認可；(状況に対して) 混雑、混乱を表わす。【例】やまんぐわ／やまなしんぐわ(非嫡出子)＝「やまーぐわー」

＝「いなよーぐわー」＝「っちゅんかい いちえーならん っくわ」(人に言ってはいけない子)。やま ちり ぐとう(大変な事態)、やまがっこー(学校をさぼって遊ぶこと)。あれーやまがっこー そーたんどー。(あの子は学校をさぼって遊んでいたよ)。うふやま(＝うーやま) ちらかちえーん。(めちゃくちや散らかしている)。あんし やま ちらかち。(あんなにさんざん散らかして)。あきさみよー やま ちっちょーさ やー。(あれ大変なことになったね)。やま ちっち うすまさ あーさむーさ などーさ。(散らかってびっくりするほど荒れているね)。やま ちやーに じゃーふえー などーさ。(大変なことになって困っている)。わじやーに やま ちっちょーん。(怒って大変なことになっている)。わじやーに じゃーふえーていーふえー などーん。(怒ってにっちもさっちも行かなくなっている)。あん しーねー やま ちーん どー。(そんなことしたら大変なことだよ)。あん しーねー やま ちりーん どー。(そんなことしたら大変なことになるよ)。やまがーみー(陸亀)、やまがじゃん(やぶ蚊)、やまふいぢやー(髭もじやの者)、やましし(イノシシ)、やまじさー(イノシシの肉)、やまぐわー(やぶ)、やまししとうやー(イノシシ獲りの者)、やまやー(野良猫)、やまいん(野良犬)。

**やま なんかぢ** 〈サソリ〉 【例】やまんかぢえー どうく むっちょーくとう、ささりーねー でーじ ないん。(サソリは毒をもっている、刺されると大変なことになる)。

**やま かーがー** 〈人見知りの者〉 【例】＝っちゅ うとうるー、っちゅ はじかさー。

**やま ぐー** 〈乱暴者〉 【例】＝ぼーちらー、しむち わるー。あぬひやーや やまぐーどうやん どー。(あいつは乱暴者だよ)。

**やま あったみ** 〈イノシシの肉〉 【例】「いなむどうち」や「やまあったみ」ちかてい ちゅくたしが、なまー っわーしし などーん。(「いなむどうち」(肉汁の一種)はイノシシの肉使って作ったが、現在は豚肉になっている)。

【参】ちぬ あったみ(牛肉)、うしぬ しし(牛の肉)。

**やますん** 〈ケガをする、傷つける〉【活】やまちゃん、やますん、やまち 【例】ていー／ふいさ／どうー やまちゃっさー。(手／足／体をケガしたよ)。やまぬぶい そーる っちゅぬ ゆかい しんでいてい どうー やまちゃくとう、ヘリコプター ゆだん。(登山者がかなりすべって負傷したので、ヘリコプターを要請した)。わん うしえー ふいさ やまち のーていから うふいどう ないしが、くんどうぬ すーぶねー にばん なてい ゆー ちばたん。(私の牛は足をケガして治ってから間もないが、今度の試合では2番になってよく頑張った)。やくしこー まむいるぐとう さんだれー、やんぢーねー えーていぬ ちむ やますん。(約束は守るようにしないと、破ると相手の心を傷つける)。

**やまとう** 〈大和、本土日本〉 【例】やまとうんちゅ、やまとうー(本土日本人)、やまとうたび(本土日本への旅)、やまとうむん、やまとうー(本土日本製の商品)。

**やまとう** ぐゆみ 〈新暦〉 【例】うちなーや うちなーぐゆみっしどう をういめー すくとう、しちぐわち、たなばたー やまとうとー あたらん。(沖縄は陰暦で行事をするので、お盆、七夕は本土とは合わない)。

**やまとう** じふえー 〈本土日本人の気の早さ〉 【例】やまとうじふえーんでい ちちやるくとう あしが、うちなーじふえーや ちちやるくとー ねーらん。(日本人の気の早さって聞いたことはあるが、沖縄人のせっかちって聞いたことはない)。

**やみーん** 〈やめる〉【活】やみたん、やみらん、やみてい 【例】さき／たばく／しくち やみーん。(酒／タバコ／仕事をやめる)。

**やむん** 〈痛める、病む〉【活】やだん、やまん、やでい 【例】くぬ にさんにち どうー っ

んぢゅかちえー ねーんくとう、くしぶに／どーぶにぬ やどーん。(この2、3日体を動かしていないので、腰骨／体中のあちらこちらが痛くなっている)。あり かんげー くり かんげーっし ちぶる やどーっさ。(あれこれ考えて頭が痛いよ)。ありが はなし ちちやーに わんまでい ちむ やどーっさ。(あの人の話を聞いて私まで心痛めているよ)。っやー はなしえー あちらし／たちらし けーさーびけーっし みみ やでい ふしがらん。ちちぶしこーねーらん。(あなたの話は人の話を暖め直すことばかりで聞く耳が持てないほどだ。聞きたくもない)。

**やみ** ち 〈病み気〉 【例】どうーぬ いふなー やっさーんち いさぬやー っんぢやくとう ちゅーしゃさーに ふつかびけーっし まし なてい やーんかい けーてい ちゃん。が、うぬまま うっちゃんぎとーちーねー、やみち とうてい やんめーむん ないる とうくる やたん。(体調がおかしいと病院に行ったら注射して二日ぐらいで良くなって家に帰ってきた。そのまま放っておいたなら、病み気を取り込んで病人になるところだった)。

**やん** 〈痛み〉 金城(1997, 71-72 頁)には、次のような痛みの表現がある。【例】ちぶるぬ がんない がんない すん。(頭ががががする)。わり やん(頭が割れるように痛むこと)、ひっちり やん(ひきちぎられるように痛むこと)、ういーごー やん(むず痒い痛み)、くぢり やん(えぐられるような痛み)、なまちぶる やん(陽に照らされたときなどの痛み)、ひっすい ひっすい(ズキンズキンする痛み)、ふいーらちゅん(ひりひり痛む)、あちびーらちゅん(やけどや腫れ物が熱をもって痛む)、わた ぐちぐち(おなかがじくじく痛むこと)、わた ぐるぐる(おなかがごろごろして具合悪いこと)。

**やむん** 〈止む〉【活】やだん、やまん、やでい 【例】みちのーしぬ うとうぬ やだくとう、いっぺー ちむ さーじゃーとう などーん。(道路工事の音が止んだので、とても気持ちがす

っきりしている)。

**やらすん** 〈遣らす、行かせる〉【活】やらちゃん、やらさん、やらち 【例】くじょー ういなが いちあしが／やらちあしが、くとうしえー ういきが やらすさ。(去年は女性を行かせたので、今年は男性を行かせるよ)。

**やりーん** 〈(着物や紙が) 破れる〉【活】やりたん、やりらん、やりてい 【例】っやー ちのー やりとーん どー。(あなたの服は破れているよ)。ありが っくわ よー、ちびやりやー／ちびやりかー ちち あっちょーたん どー。(あの人の子はねえ、お尻の破れてるのを着て歩いていたよ)。やりちん (破れ着)。

**やんぢゅん** 〈こわす、だめにする、破る〉【活】やんたん、やんだん、やんてい 【例】あんしちかさをうてい テレビ んーぢーねー、みー やんぢゅん どー。(あんなに近くでテレビを観ると目が悪くなるよ)。ありが ちゅくとうばさーに ちゅらーさ ちむ やんだったん。(あの人の一言でひどく心を傷めつけられた)。んかしんちよー ちのー いっぺー あたらさ そーてい やりやー うぬまま うちきーいんでいる くとー さんたん。ちん ふとうち びちぬ むぬんかい ちゅくいけーすたん。(昔の人は着物はとても大切にしていた破れものをそのままにできなかった。着物をほどこいて別のものに作り替えたんだよ)。

**～やんぢゅん** 〈～そこなう〉【活】～やんぢやん、～やんだん、～やんてい 【例】ちゅくいやんぢやー (失敗作、できそこないの物)、ちゅくいやんぢ (作るのに失敗していること)。くぬちゅくいやんとーる ごーやーや かーぎぬ わっさぬ、うららんぬー などーしが、こーいらー こーれー、やしみーさ。(この作り損ないのゴーヤーは見かけが悪くて、商品価値がないが、買うなら買って、安くするよ)。っちゅんかい ちゅふあーら しーやんだってい うっちゃんぎらったん。(人にひどい仕打ちを

されて放り出された)。かちやんぢぬ あいびーらー、のーちくいみそーらんがやー？(書き損じがあるのでしたら、直していただきますか)。かちやんだっとーる とうくるぬ あいびーらー、のーちくいみそーり。(書き足りないところがあるのでしたら、直してください)。えーていぬ いーやんたらー、ちちのーしえー。(相手が言い間違ったら、(聞く側で) 聞き直してあげなさい)。

**やんでいーん** 〈(物、道具が) 壊れる、破れる、できそこなう〉【活】やんでいたん、やんでいらん、やんでいてい 【例】ちゅくいやんでい やー (失敗作、できそこないのもの)。にーびちぬ やくしくぐとうぬ やんでいてい ならん なたん。(婚約が破談になってできなくなった)。やんでいむのー やしが、まーさー あさ。(できそこないではあるが、味は悪くない)。

**やんばる ぶに** 〈ヤンバル船〉 【例】いくさあとう なんにんぐれーが やたら、やんばるぶにさーに たむん、やんばるだき、かやなーふあんかい むっちちよーたん。(戦後何年ぐらいだったか、ヤンバル船で薪、ヤンバル竹、茅を那覇に持って来ていた)。

**やんむち** 〈鳥モチ〉 【例】やんむちえー きーぬ かー ひらべったーいしんかい うちきてい、げんのーさーに わっくわさーに どうるどうる ないるあた い ちゃー ちちちしちゅくいん。(鳥モチは木の皮を平たい石に置いて、金槌で解きほぐしてどろどろになるまでずうっと突っついて作る)。んかしえー やんばるだきぬ すーらんかい やんむち たっくわさーに、くりっし さんさなー、なーびかちかちー、しえーぐわー、はーべーるー、そーみなー、ある うっさぬ いちむしえー とうとーたん。(ヤンバル竹の先に鳥モチくっ付けて、それでクマゼミ、アブラゼミ、バッタ、蝶、メジロ、すべての昆虫を採っていた)。

**やんめー** 〈病気〉 【例】わんねー やんめー かかてい いさぬ やーんかい にゅーいん

そーたん どー。(私は病気になって病院に入院していたよ)。ぬーが っやーや いる  
ぬがー そーてい、やんめー むんぬ ぐとう  
っし むぬん かまん。(どうしてなのか、あなたは青白くて病人のように食事もしない)。ぬーが っやーや ちゅくち かまーに 「わん  
ねー なー わた いらん さー。なー うっ

さっし しむん」 んち やんめーむんぬ ぐと  
うっし あんし むんぬ いきらさる。くちに  
ーさどう ある め?(どうしてあなたは一口  
食べて「私はもうお腹に入らない。もうこれだけでいい」と言って、病人のように食が細いのか。食欲がないのか)。



# っや

っやー 〈お前、君〉 【例】っやー むのー  
わー むん、わー むのー っやー むん。(お  
前の物は僕の物、僕の物はお前の物)。

っやー くる／っやん くる 〈あなた自  
身で〉 【例】っやーくる しえー／かんげー  
れー。(あなた自身でしなさい／考えなさい)。





# ゐ

ゐー 〈結い〉

ゐー まーるー 〈助け合い〉 【例】んかしえー ゐーまーるーぬ ちむぐくる むちゃーに っちゅぬ つくわん どうーぬ つくわぬぐとう たげーに ちむ ゆるち ふどうっわーちょーたん。(昔は助け合いの心を持って人の子も自分の子のように互いに心を許して育てていた)。

ゐー〜〈良い〉 【例】ゐーばー(良い機会)、ゐーどうし(親友)、ゐーかんげー(良い考え)、ゐーくとう(良い事)、ゐーむん(良いもの)、ゐーくくち(良い心地)、ゐーふいー(佳日)、ゐーあんべー(良い具合)、ゐーっちゅ(良い人)、ゐーそーぐわち(めでたい正月)。

ゐー ぐくち 〈いい心地〉 【例】むいぬ っういーんかい たっちょーる いったー やーや きーくさん まんてい、ゐーかじん ふち、まーんくいーん みーてい いっぺー ゐーくくち やん やー。(高台に建っているあなたの家は緑も多くて、いい風がそよぎ、あちらこちらが見えてとてもいい心地だね)。

ゐぬ 〈同じ〉 いも(同妹)、いもせ(同背)における「いも」〈母親が同じ〉に対応か。【例】ゐぬ むん／っちゅ／なー／みち(同じもの／人／名前／道)、ゐぬ かんげー／なぎ(同じ考え／長さ)、ゐぬー(同じもの)、ゐぬ ちるみー(同級生)。ゐぬ とうし やん。(同じ歳です)。いーな ゐぬい なとーみ?(はや〈一年後の〉同じ時節になっているのか)。

ゐーん 〈坐る〉【活】ゐちゃん、ゐらん、ゐち

【例】まじえー ゐやーに はなしえー さな。(まずは坐って話をしよう)。くぬ わらべーや ゐちやい たっちやいっし うていちちぬ ねーらん。(この子は立ったり坐ったりして落ち着きがない)。くぬ ソファーや あんし ゐーぐくちぬ ゆたさる。ぬーんでい いちやんてーまん でーぬぐとうどう あっさー。(このソファーはなんと坐り心地のよいことか。何と言っても値段がものを言うね)。しわぐとうぬ むる ねーん なてい うみなーく なてい なまねー いっぺー ちむぬ ゐちょーさ。(心配事がなくなって安堵して今はとても心が落ち着いている)。

ゐー ちちゅん 〈適応して落ち着く〉【活】〜

ちちゃん、〜ちかん、〜ちち 【例】うちなーんかい っちから なー 3にん なてい かむしん まーさぬ、ふいーさ あちさんかい なりやーに なー ゐーちちょーん。(沖縄に来てからもう3年になって、食べ物もおいしくて、暑さ寒さにも慣れてもう落ち着いている)。ゆみなてい いけーからー をうとうぬ やーどうやー やくとう、ゐーちち ゆー ちとうみり よー。(嫁に行ってから夫の家が自分の家だから、心落ち着けてよく尽くしなさいよ)。ちむ まゆい さんぐとう うやふあーふじぬ うすばんかい ゐーちち ぢゅらさ しみそーり よーんでい しんじゅーくにちに とーとーめーんかい うにげー さびたん。(心迷いしないように祖先のそばに心落ち着けて暮らさせてくださいと7回忌に仏壇にお祈りしまし

た)。どうしから ゐーたる まやーや なー  
ゐーちちょーん。(友人からもらった猫はも  
う落ち着いてきている)。

**ゐー にーぶい** 〈座ったままの居眠り〉  
【例】ばすぬ なーかをうてい ゐーにーぶい  
さーに、とうないぬ っちゅぬ かたんかい  
うっちゃかとーたん。(バスの中で坐ったまま居  
眠りして、隣の人の肩に寄りかかっていた)。

**ゐーゆん** 〈もらう、もてあそぶ〉【活】ゐーた  
ん、ゐーらん、ゐーてい 【例】っちゅから む  
ぬ ゐーねー、むっちけーさー しみてー な  
らん どー。わしたる じぶんに えーていん  
かい ちむ みしり。(人から物をもらったら、  
お返しを持たせてはいけない。忘れた頃に相手  
に感謝を見せなさい)。ゐーたる じのー ち  
じに かみやーに しぐ ちかれー。(もらっ  
たお金は感謝してすぐに使いなさい)。

**ゐーり むん** 〈玩具、もらい物〉 【例】ゆ  
っかぬ ふいーねー うやから ゐーりむんぐ  
わー ゐーしえー ぬーやか うっさたん／っ  
ういーりきぐとう やたん／まちかんでいー  
やたん。(旧暦5月4日には親から玩具をもら  
うのが何より嬉しかった／楽しみだった／待ち  
遠しかった)。っちゅからぬ ゐーりむのー  
にんしらんぐとう ちかいし やん。(人から

のもらい物は放ったらかさないで使うものだ)。

**ゐしーん** 〈据え置く／落ち着かせる〉【活】

ゐしたん、ゐしらん、ゐしてい 【例】やっくわ  
ん ゐしてい ゆー ふかしえー。(やかんを  
置いてお湯を沸かしなさい)。しきてーくとう  
ゐしれー／ふいー ちきれー。(炊く準備は  
してあるので、スイッチを入れなさい／火を  
つけなさい)。ゐしてーみ？(火をつけてあるか、  
スイッチを入れてあるか)。ゐしてーい？(火  
をつけたか、スイッチを入れたか)。ちもー  
ゐしらちから なーちゅけーん みぐてい く  
ーわ。(気持ちを落ち着かせてからもう一度ま  
わっておいで)。ふいむのー ンかしえー く  
まどう やたしが、なまー あまんかい ゐし  
らっとーん。(碑文は昔はここだったが、今はあ  
ちらに置かれている)。

**ゐん** 〈縁故、ゆかり〉 【例】っやーとう わん  
とー ゐんぬ ふかさくとうどう、ふいちゃー  
さっとーさ やー。(あなたと私は縁故が深いか  
らこそ引き合わされているんだね)。っやーと  
う わんとー ゐんぬどう ふかさら？ いか  
ゐー？ いか ゐー？んでい いちえーをう  
しが、いかなしとうん けーららん さー。(あ  
なたと私とは縁故が深いのか。行こうね、行こ  
うねと言ってはいるが、帰ろうにも帰れない)。

# ゆ

**ゆい** 〈ユリ〉 【例】めーにん いーじまをうてー ゆいまちりぬ あてい しまぬ まーま でいん かばさ そーん。(毎年伊江島ではユリ祭りがあって島のどこまでも香りが漂っている)。

**ゆいん** 〈地震が起こる、寄る〉【活】ゆたん、ゆらん、ゆてい 【例】ねーぬ ゆていちよーたしが、わかゆていー?／ちゃーん ねーん ていー?(地震が起こったが、気づいてたか／どうもなかったか)。うちなーんかえー わーがをうくとう うとうるさっし うふねーや ゆてーくーんどう ある はじ。(沖縄には俺がいるので怖じけずいて大地震は起こらないことになっているはずだ)。わーが ちーねー ちびなーりー うちやくぬ ゆていちゆーくとう っういーりきさ さっとーん。(私が来ると続いてお客が来るので、歓迎されている)。

**ゆー** 〈世〉 【例】ゆーや していていん みーや していんな。(世は捨てても我が身は捨てるな)。

**ゆー** 〈湯〉 【例】ゆーんかい ちかいねー、をうたいのーし ないん。(湯に浸かると疲れ直しになる)。

**ゆー** ふる 〈風呂〉 【例】していみてい ゆーふる いーねー、ちゅばちに みーぬ くふあてい いっぺー るー あんべー やん。(早朝風呂に入ると、ぱっと目が覚めてとても快い気持ちである)。

**ゆー** げーら すん 〈火傷する〉【活】～げーらちゃん、～げーらさん、～げーらち 【例】「ぬ

ーが っやー ていーや みじぶっくわー そーる?」「ゆーげーらさーに、みじぶっくえーなとーっさー」(「なぜあなたの手は水脹れしているの」「火傷して水脹れになってるよ」)。うんな ばすねー どうぐわい たーちんかい あかさーに ゆーげーらちやる とうくまんかい たけーん みけーん しりなしーねー みじぶっくわーねー ならんさ。(そんな時にはアロエを2つに割いて火傷したところに2、3度擦りつけると水脹れにはならない)。

**ゆー** 〈夕、夜〉

**ゆー** がらさー 〈夜ガラス〉 【例】がらさーよー がらさー やな なちえー すな よー。やなくとー っやー っういー どー。ゐーくとう かたれー。ゐーくとう かたれー。(カラスよ、カラス、嫌な鳴き方はするなよ。嫌なことはお前の身の上にだよ。善いことを語んなさい。善いことを語んなさい)。

**ゆー** き 〈夜更かし〉 【例】わかさる うちえー ゆーきん ないたしが、なまんぢえー なー じょーい ならん。(若いうちは夜更かしもできたが、今ではもうとてもできない)。

**ゆー** まんぐい、ゆまんぐい 〈夕暮れ時〉

【例】ていーだぬ さがてい いちゆる ゆーまんぐえー ぬーが やら しからーさぬ。(太陽が下がって行く夕暮れ時はなぜか寂しくてならない)。

**ゆっくわすん** 〈夜を明かす〉【活】ゆっくわちゃん、ゆっくわさん、ゆっくわち

**ゆっくいーん** 〈夜が暮れる〉【活】ゆっくいたん、ゆっくいらん、ゆっくいてい 【例】とう

しぬ ゆーるに あきまどうしぬ あがいてい  
ーだ んーちゆるたみに ふいどうみさちをう  
てい ゆー ゆっくわちゃん。(大晦日に初日  
の出を見るために辺戸岬で夜を明かした)。

**ゆさんでい** 〈夕方暗くなる頃〉 【例】ゆさ  
んでい なていから くーわ。(夕方なつてか  
らおいで)。あこーくろー (暗くなりかける直  
前、マジムの出る時間帯と言われ不安感がと  
もなう)。ゆさんでい／ゆまんぐい なていん  
なーだ ふかんぢ あしどーる わらびんち  
やーや やーんかい けーらさな。(暗くなっ  
てもまだ外で遊んでいる子どもたちは家に帰ら  
せようね)。

**ゆさんでい あけーい** 〈夕焼け〉 【例】ゆ  
さんでいあけーいさーに っちゅぬ ちらん、  
やーん、きーくさん むる あかー なてい  
ちゅらさん。(夕焼けで人の顔も、家も、植物も  
赤く染まってきれいだ)。

**ゆながた／ゆながたさながた** 〈夜通し〉  
【例】ゆながた さっくいーっし にんだらんた  
ん。(夜通し咳をして眠れなかった)。ゆながた  
たんかーぬ いんぬ あびてい にんだらん  
たん。(夜通し向かいの犬が吠えて眠れなかつ  
た)。ゆながたさながた まやーぬ やななち  
っし かしまさぬ、にんだらんたん。(夜通し猫  
が気味の悪い泣きかたをしてうるさくて、眠れ  
なかった)。

**ゆーいん** 〈結う〉【活】ゆたん、ゆらん、ゆて  
い 【例】からじ ゆーら。(髪を結おうか)。か  
らじ ゆーとーけー。(髪を結っておきなさい)。

**ゆーちら** 〈徳、役〉 【例】っやーや ゆー  
ちらん ねーらん。(おまえはどうしようもな  
い)。ゆーちらー ねーん＝ちゃーん ならん。  
(どうしようもない)。ちゃーん ならん ぬー  
(どうしようもない者)。

**ゆーな** 〈オオハマボウ〉 【例】ゆーなぬ は  
なー いっぺー ちゅらさしが、ふあーや ち  
びぬぐやー なたんてい。(ゆうなの花はとても  
きれいだが、その葉はお尻拭きになったって)。

**ゆーゆー** 〈鶏(小児語)〉 【例】ゆーゆーぐ  
わーぬ ちょーくとう、ぬーがな かましえー。  
(鶏がくるので、何かやりなさい)。にわとうい  
ぐわーんかえー 「ゆーゆーゆー」っし ゆぶ  
たん。(鶏に「ゆーゆーゆー」と呼んだものだ)。

**ゆかいん** 〈作物がよくできる、生い茂る〉【活】  
ゆかたん、ゆからん、ゆかてい 【例】いっ  
たー ごーやーや ゆー ゆかとーん やー。  
くえーや ぬー ちかとーが?(あなたの家の  
ゴーヤーはよくできているね。肥料は何を使っ  
ているのか)。かんだばーぬ ゆかとーくとう、  
ぬーゆる うっさ むっちんぢやーに かめ  
ー。(芋の葉が茂っているので、もらうだけ持っ  
て行って食べなさい)。ゆー ないる ばさな  
いぬ っくわぐわー どうーぬ なーんかい  
っういーたしが、ぬーん ゆからん。んーちゃ  
ぬ あたらんばー やさ やー。(よく実がで  
きるバナナの株を自分の庭に植えたのだが、何  
も茂らない。土が合わないわけだね)。んーちゃ  
ぬ あーとーくとう なーぬ ばさなえー ゆ  
ー ゆかいん。(土壌があっているので庭のバ  
ナナはよく育つ)。ゆかい ごーやー／まんご  
ー／っんむ／しぶい(りっぱなゴーヤー／マン  
ゴー／芋／冬瓜)。

**ゆかさ** 〈床下〉 【例】んかしえー からゆか  
んかいどう にんとーたしが、ゆかさぬ みー  
から しだかじぐわーぬ いっちっち なちえ  
ー にんぢやっさたん。(昔は板間に寝ていた  
が、床下の隙間から涼しい微風が入って来て夏  
は眠りやすかった)。

**ゆがふー** 〈豊年満作の年、世果報〉 【例】し  
でいがふー やん どーんでい いーる ちむ  
にどう ゆがふー／みるくゆーぬ たっくわー  
てい ちゅーさ。(感謝の気持ちにこそ豊年は  
くつついてくるよ)。

**ゆがみーん** 〈ゆがめる〉【活】ゆがみたん、ゆ  
がみらん、ゆがみてい 【例】あれー ちら ゆ  
がみとーてーくとう たぬまんしえー まし  
どー。(あの人は顔をゆがめていたので、頼まな

い方がいい、＝あれー わじゃんかー そーて  
ーくとう たぬまんしえー まし どー)。

**ゆかる** 〈佳き〉 【例】とうしびー やくとう、  
ちゅーぬ ゆかる ふいー、まさる つふいー  
に どうーちゅーさ くいみそーりよーんでい  
かみにげー さびたん。(厄年なので、今日の  
最良の日に健康をくださいと神願いしました)。

**ゆく／ゆーく** 〈欲〉 【例】どうー むち  
ゆる たみねー、むちゆく、いるゆく、むんぬ  
ゆこー あたいめーぬ みーちぬ ゆく や  
ん。(生きて行くためには、物欲、性欲、食欲は  
自然な3大欲である)。ゆーく しーねー、むる  
ねーん ないん どー。(欲張ったら、全部失  
うよ)。っやーや ゆーく すくとう、すんじ  
ぐとう ないさ。(あなたは欲張るので、損を  
するのさ)。ちゅぬ また はっぱいしん  
まーまでいん はっぱらりーる むのー あら  
ん。あん やくとう、ゆくぬ またん どうく  
ちゅーく はっぱいねー さきてい、まぎす  
んじぐとう ないん。(人が股を張るのもどこ  
までも張れるものではない。それで、欲の股も  
あまりにも強く張ると裂けて、取り返しにつか  
ないことになる)。

**ゆくいん** 〈休む〉 【活】ゆくたん、ゆくらん、  
ゆくてい

**ゆくわーすん** 〈休ませる〉 【活】ゆくわーち  
ゃん、ゆくわーさん、ゆくわーち 【例】ちゅー  
や にちよー なてい どうーゆくわーしぬ  
とうくる ぐぶりー ないしが。(今日は日曜  
で御休息のところ不躰ではありますが)。  
**ゆくい** どうくる 〈休憩所〉 【例】やんば  
るんかい いちゆる みちなかぬ あまくまん  
かい ゆくいどうくるぬ ちゅくらっとうん。  
(ヤンバルに行く途中のあちらこちらに休憩所  
が造られている)。

**ゆくし** 〈嘘〉 【例】あかゆくさー／そーゆく  
しむなー／うふゆくしむなー (まったくの嘘つ  
き)、ゆくし むに／ちゅくい むに (嘘)。あ

る くとうん ねーんくとうん むる (=だん  
だんぬ くとう／あらざらんくとう) たつく  
わーっし むっくわーっし さーに いーたて  
いらっとうん。(あることもないこともすべて  
くつつけて言い立てられている)。

**ゆくし むにー** 〈嘘つき(行為)〉 【例】ゆ  
くしむにーや ぬすどうぬ はじまい。(嘘つ  
きは泥棒の始まり)。ゆくしむにーや じょー  
までいん とうーらんさ。(嘘は門までも通ら  
ない、すぐばれるもの)。

**ゆくし むにー さー** 〈嘘つき(者)〉  
【例】おれおれさぎとう めぬむん、ゆくしむに  
ーさーや ちゅん うちくわいん。(オレオ  
レ詐欺と同様、嘘つきは人をもおとしいる)。

**ゆく** 〈横〉

**ゆく めーでいー** 〈気管〉 【例】むぬぬ  
ゆくめーでいーんかい いやーに いーちまで  
いーっし くちさたん。(食べ物が気管に入っ  
て息が詰まって苦しかった)。

**ゆく むにー** 〈横から口出すこと、はぐらか  
すこと〉 【例】っやーや わん はなし ち  
ちょーみ? ゆくむにーや すな けー。(あ  
なたは私の話を聞いているのか。はぐらかしは  
するなよ)。

**ゆく ばい すん** 〈逸れる〉 【例】あれー  
ゆくばい そーん。(あの人は逸れている)。

**ゆくすん** 〈誘う〉 【活】ゆくちゃん、ゆくさ  
ん、ゆくち 【例】わん うむやーや ゆくさり  
ーが しちゃら? ちかぐろー わん めーん  
かい くーん なんとーん。(私の恋人は誘惑さ  
れてしまったのか、近頃は私のところに来なく  
なっている)。

**ゆくねー** 〈夜中〉 【例】ゆくねー ぐらしん  
(夜中の闇)。ゆくねーや／ゆるゆなかや きー  
くさん にんとーくとう、まぎぐいーっし あ  
びんな よー。(夜中は木草も寝ているので、大  
声を出すなよ)。

**ゆくらすん** 〈休ませる〉 【活】ゆくらちゃん、  
ゆくらさん、ゆくらち 【例】うふいなーや ど

うー ゆくらさんねー なー むたん ないん  
どー。(少しは体を休ませないともう持たなくなるよ)。

**ゆぐすん** 〈汚す〉【活】ゆぐちゃん、ゆぐさん、ゆぐち 【例】ていー ゆぐすくとう ていーぶくる さしどう なーぬ わじゃー すん  
どー。(手を汚すので手袋をはめて庭仕事をするんだよ)【参】宮良(2019a, 31 頁)に「さすん」の用法がある。

**ゆぐりーん** 〈汚れる〉【活】ゆぐりたん、ゆぐりらん、ゆぐりてい 【例】くるまぬ いちむどういぬ うふさる みちばたぬ やーや やーから、まどがらすから、あんしから なーぬ きーくさから むる ふくい かんてい いっぺー ゆぐりべーさん。(車の往来の多い道端の家は家屋、窓ガラス、それに庭の花木もみんな埃をかぶってとても汚れるのが早い)。

**ゆぐり むん** 〈汚れ物〉【例】ゆぐりむのー たみらんぐとう ちゃーきなー あらりよー。(汚れ物は溜めないでその都度洗いなさいよ)。

**ゆし あし** 〈善し悪し〉【例】むぬぐとうぬ ゆしあし わからんだれー いちかー みち ぱっぺーいん。(物事の善し悪しを知らなかったら、いつかは道を誤る)。

**ゆしーん** 〈諭す、忠告する〉【活】ゆしたん、ゆしらん、ゆしてい 【例】うや ゆし、つくわ ゆし すん。(親子で諭し合う)。うっさーわーが ゆしとーちゆさ。(それだけは私が忠告しておくよ)。

**ゆし ぐとう** 〈諭すことば、教訓〉【例】うやぬ ゆしぐとー ゆー ちち ちむに すみてい、つくわ っんまがぬちゃーんかい ちてーし やん。(親の諭すことばはよく聞いて子どもや孫に伝えるものだ)。

**ゆしーん** 〈寄せる〉【活】ゆしたん、ゆしらん、ゆしてい 【例】がねー まぎはさんっし すー ゆしとーる ちむえー やる はじ。(カ

ニは大きなハサミで潮を招いているつもりだろう)。うふかじめーや うみんかい いくなよー。あらなみぬ ゆしていちゅーくとう うかーさん どー。(台風前には海に行くなよ。荒波が寄ってくるので危ないよ)。

**ゆし どーふ** 〈おぼろ豆腐〉【例】ちゅくてい ちゃーきぬ ゆしどーふ こーてい けーいる ばすに、なーびをうてい ゆたゆたするかーじ まーさかばさぬ ふしがらんたん。(作ったばかりのおぼろ豆腐を買って帰るとき、鍋で揺れ動くたびにおいしい香りがたまらなかった)。

**ゆじーん** 〈譲る〉【活】ゆじたん、ゆじらん、ゆじてい 【例】ありんかい ゆじとーけー。(あの人に譲っておけ)。くるま はしらする ばすねー、ちゅいゆじーゆじー する ちむぐくる むたな。(車を運転する際には互いに譲り合う心を持とう)。

**ゆしぢゅん** 〈ゆすぐ〉【活】ゆしちゃん、ゆしがん、ゆしぢ 【例】むぬ かならー くちゆしぎ よー。(ものを食べたら口をゆすぎなさいよ)。

**ゆしむん** 〈立ち止まる、思いとどまる〉【活】ゆしだん、ゆしまん、ゆしでい 【例】みーぬめーんかい ハブ んーち たましー ぬぎてい あったに ゆしだん。(目の前のハブを見てびっくりして急に立ち止まった)。すーじぐわーから あったに っちゆぬ っんぢてい ちゃくとう、あたいが すらんでい うむてい ゆしだん。(路地から急に人が出て来たので、ぶつかると思って立ち止まった)。

**ゆしみーん** 〈立ち止まらせる、思いとどませる〉【活】ゆしみたん、ゆしみらん、ゆしみてい 【例】っやーや ぬーんち ゆしみらんたが?(あなたはどのようにして引き止めなかったか)。

**ゆしりーん** 〈寄って来る〉【活】ゆしりたん、ゆしりらん、ゆしりてい 【例】いち やていん っちゆぬ ゆしりてい ちゅーる ちねーや

いっペー かりーな むん やん どー。(いつでも人が寄って来る家庭は福があるよ)。ちゅーん ゆしりてい／ゆらりてい／ゆらりーが ちゃーびたん。(今日も参りました)。ちゅーん ゆしり あぎやびら。(今日もあがります)。

**ゆす** 〈他所〉【例】ゆすたにん やていん いちやりば ちょーでー やくとう、んーだんふーなーや すな けー／うっちゃんぎんな けー。(他人であっても出逢えば仲間なのだから、見ないふりはするなよ／放ってはおくなよ)。

**ゆすぬ みー／ゆすみ** 〈他人の目〉【例】ゆすぬみー ちむねー かきんな よー。ぬーん ならん ないん どー。(他人の目は気にかけるなよ。なにもできなくなるよ)。ゆすみに かかいくとう／ゆすぬみーぬ しちさくとう、いったー やーぬ まし あらに？(人目に触れるので／人目がかなりあるので、あなたの家がいいではないか))。

**ゆだ** 〈枝〉大和古語の「よ」と、「万葉の桜」や「四五葉の山」のような「かたまりを数える単位」「葉(だ)」との組み合わせに対応し、〈葉や花房のついた節々〉を意味するのか。【例】さくらぬ さちーねー、つつゆゆだ とうてい むたさな。(桜が咲いたら、一枝取って持たせよう)。ゆだ ふぁー(枝葉)。

**ゆだい** 〈よだれ〉【例】くさりむんぬ ゆだい／いーちゅー ふいちょーん。(腐れものが糸を引いている)。

**ゆだい** じーじー 〈生唾が出てきているさま〉【例】まーさむん みーぬ めーんかい あくとう ゆだい じーじー そーん。(おいしいのを目の前にして生唾が出てきている)。

**ゆたみちゅん** 〈揺れ動く〉【活】ゆたみちゃん、ゆたみかん、ゆたみち 【例】ぬーぬ くと うぬ あたんてーまん、ちもー ゆたみちゅな よー。あん さんねー、どうー あがち ならん ないん どー。(何事があったとしても、動揺するなよ。そうしないと、自立できなくなるよ)。

**ゆっかぬ ふいー** 〈旧暦5月4日〉【参】ハーリー。

**ゆったいくわったい すん** 〈だぶんだぶんする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】ちぶるんかい をうーき かみてい あっちゅる かーじ みじめ ゆったいくわったいっし いっちょーる みじえー あんでいてい みじがーめー いかなしとうん みっちやかー なしえーうーさんたん。(頭に桶を乗せて歩くたびに水がだぶんだぶんとして入っている水は溢れ出て水甕はどんなにしても一杯にできなかった)。

**ゆていーん** 〈こぼす〉【活】ゆていたん、ゆていらん、ゆていてい 【参】いーけーらすん。

**ゆていりーん** 〈こぼれる〉【活】ゆていりたん、ゆていりらん、ゆていりてい 【例】あまみー くま みーっし ちゃー ちぢーねー ゆていりーん どー。(あちこち見ながらお茶を注ぐとこぼれるよ)。

**ゆでいーん** 〈ゆでる〉【活】ゆでいたん、ゆでいらん、ゆでいてい 【例】なちえー なまじしえー ゆでいていどう かまりーさ。(夏は生肉はゆでて食べるものだよ)。

**ゆにぬ うゆうえー** 〈米寿(88歳)のお祝い〉【参】とーかちぬ うゆうえー(85歳のお祝い)、かじまやーぬ うゆうえー(97歳のお祝い)。

**ゆぶん** 〈呼ぶ〉【活】ゆだん、ゆばん、ゆでい 【例】ありんかい ゆーじゅぬ あくとう、ゆでいくいれー。(あの人に用事があるので、呼んでくれ)。

**ゆみ** 〈嫁〉【例】うちなーをうてー ゆみどぅい むくどぅい すんでい いち、ゐーんでー いらん。(沖縄では婿取り嫁取りすると言うが、もらうとは言わない)。むくどぅい ゆみどぅい すんだれー うや んーでい。(婿



取り嫁取りをするのであれば、親を見なさい。  
ゆみ なすん。(嫁にする)。

**ゆみ いびらー** 〈嫁いびりする姑〉 【例】  
あまぬ ういなぐしとー つくわびーチャー  
なてい ゆみいびらー やしが、くまー ゆみ  
ぬどう あたらさ さっとーる。(あちらの姑  
は自分の息子に味方して嫁いびりするが、ここ  
は嫁が大切にされている)。

**ゆむん** 〈読む、数える、詠む〉【活】ゆだん、ゆ  
まん、ゆでい 【例】むぬ かむしん わして  
い ふいっちー しゅむち ゆどーん。(食事す  
るのも忘れて一日中本を読んでいる)。うやぬ  
ゆしぐとうや ゆみん ならん。(親の教え  
は数えることもできない)。あれー いち や  
ていん まーをうていん うた ゆむん。(あ  
の人はいつでもどこでも歌を詠む)。

**ゆむん** 〈悪口を言う〉【活】ゆだん、ゆまん、ゆ  
でい 【例】んかしんちゆぬ いくとうばー  
あじくーたー やてい、「かじぬ むぬ ゆむ  
ん」でい いーねー、「うわさ」ぬ くとう や  
ん。(昔の人の語り口は味わい深くて「風が言  
いふらす」というと「うわさ」のことだ)。あれ  
ー むぬゆまー やくとう ちー ちきり よ  
ー。(あの人は言いふらすから気をつけなさい)。  
ありが っやー くとう ふしがらん あたい  
ゆどーたん どー。(あの人があなたのこと  
をさんざん言いふらしていたよ)。ありが わ  
じゃー あま はい くまはいっし っちゆぬ  
むぬ ゆでい あっちょーん。(あれがやる  
ことと言えばあちこちで他人の悪口を言いふら  
してばかりいる)。【参】ゆんたかー (おしゃべ  
り)、ゆんたくー (おしゃべり好き)、っちゆぬ  
ふいーくし かつみやー (他人のあら探しを  
する人)、っちゆ ぬらやー (他人のあら探し  
をする人)。

**ゆゆ／ゆい** 〈節から節までの間〉 【例】大  
和語では死語の「よ」に対応する。。ゆちく な  
てい なまぬ わらびんちゃーや ゆゆぬ な  
がさん やー。(豊かになって今時の若者たち

は手足の関節が長いね)。なまぬ わらびんち  
やーや ゆゆぬ ながさくとう ふいさー ち  
ゆらさん。(今時の若者たちは手足の関節が長  
いので、足はすらっとしている)。

**ゆらいん** 〈分け合う〉【活】ゆらたん、ゆらー  
ん、ゆらてい 【例】やーにんじゆぬ かじ う  
めーし うちよーてい、いってーる むんから  
ゆらてい かめー。(家族の人数分箸を置き  
ておいてから、入れてあるものから分け合っ  
て食べなさい)。

**ゆらりーん** 〈集まる〉【活】ゆらりたん、ゆ  
らりらん、ゆらりてい 【例】ふじんかいんかい  
ゆらりーが いちゆん。(婦人会の集まりに  
行く)。でいっか ゆらりーが いか。(では集  
まりに行こうか)。

**ゆるじな** くとう 〈余計なこと〉 【例】  
ゆるじなくとー すな よー。(余計なことは  
するなよ)。

**ゆるじな むん** 〈間食〉 【例】っやーや  
ゆるじなむんぬ うふこー ねーらに？(あ  
なたは間食が多くないか)。どうく ゆるじな  
むん かみぢゆーさいねー、しぐ くえーてい  
じゃーふえー すん どー。(あまりに間食  
を食べ過ぎると、すぐ太って厄介なことになる  
よ)。

**ゆるみーん** 〈緩める、放す〉【活】ゆるみた  
ん、ゆるみらん、ゆるみてい 【例】あんすかな  
ー わじてー くいーんな。ちむ ゆるみてい  
とうらさん なー？(そんなには怒らないでく  
ださいよ。許してもらえませんか)。

**ゆれー** 〈模合い〉 【例】わんねー くじ や  
ふあらー なてい、ゆれーぐわーねー くじ  
ふいちゆし ちゃー たぬまっとーたん。(私  
はくじ運が強くて、模合いにはくじ引きするの  
をいつも頼まれていた)。じのー とうてい  
ふいんぎーる っちゆん をうくとう、あちは  
ていてい わんねー ゆれーや ていーちんち

よーん いっちえー をうらん。(お金を取って逃げる人もるので、うんざりして私は模合い一口さえも入ってはいない)。

**ゆれーいん** 〈寄り合う、集まる〉【活】ゆれーたん、ゆれーらん、ゆれーてい 【例】ちゃぬ

ゆーに しーねー まちげーねーんぐとう  
わらびんちゃー すだていーるくとう ないが  
やーんでいち たんかーまんかー ゆれーてい  
はなし さん。(どのようにすれば正しく子どもたちを育てることができるのかと隣近所寄り集まって話をした)。

**ゆんかんしーん／ゆみかんしーん**

〈しゃべりまくる〉【活】ゆんかんしたん、ゆんかんしらん、ゆんかんしてい 【例】ありんかい  
ゆんかんしらちょーけー。(あの人にずっとしゃべらせておけ)。

**ゆんたー ういなぐ、ゆんたー  
ふいんたー ういなぐ** 〈おしゃべり女〉

**ゆんたく** 〈おしゃべり〉

**ゆんたくー** 〈おしゃべり好き〉 【参】ゆんたかー (おしゃべりな人)。



# よ

**よーいん** 〈弱る〉【活】よーたん、よーらん、よーてい 【例】あったー やーや よーとーしが、ちゅくてい ちゃぬ あたい かとーが？（あそこの家は弱っているが、造ってどのくらいなっているか）。ちかぐろー あしくしぬ よーとーくとう、めー さこー なげーや あっからん／ながあっちゃー ならん かとーっさー。（近頃は足腰が弱っているので、前ほどは長くは歩けない／長歩きはできなくなっているよ）。やーん っちゅぬ しまらんねー たでーま よーいんでい、ちぬん ていー とうーさんねー よーてい いちゅん どー。（家も人が住まないとすぐに弱って、服も袖を通さないと弱っていくよ）。

**よーい むん** 〈弱ったもの〉 【例】くぬ やしえー／いよー／ししえー よーいむん かとーくとう うっちゃんぎれー。（この野菜は／魚は／肉は弱っているので捨てなさい）。

**よーがー** 〈歪んだもの、まがったもの〉 【例】っやーや むぬ いーる ばそー まっとーばいれー。よーがーむにーや すな けー。（あなたはものを言うときには単刀直入に言いなさい。遠回しな言い方はするな）。

**よーがー ふいーがー すん** 〈曲がっている〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】っやーや くしぬどう やむる あ？ あっちょーぬ よーがーふいーがー そーん どー。（あなたは腰が痛いのか。歩き方が曲がっているよ）。

**よーか びー** 〈旧暦8月8日の厄よけ〉 【例】よーかびーねー やしちぬ うがみん う

さぎてい、やなむん ばれー するたみに し ばさし すん。（旧暦8月8日には屋敷の拝みをして、悪霊払いのために柴差しをする）。

**よーがりーん** 〈痩せる〉【活】よーがりたん、よーがりらん、よーがりてい 【例】いったー いのー っくわぐわー なちから よーがりとーん どー。（あなた方の犬は子犬を産んでから痩せているよ）。

**よーがり むん** 〈痩せっぽち〉 【例】あれー よーがりむんぬ うふがみさー どー。（あの人は痩せの大吃いだよ）。

**よーし** 〈様子、容態〉 【例】ちゃぬ ふーじー かとーんでい よーしえー いちから くすい あーてい くー よー やー。（どういう具合になっていると症状を言ってから薬をもらって来なさいよ）。ちゃー かとーが？ よーし みーが っんぢんーぢゅみ？（どうなっているか、様子を見に行ってみるか）。

**よーそーいん** 〈かまわずにいる〉【活】よーそーたん、よーそーらん、よーそーてい 【例】あとうから なんくる わかいくとう よーそーたん。（後から自然にわかるから、かまわないでおいた）。

**よーそーちゅん** 〈やめておく〉【活】よーそーちゃん、よーそーかん、よーそーち 【例】よーそーけー しむる むんぬ。（やめておけばいいのに）。よーそーき。（やめておけ）。よーそーかん。（ほうってはおかない）。

**よーばー** 〈弱虫〉 【例】 ゐぬ っちゅどう  
やん どー。ゐぬ っちゅんかい まきーみ？  
よーばー なてー ならん どー。(同じ人  
間だよ。同じ人間に負けるのか。弱虫になって  
はいけないよ)。

**よーみ** 〈弱いところ〉 【例】 わん くるま

ー あっかんばー そーしが、よーみぬどう  
いっちょーがやー？(私の車は動こうとしない  
が、どこか悪いのかなあ)。どうすい なてい  
どう やがやー？ あま やみ くま やみっ  
し よーみぬ いっち、じゃーふえー やっさ  
ー。(年とったせいなのかなあ。あちらこちら痛  
くておかしくなって大変だ)。

# ら

～らーさ 〈らしさ〉 【例】うちなーらーさぬ ねーらん などーん。(沖縄らしさがなくなっている)。あれー ういきが／ういなぐらーさぬ ねーらん。(あの人は男／女らしくない)。うや／うふっちゅらーさぬ ねーん。(親／大人らしくない)。わらびぬ くさぶっくい／うふっちゅむにーっし わらびらーさぬ ねーん やー。(子どもがませて／大人ぶっ

て、子どもらしさがいいね)。いったーや うやっくわらーさぬ ねーん やー。うやっくわ などーてい あんし ふいっちー おーえーびけーっし、まくとう っやーが なちえーる っくわ やみ？(あなたたちは親子らしくないね。親子なのにいつもけんかばかりして、ほんとにあなたが生んだ子なのか)。【参】形容詞「～らーさん」。



# り

**りー** 〈利息〉 【例】たかりーとうやーぬ じんからさーや いちぬ ゆーをうていん をうさ やー。(高利貸しはいつの世でもいるんだね)。たかりーとうやーから じん かいねー、りーぬ ほーてい はらいかんでいー すんでい。(高利貸しからお金を借りると、利息が増えて支払いに四苦八苦するって)。

**りー** 〈霊〉

**りー じん／ぐ りー じん** 〈御霊前〉

【例】ぶちだのー とーとーめーんでいん いーしが、うやふあーふじんかえー ぐりーじんぬ めーをうてい ていー あーすん。(仏壇は「とーとーめー」ともいうが、祖先には御霊前の前で手を合わす)。

**りーち** 〈荔枝〉 【例】りーちえー とーからぬ ないむん やしが、よーきひん いっぺーしち やたんでい。(荔枝は中国産の果物だが、楊貴妃も大好きだったって)。

**りーぢ** 〈礼儀〉 【例】なまぬ わかむのー がくむのー ちゅーさしが、りーぢえー わかてーをうらん。(今時の若者は学はあるが、礼儀は分かってはいない)。

**りーぢ げーし** 〈贈り物のお返し〉 【例】

りーぢげーしえー やまとうぬ なれー やしが、うちなーをうてー むっちけーさーや ぐぶりーやくとう ふいー まっちから すん。(贈り物のお返しは本土の習慣で、沖縄ではその場のお返しは失礼にあたるので日を置いてからする)。

**りーぢ さふー** 〈礼儀作法〉 【例】まちげーでんわぬ ゆー あしが、ぐぶりー さびたんでいーる ちゆくとうばぬ ねーらん、りーぢさふーぬ なてーをうらん。(間違い電話がよくあるが、失礼しましたという一言がなくて、礼儀作法がなっていない)。

**〜りかー** 〈〜のあたり〉 【例】いゆまちえー

ー まーりかー (=まーむていー) やが?

ありかー てー。(魚市場はどのあたりか。あの辺だよ)。くりかーんかい ししまちえー あいびーみ?(このあたりに肉市場はありますか)。ありかー (あのあたり)、うりかー (そのあたり)。

**りくち** 〈ずる賢いこと〉 【例】さき ぬまー

に じん はらいうとうち ないねー にんたんふーなーっし はな ふちよーしが、じん はらてい ちーねー わからん ふーなーっし うきーん。あれー ちゃー うんぐとうーっし りくち くわとーん やー。(酒を飲んでお金を払うときになると寝ているふりをしているが、支払いして来ると分からないふりをして起きる。あいつはいつもこんなことをしてずる賢いね)。あれー たんちゃー やくとう、りくち しーねー うかーさん どー。(あの人は短気者なので、理屈をこねると危ないよ)。

**りくちゃー** 〈ずる賢い人〉 【例】あれー

あん いーねー かん いーっし はていぬ りくちゃー やくとう、ならん／しからん さー。(あの人はああ言うところ言う、大変なず



るい人なので、どうしようもない／気にくわない)。

**～りば、～れー** 〈条件、已然〉 【例】ちゃーしん いからんむん やれー、でんわ しーよー。(どうしても行けないのであれば、その時は電話しなさいよ)。まちかんでいー そーれー、さき めでい ちゃんでいー?(ずうっと待っていたのに、酒を飲んで来たって)。

**～りわ、～らー** 〈条件、未然〉 【例】ちゃーしん いからんだらー、でんわ しーよー。(どうしても行けないのであれば、前もって電話しなさいよ)。いゆらー むっち いけー、いらんどうん やらー むっちえー いくな。(要るなら持って行け、要らないのであれば持つては行くな)。【参】「行からんどうん あらー」

「要らんどうん あらー」の短縮形式はそれぞれ「行からんだらー」「要らんだらー」になる。

**りんち** 〈嫉妬〉 【例】どうーやか すぐりた い、ちゅらさたい そーる っちゅんかい りんち する っちゅんかい 「りんちゃー」んでい いーん。(自分より優れたり、きれいだったりに嫉妬する人に「焼きもちや」と言う)。【参】「りんち」は主に男女間の嫉妬に使う。っわーない。

**りんくわー** 〈防寒用の着物の一種〉 【例】うちなーぬ うとうすえー ふいーく ないねー、やーをうてー りんくわー ちちよーん。(沖縄のお年寄り寒くなると、家では「りんくわー」を着ている)。

# る

**るー／どうー** 〈龍〉 【例】るーや るー  
ぐーぬ うかみがなしーめー やてい、うちな  
ーをうてー 「るーぐしん」でいち いらっと  
ーん。(龍は竜宮の神様で、沖縄では「竜宮神」  
と言われている)。

**るーか** 〈琉歌〉 【例】るーかー るーちゅー  
ぬ うた やてい さんぱちるくさーに うた  
ーらっとーん。(琉歌は琉球の短歌で8-8-8-6  
で歌われている)。

**るーちゅー／どうーちゅー** 〈琉球〉

【例】んかしゅじりぬ るーちゅーぬ くとうば  
ー ちゃー ちかりわどう ぬくてい いちゅ  
る。(伝統的な琉球のことばはいつも遣えば残  
っていく)。

**るぐわい／どうぐわい** 〈アロエベラ、竜  
舌欄〉 【例】るぐわえー くすいむん やて  
い わたぬ やだい、ていー やちやい、ふい  
ーに やちやい、ふいさぬ やだい さる ば  
すに ちかいん。(アロエは薬草でお腹が痛く  
なったり、手を火傷したり、日焼けしたり、足  
が痛くなったりした時に使う)。



# ろ

**ろー** 〈ロウソク〉 【例】うふかじに でんきぬ  
ちゃーりてい ろー ちかーんねーならん  
なてい、まるふいーじーぬ くらしをうてー  
ちゃーしん あかがえー ねーんとーならんで  
いーる くとうぬ ゆー わかたん。(台風の  
時に電気が消えてロウソクを使わないといけな  
くなって、常日頃の暮らしではどうしても灯り

はないといけないということがよく分かった)。

**ろーま** 〈もうろく〉 【例】っちょー むる  
ぬぬ みちどう あっちゆくとう、ろーま そ  
ーる うとうすい わらたい、ぬらたい する  
むのー あらん。(人はみんな同じ道を歩む  
ので、もうろくしているお年寄りを笑ったり、  
叱ったりするものではない)。



# わ

**わー／わん** 〈私〉 【例】わんにんかい（私に）、わんねー（私は）。具志川では「わーみが」（私が）、「わーみぬ」（私の）、「わーみがる」（私こそが）、「わーめー」（私は）のようになる。。わんがどう わっさる。（悪いのは私の方だ）。わー むのー わーむん、っちゅぬ むぬん わーむん。（私のものは私のもの、人のものも私のもの）。

**わー どうー** 〈我が身〉 【例】ぬちえー たから やくとう、わーどうーぬどう あたらさる。（命は宝なので、我が身こそ大事だ）。

**わん くる** 〈私自身で〉 【例】どうーぬ くとー わんくる ないくとう しむさ。（私のことは私自身でできるので大丈夫）。

**わーきー** 〈分け前〉 【例】ちゅくい わーきー（一緒に作って利益を分け合うこと）。たんかー わーきー（山分け）。わんが じん っんぢやすくとう、っやーが やしえー ちゅくてい たいっし わーきー さな。（私がお金を出すので、お前が野菜を作って二人で分け合おう）。

**わか〜〈若〉** 【参】「わかさん」（若い）からの派生。

**わか げー いん** 〈若返る〉【活】わかげーたん、わかげーらん、わかげーてい 【例】そーぐわちねー わかみじ かみてい わかげーいん。（正月には若水をいただいて若返る）。そーぐわちねー っんぶがーぬ みじ ぬだい ふいちえーんかい みじなでいーっし わかげーいん。（正月には神聖な井戸（産ぶ泉）の水を飲

んだり額に水撫でをして若返る）。

**わかさ い に** 〈若い時〉 【例】わかさいにぬ なんぢくんぢえー こーていん っし。（若いときの苦労は買ってでもしなさい）。

**わか じーら** 〈産後の浅いからだ〉 【例】よーみぬ いーくとう、わかじーらねー ちゅちちびけーや みじ ちかてー ならんでい いらっとーたしが、うれー んかしぬ はなし どう やる。（病み気が入るので、産後の浅いからだには一ヶ月ほどは水を使ってはいけないと言われていたが、それは昔の話だ）。

**わか しらぎ** 〈若白髪〉 【例】わかしらげー くぬ やーぬ たっくいー やんでい どー。（若白髪はこの家の血統だってよ）。

**わか なち** 〈若夏〉 【例】すーまんぼーすーん あがてい、しださる ふえーかじん ふちよーしが、くぬうち うちなーや わかなち ンけーいん。（梅雨もあがって、涼しい南風も吹いているが、まもなく沖縄は若夏を迎える）。

**わか みじ** 〈若水〉 【例】そーぐわちねー わかみじ かみてい しでいがふーっし、っくわ なしーねー うぶみじさーに あみしみてい どうーがんじゅー にげー すん。（正月には若水をいただいて感謝し、子を産むと初水で浴びせて健康願いをする）。【参】「わかみじ」とは元旦の邪気払いための水。

**わか むん** 〈若者〉 【例】なまぬ わかむんぬちやーや しまくとうば ならいぶさ そーしぬ うふく なていちよーん。（現代の若者たちはしまくとうばを教わりたいたいと思っている人が多くなって来ている）。

**わか ういなぐ** 〈若い女性〉【活】わか う  
いきが 〈若い男性〉 【例】ういなぐぬ わか  
ういきがぐわー をうとう しーねー、「にー  
しえーぐわー ばーちー」んでき いらりーし  
が、ういきがぬ わかういなぐぐわー とうじ  
さんてーまん たーが ぬーんできん いら  
ん。(女性が若い男性を夫にしたら、「姉さん女  
房」と言われるが、男性が若い女性を妻にした  
としても誰も何とも言わない)。

**わかいん** 〈わかる〉【活】わかたん、わから  
ん、わかてい 【例】ぬー しえー しむんでき  
いしえー りくちしえー ゆー わかてー  
をうしが、どうーぬ うーてー くーん。(何を  
したらいいかというのは理屈ではよくわかって  
はいるが、からだが目について来ない)。

**わかいん** 〈分かれる〉【活】わかたん、わから  
ん、わかてい 【例】つくわぬちゃーや にーび  
ちっし やー わかとーん。(子どもたちは結  
婚して分家している)。参考：やーかやー そ  
ーん(借家住まいをしている)。

**わかすん** 〈沸かす〉【活】わかちゃん、わか  
さん、わかち 【例】あん すらー ゆー わかす  
み?(それならお湯を沸かすか)。なーだ わか  
んさ やー。(まだ沸かないね)。なー わちよ  
ーさ。(もう沸いたよ)。ちゃーぬ わちよーん。  
(お茶が沸いている)。ちゃー わかすくとう  
めんそーり よー。(お茶を沸かすのでいらっ  
しゃい)。ちゃー わかしーぐわー すくとう  
ちゃー ぬみーが くーわ。(お茶を沸かす  
から飲みにおいで)。【参】「ふかすん」とも言う。

**わかすん** 〈分ける〉【活】わかちゃん、わか  
さん、わかち 【例】いちゅびぬ まぎー、ぐま  
ー わかする くーとー、なまー っちゅのー  
さん、やーまさーに すん。(イチゴの大きい  
のと小さいのを分けることは、今は人はしない、  
機械です)。たいが なーか ちりわかすん。  
(二人を仲違いさせる)。なちぬ あめー っん  
まぬ くらん くんわかすん。(夏の雨は馬の

鞍の濡れたところとそうでないところをはっき  
り分ける)。

**わかりーん** 〈別れる〉【活】わかりたん、わ  
かりらん、わかりてい

**わかり** 〈別れ〉 【例】わかりぬ しからーさ  
ー たー やていん あたていちゅーん。(別  
れの寂しさは誰でも経験するものだ)。

**わかり あちさ** 〈最後の暑さ〉 【例】ちぬ  
ーや ふしがらん あたい あちさたしが、ち  
ゅーや しだく などーんねーっし、ちぬーや  
わかりあちさどう やてーさ やー。(昨日  
は我慢できないほど暑かったが、今日は涼しく  
なっているようで、昨日は最後の暑さだったん  
だね)。

**わかり びーさ** 〈余寒〉 【例】うちなーぬ  
ふよー いんちゃさしが、みけーんぐれーぬ  
かんぬ ちゅーさる とうちぬ あてい、「む  
ーちー びーさ」、「とうんじー びーさ」、「そ  
ーぐわち びーさ」んでき いらっとうん。う  
ちなーぐゆみぬ にんぐわちから うりじんぬ  
しち ないるまでいねー ぬくばーたい、ふ  
いーく なたい すしぬ、たけーん、みけーん  
あしが、うぬ くとうんかい「わかり びー  
さ」んでき いちよーん。(沖縄の冬は短いが、  
3回ほどの寒さの厳しいときがあって、「鬼餅  
寒さ」、「冬至寒さ」、「旧正月寒さ」と言われ  
ている。旧暦の2月から春の季節になるまでには  
暖かくなったり、寒くなったりすることが2、  
3回あるが、そのことに「余寒(別れ寒さ)」と  
言っている)。わかりびーさぬ ばすねー、また  
ん にじららん ふいーさぬどう むどうてい  
ちやがやー ンでいーるあた い ふいーく な  
いん。(余寒の折は、またしても耐えられない寒  
さが戻って来たのかというほど寒くなる)。

**わごー、まるみ** 〈和〉 【例】おーえーむ  
んどーや さんぐとう、えーじゅーわごー と  
うれー。(けんかはしないで、仲間との和をとり  
なさい)。

**わさわさ すん** 〈がやがやする〉【活】～さ

ん、～さん、～っし 【例】くまー わらびんちゃーぬ わさわさそーくとう、むぬかんげーん はなしん ならん。(ここは子どもたちががやがや騒ぐので、ものを考えることも話もできない)。

**わさみちゅん** 〈騒ぐ〉【活】わさみちゃん、わさみかん、わさみち 【例】ぬーが やら んにぬ わさみちゆくとう、ちゅーや かーまん かえー いかんしえー まし。(何かしら胸騒ぎがするので、今日は遠くには行かない方がいい)。

**わしーん** 〈忘れる〉【活】わしたん、わしらん、わしてい 【例】わしてー ならんくとう ちかぐろー ゆー わしーくとう なー うぬ とうし なんとーがやー。しわ やさ。(忘れてはいけないことを近頃はよく忘れるので、もうそういう歳になっているのかねえ。心配だ)。

**わじーん** 〈腹をたてる、怒る〉【活】わじたん、わじらん、わじてい

**わじわじ すん** 〈腹をたてる、怒る〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】あれー うふいぐわー わじとーたん どー。(あの人は少し怒っていたよ)。っやーや ぬーぬ くとうんかい わじとーる ばーが？(あなたは何の事に怒っているのか)。【参】わたむげーゆん。

**わした** 〈我々(強調)〉 【例】うやふあーふじぬ ちむぐくる うきちぢ わした しま うちなぬ みるくゆがふー にがゆん。(祖先の精神を受け継いで我々地元の沖縄の繁栄を願う)。

**わじゃ** 〈仕事、職業〉 【例】ちかぐろー じんぬ みぐいぬ わっさる たみなかい わじゃ ねーん ないる っちゅぬちやーぬ うふく なてい、ぬーぬ わじゃ やていん さねーならん なんとーん。(最近是不景気のために失業する人々が多くなって、どんな仕事でもしないといけなくなっている)。

**わじゃうえー** 〈災い〉 【例】くちえー わじゃうえーぬ むとう やくとう、くちえー くぐにーてい ちかり よー。(口は災いのもとなので、ことばは慎重に使いなさいよ)。

**わじら わじら すん** 〈今にも怒りそう〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】あれー わじらわじら そーくとう、あぬくとー ぬーん あびらんしえー まし どー。(あの人は今にも腹をたてそうなので、あのことは何も言わない方がいい)。

**わじゃむん** 〈しわがよる、しかめっつらになる〉【活】わじゃだん、わじゃまん、わじゃでい 【例】どうく ふいーさぬ、ちらまでい わじゃどーん。(あまりに寒くて顔までしかめっ面になっている)。っちゅぬ めーんぢえー わじゃむな けー。(人前ではしかめっ面をするな)。

**わじゃみーん** 〈しわをよせる〉【活】わじゃみたん、わじゃみらん、わじゃみてい 【参】わじゃんくえー (しかめ食い)。

**わじゃんかー すん** 〈しかめっ面をする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】っちゅぬ めーんぢえー わじゃんかー すなけー。(人前ではしかめっ面はするな)。んぢやなばーじるとうか、フーチバーじるとうか、ゴーヤージュースとうか ぬみーねー、どうく んぢやさぬ、ちらまでい わじゃんかー ないん。(苦菜葉汁やヨモギ汁やゴーヤージュースを飲むと、あまりに苦くて、顔までしかめっ面になる)。

**わた** 〈腹〉 【例】なーだ わたびないん さんくとう、むのー なー うふいぐわーっしから かむさ。(まだお腹は減っていないので、食事はもう少ししてから食べるね)。

**わた うち** 〈腹のなか〉 【例】くちしえー あん いちよーしが、わたうちまでー わからん。(口ではそう言っているが、腹の中まではわからない)。

**わたぬ みー** 〈腹一杯〉【活】わた なから 〈腹半分〉 【例】むのー わたぬみー かむし



やかにん わたなから かむしぬどう まし  
やん。(食べ物は腹一杯食べるよりも腹八分  
食べるのがいいのだ)。

**わた でー** 〈腹持ち〉 【例】むちえー わ  
たでーぬ あてい、まーさん。(餅は腹持ちがよ  
くて、おいしい)。

**わた ぶたー** 〈出腹の者〉 【例】くぬぐろ  
ー ちゃー ぬだい かだいっし っんぢゅち  
ゆるくとうん さんくとう、ちゅらーさ わた  
ぶたー なんとん。(この頃はいつも飲んだり  
食べたりして体を動かすこともしないので、す  
っかりお腹が出てきている)。

**わた ふっくいー** 〈お腹が張ること〉 【例】  
かみぢゅーさぬ、わたふっくいーっし ちむい  
ふなー そーっさー。(食べ過ぎてお腹が張っ  
て気分が悪くなっているよ)。はらいる じの  
ー ちゅいぶん やしが、かむしえー ちゃっ  
さ やていん かまりーくとう わたふっくい  
ー そーっさー。(払うお金は一人分だが、食べ  
るのはいくらでも食べられるので腹一杯になっ  
ている)。

**わた ぼんぼん すん** 〈お腹がだぶだぶす  
る〉 【活】～さん、～さん、～っし 【例】ちゃー  
ぬみぢゅーさぬ、わた ぼんぼん そーん。(お  
茶を飲み過ぎて、お腹がだぶだぶしている)。

**わた むげーゆん** 〈はらわたが煮えくり返  
る〉 【活】～むげーたん、～むげーらん、～むげー  
てい 【例】＝みーぬ みーらん ないる あた  
い わじとーん。(目が見えなくなるほど怒っ  
ている)。＝たっくるすがやーんでい うむい  
る あたい わじとーん。(ぶん殴ってやろう  
かと思うほど怒っている)。あれー ゆくしむ  
にーっし しらん ふーなー そーくとう、わ  
んねー わたむげー そーっさー。(あいつは  
嘘をついて知らんふりしているので、私ははら  
わたが煮えくり返っている)。

**わたいん** 〈渡る〉 【活】わたたん、わたらん、  
わたてい 【例】かじまやーぬ うゆうえーに  
ななちぬ あじまー とぅーてい やくばれ  
ーっし どうー ちゅみーる くとうんかい

「ななちぬ はし わたいん」でい いーん。  
(数え98歳のお祝いを7つの十字路を通して  
厄払いして体を清めることに「7つの橋[13、  
25、37、49、61、73、85の厄年]を  
渡る」という)。

**わたすん** 〈渡す〉 【活】わたちゃん、わたさ  
ん、わたし 【例】ていまー いち わたすが?  
(手間賃はいつくれるの)。くぬめー はたらち  
やる ばすぬ ていまー ちゃー なんとーが?  
(この前働いたときの手間賃はどうなっている  
のか)。

**わたくし** 〈へそくり〉 【例】わたくしぐわー  
や うふいぐわーぬ くとうしえー ちかいぶ  
しこー ねーらんくとう、たまい しんでー  
ゆくん ちかいぶしこー ねーらん ないん。  
(へそくりはちょっとしたことで使いたくな  
いので、たまるにつれて余計に使いたくなくな  
る)。

**わたんぢ** 〈船着き場〉 【例】わたんぢえ  
ー ちゅーん あみ やてい、たーん をうら  
んたん。(船着き場は今日も雨で、誰も居なかつ  
た)。

**わち ぎー** 〈脇毛〉 【例】わちぎーや う  
いきがー みーらっていん ぬーんちえー う  
まーんしが、ういなごー ふーじえー ねーら  
ん。(脇毛は男性は見られても何とも思わない  
が、女性はみっともない)。

**わちゃくいん** 〈からかう〉 【活】わちゃく  
たん、わちゃくらん、わちゃくてい 【例】っ  
ちゅ わちゃくてい ぬーぬ とうくぬ あ  
が?(人をからかって何の得があるか)。っやー  
や っちゅびかー わちゃくてい あっちょー  
しが、なまに まぎく わちゃくらりーん ど  
ー。(あなたは他人をからかってばかりいるが、  
今にすごくいたずらされるよ)。

**わちゃく すん** 〈からかう〉 【活】～さん、～  
さん、～っし 【例】あぬ たえー ちゃー っ  
ういーりきさ そーくとう、いふえー わちゃ

くっしとうらさ。(あの二人はいつも楽しんでいるから、少しばかりからかってやろう)。

**わちゃく** 〈からかうこと〉 【例】あれー わん わちゃくそーる／わちゃくとーる ちむえー やさ やー。(あの人は私をからかってるわけだね)。

**わちゃらいん** 〈わづらう〉【活】わちゃらたん、わちゃらーん、わちゃらてい 【例】いちゆなさんかい わちゃらーってい とうじとう かながなーっとう はなしする まどうん ねーらん。(忙しさにわづらわされて妻とむつまじく話をする間もない)。

**わちゃれー** 〈わづらい〉 【例】わちゃれーぐとー ないるかぢり はんさーに とうーいぶさん。(煩わしいことはできるだけ外して歩みたい)。

**わちゅん** 〈湧く〉【活】わちゃん、わかん、わち 【例】みじぬ わちゅる いじゅのー 「ふいーじゃー」 ンでい いち、うちなーをうてーぬみみじ さい たーぶっくわ なたい そーん。(水が湧く泉は「樋川」といって、沖縄では飲料水にしたり田んぼになったりしている)。

**わっくわすん** 〈ほぐす〉【活】わっくわちゃん、わっくわさん、わっくわち 【例】まーみなーちゃんぶるーんかえー とーほー ほーちゃー いりーしやかにん ていーさーに わっくわすしどう まーさん。(もやしチャンプルーには豆腐は包丁で切るよりも手でほぐすのがおいしい)。

**わっくいーん** 〈ほぐれる、分解する〉【活】わっくいたん、わっくいらん、わっくいてい 【例】やまとうをうてい でーだかー くわーし こーていちゃしが、あきてい んーちゃくとう わっくいとーてい まーこー かまらん などーたん。(本土で高級菓子を買って来たが、開けてみるとばらばらになっていて美味しくは食べれなくなっていた)。

**わったー** 〈私たち〉 【例】わったーんかえー あかーとう しるーぬ ちゅらくーいゆぬ をうしが、んーちんーぢゅみ？(私の家には赤と白のきれいな鯉がいるが、観てみるか)。  
**わったー** くる 〈私たち自身で〉 【例】わったーくる さびーくとう、うんじょー しわー しみしえーびーんな よー。(私たちでしますので、あなた様はご心配なさらないくださいよ)。

**わび** 〈詫び〉 【例】どうーぬ わっさんでい うむいねー、しぐ しかっとう わび すん。(自分が悪いと思ったら、すぐにきちんとあやまる)。

**わらいん** 〈笑う〉【活】わらたん、わらーん、わらてい 【例】をうかさる くとうびけーん かい わらいしえー あらん、うしえーわれーん あん。(おかしいことだけに笑うのではない、人をバカにした笑いもある)。つくわとー わらーりーしが、じんとー わらーらん。(子とは笑い合えるが、お金とは笑い合えない)。たか われー (声に出して笑う)、なち われー (泣き笑い)、みー われー (ほほ笑み)、さー われー (うす笑い)、かたくち われー (せせら笑い)、うふ われー (大笑い)、くー われー (くすくす笑い)、なま われー (にやにやする笑い)、んぢや われー (苦笑い)、あった われー (急に笑うこと)、なまじゃー われー (生意気な笑い)、なまじら われー (おどけた笑い) うびっんぢやし われー (思い出し笑い)、あじゃむち われー (あざ笑い)。

**わらーらん われー** 〈無理な笑い〉 【例】うむこー ねーんむんぬ、わらーらん われー すしえー ちむ ふがん。(おもしろくもないのに、無理な笑いをするのは気持ちがすっきりしない)。

**われー かんぢゅん** 〈にこにこ笑う〉【活】〜かんたん、〜かんだん、〜かんてい 【例】あまぬ まちやぬ ぬーしえー いちゅる かーじ われーかんてい んけーいくとう いちやっさ

ん。(あちらのお店のご主人は行くごとにここにこ笑って迎えるので行きやすい)。

**われー ばなし** 〈笑い話〉 【例】いちちょーる うちえー くちさたる くとうん あとー うあとー われーばなし ないる くとうん あん。(人生においてはつらかったことも後では笑い話になることもある)。

**われー ふくい** 〈喜び笑い〉 【例】うっさっし われーかんとーるくとー 「われーふくい すん」でい いーん。(喜んで笑いころげていることを「喜び笑いする」と言う)。

**わらび** 〈子ども〉 【例】わらび しかすんねーっし しえーくいーんな けー。(子どもをあやすようにしてはくれるな)。わらびあちけーや しえーくいーんな けー。(子ども扱いはしてはくれるな)。うとうすえー わらび ないけーいくとう くめーきてい ふいらてい いちゅし やん。(お年寄りは子どものようになり変わるので注意を払ってつき合っていくべきだ)。わらべー ならーし むん。(子どもはしつけ次第だ)。

**わらばー ぐいー** 〈子どもの声〉 【例】わらばーぐいーや くいーだかさくとう、なちどう をうが、わらていどう をうが、わかいぐりさん。(子どもの声は泣いているのか、笑っているのか、判りにくい)。

**わらび がみ** 〈童神〉 【例】わらびぬ くくろー ちゅらみじぬ ぐとう しどーくとう、「わらびがみ」んでいーる くとうばぬ あん。(子どもの心は清水のように澄んでいるので、「わらびがみ」ということばがある)。

**わらび ぐいー** 〈子どものような声〉 【例】ちらー んーぢーねー とうし っんぢょーん ねー すしが、くいーや わらびぐいー そーん やー。(顔を見ると歳が行っているようだが、声は子どものような声をしているね)。

**わらび ぢむ** 〈童心〉 【例】んかしえー、ういなごー ちねーんかい くだっとうたくとう、どうーぬ しーぶさる くとうん うむいる ぐとー ならんたしが、ういきがー い

ちちょーる かぢり わらびぢむ むっち どうーぬ しーぶさる くとう ちゃーしん さん。(昔は、女性は家庭に縛られていたので、自分のしたいことも思うようにはできなかったが、男性は生涯童心を持って自分がしたいことを追求した)。

**わらび なー** 〈童名〉 【例】あやかりよーんでいち うやふあーふじからぬ なー わらびなーとうっし ちきとーたん。(あやかりなさいといって祖先からの名を童名として付けていた)。

**わらび なち** 〈子どものように大泣きすること〉 【例】ふいさん しりしりーっし わらびなち そーたる うふっちゅぬ はなし ちちー？(地だんだを踏んで子どものように大泣きしていた大人の話聞いたか)。

**わらび んちゃー** 〈子どもたち〉 【例】むんならーし しーねー、ぬーやていん ないくとう、わらびんちゃーや ならーしな むん。(ものを教えると、何でもできるので、子どもたちは教え育てるもの)。

**わいん** 〈割る〉【活】わたん、わらん、わてい 【例】たむん わてい、やっくわん めしてい ゆー ふかちやい、ゆーふる わかちやい する くとうん ねーん などーん。(薪を割って、やかんを置いてお湯を沸かしたり、風呂を沸かししたりすることなくなっている)。

**わりーん** 〈割れる〉【活】わりたん、わりらん、わりてい

**わり がーみ** 〈大酒飲み〉 【例】あれー わりがーみぬぐとう さけー ちゃっさ やていん ぬむん。(あの人は割れ甕のように酒はいくらでも飲む)。

**わり むん** 〈割れ物〉 【例】わりむん やくとう っんぢゅかする とうちねー ゆーっし よー。(割れ物なので動かすときにはよく注意しなさいよ)。

**わんちゃめーいん** 〈(物品で) 弁償する〉 【活】わんちゃめーたん、わんちゃめーらん、わ

んちゃめーてい 【例】かたる プレーヤー  
 やんちゃーに みーむん こーていっち わん  
 ちゃめーたん。(借りたプレーヤーを壊して新  
 品を買って来て弁償した)。【参】はちゅん(お  
 金で弁償する)；かたる みーぐるまー やん  
 ちゃーに なかなかーする あたいぬ じんさ  
 ーに はちゃん(借りた新車を壊して泣きたく  
 なるほどのお金を弁償した)。

**わんぶー** 〈どんぶり〉 【例】わんぶーや  
 ほーちゅー する とうちに ちかいる まぎ  
 まかい やしが、すんかんや すば、ていびち、  
 そーき かむる ばすに ちかいる まかい  
 やん。(「わんぶー」は料理の際に使う大きなど  
 んぶりだが、「すんかん」はソバ、てびち、ソー  
 キを食べるときに使うどんぶりだ)。【参】すん  
 かん(磁器の小さいどんぶり)。



# うい

**ういー** 〈柄〉 【例】ほーちゃーぬ ういーぬ  
ゆるどーくとう うかーさん。(包丁の柄が  
ゆるんでいるので危ない)。

**ういーゆん** 〈酔う〉 【活】ういーたん、うい  
ーらん、ういーてい 【例】めーや そーぐわち  
ねー ういっちゃーぬ うふさたしが、ちかぐ  
ろー あんすかー みーらん。(以前は正月に  
は酔っぱらいが多かったが、近頃はそんなに見  
ない)。っちゅぬ まんどーる とうくまー  
っちゅういーっし ならん さー。(人がたく  
さんのところは人酔いしてたまらない)。

**ういー なち** 〈酔い泣き〉 【活】ういー に  
んぢ 〈酔い寝〉 【例】いるんな さきぐしぬ  
あてい、ういーなちやーん、ういーにんぢや  
ーん、たーんかい やていん じん くいーる  
ういーふりむぬん をうん。(いろいろな酒  
癖があって、酔って泣く人も、酔って寝る人も、  
誰にでもお金をくれる酔っぱらいバカもいる)。

**ういっちゃー、ういっちゅ** 〈酔っぱらい〉  
【例】ういーとーる っちよー 「ういっちゅ」  
やしが、「ういっちゃー」んでいん いーん。  
(酔っている人は「ういっちゅ」だが、「ういっ  
ちゃー」とも言う)。【参】「ういっちゃー」は  
「ういっちゅ」からの派生で、「わらび」から派  
生した「わらばー」や「ゆんたく」から派生し  
た「ゆんたかー」とは同類。

**ういー ばちゆん** 〈吐き気を催す〉 【活】～  
ばちゃん、～ばかん、～ばち 【例】ういーばちゆ  
くとう、なるびちえー ふにんかえー ぬいぶ  
しこーねーん。(吐き気を催すので、なるだけ船  
には乗りたくない)。バス ぬていん ういー

ばちゆん、つくわ むちはじみーん ういーば  
ちゆん。(バスに乗っても吐き気を催す、つわり  
も吐き気を催す)。

**ういー ばち かーかー すん** 〈吐き気  
を催す〉 【活】～さん、～さん、～っし 【例】ふに  
ぬてい ういーばちかーかー そーん。(船  
に乗って吐き気を催す)。なーふあぬ まちぐ  
わーや っちゅぬ うふさぬ、っちゅういーさ  
ーに ういーばちかーかー そーん。(那覇の  
市場は人が多くて、人酔いで吐き気を催してい  
る)。

**ういー ふりーん** 〈酔って正体を失う〉  
【活】～ふりたん、～ふりらん、～ふりてい 【例】  
ういーふりーる さこー さけー ぬむな け  
ー。(酔って正体を失うほどは酒は飲むなよ)。

**ういきー** 〈男兄弟、男の子〉 【例】わんね  
ー ういきーぬ たい をうん。(私は男兄弟  
が二人いる)。わんねー くわー みっちやい  
をうしが、たいや ういきー、ちゅいや を  
うない やん。(私は子が三人だが、二人は男の  
子、一人は女の子だ)。わんねー くわー たい  
をうしが、をうない ういきー やん どー。  
(私は子が二人いるが、女の子と男の子ですよ)。

**ういきが** 〈男〉 【例】ういきがー そーき  
ぶに ていーち ふすくんでい いちん、うい  
きがぬ ちゅくとうばー すーむんがーいんで  
いん いらっとーん。(男は肋骨が1つ不足と  
言っても、男の一言は証文代わりとも言われて  
いる)。ういきがとう ういなごー むちとう  
かーさんねー。(男と女は餅とそれを包む広  
葉のように、夫婦はいつも仲良く)。

ういきが ふぁーふじ 〈祖父〉【活】ういなぐ ふぁーふじ 〈祖母〉 【例】すいをうてー  
ういきがふぁーふじえー 「たんめー」、う  
いなぐふぁーふじえー 「っんめー」んでい  
いーん。(首里では祖父は「たんめー」、祖母は  
「っんめー」と言う)。

ういきが ふーじー 〈男のような女〉【活】  
ういなぐ ふーじー 〈女のような男〉 【例】う  
いきがふーじーぬ ういなぐんでい いーしえ  
ー ういなぐらーさぬ ねーらん ういなぐ  
やてい、ういなぐふーじーや ういきがらーさ  
ぬ ねーらん ういきが やん。(「ういきがふ  
ーじー」と言うのは女らしさがない女性で、「う  
いなぐふーじー」は男らしさのない男性だ)。

ういきが やぐさみ 〈男やもめ〉【活】うい  
きが まさい 〈男勝り〉、ういきが んぐわ 〈男  
の子〉、ういきがぬ うや 〈父親〉、ういきが  
しーじゃ 〈兄〉、ういきが しとう 〈しゅうと〉、  
ういきが うっとう 〈弟〉、ういきが わらび  
〈男の子〉

ういなぐ 〈女〉 【例】ういなごー っんまり  
や っちゅくに、すだちや なくに。(女性は  
産まれの国は1つだが、育つ国は7つ)。ういな  
ごー やーぬ かじとうい。(女性は家庭の舵  
取り、家庭内のことは女性に任せて家庭円満)。

ういなごー いくさぬ さちばい。(女性は戦  
の先駆け、いざという時には女性の方が強い)。

ういなぐ だち 〈女所帯〉 【例】ういなぐ  
だちんでい いーしえー、ういきがぬうやぬ  
をうらん ちねー やん。(女所帯といのは、父  
親のいない家庭である)。

ういなぐ ぬーし 〈女主人〉 【例】でー  
でー うきちがとーる やどうねー ぬーが  
やら ういきがぬーし やかにん ういなぐ  
ぬーしぬ うふさん。(代々受け継いでいる旅  
館にはどうしてなのか男主人よりも女主人が多  
い)。

ういなぐ むちり 〈女狂い〉 【例】うい  
きがぬ ういなぐんかい むちりーる くとう  
んかい、ういなぐむちり そーんでい いーん。  
(男が女に夢中になっていることを、女狂いとい  
う)。

ういなぐ めーさー 〈女の子におべっかを  
使う者〉 【例】ういなぐめーさーん をうく  
とう ちー ちきり よー。(女の子におべっ  
かを使う者もいるので、気を付けなさいよ)。

ういなぐんぐわ 〈女の子〉【活】ういなぐぬ  
うや 〈母親〉、ういなぐ しーじゃ 〈姉〉、う  
いなぐ しとう 〈しゅうとめ〉、ういなぐ う  
っとう 〈妹〉、ういなぐ わらび 〈女の子〉

# をう

**をうー** 〈芋〉 【例】をうーんでい いーしえー ばさーぬ ふに やてい、っわーがー、なかがー、うーくがーから なんとーん。っわーがーや はちやーに をうーあたいぬ くえーなすん。なかがーとう うーくがーや にじかん びけー にやーに しださる とうくまんかい かーぎぶし すん。うーくがーや まっしーるーぬ じょーとうー いーちゅー ないん。をうー ちんぢゅてい ばさーぢん ちゅくいん。(芋というのは糸芭蕉の茎で、上皮、中皮、奥皮からなっている。上皮は剥いて芋畑の肥料にする。中皮と奥皮は2時間ほど煮て涼しいところに陰干しをする。奥皮は真っ白い上質の糸になる。芋を紡いで芭蕉布をつくる)。

**をうー** 〈緒〉 【例】わらびんちゃーぬ ふすぬ をうー あたらさっし かじみてーん。(子どもたちのヘソの緒を大切にしまっている)。

**をうー** 〈雄〉

**をうー ぢる** 〈雄弦〉 【例】さんしぬんかえー をうーぢる、なかぢる、みーぢるぬ あてい、をうーぢろー あらさくとう つんぶらーさる うとうぬ つんぢーん。(三線には雄弦、中弦、雌弦があって、雄弦はどの弦よりも太いので重々しい低い音が出る)。

**をうーどうい** 〈雄鶏〉

**をうー むなー、をうー むん** 〈雄〉

【例】ないむん ないる きーや をうーむんとう みーむん っういーねー ゆー みーぬ ちちゅんでい。(果物がなる木は雄木と雌木を植えるとよく実が付くんだって)。

**をういみ／をうゆみ** 〈四季折々の祝日〉

【例】うちなーぬ をういめー たーがん ならーちやる むのー あらん、まーいぬ うみ、やま、あみ、かじ、ぢー、きーくさ、いちむしんでーからぬ ならーしさーに をういみぬ はじまたん、まくとう ふいるましーむん やー。(沖縄の祝日は誰が教えたものでもない、周囲の海、山、雨、風、地、植物、動物などからの教えで祝日は始まった、本当に不思議なことだね)。

**をういみ しちび** 〈年間行事〉 【例】うちなーや をういみしちべー うちなーぐゆみさーに うさぎてい、っちゅぬ くらしがた まむたい、ゆがふー にがたい そーん。(沖縄は年間行事は陰暦でお供えをして、人々の暮らしを守ったり、豊年を願ったりしている)。

**をうーいん** 〈折る〉【活】をうーたん、をうーらん、をうーてい 【例】きーぬ かりゆだ をうーてい たむん さん。(木の枯れ枝を折って薪にした)。あみふいに しんでいていくるばーに ていー をうーたん。(雨降りに滑って転んで手を折った)。

**をうーりーん** 〈折れる、我を折る〉【活】をうーりたん、をうーりらん、をうーりてい 【例】みーぬ いらー くび をうーりり。(実れば首を垂れる稲穂かな)。

**をうーいん** 〈揺り動かす〉【活】をうーたん、をうーらん、をうーてい 【例】んかしえー っくわむやーや っくわ をうーていどう しかすたしが、なまー あかんぐわぬ ちぶる あ



んすか をうーてー ならんでい いらっとーん。(昔は子守りは子を揺れ動かしてなだめたが、今は赤ん坊の頭をそんなに揺れ動かしてはいけないと言われている)。**【参】** っういーちゅん (地震で揺れ動く)。

**をうーい わっくわすん** 〈揺すぶってばらばらにする〉**【活】** ~わっくわちゃん、~わっくわさん、~わっくわち **【例】** とーふ をうーいわっくわちえー ならん どー。ちーちきてい よーんなー むっちくー よー。(豆腐を揺すぶってばらばらにしてはいけないよ。気をつけてゆっくり持って来なさいよ)。

**をうーじ** 〈砂糖きび〉 **【例】** をうーじぬしる にやーに ちゅくてーる くるじゃーたーさーに いるかじぬ まーさぐわーしぬ なまー みーくに っんぢとーん。(砂糖きびの汁を煮詰めて作ってある黒砂糖でいろいろなおいしいお菓子が今は出てきている)。

**をうーじーん** 〈応じる、承諾する〉**【活】** をうーじたん、をうーじらん、をうーじてい **【例】** あれー んーぱする くとー わからん、っちゅぬ いーしえー いちん 「うー、うー」っし をうーじてい、あとー うっちゃんぎやーに ふいんぎまーい すん。(あの人は断ることは知らない、人が言うのはいつも「はい、はい」と応じて、終いには投げだして逃げ回っている)。

**をうがむん** 〈拝む〉**【活】** をうがだん、をうがまん、をうがでい **【例】** だきだきみやみや をうがでい うにげーさくとうどう なしむぬ っくわに みぐまりやびたる。(あちらこちらの御嶽やお宮を拜んでお願いしたから子宝に恵まれたんでしょう)。「ちゅー をうがまびら!!」や やーぬ ふかをうていぬ えーさち やたんでい いーしが、なまー やーぬ なかをうていん ちかいる っちゅぬちゃーん うふく なんとーん。(「こんにちは!!」は屋外での挨拶だったというが、現在は屋内でも使う人たちも多くなっている)。うんじゅが かなさ そー

る ちぶやぬ やちむん ちゅけーん やていん をうがまち うたびみそーり。(あなた様がとても大事にしている壺屋の陶器を拝見させていただきます)。なげーさ をうがまん、うがんじゅー あみしえーていー?(お久しぶりですが、お元気でいらっしゃいましたか)。うなーや をうがだる うびぬ あいびーん。(お名前は聞いた覚えがあります)。けんちじぬめーとう っういーちえー をうがますくとう しわー しみそーんな。(県知事とお会いさせますからご心配はなさらないで)。

**をうがりーん** 〈飢える〉**【活】** をうがりたん、をうがりらん、をうがりてい **【例】** なまぬ ゆー やていん かみむぬん ねーらん をうがりじに する わらびんちゃーん まんどーんでい。(現在の世でも食べるものもなく飢死する子どもたちがたくさんいるって)。あれー じぬんかい をうがりてい、むぬんかいん をうがりてい、あとーあとー ちゃー ないがすら?(あの人はお金に飢え、物にも飢えて、終いにはいったいどうなることか)。

**をうさまいん** 〈収まる〉**【活】** をうさまたん、をうさまらん、をうさまてい **【例】** ふいーぬ ちゃーりてい くわじん をうさまとーしえー。(火も消えて火事もおさまっているじゃないか)。うふかじん ふいんぎてい をうさまとーん やー。(台風も行ってしまうておさまっているね)。たんかーぬ みーとうんだおーえーん しじか なてい をうさまとーさやー。(向かいの夫婦喧嘩も静かになっておさまっているね)。

**をうさみーん** 〈収める、しつける〉**【活】** をうさみたん、をうさみらん、をうさみてい **【例】** あまぬ うやー っくわぬちゃー ゆー をうさみとーん やー。(あそこの親は子どもたちをよくしつけているね)。

**をうじゃさー** 〈叔父〉**【活】** をうんちゅー 〈叔父〉 **【例】** いったー をうじゃさーや ま

一んかい くらちょーみしえーが？(あなたの叔父さんはどこに住んでいらっしゃいますか)。をうんちゅーや いくたい をうが？(叔父さんは何名いるか)。

**をうたいん** 〈疲れる〉【活】をうたたん、をうたらん、をうたてい 【例】かぎぬん わからん、まるはんにち なーぬ ほーちかち さーに いっぺー をうたたん。(加減することなく、半日も庭の掃除をしてとても疲れた)。たびから けーていちゃしが、をうたとーたくとう ふえーく にんたん。(旅行から帰って来たが、疲れていたので早く寝た)。

**をうっていー** 〈おととい〉 【例】をうっていーや をうどういぬ ちーく そーたん どー。(おとといは踊りの練習をしていたよ)。

**をうとう** 〈夫〉 【例】ういなぐんかえー をうとう むちゅんてい いーしが、ういきが ンかえー とうじ とうめーいんてい いーん。(女性には夫を支える [=結婚する] という が、男性には妻を見つけるという)。をうとう ゆし とうじ ゆし。(夫と妻は助け合い、譲り合う)。

**をうどういん** 〈踊る〉【活】をうどうたん、をうどうらん、をうどうてい 【例】をうどういぬ ンすとう ありが をうどういぬ ゆー うちやてい いっぺー みーむん やたん。(踊りの衣装とあの人の踊りがよく合ってとても見応えがあった)。

**をうどうい** 〈踊り〉 【例】をうどういんかえー にーしえーをうどうい、わかしゅーをうどうい、ういなぐをうどういぬ あしが、をうどうえー むとうむとう ういきがぬ する むん やたん。(踊りには、青年踊り、若衆踊り、女踊りがあるが、踊りは元来男性がするものであった)。

**をうどうい** さー 〈舞踊家〉【活】しばい しー／しばい さー〈役者〉 【例】をうどうい

さーとー ちがてい、うちなーぬ しばいしー／しばいさーや うた、をうどうい、しばいぬ みーち なりわどう やる。(舞踊家とは違って、沖縄の役者は歌、踊り、芝居の3つができないといけない)。

**をうどうい** にんじゅ 〈舞踊団、劇団〉 【例】ちかぐろー わらびんちやーぬ をうどういにんじゅぬ をうどういする ひょーしぬ うふまていちょーん。(最近は児童舞踊団が踊りをする機会が多くなって来ている)。

**をうない** 〈姉妹〉 【例】をうなえー ういきがぬ まむいがみ ならびーる ばすねー、「をうない ういきが ならびーる ばすねー」、「をうない ういきが」んでー いーしが、「ういきが をうない」んでー いらん。(姉妹は兄弟の守り神になっているように、姉妹と兄弟を並べる際には、「姉妹 兄弟」とは言うが、「兄弟 姉妹」とは言わない)。

**をうない** げーい 〈兄弟の二人で姉妹の二人を妻にすること〉 【例】をうないげーい ンていしえー、ういきがちよーでーさーに をうないぬ しーじゃ、えーねー うっとう とうじ する くと うん。(‘をうないげーい’というのは兄弟の二人で姉妹のいずれかを妻にすることである)。

**をうばまー** 〈伯母〉 【例】いったー をうばまーや がんぢゅー そーみ？(あなたの伯母さんは元気か)。

**をうん** 〈恩〉 【例】をうんぬ ある っちゅぬ をうんぢ わしーねー、やみぬ ゆー やん。(恩のある人の恩義を忘れたのなら、世は闇)。

**をうん** 〈居る〉【活】をうたん、をうらん、をうてい 【例】はぶぬ をういが すら わからん くと、ゆー くくりり よー。(ハブがいるかどうか分からないので、よく注意しなさいよ)。



を

を一じ 〈王子〉 【例】うしゅがなしーめーぬ  
ういきぐわんぐわ、さちうすがなしーめーぬ  
ういきぐわんぐわんかい を一じんでい い

ーん。あんしから、うしゅがなしーめーんかい  
ちぢゆる くれーんかいん を一じんでい  
いーん。(王様の息子、先王の息子に王子とい  
う。それから、王に次ぐ位にも王子という)。



# っわ

**っわー** 〈豚〉 【例】しまっんまりぬ あぐー  
んでいーる っわーぬどう まーさんでい い  
らっとーん。(原産のアグーという豚がおいし  
いと言われている)。っわーじしえー うちな  
ーをうてー をういみしちびぬ かみむん ち  
ゆくいる ばすねー かななじ ちかいる む  
ん やん。(豚肉は沖縄では年間行事の料理を  
作る際には必ず使うものだ)。

**っわー**〜〈上〉

**っわーび がー** 〈表面の皮〉 【例】りんご  
ぬ っわーびがー んち じょーじえー はじ  
みから なー ないるまでい ちらさんぐとう  
んちゅん。(リンゴの皮剥き上手は始めから  
終わりまで切らさないで剥く)。

**っわー しば** 〈上唇〉 【例】っわーしばぬ  
ふいっさる っちゅん をうれー、ぶったら  
ー そーしん をうん。(上唇が薄いひともい  
れば、厚ぼったいのもいる)。

**っわー ぢ** 〈外出着〉 【例】ふかから け  
ーいねー、っわーぢ はぢてい ちのー けー  
りわどう ゆくらりーる。(外から帰ると、外出  
着を脱いで着替えてからがくつろげる)。【参】  
ふかからちやー。

**っわー ぢらー** 〈うわべだけの面構え〉  
【例】くちしえー ちゅらむにー そーしが、ち  
もー あねー あらん、っわーぢらーどう や  
る。(口では飾った言葉を使っているが、心はそ  
うではなく、うわべだけの面構えだ)。

**っわー ふいじ** 〈口ひげ〉 【例】しんにん  
ぬ ぐとう っわーふいじん、しちやふいじん  
みーらちよーしが、ていーいりすしえー あ

んましこー ねーん がやー？(仙人のように  
口ひげもあごひげも生やしているが、手入れを  
するのは面倒ではないのかねえ)。

**っわーぎーん** 〈追う、追いはらう〉【活】っ  
わーぎたん、っわーぎらん、っわーぎてい 【例】  
あれー いちん やながんまりっし あんまー  
んかい っわーぎらっとーたん。(あの人はい  
つもいたずらをしてお母さんに追われていた)。  
いちん なんどうちん ねーん っちゅぬ や  
ーんかい ふえーりんちちゅーくとう、ありが  
ちーねー っわーぎり よー。(いつ何時で  
も人の家に入り込んでくるので、あの人 came たら  
追い払いなさいよ)。

**っわーすん** 〈成長させる、増やす〉【活】っ  
わーちゃん、っわーさん、っわーち 【参】ふど  
うっわーすん。

**っわーち** 〈おしゃれ〉 【例】ういきが や  
ていん、ちゃっさ とうし っんぢん、っわー  
ち すし やん。(男性でも、いくら年をとって  
も、おしゃれするものだ)。

**っわーちち** 〈天候〉 【例】ちきゅーぬ い  
ふいぐわーなー たった あちく なてい ち  
よーくとう、ちかぐろー っわーちちぬ いふ  
なー なていちよーん。(地球が少しずつだん  
だん暖まってくるので、近頃は天候がおかしく  
なっている)。

**っわーちみしえーん** 〈お元気でいらっし  
やる〉【活】っわーちみそーちゃん、っわーちみ  
そーらん、っわーちみそーち 【例】「うんじょ

ー っわーちみしえーみ?」「っやーん あっち  
ゆていー?」「(貴方はお元気でいらっしゃいま  
すか)」「お前も元気だったか)」。

**っわーない** 〈やきもち、嫉妬〉 【例】ちょ  
ーでーどうーさーぬ っわーなえー まーんか  
い やていん あしが、どうくから やいねー  
ましえー あらん。(兄弟姉妹同士のやきも  
ちは何処の家でもあるが、度が過ぎるのはよく  
ない)。

**っわーば** 〈余計〉 【例】っわーば ぐとう  
さー／っわーばー (余計なことをする人)。っ  
わーばー さん けー。(余計なことはするな)。  
**っわーば ぐとう** 〈余計なこと〉 【例】い  
ーる くとー めーくとう やしが、っわーば  
ぐとう ゆまーに しめーねー ゆーちらー  
ねーん ないん。(言っていることは好い事  
なのだが、余計なことをしゃべって終いには何  
のかいもなくなる)。えーていぬ たみ うむ  
てい っしとうらちよーしえー わかえー す  
しが、っわーばぐとう さりーねー やっけー  
やん。(相手のために思ってしてくれている  
のは分かりはするが、余計なことをされると迷  
惑だ)。

**っわーば じん** 〈無駄なお金〉 【例】ぬー  
んくいーん でーぬぐとうどう あくとう、っ  
わーばじん してい すな よー。でーあがや  
ーから こーていくーわ。(何でも値段通りだ  
から、無駄に金を捨てるようなことをするなよ。  
値段の高いのから買っておいで)。

**っわーば しわ** 〈余計な心配、とりこし苦  
労〉 【例】くれー わったー ちねーぬくと  
うどう やくとう、っやーまでい しわ しー  
ねー っわーばしわどう ないん どー。(こ

れは自分たち家族のことなので、あなたまで心  
配したらとりこし苦労になるよ)。【参】「っわ  
ーば うみー」とも言う。

**っわーば ぢけー** 〈無駄使い〉 【例】ちか  
いる むんどう こーいる、ぬーやーくいーや  
ー ふさくとうんち こーいねー、っわーばぢ  
けー ないん どー。(使う物こそ買うのであ  
って、何でもかんでも欲しいからといって買う  
と、無駄使いになるよ)。

**っわーば ぢむ** 〈余計な考え〉 【例】りん  
ち すしえー、どうーなーが じしんぬ ねー  
んくとう、うぬ よーに っわーばぢむ むち  
ゆん。(ねたむのは、自分が自信がないので、そ  
のような余計な考えをもつ)。

**っわーび** 〈表面〉

**っわーび ぢゅらー** 〈外見をつくろう者〉  
【例】「っわーびぢゅらーが うちくんじょー」  
ん あくとう、かーぎんかい まんぶりー し  
ーねー、あとー でーじ ないん どー。(「外  
見は美しくても内心は根性悪」ということもあ  
るので、容姿にぞっこん惚れ込んだら、終い  
には困ったことになるよ)。

**っわーび なんどうるー** 〈表面はつるつ  
るしているもの〉 【例】んなぢえー っわー  
びなんどうるー やてい、とういんちかみん  
ならん。(ウナギは表面がぬるぬるしていて、と  
つつかめない)。

**っわーりーん** 〈追われる〉【活】っわーりた  
ん、っわーりらん、っわーりてい 【例】なまー  
しくちんかい っわーっとーてい どうく  
いちゅなさぬ。(今は仕事に追われてあまりに  
も忙しい)。

# っうい

## っういー 〈上〉

っういー むてい 〈川上〉 【例】かーらぬ  
っういーむていから うすまさ まぎむむぬ  
ゆったいくわったい ながりてい ちゅーた  
ん。(川上からすごく大きな桃がゆらりゆらり  
と流れてきた)。かーらぬ っういーむていぬ  
みじえー しんちりてい ふいじゅってーん  
っし まーさん。(川上の水は澄んで冷たくて  
おいしい)。

## っういーちえー をうがむん 〈お会

いする〉【活】～をうがだん、～をうがまん、～を  
うがでい 【例】しまくとうば ふいるみーる  
はなし するたみに けんちじんかい っう  
いーちえーをうがむん。(県知事にしまくとう  
ばを普及する話をするためにお会いする)。

## っういーちゅん 〈揺れ動く〉 【例】ぢー

ぬ っういーちょーしが、まぎねーどう やが  
やー？(地面が揺れているが、大きな地震なの  
かねえ)。

## っういーぢゅん 〈泳ぐ〉【活】っういーぢゃ

ん、っういーがん、っういーぢ 【例】やまとう  
ぬ わかむんぬ っういーぢゃーんかえー し  
けーをうていん いーびんかい いーるあた  
いぬ むんぬ をうん どー。(日本本土の若者  
の水泳選手には世界でもトップの者がいるよ)。

## っういーちょー 〈ウイキョー〉 【例】っ

ういーちょーや くすいむんとうっし なまー  
ゆー ちかーっとうん。(ウイキョーは薬草  
として現在はよく使われている)。

## っういー ぬぢゅん 〈追い抜く〉【活】～

ぬぢゃん、～ぬがん、～ぬぢ 【例】どうーぬ め  
ーんかい などーる っちゅ みっちやい っ  
ういーぬぢ いちばん なたん。(自分の前  
になっている人を三人追い抜いて一番になった)。

## っういー ほーいん 〈追い払う〉【活】～

ほーたん、～ほーてい、～ほーてい 【例】むぬ  
うやー っういーほーいしえー ちゃー しえ  
ー まし がやー？(物売りを追い払うにはい  
ったいどうすればいいのかねえ)。

## っういー まーすん 〈追い回す〉【活】～

まーちゃん、～まーさん、～まーち 【例】わん  
が にぢりんかい っんぢん、ふいぢやいんか  
い っんぢん、うーやーからからっし あんす  
か なー っちゅ っういーまーすな けー。  
(私が右に行っても左に行っても人を追っかけ  
て来て、そんなにもう人を追い回すな)。

## っういーゆん 〈老いる〉【活】っういーた

ん、っういーらん、っういーてい 【例】くぬ  
やーしえーや っういーとーくとう まきてい  
くいみそーれー。(この野菜は成長し過ぎてい  
るので安くしてください)。

## ふどう っういーゆん 〈成長する〉【活】～

っういーたん、～っういーらん、～っういーてい  
【例】いったー とういぐわーや ふどうっ  
ういーとーん やー。(あなたのうちの雛は大き  
くなっているね)。

## っういっちゅ 〈お年寄り〉 【例】っういっ

ちゅ あたらさ さわどう ながぬち んーぢ  
ゆる くとうぬ ないる。(お年寄りを大切に



してこそ長生きしてもらふことができる)。【参】  
ういっちゅ (酔っぱらい)。

**っういーゆん** 〈植える〉【活】っういーた  
ん、っういーらん、っういーてい 【例】ないむ  
んぬ きー っういーてい みーぬ ないし  
まちかんていー そーん。(果物の木を植えて

実がなるのを楽しみに待っている)。

**っういー やんぢゅん** 〈成長し過ぎて悪く  
なる〉【活】～やんたん、～やんだん、～やんてい  
【例】っちゅん、いちむしん、ないむぬん っう  
いーやんていちゅーしえー しかたー ねーら  
ん。(人も動物も果物も成長し過ぎると悪くな  
ってくるのは仕方がないことだ)。

# っうえ

**っうえーか** 〈親戚〉 【例】かーま っうえーかどう やる め？(遠い親戚なのか)。いふいぐわーぬ っうえーかどう やる め？(ちょっとした親戚なのか)。ちかさる っうえーかどう やる め？(近い親戚なのか)。まぎっうえーかどう やる め？(大きな屋敷の親戚なのか)。

**っうえーか はろーじ** 〈親類縁者〉 【例】あったーや わったーとう っうえーかはろーじ などーん。(あの家の人たちは私たちの親類縁者になっている)。

**っうえーか びれー** 〈親戚付き合い〉 【例】なまから あとー なーふいん っうえーかびれー さ やー。(これからはもっと親戚付き合いをしようね)。

**っうえーき** 〈富裕〉 【例】くみ あちねーさーに っうえーき すん。(米屋の商売で裕福になる)。っうえーきふいんすーや ふいらぬ うりぬぶい。(貧乏金持ちは坂の上り下りのようにいつもそうだとはい限らない)。

**っうえーきー／っうえーき んちゅ** 〈金持ち〉 【例】あったーや うすまさ っうえーきー どー。(あのうちはすごい金持ちだよ)。

**っうえーく** 〈權〉 【例】っうえーくさーにくーぢゆる ふにん なまー いきらく などーん。(權で漕ぐ舟も今は少なくなっている)。

**っうえーだ** 〈合間〉 【例】はなしぬ っうえーだなかい うきふいんとーぬ じかぬん いってい うむっさ しみーん。(話の合間に質問に答える時間を入れておもしろくさせる)。

**っうえーま** 〈間〉 【例】くぬ まちやーあさぬ じゅーじから ゆさんでいぬ ごじまでいぬ っうえーまー あちょーん。(この店は朝の10時から夕方5時までの間は開いている)。いちにんぬ っうえーまなかい いくけーんぬ やしみぬ あが？(一年の間に何回の休みがあるのか)。

**っうえんちゅ** 〈ネズミ〉 【例】なまぬ まやーや っちゅなり そーくとうが やら、かみむぬん まんどーくとうが やら、っうえんちょー とうらん などーん。(今の猫は飼っているからなのか、食べ物が多いせいなのか、ネズミを捕らなくなっている)。

**っうえんちゅ やーまー** 〈ネズミ捕り〉

【例】ちかぐろー っうえんちゅやーまーや んーだらん などーん。(近頃はネズミ捕りは見えなくなっている)。

**っうえんみ** 〈降参〉 【例】「なー っうえんみ すみ？」「あーあー、なーだ」(「もう降参か？」「いいや、まだ」)。



# ん

**んかし んちゅ** 〈昔の人〉【例】んかし  
んちゅぬ じんぶの一 んかしばなしとうか  
んかしぬ いくとうばんかい うほーく ちま  
ーっとーん。(昔の人の知恵が昔話や昔の格言  
にたくさん詰まっている)。

**んかぢ** 〈ムカデ〉【例】ぬーんち んかぢえ  
ー うっさきーぬ ふいさぬ ねーんねー な  
らん がやー？(どうしてムカデはそんなにた  
くさんの足がないといけないのかなあ)。

**んけー はな** 〈会うなり〉【例】んけーは  
なから あっく する むの一 あらんしが、  
ふしがらん あたい またさって、にじらら  
ん なてい うすまさ ぬらたん。(会うなり  
怒鳴りつけるものではないが、いやというほど  
待たされて、がまんできなくなって激怒した)。

**んじ** 〈刺〉【例】ちゅらばなんかえー んじ  
ぬ あん。ちゅらかーぎーんかけー うちくん  
じょーぬ あんでい。(きれいな花には刺があ  
る。美人には変なプライドがあるって)。

**んかいん** 〈向かう〉【活】んかたん、んかーん、  
んかてい【例】ぬーが やら わからんしが、  
ちむぬ んかいる とうくるとう んかーん  
とうくるぬ あん。(どうしてかわからないが、  
気持ちが向かうところと向かわないところがあ  
る)。

**んきーん** 〈向ける〉【活】んきたん、んきら  
ん、んきてい【例】やーぢゅくい する ばす  
ねー じょーや ふえーとうか あがりんかい

んきーん。(家造りするときには門は南や東  
に向ける)。

**んきーん** 〈剥ける〉【活】んきたん、んきらん、  
んきてい【例】はまをうてい なげー てい  
ーだぶーい そーたくとう、かーぬ んきてい  
ふいーらちやんっし にんだらんたん。(浜  
で長いこと日向ぼっこしたので、皮がむけてひ  
りひり痛くて眠れなかった)。はぼー まぎー  
ないる かーじ かーぬ んきーん。(ハブ  
は大きくなるたびに脱皮する)。

**んけーいん** 〈迎える〉【活】んけーたん、ん  
けーらん、んけーてい【例】ゆすぐにから ち  
ゅーる どうし んけーが ひこーじょーんか  
い っんぢゃん。(外国から来る友を迎えに空  
港に行った)。

**んじゅ／んーじゅ** 〈溝〉【例】なまぬ  
んーじゅぐわーや ふたぬ ちちょーくとう  
ちゃーきなーや されーるくとー ならん な  
たん。(現在の溝は蓋が付いているので、すぐ  
にはさらうことはできなくなった)。

**んす** 〈味噌〉【例】やーうーちー する ば  
すねー、まじえー んす、まーすから しむん  
かい うちきとーちゅん。(引っ越しするとき  
には、まずは味噌、塩から台所に置いておく)。

**んす** 〈御衣〉【例】ぢのーんぬ むいぬかー  
んかえー とうびんすはにんすぬ ちてーばな  
しぬ あん。(宜野湾の杜の涌泉には羽衣伝説  
がある)。

**んぞ** 〈恋人〉 【例】ういきがぬ うむやーぐ  
わーんかえー んぞんでい いち、ういなぐぬ  
うむとーる っちゅんかえー さとうんでい  
いーん。(男性の恋人に「んぞ」言って、女性  
が心を寄せている男には「さとう」と言う)。

**んだ** 〈どれ、こら〉 【例】んだ、みしれー。(ど  
れ、見せなさい)。んだ、んーち んーだ。(ど  
れ、見てみよう)。んだ、あんしえー かでい  
んーだ。(どれ、それでは食べてみようか)。ん  
だ、くまんかい ちまーに。(こら、ここに来  
い)。

**んだすん** 〈濡らす〉【活】んだちゃん、んださ  
ん、んだち 【例】ぬみむん いーけーらさー  
に ゆどーる しゅむち んだち ねーらん。  
(飲み物をこぼして読んでいる本を濡らしてし  
まった)。

**んち くーが** 〈剥き卵〉 【例】やまとう  
から ちやる あぬ ういなごー いるん ま  
っしーらっし はだん んちくーがぬ はだ  
そーん。(本土から来たあの女性は色も真っ白  
で肌も剥き卵の肌をしている)。

**んちや／んーちや** 〈土〉 【例】うふあみ  
ぬ ふいねー、あかんーちやぬ うみんかい  
ながりてい ちゅらうめー ゆぐさってい な  
らんさ やー。(大雨が降ると、赤土が海に流れ  
て美しい海は汚される、しょうがないね)。やん  
ばるぬ んーちやー ないむぬん ゆーできて  
い はなん ゆー さかすん やー。(山原の  
土壌は果物がよくでき、花もよく咲かすね)。

**んちや** 〈なるほど〉 【例】んちや、あん や  
さ。(なるほど、そうだ)。

**んぢや〜**〈苦〉 【参】「んぢやさん」(苦い) か  
らの派生。

**んぢや ゆー** 〈凶年〉 【参】あま ゆー(豊  
年)。

**んぢや われー** 〈苦笑い〉 【例】うぬ っ  
ちゅぬ めーをうてい ふみたつくわーちやく

とう、んぢやわれー そーたん。(本人の前で褒  
めちぎったので、苦笑いしていた)。

**んぢや がみ** 〈まずそうに食べること〉

【例】んぢやがみ そーしが、まーこーねーんどう  
う あみ?(まずそうに食べているが、おいし  
くないのか)。

**んぢや むん** 〈苦い食べ物、飲み物〉 【例】  
ゴーヤー、んぢやな、フーチバーや んじやむ  
ん やしが、んぢやさくとうどう くすいむん  
やる。(ゴーヤー、苦菜、よもぎは苦いものだ  
が、苦いからこそ滋養なのだ)。

**んぢやり むん** 〈根性悪い者〉 【例】あれ  
ー したたか んぢやりむん やくとう、どう  
しえー さんしえー まし どー。(あの人はか  
なりの悪なので、友人にはしない方がいいよ)。

**んぢやちゅん** 〈磨く〉【活】んぢやちゃん、  
んぢやかん、んぢやち 【例】かがんぬ ゆぐり  
とーくとう んぢやけー。(鏡が汚れているの  
で、磨きなさい)。

**んぢやりーん** 〈乱れる、散らかる〉【活】ん  
じやりたん、んじやりらん、んじやりてい 【例】  
うふかじぬ あとー、なーぬ きーぬ ゆだん  
をうーりてい、あっちゆる みち はばかて  
い、ちゃーっし しじみれー しむが わから  
ん あたい んぢやりとーたん。(台風一過、庭  
の木の枝も折れて、歩く道もふさがって、どの  
ようにして片付ければいいのか分からないほど  
散らかっていた)。

**んちゅ** 〈おとし〉 【例】っやー つくわー  
んちゅなていぬ なちんちゅなていぬ なち  
どうどう いちやたしが、あつたに うふっ  
ちゅ などーんねー すさ やー。(あなたの  
息子に会ったのはおととしの夏だったが、急に  
大人になったようだね)。【参】「んちゅ」(3年)  
はその年から数えて3年なので、実際は〈一昨  
年〉を意味する。

**んちゅん／んーちゅん** 〈剥く〉【活】ん  
ちゃん、んかん、んち 【例】でーくに／しぶ

い／じゃがいも／くにぶぬ かー んちゅん。  
(だいこん／冬瓜／じゃがいも／みかんの皮を  
むく)。くにぶぬ かー んち うむやーぐわ  
ーんかい かまちゃくとう、ぬー やかにん  
くわっちー ないさんでいる いるぬ みーと  
ーたん。(恋人にミカンの皮を剥いて食べさせ  
たら、何よりの御馳走だと言わんばかりの顔つ  
きをしていた)。

**～んちゅん** 〈～込む〉【活】～んちゃん、～ん  
かん、～んち 【例】なぎんちゅん(投げ込む)、  
うしんちゅん(押し込む)、ふえーりんちゅん  
(入り込む)、さしんちゅん(差し込む)。ふく  
るんかい いーる うっさっし 100 鰻  
やくとう、まーみなー なーふいん ちみんけ  
ー。(袋に入るだけ100円なので、もっともや  
しを詰め込みなさい)。うちなーすがいんかえ  
ー ふかから うーび ちかーんぐとう うし  
んちーっし ちーる しーよーぬ あん。(琉  
装には外側から帯を使わないで押し込む着付け  
もある)。

**んぢゅん／んーぢゅん** 〈見る〉【活】ん  
ーちゃん、んーだん、んーち

**んでいーん** 〈濡れる〉【活】んでいたん、ん  
でいらん、んでいてい 【例】みち あっちょー  
るばすに あったに あみぬ ふやーに んで  
いたくとう、しぶーとう などーたん。(道を歩  
いているときに急に雨が降って濡れたので、び  
しょぬれになった)。

**んでー** 〈でも、など〉【例】やーしく なて  
い むぬんでー かでいんーだ。(お腹がすい  
て食べ物でも食べてみるか)。コーヒー、ちゃー  
んでーぬ あしが、じろー まし やが?(コ  
ーヒー、お茶などがあるが、どれがいいか)。

**んな** 〈皆〉【例】んなっし わたれー、うとう  
るしこーねーらん。(皆で渡れば、恐くはない)。

**んな** ～〈空っぽな〉

**んな** うっさ 〈ぬか喜び〉【例】いっとー  
しょー あたたしが、くりんかえー いふえー  
じんぬ かかいんでい わかてい んなうっ  
さ しみらさったん。(一等賞当たったが、これ  
にはお金が少しかかると分かってぬか喜びさせ  
られた)。

**んな** くち 〈何も食べさせないさま〉【例】  
ちゅーらー ちゅーんどー んでいち くれー  
しむるむんぬ、あったに ちゃくとう んな  
くち しみてい ちむ やどーん。(来るなら  
来るよといって来ればいいのに、不意に來たの  
で何も食べさせないで気にしている)。【参】ん  
なくち しみてい＝かますしん ねーらんくど  
う(食べさせるのもないので)。

**んな** ぐるま 〈空車〉【例】こーこーやき  
ゅーぬ ぜんこくたいくわいぬ うふみーむん  
ぬ ばすねー、すーぶぬ うわいるまでい た  
くしーや んなぐるまっし あっかちよーんで  
い。(高校野球の全国大会の大きな対戦の際に  
は、試合の終わるまでタクシーは空車で走らせ  
ているんだって)。

**んな** たるがき 〈空頼み〉【例】じんむち  
ゃー うや やていん いちまでいん たるが  
きらりーる むのー あらん、いちかー んな  
たるがき ないくとうん あん。(金持ちの  
親であってもいつまでも頼れるものではない、  
いつかは空頼みになってしまうこともある)。

**んな** でいー から でいー 〈手ぶら〉  
【例】たびから んなでいーからでいーっし け  
ーいしえー ちむがかいん すしが、どうーぬ  
にーん あくとう、なーぎむん こーてい  
むっちちゅーしえー あんまさん。(旅行から  
手ぶらで帰るのは気が引けるが、自分の荷物も  
あるので、お土産を買って持ってくるのは面倒  
だ)。

**んな** どうー 〈身一つ〉【例】んかしえー  
じんぬ ねーらんたくとう にーびち しん  
んなどうーっし をうとうぬ とうくるんか  
い っんぢゃん。(昔はお金がなかったので、結  
婚しても身一つで行った)。

**んな** なんぢ 〈徒労〉【例】たーからん

うしちきらってい そーる むのー あらん、  
 どうーぬ しーぶさ あていどう そーく  
 う、ボランティアんかい んななんぢんでい  
 いーしえー あたらん。くれー じんしえー  
 こーららん くとうどう やる。(誰から押し  
 つけられてしているものではない、自分がした  
 くてしているのだから、ボランティアに徒労と  
 いうのは適当ではない。これはお金では買えな  
 いことなのだ)。

**んな まち** 〈むなしく待つこと〉 【例】い  
 くさ あとー いちちが をうら、しちが を  
 うら わからん をうとう んなまち そーる  
 とうじぬちゃーが まんどーたん。(戦後は  
 生きているのか、死んでいるのか分からない夫  
 をむなしく待っている妻たちがたくさん居た)。

**んな ばい** 〈ぼんやり目を見開いているこ  
 と〉 【例】あれー ちゃー みーん んなばい  
 そーてい まーん んちえーをうらん、どう  
 しぬ みーぬ めーから とうーていん わか  
 らん、っちゅぬふいさ くんぴたい、まやーぬ  
 じゅー くんぴたい そーん。(あの人はぼ  
 んやりしていてどこも見えてはいない、友人が目  
 の前を通っても分からない、他人の足を踏んづ  
 けたり、猫のしっぽを踏みつけたりしている)。

**んな ゐー** 〈ただ座っていること〉 【例】  
 ふいさ やでい あっからんくとう、んなゐー  
 そーてい っちゅぬ とうーいし んーちゃ  
 い、くるまぬ とうーいし んーちゃいっし  
 ゆくとーん。(足が痛くて歩けないので、ただ座  
 っていて人が通るのを見たり、車が通るのをみ  
 たりして休んでいる)。

**んな わた** 〈空腹〉 【例】んなわた やれ  
 ー ぬー やていん かむん。やーさぬどう  
 まーさる。(空腹であれば何でも食べる。お腹が  
 すいているから何でもおいしい)。

**～んなーら** 〈～のそんなに早く〉 【例】ぶ  
 かりー ないくとう、あさんなーらから っち  
 ゆぬ やーんかい じん いみーが ちゅーる  
 むのー あらん。(縁起が悪いので、朝早くか  
 ら人様の家に集金に来るものではない)。あか

ちちんなーらから(夜明けから)、そーぐわち  
 んなーらから(正月早々から)。

**んに** 〈胸〉 【例】むとうびれーとう あちゃ  
 ー いちゃりーくとう んに だくみかち  
 にんだらんたん。(元カノと明日会えるので胸  
 をときめかして眠れなかった)。ちゃっさ た  
 ぬまっていん ならんくとー あいどう すく  
 とう、くとうわてい けーていちゃしが、なま  
 なたい んに やどーん。(いくら頼まれて  
 もできないことはあるので、断って帰って来た  
 が、今になって胸を痛めている)。

**んに ぎー** 〈胸毛〉 【例】うちなーをうて  
 い ういきがぬちゃーぬ んにぎーや ふいる  
 ましーくとー あらん。(沖縄では男性の胸毛  
 は珍しいことではない)。

**んに ぐち** 〈みぞおち〉 【例】んにぐち ふ  
 いじさーに ちかりやーに いーちまでいー  
 っし しなーしなー そーたん。(みぞおちを  
 肘で突かれて息が止まって死にそうになった)。  
 ちかぐろー んにぐち やだい、ながにぬ や  
 だい するとうちぬ あしが、やんめー やが  
 やー？(最近のみぞおちが痛かったり、背中が  
 痛むときもあるが、病気なのかなあ)。

**んに じーら** 〈心労、心痛〉 【例】っやー  
 はなし ちちゃーに わんまでい んにじー  
 ら いっちょーんねー すさー。(あなたの話  
 を聞いて私までも心が締め付けられるようだ)。

**～んねー** 〈～のよう〉 【例】っやー ちの  
 ー ぬーじんねーぬ いるがら やん やー。  
 (あなたの着物は虹のような色柄だね)。はぶぬ  
 ぐとう そーる なーぬ みちんかい あた  
 くとう たましぬぎたん。(ハブのような縄が  
 道にあったのでびっくりした)。ありが どう  
 ー っんぢゆかしよーや みじぬ ながりーん  
 ねーどう やっさ やー。(あの人の体の動か  
 し方は実に水が流れるようだね)。

**んぱ／んーぱ** 〈いや、否〉 【例】くり し  
 えー。んぱ！(これをしなさい。いや)。  
 んぱん ぱ そーん。(いやがっている)。「ぬーが っ

やーや ふいじふいんとーぬ ねーんしが、しーぶしこーねーんどう ある む?」「をうーをうー、んぱー あいびらん どー」(「どうしてあなたは返答がないが、したくはないのか」「いいえ、いやではありませんよ」)。

～んぱー 〈～を嫌がるさま〉 【例】ぬーがっやーや いかんぱー／かまんぱー すが／する?(どうしてあなたは行く／食べるのを嫌がるのか)。ぬーんち っやーや こーらんぱー／ちからんぱーどう そーみ?(どうしてあなたは買う／使うのを嫌がっているの)。いちゅんでい いちから、なー ないねー いかんぱー そーん。(行くと言っていたのに、いざとなっていくのを嫌がっている)。なーぬ ほーちかち しえーんでい いちやしが、んぱーんぱー さがなー そーん。(庭の掃除をしなさいと言ったが、嫌々ながらしている)。

んぱな ぐみ 〈御花米〉 【例】うぐわん

ぬ ばすねー、んぱなぐみとう うじゃきさーに うかみがなしーんかい うとうーし かきーん。(祈願の際には、御花米と御酒で神様に申し立てる)。

んもー こっこい／んもー がっくい 〈ごっつんこ〉 【例】「んもーこっこい」 んでいいーしえー、わらびとう たんかー なてい ふいちえーとう ふいちえー あーする あしび やん。(「んもーこっこい」というのは、子どもと向き合っておでことおでこを合わせる遊びだ)。

んーぢゅん 〈見る〉【活】んーちゃん、んーだん、んーち 【例】っちゅぬ じゃーふえー そーしえー んーだんふーなーや すな けー。(人が困っているのを見ないふりはするな)。ありが くとー んーちゃい ちちやいっしゅー しっちょーん。(あの人のことは見たり聞いたりしてよく知っている)。





# っん

**っんがーっんがー** 〈おぎゃーおぎゃー〉

【例】うちなーぬ あかんぐわー っんがーんっ  
がーんでい なちゅん。(沖縄の赤ちゃんはッ  
ンガーッンガーと泣く)。

**っんぢ** 〈ほんとか？(確認)〉 【例】っんぢ、あ  
ん やみ？(そうなのか)。っんぢ、いったーや  
にーびち さんでい なー？(あなた方は結  
婚したって、ほんとか)。っんぢ、いったーや  
ぼーちゃー なちやんでい なー？(あなた方  
は赤ん坊が産まれたって、ほんとか)。っんぢ、  
いったーや まぎやー ふちやんでい なー？  
(あなた方は大きな家を建てたって、ほんとか)。

**っんぢーん** 〈出る〉【活】っんぢたん、っん  
ぢらん、っんぢてい

**っんぢ** いり 〈出入り〉 【例】くんちちえ  
ー じんぬ っんぢいりぬ うふさん。(今月  
はお金の出入りが多い)。

**っんぢてい／っんぢとーてい** 〈～のくせ  
に／～でありながら〉 【例】わらびぬ っんぢ  
てい くさむにーっし っちゅんかい わらー  
りーん どー。(子どものくせに偉そうな口を  
きいて人に笑われるよ)。ゆちやぬむんぬ っ  
んぢとーてい ゆー うんなくとう いらりー  
たる。ふいるまさっさ。(いい歳をした者がよく  
そんなことを言えたものだ。解せないことだ)。

**っんぢ たちゅん** 〈出発する〉【活】～たっ  
ちゃん、～たたん、～たっち 【例】っんぢたちゅ  
る ふいー やしが、うふかじさーに ちゅら  
ーさ あしどうみ かかたん。(出発する日だ  
が、台風ですっかり足止めをくらった)。

**っんぢ たち** 〈出発〉 【例】っんぢたちぬ

20 ぷん めーねー ひこーきんかい ぬい  
るくとう なんとん。(出発の20分前には搭  
乗することになっている)。

**っんぢ しこーい** 〈出発準備〉 【例】ひこ  
ーきぬ っんぢたちぬ 40 ぷん めーねー  
っんぢしこーいぬ はじまいん。(飛行機の出  
発の40分前には出発準備が始まる)。

**っんぢ すがい** 〈外出支度〉 【例】とうじ  
えー っんぢすがいぬ ふえーさん。(妻は外  
出支度がはよい)。

**っんぢり めー／っんぢふあ** 〈出費、支  
出〉 【例】わったーや いりめーや いきらさ  
しが、っんじりめーや どうく うふさぬ、な  
ー ちーちー すさ。(私の家は収入は少ない  
が、支出はあまりに多くて、もう動きがとれな  
い)。【参】「いり めー／いりふあ」の反義語。

**っんぢやい ちやい すん** 〈行っ  
たり来たりする〉【活】～さん、～さん、～っし 【例】  
うぬ とうし なれーからー いさぬ やーと  
う どうーぬ やーとう っんぢやいちやいび  
けーどう そーん。(こんな歳になってからは  
病院と家を行ったり来たりばかりしている)。

**っんぢやすん** 〈出す〉【活】っんぢやちゃん、  
っんぢやさん、っんぢやち 【例】じんぬ たら  
ーんくとう、っやーさーに たしめーとーてい  
っんじやちょーき よー。(お金が足りない  
ので、あなたで立て替えて出しておいてね)。す  
びゆーうえー (=やーちゅくい うゆうえー)  
ぬ うすでー っんぢやちやしが、しむさんで

いち とうらんたん。(新築祝いの祝儀を差し出したが、いいよと言って受け取らなかった)。

**っんぢやに／っんぢやな一** 〈どもり／どもる者〉 【例】あれ一 っんぢやに すん や一。(あの人のはどもるね)。

**っんぢやる** 〈去る〉 【例】っんぢやる ぐんぐわちぐにちに はじみてい いちまんぬ ハーリー ミーが っんぢやん。(去る5月5日に初めて糸満ハーリーを見に行った)。

**っんぢゅちゅん** 〈動く、行動する〉【活】っんぢゅちやん、っんぢゅかん、っんぢゅち 【例】なま一 っちょ一 っんぢゅかん、ちぶるん ちかーん なてい、きかいぬどう っんぢゅちよーくとう、ながぬちえー しーうーさん ないん ど一。(現代は人は動かない、頭もつかわなくなって、機械が動いているので、長生きはできなくなるよ)。くちから っんぢやしーねー しぐ っんぢゅちゅん。(有言実行)。わん とうちーや こーていから な一 50にん なんとしーが、なま ちきていん ちゃーん さん、っんぢゅちよーん。(私の時計は買ってから50年なっているが、今でもどうもしなくて、動いている)。っちょ一 めぬ じんぶん どう やん ど一。ないみ、ならんしえー ちゃぬ あたい っんぢゅちゅみ、っんぢゅかに、さーに わかいさ。(人の頭の働きは一緒だよ。できるか、できないのはどの程度積極的に動くのか、動かないのか、で分かるものだよ)。

**っんぢゅち** 〈行動的〉 【例】っんぢゅちぬ あん。(行動的である)。**【参】**うぐちむち(積極的な人)。

**っんなび一** 〈砕け米〉 【例】んかしんちよー っんむ かだい っんなび一 かだい っしどう ふどううういーてい ちやる。(昔の人は芋を食べたり砕け米を食べたりして大きくなってきた)。

**っんに** 〈稲〉 【例】たまぐしくぬ うきん じゅはいんじょー うちな一んぢ はじみてい

っんにぬ っういーらったる とうくま やん。(玉城村の受水走水は沖縄で初めて稲が植えられた場所だ)。

**っんば** 〈クジラの油脂〉 【例】っんば一 くじらぬ あんだ やしが、そーぐわちぬ くわ っち一ぬ ていーち やん。「っんば」はクジラの油脂だが、正月のごちそうの1つである)。

**っんばし** 〈クワズイモ〉 【例】っんばしえー かまらんしが、くすいむん ないん。ふあーや しちぐわちぬ うーくい するばすに ちとう ちちむる うちゆくいーとうっし ちかいん。(クワズイモは食べられないが、薬草になる。葉は盆の送りをするときにみやげを包む風呂敷として使う)。

**っんびーん** 〈怯える〉【活】っんびたん、っんびらん、っんびてい 【例】まぢりぬ はなびぬ まぎさとう うとうぬ まぎさんかい ぐまわらびが っんびーてい なちよーたん。(祭りの花火の大きさと音の大きさに幼い子どもが怯えて泣いていた)。

**っんぶつくいーん** 〈溺れる〉【活】っんぶつくいたん、っんぶつくいらん、っんぶつくいてい 【例】さけ一 めむしどう やる。さきん かえー っんぶつくいーてー ならん。(酒は飲むものだ。酒には溺れてはならない)。

**っんぶすん** 〈煮物にする〉【活】っんぶちゃん、っんぶさん、っんぶち 【例】ナーベラーや っんぶち どうーじるぐわー っんぢやさーに かめ一。(ヘチマは煮物にして野菜のエキスを出して食べなさい)。

**っんぶさ一** 〈煮物、野菜炒め〉 【例】「っんぶさ一」や どうーじるぬ っんぢーる やーしえーぬ いっちょーてい、とーふとう っわーじし ぐー なち ちゆくいる かみむん やん。「っんぶさ一」は元汁が出る野菜が入っていて、豆腐と豚肉を混ぜて作る食べ物だ)。ふーりんな一っんぶさ一／かんだば一っんぶさ一

／うんちえーっんぶさー しえー。(ほうれんそう／芋の葉／空心菜の炒め物に下さい)。

**っんぶ〜**〈重〉【参】っんぶさん(重い)からの派生。

**っんぶ** し 〈重し〉【例】ちきむんぬ っんぶしえー っんぶいしぬ ちかーっとーん。(漬け物の重しは重い石が使われている)。

**っんぶ** にー 〈重荷〉【例】っちゅぬ いちちゅる みちえー っんぶにー かたみてい あっちゅるぐとう やん。(人生は重荷を担いで行く如し)。

**っんぶりーん** 〈蒸れる〉【活】っんぶりたん、っんぶりらん、っんぶりてい【例】くぬ あちさー っんぶりーるぐとうどう ある。(この暑さは蒸れるような暑さだ)。

**っんぶらすん** 〈蒸らす、暖める〉【活】っんぶらちゃん、っんぶらさん、っんぶらち【例】ぬくいむんぬ っんむ、むち、めーや っんぶらちから かむしが、うりんかい っんぶらしけーさーんでい いーん。しろー あちらちから／たちらちから かむん。(残り物の芋、餅、飯は蒸らしてから食べるが、それに蒸らしかえしという。おつゆは暖めてからから食べる)。

**っんべーいん** 〈化膿する〉【活】っんべーたん、っんべーらん、っんべーてい【例】とういぬ ししとう ばいのー さくいぬ っんべーいくとう かまんしえー まし。(鶏肉とパイは切り傷が化膿するので、食べない方がいい)。

**っんべーいん** 〈ぬるくする〉【活】っんべーたん、っんべーらん、っんべーてい【例】くぬ ゆーや どうく あちさくとう みじ いってい っんべーり よー。(この湯はあまりに熱いので水を入れてぬるくし下さい)。

**っんま** 〈馬〉【例】っんまー にかしえー くるまがい やたん。(馬は昔は車代わりだった)。

**っんまぬ** うやっくわ 〈お馬の親子〉

【例】1. っんーまぬ うやっくわ かながなー とうかなとう いちやていん まーじゅーん パッカイ パッカイ あっちゅんどー 2. っんーまぬ あんまー ちむぢゅらさる あんまー っんまぐわー とうんけー みーみー パッカイ パッカイ あっちゅんどー (玉那覇朝子訳) 。

**っんま** すーぶ 〈競馬〉【例】うちなーをうてー うしおーらしえーや あしが、っんま すーぼー ふえーてー をうらん。(沖縄では闘牛はあるが、競馬は流行っていない)。

**っんま** むちゃー 〈馬主〉【例】んかしとー かわてい、っんまむちゃーや じんむちゃー、っんま ぬやーん すくぶん なとーてい なー あぎれー まぎじんぬ いっちちゅーん。(昔とは変わって、馬を持っている者は金持ち、騎手は職業になっていて有名になると大金が入って来る)。

**っんま** っういー 〈馬場〉【例】あやじょーうふみち、さちやま、うふなー、なちじんな かばるぬ っんまっういーや なー うच्चょーたん。(綾門大路、崎山、大名、今帰仁仲原の馬場は有名だった)。

**っんま** 〈午〉【例】っんまぬ ふあーや ふえー やん。(午の方角は真南である)。

**っんま** 〈そこ〉【例】っんまー まー やが?(そこはどこか)【参】っやーや まーぬ が?(あなたはどこ出身か)。

**っんまり** かー 〈その辺り〉【参】うりかー (その辺り)、あまりかー／ありかー (あの辺り)、くまりかー／くりかー (この辺り)。

**っんまが** 〈孫〉【例】っんまがー やまとうをうてー みーんかい いっていん やまんてい いらっとーしが、うちなーをうていん っんまがんかえー ちゃー ふとうきぢら ないん。(孫は本土では目に入れても痛くないと言われているが、沖縄でも孫にはいつも仏顔になる)。

**っんますん** 〈熟ます、熟させる〉【活】っん  
まちゃん、っんまさん、っんまち 【例】まんじ  
ゅういんかえー ないむんとう やーしえー  
ぬ あしが、ないむのー とうていちゃーきや  
か、いふえー うちきとーてい っんまちから  
どう かまりーる。(パパヤには果物と野菜用  
があるが、果物は採ったばかりより、しばらく  
置いて熟させてからの方が食べられる)。

**っんまりーん** 〈生まれる〉【活】っんまりた  
ん、っんまりらん、っんまりてい 【例】っんま  
りらん っんまり そーん。(不遇の生まれを  
している)。

**っんまり じま** 〈故里〉 【例】っんまり  
じまぬ くとうば わしーねー くに わしゆ  
ん。っんまりじまぬ くとうばん わからん  
わかむんぬちゃーや ぬーぬ あていが あ  
ら？(故里のことはを忘れると故郷も忘れる。故  
里のことは知らない若者たちはいったいどう  
いう当てがあるのか)。

**っんまり ぢむ** 〈生まれつきの心根、天性〉  
【例】うふっちゅ なていん いちまでいん  
むちめーぬ っんまりぢむ みーらん なてー  
ならん。(大人になってもいつまでも独自の  
生まれつきの心根を見失ってはいけない)。

**っんまり びー** 〈誕生日〉 【例】っやー  
っんまりびーや いち やが？(あなたの誕生  
日はいつか)。

**っんまれー** 〈生まれ〉 【例】っやー っん  
まれー まー やが？(あなたの生まれはどこ  
か)。

**っんみー** 〈ねえさん〉 【例】ういなぐしーじ  
ゃ みっちゃいぬ なかをうてい しーじゃ  
ないしんでー うふっんみー、っんみー、っん  
みーぐわーんでい なんとーん。(三人の姉のな  
かで、年上順に大姉、中姉、小姉となっている)。

**っんむ** 〈芋〉 【例】っんもー はるさーやー  
をうてー かかさらん かみむん やたしが、  
なまー まどうぬむん なんとーん。(芋は農家で  
は主食だったが、現在はおやつになっている)。  
っんむからー っんむにー、っんむくじぶっ

うるー、っんむじゃきぬ ちゅくらりーん。(芋  
からは芋練り、芋くず湯、焼酎が作られる)。

**っんむ うふ すー** 〈芋大公〉 【例】ぬぐ  
にそーくわんや、1605 にんに とーから っん  
むぬ ねー むっちっち、ぢーましんじょーが  
うちなーんかい っんむぢゅくい ふいるみ  
たくとう、やーさ する っちゅぬちゃーぬ  
いきらく なたんでい。やくとう、っんむうふ  
すーんでいーる なーぬ たっちょーん。(野  
国総管は、1605 年に中国から芋の苗を持ってき  
て、儀間真常が沖縄に芋の栽培を広めたので、  
ひもじい思いをする人が少なくなったって。そ  
れで、芋大公という俗称が生まれている)。

**っんむ くじ** 〈芋くず〉 【例】うちなーを  
うてー っんむくじっし っんむくじあんだぎ  
ー、っんむくじぶっとうるー ちゅくてい ゆ  
ー かむん。(沖縄では芋くずで芋くずてんぷ  
ら、芋くず練りを作ってよく食べる)。

**っんむ くじ ぶっとうるー** 〈芋料理の  
一種〉 【例】っんむくじぶっとうるー ちゅ  
くいる ばすねー、っんむぬくーんかい かち  
ゆー だしじる いってい ちりびらーとう  
かまぶく ぐまぢりっし かちゃーち ふらい  
ばぬんかい あんだ しち ふいらやーちー  
すん。「っんむくじぶっとうるー」を作るとき  
には、澱粉に鰹出し汁を入れてニラとかまぼこ  
を小さく切ってかき混ぜてフライパンに油を敷  
いて平たく焼く)。

**っんめー** 〈おばあさん(士族)〉 【例】っん  
めーや ていーぬ なーとう いーびんかい  
はじち いっとうてい、からじんかえー じー  
ふあー さち、いちん ちゅらすがい そーた  
ん。(ばあちゃんは手の甲と指に入れ墨をして  
いて、髪にはかんざしを挿して、いつも着飾っ  
ていた)。っんめーや まるけーていなー な  
がからじ さばちやい、ふゆぬ しち ないね  
ー さっくいーん さっこーびん さい すた  
ん。(おばあさんは時々長い髪を梳いたり、冬の  
季節には咳もしゃっくりもしたりした)。  
【参】「はんしー」とも言う。はーめー(平民のおばあ  
さん)。

## 形容詞編



# あ

**あちさん** 〈熱い、暑い〉 【例】 そーなち  
なてい うすまさ あちさん。(本格的な夏に  
なるととても暑い)。

**あちさん** 〈厚い〉 【例】 あちあちーとう  
そーし (厚いもの、=あちぶったらー)。

**あたらさん** 〈大切である〉 【例】 むのー  
あたらさっし ちかいねー、いちまでいん ち  
かーりーん。(物は大切に使うと、いつまでも  
使える)。っちょー たーんでい いらんぐと  
う あたらさ しー よー。(人は分け隔てな  
く大切にしろ)。あんぬ あていどう  
どうしん なとーる はじ やくとう、どうし  
えー あたらさっし ふいらていいちゆし や  
ん。(縁があってこそ友になっているはずなの  
で、友は大事にしてつき合っていくものだ)。

**あらさん** 〈太い、荒い、粗い〉 【例】 あま  
ー ふにぬ あらさる たっくいー やさ や  
ー。(あの家は骨が太い家系だね)。うんちえー  
ぬ しん あかさーに くーく ちっち いり  
ちゃー しーねー かまりーくとう、むぬ か  
みーよーぬ あらさん。(空心菜の芯を裂いて  
小さく切って炒めれば食べられるので、食に対  
する考えが粗雑だ)。

**あんまさん** 〈気分が悪い、やっかいな、面倒  
な〉 【例】 にち っんぢてい あんまさ そー  
てい にんとーたん。(熱が出て気分を悪くし  
て寝ていた)。わん すばふいらをうてー は  
なしち かかとーる っちゆぬ をうたしが、  
うちーが さら うふえー あんまさん。(私  
の周囲には風邪をひいている人がいたが、うつ  
ったのかすこし気分が悪い)。【参】 うちーが  
すらんち しわそーん (うつるのかと心配して  
いる) ; とうるばとーしが、まーがな あんま  
さどう ある め? (ぼんやりしているが、ど  
こか悪いの) ; むんどーぐとうぬ あやーに  
ひっかかいむっかかいっし あがかん なてい  
うむいぬぐとう ならん。あんまさる くど  
う なとーっさー (面倒な事があってじゃまし  
て前に進まなくて思っているようにならない。  
やっかいなことになっているよ) ; どうく を  
うたとーくとう、むぬ いーしん あんましく  
なとーん (あまりにも疲れて、ものを言うの  
も面倒になっている) ; みーぬめーぬくとう  
てーげーしー しーねー、あとー あんましく  
ないん どー (当座を簡単にすますと後でや  
っかいことになるよ)。





# い

**いーだたーさん** 〈大げさである〉 【例】  
うれー いーだたーさん やー。(それは大げ  
さだね)。

**いきらさん** 〈少ない〉 【例】ちかぐろー  
しわ する あたい つくわぬ いきらく  
なとーくとう、つくわなさーんかい かかいる  
じぬん むる いちやんだ ないる くとう  
ん かんげーらりーん。(近頃心配するほど子  
どもが少なくなっているのに、妊婦にかかる診  
察代は全部無料になることも考えられる)。あ  
れー むぬいーぬ いきらさぬ／うふさぬ や  
ー。(あの人は口数が少ない／多いね)。

**いちがたなさん** 〈行きにくい〉 【例】ゆ  
めー をうとうぬ うやぬ やーんかえー ぬ  
ーがやら いちがたなさん。(嫁は夫の親の家  
にはどういうわけか行きにくい)。

**いちぢらさん** 〈息苦しい〉 【例】れいば  
ーぬ っんぢていから はしるぐちん たかま  
どうん まーんくいー みちくみてい いちぢ  
らさぬ。(冷房機が出てから出入り口も高窓も  
密閉して息苦しくてならない)。

**いちゃさん** 〈惜しい〉 【例】てーげーむん  
びけー こーてい じのー いちゃこー ねー  
らに？(価値のない物ばかり買ってお金は惜し  
くないのか)。【参】いちゃさ すん。

**いちゆなさん** 〈忙しい〉 【例】しくちぬ  
たみに やまとうんかい いかんねーならん  
なてい、ありくり しじみかち すんでいち

いちゆなさ そーん。(仕事のために本土に行  
かなくてはならなくなって、あれこれ整理する  
といって忙しくしている)。ふいま すし や  
かー いちゆなさ しえー ましどう やる。  
ふいっちー やーぐまい しーねー どうー  
よーいん。(暇するより忙しくするのがいい。一  
日中家にばかりいると体が弱る)。

**いばさん** 〈狭い〉 【例】くぬ ちのー ど  
うーくる(=どうーっし) あらたくとう う  
すまさ いばく なてい じゃーふえー そー  
っさー。(この服は自分で洗ったのでだいぶ縮  
んで困っているよ)。【参】いばいばーとう、ふ  
えーりんちゆん。

**いふーな** 〈変わった〉 【例】っちゆぬ い  
ーしえー むる ちかん、いふーな っちゆ  
やん やー。(人の言うことはすべて聞かない、  
変わった人だね)。あれー しまんちゆ など  
ーてい、アミリカーぬ すんねーっし いふー  
な しーよー すん やー。(あの人は地元な  
のに、アメリカ人のするような変わった仕方を  
するね)。

**いみがしまさん** 〈夢見が悪い〉 【例】ち  
かぐろー いふーな いみびかー んーち い  
みがしまさっさー。(近頃は変な夢ばかり見て  
夢見が悪い)。

**いるぢゅらさん** 〈(人、花、器が)色が美し  
い〉 【例】んかしえー いるぢゅらーや ち  
ゅらかーぎーんでいち はん うさっとーたし  
が、なまー んーぢゆる みーぬ かわとーて

い めーぬ ちゅらさんでー いららん。(昔は色白は美人だと決まっていたが、現在は見る目が変わっていて何がきれいとは言えない)。

**いるみーやっさん** 〈喜怒哀楽が顔に表れやすい〉 【例】あれー まっとうばー やてい、いっぺー いるみーやっさん やー。(あの人は正直者だから、喜怒哀楽がすぐに顔に表れ

やすいね)。

**いんちゃさん** 〈短い〉 【例】ういきがぬうやぬ ふどう いんちゃー やくとう、っやーん ふどー いんちゃさん やー。(父親の背が低いので、あなたも背は低いね)。からじえー いんちゃく しん うちゃとーしえー。(髪は短くしても似合っているさ)。

# う

**うかーさん** 〈危ない〉 【例】 っちゅびけーん あっちゅる みちはたから ぶーるない じてんしゃ はらしーねー うかーさん どー。(歩道を勢いよく自転車を走らせると危ないよ)。うかーさたくとう、うびらじに うふあびーさん。(危なかったので、思わず大声を出した)。ありんかい かむらしーねー、ちゃー ないが すら わからんくとう うかーさん どー。(あの人にまかすと、どうなるのかわからないので危険だよ)。ありんかい じん みしーねー／むたしーねー、うかーさん どー。(あの人にお札を見せると／持たせると、危ないよ)。

**うじらーさん** 〈かわいい〉 【例】 くぬ ぼーじゃーや あんし うじらーさる！(この幼児はなんとかかわいいことか)。

**うじらーさぎさん** 〈きれい、かわいい〉 【例】 アナウンサーや むる うじらーさぎさしが、っちゅんかい んーだっとーんでいーる ちむぬ あくとうどう あん なとーがやー？(アナウンサーはみんなきれいだが、人に見られているという意識があるのでそうなっているのかねえ)。

**うすまさん** 〈ものすごい〉 【例】 やーん くるまん むる うーみじんかい ながさって い うぬ ちからー うすまさる むん やっさー。(家も車もみんな洪水に押し流がされてその力はものすごいね)。しまくとうば ふいるみーる たいくわいんかいぬ にんじゅぬすなわいや うすまさたん。(しまくとうばを普及する大会の人数はものすごかった)。あぬっ

ちょー うすまさ ぬーでいー まぎさん やー。(あの人はとても声が大きい)。

**うっさぎさん** 〈嬉しそうだ〉 【例】 わらびぬ ぬーやかん しちゅる むん にぢやーに うっさぎさ そーん。(子どもが何よりも好きなものを握って嬉しそうにしている)。【参】 にじやーに (我慢して)。

**うっさん** 〈嬉しい〉 【例】 っちゅぬ いちちよーしえー うっさ なちかさぬ くいけーしやん。(人が生きているのは悲喜こもごもだ)。

**うとうるさん** 〈怖い、怖い〉 【例】 うとうるさむんぬ みーぶさむん。(怖いもの見たさ)。

**うびちかなさん** 〈よく思い出せない〉 【例】 んかしぬ はなし やくとう、ありが なーや ぬーんでい いちよーたが うびちかなさん。(昔の話なので、あの人の名前はなんと言っていたかよく思い出せない)。

**うふさん** 〈多い〉 【例】 まちりねー、っういーりきぐとうぬ うふさくとう、あまくまから うほーくぬ っちゅぬちゃーが あちまいん。(祭りには楽しいことが多いので、あちらこちらから多くの人々が集まる)。ぬー やていん うふされー ましんでいーる くとーあらん、むぬんかい ゆいん どー。じん していーぐとう ないしえー こーてーくいーんな。(何でも多ければいいということではない、ものに依るんだよ。お金を捨てることになるようなものは買ってはくれるな)。うふさに かたじきるー、(多数決で決める場合の遊びのル

ール)。うふ どうんもーい (びっくり仰天)、  
うふ げー (豚の胃)、うふ やーにんじゅ (大家族)、うふ われー (大笑い)、うふ そー (むん) (まぬけ)、うふ むにーさー (ほら吹き)、うふ まーるー (どっしりかまえた人)。  
【参】まぎー (大きい物、者) はあるが、「うふー」とは言わないように、後者には一般的に抽象的なニュアンスがともなうので、親族や格式などを表わす際によく遣われる。それで、まぎっちゅ (大男、大女) / うふっちゅ (大人)、まぎみち (大きな道) / うふみち (大通り)、まぎいーび (大きな指) / うふいーび (親指)、まぎやー (大きな家) / うふやー (本家) のように対比される。

**うふやっさん** 〈おとなしい、やさしい〉

【例】うふやっさる っちょー、むぬかんげーぬ

ちゅーさぬ、そーわじー しーねー はていー ないん。(おとなしい人は、物事をよく考えているので、本当に怒ると止められなくなる)。  
【参】「っうえんださん」とも言う。

**うむっさん** 〈おもしろい〉 【例】ちかぐる ぬーがな うむっさる はなしぬ あみ？  
(近頃何かおもしろい話があるか)。

**うるさん** 〈足りない、不充分である〉 【例】じんぶんぬ うるさいねー、ぬーぐとうん てーげーしー ないん。(知恵が足りないと、何事も中途半端になる)。

**うれーまさん** 〈羨ましい〉 【例】っちゅうれーまさ すしやかん どうーん はまてい はたらちゅる むん やん。(人を羨ましく思うよりも自分も努力して働くものだ)。

# お

おーさん 〈青い、緑色をしている〉 【例】う  
ちなぬ うみん すらん おーさくとう、あ  
まくまから すじょー しーが ちゅーる っ

ちゅぬちやーぬ まんどーん。(沖縄の海も空  
も青いので、あちこちから観光に来る人たちが  
多い)。



# か、が

**かしまさん** 〈うるさい〉 【例】ういなぐぬ  
みっちゃい すりーねー、かしまさんでい。  
(女性が三人揃えば、うるさいってよ)。なーふ  
あぬ まちえー いち やていん っちょー  
まんでい かしまさん。(那覇の市場はいつも  
人は多くて騒々しい)。いったー やーや  
うふみちぬ はた なてい、きゅーきゅーしゃ  
から パトカー、しょーぼーしゃんでー くる  
まぬ うとうぬ かしましこーねーらに？(あ  
なたの家は大通りの側で、救急車からパトカー、  
消防車など車の音がうるさくないのか)。っち  
ゆぬ ゆくいる じぶん なていから きちぬ  
なーかをうてい ひこーき いちむどうやー  
しみてい かしまさぬ にんだらん。(人が  
寝る頃になってから基地の中で飛行機を離着陸  
させて、うるさくて眠れない)。

**かたさん** 〈中身がある、濃い〉 【例】かたぢ  
ゃー ぬでい みーぐふあい そーん。(濃い  
茶を飲んで目が醒めている)。みーまゆぬ か  
たさん。(まゆげが濃い)。んーすぬ かたさん。  
(味噌が濃い)。かたしーっちゅ (堅い人、実直  
な人)。

**～がたー** 〈まさに～しようとしている〉 【例】  
しにがたー なとーん。(まさに死のうとして  
いる)。のーいがたー やん どー。(まさに治  
ろうとしている)。なちがたー まーとーん/  
なとーん。(まさに泣こうとしている)。あみぬ  
ふいがたー まーとーたしが／やたしが、は  
りたん やー。(まさに降ろうとしていたが、晴  
れたね)。うぬ やーや ふるく なとーてい

ていんじょーぬ うていーがたー なーとー  
ん／そーん。(その家は古くなって天井がまさ  
に落ちそうになっている／である)。

**かぢょーさん** 〈風が強い〉 【例】なまど  
う パーマやーんかい っんぢっち りっぱん  
ぐわー っしちえーるむんぬ、ふかんかい っ  
んぢたくとう かぢょーさぬ、わん からじえ  
ー あーさむーさ なとーさ。(今さっき美容  
室に行って来てきれいにしてきたのに、外に出  
たら風が強くて、私の髪はぐしゃぐしゃになっ  
ているよ)。

**がちらーさん** 〈食いしん坊そうに見える〉  
【例】がちらーさくとう、くちぬ まーいんかい  
ふいち ぬばすしえー やみれー。(食いし  
ん坊そうに見えるので、口の回りに髭を伸ばす  
のはやめなさい)。

**かっさん** 〈(お産、病気などが) 軽い〉 【例】  
うんじゅなーたー ゆめー っくわなしがっさ  
いびーん やー。(あなたの家の嫁はお産が軽  
いね)。やんめーや かっさくとう、あんすか  
しわー さんき よー。(病気は軽いので、そん  
なに心配はしないでね)。あれー くちえー  
かっさん／くちがるー どー。(あの人は口が  
軽いよ)。

**がっさん** 〈(重量が) 軽い〉 【例】うぬ に  
ーや いっぺー がっさん やー。(この荷物  
はとても軽いね)。

**かなさん** 〈愛らしい〉 【例】わー かなし  
んぐわ (愛しい我が子)。わったー たいや



かなしーぐわー やさ。(私たち2人は親しい仲だよ)。

**かばさん** 〈香りがある〉 【例】みじぬ まーさる とうくまからぬ ちゆくいむぢゆくい やくとう、いっぺー かばさん やー。(水がおいしいところからの農作物なので、とても香りがいいねえ)。たー かば やさ やー、ぬーぬ かば やさ やー、んでいーるくとう あていうーする はなぬ ちゅーさる っちゅぬ をうんでい どー。(誰の匂いだ、何の香りだということを当てることができる鼻の効く人が居るんだってよ)。あらてい ちゃーきぬ からじえー かばさん。(洗ったばかりの髪は良い匂いだ)。【参】あらてい ちゃーきぬ からじえー ほろほろーっし／するするーっし め

ーあんべー やー (洗ったばかりの髪はほぐれて良い感じだね)。

**かまらさん** 〈気難しい〉 【例】あれー どうく かまらさくとう ふいれーぐりさん。(あの人はあまりにも気難しくて付き合いにくい)。

**かみぐりさん** 〈食べにくい〉 【例】いりばーぬ あたらん なてい むのー かみぐりさくとう、はーやーんかい いかんとー ならん。(入れ歯が合わなくなって食べ物は食べにくいので、歯医者に行かないといけない)。なりらん っちゅぬ めーんぢえー ゐんる さーに かみぐりさん。(慣れない人の前では遠慮して食べにくい)。【参】うけーいうみー (遠慮)、うけーいうみー すん (遠慮する、ためらう)。

## き、ぎ

～ぎさん／～ぎさー 〈～らしい、～しそ  
うだ（外見からの判断）〉 【例】ういきがぎさ  
ん（男らしい）、ういなぐぎさん（女らしい）、  
しんしーぎさん（先生らしい）、がちぎさん（食  
い意地が張っていきそう）。ふくふくーとう／く  
えーぐえーとうっし っうえーきぎさー やん  
やー。（まるまるとしてお金持ちのようだね）。  
まーさぎさる マンゴー（おいしそうなマンゴ  
ー）、うとうるさぎさん（怖そう）、ちりーぎ  
さん／ゆぐらーぎさん／くささぎさん（清潔そ  
う／汚そう／臭そう）、あちさぎさー そーん  
（暑そうにしている）。ばさーじん やくとう  
しださぎさん やー。（芭蕉布なので涼しそ  
うだね）。くぬ うもーぶとんや いっぺー ぬ  
くさぎさん やー。（この羽毛布団は実に暖か  
そうだね）。くまぬ そーきすばー まーさぎ  
さっさー。（ここのソーキそばはおいしそ  
うだね）。をうらんぎさん（居なそう）、ねーらんぎ  
さん（無さそう）、やみぎさー そーん（痛そ  
うにしている）、のーとーいぎさん（直っていき  
そう）。なまにん あみぬ ふいぎさー やっさ

ー。（今にも雨が降りそうだね）。なまにん 笑  
いぎさー そーん。（今にも笑いだしそ  
うだね）。なまにん ふいんぎぎさー そーん。（今にも  
逃げそうだね）。なまにん しーぎさー そーん。  
（今にもしそ  
うだね）。なまにん ちーぎさー そ  
ーん。（今にも来そうだね）。のーとーいぎさー  
やたん どー。（なおっていきそうだったよ）。あ  
ん やいぎさー やたん どー。（そのようだ  
ったよ）。はなしち かかいぎさー やくとう  
ふえーくなく けーてい ゆくらな。（風邪  
をひきそうだから早く帰って休もう）。

きぶさん 〈煙い〉 【例】んかしえー たむ  
ん めーすくとう しもー ちゃー きぶさた  
ん。（昔は薪を燃やすので台所はいつも煙か  
った）。めーらんめーい そーくとう ふいーふ  
ち ちかてい ふいー うくすんでい すし  
が、どうく きぶしぬ きぶさぬ、みーなだん  
っんちとーん。（燃えないでくすぶっている  
ので火吹きを使って火をおこそうとするが、あ  
まりにも煙たくて、涙が出ている）。



## く、ぐ

**くーさん** 〈小さい、幼い〉 【例】くーく あ  
びれー。(小さい声でしゃべって)。あれー あ  
んし ふどー くーさる やー。(あの人はそ  
んなに体は小さいんだね)。くーてーんぐわー  
や わんにんかいん くいり よー。(少しは  
私にもくれよ)。うっぴぐわーぬ くとうっし  
くさみち すくとう、あれー ちもー くー  
さん やー。(それだけのことで腹立てるので、  
あの人は心は小さいんだね)。くーさいにから  
まがいる きーぬどう まがいる。(幼い時  
から曲がる木ほどよく曲がるもので、幼児期の  
しつけが大切)。くーさ がなさ。(小さいのは  
かわいい)。【参】うっぴなー／うふいなーぬ  
いゆ／っんむ(そんなに多くの魚／イモ)に対  
して、うっぴぐわー／うふいぐわーぬ いゆ／  
っんむ(数量の小さい魚／イモ)。

**くーすーらーさん** 〈小さくてかわいらし  
い〉 【例】っんまりてい ちゃーきぬ いち  
むしぬ っくわぐわーや くーすーらーさん。  
(産まれたばかりの生き物の子は小さくてかわ  
いらしい)。

**くささん** 〈臭い〉 【例】いゆ じょーぐー  
やしが、いゆ かじゃー くささぬ、ちゃーん  
ならん。(魚好きだけど、魚の匂いは臭くて、  
どうしようもない)。

**くしふいじゆるさん** 〈背筋が寒くなる〉  
【例】ひこーきぬ とうだい、うりたい する  
ばすねー くとうに くしふいじゆるさん。(飛  
行機が離陸したり、着陸したりする際には特に  
背筋がぞくぞくする)。

**くしよーさん** 〈心細い〉 【例】たいぬ  
うやぬ をうらん なてい くしよーさぬ、う  
やぬ っしとうらちやる くとうぬ まぎさー  
なまどう わかいる。(両親が居なくなって  
心細くて、親がしてくれてきたことの大きさは  
今になってわかる)。

**くちさん** 〈苦しい〉 【例】いーぶさる く  
とう いららんし やか くちさるくとー ねー  
らん。(言いたいことを言えないことより苦し  
いことはない)。うっさー いーぶさー あし  
が いららん くとう やてい、ちもー ちま  
てい くちさ そーん。(とても言いたくはあ  
るが言えないことなので、心は張り裂けそうに  
なって苦しんでいる)。てーふいー にがいる  
うむいぬ くにぬ っういーぬっちゆぬちゃ  
ーんかい とうーらんくとう、ちむん ちーぢ  
ーとう なてい さっこー／じこー くちさ  
そーん。(平和を願う思いが国の要人に通らな  
いので、心も消え消えになって深く苦しんでい  
る)。っちょー ぬーんくいーん くちさ し  
わどう にんぢん ないさ。(人はあれこれ苦  
しんでから人間になるんだ)。ひこーきぬ な  
ーかをうてー なげー めち まーにん っん  
ぢらんくとー くちさん。(飛行機の中で長  
く座ってどこにも出られないのは苦しい)。ゆ  
くぬーでいーんかい むち ちまらしーねー  
くちさぬ いーちん ならん。(気管に餅を詰  
まらせると苦しくて息もできない)。

**くちさびっさん** 〈口の中が寂しい〉 【例】  
くちさびっさくとう ぬーがな ぬむみ／かむ

み？(口の中が寂しいので、何か飲むか／食べるか)。あみぬ ふいねー まーにん っんぢららんくとう、ぬーが やら くちさびしくないん。ふいらやーちー やていん かまな。(雨が降るとどこにも出られないので、なぜか何かを口にしたくなる。チヂミでも食べるか)。

### くちにーさん 〈食欲がなくておいしくない〉

【例】どうーぬ あんまさる ばすねー むぬかめーやーんでいん うまーらん。くぬくとー 「くちにーさん」でい いーん。(体調不良のときにはものを食べようとも思わない。そのことは「くちにーさん」という)。

### くちはごーさん 〈口汚い〉 【例】やなぐち

する っちゅんかい くちはごーさんでいーる くとうば ちかいん。(悪口を言う人に口汚いという言葉遣う)。

### くちべーさん 〈早口である〉 【例】あれー

くちべーさくとう／ふえーぐち やくとう、ゆー ちちよーかんねー ちちはんすんどー。(あの人は早口なので、よく聞いていないと聞きもらすよ)。

### くちまーさん 〈食欲が出て何でもおいしい〉

【例】どうー っんぢゅかちやる あとー ぬー やていん くちまーさん。(体を動かした後は何でも食欲が出ておいしい)。

### くちやかまさん 〈口うるさい〉 【例】ごー

ぐちひやーぐち する っちゅんかい くちやかまさんでい いーん。(不平不満を言う人に口うるさいと言う)。

### くちういーごーさん 〈口がえぐい〉

【例】かみぶしこー ねーらん むん っちゅんかい ししみらってい かだしが、くちういーごーさぬ ふしがらんたん。(食べたくない物を人に勧められて食べたが、口がえぐくてたまらなかった)。いよー あんだんかい あぎねー ぬーん あらんしが、につけっし かみーねー くちういーごーく ないん。(魚は油で

揚げるとなるともないが、煮付けにすると口がえぐくなる)。

### くふあさん 〈硬直しているさま〉 【例】く

ぬ いちやー／たこー くふあさん。(このイカは／蛸は硬い)。コーヒー ぬだくとう みーぐふあい そーっさ。(コーヒーを飲んだので目が冴えている／醒めている)。うやっくわ／みーとうんだ／ちよーでー ぐふあさん。(親子／夫婦／兄弟姉妹の仲が悪い)。とうんじーじゅーしーねー ちでーくに、ちぬく、っわーじしんでー くーくぐわー ちっち くふあじゅーしー ちゅくてい、うやふあーふじんかい うさぎーん。ふーちばーん いりーねー まーさん。(冬至雑炊にはニンジン、しいたけ、豚肉を細かく切って、固めの雑炊をつくって先祖に差し上げる。ヨモギも入れたらおいしい)。くふあちぶるー／くふあむん やてい ふいれーぐりさん。(頑固者でつきあいにくい)。くふあぐちゃー なてい むぬん いららん、はなんふいららん。(きつい言葉の人なのでもものも言えない、くしゃみもできない)。くふあ むにー (きつい言いかた)、くふあ むにー さー (きつい言いかたの人)、くち ぐふあー (ことばのきつい人)。がんじゅーむんぬ くふあどーり。(元気者が突然倒れること)。ふいれーぐふあさん (つき合いにくい、ふいれーやっさん)。ふいれー ぐふあー (付き合いにくい人、ふいれーやしー)。

### くまさん 〈つつましい〉 【例】っうえーき

くまさん。(お金持ちほどつつましい)。ふいーじーや くまさ そーてい、うゆうえーんかえー うみちっとう ちかいん。(いつもは節約して、お祝いには思いっきり使う)。

### ぐまさん 〈小さい、細かい〉 【例】バスぬ

なーかをうていん ぐまむにー さん っちゅん をうん。(バスの中でも小声で話さない人もいる)。

### くらさん 〈暗い〉 【例】むぬぐとー

ーよーどう やくとう、ちゃー まし ないん

ぐとう、めーんかい あがちゆるぐとう さん  
ねー、ちらまでい くらく ないん どー。(物  
事は考え方しただから、常によくなるように、  
前に進むようにしないと、顔まで暗くなるよ)。

～ぐりさん 〈～し難い〉 【例】ふいさぬ  
やでい あっちぐりさん。(足が痛くて歩きに  
くい)。ぬーでいーぬ やでい ぬみうとうし  
ぐりさん。(喉が痛くて飲み落としにくい)。ど  
うく あちさぬ、にんぢぐりさん。(あまりに暑

くて寝にくい)。ありが はなしえー わかい  
ぐりさん。(あの人の話は解りにくい)。なまー  
むる じんがかいびけー すくとう、くらし  
ぐりさん。(現在はすべてお金で解決するので、  
暮らしにくい)。

くるさん 〈黒い〉 【例】うみあっちゃーや  
ていーだぬ しちやをうてい わじゃ そー  
くとう、いるぬ くるさん。(漁師は陽のもとで  
仕事をしているので、色が黒い)。



## こ、ご

こーいうじらーさん 〈買い物上手である〉【例】いりゆーな むんぬ ふすくぬ ねーんぐとう、じん していぐとうん さんぐとう、こーいむん ないる っちゅんかい 「こーいうじらーさん」でいる くとうばん ちかたしが、なまー 「こーいじょーじ」んでい

いちょーん。(必要なものに不足がないように、お金を捨てるようなことをしないように、買い物ができる人に「こーいうじらーさん」という言葉も遣ったが、現在は「こーいじょーじ」と言っている)。【参】うじらーさん(かわいい、賢い)。





**さーだかさん** 〈神通力がある〉 【例】さーだか（さる）っんまりぬ っちょー くとうぬ うきーる めーに かんとういる くとうぬ ないん。（神通力のある生まれの人は事が起こる前に感じ取ることができる）。

**さーはごーさん** 〈うす気味悪い〉 【活】さー〜〈すこしばかり〉 【例】うりかーや きーぶりだちゃーっし ぬーがな さーはごーさんやー。（この辺は鳥肌が立って何だか気持ちが悪いね）。あこーくろー そーる ばすに

がらさーぬ なちーねー あんし さーはごーさる やー。（薄暗くなる時に、カラスが鳴いたらなんともうす気味が悪いね）。【参】毛群<sup>きーぶ</sup>り立<sup>だ</sup>ちゃー（鳥肌が立つこと）。

**さくさん** 〈もろい、壊れやすい〉 【例】んーちゃぬ さくさくとう、うふあみぬ ちぢちーねー やーしーていー むる ながさりーん。（地がもろいので、大雨が続くと家ごとすべて流される）。



# し、じ

**しーさん** 〈酸っぱい〉 【例】シークァーサーや しーさしが、たんかのー いっペー しるん うふさぬ あまさん。(シークァーサーは酸っぱいが、タンカンはとてもジューシーで甘い)。

**しーびーさん** 〈薄ら寒い〉 【例】ちかごろー しーびーく なてい やー。ちーねー あちさんねーっし、はぢーねー ふいじゆるさんねーっし いふーな むん やさ。(近頃は薄ら寒くなっているね。着ると暑くて、脱ぐと冷えて変な具合だね)。

**しかさん** 〈臆病である〉 【例】っやーや しかさぬ。いふいぐわーぬ うとうんかいん しかみどう すくとう やー。(あなたは臆病だ。少しの物音にも怖じ気づくからね)。

**しからーさん** 〈寂しい、わびしい〉 【例】どうし やたる っちゅぬちやーぬ をうらん なてい どうーちゅいぐわー ぬくさっていいっペー しからーさん。(友人だった人たちが居なくなって独り残されてとても寂しい)。いったーが やーうーちーっし っんぢやくとう なまー しからーしく などーん どー。(あなたたちが引越してしまったので、今は寂しくなっているよ)。やぐさみむのー あんし しからーさる！(独り者はなんとわびしいことか)。しんぶぬんかい ぬとーる だびぬ しらし んーぢーねー、ぬぬちるみーぬ うふさんねー すくとう、わんまでい しからーしく ないっさー。(新聞に掲載されている死亡欄

をみると、同年代が多いようなので、私まで侘しくなるよ)。

**しじだかさん／しーだかさん** 〈神聖な、霊高い〉 【例】うぐわんじゅ、うたきぬ あるとうくろー しじだかさくとう、いーる ばすねー いさーかーいる むのー あらん。(拝所、御嶽があるところは霊高いので、入所の際にははしゃぐものではない)。

**しださん** 〈涼しい〉 【例】ばさーぢのー／あさぢのー ぬい いっていどう ちーくとう しださん。たっくわらんくとうどう ちーや っさる。(芭蕉着／麻の着物は糊づけして着るので涼しい。くつつかないので着やすい)。いったー やーや ふえーぬ はたんかえー かたか そーる むんぬ ねーんくとう しださん やー。(あなたの家は南側に遮っているものがないので涼しいね)。

**したなさん** 〈不浄である〉 【例】やしちぬ をうがめー したなむん、したなかじ(＝ふじょーまき) ぬきーるたみに すん。(屋敷の拝みは不浄のものや不浄の邪気を取り除くためにする)。

**しぶさん** 〈粘り強い、弾力がある〉 【例】くぬ ししえー しぶさぬ、かみん／かなーしん ならんさ。(この肉は弾力性があって、食べられない／噛めない)。

**しぶからさん** 〈塩辛い〉 【例】くれー しぶからー やくとう うほーこー かまらん さー。(これは塩辛いので、たくさんは食べ

れないよ)。からすぐわーや しぶからさしが、  
とーふとう かってい かみーねー いっペー  
まーさん。(塩辛は塩辛いが豆腐に添えて食  
べるととてもおいしい)。

**しぶたいあちさん** 〈蒸し暑い〉 【例】か  
たぶい そーがやー？ しぶたいあちさん や  
ー。(片降りしているのかねえ。蒸し暑いね)。  
しぶたいあちく なとーっさー。あみぬどう  
ふいがやー？(蒸し暑くなっているね。雨がふ  
るのかねえ)。

**しんじちらーさん** 〈模範的である〉 【例】  
あれー ちらー うとうるさぎさ そーしが、  
ちむくくるぬ でいきてい しんじちらーさん  
どー。(あの人は顔は恐そうだが、心持ちがで  
きていて模範的だよ)。

**じんみーやっさん** 〈金回りがよい、暮ら  
しやすい〉 【例】ちゃー そーみんとう つ  
んむびけー かどーしが、わったーんかいん  
じんみーやっさる しちん ちゅーが やー？  
(いつも素麺と芋ばかり食べているが、私のうち  
にも金回りがいい時が来るのかねえ)。

# す

**すーちゅーさん** 〈塩辛い〉 【例】 うぬ か  
ていむのー すーちゅーさぬ かまらん。(こ  
のおかずは塩辛くて食べられない)。【参】 「し  
ぷからさん」とも言う。

**すーらーさん** 〈かわいらしい、きれい、品

がある〉 【例】 すーらーさる ういなぐんぐ  
わ そーとーる うとうすえー たー やみし  
えーが？(かわいらしい女の子を連れているお  
年寄りはどなた様ですか)。すがいちゅらーぬ  
ういなごー すーらーしく みーん。(着付  
けの美しい女性はきれいに見える)。



そ

そーらーさん 〈しっかりしている〉 【例】  
ゆみどうい、むくどういや そーらーさる っ  
ちゅから。(嫁取り、婿取りはしっかり者から)。

かにはんでいーらー、そーらーしくどう はん  
でいーる。はんぶん はんでいーっし なー？  
(ぼけるならしっかりぼけるものよ。半ぼけなの  
か)。





# た、だ

だるさん 〈だるい〉 【例】 っんぶにー む  
っち ていーだるく なとーっさー。(重い荷  
物を持って手が疲れている)。しゅむち うっ  
ちんとうーっし ゆどーたくとう くびだるく

なとーん。(本をうつむいて読んでいたので、  
首が疲れている)。ちゃー あっち さーに  
ふいさだるく なとーん。(ずうっと歩いて足  
が疲れている)。みーだるさん(眼が疲れてい  
る)。だるー＝やなだるーぐわー(役立たず)。



# ち、ぢ

**ちびがっさん** 〈気軽に動く、無節操な〉

【参】ちびっんぶさん（なかなか動こうとしない）、みむちぢゅらさん（節操のある）。

**ちびらーさん** 〈素晴らしい〉 【例】ちび

らーしく うちなーぐち ちかいる うらんだ一ぬ をうてい くくる うっちゃん。（素晴らしい沖縄語を使う西洋人がいて感動した）。

**ちむあささん** 〈浅はかである〉 【例】ま

ちがたをうてー っちゅびれ一ぬ あささくとう、ちむまでいん あさく ないさ。（都会では人付き合いが浅いので、心までも浅くなるよ）。

**ちむあんまさん** 〈心が落ち込んでいる〉

【例】ありがくとう うむいぢゅーさぬ、ちむあんまさそーん。（あの人のことを思い過ぎて、心が落ち込んでいる）。

**ちむいちゃさん** 〈心苦しく思う〉 【例】

まるふいーじ一ぬ はなしむぬがたい そーるばすに、えーていぬ ちむ やまचार くとうぬ あとから わかてい、なま ちむいちゃさ そーん。（普段のおしゃべりしているときに、相手の心を傷つけたことが後でわかって、今心苦しく思っている）。

**ちむがなさん** 〈愛しく思う〉 【例】まー

をうていん、いち やていん、っやー くとー ちむがなさくとう ちむがかい そーん どー。（どこでもいつでも、あなたのことが愛しくて気掛かりだよ）。

**ちむぐーさん** 〈小心者である〉 【例】あ

りが ちもー は一いぬ みーんちょーん ね

一ん、したたか ちむぐーさん どー。（あの人の心は針の穴ほどもない、とても小心者だよ）。

ちむ ぐまー（小心者）。

**ちむぐりさん** 〈かわいそうである〉 【例】

ありが くとー ちむぐりさぬ、わんまでいちむん ちーぢーとう なてい ちむやどーん。（あの人のことはかわいそうで、私までも胸が詰まって心の痛みを感じずにいられない）。

**ちらはごーさん** 〈面映ゆい〉 【例】うほ

ーくぬ っちゅぬちゃ一ぬ めーんかい っんぢーんでいーる くとー ンなんかい ンーだりーくとう、ちらはごーさん やー。（多くの人たちの前に出るということは皆から見られることなので、面映ゆいね）。

**ちむふいじゅるさん** 〈心が冷え冷えす

る〉 【例】っちゅにんぢんぬ ちむぐくる むたん っちゅぬ むぬ いーよーや わんまでいん ちむふいじゅるく なたんねー すん。（人の心を持たない人のものの言い方は私までも心が冷えたような気がする）。み一ぬ めーをうてい くるまぬじこ ンーぢャーに ちむふいじゅるく ないたん。（目の前で車の事故を見て肝を冷やした）。

**ちむべーさん** 〈機敏である〉 【例】あれ

ー ちむべーさくとう、しくち しみていん ふえーさん。（あの人はきびきびしていて、仕事をさせても早い）。

**ちらみっくわさん** 〈顔を見るだけで憎ら

しい〉 【例】しばいどう やしが、まもうや

ぬ ままっくわ ちらみっくわさっし しちき  
ーし んーぢーねー わじわじーすん。(芝居  
なのに、継母が継子を憎んでいじめるのを見た  
ら腹立たしくなる)。ありが くとー ちちぶ  
しくん ねーん、ちらー わらとーていん ち  
むうちえー ぬーが かんげーとーら わから

ん。ちらみっくわさどう やる。(あいつのこ  
とは聞きたくもない、顔は笑っていても心の中  
はいったい何を考えているのか分からない。顔  
を見るだけで憎たらしい)。【参】ちら みーぶ  
しくん ねーん (顔も見たくない)。

# っち

っちゅちむぐりさん 〈人情がある〉

【例】あぬっちょー っちゅちむぐりさっし ゆ

くん あくん ねーん。(あの人は人情があっ  
て欲も悪もない)。



## てい、でい

**ていーあらさん** 〈ものの扱い方が荒っぽい〉 【例】 あれー ていーあらさぬ、ぬーやていん からしぶしこーねーらん。(あの人は扱い方が荒っぽくて、何であつても貸したくはない)。

**ていーだるさん** 〈手がだるい〉 【例】 っんぶにー むっち さーし あきらんでい さくとう、なげー かかてい ていーん ふしがらん あたい だるく なとーたしが、にじてい ちゃーがな しむまでい はくだん。(重い物を持って鍵を開けようとしたが、長くかかって手も我慢できないほどだるくなっていたが、我慢してどうにか台所まで運んだ)。

**ていーにーさん** 〈仕事が遅い〉 【例】 っやーや あんし ていーにーさぬ、はーぎしぎしーっし ならんさ。なー しむさ。わんがすさ。(お前はあまりにも仕事が遅くてがまんできない。もういいよ。僕がするよ)。

**ていーはごーさん** 〈もどかしくて手出しをせずにはおられない〉 【例】 しくち すしぬ どうんなさいねー、「っやーが すしえー、ていーはごーさぬ。だー、わーが すさ」んでいち ぬらーったん。(仕事をするのが遅いと、「おまえがするのはもどかしくて。どれ、私がする」といって叱られた)。どうく にーさぬ、ていーはごーさく なてい わんが さん。(あまりにも遅くて、手をださずにおられなくなって私がした)。

**ていーべーさん** 〈手早い〉 【例】 あれー ていーべーさくとう、たぬまー まんどーん。(あの人は手早いので、依頼者はたくさんいる)。っやー ういなぐぐわー みしーねー、あれー ていーべーさくとう けーとうらりーん どー。(あなたの恋人を紹介したら、あの人は手早いのですぐに取られるよ)。ていーべーさぢゅらさ。(手早く仕上がりもきれい)。





# とう、どう

**とうーさん** 〈遠い〉 【例】とうーさる っ  
うえーかやか ちかさる ちゅけーとうない。  
(遠くにいる親戚よりも近い他人)。

**どうーがんぢゅーさん** 〈健康である〉  
【例】いしぬ ぐとう、かにぬ ぐとう、どうー  
がんぢゅーく しみらちくいみそーり よー。  
(石のように鉄のように健康な体にしてくだ  
さい)。

**どうーむちぐりさん** 〈自活し難しい、自  
己統制できない〉 【例】とうすい ないねー、  
ねんきんびけー やくとう、どうーむちぐりさ  
ぬ。(年寄りになったら、年金だけなので、自活  
するのがむつかしくて)。さちざちん かんげ  
ーらんぐとう、ぬーんくいーん ていー っん  
ぢゃさーに あとー じゃーふえー なてい  
どうーむちぐりさ そーん。(先々のことも考  
えないで、何もかも手を出して、後は始末に終  
えなくなって自分を持てあまして)。

**どうーむちぢゅらさん** 〈りっぱに自活

している〉 【例】やぐさみむのー やしが、あ  
んし どうーむちぢゅらさる やー。(独り者  
だが、なんとりっぱに自活していることか)。

**どうーやふあらさん** 〈体が弱い〉 【例】  
どうーやふあらーぬ がんじゅーむん。(体が  
弱い者の長生き)。がんじゅーむんぬ くふあ  
どーり。(元氣者の急死)。

**どうーっんぶさん** 〈体が重い〉 【例】ど  
うーっんぶさたくとう、みちあっちゃーあっち  
やー そーる っうえーだに どうーがるく  
なとーたん。(体が重かったので、散歩している  
うちに体が軽くなっていた)。

**とうるさん** 〈のろい〉 【例】ぬー しみて  
いん とうるさぬ、かしーかしー ならん。(何  
をさせてものろくて、てきぱきできない)。とう  
るさぬ、ぬー しみていん にーさん、なま  
ないしん あちゃーまでい かかいん。(のろ  
くて、何をさせても遅い、今できることも明日  
までかかる)。



## ちゅ

**ちゅーいべーさん／ちゅーいにーさん** 〈発育が早い／遅い〉 【例】くぬ わらべーや ちゅーいべーさん／ちゅーいにーさん。(この子は成長が早い／成長が遅い)。

**ちゅーさん** 〈強い〉 【例】にんりち／うんち／にーたさ(=うらはごーさ)／やちぬ ちゅーさん。(気力／運氣／妬み／嫉妬が強い)。

**ちゅらさん** 〈美しい〉 【例】っやーや いち んーちん、まーから んーちん ちゅらさん やー。(あなたはいつ見ても、どこから見てもきれいだね)。っやーや やまとうんちゅぬぐとう はだちゅらさん やー。(あなたは本土の人のように肌がすべすべしているね)。



# な

**ながさん** 〈長い〉 【例】びんだれーんかい  
みじ いってい うふいーちっしから ちら  
うしんち いーちながーすーぶっし あしだ  
ん。(洗面器に水を入れて大きな息をしてから  
顔を突っ込んで息の長さの勝負をして遊んだ)。

**なだやっさん** 〈容易い〉 【例】むちかし  
こーねーらん どー。ちゃーん ねーんさ、な  
だやっささ。(難しくはない。何でもないよ、簡  
単だよ)。なだやしこー がっていのー さん  
くとう、ちゃぬ よーに っんぢーねー まし  
やが やー？(簡単には承諾しないので、ど  
のように出たらいいのかねえ)。

**なだよーさん** 〈涙もろい〉 【例】とうし  
とういねー なだよーく ないん。(歳をと  
ると涙もろくなる)。

**なちかさん** 〈悲しい〉 【例】うちなーぐち  
はなする っちゆぬ いきらくなてい いっ  
ペー なちかさん。(沖縄語を話す人が少なく  
なってとても悲しい)。

**なまさん** 〈無神経だ〉 【例】あれー なま  
さん どー。(あの人は無神経だよ)。

**なんどうるさん** 〈滑りやすい、いい加減〉  
【例】あれー なんどうるさくとう、ありんか  
えー たぬまんしえー まし どー。(あの人  
はいい加減だから、あの人には頼まない方がい  
い)。あみ ふいねー、みちえー やんでいてい  
なんどうる みち なてい、あっちゃがなー  
しんでいとーたん。(雨が降ると、道は壊れて  
滑りやすくなるので、歩きながら滑っていた)。



# に

**に一さん** 〈遅い、まずい〉 【例】ありんかい  
ぬー にらちん どうく に一さぬ、やーし  
こーねーん なてい ふしくん ねーん ない  
ん。(あの人に何を料理させてもあまりにも遅  
くて、ひもじくなくなり欲しくもなくなる)。は  
なしち かかとーいねー くちにーさぬ ぬー  
ん かまらん。(風邪を引いている時は食欲が  
なくて何も食べられない)。ゐぬ しくち し  
みていん っちゅんかえー に一さふえーさぬ  
あん。(同じ仕事をさせても人には遅い速い  
がある)。わんねー ちかぐろー っんぢゅち  
しん あっちゅしん にく などーさ。(わ

たしは近頃は動くのも歩くのものろくなってい  
るよ)。

**に一たさん** 〈恨めしい〉 【例】っわーな  
い、りんちえー あとうあとー に一たさ な  
いん。(嫉妬、ねたみは後々恨めしくなる)。

**にんぢぶさん** 〈眠たい〉 【例】にんぢぶ  
さしが、んーぢぶさん あん。(眠たいが、見た  
くもある)。にんぢ たらーんくとう、ちゅーや  
ぬーん さんぐとう、にんだりーる かぢり  
にんぢぶさん。(寝不足なので、今日は何もし  
ないで、眠れるだけ眠りたい)。





## ぬ

**ぬくさん** 〈暖かい〉 【例】ていーだぬ みーや ぬくさくとう、っんまから はなりぶしこー ねーらん。(陽のあたるところは暖かいので、そこから離れたくない)。

**ぬるさん** 〈ぬるい〉 【例】しろー あちこーこーどう まーさしが、くぬ しろー ぬるさぬ、まーこーねーん。(おつゆは熱いのがおいしいのに、このおつゆはぬるくて、おいしくない)。



# は

**はがなさん** 〈足りない〉 【例】 ちゃー も  
ーきぐわーぬ／くえーむんぬ はがなさん。  
(いつも稼ぎが／食べ物が足りなかった)。

**はごーさん** 〈汚れている、汚い〉 【例】 っ  
んまー さーらん けー、はごーさん どー。  
(そこは触るな、汚いよ)。くまんかえー ふい  
らきらん けー、はごーさん どー。(ここには  
座り込まないで、汚れているよ)。ありが アパ  
ートー ほーちかちん さんくとう はごーさ  
ん。(あの人のアパートは掃除もしないので汚  
い)。んかしぬ っわーぬやーや はごーさた  
しが、なまー まーん ちりー などーん。(昔  
の豚小屋は汚かったが、今はどこも清潔になっ  
ている)。はごー むん (心が汚れている者)。

**はじかさん** 〈恥ずかしい〉 【例】 はじかさ  
うみー (恥ずかしがりや)。あれー はじかさ  
うみー なてい うちやくぬ めんそーちん  
っちゅぬ めーんかえー っんぢてーくーん。  
(あれは恥ずかしがりやでお客さんがいらっし  
やっても人前には出て来ない)。

**はちこーさん** 〈くすぐったい、ごわごわし  
ている〉 【例】 ふいさわたー はちこーさく  
とう、さーらん けー。(あしの裏はくすぐった  
いので、触らないで)。わんねー はちこーうみ  
ー やくとう、さーらん けー。(私はくすぐっ  
たがりやなので、触らないで)。ばさーちのー  
はちこーさん。(芭蕉着はごわごわする)。



ひ

びなさん 〈(知力、体力が) 弱い〉 【例】 び  
な一 (病弱者)。あれ一 びなさくとう、あたい

め一ぬ っちゅぬぐと一 ならん ど一。(あ  
の人は虚弱体質なので、普通の人のようにはで  
きないよ)。



## ふ、ぶ

～ふーぢー 〈～みたい(な)〉 【例】しんしー ふーぢー(先生みたい)、ういきが ふーぢー(男みたい、ういなぐ ふーぢー(女みたい)。

ふかさん 〈深い〉 【例】ういなぐぬうやぬ っくわ うむいる ちもー うみやかにん ふかさん。(母親が子を思う気持ちは海よりも深い)。うとうん たていらんぐとう ながりとーる とうくまー ふかさくとう、ゆー くりり よー。(音も立てないで流れている所は深いので、用心なさいよ)。

ふくらさん 〈嬉しい〉 【例】わん うむいぬ かなてい ふくらさん。(自分の望みがかなって嬉しい)。

ふさん 〈欲しい〉 【例】ふさらー、むっちいけー。(欲しければ持って行きなさい)。はだふさしえー あらん、ちゃーぬみどうしぬどうふさる。(情欲ではなくて、茶飲み友だちが欲しいのだ)。ういきがんぐわ ふさ さしが、またん ういなぐんぐわ やたん。(男の子を

欲しがっていたが、またも女の子だった)。ういなぐんぐわ ふさたしが、なしえーうーさんたん。(女の子が欲しかったが、産めなかった)。

～ぶさん 〈～たい〉 【例】くとうしえー ニューヨークんかい いちぶさん。(今年はニューヨークに行きたい)。あちぶったーぬ ステーキどう かみぶさる。(厚々のステーキでも食べたい)。

ふるさん 〈古い〉 【例】くれー わーが くーさる ばすに／わーが わらび そーいにぬぢえーる さしんぬ いっちょーる アルバム やん どー。あんしえー、うれー かーまふるさっさ やー。(これは私が小さい頃に／私が子どものときに写した写真が入っているアルバムだよ。それでは、かなり古いんだね)。とうえー ふるしーねー またとー しまらん。(鳥は古巣には二度とは棲まない)。いったーとう ちがてい ふるっちゅ どー。(あなたたちと違って昔の人(＝物知り)だよ)。





# ふい

**ふいーさん** 〈寒い〉 【例】ちゅーや ふいーく などーさ やー。(今日は寒くなっているね)。ちゅーや ふいーさっさ やー。(今日は寒いね)。

**ふいさだるさん** 〈足がだるい〉 【例】ながあっち さーに ふいさだるく などーん。(長歩きして足がだるくなっている)。むい うりたぬぶたい さくとう ふいさぬ だりやん そーん。(山を登ったり降りたりしたので、足がだるくて痛くなっている)。

**ふいさはごーさん** 〈足下がぞくぞくする〉 【例】たかどうくる をうてい うかーさ わじゃ そーる かーらふちゃーぬ っちゅぬちやーや ふいさはごーこーねーんがやー？(高所で危険な仕事をしている瓦職人は足下がぞくぞくしないのかね)。ぐしちぬ ふちゃーてい、ハブぬ をういがすら わからんくとう、ふいさはごーく ないん。(ススキが茂って、ハブが居るのかも知れないので、足下がぞくぞくする)。まーんくいーん みーてい ちびらーさー あしが、どうく たかさぬ、しちゃ んぢーねー ふいさはごーく ないん。(どこから見えて素晴らしいが、あまりに高くて、下を見ると足下がぞくぞくしてくる)。【参】ていーはごーさん、ちらはごーさん。

**ふいじゅるさん** 〈冷たい、冷えている〉 【例】ちゅーや ふいじゅるさっさー やー。(今日は冷えているね)。ちゅーや ふいじゅるく などーさ やー。(今日は冷えるね)。

**ふいっさん** 〈薄い〉 【例】っやー ちゃーや ふいっさくとう かたがたーとう いっていとうらしえー。(あなたの入れるお茶は薄いので、濃めにしてくれ)。うしぬ ししえー ふいっさし やかにん あちあちーとう そーしどう まーさん。(牛肉は薄いよりも厚めにしたのがうまい)。からじぬ／かびぬ ふいっさん。(髪が／紙が薄い)。んーそー ふいっさんねー すん。(味噌は薄い気がする)。きーびすー (髪の毛が薄い者)。ふいしーぐわー (=ふいしふいしーとう そーし) ちーん。(薄着をする)。【参】あちぶったらー (厚着)。「かたさん」、「あちさん」の反意語。

**ふいらさん** 〈平たい〉 【例】ふいらく (平たく)。【参】ふいらきーん。

**ふいりぐささん** 〈生臭い〉 【例】あばさーじる にーねー、いっペー まーさしが、やーぬ ふいりぐさく なてい ふしがらん あたい やん。(アバサー汁を煮ると、とてもおいしいが、家が生臭くなってがまんできないほどだ)。あばさー よー、 あばさー！ っやーや いっペー まーさー あしが、ぬーんち あんし ふいりぐささる やー。(針千本さんよ！

お前はあんなにおいしいのに、どうしてこんなに生臭いのかねえ)。いゆ にちゃくとう やーぬ うちえー ふいりぐさく なてい まーんくいーん あきてい かじゃ ふいんがちやん。(魚を煮たので家の中も生臭くなって、何処もかも開けて匂いを逃がした)。

**ふいれーぐりさん** 〈付き合いにくい〉

【例】 ふいれーぐりー（付き合いにくい者）。あ き合いにくいよ）。  
れー ふいれーぐりさん どー。（あの人は付

## ふえ

ふえーさん 〈早い〉 【例】 むのー ふえー  
がみ さんぐとう ゆー かなーち よーんな  
ー かみ よー。(ものは早食いしないでよく  
噛んでゆっくり食べなさいよ)。っやーや ぬ

すどうんかい っわーっとーんねーっし ふえ  
ーがみっし、よーんなー かめー。(あなたは泥  
棒に追われているかのように早食いして、ゆっ  
くり食べなさい)。



# ま

**まーさん** 〈おいしい〉 【例】やーさどう  
まーさる [=やーさいねー ぬー やていん  
まーさん] (お腹がすいていれば何だっておい  
しい)。いっぺー／じこー／でーじな／したた  
か まーさたん。(とってもおいしかった)。ち  
かぐろー むぬぬ まーさぬ、わた つんぢて  
い くえーていちよーくとう、むぬ かみよー  
ちー ちきてい ふいならする かんげー  
さんとー やー。(近頃は食欲があつて、お腹が  
出て太ってきているので、食事に気をつけて減  
量することを考えないとね)。

**まぎさん** 〈大きい〉 【例】むのー まぎさし  
えー めーくとうどう やしが、まぎされー  
しむる むのー あらん。(ものは大きいのは  
いいことだが、大きければ済むものではない)。

くちぬ まぎさる っちょー さたん なら  
ん。(大げさに言う人には話もできない)。まぎ  
ぐいー やかん ぐまぐいーぬどう ちちやっ  
さる くとうん あん。(大きい声よりも小さ  
い声が聞き取りやすいこともある)。

**またさん／またしー** 〈完全である〉

【例】あぬ っちょー まちげーねーらん また  
しーむん やん どー。(あの方はまちがいな  
く信頼のおける人だよ)。

**まちなげーさん** 〈待つのが長い〉 【例】

まぎいさぬやーや かかとーる っちゆぬちゃ  
ーぬ どうく まんでい、どうーぬ なーぬ  
ゆばりーるまでい まちなげーさん。(大きな  
病院は通院している人があまりにも多くて、自  
分の名前が呼ばれるまで待つのが長い)。



# み

**みーさん** 〈新しい〉 【例】くるまー みー  
さしどう こーたる。(車は新車を買った)。や  
ーや みーやーどう こーたる。(家は新築を  
買った)。

**みーどうーさん** 〈久しく逢っていない〉  
【例】みーどうーさいびーたしが、がんぢゅーさ  
そーいびーたん なー？(久しく逢っていま  
せんが、お元気でしたか)。

**みーふいちゃらさん** 〈まばゆい〉 【例】  
ちゅーぬ つわーちちえー ゐーつわーちち  
やしが、みーふいちゃらさる あたい やっさ  
ー。(今日の天気はいい天気だが、まばゆいばか  
りだ)。

**みーやっさん** 〈見るにたえれる〉 【例】ち  
かぐるんでー いるぬがーっし よーがりてい  
ん をうたしが、なまねー くえーていっち  
いるぐわーん っんぢてい みーやしく など  
ーっさ。(近頃は顔色も青ざめてやせてもいた  
が、今は体重も増えて来て血色もよくて見られ  
るようになっているよ)。

**みっくわさん** 〈憎い〉 【例】どうーくる  
あん いやーに さん っちよー みっくわ  
しく ないん。(自分でそう言ってしない人は  
憎くなる)。うっさ すんでいち めーどうい  
そーてい ぬーん しえー ねーらん っち  
よー みっくわしく ないん。(あんなにする  
といって前金を取っていながら何もしていない  
人は憎たらしくなる)。

**みねーぢゅらさん** 〈身ぎれいだ〉 【例】  
あぬ っちよー ちゃー ちゅらすがいっし  
みねーぢゅらさん やー。(あの人はいつも着  
飾って身ぎれいだね)。

**みみがしまさん** 〈うるさい〉 【例】ばす  
ぬ なかをうてい わかむんぬちゃーが うふ  
あびー さい、たかわらい さいっし みみが  
しまさたくとう、うんてんしゅんかい あびら  
っとーたん。(バスの中で若者たちが大声を出  
したり、高笑いしたりしてうるさいので、運転  
手に怒られていた)。**【参】**「みんちゃさん」とも  
言う。





# む

**むちかさん** 〈難しい〉 【例】うとうすえー  
あさ わらとーていん、ゆさんでい ないね  
ー にちぬ っんぢていちゅーる くとうん  
あくとう、やーにんじょー とうんじゃくぬ  
いっペー むちかしく ないん。(お年寄り  
は朝笑っていても、夜になると熱が出てくる  
こともあるので、家族の介護がとても難しく  
なる)。

**むちさん** 〈粘っこい〉 【例】ちぬんかい ぬ  
いちき すんでい そーしが、ちゅーぬ むの  
ー あんすかー むちこーねーん さー。(衣  
類に糊付けしようとしているが、今日のは  
そんなに粘っこくない)。【参】むち。

**むちのーしえーうーさん** 〈回復はでき  
ない〉 【例】むちのーしえーうーしみそー  
ら んてーさ やー。(ご愁傷さまでした)。

**むぬうみーぎさん** 〈思いつめているよう  
だ〉 【例】むぬうみーぎさっし みーとーる  
はじ やしが、わんねー ぬーん かんげー  
ー をうらん どー。(思いつめているように  
みえるかも知れないが、私は何にも考えてい

ない)。【参】むぬうみー そーんねー すん (物  
思いをしているようだ)。

**むぬはちぶさん** 〈吐き気がする〉 【例】ち  
ぬーぬ ゆろー さき ぬみぢゅーさぬ むぬ  
はちぶさん。(昨日の夜は酒を飲み過ぎて吐  
き気がする)。あれー むぬはちぶさ そーん  
どー。(あの人は吐き気を催しているよ)。【参】  
「むぬ はかーはかー すん」とも言う。

**むぬふさぎさん** 〈もの欲しそうにする〉  
【例】あれー っちゅぬ むん ぬーんくいーん  
うれーまさっし むぬふさぎさっし ふーぢ  
えー ねーん やー。(あの人は人のもの何  
でも羨ましくてもの欲しそうにしているよう  
でみっともないね)。

**むぬよーぎさん** 〈弱々しい、きゃしゃであ  
る〉 【例】あぬ っちょー よーがりかーっ  
し むぬよーぎさる っちゅ やしが、はなし  
ちん かからん がんぢゅーむんどう やる。  
(あの人は痩せ過ぎてきゃしゃな人だが、風邪  
もひかない元気者だ)。



# や

**やがまさん** 〈面倒だ〉 【例】やくばんかい  
っんぢやする むのー ちゅけーんねー と  
うーらん、ふいっかかいむっかかいぬ あてい  
あまはいくまはい しみらさってい やがま  
さん。(役場へ提出するものは一回では通らな  
い、あれこれあってあちらへ行ったりこちらへ  
行ったりさせられて面倒だ)。

**やふあらさん** 〈柔らかい、病弱である〉  
【例】やふあら むち(柔らかい餅)、やふあら  
むん／やふあらー(病弱者)、やふあらがんに  
ゅー(病弱なのに重い病気にもかからなくてそ  
れなりに不自由なく暮らしている者)。ちんぬ  
くじゅーしー、かんだばーじゅーしーや やふ  
あらじゅーしー しーねー まーさん。(里芋  
雑炊、芋の葉雑炊は柔らか雑炊にすればおいし  
い)。ありが むぬ いーよーや やふあって  
ーんぐわー そーくとう、たー やていん ち  
ちゅん。(あの人のことば遣いは柔らかいので、  
誰だって耳を傾ける)。やふあらむんにどう  
ちりんあくたん たっくわーていちゅーんでい  
ち あん どー。(病弱な者にこそどんなもの  
もくっついてくるんだってよ)。あれー にん

ぢのー いっぺー やふあらさん どー。(あ  
の人の人間性はとてもやさしいよ)。【参】どう  
ーやふあらさん。反意語は「くふあさん」。

**やっさん** 〈安い〉 【例】でーぬ やっされ  
ー しなむぬん わっさくとう、やっさくとう  
んでいち こーいる むのー あらん。(値段  
が安いと品物も悪いので、安いからといって買  
うものではない)。

**～やっさん** 〈～易い〉 【例】ばさーむのー／  
あさぢのー しださぬ、ちーやっさん。(芭蕉着  
／麻着は涼しくて着やすい)。なまー くるま  
ぬ あてい あっかんていん しむくとう、じ  
かぬん かからん、いっぺー くらしやすく  
なとーん。(現代は車があって歩かなくてもよ  
いので、時間の短縮にもなって、とても暮らし  
やすくなっている)。

**やなみっくわさん** 〈とても憎たらしい〉  
【例】あれー いふーな っちゅ なてい、やな  
みっくわさん。(あの人は変な人で、ほんとに憎  
たらしい)。



# ゆ

**ゆたさん** 〈良い、善い、よろしい〉 【例】っやーが そーる くとー ゆたさみ？(あなたがしていることは正しいか)。ゆたさ わっさ (善し悪し)。

**ゆゆぢゅらさん** 〈手足がすらっとしている〉 【例】モデルぬちゆぬちゃーや ていーふいさん ながさい、ふどうん まぎさぬ、ゆゆぢゅらさくとう、ぬー ちちん うちやてい ちゅらさん。(モデルの方たちは手足が長くて、体も大きくて、すらりとしているので、何を着ても似合って美しい)。うちなーぢゅらーぬ っちゆぬちゃーや ちぶるん ちち、ふどうたきん あてい、ゆゆぢゅらさん あてい、かーぎん まんでい、ゐー っんまり そーん やー。(沖縄美人の人たちは頭もよくて、身長も高くて、手足もすらっとしていて、顔立ちもよく

て、良い生まれをしているね)。

**ゆるさん** 〈緩い〉 【例】っやー むのー しーよーぬ なーだ ゆるさん／よーさん。(あなたの物事はやり方がまだ手ぬるい／弱い)。

**ゆんがしまさん** 〈とても(忌み)うるさい〉 【例】あれー っちゆ ぬらいる やなぐしぬ あてい ゆんがしまさぬ、くーんしえー まし。(あの人は人を叱る悪い癖があってとてもうるさくて、来ない方がいい)。

**ゆんはごーさん** 〈とても(忌み)汚い〉 【例】こーえんぬ トイレんでーぬ ゆんはごーさいねー、ちかいる っちゆぬちゃーまでいん やなくくち ないん。(公園のトイレなどがとても汚いと、使用する人たちまでも嫌な気持ちになる)。



よ

よーさん 〈弱い〉 【例】 なー いふえー  
ちゅーく いれー まし やる むんぬ。いー

よーぬ よーさくとう ちかんさ。(もう少し  
強く言えばいいのに。言い方が弱いので聞か  
ないさ)。





# ら

～らーさん 〈～らしさが出ている〉 【例】あ  
ぬ っちょー みみたいん まぎさぬ、ちらん  
ふくふくとうっし んーちん っうえーきん  
ちゅらーさん やー。(あの方は耳たぶも大き  
くて、顔立ちもふくよかで見ただけでもお金持  
ちらしいね)。ちわまてい っちゅぬ っうい  
ーんかい たちゅる っちゅぬちゃーや まる  
ふいーじーぬ っちゅぬちゃーとー ちがてい  
ちらん くわんくわんっし あんし っんぶ

らーさみしえーる！(決まって人の上に立つ人  
たちは一般の人とは違って顔つきも重々しくな  
んと品格が備わっていらっしゃることか)。う  
いきがらーさる ういきがぬ いきらく など  
ーんねー すん。(男らしい男が少なくなっ  
ている気がする)。しんしーらーしこーねーん  
むぬいーよー やん やー。(先生らしくない  
発言だね)。うちなーちゅらーさん(沖縄の人  
らしい)、ういきがらーさん(男らしい)。【参】～  
ぎさん。



# わ

**わたうふさん** 〈お腹いっぱい〉 【例】わたうふく なてい なー かみゆーさん どー。  
(お腹いっぱいでもう食べられない)。わたうふく  
なてい うふえー あっかんとーならん。(満腹で少し歩かないといけない)。

**わっさん** 〈悪い〉 【例】くーさる ばすから  
うやー ゆたさわっさー ゆー ならーす

し やん。(小さいときから親は善し悪しはよく  
教えておくべきだ)。ゆたさわっさー ちゅ  
い たれーだれーっし ふいらてい いちゆる  
むん やん。(善し悪しはお互い補い合いなが  
らつき合って行くものだ)。あれー したたか  
しむちぬ わっさん どー。(あの人はとても  
性格が悪いよ)。



# う い

ういーごーさん 〈かゆい〉 【例】 がに  
かまーに あたていが をうら、まーんくいー

ん ういーごーく などーん。(カニを食べて  
あたっているのか、どこもかもかゆくなっている)。



# をう

**をうかさん** 〈おかしい〉 【例】 っちゆぬ  
をうかさし わらとーる っちゆぬどう をう  
かさる。(人のおかしいのを笑っている人こそ  
おかしい)。

**をうがんどーさん** 〈ご無沙汰をしてい  
る〉 「みーどーさん」(久しぶりである) の  
敬語 【例】 をうがんどーさ そーいびーたし  
が、うあちみしえーびていー？(ご無沙汰して  
おりましたが、お元気でいらっしゃいますか)。





## っうい

**っういーらーさん** 〈老けて見える〉 【例】

あぬ っちょー っういーらーしく みーしが、じちえー みーふあぬ ぐとー とうしえー っんぢえー をうらん。(あの人は老けてみえるが、実は見かけほど歳はとってはいない)。

**っういーりきさん** 〈おもしろい〉 【例】

あぬ っちゆぬ はなしえー いっぺー っういーりきさ あてい たみ ないん。(あの人の話はとてもおもしろくてためになる)。っう

いーりきさっし まっちょーん どー。(楽しみにして待っている)。

**っういーりきぎさん** 〈おもしろそうである、楽しそうである〉 【例】あぬ っちょー

っういーりきさぎさ そーたん どー。(あの人は楽しそうだったよ)。あぬ ぬいがー いっぺー っういりきさぎさっさー。(あの映画はとてもおもしろそうだよ)。



ん

んじょーさん 〈愛しい、(子供が) かわいい〉 【例】 どうーぬ つくわぬ ぐとう かなさる っちゅんかい 「んじょーさん」でいいーん。(自分の子どものように愛しい人に

「んじょーさん」と言う)。ういなぐぬ うやー どうーぬ なちえーる つくわぬちゃーや ゐぬぐとう んじょーさん どー。(母親は自分が産んだ子どもは分け隔てなくかわいいんだよ)。【参】 かなさん、うじらーさん。



# っん

**っんぶらーさん** 〈品格がある〉 【例】 っちゅぬ っういーんかい たちゅる っちょー っんぶらーさ ありわどう やる。(人の上に立つ者は品格もないといけない)。【参】「っんぶ(さん)」と「～らーさん」の合成か。

**っんぶさん** 〈重い〉 【例】 わったーが わらび そーいに かみあちねー そーる っちゅぬちゃーや たーれーんかい ういむん いってい っんぶさぎさーっし あっちょーたん。(私たちが子どものときに頭に乘せて行商

している人たちはるタライに売り物を入れて重そうにして仕事していた)。

**っんまりだかさん** 〈尊い生まれである〉

【例】 んかしえー っんまりだかさる っちょー っちゅぬ っういーんかい たちゅしえー まちげー ねーらんたしが、なまぬ ゆーや あねー あらん。(昔は尊い生まれの人は立身出世していくのは約束されていたが、現代はそうではない)。



## 副詞編





# あ

**あがとー／うがとー** 〈あんなに遠く／そんなに遠く〉 【例】っやーや あがとー／うがとーまでい ちゅーる ばー なー？(君はあんなに／そんなに遠くまで来るのか)。あがとー／うがとー までー いかん どー。(あんなに／そんなに遠くまでは行かないよ)。

**あからくわーら** 〈豪華で派手なさま〉 【例】ありが ちのー ちゃー あからくわーら そーん やー。(あの人の服はいつも派手だね)。を一さまぬ っうえーんそー あからくわーら そーん。(王様のお召し物は豪華絢爛たるものだ)。

**あたい** 〈くらい(程度)〉 【例】うぬ／あぬ／くぬ あたい なちかさる ばー め？(それ／あれ／これほど悲しいのか)。うぬ／あぬ／くぬ あたい くちさどう ある め？(それ／あれ／これほどつらいのか)。わた くふ あいる か／あたい わらたん。(お腹が痛くなるほど／くらい笑った)。くいーかさー ない か／あたい うた うたたん。(声がかれるほど／くらい声を歌ったよ)。

**あちだん** 〈なかなか〉 【例】ちゅーやんめー かかてい ありくり ちくちん あちだん ましえー ならん。(重い病気にかかってあれこれ尽くしてもなかなか良くなならない)。

**あったに** 〈急に〉 【例】あったに(\*ちゅーちゃん) っちゅ うどうるかち、たまし ぬぎーさ。(急に人を驚かせて、びっくりするじゃないか、「\*ちゅーちゃん」はここでは使えな

い)。くすい ぬだくとう、あったに まし などーさ。(薬を飲んだので急によくなっている)。あったあびーっし っちゅ どうまんぐ わち なー？(急に大声を出して人をびっくりさせてねえ)。むぬん あったがみっし っやーや やーさどう ある め？(急いだ食べ方をしてお前は腹でもすかせているのか)。くぬ わらべー あったなちっし まーがな やみどーう すがやー？(この子は急に泣き出してどこが痛いのかねえ)。くまんかい ちえー をう たしが、あったに をうらん などーん。(ここに来てはいたが、急に居なくなっている)。ゆーじゅ うびっんぢやさーに あったに けーたん。(用事を思い出して急に帰った)。**【参】**ちゅーちゃん(すぐに)。

**あるうっさ／あるうっぴ** 〈ありったけ〉 【例】あるうっさ むる むっち っんぢ ぬーん ぬくてー をうらん。(ありったけ持って行って何も残ってはいない)。

**あるかしか** 〈いっさいがっさい〉 【例】くぬめーぬ とーほくぬ しがりなめー ふにん、やーん、くるまん、きーん あるかしか むる むっちはち ねーん。(この前の東北の津波は船も家も車も木もいっさいがっさいすべて持ち去ってしまった)。

**ありかー／くりかー** 〈あのあたり／このあたり〉 【例】うりかーんかい ちゅーる ばすねー(このあたりに来る際には)。「うりかーんかい ふいがさんでいる っちゅぬ めん しえーびーがやー？」「うりかーをうてー をう

らんさー」(「このあたりに比嘉さんという人が  
いらっしゃいますか」「このあたりにはいない  
よ」)。ありかー あらに？(あのあたりじゃな  
い)。ありかーんかい っんぢ まーに？(あの  
あたりに行っごらん)。

**あん** 〈そう〉 【例】 あんどう やていー？(そ  
うだったの)。いーな あん なとーみ？(もう  
そうになっているか)。

**あんすか** 〈そんなに〉 【例】 あんすか でー  
じ やみ？(そんなに大変なの)。あんすかなー  
なちかさる ばー め？(それなにも悲しい  
のか)。あんすかー やまん どー。(そんなに  
は痛くないよ)。あんすかー ふいーこーねー  
ん。(そんなに寒くない)。あんすかー あら  
んさ。(それほどではないよ)。あんすかー ま  
ーこーねーらん。(そんなにおいしくない)。

# い

**いーばーしーちえー** 〈所狭しと〉 【例】

ゐーりむんぬ はくんかい みっちゃかーっし  
／いーばーしーちえーっし いっちょーん。(おも  
ちやが箱にいっぱい／所狭しと入っている)。  
くーこーぬ っんぢぐちぬ みーんかい いー  
ばーしーちえーっし ならでい ちじぬ けー  
ていちゅーし まっちょーたん。(空港の出口  
付近に所狭しと並んで知事が帰って来るのを待  
っていた)。

**いーなぬふえーなー／いーなー** 〈そ

んなに早く／もう〉 【例】 いーなぬふえーな  
ーや くーんけー。(そんなに早くは来ないで)。  
ふえーぶに やくとう、いーなぬふえーなー／  
たでーま ちちえーさ やー。(快速船なので、  
そんなに早く／もう着いたんだね)。つうえーか  
ぬちゃーんかえー いーなー っんぢ ちー？  
(親戚の家にはもう行って来たの)。くわいしや  
ー しんぐわちにどう いっचारる むんぬ、  
いーなー やみたんでいー？(会社は4月に入  
社したばかりなのに、もう辞めたんだって)。

**いかな** 〈いかに〉 【例】 いかな／ちゃっさ

ゴーヤーや しかん てーまん、っちゆぬ や  
ーんぢ っんぢやさりーねー、いふい やてい  
ん くちえー ちきーっし やんでい。(いかに  
ゴーヤーは好きでなくても、人の家を出され  
ると少しでも口はつけるものだよ)。

**いかなしん** 〈どうしても〉 【例】 いかな

しん／ちゃーしん うむいぬぐとう ならん。  
(どうしても思いのままにならない)。

**いっぺー／じこー／したたか／で  
ーじな／さっこー** 〈とても、ひどく〉

【例】 いっぺー／じこー／したたか をうたとー  
ん。(とても疲れている)。いっぺー／じこー／  
したたか ういーとーん。(ひどく酔っている)。  
いっぺー／じこー／したたか ぬらーったん。  
(ひどく怒られた)。いっぺー／じこー／したた  
か すぐらったん。(ひどく叩かれた)。じこー  
／したたか／＊いっぺー っんでいたん。(ひ  
どく濡れた)。いっぺー／じこー／したたか  
やなかーぎー (ひどい不細工)。いっぺー／じ  
こー／したたか／でーじな／さっこー よーさ  
ん。(とても弱い)。さっこー とうーさっさー。  
(とても遠いね)。いっぺー／じこー／さっこー  
やむん。(とても痛い)。いっぺー／じこー／  
さっこー いちゆなさん。(とても痛い)。いっ  
ぺー／じこー／さっこー まーさん。(とても  
おいしい)。いっぺー／じこー／さっこー う  
とうるさん。(とても怖い)。さっこー をうた  
てい よー。(とても疲れてねえ)。さっこー  
なんぢ やたん。(とても大変だった)。さっこ  
ーな すがい そーさー。(みすばらしい格好  
しているよ)。さっこー ふいーさん。(とても  
寒い)。さっこー んぢやさたん。(とても苦か  
った)。【参】 あれー さっこー やっさー (あ  
いつはひどいよ)。

**いちゃいちゃーとう／っんぢやっ  
んぢやーとう** 〈こっぴどく〉 【例】 く

ぬ わらべー／うーまーくーや／ふりむのー／ふ  
らちなむん／ぶらげー、いちゃいちゃーとう／  
っんぢやっんぢやーとう いーちきてい なら

ーさわどう やる。(この子は／このわんぱくは／バカは／不埒な者は／役立たずは、手厳しく言って教えないといけない)。【参】あていなしむん (あどけない者、無邪気な者)。

**いちゅたー** 〈ちょっと、しばらく〉 【例】いちゅたー つんまが んーちよーてい とうらさに？(ちょっと孫をみていてくれないか)。っやーや いちゅたー じん からちくいらんなーんでい いちよーしが、っやー いちゅたーや ちゃぬ あたいぬ いちゅた やが？(あなたはしばらくお金を貸してくれないかと言っ

ているが、あなたのしばらくとはどの位のしばらくなのか)。

**いばいばーとう** 〈こじんまりと〉 【例】やーぬ どーぐぬ うちよーに ゆてー、くーくぐわー そーる やーん ふいるびるーとう なたい、まぎやーん いばいばーとう なたい すさ。(家具の配置しだいで、狭い家も広々となったり、大きな家も狭く感じたりする)。

**いふい** 〈少し〉 【例】いふいどう わかいる。(少しはわかる)。

# う

**うーしえーくるばしえーっし** 〈押し合いへし合いして、押しつけ合って〉 【例】うーしえーくるばしえーっし すりたる うまんちゆぬ なーかから ちゆいびけーん いらばったん。(押し合いへし合いして集まった人々の中から1人だけ選ばれた)。

**うしうしに** 〈無理に〉 【例】わんねー しーぶしこー ねーらんたしが、じんがみー うしうしに しみらったん。(私はしたくなかったが、会計を無理にさせられた)。

**うっさ** 〈それだけの量〉 【例】ちゅーや さけー うっさどう ない。(今日は酒はそれだけしか飲めない)。

**うちゃたいかなたい** 〈似合っているさま〉 【例】あぬ たえー いっぺー うちゃたいかなたい そーん やー。(あの二人はとてもお似合いだね)。

**うびらじに** 〈思わず〉 【例】たんかーぬ っちゆぬ はなしぐいーぬ ちかりてい ちちゆんちえー あらんたしが、くいーぬ まぎさぬ、はなしん うむさたくとう、うびらじに わらたん。(隣の人の話し声が聞こえて聞くと、もりはなかったが、声が大きくて、話がおもしろかったので、思わず笑ってしまった)。

**うふうふーとう** 〈たっぷり〉 【例】みる さんぐとう、うふうふーとう いっていかめー。(遠慮しないで、たっぷり入れて食べなさい)。いびらーいりー さんぐとう、うふうふ

ーとう いってい かめー。(ケチケチしないで、たっぷり入れて食べなさい)。

**うみちっとう** 〈強く〉 【例】うぬ わかむんぬちゃーや ぐてーぬ ねーんどう あがやー? なーふいん うみちっとう どうーぬ めーんかい ゆしれー しむるむんぬ。(あの若者たちは体力がないのか? もっと自分の前に寄せればいいのに)。くぬ わらばー ちゃっさ いちん ちかんくとう、うみちっとう ぬられー/しちきれー/ならーし よー。(この子はいくら言っても聞かないので、強く叱りなさい/躾けなさい/教えなさいよ)。

**うみなーく** 〈ほっと安堵するさま〉 【例】しーかきとーたる むんぬ むる なー なてい うみなーく などーん。(手がけていたものがみんな終わってほっとしている)。

**うん** 〈そんなに〉 【例】うん にんていん なーだ にんぢ たらーんどう ある め?(そんなに寝てもまだ眠り足りないのか)。うんなくんな そーちーねー、じゃーふえーていーふえー そーん どー。(そんなことをしていると、大変なことになるよ)。

**うんなげー** 〈そんなに長く〉 【例】どうーぬ くとう やるむんぬん、うんなげー かんげーていん わからん なー?(自分ことなのに、そんなに長く考えてもわからないの)。うんなげー にんてい ゆろー にんだらんさ。(そんなに寝て夜は眠れないよ)。うんなげー かんげーていん わからに?(そんなに長く考

えてもわからないのか)。うんなげー あみ  
ふとーる やー。(こんなにも長く雨が降って  
いるね)。うんなげー みーらんたん／くーん

たん やー。(こんなにも久しぶりだった／長  
く来なかったね)。

# か、が

**か** 〈ほど、程〉 【例】わたぬ くふぁいるか  
わらたん／かだん。(お腹が痛くなるほど笑っ  
た／食べた)。げんの一さーに いーび たっ  
びらかちゃくとう、しぬるか やむたん。(ハン  
マーで指を叩き付けの、死ぬほど痛かった)。  
しぬるかぬ あわり しみらさったん。(死ぬ  
ほどの難儀をさせられた)。っやーや どうく  
ふいさぬ(＝あっちゆしぬ) ふえーさぬ、  
っちゆぬ うふさる とうくまをうてい みー  
らんかみーらんか そーたくとう とうめーう  
ーさんたん。(あなたはあまりにも足が速くて、  
人が多いところで見えなくなったりしていたの  
で探せなかった)。

～**かー** 〈程度のはなはだしいさま〉 【例】し  
ったいかー そーる かさー(＝しったい が  
さー) かさいりやーんかい いっとーちみそ  
ーれー。(びしょぬれの傘は傘立てに入れてお  
いて下さい)。くぬ ふるぐるまーや どうし  
から めーたしが、やんでいかー そーん。(こ  
の中古車は友人からもらったのだが、あちこち  
壊れている)。

**かしーかしー** 〈さっさと〉 【例】わじゃ  
さがなー ゆんたくふいんたくびけー さん  
ぐとう、かしーかしー さんだれー、ちゅー  
ないしん あちゃー ないん どー。(仕事し  
ながらおしゃべりばかりしないで、さっさとし  
ないと、今日できるのも明日になるよ)。かしー  
かしー しこーれーんでいち あわていらかす  
くとう、むぬん うまーらん などーさ。(さっ  
さと準備しなさいといってせき立てるので、物

事をちゃんと考えられなくなっている)。【参】  
「よーんなー」の反義語。

**かじてい** 〈決まって〉 【例】あぬ っちょー  
やくすく しーねー、かじてい ちゅーん  
どー。(あの人は約束したら間違いなく来るよ)。  
っやーや くちぬ ぐとうっし かじてい っ  
ちくいーん やー。(あなたは口にしたように  
ちゃんと来てくれるね)。

**かたがた** 〈たまたま〉 【例】わんにん い  
っペー いちぶさー あたしが、かたがた し  
くちぬ あてい いからんたん。(私も行きた  
かったが、たまたま仕事で行けなかった)。

**かながなーとう** 〈仲むつましく〉 【例】  
あったーや みーとうんだぬ ぐとう かなが  
なーとう そーん やー。(あの人たちは夫婦  
のように仲むつまじくしているね)。たえー  
ちーそー／えーそーぬ あーていどう かなが  
なーとう そーん やー。(二人は気質／相性  
があって仲むつまじくしているね)。

**がふあがふあ** 〈かくしゃくと〉 【例】あ  
まぬ うとうすえー がふあがふあ そーみし  
えーん。(あちらのお年寄りにかくしゃくとし  
ていらっしゃる)。

**がさっとう** 〈げっそりと〉 【例】あれー  
がさっとう なてい なまにん とーりぎさ  
そーん。(あいつはげっそりして今にも倒れそ  
うだ)。

**かるーがるーとう** 〈軽く〉 【例】みしげ  
ーさーに うしちきらんぐとう かるーがるー



とう いってい とうらし よー。(しゃもじで押し付けなくて軽く入れてくださいね)。か  
るーがるーとう むっちゃくとう どうーぬ  
にーやかー がっさんでい うむてい けーる  
ー さくとう わーむん やかん ゆくん っ  
んぶむん やたん。(軽々と持ったので自分の  
荷物より軽いと思って換えたら私のよりも余計  
重いものだった)。

**かわてい** 〈格別に〉 【例】なちえー かわ  
てい ぬーでいーぬ かーきーっさ やー。あ  
んすくとう、ぬみむのー はなさらん。(夏は格  
別に喉が渴くね。だから、飲み物は離せない)。

**かななじ** 〈必ず〉 【例】かななじ しー／  
くー よー。(必ずしなさいよ／来なさいよ)。

## き、ぎ

きっさ 〈さっき、もう〉 【例】うんじゅな一た  
ーや きっさ めんそーちえーさ やー。わん

やか さち などーみそーてーさ やー。(あ  
なた方はもういらっしゃっていたんですか。私  
より先にみえていらっしゃたんですね)。



## く、ぐ

**くーてーんなー** 〈少しずつ〉 【例】むぬ  
かむるくとう なーる わらびんかえー く  
ーてーんなーどう かますん どー。っちゅけ  
ーんなかい うほーく かましーねー わたや  
んぢゅん どー。(食べ物を食べられるように  
なった子どもには少しずつ食べさせるんだよ。  
一度でたくさん食べさせるとお腹をこわすよ)。

**くじゃ** 〈粉々に〉 【例】でーだかーぬ ちぶ  
やたしが、ばっパーてい うとうち くじゃ  
なち、かなさるむんぬ ねーん なたい な  
まー ちむしからーしく なーん。(高価な  
壺だったが、間違って落として粉々になって、  
大切なものを失くして今は悲しい)。

**くさきー** 〈こんなにたくさん〉 【例】いり  
みー／っんぢりみーぬ くさきー はやがとー  
ん／しぢとーん。(収入/支出がこんなにたくさ  
んある)。っういーりきどうくるんかい くさ  
きーぬ っちゅぬちゃーや まーから ちゃが

やー？(イベント会場にどこからこんなにたく  
さんの人たちは来たのかなあ)。

**〜くとう** 〈〜ので〉 【例】さけー しかんく  
とう ぬまん。(酒は好きでないので飲まない)。

**くとうかじ** 〈ことごとに〉 【例】ちゅーる  
くとうかじ んなでいーからでいーしえー  
くーんくとう、ちゃー すがんでい うむとー  
ん。(来ることごとに何かを持ってくるので、ど  
うしようかと思っている)。

**くりーぐりー** 〈狂わんばかりに悩んで〉  
【例】わんねー どうーくる かんげーてい さ  
な やーんでい うむてー をうたしが、ちゃ  
ーん ならん、ちぶろー くりーぐりー しー  
がたー まーとーくとう、っやー じんぶぬん  
からち とうらさに？(私は自分で考えよう  
と思っではいたが、どうしようもない、頭が今  
にもおかしくなりそうなので、あなたの知恵も  
貸してくれないか)。



## け、げ

けーてー 〈かえって、むしろ〉 【例】 けー  
てー うれー さんしえー まし やてーん  
やー。(かえってそれはしなかったほうがよか

ったんだね)。けーてー うれー さんしどう  
やたる。(むしろそれはしてはいけないこと  
だった)。けーてー あまぬどう まし やて  
ーっさー。(むしろあちらがよかったんだね)。



## くわ、ぐわ

**くわたくわた** 〈ぐつぐつ〉 【例】「うーにー」ぬ くわたくわた たぢてい にーかじゃ そーくとう、でいー かまな。(煮物がぐつぐつ煮えて匂いがしているので、さあ食べようか)。【参】うーにー (お祝いの煮込み料理)。

**くわーらくわーら** 〈ゴロゴロ〉 【例】かんないぬ くわーらくわーら ないねー、ふすとうらりーくとう、どうまんぐいてい わたくわっくわちゃん。(雷がゴロゴロなるとへそを取られるので、びっくりしてお腹を隠した)。

**くわらくわら** 〈ギラギラ照りつける様子〉

【例】ていーだぬ くわらくわら そーん。(陽がかんかんと照りつけている)。

**くわんくわん** 〈威厳で輝いている様子〉

【例】あぬ ぎんこーぬ うふぬーしぬ ちらーくわんくわんっし つんぶらーさん やー。(あの銀行の頭取の顔は威厳で輝いて見えるね)。

**ぐわんぐわん** 〈(ドラ、鉦、太鼓で)にぎやかな様子〉 【例】ハーリーがにぬ ぐわんぐわん ないねー ちむん うていちかん。(ハーリー鉦がガンガン鳴ると心がはやる)。





## くい、ぐい

くいーり くいーり <ぎいぎいときしんで  
いるさま> 【例】はーやぬ くいーりくいー

り すしが、なーかんかい むしぬどう いっ  
ちよーがやー？(柱がぎいぎいときしんでいる  
が、中に虫でも入っているのかねえ)。



## く え、 ぐ え

く えー ぐ えー とう 〈でっぷり〉 【例】 あれー ぬーぬ まーさむん かどーが すら、しまとうやーぬ ぐとう く えー ぐ えー とう そーん やー。(いったいどんなおいしい物を食べているのか、あの人はでっぷり太っているね)。

く えん く えん 〈ゆらゆら〉 【例】 うちな一ぬ なちぬ うめー ていーだぬ あたいねー ふいちゃてい く えん く えん とう っし ちゆらさん。(沖縄の夏の海は陽があたると光がゆらゆらとしてきれいだね)。



**さーじゃーとう** 〈さっぱりと〉 【例】み  
 っちやぬ っうえーだどう やしが、ありんく  
 りん うさぎらんとー ならんくとう、しちぐ  
 わちん うわれーからー ちむん さーじゃー  
 とう ないん。(3日間だけだが、あれもこれも  
 お供えしなければならぬので、旧盆が終わる  
 と気持ちもさっぱりする)。なちえー あしは  
 い みじはい すくとう、ていーさーじっし  
 ぬぐいねー いっぺー さーじゃーとう ない  
 ん。(夏は汗をかくので、タオルで拭うととても  
 さっぱりする)。なま さんねー ならんく  
 とうぬ なー うわてい さーじゃーとう なと  
 ーん。(今すべきことがもう終わってしまって、  
 すっきりしている)。ゆーふる いっちゃんく  
 とう、さーじゃーとう なたい めー あんべー  
 そーっさー。(風呂に入ったので、さっぱりし  
 て気持ちがいい)。やなぐち しーぶさる と  
 うちねー うみんかい にかてい まぎぐいー  
 っし はちっんぢやしーねー ちむさーじゃー  
 とう ないんでい。(悪口を言いたいときには  
 海に向かって大声で吐き出すと気持ちがすっきり  
 するんだって)。

**さこー** 〈～するくらいなら、ほどには〉 【例】  
 あびーる さこー (ごーぐち ひやーぐち  
 する さこー) さん けー。(文句を言うぐら  
 いならするな)。くさらち していーる さこ  
 ー うほーく なー こーらん けー。(腐ら  
 せて捨てるくらいならこんなにたくさんは買  
 うな)。おーいる さこー (ちゅーる かーじ  
 おーえーむんどー うくする さこー) くま  
 んかい くーん けー。(けんかするくらいな

ら(来るたびにけんか事を起こすくらいなら)  
 ここには来るな)。さんばー する さこー  
 しえーくいーんな けー。(したくないのなら  
 しないでくれ)。

**～っさ** 〈数量の程度(一般的に)〉 【例】うっ  
 さなー (そんなに多い)、うっさぐわー (そんな  
 に少ない)。くっさなー (こんな多い)、くっさ  
 ぐわー (こんなに少ない)。あっさなー (あんな  
 に多い)、あっさぐわー (あんなに少ない)。ち  
 やっさなー (どれほど)、\*ちやっさぐわー。ち  
 やっさん わたんかい いーん。(いくらでも  
 お腹に入る)。ちやっさん ふさん／くいーん。  
 (いくらでも欲しい／くれる)。うっさぬ くる  
 ま／さき／むぬ よー。(こんなにたくさんの  
 車／酒／ものがあるなあ)。うっさぬ さき  
 よー。くれー いくたい しんかつし ぬむが  
 やー。(こんなにたくさんの酒があるな。これ  
 は何人の仲間で飲むのかね)。うっぴぬ さき  
 だろー んーちえーんーだん やー。(こんな  
 に大きい酒樽は見たことはないね)。うっさき  
 なーぬ くるまぬ ちまとーてい なー うれ  
 ー やーんかい けーいねー ゆなかさなか  
 ないんどー。(こんなに車が渋滞しているから、  
 もうこれは家に帰ったら夜中になるね)。ちやっ  
 さきーぬ／ちやっさなーぬ っちゅ／むぬ や  
 たが？(どんなに多くの人／ものだったのか)。  
 くっさ／あっさ たかく とうどーる やー。  
 (こんなに／あんなに高く飛んでいるね)。くさ  
 きーなー／あさきーなー たかく (こんなに／  
 あんなに高く)。くっさなー／あっさなー み  
 ーぬ なんとーる やー。(こんなにも／あんな

にも実がなっているね)。ちゃっさ たかく  
とうどーが？(どれほど高く飛んでいるの)。ち  
やっさきーなー たかく(どれほど高く)。ちゃ  
っさなー みーぬ なとーが？(どれほど実が  
なっているの)。ちゃっさなー あたが？(どれ  
ほどあったか)。ちゃっさんかっさん こーて  
いあとー むちうーさん などーん。(どれも  
これも買った後には持てなくなる)。【参】ちゃ  
ぬあたい みーぬ などーが？(どのくらい実  
がなっているのか)；ちゃぬあたい あたが？  
(どのくらいあったのか)；うっぴ よー(それ

っぽちだよ)；くっぴ よー(これっぽちだよ)。

**さららんしー** 〈嫌々ながら〉 【例】さら  
らんしー する さこー さん けー。(嫌々  
するぐらいならするな)。

**さんじゃんくんじゃん** 〈めちゃくちゃ〉  
【例】ぬすどうんかい さってい たんしぬ  
ふいちっんちゃしーや さんじゃんくんじゃん  
などーん。(盗人に入られて、タンスの引き出  
しはめちゃくちゃになった)。【参】「あーさむ  
ーさ」とも言う。

# し

**しーてい** 〈無理に〉 【例】しーていまでい  
っやーや いちぶさ すしが、ぬーがな ゆー  
じゅぬ あいどう する め？(無理にでもあ  
なたは行きたがるが、何か用事でもあるのか)。  
っちゅぬ かまんばー すしえー しーていま  
でい かめー かめー すな けー。(人が食  
べたくないと言っているのを無理に食べなさい  
食べなさいと言わないで)。

**～しーていー** 〈～ごと、～ぐるみ〉 【例】っ  
んむじょーぐーや かーしーていー かむん  
どー。(芋好きは皮ごと食べるよ)。ぐるくのー  
ちゅーく あぎーねー、ふにしーていー か  
まりーくとう、どうーぬ ふにん ちゅーく  
ないん。(グルクンはよく揚げると、骨ごと食べ  
られるので、体の骨も強くなる)。

**しかっとう** 〈しっかりと、ちゃんと〉 【例】  
いち やていん、ぬー やていん、するくとー  
しかっとう すし やん。(いつでも、何で  
も、することはちゃんとすべきだ)。はたちから  
ー うふっちゅ やくとう、しかっとう かん  
げーてい っし いちゅし やん。(二十歳か  
らは大人なのだから、しっかりと考えて行くべ  
きだ)。

**しぐ** 〈すぐ〉 【例】うわいねー、しぐ けー  
ていくー よー。(終わったら、すぐ帰っておい  
でよ)。【参】ちゃーき。

**じこー** 〈ずいぶんと〉 【例】じこー あみぬ  
ふてい んでいーぶしこー ねーんたくとう  
いかんたん。(ずいぶんと雨が降っていて濡  
れたくなかったので行かなかった)。

**しでー (しでー) に** 〈次第(しだい)に〉  
【例】しまぬ くらしえー しでーしでーに  
まし なんとん。(村の生活は次第しだいによ  
くなっている)。

**じふい** 〈是非〉 【例】ちゅちちびけー やま  
とうんかい やくとう、に、さんにち うちね  
ー じふい っちくいり よー。(一ヶ月ほど  
内地なので、二三日のうちには是非来てくださ  
いよ)。

**しぶしぶーっとう** 〈びっしょり〉 【例】  
はーえー さくとう あし はてい しぶしぶ  
ーっとう なんとん。(走ったので汗をかいて  
びっしょりしている)。

**じゅんに** 〈ほんとうに〉 【例】じゅんに  
ちむ どうまんぐいたん。(ほんとうにびっく  
りした)。

**じょーい** 〈とうてい〉 【例】っやーが ちゃ  
っさ さんてーまん ありんかえー じょーい  
うゆばん。(あなたがどうやってもあの人には  
とうてい及ばない)。ぬーんでい いちん  
なま じょーい わらびどう やる。(何とい  
ってもまだとても子どもだ)。たーが たぬま  
わん ありがー じょーい さん どー。(誰  
がどんなに頼んでもあの人はやらないよ)。あ  
りがー じょーい ならん。(あの人にはとても  
できない)。

**～しん ちょーん** 〈～のさえも、動詞  
に付属〉 【例】むぬ かむしんちょーん わ  
しとーん。(食事をするのさえも忘れている)。



みーぬ めーぬ くとうんちょーん なんむ  
んぬ、っちゅぬくとー じょーい なん。(目  
の前のことさえできないのに、他人のことはと  
てもできない)。

～しんでー 〈～次第〉 【例】っやーや と

うし とういしんでー がーぢゅー なてい  
やー。(あなたは歳をとるごとに強情なってる  
ねえ)。はなぎぬ ちーしんでー、はげー。(花  
木が来次第、配りなさい)。しくち うわいしん  
でー、けーてい しむん どー。(仕事を終わり  
次第、帰っていいよ)。

# す

**すそーん** 〈粗末にするさま〉 【例】うやんかい すそーん さったる っくわ やていん、うやー うや なち あたらさ すしぬ しじやさ。(親に邪険にされた子でも、親は親だとして大切にするのが道理だ)。

**するするー** 〈ざらざらとしている様〉 【例】するするー ふいちぐわーん みーていっち、なー うふっちゅ なとーさ やー。(ざらざらとした髭も生えてきて、もう大人になっているね)。



# そ

**そーそー** 〈じゃーじゃー、だくだく〉 【例】  
なーぬ きーくさんかい みじ そーそー か  
きーん。(庭の植物に水をじゃーじゃーかける)。  
なちかさぬ なだ そーそー はたん。(悲し  
くて涙が溢れ出した)。どうー っんぢゆかち  
やくとう あし そーそー はたん。(体を動  
かしたので汗がだくだく流れた)。

**そーぬぎてい** 〈急いで、一刻も早く〉 【例】  
あまたっち くまたっち さんぐとう、そーぬ  
ぎてい くーよー やー。(あちらこちら歩き

回らないで、一刻も早く来なさいよ、あまたっ  
ち くまたっち=あまみー くまみー)。ねー  
ん なてー ならんくとう、そーぬぎてい っ  
んぢ くーわ。(なくなってはならないので、一  
刻も早く行って来なさい)。

**そーるそーる** 〈するする、淀みなく〉 【例】  
ハブぬ そーるそーる ほーいん。(ハブがする  
すると這う)。あんし はなしぬ そーるそーる  
っんぢてい ちゅーる むん なー。(あんなに話がよどみなく出てくるものなんだねえ)。



# た、だ

**たった** 〈だんだん、ますます〉 【例】 ありが  
しーよーや たった ちじ などーん。(あ  
の人のやり方はますます悪くなっている)。と  
うし かさないしんでー からじぎーぬ たっ  
た いきらく などーん。(年を重ねるごとに  
髪がだんだん少なくなっている)。

**たで一ま** 〈すぐに、とっさに、急ぎの、もう〉  
【例】 たで一ま けーていちゅーさ。(すぐに  
帰ってくるよ)。たで一ま ちょーさ。(もう来  
ているよ)。たで一ま っんぢちー?(もう行っ  
てきたの)。くわっちーぬ たで一ま ねーら  
ん などーん。(ご馳走がすぐになくなった)。  
っんぢたる ふにぬ たで一ま みーらん な  
とーん。(出航した船がすぐに見えなくなった)。  
ぬーが やー、なまさちどう はじみーたる  
むんぬ、たで一ま うわたん なー?(どうし  
たの、今さっき始めたのに、もう終わったの)。  
をうたとーるばすねー／あんまさるばすねー  
むぬ かまーに にんとーけー。たで一ま ま  
し ないさ。(疲れているときには／気分のす  
ぐれないときにはなにかを食べて寝ていなさ

い。すぐに良くなるよ)。たで一まぬ じんぶん  
(とっさの知恵)、たで一まぬ しくち (急ぎの  
仕事)。【参】 ちゅーちゃん。

**だてーん** 〈うんと、大きく〉 【例】 あれー  
だてーんなー あびとーたん どー。(あの  
人は大声で叫んでいたよ)。とうてーる むん  
だてーんなー はちゃん。(穫ったものをた  
くさん配った)。だてーん あみ?(たくさんあ  
るか)。【参】 反義語は、「いふいぐわー／くーて  
ーん」。

**だらだら** 〈垂らしているさま〉 【例】 くぬ  
あかんぐわー ゆだい だらだらっし ゆだ  
いかきー しみそーれー。(この赤ん坊はよだ  
れをたらしているの、よだれかけをしてくだ  
さい)。

**だんじゅ** 〈まことに〉 【例】 だんじゅ か  
りゆしや いらでい さしみしえーる ふにぬ  
ちな とうりば かじや まとうむ。(まこ  
とにめでたい日を 選んでお導きになる 船の  
綱を取れば 風は順風)。



# ち、ぢ

ちむぐりぎーなー 〈かわいそうに〉 【例】

ゆる まちなーかんぢ ちむぐりぎーなー み

っちやいゆったいさーに っちゆ すぐいくる  
ばち そーたん。(夜、街中で、かわいそうなこ  
とに三、四人で人を殴り倒していた)。





て、で

でーじな 〈ひどく〉 【例】 でーじな やむ ん／わじとーん／むちかさん。(ひどく痛む／怒っている／難しい)。



# とう

**とうっそーはっそー** 〈そわそわ、落ち着かないさま〉 【例】っんまがー あちやーぬ ゑんそくびけーんかい ちむ とうらってい とうっそーはっそー そーん。(孫は明日の遠足のことをあれこれ考えてそわそわしている)。

**とうるばいかーばい** 〈しょげているさま、ぼんやりしているさま〉 【例】たーりーが あたらさ そーたる ちぶ わやーい、いーんいららん とうるばいかーばい そーん。

(父親が大切にしている壺を割ってしまい、言うに言えなくてしょげている)。まぶやーが うとうちやら とうるばいかーばい そーん。(魂でも落としたのかぼんやりしている)。

**とうるとうる** 〈うとうと〉 【例】をうたとーたくとう、つくえぬ めーをうてい とうるとうる そーたん。(疲れていたのに、机の前でうとうととしていた)。



# ちゃ

**ちゃー** 〈どう、如何〉 【例】ちゃーが？(どうか、どうだ)。ちゃーが さい／たい？(いかがですか)。ちゃーが やら？(いったいどうなのか)。ちゃーん ねーらん。(どうもない、何ともない)。ちゃーん ならん。(どうにもならない)。ちゃー すが？(どうするか)。だー、ちゃー なたが？(それで、どうなったか)。ちゃー しん いちゅん／すん／ならん／わからん／にんだらんたん／とうめーらん／かちえーうーさん。(どうしても行く／する／できない／解らない／眠れなかった／探せない／書けない)。ちゃーしんかーしん ならん。(どうしてもできない)。ちゃー(＝いかな) しん うむいぬぐとう ならん。(どうしても思うようにならない)。ちゃーっし すが？(どのようにするか)。ちゃーる ばーが？／ちむえーが？／くとうが？／っちゅが？(どういうわけか／意味か／ことか／人か)。だー、なー、ちゃーする ばーが？(それで、どうするつもりか)。ちゃーしえー しむが？(どうすればよいのか)。ちゃんぐとーる あんべーが？(どういう具合か)。ちゃんぐとーる くとう なーが？／ちゃんぐとーる なーが？(どういうことになっているか、ちゃんぐとーる＝ちゃーる)。ちゃんねーるー (や)が？(どういうものか)。ちゃんねーるーぬ あが？(どういうのがあるか)。ちゃぬ よーな くとう／むぬ／っちゅ やいびーが？(どういうこと／物／人なのか)。っやーや ちゃぬむん(＝ぬー さる むん)(や)が？(おまえは何様か)。ちゃぬ あたい あが？(ど

れほどあるか)。ちゃなぎ あが？(どの長さあるか)。ちゃぬ さくぬ くとー あらん。(どうってことはない)。

**ちゃーき** 〈すぐ、～してすぐ〉 【例】ちゃーき ちゃーき しー よー。(さっさとしなさいよ)。くれー なま むていちゃーき やさ。(これは今もいだ(＝もぎりとった)ばかりだよ)。にんていちゃーき うくさりやーに みーぐふあ いっし ありから にんだらんたん。(寝入ってすぐ起こされてあれから眠れなかった)。なま にんぢゅがやーんでい ふとぬんかい いっちちゃーき やたん。(今寝ようかと布団に入ったところだったよ)。なま こーていっちちゃーき どー。(いま買って来たばかりだよ)。なま かでいちゃーき やくとう、なー わたー いらん。(今食べたばかりなので、もうお腹に入らない)。っしちゃーきどう やくとう、なーだ うわてーをうらん。(し始めたばかりなので、まだ終わってはいない)。わんにん なま っちちゃーきどう やん どー。(私も今来たばかりだよ)。っんぢていちゃーきどう やくとう、ぐ、るくじかのー けーてい ちゃーびらん どー。(出たばかりなので、5、6時間は帰って来ませんよ)。うれー なま さーんな よー。かちちゃーき どー。(これは今触るなよ。書いてすぐだから)。みー かじゃぐわー すん やー。なま ちゅくていちゃーき やいびーん どー。(作りたてのにおいがするね。今作ったばかりです)。ふくちちえー ちゃーきなー かじゃ すん。(ゴミはすぐに臭う)。



# ちゅ

**ちゅーくねーん** 〈強く、きつく〉 【例】またん めぬくとう そーさ やー。ちゅーくねーん いらん むんぬ。(またも同じことをしているね。きつく言わないとね)。

**ちゅーちゃん** 〈すぐに〉 【例】わたぬ やむしえー くすい めみーねー、ちゅーちゃん(\*あつたに)／たでーま まし ないさ。(お腹が痛いのは薬を飲めば、すぐに／たちまち良くなるよ)。ちゅーちゃんなかい(\*あつたに)かむたん どー。(またたく間に食べてしまったよ)。ちやがやーんでい うむたれー、ちゅーちゃん(=しぐ) けーたん。(来たかと思っただけ)。【参】たでーま。

**ちゅばちに** 〈いっきに、一撃で、一発で、一投で〉 【例】うふあみ ふいねー、ちゅばちに みじんかい うちくわーりーくとう、ふかんかい っんぢーしえー あらん。(大雨が降ったら、あっという間に水に飲み込まれてしまうので、外には出るものではない)。しがりなめー ちゅばちに やーから っちゅから むるぬみくむん どー。(津波はいっきに家も人

もみんな飲み込んでしまうよ)。

**ちゅふあーら** 〈腹一杯、充分〉 【例】なーちゅふあーら んーちえーくとう けーら。(もう充分観たので帰ろう)。ちゅーや なーちゅふあーら たいきよくけんぬ ちーく しえーくとう、ちゅらーさ をうたとーん。(今日はもうずいぶん太極拳の練習をしたので、すっかり疲れた)。

**ちゅらーく、ちゅらーさ** 〈みごとに、すっかり、きれいさっぱり〉 【例】っやー たんじょーび ちゅらーさ わしとーたさ。(あなたの誕生日をすっかり忘れていたよ)。ちゅらーく ちゅらーく ぬらーったん。(ひどく怒られた)。ちゅらーく ゆぐさってい よー。(すっかり汚されてしまっただけ)。ちゅらーく あびらってい よー。(すごく大声を出されてね)。ちゅらーく ぬすまっていねーん。(すっかり盗まれてしまった)。ちゅらーさ うちかでいねーん。(すっかり食べてしまった)。ちゅらーく ねーんなたん。(きれいさっぱり無くなった)。





# な

**なー** 〈もう（限定詞）〉 【例】なー なたいー？／うわとーみ？（もうできたか）。なー なたとーみ？ なー やさ。（もうできているか。もうすぐだよ）。なまんちえー なー なんかしぬくとう やしが。（今ではもう昔のことだが）。なー うっさっし なたーん どー。（もうすこしでできるよ）。「いち まんぐれーぬ はなし やが？」「うれー なー にじゅーにんびけー ないん どー」（「いつぐらいの話なのか？」「それはもう20年ばかり前になるよ」）。なー ちゅけーん（もう一度）。なー ちゃーん ならん。（もうどうにもならない）。なー っんぢくー？（もう行ってくるね）。

**なー** 〈ずつ、ほど〉 【例】あんさ なー（同量ずつ）、くーてーん なー（少しずつ）、ていーち なー（1つずつ）。

**～なー** 〈副詞表現を強める〉 【例】よーんなー（ゆっくり）、くーてーん／いふいぐわーなー（ほんの少し）。ふえーくなー くーわ。（早く来い）。あみぬ うていていちゅーくとう、ふえーくなー かさ はれー。（雨が降ってくるので、はやく傘を差しなさい）。うさきーなー あたいみ？（そんなにたくさん配分があるの）。ちゃっさなー やいびーが？（どれほどですか）。しこーいむこーいぬ あくとう、うぬ ふえーさなーや くーんていん しむさ、ふいー さがていから くーわ。（準備があるので、そんなに早くは来なくてもいいよ。陽が下がってから来なさい）。

**なー** 〈確認の終助詞〉 【例】「うれー たー

がな っしとうらさんがやー？」「たーとう よー。わー ちゅいさーに なー？ っやーがー ならに？」（「誰かそれをやってくれないか」「誰と。私一人でなのか。あなたではできないのか」）。っやーん いちゅん なー？（あなたも行くのか）。くり なー？（これなのか）。

**なーだ** 〈まだ〉 【例】くぬ わじゃー なーだ とうじみらってー をうらん。（この仕事はまだ終了してはいない）。

**なーふいん** 〈さらに〉 【例】じのー もーきしんでー なーふいん もーきぶしく ないん。（お金は儲ければ儲けるほどもっと儲けたくなる）。ありやかー くぬ らんぬ はなぬ どう なーふいん ちゅらさる。（あれよりはこの蘭の花がもっと美しい）。

**なーやー** 〈もはや〉 【例】なーやー かなれーからー ちゃーん ならんさ。やすんぢれー。（もはやこうなってからはどうしようもない。気持ちを切り替えなさい）。

**～なぎー** 〈頃、あたり〉 【例】ちゅーなぎー（今日あたり）、やーんなぎー（来年あたり）。あちゃーなぎー／あちゃーまんぐれー／あちゃーねー ぬくく ないさ。（明日あたり暖かくなるよ）。【参】まんぐれー。

**なげー** 〈長く〉 【例】「ちゃんなげー まっちん くーんたが？」「なー ちゅーや くーんさ」（「どんなに長く待っても来なかったのか」「もう今日は来ないよ」）。なげー しまとーくとう くまからー っんぢゅちぶしこー ねーら

ん。(長く住んでいるので、ここからは移りたくない)。

**なるびち** 〈なるだけ〉 【例】いちゅなさる  
ばすねー ならんていん しむしが、なるび  
ちえー っし とうらし どー。(忙しいとき  
にはできなくてもいいですが、なるべくしてく  
ださいね)。

**などうってーん** 〈なめらか〉 【例】あぬ  
っちゅぬ くいーや などうってーんぐわー  
っし ちちやっさん。(あの人の声はなめらか  
で聞きやすい)。

**なんくる** 〈ひとりでに〉 【例】くぬ ない  
むんぬ きーや わんが っういーたる むの  
ー あらんしが、とういぐわーぬ まやーに  
さに うとうちやるあとう、なんくるみーっし  
どう ふどうっういーとーる。(この果物の木

は私が植えたものではないが、小鳥が糞をして  
種を落とした後、自生して成長している)。ちゃ  
ーしが しむら わからんてい うっちゃん  
ぎてーたくとう、なんくる なとーたん。(ど  
うしたら良いか分からなくなって放っておいた  
ら、なんとかなっていた)。っんまー ぬてい  
どう わかいる、っちょー ふいらいーねー  
なんくる わかいさ。(馬は乗ってこそ分かる、  
人はつき合えば自然に分かる)。

**なんじゅ** 〈大して〉 【例】っんまぬ すば  
やーや なんじょー あらん さー。(そこの  
そば屋は大したことないよ)。ありが うたー  
なんじょー あらん。(あの人の歌は大した  
ことない)。あぬ っちょー イギリスぐちえ  
ー なんじょー でいきらん。(あの人は英語  
は大してできない)。

に

につか 〈遅く〉 【例】 いちゆなさたくとう  
いれーふいじぬ につか なんとん。(忙しか

ったので返事が遅れている)。なー につか  
なとーくとう けーら やー。(もう遅いので  
帰るね)。



## ぬ

ぬーいちんく いーいちん 〈何を言おうと〉 【例】っやーが ぬーいちんく いーいちん わんが しーぶさる くとー すん。(あなたが何を言おうと私はしたいことをする)。

ぬーぬく いーぬんでい 〈何やかんや〉 【例】っやーや ぬーぬく いーぬんでい いちん ちゃーん ならんさ。(あなたが何やかんや言ってもどうにもならない)。

ぬーとうんがなし 〈ふとしたはずみに〉 【例】ぬーとうんがなし わかさるとうちぬ アルバム うびっんぢゃち んーぢゆるくとうん あん。(ふとしたはずみに若い時のアルバムを思い出して見ることがある)。

ぬーとうんく いーとうん 〈何とでも〉 【例】っちゅぬ くと う やれー ぬーとうん く いーとうん いらりーっさ。(人のことであれば何とでも言えるさ)。

ぬーぬく いーぬんでいち 〈何のかんのといて〉 【例】ぬーぬく いーぬんでいち くーららんでい いーたん どー。(何のかんのといて、来られないと言ってたよ)。【参】「ぬーやんく いーやんでいち」とも言う。

ぬーやていんく いーやていん 〈何だって〉 【例】ぬーやていんく いーやていん しむさ。わんが いーし ちち そーちーねー

まちげー ねーんさ。(何だっていいさ。私が言うことを聞いておれば間違いはないよ)。

ぬーやんく いーやん 〈何だかんだ〉 【例】ぬーやんく いーやん いち っやーや みった かしまさん。(何だかんだ言うあなたは実にうるさい)。

ぬーん 〈なにも〉 【例】ぬーん ねーん。(何もない)。ぬーん あらん。(何でもない)。ぬーん うとうるしこーねーらん。(何も怖くはない)。

ぬーんく いーん 〈何もかも〉 【例】みーとうんだー ぬーんく いーん にち ちゅーん。(夫婦は何でも似てくる)。

ぬとうぬとう 〈ぬるぬる〉 【例】みじん かい ちきてーる くーぼー ぬとうぬとうっし あらいぐりさん。(水に浸けた昆布はヌルヌルして洗いにくい)。っんなぢえー ぬとうぬとう そーくとう くしれーぐりさん。(ウナギはヌルヌルしているのでさばきにくい)。

ぬるんとうるん 〈うとうと〉 【例】あれー ぬるんとうるん そーしが、っちゅぬ はなしえー しかっとう ちちよーがやー?(あの人はうとうとしているが、人の話をちゃんと聞いているのかねえ)。



## は、ば

ぱーぱー 〈短気なさま〉 【例】 あれー たん  
ちえー ぱーぱー、りんちえー ぷーぷーっし、  
っわーない ぢゅーさる っちゅ やん。(あ  
の人は短気で、嫉妬深くて、大変なやきもちや  
きだ)。

はしっとう 〈元気なさま、しゃんと〉 【例】

やんめーぬ まし なてい、みーがーん うく  
りてい なー はしっとう なとーん。(病氣  
が良くなって、まぶたもふっくらしてもうすっ  
かり元気になっている)。んぢやさていん ぬ  
みわどう はしっとう ないん。(苦くても飲  
めば元気になる)。





## ひ、ぴ、び

**ぴーぴー（かーかー）** 〈貧しくて困り果  
てているさま〉 【例】あぬ みーとうんだー  
つくわなしはんじょー そーしが、じんぬ  
ふしがらんくとう ちゃー ぴーぴーかーかー  
そーん。（あの夫婦は子宝に恵まれているが、  
出費が多くていつも困窮している）。

**ひーひーとうー／なーなー** 〈なし崩  
し〉 【例】ありんかい じん からちえーし  
が、ちゃっさ いみていん しらんふーなーっ  
し、うぬまま ひーひーとうー／なーなー な

する さんみん やがやー？（あの人にお金を  
貸したが、いくら催促しても知らん顔をして、  
そのままなし崩しにするつもりなのかねえ）。

**ぴりんぱらん** 〈ぺちやくちゃ〉 【例】い  
ち やていん、まーんぢ やていん、たーとう  
やていん うちなーぐちさーに ぴりんぱら  
ん ないるぐとう ないぶさん やー。（いつ  
でも、どこでも、誰とでも沖縄語でぺちやくち  
やおしゃべりできるようになりたいねえ）。



## っぴ

～っぴ 〈数量の程度〉 【例】うっぴなー、う  
っぴぐわー（それっぽち）。くっぴなー、くっぴ  
ぐわー（これっぽち）。あっぴなー、あっぴぐわ  
ー（あれっぽち）。ちゃびなー、\*ちゃっぴぐわ  
ー（どれほど）。ちゃっぴなーぬ くいー や  
たら？（どれほどの大きい声だったのか）。ちゃ  
っぴなーぬ しぶい／でーくに やたくとう。

（どんなに大きい冬瓜／大根だったから）。ちゃ  
っぴ やが？（どれほどなのか）。ちゃっぴ あ  
が？（どれほどあるのか）。っんもー むる こ  
ーいくとう、ちゃっぺー あが？（芋は全部買  
うので、どれほどあるのか）。ちゃっぺーるーぬ  
むん やが？（どれほどのものなのか）。ぴー  
ちゅーぐわー どー。（ほんのちょっぴりだよ）。



# ぷ

## ぷーるぷーる 〈ぶくぶく空気が抜けるさま〉

【例】すいそーぬ なかをうてい さんそ っ  
んぢやする むんぬ ぷーるぷーるっし あー  
ふちょーる なーか いるかじぬ いゆぬ  
っういーちょーし んーぢゆしぬ しちゆん。  
(水槽の中で酸素を出す機械がぶくぶくと泡を  
吹いている中を色々な魚が泳いでいるのを観る

のが好きだ)。

## ぷとうぷとう 〈団子状〉 【例】そーみん

ぷっとうるーや にーくたー なてい、ぷとう  
ぷとう さーに まーこーねーん。(そうめん  
炒めを煮過ぎて、団子状に固まっておいしくな  
い)。【参】むるさー。



## ふい

### ふいっすいふいっすい 〈ずきんずきん〉

【例】ゆながた はーぬ ふいっすいふいっすいっし やでい にんだらんたん。(夜中歯がずきんずきんと痛み眠れなかった)。はーぬ ふいっすいふいっすいっし ふしがらん やむくとう、はーやーんかい っんちゃん。(歯がずきんずきんとがまんできないほど痛むので、歯医者に行った)。

### ふいたに 〈ひたすら〉 【例】ふいたに じん

もーき するびけーい かんげーいねー どうー うしないしん みーらん ないん どー。(ひたすら金儲けすることだけを考えると自分を見失うよ)。

### ふいっちー 〈始終〉 【例】くーさいにから

ふいっちー やーぬ ていがねーっし にーびちん につか などーん。(幼少の頃からずっと家の手伝いをして結婚が遅くなっている)。

### ふいらってーん／ふいらたー／ふいらたっぺー 〈平たく、ぺしゃんこに〉

【例】ふいらさん(平たい)、ふいら やーちー(平焼き、チヂミ)。ふいらたー／ふいらたっぺー／ふいらー そーしえー(ぺしゃんこになっているさま／もの)。ていんぴらまんじゅーや ふいらってーんぐわーっし まーさん どー。(天妃前饅頭は平たくておいしいよ)。なーこー たきむいん ねーん、ふいらたー／ふいらたっぺー そーん。(宮古は山もなくて、平たい)。ふいらく ならな。(あぐらをかこう)。ふいらく めーん。(あぐらをかいて座る)。





## ふえ

**ふえーく** 〈早く〉 【例】 なー いふえー ふ  
えーく ならに？(もう少し早くできないか)。  
なー いふえー ふえーく うきれー／くー  
わ。(もう少し早く起きなさい／来なさい)。ふ  
えーく いか やー。(早く行こうね)。ふえー  
くなー ふえーくなー しーねー、どうすえー  
どうまんぐいてい きっちゃき しみーん

どー。(早く早くとせかすと、年寄りをあわてて  
つまずくよ)。

**ふえーべーとう** 〈早々と〉 【例】 しこー  
いむこーいぬ うふさくとう、ふえーべーとう  
っちとうらし よー。(準備がたくさんある  
ので、早めに来てくれよ)。



# ま

**まーくまーく** 〈おいしく〉 【例】むぬぐし さんぐとう まーくまーく かみわどう どうーちゅーく ないん どー。(好き嫌いせずおいしく食べてこそ健康になるのだよ)。

**まーどう** 〈～の前に〉 【例】くむぬ まっくーるー なてい ふしむのー いりらんとー ならんくとう、あみぬ ふらん まーどう けーらな。(雲が黒くなって洗濯物を入れないといけないので、雨が降らないうちに帰ろう)。ありが くーん まーどう そー けー。(あの人に来ないうちにしておけ)。しゅむち かれーからー ぬーしから いみららん まーどう けーし よー。(本を借りたなら持ち主から催促されないうちに返しなさいよ)。

**まーんくいーん** 〈どこもかも〉 【例】たーちゅーや まーんくいーん にちどう をうがやー?(双子はどこもかも似ているのかねえ)。

**まぎまぎーとう** 〈大きく〉 【例】ぬじゅめー どうーぬ ないる うっぴどう むたりーしが、ちゃー まぎまぎーとう むちゆる むん どー。(望みは自分ができる範囲でしか持てないが、いつも大きく持つものだよ)。

**まじ** 〈まず〉 【例】をういが すら をうらんが あら わからんくとう、まじ でんわ いっていから いき よー。(居るか居ないのかわからないので、まず電話をしてから行きなさいね)。

**まったち** 〈まったく〉 【例】あぬ ういっちょー がにぬ あっちょーんかい まったち

にちょーん やー。(あの酔っぱらいはカニの歩き方に本当に似ているね)。

**まってーん** 〈まるまると〉 【例】うぬ ういなごー しまとうやーぬぐとう どうーん ちびん まってーん そーん どー。(その女性性は相撲取りのように体もお尻もまるまるとしているよ)。うぬ はなし そーたくとう、うどうるちゃーに みーん まってーん なとーたん。(その話をしたら、驚いて目をまるくしていた)。

**～まま** 〈まるごと〉 【例】はくまま むっちくーわ。(箱ごと持ってきてなさい)。くんだっとーるまま むっちくーわ。(括られた分まるごと持ってきてなさい)。いっちょーるまま むっちくーわ。(入っている分まるごと持ってきてなさい)。

**まるけーてい** 〈たまに〉 【例】まるけーていぬ やしみねー どうーぬ っんまりじまんかい っんぢ うやとう かたれー すん。(たまの休みには故郷に帰って親と語り合う)。まるけーていなーや にんじふりてい ゆさんでい みーくふあいる ばーん あん。(たまには寝過ごして夕方目が覚めるときもある)。あれー がっこーんかい めーにちえー あらん、まるけーていどう いちゆる。(あいつは学校には毎日ではなく、ときたましか行かない)。まるけーてい いちやいる どうしとうぬ はなしえー っういーりきさん。(たまに逢う友人との話は楽しい)。



# み

**みーく（に）**〈新しく〉【例】くぬ かてい  
むのー みーくに ちゆくてーし やさ。まじ  
ゆーん かまな。（このおかずは新しく作った  
ものだよ。一緒に食べようか）。ちのー みーく  
みーく、ぬちえー ながながーとう。（着物は  
新しく、命は長く）。

**みーさげーねーらん** 〈ひっきりなしに〉  
【例】みーさげーねーらん すーまんぼーすー  
ぬ ふいちぢちゆんねーっし うすめーとう  
はーめーが ゆんたくふいんたく そーん。（ひ  
っきりなしに梅雨が降り続くようにお爺さん  
とお婆さんが語合っている）。

**みーらんか みーらんか** 〈かすかに見  
えるさま〉【例】んぞが ぬたる ひこーきぬ  
みーらんか みーらんか そーたしが、みー  
らん なていあとー なだぬ うていーたん。  
（恋人が乗った飛行機がかすかに見えていたが、  
見えなくなった後には涙で頬が濡れていた）。

**みしかってーん** 〈密かに〉【例】っちゆん  
かい しらりーねー ならんくとう、みしかっ  
てーん わんにんかい いちくいーたん。（人

に知られてはならないので、密かに私に言って  
くれた）。

**みしがみし** 〈わかっていながら〉【例】あ  
ん ねーるーんでい わかとーてい わんにん  
みしがみし まちうたったん。（そういう人だ  
とわかっていながら私はみすみす裏切られた）。

**みった** 〈めったに〉【例】あれー ちむぬ  
ふいるさくとう、みったな くとうしえー わ  
じらん どー。（あの人は心が広いので、めった  
なことでは怒らないよ）。

**みっちゃかーん** 〈いっぱい〉【例】さ  
かぢちんかい さきぬ みっちゃかーん いり  
らってい あんでいらくんでいら そーっさ。  
（酒盃に酒がいっぱいに入れられて溢れそうに  
なっている）。

**みるみる** 〈みすみす〉【例】ぬすどう み  
るみる ふいんがちゃん。（泥棒をみすみす逃  
がした）。わらばー みるみる どうー やま  
しみたん。（子どもにみすみすケガさせた）。



め

めーかにてい 〈前もって〉 【例】めーか にてい いちよーけー しむる むんぬ。(前もって言うておけばいいのに)。





# も

もーい くわんくわん 〈髪が乱れて〉

【例】うふかじぬ めー なてい かじぬ ちゅーさぬ りっぱんぐわー しえーる からじん

もーい くわんくわんっし ふーじえーねーん などーさ。(台風前の風が強くて、きれいにした髪が乱れてみっともなくなっているよ)。



# や

**やがてい** 〈やがて、もう少しで〉 【例】みち わたとーる ばすに くるまぬ うしんち ちゃーに やがてい (=なー いふいぐわー しーねー) しぬたん。(道を横断しているときに車が突っ込んで来てあやうく死ぬところだった)。

**やしってーん** 〈簡単に〉 【例】ちゅばちに ないさ。やしってーんぐわー やさ。(あっという間にできるよ。簡単さ)。

**やしやしーとう** 〈やすやすと〉 【例】し

わー ねーんさ。やしやしーとう なさりーん どー。ふどうっわーすしどう でーじ どー。(心配はないさ。呆気なく産めるよ。育てるのが大変だよ)。

**やふあやふあーとう／やふあってーん** 〈やわらかに、やさしく〉 【例】っやーや むぬ いーよーぬ ちゅーさくとう やふあやふあーとう／やふあってーんぐわー むのー いり よー やー。(あなたはものの言い方がきついので、おだやかにものを言いなさいね)。



# ゆ

**ゆー** 〈よく〉 【例】 っちゅんかえー ゆー  
しー よー やー。(人にはよくしなさいよ)。  
ちもー ねーん っちゅぬ ゆーさー ふーな  
ー そーん。(心がない人が好人ぶっている)。  
ゆー しーねー あちゃー わかいさ。(もし  
かしたら明日分かるかもよ)。ゆー さんだれ  
ー ししえー くさりとーん どー。(ひょっ  
とすると肉は腐っているかもしれない)。

**ゆかい／ゆかいに** 〈よほど、思ったより  
もさらに〉 【例】 じん ゆかいうっさ たぶ  
とーっさ／たぶてーっさ。(お金をよっぽど貯  
め込んでいるのだね)。あれー ゆかいねー  
ふいまぬ あさ やー。(あの人はよほど暇な  
んだねえ)。あまー みーぐるま こーていあ  
とう、いふいぐわーっしから やーん ちゅく  
いのーちょーしが、ゆかいに じんむち やて  
ーさ。(あの人は新車を買った後、少ししてか  
ら家も改築してしているが、よほどお金持ちだ  
ったんだね)。くぬ なまちゃーや むぬ い  
ーよーから しーよーまでい、ゆかいに っち  
ゅ うしえーとーる ばー やさ やー。(こ  
の生意気な奴は口のきき方から仕草にいたるま  
で、よっぽど人をばかにしているつもりだね)。  
ゆかいに あんまさん やー。(結構わずらわ  
しね)。ゆかいに とうーさてーん やー。(よ  
ほど遠かったんだね)。あれー ゆかいに か  
にはんでいとーん やー。(あの人は思ったよ  
りももうろくしているね)。ゆかいに よーと  
ーん やー。(思ったより弱っているね)。ゆか  
いに あちさん やー。(思いのほか暑いね)。  
だむぬ みじぬ ゆかいうっさ ふいなどー

ん。(ダムの水がかなり減っている)。

**ゆくゆく** 〈よくよく〉 【例】 こーいむん  
する ばすねー まーんぢ ちゅくらっとーる  
むん やがやーんち、ゆくゆく んーちから  
こーいし やん。(買い物をする際にはどこ  
で作られているものなのかをよくよく見てから  
買うものだ)。

**ゆくん** 〈さらに、もっと〉 【例】 「っやーや  
ちゅらさん やー」「あん やいびーみ ふー？  
うんじゅがどう ゆくん ちゅらさどう あ  
いびーん どー」「(あなたはきれいだね)」「そ  
うですかねえ？ あなたのの方がもっとおきれい  
ですよ」。あっちぢゅーさくとう、やむたる  
ふいさー ゆくん ちじ なんとーん。(歩き過  
ぎて、痛かった足がさらに悪くなっている)。く  
んちりみち さーに いちゅる ちむえー や  
たしが、くるまぬ くでい けーてー(＝ゆく  
ん) につかどう なたる。(近道して行くつ  
もりだったが、渋滞でかえって遅くなった)。

**ゆるっとう** 〈ゆるりと〉 【例】 あぬ しく  
ちん なー しーなちゃくとう、いっぺー ゆ  
るっとう なたん。(あの仕事はもう仕上げた  
ので、とてもほっとしている)。

**ゆるゆるーっとう** 〈締め付けないさま〉  
【例】 にんじゅるばすねー いばむん ちーね  
ー、ちーぬ まーいぬ わっさくとう、ゆるゆ  
るーとうぐわー そーる ちん ちり よー。  
(寝るときにはきついのを着ると血のめぐりが  
悪くなるので、締め付けない服を着なさいよ)。



# よ

## よーがーふーがー 〈よたよたと〉

【例】あまぬ おじーや さき ぬでい ぶー  
らーさっさいっし なぐぬ ななまがいぬぐと  
うっし よーがーふーがーあっち そーたん  
どー。(あそこのお爺さんはお酒を飲んでふ  
らふらと名護の七曲がりのような千鳥足になっ  
ていたよ)。よーがーふーがーがち そーん。  
(ミミズのような字で書いている)。

## よーん(ぐわー) 〈軽く、そっと、やわらかく〉

【例】ぼーじゃーや くさーんかい う  
ーふぁどう する。めーんかい だち きっち  
やきする ばすねー、ぼーじゃーや よーんぐ

わー うちきていから っやー くるべー ひ  
ー。(乳児は後ろにおんぶするものだ。前に抱い  
てつまずくときには、乳児をそっと置いてから  
転ぶことだね)。ありんかえー よーんぐわー  
いり よー やー。(あの人にはやわらかく  
言いなさいね)。

## よーんなー 〈ゆっくり〉 【例】けーすしえー

ー よーんなーっし しむさ。(返すのはゆっ  
くりでいいよ)。むのー よーんなー かめー。  
(食べ物はゆっくり食べなさい)。くるまー よ  
ーんなーどう あっかすし どー。(車はゆっ  
くりと走らせるのだよ)。





# わ

**わかってーん** 〈若々しく〉 【例】くぬ  
むらぬ うとうすえー はるしくち さい む  
えー さいっし わかってーん そーん。(こ  
の村のお年寄りはお仕事をしたり模合をしたり  
して若々しい)。

**わじゃっとう** 〈故意に〉 【例】あれー  
わかとーてい わじゃっとうどう あん そー  
がやー? えーねー、わからんぬどう そーが  
やー? わからんぬどう あん しえーる む

ん やらー、ぬびり よー。(あの人は分かって  
いて故意にそうしているのか。それとも分から  
なくてそうしているのか。わからなくてそうし  
ているのなら、斟酌しなさいよ)。

**わじゃわじゃ** 〈わざわざ〉 【例】いらん  
ていん しむるむんぬ、わじゃわじゃ いーっ  
んぢやち むんどー などーん。(言わなくて  
もいいのに、わざわざ言い出して問題を起こし  
ている)。



# う え

う えーう えー 〈わーわー〉 【例】 まーが

なぬ わらびぬ う えーう えー なちょーん  
やー。(どこかの子がわーわー泣いているね)。



ん

**んじゃんじゃーとう** 〈思いっきり、ずけずけと〉 【例】 うっくるび んじゃんじゃーとう ふいさぬ かー はちゃん。(転倒して思いっきり足の皮を擦りむいた)。ゆくしむに一っし すーんかい んじゃんじゃーとう ぬらーったん。(嘘をついて父親に思いっきり叱られた)。

**んちゃ** 〈本当に、なるほど〉 【例】 んちゃ っやーや うんなくとう すてーさ やー。(本当にあなたがそんなことをしでかしたんだね)。んちゃ あん やさ。(本当にそうだよ)。

**～んなーら** 〈早く〉 【例】 あさ んなーら(朝早く)、あかちち んなーら(夜明け前の早く)、していみてい んなーら(早朝早く)。



# っん

っんぢはなに 〈出たとたんに〉 【例】っ  
んぢはなに でんわぬ なてい、まーからがや  
ーんでい うむてい あわていてい むどうた  
ん。(出かけようとしているところに電話が鳴  
って、どこからかと思ひ急いで戻った)。

っんまがさがさくまがさがさ 〈あち

こちを忙しく〉 【例】にーけーんかい しま  
とーる っちょー っうえんちゅう めぬむ  
ん。ゆる につかまでい っんまがさがさくま  
がさがさ ほーちかち そーん。(二階に住ん  
でいる人はネズミと一緒に。夜遅くまであちこち  
を忙しく掃除をしている)。





# 附録

## 1 沖縄語の拍

沖縄語における拍を表にする。ここでは、日本語から借用した語彙にしか見られない拍は除く。「新たに仮名を創り出すことはできる限り避ける」という大前提のもとで、日本語の歴史的仮名遣いにおける「ゐ」(wi)、「ゑ」(we)を使って、沖縄語では「ゐ」(ji)、「ゑ」(je)として表わすことにする。「ゐ」、「ゑ」がそれぞれ漢字「為」、「恵」と関係づけられるし、日本語の「わ」行「い」段と「え」段が沖縄語の「や」行「い」段と「え」段と対応することからは両言語の同一系統関係も見えて来る。「をう」については『那覇の方言』(1994)以来、今なお幅広く採用されている。「じ」、「ぢ」については3.5.4節を参照。表1に加えて、詰まる音「っ(k, p, t, s, ʃ)」があり、破裂や摩擦をともなう同一の無声子音(すなわち、無声阻害音)の前で一拍を保持する。

声門破裂音「っ(?)」で始まる拍は、きこえ音(すなわち、有声非阻害音)と共に語頭においてのみ見られる。母音で始まる語は、実際のところ「っあま」(あそこ)のようになっているが、語頭における母音の前では「声門破裂音「っ(?)」が表記上簡略化され得ることについては、3.5.5節を参照。語頭における「っ(?)」は「っやー(?jaa)」(君、お前)、「っわー(?waa)」(豚)、「っんま(?mma)」(馬)などの語にみられる。

一方、「いやー」「うわー」の表記も度々散見される。その語頭音表記の「い」「う」については、(イ)実際は声門破裂音という子音にもかかわらず母音的な表記になっていることと、(ロ)沖縄語は二連続子音(?j, ?w)や三連続子音(?mm, nnd)を語頭に許すという点で音声配列において日本語とは明白な違いがあるにも関わらず、それを無視しているということで適切ではない。さらに、(ハ)新たな表記を創り出すこと(ここでは語頭だけに限られる小書きの「い」「う」)はできるだけ避けるという点においても好ましくない。それに、(ニ)「っんま」は認めているのに、「っやー」「っわー」は認めないというのであれば、一貫性に問題があると言わざるを得ない。日本語では「いやー、まいった」「うわー！　すごい」のように母音を使って表記するのは、語頭においては子音連続を許さないという音声配列上の特性によるものなので、「いやー」「うわー」は日本語式表記の安易な踏襲でしかない。

## 2 沖縄語の表記法(要約)

沖縄語の表記にあたっては、以下の事項を基本とする。

1. 平仮名を基本とするが、人名、動植物名、料理名、伝統行事名、外来語などには片仮名を用いることができる。《例》ナビー、ムーチャー
2. 音引きを表わす記号として「ー」を採用する。《例》ていー(手)、じゅーしー(雑炊)、じょー(門)
3. 詰まる音は、小書きの「っ」で表わす。《例》っくわ(子)、っちゅ(人)、っんむ(芋)、うっさ(それだけ)

表 1: 沖縄語の表記法

あ (a)	い (i)	う (u)	え (e)	お (o)	は (ha)	ひ (çi)	－	－	ほ (ho)
か (ka)	き (ki)	く (ku)	け (ke)	こ (ko)	ひゃ (ça)	－	ひゅ (çu)	－	ひょ (ço)
が (ga)	ぎ (gi)	ぐ (gu)	げ (ge)	ご (go)	ば (ba)	び (bi)	ぶ (bu)	べ (be)	ぼ (bo)
さ (sa)	し (ji)	す (su)	－	そ (so)	びゃ (bja)	－	びゅ (bjü)	－	びょ (bjo)
しゃ (ja)	－	しゅ (ju)	しえ (je)	しよ (jo)	ぱ (pa)	ぴ (pi)	ぷ (pu)	ぺ (pe)	ぽ (po)
じゃ (ça)	じ (çi)	じゅ (çu)	じえ (çe)	じよ (ço)	ま (ma)	み (mi)	む (mu)	め (me)	も (mo)
ぢゃ (ça)	ぢ (çi)	ぢゅ (çu)	ぢえ (çe)	ぢよ (ço)	みゃ (mja)	－	みゅ (mju)	－	みょ (mjo)
ちゃ (tja)	ち (ti)	ちゅ (tü)	ちえ (te)	ちよ (to)	や (ja)	ゐ (ji)	ゆ (ju)	ゑ (je)	よ (jo)
た (ta)	てい (ti)	とう (tu)	て (te)	と (to)	ら (ra)	り (ri)	る (ru)	れ (re)	ろ (ro)
だ (da)	でい (di)	どう (du)	で (de)	ど (do)	わ (wa)	うい (wi)	をう (wu)	うえ (we)	を (wo)
な (na)	に (ni)	ぬ (nu)	ね (ne)	の (no)	くわ (kwa)	くい (kwi)	－	くえ (kwe)	－
にゃ (nja)	－	にゅ (nju)	－	によ (njo)	ぐわ (gwa)	ぐい (gwi)	－	ぐえ (gwe)	－
ふあ (fa)	ふい (fi)	ふ (fu)	ふえ (fe)	－ (fo)	ん (n, m, ŋ)				

表 2: 沖縄語の表記法（声門閉鎖音）

っあ (?a)	っい (?i)	っう (?u)	っえ (?e)	っお (?o)
っゃ (?ja)	－	っゅ (?ju)	－	－
っわ (?wa)	っうい (?wi)	－	っうえ (?we)	－
っん (?n, ?m)				

4. 「ぢ」と「じ」を区別する。《例》ぢー（地）、じー（字）：みーぢん（新しい服）、みーじん（新札）：にぢゆん（握る）、にじゆん（耐える）
5. 母音で始まる語の場合には、常に詰まる音「っ」をとみなうので、その「っ」は表記しない。《例》いん（犬）、あま（あそこ）
6. 「わ」行音に「うい」「うえ」「をう」を加える。《例》ういなぐ（女）、っうえーきんちゅ（金持ち）、をうん（居る）
7. 「や」行音に「ゐ」「ゑ」を加える。《例》ゐー（結、絵、良い）、エイサー
8. 「くぁ」ではなく、「くわ」で表わす。《例》シークワサー
9. 使用する漢字は、語源的な正確さは求めずに現代語における漢字表現にし、その場面に応じて最も適切な意味を表わす漢字を選んで、必要があればルビを振る。《例》顔<sup>ちら</sup>、装い<sup>すが</sup>、美ら海<sup>ちゅ</sup>、清らさん<sup>ちゅ</sup>
10. 送り仮名は、一貫性を原則とするが、それよりも読み易さを優先する。《例》来<sup>ち</sup>ゆーん、来<sup>ち</sup>やん、来<sup>ち</sup>よーん、っ来<sup>ち</sup>、話<sup>はなし</sup>物語<sup>むんがた</sup>い、話し<sup>はな</sup>聞<sup>ち</sup>ちゅん、話<sup>はな</sup>す<sup>かた</sup>ん、語<sup>にげー</sup>ゆん<sup>くとう</sup>：願<sup>かみ</sup>事<sup>に</sup>、神願<sup>に</sup>げー
11. 上記10の原則に従い、音引き「ー」は仮名に続くものとし、漢字に直接は続けない。《例》山<sup>や</sup>まー、x山ー
12. 上記11における送り仮名の実行ができない場合に限り、音引きを実際の母音「あ」「い」「う」「え」「お」のいずれかで表わす。《例》来<sup>ち</sup>い？、来<sup>く</sup>うん
13. 文や節の切れ目を表わす句読点「、」「。」の他に、疑問符「?」、感嘆符又は間投符「!」を用いる。

### 3 沖縄語の表記法（解説）

#### 3.1 表記法の必要性について

表記法とは、ことばを文字で書き表わす際の決まりをまとめたものである。世界には文字をもたない言語も数多いことから、言語とはもとより話し言葉で、音声を媒介とする。話し手の口を通して聞き手の耳に伝わるのが音声なので、音声は何度使用してもその場には残らないで消えていく性質のものである。それで、原則として、音声言語にはまず特定の話し手が居て、特定の場面を共有する聞き手の存在が想定される。一方、文字を媒介とする書き言葉であれば、書き手が読み手を選ぶこともないし、書き手と読み手が共有する特定の場面を選ぶこともしないので、書き言葉は誰でもいつでもどこでもその言語と接する機会を提供する。その点において、文字を媒介とする書き言葉はすぐれている。

言語は、単なる意思伝達の手段ではなく、先祖代々受け継がれてきた暮らしの知恵、それに根ざした価値観、そこから生まれた芸能・芸術などの文化の基盤であり、そのなかで培われたアイデンティティー形成とも深くかかわっている。どのような言語でも記録しないことには後世に残せない。「しまくとうば」は、琉球列島においてこれまで一千年以上にわたり先祖代々受け継いできた伝統的なことばであるが、これまでは書き言葉が確立していない。それで、その言語文化を正しく記録し後世に残すには、その地で醸成された言語の独自性をできるだけ正確に表記しておく必要である。現在は書き言葉がないために、誰でもいつでもどこでも伝統的なしまくとうばと文字を媒介として接するという機会を生み出すこともなく、個別の独立言語として日本語、中国語、英語などとも対等に肩を並べることもできないままである。

2009年2月21日にユネスコ（UNESCO）が発表した危機言語のなかに、琉球諸語の奄美語、国頭語、沖縄語、宮古語、八重山語、与那国語が加えられ、しまくとうばが独立した言語だとの見解が示されているので、琉球諸語はすでに世界の言語の仲間入りをしている。日本語とは姉妹語の関係にあり、日本語の方言では決してない。そのことを裏付けるように、国立国語研究所とドゥ・グロイター・ムートン社が提携して2015年に出版された『Handbook of the Ryukyuan Languages—History, Structure, and Use』（1-723頁）を通して、世界の言語学の舞台に初めて琉球諸語として登場している。

県民が祖先から受け継いだ伝統文化に対する誇りと自信を持ちながら、文化交流や翻訳などを通して他の言語文化との共存・共栄を押し進めていくためにも、文字を媒介とする書き言葉は何としても必要である。その文字がたとえ日頃から慣れ親しんでいる仮名や漢字を用いたとしても、歴史や暮らしや文化が違えば、その意味するところもはっきりと違ってくる。例えば、日本語という借り物による「森の川」や「首里城正殿」ではものごとが正確には伝わってこない。羽衣伝説発祥の地は「杜ぬ湧泉」、首里城内の歴史的建造物は「御百浦添御殿」とすべきところである。単語一つをとってもこのような明確な違いがある以上、沖縄語独特の単語と単語の組み合わせ方に基づく文章表現ともなれば、独自のものの見方考え方は沖縄語の世界でしか表現できないのは明らかである。それで、「組踊」などの世界文化遺産であれば、借りものの日本語ではなく沖縄語で直接「組踊」で登録すべきである。沖縄語の内容紹介によって、沖縄の文化の一部であることを広く世界に知らしめることができるので、そこには大きな意義がある。このように、日本語という借りものの器では私達の伝統も文化も十分に盛ることができないため、沖縄語独自の表記法による書き言葉を確立する必要がある。

言語そのものや、言語を基層とする伝統文化を正しく教えるには教材が必要になるが、文字なくして教材は作れない。それに、抽象的で精神的な事柄を昇華させていくのには一過性の音声言語では即座にまとめ切れないので、推敲を重ねていく機会を創り出すための手段として文字化が必要になってくる。以上のように、文字を媒介とする沖縄語の書き言葉は、伝統文化を正しく記録し後世に残すことを可能にするだけでなく、主要な世界の言語や文化との対等な関係を確保し、暮らしや文化の中により深く浸透してアイデンティティ形成に寄与し、その言語を学習する有効な手段を与えるばかりでなく、味わい深くて豊かな言語表現や抽象的な概念を新たに創り出す手段を提供してくれるという意義をもつものである。

## 3.2 沖縄語の本表記法について

本表記法は、NPO 沖縄語普及協議会（編）（2010）にほぼ基づくが、玉那覇（2015）も参考にしている。『竹取物語』を沖縄語に翻訳し、本表記法を実践した読み物に宮良（2019b）がある。

## 3.3 「沖縄語」とは？

「沖縄語」とは、沖縄本島中南部地域において千年以上にわたり受け継いできた伝統的なことばが指し、「沖縄語」と書いて、「うちなーぐち」と読むことにする。

## 3.4 本表記法の目的

以下に提案する表記法は、原則として、意思を表明し、状況や出来事を説明・報告・伝達することを目的とし、音数律を基調とする琉歌とか、その他の特別な意図がある場合は除く。

### 3.5 仮名表記法の解説

沖縄語の仮名表記法を定めるにあたって、以下の5つの原則を基準とする。

- 原則1 表音性
- 原則2 一貫性
- 原則3 簡潔性
- 原則4 親しみ易さ
- 原則5 使い易さ

表音性とは、音声をいかに客観的に表わしているのかという原則である。音声記号<sup>1</sup>さえ用いれば最も望ましい表記が達成できるのは当然であるが、それでは普及は望めないで、

音声記号は用いなくてもいかに仮名を工夫すれば、《音声記号による表記の達成度に近づけられるのか》

すなわち、表音性を第一の原則としている。また、今後の幅広い普及につなげるためには、上記の原則4、5により、ワープロなどで変換が容易な文字にし、変形文字に限らず新たに考案された仮名の使用や、細かな記号化などは避ける。

以下に表記の基本的な事項を列挙する。

#### 3.5.1 仮名書き

平仮名を基本とするが、人名、動植物名、料理名、外来語などには片仮名を用いることができる。例として、「ナビー」「ハブ」「フーチバー」「ムーチャー」「チャンプルー」など。

#### 3.5.2 音引き「ー」

音引きを表わす記号として「ー」を採用する。「うちなー」のように音引きの「ー」を使い、「うちなあ」「うちなぁ」のようにはしない。

(理由1) 語尾の母音を引き延ばすことにより人やものを表わす語を造りだすという規則性を「ー」で簡潔に表記できる。それで、「しま」「ちゅらかーぎ」「ゆんたく」「やまとう」から、「しまー」「ちゅらかーぎー」「ゆんたくー」「やまとうー」ができる。しかし、音引きの「ー」を使わなければ、「しまあ」「ちゅらかあぎい」「ゆんたくう」「やまとうう」のようになり、その規則性を簡潔に表わせない。

(理由2) 「ー」を使わない表記は表音性と一貫性を欠く場合がある。例えば、日本語の「おうとう」（応答）における「う」の表記の仕方は、「おとうさん」「よもう」「とうきょう」における「う」と同じだが、実際の発音は「う」ではなく「お」なので、表音性に問題がある。さらに、「おう（とう）」における「おう」は「おお（きい）」（大きい）における「おお」と同じ発音であり、「（おう）とう」における「とう」は「とおす」（通す）、「とおい」（遠い）における「とお」と同じ発音なので表記の仕方が一貫していない。それで、日本語の平仮名表記におけるこのような側面をそのまま踏襲するのは賢明ではない。

<sup>1</sup>音声記号とは、言語音の発声メカニズムや音声そのものを研究する分野（すなわち、音声学）で用いられている記号である。どのような言語音でも音声記号で表わすことができるように工夫されていて、言語学では広く支持されている記号である。

(理由3)「にー」(荷)、「ていー」(手)、「ふえー」(南風)、「ふー」(幸運)のように、「ー」で終わる語は少なくとも二拍になるので、「助詞の一部を除き、自立語はすべて2拍以上から構成される」という沖縄語における音配列上の特徴を音引きの「ー」は簡潔にとらえている。

(理由4) 理由3と関連して、音引きを使わない「いいあすん」(談合する)よりも、「いーあーすん」の方が読み易くて、親しみ易い。

(理由5)「でいーぐ」(デイゴ)、「しえーく」(大工)は、「ー」を用いないと「でいいぐ」、「しええく」のようになるので、親しみ易さに難がある。

#### 3.5.3 小書きの「っ」

詰まる音は、小書きの「っ」で表わす。語や不定詞の出だしでは、次のように(イ)同一子音が重なる場合に詰まる音「っ」が現われる。

- (1) 「っちゅ」(人)、「っくわ」(子)、「っし」(で／して)、「っち」(来て)

さらに、(ロ)語頭において半母音や鼻音が声門破裂音をともなう場合である。

「っやー」(お前) (参照:「やー」(家))

- (2) 「っわー」(豚) (参照:「わー」(私))

「っんに」(稲) (参照:「んに」(胸))

他にも、「っわーび」(うわべ)、「っわーちち」(天気)、「っわーすん」(成長させる)などがある。さらに、「んーちゃ」(土)、「んーす／んす」(味噌)、「んかし」(昔)、「んちゃん」(にがい)などに対立して、声門破裂音で始まる「っんま」(馬)、「っんぶしー」(料理名)、「っんむ」(芋)、「っんぶさん」(重い)、「っんぢやすん」(出す)などがある。詰まる音「っ」とは、(イ)では破裂や摩擦をともなう子音(すなわち、阻害音)が同一子音連続( $C_1C_2$ )を形成する際の頭子音( $C_1$ )であり、(ロ)における声門破裂音は阻害音を除く音声(鼻音、半母音、母音)の直前にあらわれている。このように、(イ)の阻害音と、(ロ)の阻害音以外の音声(＝きこえ音)はお互いに重なり合うことのない相補分布を成しているので、「っ」の表記が(イ)の阻害音か、(ロ)の声門破裂音のどちらなのかは音声環境から常に予測できる。それで、(イ)と(ロ)の両者を同一仮名「っ」(詰まる音)として表記することに関しては、言語学的な見地からも特に問題はない。

#### 3.5.4 「ぢ」と「じ」

「ぢ」と「じ」を区別する。沖縄語における「ち」に連濁が適用された場合には、連濁の他の事例と同様、次のように「ぢ」を表記する必要がある。

- (3) イ 「ちる」(腱)、「あどうぢる」(アキレス腱)「ちゃー」(茶)、「かたぢやー」(濃い茶)「ちち」(月)、「ゆんぢち」(閏月)

ロ 「ちん」(衣／着物)、「ちゅらぢん」(美しい着物)「ちむ」(心)、「ちゅらぢむ」(きれいな心)

沖縄語における「ち」／「ぢ」は、(3-イ)のように日本語の「た」／「だ」行子音に由来するものだけでなく、(3-ロ)のように「か」／「が」行子音(きぬ、きよらか、きも)に由来するものもある。それで、沖縄語の「ちち」(月)のように大和ことばの「つ」にも「き」にも一般的に「ち」が対応するので、「ぎしき」の場合には、一貫性からすると「じしち」ではなく「ぢしち」(儀式)にすべきである。仮に、「じしち」にすると、

「き」との対応は「ち」なのに、「ぎ」との対応は「じ」となってしまうので、一貫性が維持できない。同様に、「みがく」の「が」に対応するのは「んじゃちゅん」ではなく「んぢゃちゅん」（磨く）にすべきである。以上のように、大和ことばの「か／が」行音に由来する場合にも「ち／ぢ」にすべきである。

さらに、表示上の一貫性を維持するという積極的な理由で、「じゃ」ではなくぢゃ」が選択される場合がある。過去形の「とうたん」（取った）、「ぬだん」（飲んだ）、「かちゃん」（書く）では、「～た（ん）」「～だ（ん）」「～ちゃ（ん）」で終わることから、「はじゃん」ではなく「はぢゃん」（剥ぐ、配る）にすべきである。そうすれば、〈過去時制は「た」「だ」「ちゃ」「ぢゃ」のいずれかで表示される〉という一般性を確保できる。

一方、上述の(3-イ)や(3-ロ)のような場合とは違って、(4)のように「ぎ」行子音に由来するものには「じ」を用いる。

- (4) 「じゃー」（座）、「じゃー」（蛇）、「じぶん」（時分）、「じゅーぐやー」（十五夜）、「じゅーしー」（雑炊）、「じゅーばく」（重箱）、「じっちゃく」（勢理客）、「じょー」（門）、「じゃーふえー」（やっかいなこと）、「じこー」（ひどく）、「じょーい」（とうてい）、「じんとー」（本当）、「んーじゅ」（溝）

(3)と(4)における「じ」と「ぢ」では実際の発音には変わりはないので表音性に難があるのは認めるが、上記の「ぢ」と「じ」の遣い分けは、大和ことばとの系統性と関連づけながら親しみ易さを損なうことなく、動詞活用に関する表示上の一貫性を維持できる点で優れている。

その結果、「ぢー」（土地、地面）と「じー」（字）、「みーぢん」（新しい着物）と「みーじん」（新しいお金）、「にぢーん」（握る）と「にじーん」（我慢する）などの区別ができるようになるので、本表記法のメリットとして生かすことができる。

### 3.5.5 「っ」の省略

母音で始まる語の場合には詰まる音「っ」をとともなうことが常に予測されるので、その「っ」は省いて簡素化する。「っいん」、「っあん」、「っうむゆん」のように、沖縄語では‘母音で始まる語’の場合は常に「っ」がともなう。例えば、‘沖縄県内’の電話番号（098-xxx-xxxx）における（098-）は常に予測できるので、簡素化して省略しても通話するのにまったく支障がない。それと同様に、‘母音で始まる語’の「っ」の場合は簡潔性の原則を適用して、「いん」（犬）、「あん」（在る）、「うむゆん」（思う）のように表記することで親しみ易くする。このような‘予測可能な余剰的特徴’は一般的な言語分析においても簡素化の対象となる。

### 3.5.6 「わ」行配列

「わ」行音に「うい」「うえ」「をう」を加える。例として、「ういなぐ」（女）、「ういきが」（男）や、「っうえんちゅ」（ネズミ）、「っうえーか」（親戚）や、「をうどうい」（踊り）、「をうない」（姉妹）、「をうとう」（夫）、「をうーじ」（さとうきび）などがある。それにより、「をうらん」（居ない）と「うらん」（売らない）も区別できる。「ウィスキー」の例からも、親しみ易く、使い易さがあると思われる。

### 3.5.7 「や」行配列

「や」行音に「ゐ」「ゑ」を加える。大和ことばにおける「ゐ」「ゑ」は本来「わ」行音であったが、沖縄語では「や」行音として採用する。例として、「ゐー」（絵、結）、「ゐれー」（座れ）、「ゐーむん」（もらい物）、「ゐぬむん」（同じもの）、「ゐーゐー」（いいえ）： 「エイサー」（盆踊りの一種）、「ゑーま」（八重山）「ゑいが」（映画）、「ゑんぴつ」（鉛筆）などがある。



現在動詞形「とうゆん」（取る）や「はじみゆん」（始める）の語尾「～ゆん」は、時と場合によって「とうみん」、「はじみーん（＝はじみいん）」である。その場合、語尾に限っては「ゐ」と「い」の違いは余剰的なので、簡潔性を考慮して広い分布をもつ「～いん」で統一できる。

結果として、「ゐん」（縁）と「いん」（犬）、「ゐれー」（座れ）と「いれー」（入れ）が区別でき、3.5.6 節に基づき「ゐーゆん」（もらう）と「ういーゆん」（酔う）の区別や、「ゐーच्छゅ」（善い人）と「ういーとーるच्छゅ」（酔っぱらっている人）と「ういーとーるच्छゅ」（年老いている人）などの区別もできるようになる。

### 3.5.8 「くわ」

「くあ」ではなく、「くわ」で表わす。どちらかと言うと、「シークワサー」（ヒラミレモン）、「まやーぐわー」（愛猫）の方がこれまで親しまれているとの理由で、「シークァーサー」「まやーぐあー」とはしない。「くい」「くえ」と対比するとき、「くあ」の表記の方に一貫性はあるが、親しみ易さをここでは優先している。

### 3.5.9 その他

上記以外は標準日本語における仮名表記法に準ずる。

**漢字と仮名を混ぜた表記** 漢字を使うことによって、「ちー」（血／乳／気）や「ちちゆん」（聞ちゆん／付ちゆん／着ちゆん／効ちゆん）のような同音異義語を区別できるだけでなく、「車やれー、何やていん済むさ。」（車であれば、何だっにかまわない）のように語、句、節を区切ることができる。それに、沖縄語では日本語の「を」のように目的語の表示がないために、「縞糸間違ぐな」「動物ぬ命大切にすん」は「縞糸 間違ぐな」「動物ぬ命 大 切 にすん」のようにすれば読み易くなるので、日本語と比べて分かち書きが多くなるのは言語の違いから当然である。漢字の使用については、まず読み易さが基本である。

#### 原則 6 読みやすさ

その原則に基づき、どの漢字をあてるのか、ルビと送り仮名をどうするのかを以下に示す。

### 3.5.10 漢字とルビ

漢字を使用する場合は、語源的な正確さは求めないで、現代日本語における漢字の意味表現にならって、その場面に最も適切な意味を表わす漢字にする。ルビは原則として必要な場合にのみ振る。「ちら」「とうじ」「ちん」「ぐすーよー」に対しては、語源的にはそれぞれ「面」「刀白」「衣」「御総様／御衆様」であろうが、現代語的な漢字表現の「顔」「妻」「着物／服／衣服」「皆 様」のようにする。「ちゅらさん」にしても、語源的には「清らさん」であろうが、「美ら海」「美ら容姿」「美ら装い」「清ら装い」「清ら泉」のように漢字を当てたり、「容姿」、「美 貌」、「美 人」、「今帰仁 美人」、「杜ぬ湧泉」、「井戸」のようにルビを振る。「清ら肝」よりも、語源を追求しない「清ら心」の方が解りやすいことになる。「ちむぐくる」に対しては、語源を追求した「肝心」よりも、「ちむ心」とか「肝ぐくる」のようにして読み易くする。「うふच्छゅ」については、時と場合により「大人」「成人」などが可能となる。

さらに、「伝統」は「んかしゅじり」、「協力」は「ちむじゅりー／ちむあーし」、「新聞」は「じーがみ」、「文化」は「ていーかた」等のような工夫も今後は必要になるだろう。

沖縄語における「くち」は「くちぬ解らん」（ことばが通じない）、「くち追 ゆん」（ことばを追いかけて現実となる）などの他に、「やまとうぐち」（大和語、日本語）、「ウランダぐち」（西洋語、オランダ語）、「アミ

リカぐち」（米語）からも分かるように、「うちなーぐち」における「ぐち」は語やことばを表わしている。それで、「沖縄口」ではなく、「沖縄語」にする。

### 3.5.11 送り仮名

送り仮名は、一貫性を原則とするが、それよりも読み易さを優先する。「明<sup>あか</sup>り」「明<sup>あか</sup>るい」「明<sup>あ</sup>ける」「夜明<sup>あ</sup>け」、「話<sup>はなし</sup>」「話<sup>はな</sup>す」、「恥<sup>はじ</sup>」「恥<sup>は</sup>ずかしい」の場合のように、日本語では一貫性よりも読み易さを優先している。沖縄語でも同様に、「昔<sup>んかし</sup>話<sup>ばなし</sup>」との対比から「願<sup>にげ</sup>事<sup>ぐと</sup>」も考えられるが、その一方で「話<sup>はな</sup>聞<sup>き</sup>ちゅん」では読みづらいので、「話<sup>はな</sup>すん」「語<sup>かた</sup>ゆん」との対比から「話<sup>はな</sup>し聞<sup>き</sup>ちゅん」にすれば読み易くなる。さらに、時と場合によっては、「作<sup>む</sup>法<sup>ん</sup>習<sup>な</sup>れー」との対比から読み易さを優先して「話<sup>はなし</sup>物<sup>むん</sup>語<sup>な</sup>い」「神<sup>はなし</sup>願<sup>むん</sup>げー<sup>がた</sup>」なども考えられる。

### 3.5.12 漢字と送り仮名

音引きの「ー」は原則として仮名に続き、漢字に直接は続けない。ただし、小書きについてはその限りではない。「山<sup>や</sup>や」が縮約されて「やまー」になるときは、読み易さを第一に考えて「山<sup>や</sup>まー」のように表わし、「山<sup>やま</sup>ー」のようにはしない。音引き記号自体は一般に表音文字として仮名の母音部分を引き伸ばす表記なので、そのような音声情報を本来の目的としない表意文字の漢字には直接「ー」で送らない。それにより、「山<sup>や</sup>まー」におけるルビは「や」だけにはなるが、読み易くなる。漢字に続く小書きの例として、「歩<sup>あ</sup>っちゅん」「来<sup>ち</sup>ゃん」「来<sup>ち</sup>ゅーん」「来<sup>ち</sup>ょーん」「来<sup>ち</sup>えーさ」などが考えられる。

### 3.5.13 音引きと送り仮名

前節における送り仮名の実行がどうしてもできない場合に限って、音引きは実際の母音「あ」「い」「う」「え」「お」のいずれかを用いる。例えば、「ちー？」（来たか）のように、「来」にルビ「ち」を振ると「ー」が直接続いて「来ー？」になるような場合に限って、「来い？」（来たか）と表記する。他にも、「何<sup>ぬ</sup>んでい<sup>い</sup>言<sup>い</sup>いたが？」（何と言ったか）、「来<sup>く</sup>うん」（来ない）、「来<sup>く</sup>うわ」（来なさい）などが考えられる。

仮に「言<sup>い</sup>たが？」（言ったか）にすると、「言<sup>い</sup>ちゃん」（言った）、「言<sup>い</sup>らん」（言わない）のような本来の読みの「言<sup>い</sup>」に基づき「いたが？」と読んでしまう恐れがある。それで、「言<sup>い</sup>たが」のような、本来の読みの「言<sup>い</sup>」の反例を作り出すことは避けて、「言<sup>い</sup>いたが」にする。

### 3.5.14 句読点、符号

文や節の切れ目を表わす句読点「、」「。」の他に、疑問符「?」、感嘆符又は間投符「!」を積極的に用いて、読み易くする。例として、疑問文「ちゃっさ儲<sup>も</sup>きてい<sup>ち</sup>来<sup>ち</sup>やが？」や、感嘆文「くぬすばーあ<sup>ま</sup>んし美味<sup>ま</sup>さる！」があり、事実を述べた文「仁王<sup>しくち</sup>や仕事<sup>つん</sup>んかい行<sup>い</sup>ぢゃん。」と対比される。



# 参照文献

- 外間美奈子 (1994) 「那覇方言の音声資料の収集とテキスト化」, 沖縄言語研究センター (編) 『那覇の方言 I』 沖縄言語研究センター研究報告 3, 16–168 頁.
- 金城和彦 (1997) 『沖縄の昔面影』, 那覇: 那覇出版社.
- 国立国語研究所 (編) (1963) 『沖縄語辞典』 大蔵省印刷局.
- 宮良信詳 (2019a) 『うちなーぐち しくみと解説』 那覇: 沖縄時事出版.
- 宮良信詳 (2019b) 『竹取やー御主前ぬ物語』 那覇: 琉球新報社.
- NPO 沖縄語普及協議会 (編) (2010) 「沖縄語の仮名表記法」 創立十周年記念誌 『世果報』, 73–78 頁.
- 玉那覇朝子 (2015) 『うちなーぐちぬ羅針盤』 那覇: でいご印刷.
- 月野美奈子・島田優子 (1994) 「沖縄芝居脚本のテキスト化」, (真喜志康忠作「多幸山」, 「くちなしの花」の脚本), 沖縄言語研究センター (編) 『那覇の方言 III』 沖縄言語研究センター研究報告 5, 1–234 頁.
- 山内範正 (2008) 『百ぬ琉歌ぐくる 第二集』, 名護: うらわ印刷.

# NINJAL Language Variation Division

10-2 Midori-cho Tachikawa City, Tokyo, 190-8561 JAPAN

Dictionary of the Practical Use of Okinawan

Author: Shinsho Miyara

Published in Tokyo, Japan by Language Variation Division, National Institute for Japanese Language and Linguistics

Printed in Tokyo, Japan by Junbunsha

## うちなーぐち活用辞典

---

発行日	2021 年 3 月 26 日 (初版)
著者・編者	<small>みやら しんしょう</small> 宮良 信詳
出版者	国立国語研究所 言語変異研究領域 190-8561 東京都立川市緑町 10-2 0570-08-8595 <a href="https://www.ninjal.ac.jp">https://www.ninjal.ac.jp</a>
印刷所	絢文社
ISBN	978-4-910257-06-8 C3581

---